汉语修辞格鉴赏辞典

黄建霖　主编

东南大学出版社

汉语修辞格鉴赏辞典

张志公题

主　编　黄建霖

编　委　王少欧　王燕华
刘　嵩　何贤景
时学缇　黄建霖
魏　瑊

东南大学出版社

(苏)新登字第 012 号

封面题字:张志公
装帧设计:王　焱
责任编辑:朱　珉

汉语修辞格鉴赏辞典
黄建霖　主编
*
东南大学出版社出版发行
(南京四牌楼 2 号　邮编 210018)
江苏省新华书店经销　南京新中彩色印刷厂印刷
*
开本 787×1092 毫米 1/32　印张 20　字数 635 千
1995 年 5 月第 1 版　1995 年 5 月第 1 次印刷
印数:1—3000 册
ISBN　7—81050—013—9/Z·1
定价:20 元
(凡因印刷质量问题,可直接向承印厂调换)

前　言

修辞格是人们在组织、调整、修饰语言以提高语言表达效果中形成的、具有特定表达作用和特定表达形式的特殊的修辞方式和方法。如比喻、夸张、对偶、反复、反语、引用等。它是人们在长期运用语言的过程中产生和发展起来的。

修辞格简称辞格，也称语格、辞藻、藻饰、辞饰、辞式等。在上古汉语中就已运用并被发现而有所论述的辞格，许多至今仍具有极强的生命力。修辞格这一概念是1923年由唐钺首次提出来的。他的那本小册子将修辞格分为5类27格。1932年陈望道的《修辞学发凡》又将辞格分为4类38格。解放后，尤其是自80年代始，我国的辞格研究有了新的突破，不少过去未被人们注意的修辞现象被归结为辞格。如今汉语辞格到底有多少，谁心中也没有确数。

几年前，我们在修辞学界前辈张志公先生和张寿康先生的指导下，致力于汉语修辞格的整理工作，经过再三斟酌，共收了156个格。为了便于研究，我们又将156个格归纳为语义、布置、辞趣、文学四类。

中国国际广播出版社社长兼总编辑吴绪彬同志闻讯后立即表态，热情支持我们研究成果的出版。《汉语修辞格大辞典》问世后，一版再版，受到广大读者的欢迎，中国修辞学会会长张寿康先生生前曾在《人民日报》上撰文指出，《汉语修辞格大辞典》是“锐意创新的佳作，对我国修辞学的发展必定会起到促进作用”。

我们深感“盛名之下，其实难副”，无论从哪一个角度去阅读，去分析，《汉语修辞格大辞典》都有待于进一步提高和完善。为此，我们对《汉语修辞格大辞典》的全部辞格又逐一进行了修订，并重新精选了示例。

新编就的辞典，虽然篇幅较之《汉语修辞格大辞典》少了，但容量却扩大了（共收辞格 162 个），尤其是选例部分，内容十分丰富，并适当增加了赏析文字，故最后定名为《汉语修辞格鉴赏辞典》。

在编写过程中，我们参阅了大量的修辞著作，以及《修辞学习》杂志上发表的有关辞格的文章；同时还选用了不少名家名篇中的佳句秀语，对于上述这些作品（或著作，或诗文）的作者，我们谨表示深切的谢意。

除执笔的全体编委以外，黄麦、陈鸿征、石世伟、何荻、魏颖、郑先等同志也参加了部分编写工作。

虽然我们全体编委有过编写《汉语修辞格大辞典》的经验，但仍感到自己学养不足，水平有限，疏漏讹误之处在所难免，我们热忱欢迎专家、读者批评指教，以使本辞书日臻完善。

黄建霖

1995 年 1 月

凡　例

1. 本辞典共收录汉语修辞格 162 个，其中正式辞格 117 个，内含小格 123 个，尚不能独立或有待于探讨的辞格 46 个。

2. 全部辞格依次按语义类、布置类、辞趣类和文学类的顺序排列。

3. 每一个辞格名称作为条目出现，一律加【　】，如【比喻】bǐyù；别称加括号附在汉语拼音后面，如【比喻】bǐyù（比打比方 譬 譬喻）；小格名称也作为条目出现，一律加〖　〗，如〖明喻〗míngyù。

4. 每个辞格的释文包括辞格定义、作用、种类、举例、释例、辨析等。

5. 尚不能独立或不宜于设立的辞格，标题右上角加“*”，如〖潜喻〗和反拟*。然后释义并说明不能单独设格的理由及处理意见。

6. 例句中原则上用着重号等表示辞格之所在。

7. 本书除分类目录外，另编有音序索引以利检索。

8. 正文后面附有辞格一览表。

总　目

前　言 …… 黄建霖 1—2

凡　例 …… 1

目　录 …… 1—11

音序索引 …… 1—10

辞典正文 …… 1—507

附:辞格一览表 …… 508—608

目　录

语　义　类

1. 比喻（比 打比方 譬 譬喻）……（1）
① 明喻（直喻）……（2）
②暗喻（隐喻 简喻）……（3）
③借喻 ……（4）
④潜喻 ……（5）
⑤逆喻（倒喻）……（6）
⑥缩喻（反客为主式比喻）……（8）
⑦较喻（权衡式比喻 较物）……（9）
强喻 ……（10）
弱喻 ……（11）
等喻 ……（12）
⑧属喻（性喻）……（13）
⑨疑喻 ……（14）
⑩曲喻 ……（14）
⑪反喻（非喻）……（15）
⑫择喻 ……（16）
⑬回喻（迂喻）……（17）
⑭顶喻 ……（18）
⑮互喻 ……（18）
⑯对喻 ……（19）
⑰引喻 ……（20）
⑱扩喻（类比）……（21）

⑲物喻 …… (22)
⑳事喻 …… (24)
㉑博喻(复喻 连比 莎士比亚式比喻) …… (26)
㉒约喻 …… (27)
㉓联喻(贯喻 类喻) …… (27)
㉔合喻(混喻) …… (29)
2. **比拟(拟态)** …… (30)
①拟人 …… (31)
②拟物 …… (33)
3. **反拟** …… (36)
4. **借代(代替 代称 换喻 提喻 伴名 换名 类名)** …… (37)
①旁借(代用 旁代 随代) …… (38)
②对代 …… (43)
5. **喻代** …… (46)
6. **字代** …… (47)
7. **夸张(夸饰 铺张)** …… (49)
①夸大 …… (51)
②缩小 …… (52)
③超前(窜前) …… (52)
8. **仿拟(模拟 套语)** …… (53)
①仿词(反连 抽换) …… (54)
②仿句 …… (56)
③仿调 …… (57)
9. **易字** …… (59)
10. **反用** …… (60)
11. **倒反(反说)** …… (60)
①倒辞(舛辞) …… (61)
②反语(反话 反辞 冷语) …… (62)
12. **换义** …… (63)

13. 扩义(变义)……(66)
14. 降用……(66)
15. 断取……(69)
16. 别解(改用)……(71)
17. 返源……(74)
18. 挪用……(75)
19. 套词……(76)
20. 增动……(76)
21. 炼字……(79)
22. 婉曲(婉转 委婉 曲达 隐曲)……(81)
①婉言(婉词)……(82)
②曲语(折绕)……(83)
23. 易代……(86)
24. 避讳(讳饰 避嫌) ……(87)
25. 伸缩……(90)
26. 闪避……(93)
27. 变文(变化 变用) ……(97)
①避复(择语 换词) ……(98)
②表异……(99)
③添色 ……(101)
28. 避实 ……(102)
29. 拈连(顺连 关连 连物 语义巧移) ……(103)
30. 转品(转类) ……(106)
31. 示姓(示性) ……(110)
32. 敬谦 ……(113)
33. 特称(变称) ……(115)
①尊称(敬称) ……(115)
②爱称(美称) ……(116)
③谦称(卑称) ……(116)
④戏称(丑称) ……(116)

⑤贱称(贬称) …… (117)
⑥蔑称(辱称) …… (117)
34. 引用(引语 引话 援) …… (118)
①明引(正引 明用) …… (119)
②暗引(暗用) …… (120)
③意引 …… (120)
35. 异语(借语) …… (125)
36. 夹杂 …… (129)
37. 精警(警策 警句) …… (130)
38. 紧缩(简缩 节缩) …… (131)
①缩词 …… (132)
②缩语 …… (132)
39. 简称(略语 省称) …… (134)
40. 数概(统括) …… (134)
41. 换算 …… (138)
42. 折抵 …… (141)
43. 精细 …… (142)
44. 呼告 …… (144)
①呼人 …… (145)
②呼物 …… (145)
45. 感叹(咏叹) …… (148)

布 置 类

46. 对偶(俪辞 对子) …… (151)
①正对 …… (152)
②反对 …… (153)
③串对(流水对 走马对) …… (153)
④自对(当句对 就句对 句中对 四柱对) …… (154)
⑤互对(互文对) …… (154)

⑥倒对(倒装对) …… (155)
⑦扇对(隔句对) …… (155)
⑧借对(假对 假借 对) …… (156)
⑨磋对(错对 错综对 交股对 犄角对) …… (157)
⑩鼎对(鼎足对 三铛) …… (157)
47. 对举 …… (160)
48. 对比(对照 对称 对映) …… (162)
①两物对比 …… (163)
②一物两面对比 …… (164)
49. 对顶(反言) …… (166)
50. 反饰 …… (169)
51. 矛盾 …… (170)
52. 迭映 …… (171)
53. 同饰 …… (174)
54. 同语 …… (176)
55. 排比(排语 排迭 排句) …… (178)
56. 联用 …… (183)
57. 繁复 …… (185)
58. 层递(层进 递进 渐层) …… (187)
①递升(顺层递 阶升) …… (187)
②递降(倒层递 趋下) …… (188)
59. 反复(重章 重言 复辞 复沓 重复) …… (189)
①连续反复 …… (190)
②间隔反复(隔离反复) …… (191)
60. 双齐 …… (196)
61. 重说(异语反复) …… (197)
62. 复语 …… (199)
63. 呼应 …… (199)
64. 增饰 …… (202)
65. 合叙(合说 综说 列举分承 并提分承) …… (203)

66. 共用 …… (206)
67. 分述(分说) …… (207)
68. 同字 …… (210)
69. 同异 …… (214)
①前同后异 …… (215)
②前异后同 …… (215)
70. 拈比 …… (218)
71. 顶真(顶针 联珠 蝉联 继踵 连环 联语 链式 结构) …… (219)
72. 顶释 …… (223)
73. 回文(迴文) …… (225)
74. 回环 …… (229)
75. 连锁 …… (233)
76. 序换 …… (234)
77. 微殊 …… (238)
78. 互文(互辞 互言 互义 互见 互备 参互 互文相足 文互相备) …… (239)
79. 错综(拗语) …… (242)
①互换(旋造) …… (243)
②错举 …… (243)
③参差 …… (244)
④换型 …… (244)
80. 倒装 …… (245)
81. 设问(设疑 提问) …… (249)
82. 诱问 …… (253)
83. 反问(反诘 激问 诘问) …… (254)
84. 正问 …… (256)
85. 奇问 …… (259)
86. 疑离(貌离) …… (262)
87. 撇语(撇除 排除) …… (265)

88. **补正** …… (268)
89. **否定** …… (271)
90. **顿跌** …… (272)
91. **省略** …… (273)
92. **跳脱** …… (275)
①急收 …… (277)
②突接 …… (277)
③岔断 …… (278)
93. **留白** …… (280)
94. **承转** …… (281)

辞 趣 类

95. **析字(拆字 字喻 缪语)** …… (282)
①离合字形 …… (283)
②减损字形 …… (284)
96. **析数** …… (286)
97. **镶嵌** …… (288)
①镶字 …… (289)
②嵌字 …… (289)
③拼字 …… (290)
98. **离合** …… (291)
99. **联边** …… (292)
100. **异形** …… (295)
101. **拆词(析词)** …… (297)
①隔离 …… (298)
②倒置 …… (300)
③拈用 …… (301)
102. **颠倒** …… (303)
103. **藏词** …… (305)

①藏头(抛前藏词)……(305)
②藏腰(舍中藏词)……(306)
③藏尾(弃后藏词)……(306)
104. 割裂……(308)
105. 歇后……(308)
①喻意歇后……(310)
②谐音歇后……(310)
106. 反切……(311)
①切脚……(312)
②双反……(312)
107. 换述……(313)
108. 双关(多义关连)……(315)
①谐音双关……(316)
②语义双关(借义相关)……(317)
109. 飞白(非别)……(319)
①语音飞白……(321)
②字形飞白……(322)
③语义飞白……(323)
④句子飞白……(324)
110. 拟误……(327)
111. 绕口……(328)
112. 顺口……(330)
113. 图示(借形)……(333)
114. 号代……(339)
115. 提顿……(341)
116. 算式……(343)
117. 借用……(347)

文 学 类

118. 起兴……(348)

119. **比兴**……（351）
120. **讽喻**……（353）
121. **象征**……（356）
①明征……（357）
②暗征……（358）
122. **映衬（衬托 相形）**……（360）
①正衬（烘托 烘云托月）……（360）
②反衬（反映）……（362）
123. **抑扬**……（365）
①欲扬先抑……（366）
②欲抑先扬……（368）
124. **移就（移用）**……（369）
125. **移觉（通感）**……（372）
126. **移情**……（375）
127. **升华（事象升华）**……（378）
①由点升面……（380）
②由表升里……（381）
③由此升彼……（382）
128. **示现（想见）**……（383）
①追述……（384）
②预言……（385）
③悬想（设想）……（386）
129. **旁逸**……（386）
130. **摹绘**……（390）
①摹声……（391）
②摹色……（392）
③摹味……（393）
④摹状……（394）
131. **物候**……（395）
132. **叠音**……（400）

①叠字……（401）
②叠词……（402）
133. 垫音（衬字 衬词）……（406）
134. 释语（释词）……（408）
135. 衍名（衍词 顾名）……（413）
136. 曲解……（415）
137. 隐语（廋词廋语）……（419）
138. 称谓……（421）
①连续异称……（422）
②间隔称谓……（423）
139. 诡谐（诡语）……（424）
140. 归谬……（429）
141. 设难……（434）
142. 偏语……（435）
143. 设誓……（439）
144. 谲辞……（441）
145. 巧缀（曲说）……（443）
146. 拈嵌……（448）
147. 歧疑（设歧）……（450）
148. 略补……（454）
149. 歧义……（455）
150. 设误……（456）
151. 返射……（457）
152. 稽新……（462）
153. 移时……（463）
154. 易色……（466）
155. 体变……（470）
156. 舛互（特选）……（474）
157. 衬跌……（476）
158. 列锦（列景）……（480）

159. **穷举** …… (483)
160. **迭现** …… (488)
161. **频词** …… (490)
162. **呵成** …… (495)
综合运用 …… (499)
①连用 …… (499)
②套用 …… (500)
③兼用 …… (501)
④合用 …… (502)

音序索引

A

ài 爱称 …… (116)
àn 暗引 …… (120)
àn 暗用 …… (120)
àn 暗喻 …… (3)
àn 暗征 …… (358)
ào 拗语 …… (242)

B

bàn 伴名 …… (37)
bē 卑称 …… (116)
bǐ 比 …… (1)
bǐ 比拟 …… (30)
bǐ 比兴 …… (351)
bǐ 比喻 …… (1)
bì 避复 …… (98)
bì 避讳 …… (87)
bì 避实 …… (102)
bì 避嫌 …… (87)
biǎn 贬称 …… (117)
biàn 变称 …… (115)
biàn 变化 …… (97)
biàn 变文 …… (97)
biàn 变义 …… (66)
biàn 变用 …… (97)
biǎo 表异 …… (99)
bié 别解 …… (71)
bìng 并提分承 …… (203)
bó 博喻 …… (26)
bǔ 补正 …… (268)

C

cān 参互 …… (239)
cáng 藏词 …… (305)
cáng 藏头 …… (305)
cáng 藏尾 …… (306)
cáng 藏腰 …… (306)
cēn 参差 …… (244)
céng 层递 …… (187)
céng 层进 …… (187)
chà 岔断 …… (278)
chāi 拆词 …… (297)
chāi 拆字 …… (282)
chán 蝉联 …… (219)
chāo 超前 …… (52)
chèn 衬词 …… (406)

chèn 衬跌 …… (476)
chèn 衬托 …… (360)
chèn 衬字 …… (406)
chéng 承转 …… (281)
chóng 重复 …… (189)
chóng 重说 …… (197)
chóng 重言 …… (189)
chóng 重章 …… (189)
chōu 抽换 …… (54)
chǒu 丑称 …… (116)
chuǎn 舛辞 …… (61)
chuǎn 舛互 …… (474)
chuàn 串对 …… (153)
cuàn 窜前 …… (52)
cuō 磋对 …… (157)
cuò 错对 …… (157)
cuò 错举 …… (243)
cuò 错综 …… (242)
cuò 错综对 …… (157)

D

dǎ 打比方 …… (1)
dài 代称 …… (37)
dài 代替 …… (37)
dài 代用 …… (38)
dāng 当句对 …… (154)
dào 倒层递 …… (188)
dào 倒辞 …… (61)
dào 倒对 …… (155)
dào 倒反 …… (60)
dào 倒喻 …… (6)
dào 倒置 …… (300)
dào 倒装 …… (245)
dào 倒装对 …… (155)
děng 等喻 …… (12)
dì 递降 …… (188)
dì 递进 …… (187)
dì 递升 …… (187)
diān 颠倒 …… (303)
diàn 垫音 …… (406)
dié 迭现 …… (488)
dié 迭映 …… (171)
dié 叠词 …… (402)
dié 叠音 …… (400)
dié 叠字 …… (401)
dǐng 顶释 …… (223)
dǐng 顶喻 …… (18)
dǐng 顶针 …… (219)
dǐng 顶真 …… (219)
dǐng 鼎对 …… (157)
dǐng 鼎足对 …… (157)
duàn 断取 …… (69)
duì 对代 …… (43)
duì 对比 …… (162)
duì 对称 …… (162)
duì 对顶 …… (166)
duì 对举 …… (160)
duì 对偶 …… (151)
duì 对映 …… (162)

duì 对喻 …… (19)
duì 对照…… (162)
duì 对子…… (151)
dùn 顿跌 …… (272)
duō 多义关连 …… (315)

F

fán 繁复…… (185)
fǎn 反衬…… (362)
fǎn 反辞 …… (62)
fǎn 反对…… (153)
fǎn 反复…… (189)
fǎn 反话 …… (62)
fǎn 反诘…… (254)
fǎn 反客为主式比喻…… (8)
fǎn 反连 …… (54)
fǎn 反拟 …… (36)
fǎn 反切…… (311)
fǎn 反饰…… (169)
fǎn 反说 …… (60)
fǎn 反问…… (254)
fǎn 反言…… (166)
fǎn 反映…… (362)
fǎn 反用 …… (60)
fǎn 反语 …… (62)
fǎn 反喻 …… (15)
fǎn 返射…… (457)
fǎn 返源 …… (74)
fǎng 仿词 …… (54)
fǎng 仿调…… (57)
fǎng 仿句…… (56)
fǎng 仿拟…… (53)
fēi 飞白 …… (319)
fēi 非别 …… (319)
fēi 非喻 …… (15)
fēn 分述…… (207)
fēn 分说…… (207)
fěng 讽喻 …… (353)
fǒu 否定…… (271)
fù 复辞 …… (189)
fù 复沓 …… (189)
fù 复语 …… (199)
fù 复喻 …… (26)

G

gǎi 改用 …… (71)
gǎn 感叹 …… (148)
gē 割裂 …… (308)
gé 隔句对 …… (155)
gé 隔离 …… (298)
gé 隔离反复 …… (191)
gòng 共用 …… (206)
gù 顾名 …… (413)
guān 关连 …… (103)
guàn 贯喻 …… (27)
guī 归谬…… (429)
guǐ 诡谐…… (424)
guǐ 诡语…… (424)

H

hào 号代 …… (339)
hē 呵成 …… (495)
hé 合说 …… (203)
hé 合叙 …… (203)
hé 合喻 …… (29)
hōng 烘托 …… (360)
hōng 烘云托月 …… (360)
hū 呼告 …… (144)
hū 呼人 …… (145)
hū 呼物 …… (145)
hū 呼应 …… (199)
hù 互备 …… (239)
hù 互辞 …… (239)
hù 互对 …… (154)
hù 互换 …… (243)
hù 互见 …… (239)
hù 互文 …… (239)
hù 互文对 …… (154)
hù 互文相足 …… (239)
hù 互言 …… (239)
hù 互义 …… (239)
hù 互喻 …… (18)
huàn 换词 …… (98)
huàn 换名 …… (37)
huàn 换述 …… (313)
huàn 换义 …… (63)
huàn 换喻 …… (37)
huàn 换算 …… (138)
huàn 换型 …… (244)
huí 回环 …… (229)
huí 回文 …… (225)
huí 回喻 …… (17)
huí 迴文 …… (225)
huì 讳饰 …… (87)
hùn 混喻 …… (29)

J

jī 犄角对 …… (157)
jī 激问 …… (254)
jī 稽新 …… (462)
jí 急收 …… (277)
jì 继躔 …… (219)
jiā 夹杂 …… (129)
jiǎ 假对 …… (156)
jiǎ 假借对 …… (156)
jiān 兼用 …… (501)
jiǎn 简称 …… (134)
jiǎn 简缩 …… (131)
jiǎn 简喻 …… (3)
jiǎn 减损字形 …… (284)
jiàn 间隔反复 …… (191)
jiàn 间隔称谓 …… (423)
jiàn 渐层 …… (187)
jiàn 贱称 …… (117)
jiàng 降用 …… (66)
jiāo 交股对 …… (157)

jiào 较物 …… (9)
jiào 较喻 …… (9)
jiē 阶升 …… (187)
jié 节缩 …… (131)
jié 诘问 …… (254)
jiè 借代 …… (37)
jiè 借对 …… (156)
jiè 借形 …… (333)
jiè 借义双关 …… (317)
jiè 借用 …… (347)
jiè 借语 …… (125)
jiè 借喻 …… (4)
jǐn 紧缩 …… (131)
jīng 精警 …… (130)
jīng 精细 …… (142)
jǐng 警策 …… (130)
jǐng 警句 …… (130)
jìng 敬称 …… (115)
jìng 敬谦 …… (113)
jiù 就句对 …… (154)
jù 句中对 …… (154)
jù 句子飞白 …… (324)
jué 谲辞 …… (441)

K

kuā 夸大 …… (51)
kuā 夸饰 …… (49)
kuā 夸张 …… (49)
kuò 扩义 …… (66)
kuò 扩喻 …… (21)

L

lèi 类比 …… (21)
lèi 类名 …… (37)
lèi 类喻 …… (27)
lěng 冷语 …… (62)
lí 离合 …… (291)
lí 离合字形 …… (283)
lì 俪辞 …… (151)
lián 连环 …… (219)
lián 连锁 …… (233)
lián 连物 …… (103)
lián 连续反复 …… (190)
lián 连续异称 …… (422)
lián 连用 …… (499)
lián 联比 …… (26)
lián 联边 …… (292)
lián 联用 …… (183)
lián 联语 …… (219)
lián 联喻 …… (27)
lián 联珠 …… (219)
liàn 链式结构 …… (219)
liàn 炼字 …… (79)
liǎng 两物对比 …… (163)
liè 列锦 …… (480)
liè 列景 …… (480)
liè 列举分承 …… (203)
liú 留白 …… (280)

liú 流水对 …… (153)
lüè 略补 …… (454)
lüè 略语 …… (134)

M

máo 矛盾 …… (170)
mào 貌离 …… (262)
měi 美称 …… (116)
miè 蔑称 …… (117)
míng 明用 …… (119)
míng 明引 …… (119)
míng 明喻 …… (2)
míng 明征 …… (357)
miù 缪语 …… (282)
mó 模拟 …… (53)
mó 摹色 …… (392)
mó 摹声 …… (391)
mó 摹绘 …… (390)
mó 摹味 …… (393)
mó 摹状 …… (394)

N

nǐ 拟人 …… (31)
nǐ 拟态 …… (30)
nǐ 拟物 …… (33)
nǐ 拟误 …… (327)
nì 逆喻 …… (6)
niān 拈比 …… (218)
niān 拈连 …… (103)
niān 拈嵌 …… (448)
niān 拈用 …… (301)
nuó 挪用 …… (75)

P

pái 排比 …… (178)
pái 排除 …… (265)
pái 排迭 …… (178)
pái 排句 …… (178)
pái 排语 …… (178)
páng 旁代 …… (38)
páng 旁借 …… (38)
páng 旁逸 …… (386)
pāo 抛前藏词 …… (305)
pì 譬 …… (1)
pì 譬喻 …… (1)
piān 偏语 …… (435)
piē 撇除 …… (265)
piē 撇语 …… (265)
pīn 拼字 …… (290)
pín 频词 …… (490)
pū 铺张 …… (49)

Q

qí 奇问 …… (259)

qí 歧疑 …… (450)
qí 歧义 …… (455)
qǐ 起兴 …… (348)
qì 弃后藏词 …… (306)
qiān 谦称 …… (116)
qián 前同后异 …… (215)
qián 前异后同 …… (215)
qián 潜喻 …… (5)
qiàn 嵌字 …… (289)
qiáng 强喻 …… (10)
qiǎo 巧缀 …… (443)
qiè 切脚 …… (312)
qiǒng 穷举 …… (483)
quán 权衡式比喻 …… (9)
qū 曲达 …… (81)
qū 曲解 …… (415)
qū 曲说 …… (443)
qū 曲语 …… (83)
qū 曲喻 …… (14)
qū 趋下 …… (188)

R

rào 绕口 …… (328)
rǔ 辱称 …… (117)
ruò 弱喻 …… (11)

S

sān 三铛 …… (157)
shā 莎士比亚式比喻 …… (26)
shǎn 闪避 …… (93)
shàn 扇对 …… (155)
shě 舍中藏词 …… (306)
shè 设难 …… (434)
shè 设歧 …… (450)
shè 设誓 …… (439)
shè 设问 …… (249)
shè 设误 …… (456)
shè 设想 …… (386)
shè 设疑 …… (249)
shēn 伸缩 …… (90)
shēng 升华 …… (378)
shěng 省称 …… (134)
shěng 省略 …… (273)
shì 示现 …… (383)
shì 示姓 …… (110)
shì 示性 …… (110)
shì 事象升华 …… (378)
shì 事喻 …… (24)
shì 释词 …… (408)
shì 释语 …… (408)
shǔ 属喻 …… (13)
shù 数概 …… (134)
shuāng 双反 …… (312)
shuāng 双关 …… (315)

shuāng 双齐 …… (196)
shùn 顺层递 …… (187)
shùn 顺口 …… (330)
shùn 顺连 …… (103)
sì 四柱对 …… (154)
sòu 廋词 …… (419)
sòu 廋语 …… (419)
suàn 算式 …… (343)
suí 随代 …… (38)
suō 缩词 …… (132)
suō 缩小 …… (52)
suō 缩语 …… (132)
suō 缩喻 …… (8)

T

tào 套词 …… (76)
tào 套用 …… (500)
tào 套语 …… (53)
tè 特选 …… (474)
tè 特称 …… (115)
tí 提顿 …… (341)
tí 提问 …… (249)
tí 提喻 …… (37)
tǐ 体变 …… (470)
tiān 添色 …… (101)
tiào 跳脱 …… (275)
tōng 通感 …… (372)
tóng 同饰 …… (174)
tóng 同异 …… (214)
tóng 同语 …… (176)
tóng 同字 …… (210)
tǒng 统括 …… (134)
tū 突接 …… (277)
tú 图示 …… (333)

W

wǎn 婉词 …… (82)
wǎn 婉曲 …… (81)
wǎn 婉言 …… (82)
wǎn 婉转 …… (81)
wēi 微殊 …… (238)
wěi 委婉 …… (81)
wén 文互相备 …… (239)
wù 物候 …… (395)
wù 物喻 …… (22)

X

xī 析词 …… (297)
xī 析数 …… (286)
xī 析字 …… (282)
xì 戏称 …… (116)
xiāng 相形 …… (360)
xiāng 镶嵌 …… (288)
xiāng 镶字 …… (289)
xiǎng 想见 …… (383)
xiàng 象征 …… (356)

xiē 歇后 …… (308)
xié 谐音双关 …… (316)
xié 谐音歇后 …… (310)
xìng 性喻 …… (13)
xuán 悬想 …… (386)
xuán 旋造 …… (243)
xù 序换 …… (234)

Y

yǎn 衍词 …… (413)
yǎn 衍名 …… (413)
yī 一物两面对比 …… (164)
yí 移就 …… (369)
yí 移觉 …… (372)
yí 疑离 …… (262)
yí 移情 …… (375)
yí 移时 …… (463)
yí 移用 …… (369)
yí 疑喻 …… (14)
yì 异称 …… (421)
yì 异形 …… (295)
yì 异语 …… (125)
yì 异语反复 …… (197)
yì 抑扬 …… (365)
yì 易代 …… (86)
yì 易色 …… (466)
yì 易字 …… (59)
yì 意引 …… (120)
yǐn 引话 …… (118)
yǐn 引用 …… (118)
yǐn 引语 …… (118)
yǐn 引喻 …… (20)
yǐn 隐曲 …… (81)
yǐn 隐语 …… (419)
yǐn 隐喻 …… (3)
yìng 映衬 …… (360)
yǒng 咏叹 …… (148)
yóu 由表升里 …… (381)
yóu 由此升彼 …… (382)
yóu 由点升面 …… (380)
yòu 诱问 …… (253)
yū 迂喻 …… (17)
yǔ 语义飞白 …… (323)
yǔ 语音飞白 …… (321)
yǔ 语义巧移 …… (103)
yǔ 语义双关 …… (317)
yù 预言 …… (385)
yù 欲扬先抑 …… (366)
yù 欲抑先扬 …… (368)
yù 喻代 …… (46)
yù 喻意歇后 …… (310)
yuán 援 …… (118)
yuē 约喻 …… (27)

Z

zé 择语 …… (98)
zé 择喻 …… (16)
zēng 增动 …… (76)

zēng 增饰 …… (202)
zhé 折抵 …… (141)
zhé 折绕 …… (83)
zhèng 正衬 …… (360)
zhèng 正对 …… (152)
zhèng 正问 …… (256)
zhèng 正引 …… (119)
zhí 直喻 …… (2)
zhuǎn 转类 …… (106)
zhuǎn 转品 …… (106)
zhuī 追述 …… (384)
zì 字代 …… (47)
zì 字形飞白 …… (322)
zì 字喻 …… (282)
zì 自对 …… (154)
zōng 综合运用 …… (499)
zōng 综说 …… (203)
zǒu 走马对 …… (153)
zūn 尊称 …… (115)

1. 比　　喻

【比喻】 bǐyù （比 打比方 譬 譬喻）利用乙事物来说明与其本质不同而又有相似之处的甲事物。

①一站站灯火扑来，象流萤飞走……
一重重山岭闪过，似浪涛奔流……
（贺敬之《西去列车的窗口》）

②同胞兄弟，一个是虎，一个是猫。
（胡太玉《红马》）

例中“灯火”与“流萤”、“山岭”与“浪涛”、“兄弟”与“虎、猫”两者本质不同，但彼此均有相似之处：“灯火”与“流萤”都能发光，或明或暗；“山岭”与“浪涛”都有起伏，连绵不断；“兄弟”与“虎、猫”都有脾性，或凶猛或狡黠，因此可以作比。而比喻的作用，就在于能把陌生的东西变为熟悉的东西，把深奥的道理浅显化，把抽象的事理具体化、形象化。

一个完整的比喻在结构上包括三个组成部分，即本体（被比喻物），喻体（比喻物）和比喻词（标明比喻关系的词）。如例①中“灯火”、“山岭”为本体，“流萤”、“浪涛”为喻体，“象”、“似”为比喻词；例②中“兄弟”为本体，“虎”、“猫”为喻体，“是”为比喻词。而且有着一定的语序，即：本体＋比喻词＋喻体。然而在实际运用中，由于表达的不同需要，在构成方式上呈现出极为复杂多变的形态：或省略本体、或省略喻体、或省略喻词，或本体与喻体倒置、甚或用主体去修饰或映衬喻体，等等。这种状况，充分说明了这一辞格的复杂性和丰富的表现力。因此，对于比喻的分类，各家之说极不一致：有的名称相同，而界定迥异；也有的名称不同，而界定却相同或相近。根据本体、喻体、喻词的异同和隐显，一般修辞著作将比喻大都分为三种基本类型，即：明喻、暗喻和借喻。这是为大家所公认的。而在此基础上派生出来的其他种种类型，如：潜喻、逆喻、缩喻、较喻、属喻、疑喻、曲喻、反喻、择喻、回喻、顶喻、互喻、对喻、扩喻、

引喻、物喻、事喻、博喻、约喻、联喻、合喻等等，则并不为修辞学界所完全接受。因为这种分类并没有一个严格的统一标准，而各种类型也不是处于同一个逻辑层次上，因此也就不能构成一个较为完整而严密的体系。但作为一本工具书，为方便读者学习与研究，则有必要对各种类型的比喻加以简单的介绍。

〔**明喻**〕 míngyù （直喻）用“像”等喻词联结本体和喻体，以表明相类关系的比喻。

明喻必须具备两个条件：一是本体、喻体和喻词三者缺一不可。且本体和喻体之间在形式上是“相类关系”，而在本质上却是不同的事物；二是喻词必须是“像”、“似”、“如”、“犹”、“若”、“如同”、“好比”、“比方”、“仿佛”等明显性喻词。其结构形式通常为：本体＋明显性喻词＋喻体。

③科学和文学，
就像他和她。

（华罗庚诗）

④床上那个奄奄一息的老人，活脱脱如一段枯木。

（姜云生《绝唱》）

⑤夕阳把草原映得更加光辉灿烂。总司令那稳健的身躯，有如一株青松，在阳光照耀下，显得更加巍然高大。

（刘真《草地晚餐》）

⑥敌人进到直罗镇，真如同钻进了口袋。

（徐海东《奠基礼》）

⑦这种影响又往往是互相的，仿佛两只小船在湖上相撞。

（陈粤秀《心湖的涟漪》）

⑧有时我觉得，“吃”字的魅力之大，竟如传染病一般。

（苏叶《吃的悲哀》）

⑨政治运动又像糖葫芦似的，一个紧连着一个，时起时伏……

（赵云声 冼济华《奇特的明星》）

⑩在沟道较直的地方，好像火车奔驰；在沟道弯曲的地方，又宛如巨龙游动。

（《一次大型的泥石流》载《地理知识》1978年第3期）

以上例句中,“科学和文学”、“老人”、“身躯”、“敌人进到直罗镇”、“这种影响又往往是互相的”、“‘吃’字的魅力之大”、“政治运动”是本体(被比喻物);“像”、“如”、“有如”、“如同”、“仿佛”、“如……一般”、“像……似的”是喻词(标明比喻关系的词);“他和她”、“枯木”、“青松”、“钻进了口袋”、“两只小船在湖上相撞”、“传染病”、“糖葫芦”是喻体(比喻物)。例⑩稍有不同,承前省略了本体“泥石流”;但有喻词“好像”、“宛如”和喻体“火车奔驰”、“巨龙游动”,因此仍为明喻。

虽然,有“像”、“如”这类喻词是明喻的一个重要标志,但并非凡是有“像”、“如”这类词的句子都是明喻。例如:“历史揭开了新的一页。像吴吉昌这样的遭遇,连同产生它的时代背景,都一去不复返了。”(穆青、陆拂为、廖由滨《为了周总理的嘱托……——记农民科学家吴吉昌》)句中既无本体,又无喻体,以“像”引出一个例证而已,显然不是明喻。

〖**暗喻**〗 ànyù (隐喻 简喻)用“是”等喻词联结本体和喻体,以表明相合关系的比喻。

暗喻和明喻有相同的一面,即都必须有本体和喻体。但也有不同的一面:暗喻的喻词多为“是”、“成为”、“当做”、“变成”等表示判断意义的动词,且甚至有时可以不用喻词。因此,在表意上具有暗示性。暗喻的结构形式通常为:本体十暗示性喻词+喻体。但也有不用喻词的省略式。

⑪童年是一场梦,少年是一幅画,青年是一首诗,壮年是一部小说,中年是一篇散文,老年是一套哲学;人生每个阶段都有特殊的意境,构成整个人生是多彩多姿的心身的历程。

(台湾·丁思逸《友谊与爱情》)

⑫她那个人就是个成熟的水蜜桃,丰满柔润。

(美国·聂华苓《怎一个情字了得》)

⑬世界成了一张雄健美丽的脸,脸上写着一个字:爱。

(刘心武《电梯中》)

⑭远处绵延的燕山褶皱带作了首都的苍翠的屏障。

(徐迟《地质之光》)

⑮呵,雷锋!你,《国际歌》里的一个音符;你,红旗上的一根纤维;你,花丛中的红花一瓣;你,浪花里的一滴水!

（魏钢焰《你，浪花里的一滴水》）

⑯红色的大闸啊，狂涛上的长城，
红色的大闸啊，浊流上的山峰！

（严阵《淮河闸颂》）

⑰呵！井冈山——
宝塔山
——我们稳固的基石，
老红军——
老八路
——我们的钢骨铁梁！

（贺敬之《放声歌唱》）

⑱散文这枝花，现在自然也和“文学树”上各个枝丫的花一样，都在盛开。

（秦牧《海阔天空的散文领域》）

以上例⑪、⑫、⑬、⑭为暗喻的完整式。其中，“童年”、“少年”、“青年”、“壮年”、“中年”、“老年”，“她那个人”、“世界”、“燕山褶皱带”是本体；“是”、“就是”、“成了”、“作了”是喻词；“梦”、“画”、“诗”、“小说”、“散文”、“哲学”、“水蜜桃”、“脸”、“屏障”是喻体。例⑮、⑯、⑰、⑱为暗喻的省略式，即没有喻词。其中例⑮为呼语型：先对本体“雷锋”呼告，再用逗号表示停顿，然后再接喻体“音符”、“纤维”等。例⑯为并列型，先说本体“大闸”，后说喻体“长城”，两相平列、对称。例⑰为注释型，先说本体“井冈山——宝塔山”、“老红军——老八路”，再用破折号引出喻体“基石”、“钢骨铁梁”，以作为对本体的形象化的解释。例⑱为同位型。本体“散文”通过“这（枝）”与喻体“花”直接组合成同位复指。

〖**借喻**〗 jièyù 本体和喻词都不出现，直接由喻体取代本体的比喻。

借喻所表示的是喻体对本体的相代关系，在表意上较暗喻更为含蓄。

⑲阳婆把胭脂抹了一河，便匆匆地落了山。

（魏继新《夜河》）

⑳总是有月亮，世界有一半浸在银子里，另一半浸在墨汁里。

（苏叶《告别老屋》）

㉑总算双祥沉得住气，脸上没有出现冷霜。

（姜滇《亿元乡》）

㉒梁三喜面对全连，脸上"乌云翻腾"："……不象话！简直是不象话！"

（李存葆《高山下的花环》）

㉓"你忙啥?!"她长得很匀称的细长的手摩挲着孩子，朝我笑着说："看你这棺材瓤子，干活儿倒挺积极！你坐会儿。"

（张贤亮《绿化树》）

㉔"懒龙"笑道："哟，二位嫂子，也来锄地了。这么大的日头，你两个白黄瓜，今日晒成西红柿，明日晒成紫茄子，小心我哥嫌你不心疼了。"

（峭石《六月的田野》）

以上例句中，都是由喻体直接取代本体而达意：借"胭脂"比喻"晚霞"，借"银子"比喻"月色"，借"墨汁"比喻"黑暗"，借"冷霜"比喻"表情严峻"，借"乌云翻滚"比喻"表情复杂而愤怒"，借"棺材瓤子"比喻"身子骨枯瘦"，借"白黄瓜"比喻"身段白净细嫩苗条"，借"西红柿"、"紫茄子"比喻"经过曝晒劳累身子发生的变化"。所有这些，虽然没有出现本体和喻词，但并不妨碍意思的正确表达，相反的，还能使语意更加含蓄、隽永、风趣，留给读者更多想象的空间和回味的余地。

一般说来，借喻比较容易辨认。但有时也容易误将与本体有关的对象看作本体。如例㉑、㉒就可能误认"脸"或"脸上"为本体。如果那样，这两句就成了明喻和暗喻了。其次，借喻和喻代也容易混淆。喻代是在特定的语境中设喻之后，喻体取得"代称"资格而独立使用。关于这一点将在借代格中谈到。

〖**潜喻**〗* qiányù　只出现本体而不出现喻体和喻词的比喻。

㉕我到了自家的房外，我的母亲早已迎着出来了，接着便飞出了八岁的侄儿宏儿。

（鲁迅《故乡》）

㉖风呵，撕开这暑气，切开这暑气，把它撕成碎片。

（杜立达《暑气》）

潜喻能否独立作为比喻的一种类型值得商榷。主张者认为：潜喻是通过本体和喻体的相似点而揭出喻体的。如例㉕中的“飞出了”便是两者的相似点，通过它而揭出喻体“鸟儿”来，原句的意思就是：“接着便象鸟儿一样飞出了八岁的侄儿宏儿。”例㉖“撕开”、“切开”、“撕成”也是一样。原句的意思就是：“风呵，象人一样撕开这暑气……”。但也有人将示例所揭示的修辞现象归于借喻一类。不过更多的修辞著作则将它们单独立为一格：比拟。本书采纳第三种意见（详见本书比拟格）。

〖**逆喻**〗 nìyù （倒喻）本体和喻体次序颠倒的比喻。

逆喻实为明喻和暗喻的一种变式。因此有人称之为明喻倒置式和暗喻倒置式，而并不单立为一类。明喻和暗喻的常式是本体在前，喻体在后，中间用喻词联结。而逆喻则将本体和喻体的位置颠倒，因此，不少修辞著作仍将逆喻作为明喻和暗喻的一式；其中有“像”等明显性喻词的为明喻，有“是”等暗示性喻词或不用喻词的为暗喻。

㉗新游芦笛岩的时候，我们这些总算到过外国和国内好些地方的人，仍有神摇目眩、悚然一震之感，“此游奇绝冠平生”的诗句立刻飞上心头，就正像池塘里的水泡一个个向上冒一样，一串串感叹号从我肺腑里不断往上冒。

（秦牧《重睹芳菲访桂林》）

㉘像雏鸡缩在鸡蛋壳里一样，她缩在自己的梦中，用那支幼稚、黄嫩、软弱带着红红血丝的喙敲击着蛋壳一样薄脆的梦。

（乔雪竹《被鸟儿叫醒》）

㉙像吃药一般喝了一大碗早已吃厌的牛奶，又吞了一把围棋子似的，洋钮扣似的肺病特效药。

（丰子恺《敬礼》）

㉚如一粒种子在黑暗中酝酿、挣扎，以致毅然地长出嫩芽，旭日也是这样突破出来，又如毛虫在艰辛复杂的过程中蜕变为蝴蝶，太阳也同样经历很久的奋斗、摸索，才将黑夜化为黎明。

（草雪《第一线微茫》）

㉛百十个斜背响鼓的后生，如百十块被强震不断击起的石头，狂舞在你的面前。骤雨一样，是急促的鼓点；旋风一样，是飞扬的流苏；乱蛙一样，是闪射的瞳仁；斗虎一样，是强健的风姿，黄土高原爆出一场多么壮阔，多么豪放，多么火烈的舞蹈哇——安塞腰鼓！

（刘成章《安塞腰鼓》）

㉜远方，一只灰褐色的鸟儿闪动着翅膀，缓缓地沿着海面移动，那是一张帆。

还有，更大一只白色的鸟儿徜徉在天空，懒懒地翻动着丰厚柔软的羽毛，那是一片云。

（亚丁《遗失在海边》）

㉝更美丽的是，紧围着蓝色碧塔海的第一圈是红色的朝霞——那如火如荼的杜鹃花丛林；第二圈是绿色的轻云——那雪松和冷杉组成的森林；第三圈才是一颗颗晶莹的珍珠串成的项链——那一座座肩挨着肩的积雪的山巅。

（张昆华《杜鹃醉鱼》）

㉞有一些果树，开很细小的花，却结很硕大的果实；也有一些果树，结很细小的果实，却开着大朵的花。两种果树的两种风格："实而不华"与华而不实，在我们周围，不是有好些人也和它们各各依稀神似吗？

（秦牧《江上灯话》）

以上八例，其中例㉗、㉘、㉙、㉚、㉛是明喻形式的颠倒，都是喻体在前，本体在后，分别用"像……一样"、"……一般（薄脆）的……"、"像……一般"、"……似的……"、"如……"、"……一样，是……"等明显性喻词联结，其结构形式大体有两种：一是明显性喻词＋喻体＋本体，如例㉗、㉚；二是喻体＋明显性喻词＋本体，如例㉛；而例㉘、㉙比较特殊，前一句均取第一种形式，后半句则用喻体带明显性喻词来修饰本体，成为一个偏正词组。（这种形式要注意与比喻的另一种类型——缩喻——加以区别。）例㉜、㉝、㉞则是暗喻的倒置式，也是喻体在前，本体在后，其结构形式或是：喻体＋暗示性喻词＋本体，如例㉜；或是：喻体＋破折号"——"＋本体，如例㉝，这是注释型；或是：喻体＋本体，如例㉞，采用

平行句式。

逆喻的作用是为了强调和突出喻体，先给读者或听众以形象化的事物，然后才引出本体，容易造成新奇而意外的效果。

〖**缩喻**〗 suōyù （反客为主式比喻）省略喻词，本体和喻体直接组成“定中结构”偏正词组的比喻。

在缩喻中，本体变成修饰、限制成分，喻体变成中心语，本体和喻体的关系变成修饰和被修饰、限制和被限制的关系。其结构形式为：本体＋“的”＋喻体。也有时“的”字省略。

㉟用知识的犁铧去耕耘思想的荒野，用创造的利斧来开拓生活的道路吧！

（杜卫东《创造着是幸福的》）

㊱每次唱歌，都有唱有和，互相鼓舞着唱，互相竞赛着唱。有时简直形成歌的河流，歌的海洋。

（吴伯箫《歌声》）

㊲呵，也许白发的积雪
　　将会淹没我的头顶，
也许，岁月的河流
　　将会冲去我许多的记忆……

（贺敬之《放声歌唱》）

㊳朋友的理解，同学的慰藉，暖烘烘的空气是人脱掉太厚太厚心灵铠甲的前提。

（毛志成《踏在沉重的回忆上》）

在以上例句中，“知识”、“思想”、“创造”、“生活”、“歌”、“白发”、“岁月”、“心灵”、“是本体，“犁铧”、“荒野”、“利斧”、“道路”，“河流”、“海洋”、“积雪”、“河流”、“铠甲”是喻体。例㊳本体“心灵”与喻体“铠甲”之间省略结构助词“的”，但两者之间仍然是限制和被限制关系，因此仍为缩喻。

判断是否缩喻关键在于确定定语与中心语两者之间是否主体与喻体的关系，不可误将喻体之前的修饰或限制成分看作本体。如：“就这样，岁月一天天流逝，多少个丁香花开的季节过去了，儿子已经是门高

树大的小伙子了，还不见那女子回来。”（金克剑《过去》）“门高树大”并非本体，而“小伙子”也不是喻体，只不过是以“门高树大”这一词组的比喻义来形容“小伙子”而已。另外，还需注意：不可将某些逆喻与缩喻相混淆，如：“波涛似的群山”是逆喻，而“群山的波涛”却是缩喻。因为前者是本体与喻体倒置，而后者则是本体修饰、限制喻体。

〖**较喻**〗 jiàoyù （权衡式比喻 较物）本体和喻体互相比较的比喻。

在较喻中，被比喻物与比喻物之间不但是相似关系，而且是相比关系。前者是所有类型比喻的共同点，而后者仅是较喻独具的修辞特征。也就是说，较喻必须“喻中有比”。指出这一点十分必要。较喻一般都带一点夸张的意味。

㊴种菜要有土，这里光有沙，就是没有土，没有，那就动手搬呗！我们挖走一车车沙，运来一筐筐土，那土坷垃全是从几百里外运来的，真是比银豆豆金蛋蛋还珍贵呵！

（叶文玲《太阳的香味》）

㊵这一批青年人的经验就是幼儿园的阿姨，小学的老师，稍微带有点传奇色彩的话题大概就是中学里看大门的师傅的毡帽或者发生在公共汽车站的某一次殴斗。这一批人奶声奶气，瘦弱而又苍白，他们知道社会是什么？人生是什么？历史是什么？什么是崇高与伟大？什么叫信心与力量？他们所有的呻吟加在一起，也不过象蚊子叮了一口。

（王兆军《盲流世家》）

㊶看文学书而不懂鉴赏，恰等于皇帝时代，看守后宫，成日价在女人堆里厮混的偏偏是个太监，虽有机会，却无能力！

（钱钟书《释文盲》）

以上例㊴中，用“土坷垃”（本体）和“银豆豆金蛋蛋”（喻体）比较，本体超过了喻体，土坷垃比银豆豆金蛋蛋珍贵；例㊵中，用“所有的呻吟加在一起”（本体）和“蚊子叮了一口”（喻体）比较，本体不及喻体，所有的呻吟加在一起也不过象蚊子叮了一口；例㊶中，用“看文学书而不懂鉴赏”（本体）和“皇帝时代……，偏偏是个太监……”（喻体）比较，本体等

于喻体,“不懂鉴赏文学”与“太监虽有机会却无能力”差不多。

较喻一般容易辩认。但有时也可能造成误解。例如:“长风垭和青枫树都是五等小站,慢车停两分钟,快车一晃就过,车站小得像颗羊屎……”(汤保华《一生中的24秒》),象这样的例句就不能看作较喻(弱喻)。因为本体(车站)与喻体(羊屎)之间并没有进行比较,因此也就不构成相比关系,而读者也难于确定本体(车站)究竟是大于还是小于或等于喻体(羊屎)了。试想如果像这样的例句均一概归为较喻,那么凡是在大小、长短、深浅、轻重、高低、强弱等方面在程度上表示本体与喻体之间关系的比喻就不应排除在外。这样一来,较喻的界限也就过于宽泛了。因此我们认为:象“月亮小得像乒乓球”这样的例子就不是较喻,而象“月亮比乒乓球还小”这样的例子才是较喻。这个问题,还值得进一步探讨。

根据本体和喻体的相比关系和喻词的变化,较喻又可分为强喻、弱喻、等喻三种,即分别如例㊴、例㊵、例㊶。

〖**强喻**〗 qiángyù 两个事物构成相比关系时,本体超过喻体的比喻。

强喻常用比喻词构成“比……还”的形式,或用“胜过”、“强过”、“超过”及其他比喻词。

㊷应当尽力探求人生的丰富性、微妙性,用更多的艺术手段写出人的多样性、多面性。特别是,写出人的心灵,那比海洋还要广阔,比天空还要深邃的人的心灵。

(马瑞芳《人生是部读不完的书》)

㊸俺们村的姑娘,长得有几分人样的都嫁到城里去了,顶不济的也嫁到城边上的菜区,望着每天挤汽车上班的工人巴咂嘴。要从外边娶一个姑娘来,那可真比上天接仙女都难。咋说呢?穷呗。

(晓剑《透过雨濛濛的车窗》)

㊹这里的一草一木,一窗一桩、一桌一椅都是那种比酒还浓、比花更美的友情的忠实见证。

(巴金《从镰仓带回的照片》)

㊺童心——是善,是爱,是真的凝聚,它比雪白,比花红,比天

高，比水深，是一片神圣之地。

（刘白羽《爱是动人心弦的》）

㊻仿佛每块石头，每寸土地，都张开嘴吐着热气，一排六层楼房在号子声中拔地而起，显赫大方，与当初那婉约的阁楼相比，不啻是铜琶铁板唱大江东去！大江东去，浪淘尽……

（赵翼如《家乡的阁楼》）

㊼那时间，一谈到"社会关系"无不"色变"者，……"社会关系"变成了一具无形的精神枷锁，其可怕也，不下于一只白额吊睛大虫。

（老烈《社会关系学》）

以上例句中，都是本体超过喻体，分别用"比……还"、"比……都"、"比……还，比……更"、"比……"、"不啻是……"、"不下于……"等比喻词相联结，以表示相比关系。

〖**弱喻**〗 ruòyù 两个事物构成相比关系时，本体不及喻体的比喻。

弱喻常用的比喻词有"不及"、"不如"等。

㊽他是谁？他就是那一片枯黄了的落叶。不！他还不如那一片叶子重呢，他差一点被那一片干叶子压死。这样看来，比轻重，比力气，比智慧才华，比腿脚和思想的灵敏，他还不如一只小蚂蚁吧？

（刘真《一片叶子》）

㊾人们看惯了什么阔人的通电，什么会的宣言，什么名人的谈话，发表之后立刻无影无踪，还不如一个屁臭得长久。

（鲁迅《林克多〈苏联见闻录〉》）

严格说来，弱喻与强喻有时并没有明确的界限，因为对立的两面——强与弱是可以转化的，从顺向看是强喻，而从逆向看却是弱喻。所以，确定是强喻还是弱喻，仅仅认清本体与喻体进行比较的相似点还不够，还必须把握两者比较的方向。指出这一点是十分必要的。请看：

㊿几户富农和他们的家属现在胆子比兔子胆还小，干起活来比驴还听使唤，也不能昧了良心说人家坏。

（张贤亮《河的子孙》）

㊿古人有言：君子之交淡如水。我和百花文艺出版的交谊可以说比水还淡。

（罗大冈《我与百花》）

试将例㊽、㊾与例㊿、51加以比较，不难看出：前者为弱喻，因为从顺向看，本体不及喻体；后者为强喻，因为从逆向看，本体超过喻体。如例㊿是说富农们的胆小程度超过了兔子胆小的程度，而不是说富农们的胆小程度不及兔子胆小的程度。我们之所以有可能发生误解，除有上面提出的原因外，还因为人们常常脱离特定的语境而仅凭直觉或常理来判断本体与喻体的一般比较关系，误将逆向比较为顺向比较。

〖**等喻**〗 děngyù 两个事物构成相比关系时，本体和喻体在程度上相等的比喻。

等喻的比喻词常有“差不多”、“不相上下”、“等于”等。

52苏丽珠终于来了，来了就等于来了阵快乐旋风。

（王恒信《假面鼓手》）

53在村庄绝迹的绥远西北中公东公蒙旗中，一座金碧辉煌的喇嘛庙之突然出现，无异久航茫茫的太平洋，突然看到檀香山岛。

（范长江《塞上行》）

54世界要是没有光
等于人没有眼睛
航海的没有罗盘
打枪的没有准星

（艾青《光的赞歌》）

55你们想想看嘛，国家花上几百万，几千万办个大学，我们花几个钱，过几年捞回来十个百个大学生，不等于人家花钱造船，我们出个摆渡费？

（周喜俊《企业家的狂想曲》）

以上例句中，都是本体“相当于”喻体。只是例55稍有不同，采用反问的形式以加强肯定语气。

有人不承认较喻是比喻，其主要理由是：一、比喻一定是平比，而较喻是差比；二、这是形象的比较。但从上面的例子看，等喻也是“平比”。

或者说，是在“平比”中显示出形象的差异来，并带有比喻的意味。因此，我们认为较喻(包括等喻)还是可以成立的。

〖**属喻**〗 shǔyù （性喻） 喻体为属相或借它物作属相的比喻。

属喻通常都有本体、喻体和喻词。有喻词“属”是这一辞格必不可少的修辞特征，这也是其他类型的比喻所没有的。喻体所借的属相除十二生肖外，大多是由于表达的需要而临时借用的，而且本体和喻体之间的相似点一般都明确揭示出来，只有那些属相的特征已经为大家所习见熟知的，才可以省略。其结构的基本形式是：本体＋属性喻词＋喻体＋相似点。

㊻岚岚两头都护着，说：“这老小子是不象话！当初，我竟没有看出来，他居然和他老人是一个德性，属老鼠的，魂儿在地底下，一钻进地道把什么都给忘掉了！……

（范军昌《热障》）

㊼只有老牛筋能出这号点子。他是属鸭子的，肉煮烂，嘴也是硬的！”

（马烽《结婚现场会》）

㊽今儿黑间真有鬼，净出怪事，碰上黑胖子兵，还不稀奇。这种人原本属狗的，哪里有屎往哪里奔。

（杨朔《大旗》）

㊾这些老百姓都是属蚂蚱的，不按着不拉屎！

（林井然《巍巍的青峦山》）

㊿说起肖贵老汉来，肖龙湾的人都说，他是属铁箍子的，不管啥事，总得想个巧儿，捡一箍，沾点小便宜。

（果红星《肖贵轶事》）

(61)张胜良快活地说：“敌人就是属蜡烛的嘛——不点不亮。”

（《皖南烽火》）

以上六例，本体多为人；喻体多为临时借用的属相，有动物，也有非生物；相似点则多为人的个性特点或事物的本质特征。某些属喻，如例(61)明显地带有歇后语的特点，但是歇后语往往前半部为句子或词组，后半部分利用语言中同音或多义现象来表意，因此在构造上和运用上都

与属喻有所不同。尤其是绝大多数歇后语都不带喻词“属”。

〖**疑喻**〗 yíyù 将喻体说得似是而非的一种介于疑似之间的比喻。

疑喻的本体和喻体同时出现，喻词多为“疑”、“疑是”、“疑似”等。有时也采用问句的形式。本体和喻体的关系，似乎重合又似乎不重合，是一种似是而非、疑非疑是的关系。此类比喻，想象力强，通过喻体的类比联想，可以使本体更为形象生动，更能揭示其本质特征。

⑫飞流直下三千尺，
疑是银河落九天。

（唐·李白《望庐山瀑布》）

⑬梅花落处疑残雪，
柳叶开时化好风。

（唐·杜审言《大酺》）

⑭哦，天外飘来的必曲溪，你是昨日飘向今日的一缕绿色的思念？还是今日飘向未来的不凋的希望？

（沈世豪《武夷三章》）

⑮是遗落在草原的一轮满月么？是吟唱塞上的一支恋歌么？是散发芳香的一杯马奶子酒么？……

达赉湖，离边城满州里仅数十公里，很多人无缘和它相逢，它象一颗明珠淹没在呼伦贝尔草原的一隅被遗忘了。

（王文忠《呵，达赉湖》）

从以上例句看，疑喻在形式上与明喻或暗喻并没有根本的差别，所不同者仅在表意的含蓄和不确定性，作者故意将本体和喻体的关系说得信疑参半，从而产生一种奇妙的效果，令读者去悬想本体和喻体的相似点并回味其中的意趣。

〖**曲喻**〗 qūyù 从喻体的某一方面转移、联想到另一方面，再通过这种转移、联想使喻体和本体产生相似关系的比喻。

⑯大伯一直一个人过，脾气孤独，老爱喝酒，脸上总是布满着“阶段斗争风云”。

（黄传会《绿色悲喜录》）

⑰一个人被判刑20年，根本想不到活着出来的一天，何况我的结核病已经扩展到全身。肺结核，淋巴结核，腹结核，附睾结核……我快成了“核武器”了。

（冯骥才《我变了一个人》）

⑱阳春有些好奇……她走拢去，想问，又怕问错了给人家笑话，便对一个上了年纪的人讲：

“师傅，这地方盖这么一大片房子，谁来住呢？”听了脆生生的声音，所有的人都停下手里的活计，打量起这古木青山中突然飘落的仙子一般的姑娘来。

“又出了一个张家界。”

不知是哪个说了这样一句俏皮话，拿那森林考察队员们刚发现的这大山中的一颗明珠和阳春做比。

（蔡测海《远处的伐木声》）

以上例⑯中，“阶段斗争风云”本身是一个缩喻，即将“阶段斗争”的情况比作“风云”变幻，再由“风云”转而联想到满脸“愁云”，于是喻体的某一个方面和本体产生相似关系，构成曲喻；例⑰中，由喻体“核武器”的“核”转移联想到“结核病”，再由“结核病”转移联想到患病的“我”，于是喻体和本体产生相似关系，构成曲喻；例⑰中，用“张家界”作喻体来比本体阳春“姑娘”，因为张家界是“大山中的一颗明珠”，风景奇丽，再由风景奇丽转而联想到阳春姑娘的容貌美丽，于是如仙境般的张家界（喻体）和如仙子般的阳春姑娘（本体）在“美”这一点上产生相似关系，构成曲喻。由此可见，曲喻的构成比较曲折复杂，在表意上含蓄而有风趣。

〖**反喻**〗 fǎnyù （非喻）本体从相反或相对的方向否定喻体的比喻。

反喻是一种曲折地反映事物的修辞方式。它是从反面设喻，有本体，而无正面喻体，只有反面喻体。表面上，本体似乎否定喻体，实际上仍肯定了两者的相似关系。其结构形式通常为：本体＋否定喻词＋喻体。

⑲他申请下放回来，为着建设家乡。

他不像那些娇小多情的鸟儿仅仅是因为迷恋这边风光。

（谢璞《牛府贵婿》）

⑦⓪甭犯那憨啦，好巧巧，亲巧巧……咱二人不是一根蔓儿上的瓜！

（郑义《老井》）

⑦①如果美是专指“婆娑”或“旁逸斜出”之类而言，那么白杨树算不得树中的好女子。

（茅盾《白杨礼赞》）

⑦②你不是路边小草任践踏，
你不是水面浮萍任漂流，
多少亲人将你爱，
常把多多挂心头。
看这些小熊猫、小花狗，
伴你欢乐解忧愁。

（郁小庭 张棣华《苏州弹词〈多多〉》）

以上各例，都需从喻体的反面去认识本体，认识本体与喻体的相似点；而这个相似点又是通过否定本体与喻体的不似点来“暗示”的，因此也就格外耐人寻味。说“白杨树算不得树中的好女子”，还可以让人猜想出“白杨树是树中的伟丈夫”；说“你不是路边小草……，你不是水面浮萍……”，那么究竟会是什么呢？恐怕就让人难以作出肯定的答复。当然也没有必要作出答复。唯其如此，反喻这种以反托正的特殊方式就更能引发读者的想象和思考。

〖**择喻**〗 zéyù 在若干喻体中，选择最能说明本体的喻体而排除其他喻体的比喻。

择喻与反喻不同。反喻表面上是对喻体的否定，实际上仍肯定它与本体的相似关系，而择喻是在若干喻体中选择新的喻体。其结构形式大致为：本体＋否定喻体甲＋否定喻体乙＋喻体丙。

⑦③“这个手术我来给你做，希望你能配合我。”话语轻柔得像一团云，一团雾。不。像一团松软的棉球，轻轻地擦着疼痛的伤口。

（任平平《第八颗是智齿》）

⑭你不是三月的繁花，你是花枝上的一点水珠；你不是金秋的硕果，你是果树下的一方泥土。

（乔羽《雨露与泥土——无名者之歌》）

⑮你不像腊花，仅仅有个外壳，你不似绒花，只能点缀生活，你不是鲜花，终究都要凋落，你是风的产物，海的杰作。

（纪宇《浪花呵，你在说什么》）

⑯东方人于文学喜欢抒情的东西，喜欢沉潜而有内涵的东西，但要不伤于凝重。那感觉像玉石般玲珑温润而不像玻璃，要像绿茶般于清甜中带点涩味，而不像咖啡加糖加牛乳。

（《沫若文集》第13卷）

从以上例⑬、⑭、⑮中可以看出：择喻前半部分近乎反喻，本体否定喻体；后半部分则用肯定的方式重新选择新的喻体。如例⑬首先排除两个不恰当的喻体“云”和“雾”，然后再选择一个新的更为贴切的喻体“棉球”。这就不仅符合医生职业的特点，而且符合患者当时的心态。例⑯与前三例稍有不同，先选定了一个喻体而后排除其他喻体。但修辞效果并无区别。总之，择喻中多个喻体或对照，或映衬，在表意上就更为丰富、委婉而有情致，它能从多方面揭示本体与喻体之间的相似点。

〖**回喻**〗 huíyù （迂喻）先提出喻体，然后又否定喻体，最后引出本体的比喻。

回喻就是迂回设喻。它在形式上与择喻十分相似，都是“先否定，后肯定”。但回喻与择喻却有本质的不同：择喻是否定喻体，重新选择新的喻体；而回喻却是先否定喻体，再回归本体。其结构形式大致为：喻体＋否定喻体＋本体。

⑰一根细线从断崖绝壁挂下去，风一急，好像会吹断的。其实不是线，是一条羊肠小道。

（杨朔《西江月》）

⑱在正对面的山腰中，有一大块白云。慢慢的浮动。仔细一看，那不是白云，而是羊群。井岗山垦殖场的牧羊姑娘们已经开始了一天的工作。

（杜宣《井岗山散记》）

以上例㊼中，先提出喻体“细线”，然后加以否定，再引出本体“羊肠小道”。例㊽也是一样：先提出喻体“白云”，然后加以否定，再引出本体“羊群”。但下面的例子却有所不同：

凌白鹏一席话若一声说书先生的惊堂醒木，不，该是一声黄钟大吕。

（吴翼民 吴凤珍《真迹》）

表面看来，虽然也是先否定了喻体“一声说书先生的惊堂醒木”，但接着引出的却并不是本体，而是重新选择一个新的喻体“一声黄钟大吕”。由此可见，确定是回喻还是择喻，首要的不在是否先否定了喻体，而在最后的结果：是选择新的喻体还是回归原来的本体。

回喻在表意上显得曲折婉转、新奇巧妙。

〔**顶喻**〕 dǐngyù 将喻体转而又兼作本体的一种连锁式的比喻。

顶喻兼有比喻和顶真两种辞格的特点。它是两个比喻蝉联而下，不可分割。因此，既有比喻形象鲜明的优点，又有顶真回环起伏的韵味。其结构形式大致为：本体＋喻词＋喻体＋喻体（兼本体）＋喻词＋新喻体。

㊾独上江楼思渺然，
月光如水水如天。

（唐·赵嘏《江楼感旧》）

㊿思想……
是炉火
炉火是墙上的树影，
是冬夜的声音。

（冯文炳《十二月十九夜》）

以上例㊾是两个明喻顶接，“水”先作喻体，转而又作本体。例㊿是两个暗喻顶接，“炉火”先作喻体，转而又作本体。由于同一事物需同时兼具喻体和本体的双重作用，并且必须采用顶真的形式，因此也就更能显出顶喻刻意造语修辞的新奇与工巧。而这也正是顶喻较其他类型的比喻为少见的原因。

〔**互喻**〕 hùyù 本体和喻体互相设喻，即先用喻体比本体，再用本体比喻体的比喻。

互喻兼有比喻和回环两种辞格的特点。在同一语境中，原本不同的两种事物交互为喻，融为一体，从同一个相似点向两个角度引发读者的联想，格外耐人寻味；而在结构上常常采用回环的方式，读来又别有一种韵致。其结构形式大致为：本体＋喻词＋喻体，喻体＋喻词＋本体。

㉑三月雨是梦，梦是三月雨，是悠悠扬扬汇成的小溪，在我心坎里绵绵延延滴滴哒哒荡漾而去。

（马欣《依依墟里烟》）

㉒每当我沉浸到对母亲那亲切的嗓音的回忆中去之后，我就能逐渐地直至完全地重新进入当时的情绪和气氛之中，甚至达到心灵的某种微妙的痛楚。呵，难道这就是文学和音乐的魅力吗？而这种魅力则是同母亲对我的深沉的母爱不可分割地联结或溶合在一起了。呵，诗，母亲！诗是哺育我的母亲，而母亲是我心中的诗啊！

（屠岸《吟诵的回忆》）

㉓在她，工作就是游戏，游戏就是工作。

（冰心《关于女人》）

㉔都说天上的星星象人的眼睛，我愿我的眼睛象天上的星星。大白天能认出东南西北有什么希罕，要紧的是能够看清黑暗中发生的事情。

（王怀让《唱给我自己的歌》）

以上例㉑、㉓与例㉒、㉔在形式上略有不同。前者都是两个暗喻顶接回环，联成一体，结构严谨规一。而后者的前后本体和喻体虽无变化，但修饰或限制语却稍有不同，并且在衔接上也夹插了别的词语。不过，即使如此，仍然具有互喻和回环的特点和修辞效果。

〔**对喻**〕 duìyù 本体和喻体两相对称的比喻。

对喻强调形式上的对称，兼有对偶的特点，在民歌、民谚、古诗中最为常见，除形象鲜明之外，对喻还有对句工巧，句式匀称，节奏和谐，易于记诵的优点。其结构形式为：本体对喻体。

㉕抽刀断水水更流，
举杯消愁愁更愁。

（唐·李白《宣城谢朓楼饯别校书叔云》）

㊻油灯不拨不亮，
真理不辩不明。

（《第十四个春天》）

㊼俗话讲，一个篱笆三棵桩，一个好汉三个帮。我不是好汉，但我手下需要几个得力的人。

（古华《芙蓉镇》）

㊽树大根多，人老话长。罗莎在这方面毫不例外。

（查建英《献给罗莎和乔的安魂曲》）

以上四例，都是喻体句在前，本体句在后，在这一点上，与逆喻颇为相似，但对喻的两句之间一般都不带喻词。也有本体句在前，喻体句在后的，如“人有悲欢离合，月有阴晴圆缺”（宋·苏轼《水调歌头》）。

〔引喻〕 yǐnyù 由喻体或本体中的一方引出另一方以构成平行句式的比喻。

引喻在结构上比较复杂一些，它不再是词与词的打比方，而是发展到句与句了，其特点是本体和喻体平行并列，且无喻词，有一方引进另一方的意思。

㊾响鼓不用重槌敲。聪明的马英马上明白了父亲的意思。

（顾笑言《你在想什么》）

㊿黄金无假，麒麟无真，他王秋赦是个十足成色的无产阶级。

（古华《芙蓉镇》）

(91)鸟儿爱美，不仅需要羽毛之美，还要鸣声婉转之美；鱼儿爱美，不仅需要鳞甲之美，还需要沉浮活泼之美。人爱美，不仅需要衣服居室之美，还需要语言美和动作美。

（周有光《漫谈礼貌语言》）

(92)一天，老书记拉着她的手，说：“明春哩，珍珠李开了花便要结果子，巧山雀翅硬了就该出林子。这样，我们送你去当军工。”

（欧阳祖照《布依女儿》）

(93)不停地进击，这是企业家的性格特征！雄鹰只有振翅搏击，才能享受宇宙的空旷，蓝天的灿美。

（周嘉俊《企业家的狂想曲》）

⑭一线希望，反复掂量。秦浩终于下了决心——飞驰骏马不能怜惜脚下的小草，呼啸的列车不能顾路上的石子。

（李存葆《山中，那十九座坟茔》）

以上六例，前四例是比喻物在前，被比喻物在后；后两例则是被比喻物在前，比喻物在后。其中例⑩、⑪、⑫、⑭又分别各有两个喻体。由于引喻采用平行句式，在结构上就比较灵活；而不用喻词又使之具有暗喻的特点。只是本体与喻体的关系要隐晦曲折得多。因此引喻在表意上既有印证、对照和映衬的作用，又有含蓄隽永、发人深思的效果。

〔**扩喻**〕 kuòyù （类比）将本体或喻体一方加以扩展延伸的比喻。

一般修辞论著对扩喻和引喻均少有论及，而个别专著也是仅取其一，不取其二，并且界定互相矛盾，示例多有混同。为此，我们将扩喻和引喻的定义重新作了修正，以便将两者区分开来。

扩喻的结构形式大致为：扩展式本体（喻体）＋扩展式喻体（本体）。

⑮这些活越来越急促，像机关枪的子弹疯狂地扫射过来，拚死命也抵挡不住，一颗颗地都穿透了心坎，穿透了五脏，打得粉粉碎碎的，打得光光的，只剩下一个空洞洞的躯壳坐在那里一动也不动！

（台湾·王默人《留不住的脚步》）

⑯李太太深知缺少这个丈夫不得，仿佛亚剌伯数码的零号，本身毫无价值，但是没有它，十百千万都不能成立。任何数目后加个零号便进了一位，所以这零号也跟着那数目而意义重大了。

（钱钟书《围城》）

⑰袁相舟自己到了老年，倒真好比一团面，碱多碱少刚合适，水大水小才适当，揉也揉到家了，醒也醒足够了。发得柔和、松软、舒展、饱满，外加不到火候学不会的那种乐天。

（林斤澜《袁相舟》）

⑱她是一个弱者，她是一个女人，她受不住泰勒身上那种浅薄而又眼花缭乱地诱人的魅力。就像小时候吃酱油瓜子儿一样，她爸爸告诉她，连老师都告诫她不要再吃瓜子儿了，她的两颗上门齿都因为磕瓜子儿磨出了缺口，吃瓜子吃得口焦舌燥，烂嘴角，口腔里

起泡，但她始终没有摆脱得吃瓜子儿。

（王蒙《相见时难》）

⑨⑨埃及一座最大的金字塔用二百多万块巨石砌成，当人们观看这座高一百四十多米的金字塔的时候，往往惊叹地望着它的高耸的塔顶，但是塔底呢？没有巨大的塔底，怎么产生那光辉的塔顶，没有庞大的小学生队伍，怎么会产生庞大的中学生队伍、大学生队伍？怎么会产生尖子、人才？

（陈祖芬《人生的抉择》）

⑩⓪纽弩长得又高又瘦，两条腿特别长，真象一只鹤。他如鹤一样的清丽，鹤一样的高昂，鹤一样屈着一腿独立凝思，鹤一样展开双翅，高翔云天。即使在生命的长途上，遭逢了多少煮鹤焚琴的迫害，他还是飘然云端，俯瞩大地的一切，发出震动长空的鹤唳。而今天，终于"黄鹤一去不复返，白云千载空悠悠"，我们又上哪儿去找纽弩呢！

（楼适夷《说纽弩》）

以上六例，前四例由喻体一方扩展延伸开去，这是扩喻的主要形式；后两例则主体与喻体两方均有扩展延伸，特别是例⑩⓪本体和喻体融为一体，难以分开。从结构上看，扩喻较之前面提到的各种类型的比喻显然要复杂得多，因而表意也丰富得多。它的本体和喻体已不再是简单的词语和句子，而是多重复句、句群或语段。而本体和喻体也不再是一般的相似关系，而是带有事理相类，加以比较的性质。所以也有人称扩喻为类比。由此可见，扩喻是介于词句类比喻和所谓篇章类比喻之间的一种过渡形式，它的作用已经开始超越通常的修辞范围，多少具有写作方法的性质。这一点在物喻和事喻上表现得更为明显。

〖**物喻**〗* wùyù　以叙述或描写一个具体而完整的事物为喻体，与作者所要说明的对象构成相似关系的比喻。

物喻能否作为辞格，至今尚无定论。因为它已经超出一般的修辞范畴，而属于篇章结构与写作技巧的问题。

⑩①雌蝉谢世前，痛苦地将纤细的尾针刺入鲜活的树枝内，产播下生命的种子。带卵的枝条伴着秋风枯萎了，堕地了。抑或大雪

压埋，抑或暴雨冲淋，便有部分蝉卵投进泥土，开始了艰难的生的里程。卵变幼虫，幼虫吸地气啜根液，历三冬经五暑，始发育为成熟的蝉猴儿。当惊雷炸响夏雨呼唤时，蝉猴儿夜出"地牢"，躲过毒蛇阴险的舔舐，避开蛤蟆贪婪的口腔，蠕动着爬上了树干。抽搐、挣扎、昏死；裂背、探爪、脱壳、舒翼……终于，一个沾满污秽的泥猴儿蜕变为乐声聒耳的蝉。儿时，我们夜窥蝉蜕，乃稚趣使然，倒不是探寻什么哲理；年龄及长，教科书告诉我们，蝉猴儿夤夜间的变异，仅是一次生的翔舞，而在此之前，它在泥土的炼狱里已经有过五次蜕变……

世上万千生灵的诞生都是那般痛不堪言，而异体蜕变恐为甚之。世上蝴蝶凡14000种。凤蝶、弄蝶、绢蝶、粉蝶、环蝶、灰蝶、蛱蝶、斑蝶……不胜枚举，它们穷形尽相，各臻其致，雄飞雌从，竞相媲美，然而，它们的前身则都是丑不可睹的蛹。蛹中成虫抖颤着咬破蛹皮，噬啃出一条生路，才变为穿花度丛的彩蝶。世上还有一个庞杂的鸟的家族，它们呢呢喃喃，千鸣百啭，组成了一支支大自然的合唱队，然而，它们的前身则都为毫无缝隙的蛋。温度适宜时，受过精的蛋会孵化出鸟雏儿，鸟雏儿在混沌中用其稚嫩的喙啼血啄开蛋壳，才获得了拥抱蓝天的自由……

封闭的蛋飞出流动的诗，丑陋的蛹现出五彩的画，猥琐的泥猴儿唱出美妙的歌，异体蜕变是生的奇观，美的礼赞！

蛇年初度，我们来到青岛，采访刚刚在全国电冰箱评比中折桂的青岛电冰箱总厂。往昔，提及青岛，人们总是首先谈起蜚声中外的青岛啤酒，今日，琴岛——利勃海尔在角逐中独占鳌头，更使青岛芳名远播。然而，谁人知道，"琴岛"这朵令人艳羡的"国花"，原是在小生产的荆棘丛中绽开花蕾的。当我们沿着开拓者记忆的小径，去俯拾改革的花瓣时，才惊诧地发现，仅在四年前，这座现代化的工厂还是那般混沌未开，它与那封闭之蛋，丑陋之蛹，周身沾满泥垢的蝉猴儿又何其相似！

（李存葆 王光明《蜕变》）

102 好像是一条干涸了许久的河，河水没有了，裸露出来的只

有沙石的丑陋和寂寥。突然，春已归来，春回大地，那歌唱着、叫嚷着、嬉戏着奔涌而来的是浩荡的清流。河里又有了水了！于是有了浪花，有了波纹，有了先知冷暖的白鸭，有了用石片打水漂儿的孩子，有了小船，有了鱼虾，有了虫，有了蜻蜓，有了吃鱼的水鸟，有了岸边的垂柳，有了提水灌溉的水车，有了一边踩着水车一边说笑、调情的青年男女……如果所有这些，都发生在一个短短的时间里，这不是使河床自身也会感到惊异的吗？

翁式含和赵韵回到了北京，回到了他们原先的工作岗位。所有的轮子全面运转。所有的渠道全面流通。转关系、报户口、领粮食和副食供应本子、外加托老朋友办的为照顾他这个刚刚落实政策归来的迁回户而发给他的双人床票、大衣柜票、折叠椅票——简直象是新结婚。还有补发的十年工资的存折，穷惯了的人一下子领那么多钱似乎有点不好意思，甚至觉得好象是突然捡到一个大钱包。

（王蒙《相见时难》）

以上例101作者生动地叙述鸣蝉历经五次蜕变的生命史，以及蛹化为蝶、蛋变为鸟等情况，意在以此为喻，形象地说明蜚声中外的青岛电冰箱总厂艰难起飞的历程。例102作者细致地描写冬去春来一条干涸的小河的巨大变化，说明翁式含和赵韵因落实政策，自边疆重返北京所遇到的种种复杂情况。像这种“托物言志”和“以物喻理”的手法虽然不无比喻的特点，但更多的已属于写作方法的问题。在文学作品中，这种手法十分常见。

〖**事喻**〗* shìyù 以叙述一个故事为喻体，来说明一个道理的比喻。

和物喻一样，事喻能否作为辞格，至今尚无定论。其理由和物喻基本相同。而某些事喻又与讽喻有所重合（详见本书“讽喻”一格）。

103 我梦见自己正在小学校的讲堂上预备作文，向老师请教立论的方法。

“难！”老师从眼镜圈外斜射出眼光来，看着我说：“我告诉你一件事——

“一家人生了一个小男孩，合家高兴透顶了。满月的时候，抱出

来给客人看——大概自然想得一点好兆头。

“一个说：‘这孩子将来要发财的。’他于是得到一番感谢。

“一个说：‘这孩子将来要做官的。’他于是收回几句恭维。

“一个说：‘这孩子将来要死的。’他于是得到了一顿大家合力的痛打。

“说要死的必然，说富贵的说谎。但说谎的得好报，说必然的遭打。你……”

“我愿意既不谎人，也不遭打。那么，老师，我得怎么说呢？”

“那么，你得说：‘啊呀！这孩子啊！你瞧！多么……。呵唷！哈哈！Hehe！he，he he he he！’”

（鲁迅《立论》）

(104)在古代希腊人的神话中，曾有一个著名的英雄，他名叫安泰，据神话所说，他的父亲是海神波赛东，他的母亲是地神盖娅。他非常爱慕自己这生育、抚育和教导了他的母亲。这安泰很有力量。任何英雄都战他不过；……他的力量就在于每当他与敌人决斗而遇到困难时，他总是在地身上，就是说，在生育和抚养了他的母亲身上靠一靠，于是就得到新的力量。可是，他终究有他自己的弱点，就是害怕人家用某种方法使他脱离地面。……有一次，他碰到一个敌人，这敌人名叫海尔枯里斯。……敌人设法使他离开了地面，把他举在空中，使他失去与地面接触的可能，于是就在空中把他扼死了。我认为，布尔什维克也好似这个希腊神话中的英雄安泰一样。也正好似安泰一样，布尔什维克之所以强有力，就是因为他们与自己那生育、抚养和教导了他们的母亲，即群众，保持着联系。

（欧阳山《高乾大》）

从以上两例看，事喻和所谓物喻的不同之处仅在一者以“物”为喻，一者以“事”为喻；而“物”和“事”有时又是难以截然分开的。它们能否作为比喻辞格的确值得商榷。在一篇文章中，如果只是某一个片断采用这样的表达方式，如例(102)、(104)之类，还可以说多少带有修辞的意味，而如果通篇都采用这样的表达方式来立意谋篇，如例(103)，那就应该属于写作方法的问题了。（这个问题有必要作进一步研究。）

〖博喻〗 bóyù （复喻 连比 莎士比亚式比喻）由两个以上的喻体来说明或描绘一个本体的比喻。

(105) 曼谷，一幅多彩的画，一个奇异的梦。

（艾明之《泰国漫游·〈曼谷，奇异的复合〉》）

(106) 萝卜花眼发出一种奇怪的嘶叫，像马，像猫、像猴。

（矫健《独臂村长》）

(107) 银河低垂，伸手就能抓把星星，弯月高悬，是女子的一道秀眉，是一柄金色的禾镰，是一只无帆的小船。

（叶蔚林《五个女子和一根绳子》）

(108) 因有远离故土，久镇边关的军人，便有赤日般强烈，漠风般狂放、雪山般冷峻、旷野般苍凉的诗句。

（晓桦《军人走进大西北》）

(109) 站在这样的名花面前，真叫人连大气儿也不敢喘。花儿的色彩是纯正的深桃红，比玫瑰紫多几分鲜亮，比珠砂膏多几分妖娆，比洞房的锦帐多几分灵气，比凤凰的彩羽多几分幽香，若是把王母娘娘的蟠桃会上每个红桃尖儿都咬下来配作一处，也不及这花儿娇艳。

（航鹰《大墙内外·杜鹃》）

(110) 他们还能理解我们的像春天的雏燕，像折了翅膀的小鹰，像被大风吹来吹去的蒲公英，像刚刚浇过粪稀的萝卜缨，像奔腾泻下的瀑布，像在乱石湾里转弯的流水，像凌晨四点钟顶着鲜红的肉冠子打鸣的雄鸡，像正在脱毛的光秃秃的小鸡，像在天空爆响的二踢脚，像又冒烟又滋拉滋拉地响的湿柴上的火苗子，像含苞欲放的鲜花，像被虫子咬得缺了瓣儿的花儿一样的青春吗？

（王蒙《深的湖》）

以上例(105)为暗喻的形式，一个本体两个喻体，无喻词；例(106)为明喻的形式，一个本体三个喻体，有喻词“像”；例(107)为暗喻的形式，一个本体三个喻体，有喻词“是”；例(108)为逆喻的形式，一个本体四个喻体，有喻词“……般……”；例(109)为强喻的形式，一个本体四个喻体，有喻词“比……”；例(110)为逆喻的形式，一个本体十二个喻体，有喻词“像

……一样”。由这些例句即可看出：博喻本身并没有独具的辞格特征。它不过是某些基本类型的比喻的扩大化而已，区别仅在于增加了喻体的数量。然而尽管只此一点，却大大丰富了这一辞格的表现力，它可以多角度地揭示本体和喻体的相似点，而形式上也因此变得生动活泼起来。比如三个以上结构相同的喻体就构成一个排比，这样它就兼有两个辞格的特点：除了形象性强之外，还能给人酣畅淋漓的语感。

〖**约喻**〗 yuēyù 与博喻相反，由一个喻体来说明或描绘两个以上本体的比喻。

(111) 我没有判断明白，便妄下断语，冤苦了一只不能说话辩诉的动物。想到它的无抵抗的逃避，益使我感到我的暴怒，我的虐待，都是针，刺我良心的针！

（郑振铎《猫》）

(112) 看了卡拉玛姐妹的舞蹈，使人深深地体会到印度的优美悠久的文化艺术：舞蹈、音乐、雕刻、图画……都如同一条条的大榕树上的树枝，枝枝下垂，入地生根。

（冰心《观舞记》）

以上例(111)暗喻的形式，两个本体，一个喻体，有喻词“是”；例(112)为明喻的形式，四个本体一个喻体，有喻词“如同”。和博喻一样，约喻本身也没有独具的修辞特征；所不同者仅在于前者喻体多而本体少，后者喻体少而本体多。由于约喻一般只有一个喻体，因而更能概括多个本体的共同特征，使之更为鲜明、突出。

〖**联喻**〗 lianyù （贯喻 类喻） 一句中的喻体包容了另一句中的喻体的比喻。

(113) 涟漪总如一张抒情的唱片，有舟如唱针般划动它。

（梅南频《渔舟唱晚》）

(114) 白河是一根悠长而粗犷的藤，我那故乡的寨子也便成了藤上结的瓜儿，长大后，远离故乡，我时常如斯比方。

（柳丛梦《白河板晋》）

(115) 弯曲的古巷真是一柄镰刀，高墙低屋是它的黧黑的刀背，青石板小街是它的灰白的刃壁，那条小河依街巷弯曲淙淙流淌，河

水清澈明亮，是它的闪闪发光的锋利的刀刃……

（陈源斌《仇杀》）

(116) 晴天的早晨，假如没有风，血红的太阳和缤纷的彩霞静静地溶化在湖水里，湖面就像一块巨大的彩色玻璃。两只罱湖泥的小船在湖中缓缓滑行，那轮廓分明的剪影，使人想起两只吃力地在玻璃上爬的黑甲虫，两对长长的罱泥夹子，就是甲虫晃动的触须。……

（赵丽宏《沈畔·远山、远山》）

(117) 岛屿的形状不正象是一只巨鹰？海，倒过来的蓝天，雪浪花，翻涌飘游的白云，起伏的山峦，正是巨鹰扇起的翅膀，我就立在翅膀之上！

（张岐《我熟悉的那座山》）

(118) 我写《南归》的时候，只感到我是在描绘从我眼前掠过的、十分真切的人物、情、景的一幅幅画面。我手里握着的不是笔，是兵士手里的枪，是舟子手中的桨，是伐木者手中的斧子。而从那支枪里发出的一万多火热的子弹，从那支桨下划起一万多朵冰冷的浪花，从那斧子砍下的一万多根尖利的树枝，都朝着我的“心”射来、溅来、刺来……使得我这一篇最长的散文，成了我不敢重读的从我血淋淋的心中流出来的充满了血泪的文字！

（冰心《关于散文》）

以上例(113)有两个层次，第一层次是一个明喻，第二层次也是一个明喻；例(114)有两次层次，第一层次是一个暗喻，第二层次也是一个暗喻；例(115)有两个层次，第一层次是一个暗喻，第二层次是三个暗喻；例(116)有三个层次，第一层次是一个明喻，第二层次是一个暗喻，第三层次是一个暗喻；这四个例句都是后一个比喻句容于前一个比喻之中。例(117)有四个层次，第一层次是一个明喻，所采用的是反问句的形式，第二层次是一个暗喻，第三层次是一个暗喻，第四层次是一个暗喻，它们之间的关系比较复杂，第四个比喻包容于第三个比喻之中，而第一、第三个比喻又包容于第二个比喻之中；例(118)有两个层次，第一层次是一个博喻（包含三个暗喻），第二层次是三个借喻，其喻体“子弹”、“浪花”、

“树枝”所喻的本体都是“语言文字”，前后两层采用合叙分承的方式，后者分别依次包容于前者三个暗喻之中。从这些例句可以看出，联喻是各种基本型比喻在运用上的复杂化，其结构方式本身并没有独具的修辞特征，它所揭示和描绘的是作为本体的各个客观事物之间的关系，因此喻体之间也就有了一种包容性和连贯性，上下勾连，互相依存，在表情达意上更为丰富多彩。

【合喻】* héyù （混喻）若干种比喻手法在同一语境中综合运用的比喻。

严格说来，合喻不能单独作为比喻的一种类型，因为它本身不仅没有独具的修辞特征，而且就是在运用上也不象博喻、约喻和联喻那样有某些规律可循。它是某几种比喻的无规则的混用。

119 当我伫立碑前，岁月的野马便以翻飞的乱蹄疾驰而过。我，就是马背上的勇士，厮杀，奔突，作一支永恒的响箭。

（晓桦《断碑》）

120 二姐陶婉本来在家里文化水平最高，她沉沉静静地：“也不能太老实。小柱本来就是个‘闷头喙’，再来一只‘缄口乌’，岂不是受人欺负？还有一条，起码是初中毕业生。……”

（李叔德《赔你一只金凤凰》）

121 一排排雷霆在他宽阔的胸膛里滚炸轰响，血液像滔滔洪水冲击着心脏的闸石。

（矫健《独臂村长》）

122 什么叫美感享受呢？就是读了心头觉得舒服，好比夏天吃冰糕，冬天吃狗肉。对，诗就是冰糕，诗就是狗肉。诗不是火，更不是剑，连辣椒都不是。

（流沙河《这家伙——流沙河自白》）

以上例119中“岁月的野马”是缩喻，“我，……作一支永恒的响箭”是暗喻。例120中“小柱……是个‘闷头喙’”是暗喻，“缄口乌”是借喻的喻体，代本体“老实姑娘”。例121中“雷霆”是借喻的喻体，代本体“愤怒情绪”，“血液像滔滔洪水”是明喻，“心脏的闸门”是缩喻。例122中“美感享受”、“好比夏天吃冰糕，冬天吃狗肉”是明喻，也是博喻，“诗就是冰

糕，诗就是狗肉”是暗喻。“诗不是火，更不是剑，连辣都不是”是反喻。

比喻除上述24种外，还有夸喻、动喻等、由于其辞格特征不够鲜明，且与其他各类多有重合，故暂时略去。

总之，比喻是修辞格中的一个大系统，还有待于进一步研究和总结。

2. 比　　拟

【比拟】 bǐnǐ （拟态）把物当作人或把人当作物、把此物当作彼物来描写。

①宾馆酣醉在春夜的怀抱里。

（冯德英《西小地》）

②你躺在那张病床上。……

就这样，你一点点耗尽了灯油，熄灭了你的光。

（严文井《啊，你盼望的那个原野》）

③这里比巴黎的旅馆里静，我仿佛听见夜在窗外不停地跑过去。

（巴金《随感录》）

例①将宾馆和春夜都当作人来描写；例②将人当作一盏耗尽油而熄灭的灯来描写；例③将夜当作能跑的人或动物来描写，这就是比拟。

比拟的特点是凭借客观事物，充分展开想象，使人与物、此物与彼物、生物与非生物、抽象概念与具体事物，在习性或品格上，在特征上，相互沟通，以彼拟此，具有思想上的跳跃性。它的作用是促使读者产生联想，使描写的人、物、事的某种品格或特征，获得异乎寻常的形象、生动的表现。

④印家厚的目光抓住了车间主任的目光，无声却又明确地告诉他：你错了。

（池莉《烦恼人生》）

⑤然而，他不敢想象他老婆的看法，他不由朝雅丽看了一眼，然而随即便又后悔了，因为雅丽读懂了他的眼神。

（同上）

例④将印家厚的目光拟作有手的人或有爪的某种动物，将车间主任的目光也拟作了某种实物；例⑤将“他的眼神”拟作了某种读物。这是有现实基础的，因为人的目光是可能相遇而又躲闪不开的，人的眼神是可以传达明确意思的。然而，目光终究没有手或爪，眼神中也没有字，比拟就必须借助想象，而凭借客观事物的想象，在表达中是可信的，是可以和读者的想象沟通的，以上二例的以目传情达意就势必在读者心中印下深刻而生动的影象。

比拟分拟人和拟物两种。

〖**拟人**〗 nǐrén 把物当作人来写，临时赋予某种物以人的某种品格。

⑥金光绕指的番客婶，腰缠万贯的土财翁，翩翩的少年，时髦的女郎，灵光寺不见哪等人色？马自达、柯达摄相机、威娜宝系列品，也喧喧嚷嚷闯入深山古寺。

（石国智《神泉》）

⑦导弹神在60秒内
接受母亲最后的体检
“心脏”正常，“神经”正常
“体温”正常，“血液循环”正常
万无一失的火箭兵
向祖国递上一张完全合格的体检表

（王晋军《发射进入一分钟准备》）

以上二例将人类制造的物件，小小的化妆品，庞然大物的导弹拟作人。

⑧他们激动了！
他们为美好的理想所鼓舞。
他们为开拓的精神所鼓舞。

他们为创造的激情所鼓舞。
于是，积雪想升腾为云。
于是，静水想奔流为河。

（戴珩《跋涉者》）

⑨那晚月儿瘦削了两三分。她晚妆才罢，盈盈的上了柳梢头。天是蓝得可爱，仿佛一汪水似的，月儿便出落得精神了。

（朱自清《桨声灯影里的秦淮河》）

⑩送眼过去，山只是缠缠绵绵的绕，青色挤着眼睛。白水河便在这青里钻出些绿意，扑入湘江母性的怀抱。

（阿路《溪村印象》）

以上三例都是将自然界的事物拟人，使积雪和静水有了升腾或奔流的愿望，使月儿成了“瘦削了两三分”的女子，“晚妆”后“出落”得愈发精神，使山和山上的青色都有了人的种种情趣。

⑪解放大军一到武汉就受到了热烈的欢迎。武汉从慌乱与惊恐中苏醒过来，它睁大两眼，展开双臂，迎接亲人。

（刘白羽《第二个太阳》）

⑫春天的早晨，小城从梦中醒来，身上披着薄雾的轻纱，四周青翠的茶山把它紧紧地搂着。

（颜家文《我那个小城》）

⑬我目前正兴致勃勃地对已经出版的作品进行减肥，将可有可无的字、句、段竭力删去，绝不可惜。

（刘绍棠《难得清静——
“留命察看”之六》）

例⑪、⑫赋予武汉、小城、茶山以人的性情，它可以有“慌乱与惊恐”，可以醒来，可以有睁眼、展臂、披纱、搂抱等种种人的情态、动作，这样就将历史大变动中新生的武汉、春天的气息中充满生机的小城极形象极有情致地展现在读者的面前了。例⑬作者将自己已经出版的作品拟人，说删削冗繁是“减肥”，幽默生动。

⑭正义被绑着示众，
真理被蒙上眼睛。

连元帅也被陷害，
总理也死而含冤。

（艾青《在浪花尖上——给韩志雄和他同一代的青年朋友》）

⑮而你呵，
“历史”同志，
你曾
满身伤痕、
泪水、
血迹……

（贺敬之《放声歌唱》）

以上二例将抽象的“正义”、“真理”、“历史”人格化，这种有血有肉、牵动情怀的描写与抒情，可使读者更深切地理解这些抽象概念的生动内涵。

〖**拟物**〗 nǐwù 把人当作物来描写，或把此物当作彼物来描写，包括把非生物当作生物、把生物当作非生物、把抽象事物当作具体事物来描写。

⑯夹圩子里黄狗、黑狗都在大梦中，忽然被“轰”一声，从铺上掀下地来，爬起来连枪也摸不着，尾巴一夹，头一缩，直往外奔。

（陈登科《活人塘》）

此例中的“黄狗”、“黑狗”是反动派军队的士兵在老百姓口中的称呼，“尾巴一夹”，是拟人为狗。

⑰那山森森的，有些骇人，似藏着无限的秘密，将生命在深处律动。路是挂在山腰。

（阿路《溪村印象》）

此例中将“路”拟作一条带子，一个“挂”字生动地写出了山路曲折盘绕的样子。

⑱在我感情最难煎熬期间的一个夜晚，我和她正好在路上碰到，彼此还是以一种别人根本察觉不出什么异样的平淡口吻随便聊了几句没放一点味精的话（一直想有点涵养却一直没有的我此

时才算有了那么一点涵养，其实只要会装就行）。

（程士庆《二十岁的坦白》）

此例将平淡的话拟作缺少调味品的食品，诙谐风趣。文怀沙谈改编《聊斋》，要“保存其原汁原味，也就是要表现出那种生生死死情”（《北京日报》1989年11月4日第三版）是和上例极相近的表现手法，不过更有韵味。

拟物中极为生动的一类是将“岁月”、“视线”、“书体”（书法风格）这些无形态的事物，写成能冒烟、会流动、可“消化过滤”的、有形态的物；将“怅惘”、“欢欣”、“客梦”、“乡愁”、“憧憬”、“心愿”这些抽象的人情，写成可“燃”、“可“捣”、可“挂”、可“取”、可“稀释”、可“收获”的、实实在在的物。参见以下诸例。

⑲煮着洋芋的吊锅被岁月熏得很黑，生活是苦荞捏成的疙瘩很难扒散。

（淡墨《乌蒙山，我的故乡》）

⑳陈有三突然发觉坐得无聊，而且感到爱珠的视线不断流入自己的体内，似乎受到喘不过气来的压迫。

（台湾·龙瑛宗《植有木瓜树的小镇》）

㉑他在欧体中渗入赵孟頫书体的用笔，使欧体的险劲与赵体的圆润、隽雅融汇在一起，再经过消化过滤后变为己有，形成自己独特的风格。

（郭晋丽《非人磨墨墨磨人——
田蕴章书法艺术之印象》）

㉒女人们知道男人想到哪里去了，便用笑声稀释着怅惘，风风火火地朝男人的视线尽头走去。

（扶桑《太阳是一把圆号》）

㉓大海的馈赠
是无穷的
阳光下到处
俯身可取的欢欣。

（艾青《珠贝》）

㉔孤灯燃客梦，
寒杵捣乡愁。

（唐·岑参《客舍》）

㉕秋天的放牧
收获着
实实在在的憧憬
圆圆满满的心愿
……

（峭岩《秋收》）

比拟和比喻相近易混，这是因为在表达者的意念中，二格都涉及了甲、乙二体，甲是表达对象，乙是旁及对象，甲借助乙而得到了形象生动的表达；甲乙二体在客观上必有相似之处，即具有可“比”性，“比”就成了比拟、比喻二格都必须具有的特征，“比”是“喻”的基础，也是“拟”的基础，难怪有些人“喻”“拟”不分了。

然而，比拟和比喻的分界是明确的。比喻是强调甲、乙二体相似，喻甲为乙，是打比方。它有明确的形式，“甲象乙”或“甲是乙”，即使是借喻，甲体被乙体替代了，仍有一个“甲象乙”的影子隐在文字后面，读者可以明确的体会到。比拟是跨越了“打比方”的，它比比喻表现得更强烈、更直切，它不再说甲象乙，而是直接把甲当作乙来写，把乙体的某些品格、特征赋予甲体。例如，“瘸腿老头是个老牛贩子，他一进牛市所有卖牛的买牛的都拿眼睛挖他，凡他拍过角板的牛马上涨价”（雁宁《牛贩子山道》）。一个“挖”字就将卖牛的买牛的人们的眼睛都比拟作尖刀了。倘改写为“所有卖牛的买牛的人的眼睛都象尖刀，紧盯着他”，就成为比喻了，而表现的效果远不及比拟直切了。初学者尤应注意，以人或人体的某一部分为喻体，切不可误以为拟人，例如“狗的舌头热乎乎的，好似一个温柔的手掌”（张炜《秋天的思索》）就是比喻，而不是拟人。

3. 反　拟*

【反拟】 fǎnnǐ　否定形式的比拟。

①无意苦争春，一任群芳妒。零落成泥碾作尘，只有香如故。

（宋·陆游《卜算子·咏梅》）

②二十四桥仍在，波心荡，冷月无声。

（宋·姜夔《扬州慢》）

③迴看天际下中流，岩上无心云相逐。

（唐·柳宗元《渔翁》）

④众鸟高飞尽，孤云独去闲。相看两不厌，只有敬亭山。

（唐·李白《独坐敬亭山》）

⑤云无心以出岫，鸟倦飞而知还；景翳翳以将入，抚孤松而盘桓。

（晋·陶渊明《归去来兮辞》）

例①说梅"无意"，是不肯苦苦争春，例②说月色凄冷而"无声"，例③、例⑤都说云朵飘浮，其实"无心"，例④说诗人和敬亭山"相看"，人"不厌"，山也"不厌"。说梅、云、月、山没有心思情意，一般说来，当然是写实，当然也就毫无文学意趣可言；特殊说来，在上述五例的语境中，梅之"无意"，不正是一种"意"吗？山与诗人"相看两不厌"，山也是有情的了，无疑，此类"无言"，"无心"都是把物当作人来写的，都是拟人，然而又是"否定的形式"，所以近人或称此类修辞为"反拟"。

反拟的例子，在旧体诗词中，可说是俯仰即是。今人的作品中，例子也不少见。

⑥几株老梅竞斗雪开着满树的繁花，仿佛毫不以深冬为意。

（鲁迅《在酒楼上》）

⑦泉太好了。……冒冒冒，永不疲乏永不退缩。

（老舍《趵突泉的欣赏》）

⑧雪片象扯破了的棉絮一样在空中飞舞，没有目的地四处飘落。

（巴金《家》）

例⑥“毫不以深冬为意”，既是否定形式，又将老梅繁花拟人，“反拟”赋予梅花以深蕴的傲雪的品格。例⑦“永不疲乏，永不退缩”既有“不”字，又赋予了泉以人之情感。例⑧“没有目的”四字，将“四处飘落”的雪花拟人，属反拟。

反拟由于将比拟纳入否定形式之中，须于阅读中深入品味，所以这往往较之一般比拟更含蓄，更深蕴。

否定形式的比喻，称为“反喻”，类比而推出“反拟”；那么，是否可以推演出其他形式的比拟呢？这尚有待于修辞实践和修辞研究的进一步发展。因此，反拟当独立成格还是视为比拟附类为妥，也是一个尚待研讨的问题。

4. 借　　代

【借代】 jièdài （代替 代称 换喻 提喻 伴名 换名 类名）不直接说出要说的人或事物的本来名称，而借用和该人或该事物密切相关的人或事物的名称去代替。

人或事物的本来名称叫“本称”或“本体”；起代替作用的相关的人或事物的名称叫“代称”或“代体”。

借代的作用是突出描述对象的某种特征，引发读者联想，使其获得鲜明深刻的印象。

①散文无论是状物、论事、月旦人物，都是直接发自作者的自我。

（田仲济《〈学海见闻录〉序》）

②翰林风月三千首，吏部文章二百年。

（宋·欧阳修《赠王介甫》）

③老羊圈新组合的集体生活，被闯进来的和睦、光彩和愉快充塞了。大伙象一家人，同吃一口锅。

（刘学江《遥远的荒漠》）

④哦！我突然感觉到，我是看到了一个更是巴金的巴金。文静、温和、诚挚的外表里，却有一颗无比坚强的心。

（茹志鹃《我们心目中的巴金先生》）

⑤四十多年的炮火硝烟，炼就他一双锐利的眼睛。

（柯岩《我的爷爷》）

⑥我想，中国最不值钱的是工人的体力了，其次是咱们的所谓文章，只有伶俐最值钱。

（鲁迅《并非闲话（三）》）

⑦"我们这些人也可怜。"老魏断断续续地说，"说来归其，我们太爱惜乌纱帽了。……"

（王蒙《布礼》）

例①"月旦"旧历每月初一日。《后汉书·许劭传》载："初，邵与靖（邵从兄）俱有高名，好共核论乡党人物，每月辄更其品题，故汝南俗有月旦评焉。"例中以"月旦"代"品评"。例②"翰林"指李白，"吏部"指谢朓，以官职借代人名。例③"一口锅"代"同一口锅中做出的饭菜"，以工具代本称。例④前一个"巴金"代巴金的风格与精神，以姓名代本称。例⑤"眼睛"代洞察力，以工具代本称。例⑥"伶俐"代巧言令色、善于逢迎的市侩作风。例⑦"乌纱帽"是封建王权时代官职的服饰与标志之一部分，此例中借以代官职。

借代分旁借和对代两种，其下又各分若干小类。

〔**旁借**〕 pángjiè （代用 旁代 随代）用表达对象的伴随或附属的人或事物的名称来代本称。

旁借分八个小类：工具代、材料代、处所代、作者代、特征代、别称代、所属代、标志代。

⑧我自己也知道，在中国，我的笔要算是较为尖刻的，说话有时也不留情面。

（鲁迅《我还不能带住》）

⑨北京附属医院大夫作手术超过十二点，仅仅补助两个鸡蛋。而他们雇个剃头的，专管给头部手术的人剃头，每剃一个就是三块钱。社会上流传的新型民谚"手术刀不如剃头刀"绝不是无稽之谈。我们有多少本末倒置的怪事！

（霍达《国殇》）

⑩陈景润……受到了最严峻的考验。……庄严的科学院被骚扰了：热腾腾的试验室冷冷清清了。日夜的辩论，剧烈的争吵。行动胜于语言，拳头代替舌头。

（徐迟《哥德巴赫猜想》）

例⑧"笔"代鲁迅先生写的文章。例⑨"手术刀"代外科医生，"剃头刀"代理发师傅。例⑩"拳头"代武斗，"舌头"代辞辩。此小类称工具代，即以工具代劳动、行为或从事某项劳动的人。譬如：以"尺"代丈量，以"剪刀"代剪裁，以"枪杆子"代武装斗争或军队，以"笔杆子"代文章或作家。工具代包括广义的工具，如：以"肌肉"代力量，以"头脑"代智慧。

⑪这时候，我们手无寸铁，没法抵抗，我想，反正不能让敌人抓了活的，我们撒腿就跑。

（王愿坚《粮食的故事》）

⑫……乘坚策肥，履丝曳缟。

（汉·晁错《论贵粟疏》）

⑬天色将晚，他睡眼朦胧地在酒店门前出现了，他走近柜台。从腰间伸出手来，满把是银的和铜的，在柜上一扔说："现钱！打酒来！"

（鲁迅《阿Q正传》）

例⑪以"铁"代武器。例⑫以"丝"代丝制的鞋，以"缟"代缟制的长带子。例⑬"银的"、"铜的"代钱。此小类称材料代，即以构成材料代物品。譬如："以"纸"代文书，以"布"、"帛"代衣服，以"钢铁"代炮弹，以"土"代地。

⑭你不是练过少林寺吗？怎么趴下来了？

（王兆军《盲流世家》）

⑮山上是咬着牙挨着，山下也是扎紧了腰带过日子呢。无论如

何也得把粮食送上去。

（王愿坚《粮食的故事》）

⑯他小子在外边灌什么，甭当我不知道；茅台他够不上，专喝“啤的”，有瓶的不喝零的，有“青岛”不喝“北京”！

例⑭以“少林寺”代少林拳或少林武功。例⑮以“山上”代在山上坚持斗争的游击队员们，以“山下”代村中的乡亲们。例⑯以“青岛”、“北京”分别代两地产的啤酒。此小类称处所代，即以与本称事物相关的处所代本称。譬如：在国民党尚盘踞西安时期，毛泽东同志的文章中曾以“延安”代表中国共产党及其领导下的革命力量，以“西安”代表国民党反动派。清末，人们常以“西边的”代慈禧太后。古时常以籍贯或任所代诗人文士。至于以产地代名牌产品的例子更是不胜枚举。

⑰那夜懊闷。窗下花圃间数只猫儿大演弗罗依德。

（匡文立《点式楼点点·门》）

⑱她毕竟是读过一些书的，会背李白和范仲淹，甚至还能和你谈谈牛顿或居里夫人。

（居延《阿兰屯风情》）

⑲不过在我是一种宝贝，因为这是三十年前，正当我热爱彼得斐的时候，特地托丸善书店从德国去买来的。……

（鲁迅《为了忘却的记念》）

例⑰以“弗罗依德”代交媾（一些人将弗罗依德的理论片面地解释为“性”理论）。例⑱以李白和范仲淹代他们的诗文。例⑲以彼得斐代彼得斐（即：匈牙利爱国诗人裴多菲）的诗。

此小类称作者代，即以作者代作品或与其作品相关的事物。

⑳闲话少谈，阴天骑单车。朋友穿白骑红，我穿黑骑绿，抢眼得很。骑近中央公园时，已经自我感觉良好。

（查建英《到美国去！到美国去！》）

㉑一匹白马驮着一顶黑草帽，往东边去了。

（吕新《圆寂的天》）

㉒老栓看看灯笼，已经熄了。按一按衣袋，硬硬的还在。

（鲁迅《药》）

例⑳以“白”、“黑”色代衣服，以“红”、“绿”色代单车。例㉑以“一顶黑草帽”代戴一顶黑草帽的人。例㉒以“硬硬的”代洋钱。此小类称特征代，即以该事物的形状、质地、颜色、数量等特征代该事物。譬如：“穿红戴绿”，以色彩代衣饰；“那圆圆的似乎总罩在头顶上，干渴的他像走在滚烫的铁板上”，以形状代太阳；“一个硬硬的顶在腰眼上，他还敢说什么？”以质地代手枪；“两个、三个在前门、后门晃来晃去，连只猫也走不脱哇”以数量代警员。

㉓有一年的春天，他醉醺醺的在街上走，在墙根的日光下，看见王胡在那里赤着膊捉虱子，他忽然觉得身上也痒起来了。这王胡，又癞又胡，别人都叫他王癞胡。阿Q却删去了一个癞字，然而非常渺视他。阿Q的意思，以为癞是不足为奇的，只有这一部络腮胡子，实在太新奇，令人看不上眼。

（鲁迅《阿Q正传》）

㉔李毛驴转变以后，勤勤恳恳，大伙把他的名字也排上了，叫号叫到他的时候，他不要马，也不要牛。栽花先生问他道：“倒是要啥哩？”

李毛驴说：“我要我原来的那两头毛驴。”

“那你牵上吧。”

（周立波《暴风骤雨》）

㉕灵曰：“将军欲杀纪灵耶？”布曰：“非也。”灵曰：“莫非杀‘大耳儿’乎？”布曰：“亦非也。”……

（明·罗贯中《三国演义》）

例㉓以“王胡”称人。例㉔以“大耳儿”称刘备。此小类称别称代，即以人或事物的别称（绰号）代本称。《水浒》中梁山英雄多以别称呼之，这在描写草莽英雄的作品中极为常见，文人墨客也常以别称相戏，今人也有此例。任弼时曾和贺龙互相戏称“胡子”。以别称代地名的也很多，如以“维扬”称杨州，以“白下”称南京，以“羊城”称广州。以别称称物的例子也不少，例如：

曾 皓（呻吟）好，好。脚冷得象冰似的。慷方，你把我的汤婆子灌好了没有？

（曹禺《北京人》）

以“汤婆子”称暖脚壶，曾皓这个道貌岸然的封建僵尸面对侍奉自己的未婚姨侄女愫方用此俗称，充分表现了他的粗俗和卑劣。

㉖第一次给住在庄上的骆老洗耳朵，她下手轻，决心可很大，居然用了剪子，替骆老放了脓，去了腐肉，洗得一干二净，老头轻松多了，笑着说：“没想着大姐还是个外科呢？”

（菡子《内外科》）

㉗如果外来人问一问：“本乡可有了不起的人物？”上上下下都会回答：“横溪谭永兴。”

例㉖以“外科”代外科医生。例㉗“上上下下”代属于不同社会层次的人。此小类称所属代，即以人或物的所属代本称。譬如：“他是白莲教，谁不知道！”以“白莲教”代白莲教徒。又如：“税务局住北屋，市容办两口子住西屋，想想看，我这个个体裁缝还能闲得住？”以“税务局”代属于税务局的工作人员，以“市容办”代属于市容办的干部。以所属代物的语例，作品中也能见到：“二厂就是跑不过总厂和三厂，看看人家是什么车！”以“二厂”、“总厂”、“三厂”代属某厂的汽车。

极有趣味的是标志代，即以事物或人的某种标志代本称。例如：

编辑S素有化腐朽为神奇之称。

那时，T还是某小镇名不见经传的作者。有一次，写了一篇小说，简而括之，是讲述“♦J打倒♠A”的故事。投寄出去，不久就收到了编辑S的复函，讲“大作已被刊用，只是由于形势需要，人物关系稍作了变动”云云。隔了一个月，满心欢喜的T接到刊物不由变得目瞪口呆：原来经S“稍作变动”，原故事已变成了“♠A打倒♦J”，完全颠到了。

T写的第二篇小说真是苦心孤诣，他写了一个♣J与♥Q的爱情故事。在把稿子投寄给S时，T还暗暗自得：这回由你编辑去颠倒吧，反正♣J娶♥Q还是♥Q嫁♣J，一个样！但过了一些时日，翘首以望的T接到刊物又大吃惊：在署他名下的小说里，♣J无缘无故地消失了，又莫名其妙地出现了一个♠K，由他和♥Q结合了。

不服输的T这次使出了浑身解数。在他写的第三篇小说里，从♠、♣到♥、♦，从小2到A，他无一遗漏地统统写进去，写成“人物大全”。由你再去颠倒，由你再去偷梁换柱！在把稿子投寄出时，T在心里狠狠咒骂道。

这次时间隔得比较长。大约过了三个月，S不动声色地将印成铅字的刊物寄到T的手里。后者还是瞠目结舌，他彻底沮丧了：从♠、♣到♥、♦，从小2到A，被无一遗漏地统统删除，只光辉灿烂地出现一个——“王牌”。真正的三突出，全镇！

（陈可雄《编辑与小说家斗智》）

例中人物全用某种符号标志替代，使读者不再关注张、王、李、赵诸人物如何，而着重思考出版界一度出现的不尊重原作、以编代著的不正常现象。许多作家都曾用“S城”“K君”之类的标志代行文，而尤以鲁迅先生的“阿Q”及书中对“阿Q”得名缘由的解释给予中国文坛的影响最大。

〖**对代**〗 duìdài 借用表达对象的相对方面的人或事物的名称代替本称。

对代分六个小类：实代虚（即：具体代抽象），虚代实（即：抽象代具体），局部代，整体代，特例代，定代约（即：定数代不定数）。

实代虚，以抽象事物为本称，以与其相关的具体事物为代称。

㉘当然，要把家庭带来的各种各样的习惯统一到领章帽徽下面来，要把平均年龄二十岁的一群女孩子的心收拢来，是要有一个过程的。

（徐怀中《西线轶事》）

㉙而且，在家政的经验的陶冶下，气量也小了起来，语言也粗俗起来，感觉也钝拙起来。深公云：“人谓庚元规名士，胸中柴棘三斗许。”要是请谁来量一量，我的胸中，也许全是柴米油盐了罢。

（徐懋庸《草巷随笔》）

㉚老拔贡的脚丫子迈进了民国，脑瓜子可还留在大清的门槛里，遗老思想，痰迷心窍，一心想教出个状元及第的徒弟，他也好人死留名。

（刘绍棠《瓜棚柳巷》）

例㉘“领章帽徽”是很实在的物，例中代抽象的人民军队的军规、军纪以及无限丰富的由传统到现实的革命军人的精神。例㉙以具体的“柴、米、油、盐”代抽象的“家中生计小事”这一总称。例㉚“脚丫子”代人生的脚步，“脑瓜子”代思想，也是以具体的现象代抽象的内涵。实代虚，易于引导读者由直接诉诸人感官的物象，逐步进入深层含义的把握。

虚代实，以具体事物为本称，以与其相关的抽象概念为代称。

㉛小白脸向经营科及有关技术人员介绍了他这种高级铬铸球的ABC，接着听了工厂生产介绍，考察了钢球在磨机里的运行过程。

（程培远《金娃娃和胖娃娃的传奇》）

㉜正义是杀不完的，因为真理永远存在。

（闻一多《最后一次讲演》）

例㉛以抽象的“ABC”代高级铬铸球的各项具体性能及数据等。例㉜以抽象的“正义”二字代“正义的人们”。避开了具体形象的描述或具体内容的说明，以虚代实，不仅可以节省笔墨，而且可以使读者的认识凝聚、升华。

局部代，以局部为代体，以整体为本体。以下三例为局部代。

㉝老禾你怎么了，没有什么蠢你了吧？抠鸡屁股换咸盐的日子没有了。如今鸡蛋富余，自个儿不断吃，老农民也营养营养啊。

（林斤澜《酒言》）

㉞“二和尚又矮又丑，没窗没门的，还想娶丫丫，看他美的！”老海一说，大头叔就更不说话了。

（李才波《土地庙》）

㉟沙鸥翔集，锦鳞游泳；岸芷汀兰，郁郁青青。

（宋·范仲淹《岳阳楼记》）

例㉝“抠鸡屁股换咸盐”只是农民贫困生活的一部分内容。例㉞“窗”“门”代房子。例㉟“锦鳞”代鱼。以局部（最有特征性的那一部分）代整体，语言生动而俏皮。

整体代，以整体为代称，以局部为本称。

㊱孩子们穿着五颜六色的新衣，拿着滴溜乱转的小风车，满世界乱跑……

（唐挚《求竹记》）

㊲我向来是不惮以最坏的恶意来推测中国人的。

（鲁迅《记念刘和珍君》）

例㉝"满世界"代"到处"（仅指大千世界的一小部分）。例㉞"中国人"代"中国的反动统治者及其形形色色的走狗"。以整体代部分，常可语出惊人，给读者（或听者）以强烈的印象。

特例代，以特例为代称，替代的是同一范畴或同一类型的一般事物。

㊳数以百计的"诸葛亮"们，一年里为振兴江西提出了485篇"隆中对"。目前，他们中的佼佼者，受到了党和政府的奖励。

（万国庆《江西挖掘群众智慧变成决策思路》）

㊴"反动派的机关里，还是有崇公道的，应该尽量争取他们为人民做点好事。"周伟这么一说，小罗他们也服气了。

（彭宁《接收"小"员》）

㊵除君之恶，唯力是视。蒲人，狄人，余何有焉。今君即位，其无蒲、狄乎？

（《左传·僖公二十四年》）

例㊳以"诸葛亮"代有真才实学、智慧高超的人，"诸葛亮"只不过是聪明能干的人群中的一个杰出的特例。"隆中对"代为振兴江西出谋划策的好文章。例㊴"崇公道"是京剧传统剧目《玉堂春》中一个富有同情心的公差，这里作为国民党机关里有一定正义感的某些下层办事人员的代称，是以特例代全称的。例㊵蒲人、狄人曾助公子重耳，欲抗击寺人披奉君命率领的追捕的军队，公子重耳返国掌权后，寺人披对重耳说的这一段话中，以"蒲""狄"代君主的仇敌或反叛，是以特例代一般。特例代的突出作用是醒目、生动。

定代约，以确定的数字为代称，以事实上并不确定的数目为本称。

㊶他们三个一群，五个一簇，拖着短短的身影，在狭窄的街道上走。

（叶圣陶《多收了三五斗》）

㊷严贡生道："后来倒也不常进去。实不相瞒，小弟只是一个为人直率，在乡里之间，从不晓得占人寸丝半粟的便宜，所以历来的父母官，都蒙相爱……"

（清·吴敬梓《儒林外史》）

例㊶的"三"、"五"和例㊷中的"寸丝半粟"看似定数，实际上说的只是个大约的数量。这是借代格中的定数代约数。意思上决不会误会，在一定语境中，或强调数量小，或极言数目大，读来都很生动。

借代要求本体与代体相关，这是借代的前提。事物之间有种种相关，大抵可归纳为主从相关与对应相关，前者衍生出旁借，后者造就出对代，其下各包括若干小类，述如上文。

借代、借喻常见混淆，其实泾渭分明。共同点是所表达的人、事、物的本体不出现，直接以衍生体（代体或喻体）代本体。其分水线是，前者的前提是相关，后者的前提是相似，后者本体与喻体之间存在"打比方"的关系，可以换化为"甲像乙"式的明喻，而前者的本体与代体之间不存在"打比方"的关系，也不可能换化为"甲像乙"的形态。

5. 喻　　代

【喻代】 yùdài　先设喻，继以喻体代本体。

①他走了，象只风筝，在山坡上摇呀摇，弯弯曲曲的白线越放越长，到底放到头了，那儿是山顶，是和天连着的地方，"风筝"停了，他知道这条白线还拴着一颗心呢……

（李锐《晨雾》）

②她们是替带工赚钱的"机器"。……老板娘拿起铅桶到锅子里去刮一下锅巴、残粥，再到自来水龙头边去冲上一些冷水，用她那刚梳过头的油手搅拌一下，气烘烘地放在这些廉价的"机器"们面前。

（夏衍《包身工》）

③……那外国人想雇我的驴去游东山，我要五块钱。他嫌贵。你嫌贵，我还嫌你胖呢。胖得象大白熊，别压坏了我的驴。讲来讲去，大白熊答应我的价钱，骑着驴去逛了半天。

（杨朔《雪浪花》）

④我吃了一吓，赶忙抬起头，却见一个凸颧骨，薄嘴唇，五十岁上下的女人站在我面前，两手搭在髀间，没有系裙，张着两脚，正象一个画图仪器里细脚伶仃的圆规。……然而圆规很不平，显出鄙夷的神色，仿佛嗤笑法国人不知道拿破仑，美国人不知道华盛顿似的，……

（鲁迅《故乡》）

例①中的"风筝"代离乡远行人，例②中的"机器"代包身工，例③中的"大白熊"代游东山的外国人，例④中的"圆规"代杨二嫂，都是先设喻，后文直接用喻体代本体。此类修辞现象是借喻还是借代，向有争论。它与一般借代的区别是：必先设喻，以喻为前提；它有别于一般比喻的是，设喻之后，在一定语境中，喻体就取得了"代称"资格。取得"代称"资格后，它与本体就建立了一种"关联"，常以"绰号"形式出现，故似归入借代为妥。

6. 字　代

【字代】 zìdài　用一个字或几个字代替所要表达的较丰富的内容。

①窗外的夜很浓，这浓黑的夜落在他的心上，恰恰是一个"愁"字。

（申力雯《虎年车祸》）

②我们不仅不要怕群众的纷纷议论，而且更应当倾听那种敢于说"不"字的意见，而不必勉强追求"没有谁说个'不'字"。

（林放《说'不'字》）

③蔡元培先生赠送给我(刘海粟)四个字:“宏、约、深、美”。“宏”,就是知识要广阔;“约”,就是在博采的基础上加以慎重的选择;“深”,就是钻研精神;“美”,就是最后达到了完美之境。

(《文摘报》1982年8月24日)

④中国人民以30多年的血汗为代价,才认识到:对外的一个“放”,对内的一个“活”这两个字的分量。而“活”又岂止限于经济工作与流通领域?活水的落差大,才产生巨大的力量。

(舒展《活水赞》)

⑤老牛筋半天没搭茬。过了好大一阵,才说道:“卖闺女,没什么稀奇。在旧社会不要说卖闺女,卖儿子卖老婆也是常有的事。为啥?一个字:‘穷’!”

(马烽《结婚现场会》)

⑥他相信　　理解
会在那些不理解之后产生
他相信　　身体的缺残
照样能站成端端正正的「人」字

(吕文秀《质量检验员》)

⑦过去选职代会代表,领导让谁当谁就当。现在大家投票选举,“正”字说了算。

(《人民日报》1989年1月10日)

⑧当看了他大量的书法、篆刻和绘画作品后,显然会发现,这里的收获绝不仅是一个苦字的结果。

(刘建伟《书印画皆有奇气》)

⑨乘车在黑龙江省的公路上奔驰,一个“大”字,总是不断叩击你的心扉。

(秦牧《莽原语丝——访问黑龙江漫记》)

例①一个“愁”字代替了浓黑的夜中深切的愁绪。例②“不”字代替来自群众的否定或批评意见。例③“宏、约、深、美”四字,各具非常用的特定含义,所以文中缀有简释,这是字代的习见形式之一。例④“放”、“话”两个字概括了党在目前这个历史新时期的总政策的两个基本点的

丰富的内容。例⑤老牛筋的一个“穷”字说中了旧社会人们卖儿卖女的全部原因，真是一针见血。例⑥一个“人”字代替了一位身残、志坚、路正、心红的检验员圣洁的人生态度和人生理想。例⑦“正”字代替了选票数，代替了对职工意志的尊重。例⑧“苦”字代替勤苦功夫，尾句强调了由作品中可以看出作者多方面的修养与功夫。例⑨“大”字代替了黑龙江原野的广阔无垠的特征。

字代有着特定的格式，如“一个‘愁’字”，“说个‘不’字”，也可以是提出某某两个字，或多个字，但必须在行文中写明，起代义作用的是字。当然，具体形态千变万化，象例③就于字后缀以简释，例④起代义作用的两个字又分提合说。

字代以一字或少数几个字的意义代替一个较丰富的内容，于此前提下，仍要求上述一定的格式，并非唯其形似即为字代。例如：

“秉中等至夜分，网网归卧。次夜如前。正遇本妇，怪问如何爽约。挨身相就，止做得个吕字儿而散。

（明·冯梦龙《警世通言》第38卷）

“吕字儿”形似字代，但它不是以字义相代，而是以字形暗示某种意思或动态，当归入图示格。

借代的特征是本体与代体相关，字代的特征是以少许字代许多字才能表达的内容，有“浓缩”意味，不宜并入借代。

7. 夸　　张

【夸张】 kuāzhāng （夸饰 铺张）故意夸大或缩小表达对象的某种特征或品格，使之得到突出的表现。

①如果不是他那震破玻璃窗户的一嗓子“嘿！大叔，我请您听音乐会去”兴许就没有了这故事。

（季恩寿《小三的故事》）

②三十八年过去，

弹指一挥间。

（毛泽东《水调歌头·重上井冈山》）

例①夸大了小三的音量。例②故意缩短了时间。夸张的写法使粗重的嗓音、飞逝的岁月得到了超常的强调。这种“超常的强调”就是夸张。此二例的夸张都没有借助其他修辞格，然而有些夸张是借助于它格或与它格熔铸在一起的：

③一个浑身黑色的人，站在老栓面前，眼光正象两把刀，刺得老栓缩小了一半。

（鲁迅《药》）

④唉，这心情确实复杂。今日来到闯王军中，对闯王全军情况，未窥全豹，仅见一斑。我好象身临沧海，而自己渺如一粟。

（姚雪垠《李自成》第二卷）

⑤小D和妹妹常常没有晚饭吃，将门锁了，把自己焊在礁石上，听潮起潮落，看日沉日升。

（舒婷《梦入何乡》）

例③“刺得老栓缩小了一半”夸张了康大叔眼光的凶残与贪婪，也夸张了老栓的胆怯，这是借助于前一分句的比喻的，而“眼光正象两把刀”，比喻中就含有夸张。例④喻闯王军为“沧海”，自比为“一粟”，是借助于比喻与对比的夸张。例⑤“焊”字是拟物、夸张熔铸一起的产物。

夸张的作用是强烈地表达作者对所要表现的人或事物的感情态度，或褒或贬，或抑或扬，从而激起读者的共鸣。正如高尔基说的，夸张是“夸大好的东西，使它显得更好；夸大有害于人类的东西，使人望而生厌”。夸张还可以引发读者的联想与想象，从而使表现对象的某种特征得以突现，使其内在的某种品格得到充分的揭示。

⑥每年——特别是水灾、旱灾的时候，这些在日本厂里有门路的带工，就亲身或者派人到他们家乡或者灾荒地域，用他们多年熟练了的，可以将一根稻草讲成金条的嘴巴，去游说那些无力“饲养”可又不忍让他们的儿女饿死的同乡。

（夏衍《包身工》）

⑦瞧那双眼睛，那纯黑的眼睛，定住时能自己发光，若是一霎，

唔，简直是在打闪。

（芦焚《行脚人》）

⑧唱：你的歌没得我的山歌多，
我的山歌几箩筐。
箩筐底下几个洞，
唱的没得漏的多。
唱答：你的山歌没得我的山歌多，
我的山歌牛毛多。
唱了三年三个月，
还没唱完牛耳朵。

（《四川对山歌》）

⑨绝早一上山，满世界的雾，雪与霜都裹在雾里。树涛的呜咽永不间歇，空气几乎冻凝了。要张口去啃咬，一准吞下去一个寒噤，大约五脏六腑全结了冰渣儿。

（朱春雨《陪乐》）

例⑥夸张带工的嘴巴"可以将一根稻草讲成金条"，揭示了带工诱骗同乡、招募包身女童工的卑劣伎俩。例⑦夸张眼亮如"打闪"。例⑧夸张"我的山歌"多如牛毛，且"唱了三年三个月"还远没"唱完"。例⑨夸张天气寒冷，到"空气几乎冻凝"，"五脏六腑"结冰碴儿的程度。

夸张分夸大、缩小和超前三种。

〔**夸大**〕 kuādà 对事物的形态、性质、作用、程度、数量、速度等加以超常夸大的描述。

⑩"钢丝面"是用玉米面压制的饸饹，硬得难以消化，人们遂送了它这样一个雅号。人们说，那时候，榆林的汽车常爆胎，那是因为路上常有遗落的"钢丝面"，"钢丝面"真是攻无不克。

（刘成章《榆林》）

⑪当小女孩的妈听印家厚说他家住在汉口，还必须过江，过了江还得坐车时，她"唉"了一下，说："简直到另一个国家去，可怕！"

（池莉《烦恼人生》）

⑫当我们回顾四年这一切，笑声和泪水不仅限于嘴和眼睛，甚

至会从肚脐眼里溢出。

（敬超《毕业歌》）

例⑩说榆林的汽车胎常被遗落路上的“钢丝面”扎破，生动地夸大了“钢丝面”太硬。例⑪“简直到另一个国家”夸大了印家厚家远。例⑫“甚至会从肚脐眼里溢出“夸大地描写了“笑声和泪水”多得不得了。

〔**缩小**〕 suōxiǎo 对事物的形态、性质、作用、程度、数量、速度等加以超常缩小的描述。

⑬华君武说，有的县城站在南门可和北门的接火抽烟。一位诗人说起有一个县城，汽车进城，要提前刹车，要是进城再踩刹车，当汽车停住，已到了城外。

（颜家文《我的那个小城》）

⑭漫说你转不过屁股的小不丁点的县城，就是千门万户也认不错门儿，也分得清敌友我。

（梁信《龙虎风云记》）

⑮母叹曰：“不图拳母，竟生锥儿。”

（清·蒲松龄《聊斋志异·真定女》）

⑯陆机则兄弟同居，韩康则舅甥不别，蜗角蚊睫，又足相容者也。

（庾信《小园赋》）

例⑬、⑭夸张城小，小到超出人们的意想。例⑮婆母叹童养媳真定女小如拳，生儿小如锥，夸张其小，真是小得可怜，例⑯夸张陆氏、韩氏居室小如“蜗角蚊睫”，算是小得出奇。

〔**超前**〕 chāoqián （窜前）从时序上夸张，把本来后出现的事物说成出现在本来先出现的事物前面，或说成同时出现。

⑰这几位也都像阮籍似地嗜醇酒，好老庄，而不像第一类作家爱引歌德、巴尔扎克。听到酒字先醉了一半。

（查建英《献给罗莎和乔的安魂曲》）

⑱我们要顺着干沟进山。干沟，你听听这名字！这条沟不但没有水，连你的眼泪还没流出眼眶都会一下子蒸发了；……

（张贤亮《肖尔布拉克》）

⑲黑暗中，婆姨站起来，倒关上门，把心一横，举着切菜刀，横准娃娃的头，就是一刀，谁知手一软，只听“当郎”一声，刀子早落在地上了；娃娃惊得哭声更大，婆姨忍不住又哭起来了，难受得好似滚油浇心。

（马烽西戎《吕梁英雄传》）

例⑰夸张“醉”，提前到“听到酒字”而未饮之时，强调了嗜酒如癫。例⑱说眼泪未流出先蒸发，超前夸张，强调干沟实在是干极了。例⑲刀未落地而先出声，夸张地描绘了那婆姨骨肉连心，情由中发，失神刀落，并不自知的情景。

8. 仿　　拟

【仿拟】 fǎngnǐ （模拟 套语）故意模仿现成的词、语、句、篇而临时创造新的词、语、句、篇。

仿拟的作用：有助于揭示所表达的事物的内在矛盾，并使语言生动、活泼、诙谐、幽默，有讽刺色彩。

①女子总机班听到了“透露社”的消息，说上级已经决定不让她们上前线去。大家急了，吵吵嚷嚷要去问连长，凭什么不让去。

（徐怀中《西线轶事》）

②古时候，交通工具不发达，人们碰到浩瀚无垠的海洋，只能望洋兴叹。不过兴叹之余，总有人在“干”，要不然，今天地球上的五大洲四大洋，怎么可能都遍布人类的足迹呢？

可见在困难面前，还是“望洋兴干”好。

（《解放日报》1980年5月5日）

③我想叫自己的一辈子有始有终，虎头豹尾更好，至少要虎头虎尾，我们这一拨的虎头蛇尾的太多了。

（蒋子龙《乔厂长上任记》）

④难得清静

——《留命察看》之六

（刘绍棠　文题）

⑤红枣出墙来

（张路刚　文题）

⑥换得广厦千万间

（袁一强　文题）

⑦道是无能却有能

（张聿温　文题）

例①“透露社”是由英国通讯社“露透社”名称颠倒字序而仿制成的，又以“透露”二字点明消息传播方式，诙谐、生动。例②“望洋兴叹”出自《庄子》中《秋水》篇，秋水至，河伯“顺流而东行，至于北海；东西而视，不见水端”，于是“望洋向若而兴叹”。句中“若”是北海神，“望洋”就是“茫洋”，仰视的样子。后人多将其中“洋”字解为浩瀚无垠无法渡过的海洋。此例中换“叹”为“干”，临时仿制成新的短语，生动地强调了应该发扬实干精神。例③“虎头蛇尾”是熟语，据以仿制的“虎头虎尾”、“虎头豹尾”生动而有层次地强调了一辈子应“有始有终”。例④“难得清静”据清代书画家郑燮语“难得糊涂”仿造；“留命察看”据“留党察看”一语仿制，易一字则概括了十年浩劫中多少惨痛事。例⑤“红枣出墙来”据“春色满园关不住，一枝红杏出墙来”（宋·叶绍翁《游园不值》）后句仿造成文题。例⑥“换得广厦千万间”据“安得广厦千万间，……”（唐·杜甫《茅屋为秋风所破歌》）仿制成文题。例⑦“道是无能却有能”据“东边日出西边雨，道是无晴却有晴”（唐·刘禹锡《竹枝词》）下句仿制而成文题。

仿拟分仿词、仿句、仿篇三类。

〔**仿词**〕 fǎngcí （反连 抽换）根据现成的词或成语临时仿造一个词语，即把现成的合成词或成语中的某语素加以更换，从而临时仿造出一个“新”的词语。

也有调换字序来仿造“新”词的，如前页例①。

⑧春何集的女人们，对于杨五奶奶，更是以英雌目之。她成天价指桑骂槐地，东家是王八，西家是婊子，谁敢招她底碴？

（王实味《杨五奶奶》）

⑨姐姐在农村找对象了……全家人一听这个消息，像三九天往身上泼了一桶凉水……看样子还得我这个妹妹插手，出面干涉他们的“内政”了。……最后还亮出一张王牌，如果她执迷不悟，不听从老人劝告，就开除她的“家籍”。

（关庚寅《“不称心”的姐夫》）

⑩我的家不是“书香门第”，倒是“武香门第”，大祖父和祖父都习武，考过科举。

（刘征《鹰猎》）

⑪小鸟是蝮蛇的主要食物，蝮蛇是捕鸟能手。小鸟的活动方式是树林里飞窜，这样就给蝮蛇造成了“守株待鸟”捕食的方便。

（黄沐明《蛇岛》）

⑫俗语说“谈虎色变”，哪比得上宁海人的“谈潮色变”呐！每到八月中秋，人们都要扶老携幼，惶惶然退避十里，以防大潮冲决堤岸。唉，那年代，何来闲情逸致去观潮？

（吕锦华《刻在宁海石塘的情思》）

⑬闻风而“同”所以久治不愈，自有其多种复杂因素：“左倾病”、“投机病”、“幼稚病”……但鲁迅先生指出的“不是过一点脑子，而是用脚底皮去思想”恐怕也是一个重要原因。所以，今后遇到什么风来的时候，在闻风而“动”之前，先要“动”一下脑子，而不是只用脚底皮去“动”。那末，我看，闻风而“同”的毛病可能会少一些，好一些。

（傅骏《闻风而“同”》）

例⑧仿“英雄”造出“英雌”，用以形容杨五奶奶，意思是说她整天骂人是女中“英雄”，换上“雌”字，辛辣几近刻薄。例⑨仿国籍、党籍造出一个“家籍”，“开除她的‘家籍’”语近荒唐，却生动地写出了城乡差别、等级观念在婚姻、家庭问题上有着多么强烈的影响。例⑩由“书香门第”仿造出“武香门第”，说明自家是习武世家，语意诙谐。例⑪由“守株待兔”仿造出“守株待鸟”，前者是对经验主义者屡遭失败的嘲笑，后者是对蝮蛇行之有效的捕食方式的生动说明。例⑫仿造的“谈潮色变”，使读者可以由虎威联想到潮祸，联想到人们对“潮”的恐惧。例⑬“闻风而‘同’”以

"同"字换去"动"字，生动地刻画了某些"用脚底皮去思想"的人们对待"风"、"潮"事物的态度。

〖**仿句**〗 fǎngjù 摹拟现成的句子或句法格式而仿造新句。

⑭碧云天，黄花地，西风紧，北雁南飞，晓来谁染霜林醉，总是离人泪。

（元·王实甫《西厢记·送别》）

⑮在方块字的字林中，"凸"字真可谓天生陋质难自弃了。

（杨乾坤《说凸》）

⑯在自由市场的尽头，在街心公园，一个来自河南某农村的跑江湖的家庭杂耍班子的一条黄毛老狗正笨拙地表演。替狗解说和进行宣传的，是班主的长女，一位二十二、三岁的河南姑娘。虽然不够有什么姿色，脸蛋却也端正，五官却也匀称。眉描得细长黑，唇抹得俏艳倩，绿裤红衣瘦香透，"三点四围"风流皆现。连日来一些孟浪子弟热情捧场，大喝其彩。自然是醉翁之意不在狗。

（梁晓声《雪城》）

⑰放去了塘水，鱼鳞映着夕阳，密密匝匝，扒扒乱跳，真是一寸湖水一寸金。

（梁容若《我看大明湖》）

⑱阁下因当年在家打字，被当成"匪谍"，但在国民党统治下，纵不打字，如家中附近有蚱蜢出没，照样还是匪谍不误，可见打字固然不成，问题不在"不闻打字声，唯闻男叹息"。问题乃在蚱蜢也！

（台湾·李敖《蚱蜢者，匪谍也》）

⑲人生识字胡涂始。

（鲁迅《人生识字胡涂始》文题）

⑳老舍是肖涤非"婚礼"的唯一来宾，《牛天赐传》则是学者肖涤非结婚时收到的唯一礼物。千里分手，离梦杳杳，肖涤非始终把这本书带在身边。真是，黄海海水深千尺，不及舍予送我情。

（马瑞芳《老舍赠书》）

㉑世事、国事、家事、事事相连；党风、政风、文风，风风有源。人人关心在日常生活中碰得到、看得见、摸得着的事，都是事关党风、

政风、文风的事，这些问题不解决，影响到人们对实现“四化”的信心，关系到“四化”大业的进程。

（云山《社会解惑之窗——读读〈求实杂谈〉》）

例⑭“碧云天，黄花地”据范仲淹《苏幕遮》中“碧云天，黄叶地”仿制，易一字，而送别意境全出。例⑮“天生陋质难自弃”仿自白居易《长恨歌》中的名句“天生丽质难自弃”，原本刻画杨玉环心态的诗句，换一字而写“凸”字的特征，可称得上巧借妙笔了。例⑯仿欧阳修《醉翁亭记》中的“醉翁之意不在酒”，临时造一句：“醉翁之意不在狗”，利用谐音，句式极“贴”，点透了孟浪子弟耍狗捧场的真正心意。例⑰据俗语“一寸光阴一寸金”仿造出“一寸湖水一寸金”，写尽了大明湖的水产丰盛。例⑱“不闻打字声，唯闻男叹息”据《木兰诗》“不闻机杼声，唯闻女叹息”仿造。例⑲鲁迅说“人生识字胡涂始”这一句是他“翻造”的，依据是苏轼《石苍舒醉黑堂》诗中的原句“人生识字忧患始”。鲁迅的所谓“翻造”就是仿拟。例⑳“黄海海水深千尺，不及舍予送我情”，是由“桃花潭水深千尺，不及汪伦送我情”仿制的。李白曾游泾县桃花潭，村民汪伦以美酒送别，诗人遂写了一首情深意切的《赠汪伦》。例㉑“世事、国事、家事，事事相连；党风、政风、文风，风风有源”是仿句，源头是明代顾宪成题于东林书院的一副名联：“风声雨声读书声声声入耳；家事国事天下事事事关心。”顾联一出，仿者甚多，近日有人仿了一联：“风声雨声不吱声，了此一生；国事大事不问事，平安无事。”这反映了一种消极情绪，胡耀邦同志反其意别仿一联：“风声雷声悲叹声，枉此一生；险事难事天下事，争当勇士。”二仿联相较，胡越天壤，而胡耀邦同志谆谆劝诫之情尤为感人。足见仿似之道，形为下，情为上。

〖**仿调**〗 fǎngdiào 故意摹拟前人的成篇或词调。

㉒阔人已骑文化去，
此地空余文化城。
文化一去不复返，
古城千载冷清清。
专车队队前门站，
晦气重重大学生。

日薄榆关何处抗，
烟花场上没人惊。

（鲁迅《崇实》）

㉓我不知道如此这般酒的文化，终始会对国家，对干群关系，对社会风尚产生什么样的深远影响，反正电影《红高粱》中往酒中撒泡尿反倒酿成好酒是家喻户晓了，反正有人仿《红高粱》创作出了新词，这表明了酒的文化的不断提高，那词是这样的：

花高价，买名酒，
名酒送礼赶火候。
喝了咱的酒，
官大难把威风抖；
喝了咱的酒，不想点头也点头；
喝了咱的酒，不愿举手也举手；
喝了咱的酒，
党纪国法一边丢。
一四七，三六九，
九九归一跟我走，
好酒，好酒，好酒！

（张聿温《酒这个东西》）

㉔平平挖挖平平挖，
挖挖平平挖挖平，
挖挖平平平挖挖，
平平挖挖挖平平。

（《马路歌》选自《常州市民间文学集成资料选》）

㉕据考据家说，这曹子建的《七步诗》是假的。但也没有什么大相干，姑且利用它来活剥一首，替豆萁伸冤：

煮豆燃豆萁，萁在釜下泣——
我烬你熟了，正好办教席！

（鲁迅《华盖集·咬文嚼字三》）

例㉒仿唐代诗人崔颢诗《黄鹤楼》。例㉓“花高价，买名酒……好酒”

仿电影《红高粱》插曲《酒神歌》歌词，讽刺了今日所谓酒文化的一个腐败的侧面，揭露了名酒送礼违法乱纪的恶劣风气。例㉔“平平挖挖……”韵律铿锵有致，原来它是仿平仄脚的七言绝句第三种平仄格式而写成的。这种格式如下：

平平仄仄平平仄
仄仄平平仄仄平
仄仄平平平仄仄
平平仄仄仄平平

例如白居易的《忆江柳》就是：

曾栽杨柳江南岸，
一别江南两度春。
遥忆青青江岸上，
不知攀折是何人！

例㉕“煮豆燃豆萁……正好办教席”仿曹植《七步诗》：

煮豆燃豆萁，
豆在釜中泣。
本是同根生，
相煎何太急！

据《世说新语》记载，曹植为兄曹丕所逼，写的七步诗是六句，上录四句大概是流传中后人加工过的。鲁迅文中所说“活剥”就是仿制之意，仿诗中“我”指杨荫榆手下的代主任汪懋祖之流，“你”指女师大的学生们。“正好办教席”就是对杨荫榆之流从精神上虐杀学生的罪行的控诉。

9. 易　字*

【易字】 yìzì　将前人姓名换去一字，构成笔名，以暗示撰文的意向。

“赵令仪”，鲁迅发表《女人未必多说谎》和为阮玲玉说话的《论

人言可畏》两篇文章所用的笔名。

“赵昭仪”是汉代婕妤的姓名，鲁迅换去一字，作为笔名，使读者由此感受到作者为中国妇女，为中国妇女之受压制受岐视者代言的直切心情。

易字，定义尚不确切，见例尤少，修辞方式又极类仿词，暂不宜立为一格，然而它又不同于一般仿词，故录以备一说。

10. 反　　用*

【反用】 fǎnyòng　故意反原意而仿制词、语、句。

①“他办事向来是‘胸无成竹’”。

②“小刘开车，没人敢坐，他是‘艺低人胆大’。”

③“‘老套筒’本来不精明，调到后勤这个是非坑当头儿，硬来个‘钝刀斩乱麻’，还能不出事儿吗？”

例中“胸无成竹”、“艺低人胆大”、“钝刀斩乱麻”都是由熟语仿制而来，宜归入仿拟，但仿拟中难以另辟“反意仿”一小类，故录以聊备一说。

11. 倒　　反

【倒反】 dàofǎn　（反说）使用和本意相反的词句来表达本意。

运用倒反修辞方法，或可使语言活泼、幽默、有风趣，或能蕴含深刻的思想和激越的情感，有强烈的讽刺作用。

①假若当时我已经能够记事，我必会把联军的罪行写得更具体，更“伟大”，更“文明”。

（老舍《小花朵集》）

②孙占元……，肥头大耳的，是猪肉铺的标准美男子。

（老舍《也是三角》）

③[仙吕调][赏花时]去了红娘冈转加，比及到黄昏没乱煞，花影透窗纱，几时是黑，得见那死冤家？

（金·董解元《西厢记诸宫调》）

④甲：别说，从他们的言谈话语，可以听得出来，对我们的地方戏很有研究。

乙：他们说什么？

甲：这个就说了："据说唱河南梆子最好的要算梅兰啰！""不不不，梅兰芳是唱花腔女高音的！"

乙：什么乱七八糟的！

（马季 锡钧《舞台风雷》）

⑤哼，多有本事！你在这儿哭吧，打吧，多伟大的男子汉！

（贾平凹《小月前车》）

例①"伟大"、"文明"，这里都是作者怀着满腔愤怒揭露联军罪行的，字面意思与表达本意正相反，但表达得更强烈。例②"肥头大耳"是丑相，"标准美男子"是反话，有鲜明的对照效果和讽刺作用。例③"死冤家"指情人，字面意思和本意刚好相反。无恨无冤无讽无怒，纯是爱极情深的称呼。例④"很有研究"是"一窍不通"的反说之辞。例⑤"多有本事"、"多伟大"，正是怨愤中发出的斥其无情、讥其无能的话。

倒反可分为倒辞和反语两种。

〖**倒辞**〗 dàocí （舛辞）情骂或嫌忌，难于直言，用相反的词句来表现本意和真情。

⑥"哈，"李宝堂忽然变成了爱说话的老头儿，他笑着答道，"可不是？咱福都享够了，这回该分咱二亩地，叫咱也受受苦吧。咱这个老光棍，还清闲自在了几十年，要是再分给一个老婆，叫咱也受受女人的罪才更好呢。哈……"

（丁玲《太阳照在桑乾河上》）

⑦几个女人有点失望，也有些伤心，各人在心里骂着自己的狠心贼。

（孙犁《荷花淀》）

⑧丁四:(穿)怎样?

娘子:挺好!挺合身儿。

大妈:就怕呀,一下水就得抽一大块。

丁四:大妈,您专会说吉祥话儿!

(老舍《龙须沟》)

⑨日休道:"冤家,我一吃早饭就巴不得晚。等到如今你还要耍我。"

(明·梦觉道人 西湖浪子《三刻拍案惊奇》)

⑩这里春红已谢,没有赏花的人群,也没有蜂围蝶阵。有的就是这一树闪光的,盛开的藤萝。花朵儿一串挨着一串,一朵接着一朵,彼此推着挤着。好不活泼热闹。

(宗璞《紫藤萝瀑布》)

⑪借与我半间儿客舍僧房,与我那可憎才居止处门儿相向。

(元·王实甫《西厢记》)

例⑥"受受女人的罪"的本意是:享享娶媳妇的福,是反话而无讥讽贬斥,是一种得意心情的表露,属倒辞。例⑦"狠心贼"指这几个女人参军离家而去的丈夫,是用表面上带点埋怨的语气称呼自己的丈夫,透出难于言传的依恋和亲昵之情。例⑧"吉祥话儿"本意是"丧气话儿",是丁四跟大妈逗闷子的眼话儿。例⑨"冤家"是日休对幻化女形的狐仙的昵称。例⑩"好不活泼热闹"插一个"不"字,意思并未颠倒,反而凭空添了几多"活泼热闹"劲儿。例⑪"可憎才"是爱煞人的心上人之意,爱至极,反说"憎",反觉情浓,诙谐,富有生活情趣。

〖**反语**〗 fǎnyǔ (反话 反辞 冷语)使用与本意相反的词语来表达本意,意在讽刺、嘲弄。

⑫"战时和战后的对华援助",据白皮书说是四十五亿余美元,据我们统计是五十九亿一千四百余万美元,帮助蒋介石杀死几百万中国人,也算一项"友谊"的表示。

(毛泽东《"友谊"还是侵略?》)

⑬粥菜?这是不可能有的。有几个"慈祥"的老板到菜场去收集一些菜叶,用盐一浸,这就是她们难得的佳肴。

（夏衍《包身工》）

⑭中国军人的屠戮妇婴的伟绩，八国联军的惩创学生的武功，不幸全被这几缕血痕抹杀了。

（鲁迅《纪念刘和珍君》）

⑮“真是荒唐之至！”刘思扬忍不住笑了起来，“打了败仗，国民党国防部还要厚起脸皮宣布和平，真是别开生面的大杰作！”

（杨益言 罗广斌《红岩》）

⑯譬如说你住在二楼或三楼上吧。楼或小窗下，是人来人往的街道或汽车如流的马路，那么早、午、晚你就会被迫“享受”众声汇合而成的噪音流了。

（香港·舒巷城《噪音篇》）

例⑫以军费援助蒋氏进行内战，屠杀人民，当然是侵略的一种形式，“友谊”之说属反语，加引号提示读者从反向理解语义。例⑬“慈祥”其实是“刻薄凶狠”之意。例⑭“伟绩”、“武功”本是赞誉军人战场上杀敌立功的话，此处用来评说反动的中外武夫屠杀手无寸铁的妇婴和学生，是指斥他们的行为是卑怯的屠杀罪行，是反语。例⑮“别开生面的大杰作”，是反语，讽刺国民党国防部花样翻新的欺骗舆论的可耻把戏。例⑯将受噪音流折磨说成“享受”，是反语，强调了噪音污染对人的健康的损害。

12. 换　义

【换义】 huànyì　利用某些词语的多义性，在一定的语境中，重复使用此词语，先用其某一意义，继而再用其另一意义，并使这两种意义互相关联起来。

换义可以增加语趣，也可深化文意。

①心头也缠着一段云，扯不断，拂不散，天阴心也阴。

（刘庆瑜《栀子花》）

②眼睛多没有学问，所以看不起学问。他也没有骨头，所以也看不起骨头——他重视，极其重视酱肉。

（老舍《正红旗下》）

③一个人死去了，另一个人真诚地为他哭泣着。这在世界上来说，是一件最平淡的事；然而，从这哭声里，从那两人各执一柄如意而终于没有如意的爱情中，我却捕捉到使整个人类能够维系下去，使我们这个世界能够变得更美，更纯净的那么一种东西……

（刘心武《如意》）

④一根扁担四个钉，
两个肩膀压百斤。
左挑右挑两三载，
阿妹挑中哪一人？

一根扁担挑到今，
既挑柴水又挑人。
远近百里挑一个，
挑中盘家好后生。

（彭义斌《瑶家姑娘坐歌堂》）

⑤老甘是铁道兵转过来的，先修铁路，后来当站长，一站就站了三十来年。

（汤保华《一生中的24秒》）

⑥老桂木匠不象有些手艺人酒来酒做，肉来肉做，无酒无肉七做八做。他答应了谁家的木工活，哪怕你屋里餐餐吃红苕喝稀饭他也来，做出的工夫家家一样，件件一样。

（蔡测海《远处的伐木声》）

⑦人固然应该办“公”，然而总须大家都办，倘人们偷懒，而只有几个人拼命，未免太不“公”，……

（鲁迅《两地书·六二》）

⑧明代李空同督学江右，有一生偶与同名。当唱名时，公曰：“尔安得同我名？”出对试之曰：“蔺相如，司马相如，名相如实不相

如。”生对曰：“魏无忌，长孙无忌，人无忌我亦无忌。”李亦称善。

（王利器《历代笑话集》）

⑨然而范博文接下去对杜新箨说的一句话又使得张素素破怒为笑；

“老箨，你和令叔学诗老六，正是不可多得的一对。他是太热，你是太冷，一冷一热，都出在贵府！”

“多谢你恭维。眼前已经是夏天，还是冷一点好。——吃点心罢！这，倒又是应该乘热。”

（茅盾《子夜》）

例①一句中：“阴”字连用，前者是“阴晴”的“阴”，指天气；后者是“阴郁”的“阴”指心情。同字换义，自然地将环境与人情沟通起来了。例②先用“骨头”一词的引申义，说“他没有骨气，没有人格”，后用此词的本义，说“他不要骨头，只贪吃酱肉”。用“骨头”一词的两种义意，将贪吃与没人格联系起来。例③前一个“如意”是一种多为玉制的状如两花相联的爱情信物；后一个“如意”才是“事遂人愿”的意思，有“如意”为信物而有情人终不能如意相随，一句而写出一种凄苦而高洁的恋情。例④八个“挑”字连用，忽而“挑担子”，忽而“挑选情郎”，忽而兼含二意。语涉双关，体现了民歌用字俏皮活泼的特点。例⑤前一“站”字是“车站”，后两个“站”字转为“在自己的岗位上尽心尽力的坚持不懈的工作”之意。例⑥先出现了“酒”、“肉”分别指不同“等级”的好饭菜，接下来的“酒”、“肉”二字转为按随菜好坏而变化了的做活态度。寥寥数语，生动地刻画出了某些手艺人的市侩态度，正得力于换义手法的运用。例⑦前一“公”字，指公事，后一“公”字换义为公平。例⑧换义套用于对偶之中。李公的出句中，前二“相如”是二古人相同之名，后二“相如”是“相同”之意，说“名虽相同，而实不相同”，暗讥该生名与己同，而实际学识无法与己相提并论。该同名生对句中，前二“无忌”是也举出二同名古人，后二“无忌”，直用字面本义，是说“别人不避前人名字，我也可以不避名讳”。对仗工整，语意妥切，止于自辩，并无反讥，合于学生应对的身分态度。例⑨范博文说的是热情、冷淡，两种风格态度，杜新箨，利用换义方法，顺势一转，巧妙地把“冷”“热”二字扯到天气和饮食的温度上，既避免了唇枪舌剑，又为自己解了嘲。

13. 扩　义*

【扩义】 kuòyì （变义）将本来仅适用于某范围、某表现对象的特殊词语，临时移用到另一范围、另一表现对象，赋予新义。

①大家都说他当不了老婆的家也是实话，不过甘心接受老婆的落后领导还应由他自己负责。

（赵树理《三里湾》）

②建筑也是新式，简截不罗嗦，痛快之至。

（朱自清《威尼斯》）

③在微微摇摆的红绿灯球底下，颤着酽酽的歌喉，运河上一片朦胧的夜也似乎透出玫瑰红的样子。

（同上）

从界说看，所谓"扩义"极类似于一些修辞书上所说的"词语移用"，即"把惯用以描述甲事物的词用来说明或形容乙事物"。而所谓"词语移用"并非单一的修辞格。有的是通感，如例③；有的是比拟，与比喻互相补充，如朱自清《威尼斯》说佛拉利堂悬挂的铁沁的《圣处女升天图》"全幅气韵流动，如风行水上"。这是将抽象的艺术概念"气韵"，比拟成流动的水；例②是将"建筑"拟作话语或文章。至于例①，是大词小用，属降用格。可以说"扩义"的界说过于宽泛，例句又分别属于降用、比拟、通感，所以"扩义"不宜立为一格。

14. 降　用

【降用】 jiàngyòng 把分量"重"、"大"的词语降级使用，即故意大词小用。

①三仙姑见二诸葛老婆已经不顾命了。自己先胆怯了几分，不敢恋战，少闹了会儿挣脱出来就走了。

（赵树理《小二黑结婚》）

②上面末句的“多乎哉，不多也”，抄自《孔乙己》，是另一位姓孔的——他的家世可不阔——在茴香豆保卫战时掉的文。

（何满子《语文的魔法的衰变》）

以上二例是将军事术语用于生活琐事的描写上；更多的情况是将政治术语甚至是专用于重大国事活动上的词语使用于生活事件的描述上。例如：

③小艾朋友多，真正喜欢的数应虎。应虎相好的也不少，真正爱见的数小艾。对此，青石沟舆论一律。

（张石山《血泪草台班》）

④一匹尺长的老鼠从网篮中跳了出来，鸡雏又被它咬死了一匹。啊，这令人战栗的凶气！这令人战栗的杀机！我们都惊愕得不能说话了。在我们小小的住居之中，一匹老鼠便制造出了一个恐怖时代！

（郭沫若《山中杂记·鸡雏》）

⑤触目皆是儿子的“书”，将儿子的爸爸的“读物”从随手可取排挤到无可置处，我觉着愤愤不平，看着心乱。既要将自己的书进行“坚壁清野”，又要对儿子的书采取“三光政策”。定期对儿子那些被他作践得很惨的“书”加以扫荡，毫不吝惜。

（梁晓声《母亲》）

⑥藤田教授不吸烟。他说，他的妻子对他实行“管制”。只要他一拿烟卷，夫人便高声提醒：“要得癌症的！”手忙脚乱地开门通风。

（马瑞芳《酒席宴上话留仙》）

⑦家庭里，必定有分工，粗活、重活，男子就应该多分担一些；财政收支男子也可以糊涂一点，把财权让给妻子，并不算怕老婆。当然，妻子要搞民主理财，不要厚娘家薄婆家。一旦财政部长兼总理大臣发生徇私事件，那这个内阁就会发生信任危机，前景也就不妙了。

（舒展《且说“怕老婆”》）

例③至例⑥都是将特定的历史条件下或政治气候下惯用的政治术语，用于生活事件或情趣的描述。”舆论一律”是蒋介石限共的用语，“三光政策”、“扫荡”等是日寇侵华战争用语，“坚壁清野”是抗日军民的用语，总之，这类词语原来的分量都是很重的，用于例中语境，反差很大，于是就形成了异乎寻常的语趣。例⑦是用国务活动专用词语于家计生活、夫妻关系的描述。

⑧我的祖父当会头能够不偏不倚，于是便应运而起，众星捧月当上了盟主。不过他老人家当这个会头实在是徒有其名，大事小情都是请远道人作主，督官承办一切。我的祖父一不争权，二不夺利，甘当虚君共和的傀儡，竟然连任三届会头，大有世袭罔替铁帽子王的趋势。

（刘绍棠《野婚》）

此例描述的并非常人生活小事，而是帮会活动，然而此距称“君”为“王”，仍相去甚远，还是大词小用的手法。

⑨过了几天，他居然独个人住到庙里去了。庙就是从前他恋爱“发祥”的那只庙，可不在山里，而在小小的乡镇。

（茅盾《有志者》）

“发祥”一词本自“浚哲维商，长发其祥。”（《诗·商颂·长发》）旧时谀称帝王出生、建业之地为“发祥地”。人常称黄河流域为中华民族文化的发祥地。例中用于初恋定情之所，大词用于小处，表达了一种调侃意味。

降用是一个使用便当、表现力较强的辞格，也是一个界说清晰的辞格。降用常带点夸张，说“茴香豆保卫战”这里能够没有一点夸张么？然而，从“保卫战”一词使用范围这一角度看，确是大词小用，属于降用格是没有疑问的。某些降用的例子，有近乎比拟之嫌，例④就是，但研究此例说是把老鼠比拟成了残暴的统治者，终觉牵强，它仍不过是大词小用而已。

15. 断　取

【断取】 duànqǔ 表达中为取得某种语趣而使用某词语，只取义于其中一、二语素，余下的部分，只搭配不表义。

①原来，在街上分手后，吕克健一屁股坐在"爆肚"摊上再没起来。他点这点那又吃又喝，直闹得"酒干倘卖无"。最后想起狱中的难兄难弟，遂把剩下的钱都买成羊肚揣在怀里。

（黎刚《天安街传说》）

②一个农村小小的业务员怎么能买得出国家控制的原材料呢？钱能通权！他联系着一个过硬的"权力户"。当然，条子不能白批，"赚"的钱与之"平分秋色"。

（南方《猫变》）

③但多年来，人们对于只有上意下传而无下情上达，只有"一致通过"而无议论纷纷，只有"一言堂"而无"群言堂"的会而不议的会，则往往用言不及义，或沉默不语，以示抵制。

（邵燕祥《说开会》）

④晓兰新婚不久，远走异国，本说是探亲，可又一去不归；刘群落了个"妻离子散"，整开愁眉不展。

（杨祥《心债》）

⑤"江所长，您瞅瞅，这院子'跑马占地''分庭抗礼'，哪儿还有插脚的地方呀！"老"唠叨"这么一唠叨，弄得好几家都不搭理他了。

（禾顷《俗人的纠纷》）

⑥说时迟，那时快，光腚老汉照准"八卦羊"的前胸，扑哧一刀，鲜血顿时喷泉般涌了出来，把老汉一身一脸溅得桃红柳绿。

（赵本夫《斗羊》）

⑦老庄气得牙都咬紧了。

儿媳妇桂珍狠狠瞪了海波一眼，忙向爹爹递上笑脸，说道：

"爹,你别生他的气,他是个'牛黄丸',说不清的!"说完,又忙向海波飘去温柔的一瞥。

(周克勤《晚霞》)

⑧一群村民吵嚷着扑过来,对对眼一见这股口诛笔伐的架势,寒了,把秤砣扔给驼背老汉,唾了一口,一溜烟没影了。

(王瑛《石板村的村民们》)

例①直闹得"酒干倘卖无",只是"直到酒喝干"的意思,即只取义于前二字,"倘卖无",是只搭配而不表义的。例②平分的是非法倒卖国控原材料"赚"的钱,和"秋色"无干。例③意为:只有一人言,而无群众说。是断取"一言""群言"表义,"堂"字只起陪衬作用。例④刘群妻晓兰新婚远去,是谈不到"子散"的,惟"妻离"是事实。这里套用熟语,断取前二字表义,比单用"妻离",语顺意满,充分表现了刘群悲苦的心情。例⑤各住户把庭院分割占用,是断取"分庭"二字表义,"抗礼"有对峙之意,这里只有一点点烘托作用。例⑥光腚老汉杀羊,血溅如"桃红",哪来的"柳绿"?这是断取前二字,其余纯为衬字。例⑦桂珍说"他是个牛黄丸"意在责备丈夫的牛脾气,为公公消气。若将桂珍的话理解为暗喻,说将海波比作"牛黄丸",就讲不通,只能理解为她是将丈夫暗喻为"牛",所以前提是断取。不说"象牛"而说"是个牛黄丸"就很俏皮,增加了语趣。例⑧村民们吵嚷而来,顶多只能算是"口诛",谈不上什么"笔伐",断取前二字表义,是无疑义的。而故意套用人们说惯了的"口诛笔伐",就把对对眼欺弱畏强的市侩心态表现得更充分了。断取格有一类常见的例子:

三国时代,曹操带领大军下江南,攻打东吴。那时,周瑜是个"青年团员",当东吴的统帅,程普等老将不服,后来说服了,还是由他当,结果打了胜杖。

(毛泽东《青年团的工作要照顾青年的特点》)

好在观音姐只身一人,砍了脑壳也不会株连谁,独立娘子军。

(《相思女子客店》)

对以上例子的分析,有两种并立的意见:

其一以为:断取一格之所以成立,就在于截余部分绝不表实意。而例中"青年团员"、"独立娘子军"当作喻体理解,是讲得通的,若把这类

例句收入断取格内，此格的界说将难以廓清，故应排除此类例句。若拿此二例与例②、例⑦相较，便可明了，排除此类例句便可避免此格与比喻的交叉与混淆。

又一种意见以为：此类例句中的“青年团员”、“独立娘子军”并无比喻之嫌，断取意义是明确的，应保留此类例句，否则不仅将断取格限制在一个极小的天地中，而且“损失”了一批能反映断取特色的例句。

两种意见孰是，尚待研究。

16. 别　　解

【别解】 biéjiě （改用）利用某些词或短语的构成语素的多义性，在表达中使这些词或短语离开其本来具有的特定意义，而赋予其以临时的“新”义。

①她的话不但条理分明，而且连数字也象一串串珍珠，从口中滚滚而出。这是一位“胸中有数”的好“当家”。

（曹靖华《点苍山下金花桥》）

②有据可查的资料表明：全国“私奔”人数达8000人，虽与全国自然科学专业的技术人员936万的总数相比仅占万分之零点八五，但这不足万分之一的人才自由冲击波引起了社会的震荡。

（王世荣《人才“留”“冻”》）

“胸中有数”、”私奔”二词语本来都有各自的特定意义，前者是心中有定见的意思，后者是为男女私情而离家出走，且多指女子。在例①中，“胸中有数”有了临时的“新义”：心里记着许多数目。在例②中，“私奔”是指一些技术人员未经组织调动而更换工作单位，这显然是仅适用于此文的一个临时的意义。

别解的功用在于引发读者的联想，词语别解后的“新义”与其“本义”相沟通，以“本义”补充“新义”，使语言的表现力更丰富。

③今年三月一日蒋介石说过：共产党交出军队，才有合法地

位。……我们没有交出军队，所以没有合法地位，我们是“无法无天”。

（毛泽东《抗日战争胜利后的时局和我们的方针》）

④捕风捉影的艺术功力

（《朱自清作品欣赏》中的文题）

⑤……一次是1957年被强行“加冕”之日，心中苦闷，曾经默默地自斟自饮过满满一大盅；……

（公刘《坛外说酒》）

以上三例可证明别解能够增强语言的表现力，扩展语词的内涵。例③，“无法无天”本义是不顾国法、悖违天理，放肆无羁；这里针对蒋介石限共的反动政策，既表示了抗议，又表示了共产党在统一战线内坚持独立自主政策的坚定态度。例④“捕风捉影”本义是比喻说话做事毫无根据；这里用以比喻朱自清先生的艺术功力。“捕风”指朱先生观察入微，抓住了白水漈（方言，指瀑布）如轻纱，似飞烟，象微风之轻拂的特点；“捉影”指朱先生想象入化，塑造瀑布“凌虚飞下”化而为影这个艺术形象的创作过程。一个习见的成语，表现了这么丰富的内容，是由于“本义”补“新义”，生动地说明了别解可以扩展词语的信息含量。例⑥，用“加冕”写被强行戴上所谓“右派”帽子，这加在头上的“王冠”是人格的屈辱和政治上的迫害，这么写“心中苦闷”，分量当然重多了。

⑦这些坚定的人，好比屹立天地的岩石。它们（火成岩、水成岩或变质岩）诞生于“水深火热”之中，经过大水和热火的锻炼，它们生成了一身坚强的筋骨，所以特别经得起狂风疾雨的打击。

（陶铸《革命的坚定性》）

⑧长轮总公司克服了重重困难和阻力，终于在今年3月召开的职工代表大会上，认真研究了长轮旅游体制改革的三个备择方案，最后通过了“一步到位”筹建长江海外旅游总公司的方案，并报请交通部批准，结束了长轮内部“四分五裂”（四个摊子、五块牌子）的局面。

（《长江旅游驶出“困谷”的新起点》）

例⑦别解“水深火热”，借“苦难”的本义补充“锻炼”的新义，使坚定

的革命者必经过艰苦斗争的考验和艰苦生活的磨炼这个思想表达得更生动更深刻。例⑧“四分五裂”本义是名义上统一，内部分裂，各闹独立；别解后，指机构组织得不合理，配属关系混乱。这样写简明生动地点出了改革前组织机构存在的内题，有力地说明了新方案的优越与作用。此二例说明了别解深化表达内容的作用。

⑨周明先举家开山造林千余亩

辞去“包工老板”　　愿做“绿林好汉”

（《中国青年报》1989年9月20日文章标题）

⑩老“马”识途

——记广西百色地区中级人民法院副院长、全国模范马灿芳

（《人民日报》1989年10月27日文章标题）

以上二例，别解增加了语趣，生动引人。而以下诸例，呈现了形态与作用各异的讽刺和幽默。

⑪“请留步！我们……一道走好吗？

“我们？我们是谁？我和你吗？遗憾！不是一个方向。”

“不！恰恰相反，我们正好是一个方向。”

“你搞错了。”

“我搞对了。因为我们都不‘唯物’，而崇尚‘唯心’。”

“真的？那刚才……？”

“哲学测验。”

她笑了。敞开的窗口阳光明媚。

我也笑了。人生得一知己难呵！

（赵德明《窗口》）

⑫也曾图省事，图省钱，去过极简陋的个体剃头摊，想那剃头佬见我长发蓬乱，定然将我认作做手艺的乡下人，于是推子嗄嗄推去，推下鬃毛一大堆，推成“锅铲头”什么的，我也全不介意。回到家，妻子说“长”道“短”，颇有忿忿，好像糟塌的是她的头，皇帝不急太监急！

（杨学贵《说长道短总关情》）

⑬我单身的时候，住办公室，结婚后有了第一个孩子，也住在

值得纪念的办公室兼宿舍里，二十年如一日。后来，搬迁入民房住，我暗自命名为“泥居斋”。一间屋，一张桌，一铺坑，这便是我的“三一律”，“三堵墙”，可以演出”雄壮的话剧”。

（许淇《读书、藏书和书斋》）

⑭门诊部的一位医生，忽然有一日想起来，这“风流寡妇”年轻时有则暗疾：一侧输卵管通，一侧输卵管不通。于是她逮个机会，张牙舞爪讲了一通。很快，“风流寡妇”的输卵管，也成了人们谈兴的佐料。谈来谈去，不啻上了一堂人体解剖课，令许多毛头小伙恍然大悟，茅塞顿开。不知是哪位能人，竟从中悟出一个雅号——“半导体”，真真令人叫绝！

（范军昌《热障》）

⑮我有幸和绀翁都属于“五七届北大同学”，1957 年送到北大荒去的。

（黄苗子《半壁街忆语》）

例⑪写一对初识的男女青年，经过试探，在对人生崇尚、爱情基础的认识上获得了统一，终于互相敞开了心扉。交谈中巧妙地使用别解，说明了崇尚感情鄙弃物欲的人生观和爱情观，是一种轻松的幽默。例⑫写妻子关心丈夫的仪容更甚于丈夫本人，丈夫说及妻子“说‘长’道‘短’”的情态，借用别解，洒脱而愉悦，是和例⑪一类的幽默。例⑬，“三一律”本是欧洲古典主义戏剧的剧本创作规则，用于此是精神上自在自得的一种自嘲。例⑭“半导体”别解后，用以称“风流寡妇”表面上诙谐，深层里是作者对“医生”、谈客们和发明这个“雅号”的“能人”的道德上的鞭笞。例⑮也是自嘲但语及遭受政治迫害的经历，感情是沉重的。

17. 返　　源*

【返源】 fǎnyuán　偏离了某一词语的通行的一般语义，而返回到它的语源意义上来使用它，以便达到某种反常的表达效果。

二楼三楼——厂长书记，
四楼五楼——亲属、“关系”；
工人阶级——顶天立地，
知足常乐——咱不生气。

（《中国青年》1981年1月4日第8版）

返源与别解基本重合。本辞典已设别解一格。（参见王希杰《返源格》一文，该文载《修辞学习》1989年第3期）

18. 挪　用*

【挪用】 nuóyòng　将本不用于某场合的词、语、句临时挪来使用。

①到汉代，十个五铢钱为一个汉尺，其长度不足今制五寸。所以小说，传奇中所云古人身高一丈，并非相当于现代人的两倍，否则古人进现存的古庙、古殿将真要“竟折腰”了。

（陈文良《谈谈类书的功用》）

②“韦凡……”从背后传来一声非常耳熟的呼唤。哦——那是阮丹！她呆呆地站在那里，发痴地望着已经成为过去完成式的丈夫。

（中英杰《在地震的废墟上》）

“挪用”仅规定词、语、句使用场合的挪动，界定不严。例①“竟折腰”的“折腰”一词，毛泽东咏雪词中是“倾倒，崇敬”之意；《晋书·陶潜传》：“不能为五斗米折腰”用的是“行礼，拜揖”之意。此例中用的是“弯腰而进”的字面直义，却不是此词语的常用义，应归入“别解”格。例②“过去完成式”本是英文文法术语，挪过来用，是将人拟物了。

若据“挪用”此定义寻例，古代“某场合”专用的词、语、句挪用于今，或今词用以描写古人古事，殆近于“移时”；若将大词用于小，重词用于轻，则无别于“降用”了。

据此，“挪用”不宜于视为一个独立的格，但不妨当作旁及若干修辞

格的一种宽泛的说法，有的资料上又称其为“词语移用”，那是连比拟、通感的例子都包容进去的。

19. 套　　词

【套词】 tàocí　故意套用某种现成的词语，表达与该词语大相径庭的内容。

①我一般在饭后和爱人闲聊中，把这些情况（注：指家庭经济收支情况）自然地告诉她，在不是一本正经中完成“一本正经”。

（《我这个男当家的……》）

②她希望自家毫不出众，不要被许含远看见，认出了……为甚还要踮起脚，“出人头地”张望呢？

（叶明山《天鹅》）

例①第二个“一本正经”套用熟语，却不用其常义，临时解为“一本正式的家庭收支帐”。常义与“句中义”，确是大相径庭。例②套用“出人头地”，是就字面解为：“（踮起脚）脑袋高出众人”，而其常义是“高出众人一等”，语义相去甚远。此二例均应列入“别解”。“套词”的定义与“别解”的定义“形相远，意相近”，“套词”强调套用“现成的词语”，不及“别解”所谓临时赋予某词语以新义的界说明确。“套词”另辟一格的理由是不充分的。

20. 增　　动

【增动】 zēngdòng　选用富有动感的词语，使语句比常规说法增强力度，或者表现出动者益动的情貌，或者给人以立体感。

①随后他们结婚了，金菊的嫁妆，说得出的只有一只马桶箱。

……家就这样撑起来了。

（谢鲁渤《人与草》）

作者不说“家就这样建立起来了”，而说“撑”起来了，一个“撑”字，动感强，形象性强，突出了他们在生活的重压下建立家庭的艰辛。

②他看完这封信心里却急剧跳动起来，似乎幸福挤进他的心，他将要晕倒了！

（柔石《二月》）

“他”指萧涧秋，“信”是陶岚来的，用“挤”字，有强烈的动作性。动作持续的时间长，这样更能表现出陶岚对萧涧秋的不懈的执着的追求和萧涧秋为陶岚的热情打动时兴奋不已的心理状态。

③当东方破晓时，李景文依依不舍地离开计算机房，登上自行车又沿着百里路程往回滚动。蹬啊蹬，滚啊滚，日复一日，月复一月，自行车轮沿着那条曲折的、喧闹的、冷静的百里曲线，滚满了整个喷炎吐火、汗流浃背的夏季，又滚到寒风萧萧的晚秋，计算机还在唯唯地叫，车轮还要不停地往复地滚……

（张家军《大潮·擂台·主人翁》）

通常人们总是说，蹬自行车，骑自行车，但作者在这里偏用了“滚动”一词，说李景文在每天蹬自行车沿着百里路程来回“滚动”。“滚动”一词动感强烈，更能突出长距离骑车的艰苦性，表现主人公为事业拼搏的坚强意志。

④今天的民主空气比过去好，有些搞不正之风的人，不怕别的，就怕见报。我们可以利用漫画这武器，把它捅出去，起舆论监督作用。

（《漫画十人谈》载《光明日报》1988年9月4日）

不用“揭露”、“披露”、“发表”一类的词，而说“捅”出去，用语形象，动作很有力量，动感强烈，给人的印象鲜明而深刻。

⑤跋涉了八十二年了，她似乎刚刚意识到一点点疲倦，身体上插了好多胶皮管，她极艰难地喘息着。这是我有生第一次见到病重垂危的人，想不到竟是丁玲。

（王曼曼《下雪了，我去看丁玲》）

用“跋涉”一词，使读者仿佛看到老人一生都在坎坷崎岖的道路上艰难地行进。如果换成“度过”了、“生活”了一类的词语，文字就淡然无味了。这是因为“跋涉”一词在这里有具体的动感形象。

⑥在那山径上，碧水边，姑娘们飘着彩色长裙，顶着竹篮、水罐，走回开满波斯菊的家园。

（魏巍《依依惜别的深情》）

一个“飘”字写出了姑娘们轻盈的步态，仿佛她们裙下生风，正轻快地走来。如果将“飘着”换成“穿着”，那动感、美感就全然没有了。

⑦她约摸三十岁左右，高身段，戴着墨镜，耳朵上摇着两只金色的大耳环，怪好看的。……

……一进门，两只金色的大耳环恰巧迎面摇过来。

（杨朔《埃及灯》）

不说“戴”耳环，“吊”耳环，却选一“摇”字，就把“她”婀娜多姿的体态生动地描写出来了。

⑧他不回答，对柜里说，“温两碗酒，要一碟茴香豆”。便排出九文钱。

……

我温了酒，端出去，放在门槛上。他从破衣袋里摸出四文大钱，放在我手里，见他满手是泥，原来他便用这手走来的。

（鲁迅《孔乙己》）

这段文字写孔乙己两次到酒店喝酒，先是未到穷途末路，还要摆读书人的架子，所以“排出九文钱”来。等到陷入了绝境，已困苦不堪，只得在“破衣袋”里“摸”钱了，由“排出”到“摸出”正显示出孔乙己生活的变化。如果这里改用“付钱”、“拿钱”.“交钱”等词语的话，其表达效果就差远了。

增动是炼字法之一，它研究的是如何锤炼动词，以增强动感，立体感，提高动词的表现力。

21. 炼　字*

【炼字】 liànzì　选择最能达意传神的关键性词语。

①东城渐觉风光好，
　皱波纹迎客棹，
　绿杨烟外晓寒轻，
　红杏枝头春意闹！
　……

（宋·宋祁《玉楼春》）

②……
　沙上并禽池上暝，
　云破月来花弄影，
　重重帘幕密遮灯，
　风不定，人初静，
　明日落红应满径。

（宋·张先《天仙子》）

王国维在《人间词话》中评这两首词时说"'红杏枝头春意闹'，着一'闹'字而境界全出，'云破月来花弄影'，着一'弄'字而境界全出矣。"宋祁为此博得了"红杏尚书"的桂冠，李渔则称张先为"云破月来花弄影郎中"。的确，一"闹"字、一"弄"字使画面由静态变动态，赋予春花以生命和知觉，"闹"字写出了繁花争春、春意蓬勃的景象，视觉沟通听觉，读者还能联想起蜂鸣燕语的场面来。而"弄"字写尽花枝摇曳，花影移动的风韵，令人感到月色的美好。

③众芳摇落独喧妍，
　占尽风情向小园。
　疏影横斜水清浅，

暗香浮动月黄昏。

……

（宋·林逋《山园小梅》）

“疏影”“暗香”二句，前人称赞“颇得梅趣”，“于梅之真趣颇自曲尽”。其中用“浮动”一词写梅花香气幽幽发散，极动人。作者用视觉写嗅觉，把不可见之物拟作可见之物，香味便有了形象，有了动态，仿佛正弥漫开来将溶入朦胧昏黄的月色之中。

④王荆公绝句云：“京口瓜州一水间，钟山只隔数重山，春风又绿江南岸，明月何时照我还。”吴中士人家藏其草，初云：“又到江南岸”，圈去“到”字，注曰：“不好”，改为“过”，复圈去，而改为“入”，旋改为“满”。凡如是十许字，始定为“绿”。

（明·洪迈《容斋续笔》）

王安石最后选定“绿”字作句子的谓语，“绿”是形容词，这里临时改变词性，活用为动词，属于文言词的使动用法，用“绿”字就把春风吹遍江南，水乡一派春色，绿野千里，生机勃勃的景象淋漓尽致地描绘出来了。

⑤陈舍人从易……偶得杜集旧本，文多脱误。至《送蔡都尉诗》云：“身轻一鸟□。”“鸟”下脱一字，陈公因与数客各用一字补之：或云“疾”，或云“落”，或云“起”，或云“下”，或云“度”，莫能定。其后得一善本，乃是“身轻一鸟过”。陈公叹服，认为虽一字，诸君亦不能到也。

（宋·欧阳修《六一诗话》）

“身轻一鸟过”的下句是“枪急万人呼。”上句赞蔡都尉擅长纵跳，下句讲他会使枪。一“过”字写出他跳跃时体态轻盈，敏捷如飞的特征，有高度，有速度，动感强烈。改用其他几个字都显得滞重，用“疾”字、“度”字，有速度而缺少轻快感，用“起”、“落”、“下”字则看不出跳跃的高度。惟“过”字使人觉得动者益动、印象深刻。

以上各例，历来被推崇为炼字的典范。但严格说来，例①的“闹”字是拟人格和移觉格的综合运用；例②的“弄”字用的是拟人格；例③“浮动”二字属拟物；例④是转品格；例⑤用的是增动格。这样炼字格就被抽

空了，失去了存在的必要，反过来，如果承认炼字作为辞格的独立意义，那么炼字势必与众多辞格外延交叉，“剪不断，理还乱”。吴士文在《修辞格论述》中说：“……炼字之说，比较笼统，没有揭示出具体规律来，‘炼字’成了一个无规律可循的术语，充其量只能说它是对用词的一个‘要求’或用词上一种精益求精的‘精神’。”

22. 婉　　曲

【婉曲】 wǎnqū （婉转 委婉 曲达 隐曲）故意不直接说出本意，而用曲折含蓄的话加以暗示。

婉曲的特点是：“意在言外，使人思而得之”（司马光《迂叟诗话》）。使用婉曲辞格可使读者于咀嚼品味中对作者所要表达的本意以及作者的褒贬态度获得更深的认识和更强烈的感受。

①新来瘦，非关病酒，不是悲秋。

（南宋·李清照《凤凰台上忆吹箫》）

②不一会儿，大群的蚂蚁赶到了，那只看来有60公斤的豹子很快就剩下了一堆白骨。

“天哪，才四分半钟。”不知哪个细心人喊了起来！接着，人们的脸上就都蒙上了惊惧和紧张的表情，连最勇敢的人身上都起了鸡皮疙瘩。

（彭嘉宝《人蚁大战》）

③宋恩子　我出个不很高明的主意：干脆来个包月，每月一号，按阳历算，你把那点……

吴祥子　那点意思！

宋恩子　对，那点意思送到。你省事，我们也省事。

（老舍《茶馆》）

例①陈望道先生曾解说为：“要说的明是相思的苦，却不直说。”而

从“新来瘦”之因去说，排除了“病酒”、“悲秋”，让人想来，唯有相思苦一事了，这就是婉曲。含蓄，有许多品味的余地。例②不明说害怕，而用与害怕相关的事物“身上都起了鸡皮疙瘩”来暗示。例③宋恩子等敲诈茶馆掌柜，不说钱字，换一种说法：“那点意思”，也是婉曲。不过这里的不直说，不是羞于出口而闪烁其词，而是点到而已，对方却必须照办，透着强横无忌。

婉曲分为婉言和曲语两种。

〔婉言〕 wǎnyán （婉辞）不直接说出本意，而故意换用一种含蓄的说法。

④怎样才能证明自己的清白呢？坠坠想。

夜里，坠坠一根绳子送走了自己。

（李贯通《美目》）

⑤“我来漠河三十年了，三个孩子是漠河生的，妻子是黑龙江当地人。我已习惯吃高粱米、苞米大楂子了。”说着他微微一笑。他说得很幽默，轻松，但有斩钉截铁的力量。

“要在这里干一辈子吗？”

“我不是漠河人，可要做漠河鬼。”

（门瑞瑜《冰雪风情》）

⑥他写最后通谍式的信问她：“你还爱我吗？”

她回信道：“我已想不起你的模样来了……”

（徐慎贵《流光集》）

⑦“我还有一件事在心里已经埋了好久了。”他欲说又止，望着小清。

“你就说吧。”

“……我想将来复员以后索性到甘南去落户，为那里的建设贡献自己的一份力量。”

“我跟你一起去！给你当个‘后勤部长’！”

（马继红 五宗仁《昆仑山的爱情》）

⑧贾蓉看了说：“高明得很。还要请教先生，这病与性命终究有妨无妨？”先生笑道：“大爷是最高明的人：人病到这个地位，非一朝

一夕的症候了；吃了这药，也要看医缘了。依小弟看来，今年一冬是不相干的；总是过了春分，就万望痊愈了。”贾蓉也是一个聪明人，也不往下细问了。

（清·曹雪芹《红楼梦》第十回）

⑨后期年，齐王谓孟尝君曰：“寡人不敢以先王之臣为臣。”孟尝君就国于薛。

（《战国策·齐策》）

⑩呜呼！以赂秦之地封天下之谋臣，以事秦之心礼天下之奇才，并力西向，则吾恐秦人食之不得下咽也。

（宋·苏洵《六国论》）

例④不直说“自缢身亡”或“上吊了”，而换用了一种说法：“一根绳子送走了自己”。例⑤用“要做漠河鬼”来表达要在漠河“干一辈子”的决心，含蓄而更激切。例⑥“我已想不起你的模样来了，”这并非对“你还爱我吗”这个真切的问题的直切的回答，而是换用了一种含蓄的说法，但表达的意思并不含混，不仅明确而且斩截。例⑦用“给你当个‘后勤部长’”表达了姑娘情愿远嫁随夫的心意，婉曲得体，符合人物的身分和性格。例⑧给秦可卿看病的先生怎能遽言病危难愈呢？换了一种说法“非一朝一夕的症候了”、“也要看医缘了”，含蓄却不含糊，所以贾蓉才“不往下细问”了。例⑨“不敢以先王之臣为臣”等于宣布解除孟尝君的政府首脑的职务，这种外交辞令用于君臣、骨肉之间，足以透视出齐王、孟尝君之间关系的紧张。例⑩“食之不得下咽”这一婉言不仅生动而且增大了语言的内容含量，其中包括可能出现的秦与天下诸侯之间强弱胜败关系的逆转和秦人处境的危厄。

综上述，可见婉言的作用并非婉转含蓄一种，可暗伏语锋，可隐示深情，可包容广义，常因文境不同而各显异彩。

〔**曲语**〕 qūyǔ （折绕）不直接说出本意，通过描述与本意相关的事物来烘托本意。

⑪然而假如有一位精细的读者，请了我去，交给我一枝铅笔和一张纸，说道，“您老的文章里，说过这山是‘崚嶒’的，那山是‘巉岩’的，那究竟是怎么一副样子呀？您不会画画儿也不要紧，就钩出

一点轮廓来给我们看看罢。请，请，请……”这时我就会腋下出汗，恨无地洞可钻。因为我实在连自己也不知道“崚”和“巉岩”究竟是什么样子，……

（鲁迅《人生识字胡涂始》）

⑫一个牧人到了这里，
　但又匆匆赶走了饥瘦的羊群；
　一个农民到了这里，
　但只留下了几道粗糙的锄印。

（顾工《在世界屋脊的土地上》）

⑬这下更糟糕，她古怪地笑了一下之后，那双亮晶晶的眼睛模糊了，滚出一颗我从未见过的如此粘稠又如此晶莹的液体。那混浊的眼睛里柔情缱绻，我差不多难受得要哭啦。

（刘毅然《摇滚青年》）

⑭他走着，走着，路灯一盏一盏的亮了。他走着，走着，路灯又一盏一盏的灭了。

（茹志鹃《丢了舵的小船》）

⑮那五一听，后脊梁都潮了。带着哭声说：“他见我一来劲，不得把我劈了吗？”

（邓友梅《那五》）

⑯折戟沉沙铁未销，
　自将磨洗认前朝。
　东风不与周郎便，
　铜雀春深锁二乔。

（唐·杜牧《赤壁》）

⑰相去日已远，
　衣带日已缓。
　浮去蔽白日，
　游子不顾返。

（《古诗·行行重行行》）

例⑪不说羞惭难当，而描述相关事物说“腋下出汗”以此来烘托本

意，这是曲语。例⑫描写了牧人“匆匆赶走了饥瘦的羊群”、农民也留下“几道粗糙的锄印”而匆匆离去，曲折地反映了高原的荒漠，反而给读者留下了较为具体、深刻的印象。例⑬不直说“哭”字，却具体描写了泪珠，获得了更强烈的打动读者的效果。例⑭借路灯的明灭写夜来夜去。例⑮不直说那五被吓出一身冷汗，却描写他“后脊梁都潮了”，借曲语而增强语言的形象感。例⑯“铜雀春深锁二乔”是曲语，本意是：周郎兵败，东吴丧国。这里暗用《三国演义》典：孔明曲解曹植《铜雀台赋》，以“揽二乔于东南兮，乐朝夕之与共”说曹操进兵江南欲夺孙策妻大乔和周瑜妻小乔，以激怒周瑜。例⑰借“衣带日已缓”写相思情苦人渐消瘦，后来柳永《凤栖梧》中“衣带渐宽”一语意极相近，也是用曲语写相思苦瘦的。

曲语和婉言都是曲折含蓄达意，曲语不是如婉言那样换言陈意，而是借助相关事物的描绘、烘托、不说“哭”，而写“泪”，不言“惭”，而写“赧”，常以形象感人，以情动人。

下面的句子是极易误认为是曲语的例子：

> 当二十根红红的蜡烛即将燃尽的时候，我点燃了平生的第一枝香烟（我没有成为一个烟鬼，像大学生很多人那样，仅仅因为我很爱惜自己）。
>
> （程士庆《二十岁的坦白》）

例中“二十根红红的蜡烛即将燃尽的时候”，不是婉曲（曲语），因为这里它仅是写实，不是“二十岁”，也不是“二十岁生日”的“同义语”。

不说“死”，而说“永远的休息了”；不说“得了癌”，而说“得了那个病”。不说“上厕所”，而说“方便一下”；不说“来了月经”，而说“倒霉了”，等等。这一类本属于婉曲格。但考虑到：1. 许多修辞著述中另设了“避讳”一格；2. 一般婉曲都有一种“换一种说法，使语言更有‘味’，更有‘劲’的积极表达意向”，而“避讳”却常常基于惊恐、厌恶之情，或碍于世情、礼法，羞于出口，难于言表，“迫不得已”而换言，有一种“消极”的表达趋向。所以本辞典将“避讳”另立一格。

23. 易　代*

【易代】 yìdài　故意换去达意真切的人称代词，曲折含蓄地示意。

①姚志兰一甩脑袋，怪不耐烦地说："谁不自在？人家不想吃，不能强咽！"

（杨朔《三千里江山》）

②她要立刻当面向妈妈祝贺，她要把那位母亲的话告诉妈妈，她甚至想偎在妈妈怀里撒娇："妈，请客吧，人家想吃油焖大虾，肠子都想得起锈了！"

（黄世衡《剧照》）

③英子带小来子回家拿自己的衣裳，小来子刚把两瓶西凤、一盒喜糕搁到桌子上，英子妈就哭骂着把礼物抓起来扔到屋外去了："你、你们好不要脸！"

英子不甘示弱："怎了？我们明媒正娶，谁不要脸！"

"你……好！好……我不要脸！"英子妈索性大哭起来。

（韦池《亲争》）

④"尔貌则寝，尔躯则修。

（蒲松龄故居蒲氏画像自题语）

⑤丹青不知老将至，

富贵于我如浮云。

（唐·杜甫《丹青引赠曹将军霸》）

例①用第三人称代词"人家"替换第一人称代词"我"，示意姚志兰好不耐烦。例②以"人家"代"我"，正适合一种喜悦心情下的撒娇语气。例③用"我"代"你、你们"，正写出了英子妈气愤已极，一时又想不出回击英子顶撞她的话的语态。例④以第二人称代词"尔"自呼，表现了蒲松龄自规甚严的语气。例⑤"我"指曹霸，以第一人称代词称表现对象，语直情切。

易代，有临时变更人称代词的特别模式，应用范围较窄。

24. 避　讳

【避讳】 bìhuì （讳饰 避嫌）对忌讳的事物或不便直接说出的事情，改用他语来回避掩盖或装饰美化。

①我们两国人民一向是友好的。由于大家都知道的原因，两国人民之间的来往中断了二十多年。现在，经过中美双方的共同努力，友好来往的大门终于打开了。

（1972年2月21日周恩来总理在欢迎尼克松总统宴会上的祝酒词）

“由于大家都知道的原因”一句话，避开了中美两国对立长达二十余年的历史，以免重提历史的是非，引起不愉快的回忆，而破坏了宴会的友好气氛。这样说，既注意了外交礼节又注意到了外交策略的灵活性。

②照部队规定，当战士的是不准谈“个人问题”的。这一条历来很明确，没有任何含糊的余地。

干部常在队前讲话说：

“有空余时间，你宁肯看蚂蚁搬家，也别往那一方面去动心思，动也白动。”

（徐怀中《西线轶事》）

“个人问题”、“那一方面”在这里是“谈恋爱”、“搞对象”的避讳语。由于谈情说爱为兵营纪律所绝对禁止，因而干部战士谈及此类事，都改用他语代替。

③我向他机关的人打听过，老王在那里面是不是被那个得很厉害，吓破了胆？回答很简单，他所受到的那个，决不是最上乘的，当然也不是下乘的。可大家都不知道为什么要在那里面呆着，于是

便象狗一样地互相咬，就这样而已。

（李国文《钥匙》）

在小说中，人们还处在某种政治高压下，不敢公开议论“文革”的事，只好采用避讳语，“那个”、“被那个”，指受私刑、拷打；“那里面”指关押所谓“牛鬼蛇神”的“牛棚”。

④象这样，天气暖和，没有病痛，走动也比较自如的时候，祖母就摸索着去到房檐下，去看她的“老家”，照直说就是棺木。那是人们能唯一知道的百年之后的去处。

（何士光《日子》）

说“棺材”必然使人联想到死亡，这样不吉利，所以改称“老家”。“百年之后”即指去世之后。

下面举两个文言中的例子。

⑤至尊尚蒙尘，
几日休练卒？

（唐·杜甫《北征》）

⑥大阉亦逡巡畏义，非常之谋，难于猝发。

（明·张溥《五人墓碑记》）

两例都言及与帝王有关的事，出于为君王讳的动机，作者改用了其他说法，例⑤“蒙尘”指安史之乱，玄宗出逃落难。例⑥“非常之谋”、“指大阉”（魏忠贤）企图篡夺帝位的阴谋。

世界各民族语言中，都有对“死亡”的避讳说法。

汉语中“死”的避讳语非常丰富，其中一部分已固定成型，成了一般语词，象“长眠”、“宾天”、“鹤化”、“驾鹤”、“仙游”、“仙逝”、“兰摧玉折”、“地下修文”、“香消玉殒”等等，这些都是“死”的同义词，已不具备修辞意义。

有些话语，只有在特定的语境中，才成为“死”的避讳语，这类话语具有修辞意义。

⑦初三，雷雨顺的病情开始恶化，上午十点钟，雷雨顺处于精神恍惚状态，爱人刘秀芳心情沉重地问他：“老雷呀，你是不是要扔下我们。”雷雨顺说：“不，你不要太悲观了。”刘秀芳又问：“如果万

一呢?”雷雨顺闭上了眼睛,泪水不住地滴在被子上,他断断续续地说:“万一我不行了,有三条要记住:……”

(中央人民广播电台广播稿《生命之歌的最后乐章》)

⑧自己的伙伴一个个的都入蛰了,把世界交给了年青人。

(梁实秋《中年》)

⑩到了夜半,我仍半跪半坐的伏在她床前,她看着我喘着说:“辛苦你了,……等我的事情过去了,你好好的睡几夜,便回到北京去,……”母亲把这件大事说得如此平凡,如此稳静!

(冰心《南归——贡献给母亲在天之灵》)

⑩聂耳以二十三岁的青春年华,过早地写下他生命的休止符。

(何为《他的进军号》)

⑪“孩子,你知道吗?要是没有老水牛爷爷,咱娘俩早就填进鱼肚子里去啦。哪还能活到现在?”

(峻青《老水牛爷爷》)

以上五例中,加着重号的话语,都是“死”的避讳说法,它们都带着作者或说话人的主观感情色彩,或是表现出生之留恋,或是面对死亡镇定、超脱;有对英年早逝的憾恨,有对重新获得生命的感激。这些话语都具有积极的修辞意义。

避讳和婉曲都有拐弯抹角,迂回曲折,闪烁其词的特点。但避讳是专指人们对种种犯忌触讳不便直说的事物,用另一种说法来代替。而婉曲则是说话含而不露,故意用烘托、暗示的方法,婉曲表意。

⑫成岗愉快的看着这个聪明伶俐的孩子,这孩子太可爱了。

“你在这里……呆了好久了?”成岗不愿对孩子说出那个可怕的“关 ”字,改口说成“呆了好久”。

(罗广斌 杨益言《红岩》)

⑬鲁贵 ……孩子,你可放明白点;你妈疼你,只在嘴上,我可是把什么要紧的事情,都放在心上。

(曹禺《雷雨》)

例⑫是避讳。成岗十分怜爱、同情这个从小失去了人身自由的孩子,不愿伤了这个孩子稚嫩的心,所以他故意把“关押”说成“呆在这

儿”。

例⑬是婉曲。“要紧的事情”，暗指四凤与大少爷的恋爱关系，鲁贵自以为抓着四凤的把柄，故意把话说得若明若暗，想借此要挟四凤把四凤控制住。

25. 伸　　缩

【伸缩】 shēnsuō　有意把话说得富有弹性，留有伸缩的余地，以适应情况的发展变化。

①中国方面重申自己的立场：台湾问题是阻碍中美两国关系正常化的关键问题：中华人民共和国政府是中国的唯一合法政府；台湾是中国的一个省，早已归还祖国。

美国方面声明：美国认识到，在台湾海峡两边的所有中国人都认为只有一个中国，台湾是中国的一部分。美国对这一立场不提出异议。

（《中美联合公报》）

美国方面的“声明”避开了中美双方有争议的一些提法，使用“台湾海峡两边的所有中国人”和“中国”这些外延相对宽泛的概念，表述既明确，又留有伸缩回旋的余地，体现了外交辞令的高度策略性。

②登泰山之前，范曾有言：将以泰山诗谢齐鲁诸友。我问其能得多少，戏答：“五首不保底，十首不封顶。”

（李存葆《云自舒卷风自狂》）

“五首不保底，十首不封顶”究竟是多少？只能是在一定数量范围内上下浮动的约数，虽精度不高，却可以使人有一个轮廓式的了解。

③一位老工人接过纱巾，细细观看。……纱巾的一角，烧痕如窟，残破不全，要织出与其他三个角相同的对称图案来，粗算也需要四十多种不同颜色的比头发丝还细的线。那老工人看后，沉默不

语。当听完北京饭店的同志详细介绍原委后，老工人操着江浙一带的口音低声说："我试试吧。"

"能行吗？""真有办法吗？"人们急切地问。

"这么大的损坏面积，这么复杂的图案，一般说来没办法复原了，但是对这条非同一般的纱巾，没有办法也得想办法呀！"

（徐永青等《八十年代风华录·织补大王》）

"老工人"号称"织补大王"，织补技术绝伦，所谓"试试看"，意即可以织补，但不能保证成功；"一般说来没办法复原了"，但没有绝对排除复原的可能性；"没有办法也得想办法"，显然是有办法，有织补成功的希望。"老工人"不把这些话说满，说绝，留有余地这正说明他勇于实践，又具有实事求是的科学态度。

④钱志强推没推掉，拖没拖成，躲又躲不住，没法子，11月初，他只好硬着头皮走马上任。

情绪归情绪，工作归工作。在全厂大会上他说："我没把握厂子将来一定光明灿烂，但我保证一天天好起来。"

（《钱志强被拉上了火药罐，来则安之》

载《中国青年报》1989年10月30日）

这位厂长很懂得讲话艺术，他的许诺虽然是低调子，并不吊人味口，但实实在在，能使人看到希望，为他今后开展工作留下充分回旋的余地，赢得了主动。

⑤举止文雅的江南才子马晓春能从有聂卫平、钱宇平、俞斌等参加的循环圈中，历尽艰辛冲杀出来，夺得挑战权，其实力也非同一般。马晓春说："郑州决战，我虽不占地利、人和之优势，但相信棋盘上的胜负机遇对两个人都是同样的！"言谈话语之中，流露出一股雄心勃勃的勇气。

（《逐鹿中原》载《人民日报》1989年10月29日）

马晓春的话，"棋盘上的胜负机遇对两个人都是同样的"，表示了他力争胜利的决心，同时也客观地看到了两种可能性，活说得很自信，但也可进，可退，有很强的适应性。

⑥狮城战局正是曲径通幽处，虚无缥缈间。六强谁都不能肯定

出线，谁也不会与出线无缘。两队3分，两队2分，两队1分，犬牙交错，牵一发动全身。中国队没能脱颖而出，后三战必然酷烈，因而更要有最佳的心力，山崩不惊。

（《两分钟的丧钟》载《北京青年报》1989年10月20日）

六个强队不可能都出线，也不可能都不出线，这话乍听起来，等于没说，但若根据当时各队的积分，考虑到球场瞬息万变的情况，它又不失为是对复杂战局的一种客观估计，能鼓舞受挫的中国队继续争取出线权。

⑦按照世界排坛的规律，一支队伍从组建到进入巅峰，大约需要4到5年的时间。从这个角度看，中国女排目前还处在青年时期。对于她们来说，重要的不是争一日之短长，而是把本届世界杯赛当成一次极好的练兵机会。只要她们在这次比赛中能够真正受到锻炼，积累经验，相信她们一定会有振兴的一天。

（《着眼点还应在练兵》载《光明日报》1989年11月4日）

相信中国女排"会有振兴的一天"，这既是热切的期待，也是根据女排的历史、现状，对其未来作出的科学预测。但是，"振兴的一天"何时到来？明年？后年？九十年代中期？这又是必然中之偶然，具有弹性和模糊性了。

汉语中有一些语词，常用作修饰语，使语义伸缩，具有弹性，如："大约"、"大体上"、"大都"、"大抵"、"基本上"、"原则上"、"一般地说"、"通常情况下"、"有可能"、"可能"、"争取"、"力争"、"或许"、"……左右"，这些语词，对事物的质、量、度的描述都带有一定模糊性，这样可以扩充语言表述的适应空间。

伸缩是一种具有修辞功能的语言形式。在方法上，不把话说绝对，使话语富有可上可下、可宽可窄的弹性；在内容上，伸缩是在对各种情况作了充分的估计、预测之后，使用的一种模糊性语言，它建立在科学的基础之上。它和语义不明，模棱两可是完全不同的两回事。

正确使用伸缩，可以使人们客观地评估事物；在社会交际中，可以使人们争取主动，无懈可击，立于不败之地。

26. 闪　　避

【闪避】 shǎnbì　有意避开提问者提问的实质，用含义宽泛、精确度不高的语言回答问题。

①疗养所里不断人来人往，不论谁家的客人，都会给大家带来乐趣。有一天，忽然有一个女同志拜访杨朔，她年轻，短发，眉目清秀。可以看出，她的光临，给杨朔带来了巨大的快乐。，她是谁呢？人们都好奇地作着猜测。

他们在滩上散步，笑声朗朗。

"你的客人是谁？"

"最可爱的人，"——他回答。

我突然惊喜地认出，她就是那个姓宁的女医生。

（丁宁《幽燕诗魂》）

杨朔一生"形单影孤"，这位"女医生"的来访，自然会引起人们的关注，"你的客人是谁"这句话的语用含义是想了解"客人"的姓名、身份及与杨朔的关系等。而杨朔的回答很风趣："最可爱的人"（"客人"是杨朔在抗美援朝时期采访过的一名志愿军女医生），答话很笼统、精确度不高，使用的概念外延过宽，内涵适应性强，避开了提问的实质，这是有意违反语用学"会话中合作原则"的"信息适量准则"（话语的信息量要适当，应包含交谈目的所需要的信息），信息低于适量，问话人只能由此去推想言外之意，妙悟其中的语趣了。

②我跑到那里找到失主，她表示非常感谢我，她问我住在哪里，叫什么名字，我说了一句"住在北京"就跑回来。

（冰心《咱们的五个孩子》）

③正好王老汉从山上下来侦察敌情，被匪军捉回村子，吊打了一顿，逼问毛主席哪里去了。老汉斩钉截铁地说："你们问毛主席吗？他在陕北！"说完话闭上眼睛任凭敌人鞭打脚踢，再也不发一

语。

（阎长林《胸中自有雄兵百万》）

④狗强盗，你要问我么：

“枪、弹药，埋在哪里？”

来，我告诉你：

“枪、弹药，统埋在我的心里！”

（田间《坚壁》）

三个例子都故意违反了信息适量准则，答话信息均低于适量的标准，而这三句答话的蕴涵都是为了保密。例②“我”的回答“住在北京”，“北京”是一个地区概念，不是具体住址概念，二者是属种关系，包容关系，所以“我”说了等于没说，这正体现了“我”助人为乐的精神。例③王老汉故意用精确度不高的语言来愚弄敌人，表现出对敌人的轻蔑，对毛主席的热爱和保卫毛主席的高度觉悟。例④是一首短诗，作者用高度凝炼的语言，铿锵有力的节奏，反映了抗日军民同仇敌忾的意志，“枪、弹药，统埋在我心里”一句似答非答，精确度等于零，其弦外之音是要和敌人血战到底！

再来看两个例子：

⑤老大爷从半昏迷中苏醒过来，望着谭天洪问：“解放军同志，你贵姓？”

“我……解放军。”谭天洪答道。

（刘耀晖《钓鱼城大水战》）

⑥岑朗开心地大笑起来，她笑得很响，无拘无束，笑声好象一串叮咚的雨声。我也忍不住大笑起来。

“你爸爸，做什么？”我笑得有点气喘。

“一个普通人。一个对生活始终充满了新鲜感的人。”

多么狡猾的回答，可惜对生活保持新鲜感的爸爸们实在太少了。

（张抗抗《去远方》）

闪避还常常违反“会话中合作原则”的“关联准则”（说出的话要和话题有关），或是答非所问，或有所答有所不答，或是言不及话题，来造

成某种表达效果。

⑦姑娘心里想着什么？
她为什么一声不响？
琴师和鼓手闪在姑娘背后，
嘀咕了一阵又慌忙追上——

“你心里千万不必为难，
三弦琴和手鼓由你挑选……”
“你爱听我敲一敲手鼓？”
“还是爱听我拨动琴弦？”

“你的鼓敲得真好，
年轻人听见就想尽情地跳；
你的琴弹得真好，
连夜莺都羞得不敢高声叫。”

琴师和鼓手困惑地笑了
姑娘的心难以捉摸到……

（闻捷《舞会结束以后》）

“琴师”和“鼓手”同时向“姑娘”求爱，让“姑娘”做出选择，姑娘却巧妙地避开话题，盛夸他们的琴艺和鼓技，答非所问，因而才使得“琴师”、“鼓手”“困惑”不解。

⑧蛮队长不再回答。……他只管履行自己的职责，隔一会，想起似的喝一声：“大家发言，交得清得交，交不清也得交！”……
“有能，你能交清么交不清？”队长从存粮较多的户主问起。
“交嘛，那就交嘛。”有能并不直接回答。
“有生你呢？交上交不上？”
“交着看嘛，尽量交着看嘛”
“有宝！”
“交是要交，怕交不出那么多。”

"有年！懒熊一个，你还睡了个踏实！"

"——哦，我没意见，大家说啥就是啥。"

挨家挨户拷问了一遍。

（柏原《喊会》）

"蛮队长"开会落实各户的公粮数，农民由于化肥、种子等农用物资供应难以落实，在会上显得散漫、消极，他们故意避开队长问话的锋芒，有所答有所不答，语言含糊其辞，既不肯定，也不具体。小说真实地反映了农村实行联产责任制初期的种种矛盾。

对中国文化产生过很大影响的佛教禅宗，彻底否定客观世界，包括眼、耳、鼻、口对客观事物的感觉，甚至否定语言的作用，他们提倡"即心即佛"，主张"离言"，讲究"参活句"，要摆脱文字的滞累。因此，在大量的禅宗灯录、语录里，一问一答，答者总是闪烁其辞，言不及义，说了等于没说，这样的表述方式又往往和"闪避"法是殊途同归的。

⑨问：柏树子还有佛性也无？

师云：有。

云：几时成佛？

师云：待虚空（即天空——引者）落地。

云：虚空几时落地？

师云：待柏树子成佛。

（《古尊宿语录》卷十四）

这一段对话，禅师的回答真是玄之又玄，实际上等于什么也没有回答，纯属"废话"。今天看来，无异于文字游戏。但是联系到禅宗"见心见佛"的教义，这样的答话却又是耐人寻味的了。这也是一种语言技巧，有值得我们借鉴的地方。

闪避和伸缩的区别：

闪避和伸缩尽管都有语义精确度不高的特点，但二者的界限是分明的。

闪避者，避开对方问话的锋芒，闪烁其辞，似答非答，答非所问，有所答有所不答；伸缩则是考虑到客观情况的变化，说话留有余地，不绝对化。前者适用于与人对话，其目的是不让对方了解具体、真实的情况

或掩盖某种动机；后者往往用来评价、推测、估计某种事物、某种情况，并尽量使之符合客观实际。

27. 变　　文

【变文】 biànwén （变化 变用）为避免文字重复单调，有意变换字面，表达相同或相近的意思。

①熊庆来慧眼认罗庚，
华罗庚睿目识景润。

（徐迟《哥德巴赫猜想》）

②他咬着嘴唇，说："隋头儿，我王桂林站着不比别人矮，坐着比别人不矬，大家能干，我凭什么不能干？看我的行动吧！"

（孟晓云《天空与大地之间》）

③她忠实地始终如一地向大地散发着缕缕温暖，丝丝纯真，片片金黄。

（席小平《太阳与大地》）

④村庄面对大河，观空旷原野，看来往船只，听阵阵涛声，不无惬意，不无诗韵。

（卞卡《踏歌黄河滩》）

⑤大堰河，
今天，
你的乳儿是在狱里，
写着一首呈给你的赞美诗。
呈给你黄土下紫色的灵魂……

（艾青《大堰河——我的保姆》）

⑥我将深味这非人间的浓黑的悲凉；以我的最大哀痛显示于非人间，使它们快意于我的苦痛，就将这作为后死者的菲薄的祭

品，奉献于逝者的灵前。

（鲁迅《为了忘却的记念》）

例①“慧眼”、“睿目”义近，用于此都是有识别英才的过人的眼力的意思，变换字面，以避雷同；“认”、“识”都是识别之意，换字用意同上。例②“矮”、“矬”同义，避免重复，增加了语言的生动性。例③“缕缕”、“丝丝”、“片片”，义相近而有别，前二者义尤近而也有别，变换字面，不仅避免重复，而且将太阳照耀大地的状况表现得丰富多彩。例④“观”、“看”义甚近，“听”与前二字有别，表现着形态各异的事物。例⑤“灵魂”何来颜色？用“紫色”修饰，表现了诗人对大堰河勤劳质朴、憨厚慈爱的性格和她悲惨的生活遭遇的深沉的追忆。这是对表现色彩的词语的一种超常的选用。例⑥“悲凉”也无所谓颜色，说“浓黑的悲凉”，就赋予了“悲凉”一种可感知的内容，读者可以以自己的生活体验去补充它。这和例⑤同属表现色彩的词语的超常选用，是变文格中的一种类型。

〖**避复**〗 bìfù （择语 换词）为避免重复使用雷同词语，有意换用同义、近义的词或短语。

避复可使语言富于变化，生动活泼。

⑦特别是近年来，我感到一盏生命之灯火，不是那么轻易熄灭的。说某人不见了，或许死了，八成辞世，无疑亡故，肯定就木，若不是亲眼目睹（即便是也一样），并不可靠。几年或几十年后，忽而神奇地出现，象一颗早已殒落的星辰，又恰然出现在苍穹之上。

（叶楠《遥远的乡情》）

⑧读书人家的子弟熟悉笔墨，木匠的孩子会玩斧凿，兵家儿早识刀枪，……

（鲁迅《不应该那么写》）

⑨一年年，一代代，祖祖辈辈钢铁般的筋骨扎高了“天车”；世世代代咸涩的汗水蒸亮了盐粒。

（曾新《盐井·祖辈的传说》）

⑩那些存心不朽的伟大，未必不朽；那些并没想不朽的凡人，也许会永生。

（李国文《涅槃》）

⑪东南山水，余杭郡为最；就郡言，火隐寺为尤；由寺观之，冷泉亭为甲。

（唐·白居易《冷泉亭记》）

⑫上古竞于道德，中世逐于智谋，当今争于气力。

（《韩非子·五蠹》）

例⑦“死”、辞世”、“亡故”、“就木”意思一样，本来它们文体色彩各异，用于此表现了种种人种种情况下说的无非是“死”的意思。例⑧“子弟”、“孩子”、“儿”意同，避复。例⑨“祖祖辈辈”、“世世代代”无异。例⑩“不朽”、“永生”都指精神、业绩、名声永传后世。列⑪“最”、“尤”、“甲”这里都是“最佳”之意。例⑫“竞”、“逐”、“争”这里都是较量的意思。上述诸例中标示的词语群都属于同义关系，或有文体色彩之别，或有本义相较之异，但用于例中都可视为同义，同义变文，避免了字面雷同，可使读者品味到同义词（语）文变意不变的妙处。

〖**表异**〗 biǎoyì 调配排用的或位置相对应的词语，显示词语达意上的细微差别。

表异要求调配词语，使之与前后词语搭配恰切，使排用的、相对应位置上的词语呈现一种同中取异、异中隐同的语言美。

⑬她从未忘记自己来自于大地，是大地赋予她智慧和力量，因而，无论在艰难困苦的岁月中，还是辉煌庄严的成就面前，或面对一番灿烂，数处艳红，几度清幽，她一时一刻也未偏离大地，更未去向往那天宇间常常飘缈着的一个个多色的梦境。

（席小平《太阳与大地》）

⑭山里的特产是剽悍的汉子和标致的女人，溪村多山，自然也就不免平添出些如火如炽的憨男痴女，……

（阿路《溪村印象》）

⑮十一月二十六日，在迎亚运的街头宣传活动中，一名戴黄帽的少先队员，向我行了个队礼，双手将一张绿色传单给我……

一个庄重的队礼，

一抹珍贵的晨曦；

一张小小的传单，

一片无价的新绿。

（方孜行《队礼·晨曦·新绿》）

⑯一条无形的线
一条绿色的线
系着永恒的生命
挽着彩色的春天

（晓晴《邮》）

⑰半个月以后。
一山土黄土黄的坟冢。
一溜土黄土黄的坟冢。
一丘土黄土黄的坟冢。
坟里头长眠着一位穿西装的爱国老人，枕着大地深沉的呼吸。

（陈金山 苏效明《魂兮归来》）

⑱也许是受了星的暗示。
也许是受了风的鼓动。
也许是受了海的诱惑。

（戴珩《跋涉者》）

⑲城里人刻薄，最是不把乡下人放在眼里。离城近的种田汉，城里人称他们是“瞭城村汉”，倘是那些站在山旮旯里的，晾在山尖上的，窝在半山腰的，便一概呼之曰“村山佬儿”。

（燕治国《小城》）

例⑬“番”、“处”、“度”、三个量词于对应处排用，分别与中心词“灿烂”、“艳红”、“清幽”、恰切搭配。例⑭“憨”、“痴”二词都可释为“傻”、“痴情”、而“憨”有“憨直”的意思，“痴”有“忘情”的意思，前者偏于外露，后者深隐内心，说“憨男痴女”确是同中有异，异而有同。例⑮量词表异。例⑯“系着”、“挽着”都有“牵着”的意思，前者及于“ 永恒的生命”，有着无限大的时间跨度，一个“系”字，短长由之，形象上很贴切，而后者却获得了一种人格化的效果。此二字的选配也是表现着异同变化的语言美。例⑰依序的量词变化，收到了由远景、近景到特写的视点推移的效果。例

⑱“暗示”、“鼓动”、“诱惑”都表达着自然界对人的启示和召唤，都把大自然当作有灵性、可以深刻地影响人的情感、意识的东西；“星”闪烁不定，极象人的眼光，宜用“暗示”；“风”吹物动，它的启迪方式很象一位演说家，确在“鼓动”；“海”深广无际，奥秘无穷，人怎能摆脱它的“诱惑”？此例调配动词正是着眼于寻求语言的协调美。例⑲“站”、“晾”、“窝”意近而异，不仅写了山民的生活环境，而且写出了同是山区的三种不同环境中的山民的不同的生活状态，丰富了表现的层次。

添色 tiānsè 描述事物，巧用表色的词语，或赋予无具体形态之物以某种颜色，或易甲色为乙色。

添色可以调配色彩，使描写的画面呈现一片奇丽的色彩，烘托出一种奇特的气氛，获得了一种美妙的语趣；可以赋予抽象的对象一种外在形态，暗示出作者某种内在的、非直观的感受。

⑳抬起眼睛，那边站着两个巡捕；手枪在他们的腰间；泛红的脸肉，深深的纹刻在嘴围，黄的睫毛下闪着绿光，似乎在那里狞笑。

（叶圣陶《五月三十一日急雨中》）

㉑花虽被报纸裹得紧紧密密，还是被车上的人发现了：“是桂花吗？”一位老者郑重地对我说：“回去拣一枝粗壮的，插在泥里，明年就会长成一棵桂花树，会开花。”

汽车晃荡、思绪飘浮，我眼前浮现出一种桂影，金色的桂影，埋藏在我的心中已有数十年了。

（施雁冰《桂》）

㉒啊，淅沥沥，淅沥沥，这动人心弦的芭蕉雨，不知奏出了多少新的东西，哦，我爱这绿色的芭蕉雨……

（李萌《芭蕉雨》）

㉓朝霞似金，银色的欢愉充满大地。

（朱开芳《自然的礼赞》）

㉔于是桨声汩——汩，我们开始领略那晃荡着蔷薇色的历史的秦淮河的滋味了。

（朱自清《桨声灯影里的秦淮河》）

㉕干燥苍白的白天好不容易过去啦，蓝色的夜晚在午门沉重

降临，风应该是黑色的，不然月亮没有那么亮。

（刘毅然《摇滚青年》）

㉖又有的是黑的死和白的骨，

又有的是砭人肌骨的冰雹风雪。

（殷夫《别了，哥哥》）

例⑳眼"闪着绿光，"对外国巡捕的描绘，也不是写实，却写出了阴冷和狰狞，这就是变换表色字眼的妙处。例㉑说"桂影"是"金色"的，是理想化的，是一种美丽的憧憬。例㉒雨是无色的，写"绿色的芭蕉雨"，变换了表色词语，是把雨罩芭蕉，芭蕉映雨的感觉形象化了。例㉓"银色的欢愉"生动地表现了作者面对金色的朝霞，陶醉于大自然美境中的感受。例㉔秦淮河的历史有多少百花娇艳，有多少红男绿女，有多少艳事倩闻，这本无所谓什么颜色，但饰以"蔷薇色"确可以唤起如上的一切想象，这正显示了"添色"格的表现力。例㉕断定风是黑色的，由月亮"那么亮"的对比度的需要中来，这纯然是作家的一种带点"玄思"味道的感觉。添色格极适合这种表达的需要。例㉖赋予"死"以黑的颜色，和"白的骨"形成鲜明的反差，相反相成，构成了一幅恐怖的画面。

28. 避　　实*

【避实】 bìshí　避写实象。并存二说。

其一：避写实象，故用曲说。

章台路，还见褪粉梅梢，试花桃树。

（宋·周邦彦《瑞龙吟》）

相见时，红雨纷纷点绿苔。

（元·王实甫《西厢记》）

前例"章台"借代妓馆，后例"红雨"借喻落英。界说近婉曲，例句分属借代、借喻，故不宜另立一格。

其二：避写实象，换用描写颜色的词语。

绿云扰扰，梳晓鬟也。

（唐·杜牧《阿房宫赋》）

唯见无涯浓影绿，
绿山绿水绿空气。
依稀望眼绿风吹，
天上绿云飘绿宇。

（公木《游桂离宫》）

前例写宫人美发，避开“乌”字，改用“绿”字，不刻意求真，却添加了文章鲜丽的色彩。后例“绿风”、“绿云”、“绿宇”都不用实笔，却写尽了16世纪日本智仁亲王，智忠亲王父子修建的庄园的景色，此说类同“变文”格中“添色”，也不宜另立一格。

29. 拈　连

【拈连】 niānlián （顺连 关连 连物 语义巧移）两事物连在一起叙述时，把本来仅适用于前一事物的某词语拿来用到紧承叙述的另一事物上。

对前一事物的叙述称为“拈连的前提部分”；对紧承的另一事物的叙述称为“拈连的后连部分”；拈连而用的词语称“拈连词”。

①“俺爹在旧社会扛了十年长活，攒钱娶了俺娘。”他在吃葱花油饼，“我打算扛三年长活，攒钱娶个汽车。”

（张一弓《春妞儿和她的小嘎斯》）

②哈西姆跟许多坎儿井匠人一样，替水霸、地主挖了一辈子的水，给自己挖到的只是贫穷和疾病。

（袁鹰《戈壁水长流》）

③纺车是母亲生活的一部分；也是她生命的一部分。从少女时

代就一只手牵着，一只手摇着，把少女摇成了白发的老妪，把挺直的腰杆摇成了佝偻。

（张拓芜《纺车》）

例①将“爹”扛活攒钱娶亲和“我”扛活攒钱买汽车两件事连起来说，顺势把“娶”字用到紧承叙述的买车这件事上，把两辈人的不同追求与命运生动而鲜明地表现出来了。例②替水霸、地主挖坎儿井取水和自己贫病交加二事连叙，拈用“挖”字，揭示了哈西姆落入终身“贫穷和疾病”的原因。例③拈连而用“摇”字，生动地描述了是纺车伴母亲度过了劳苦的一生。

拈连分严式和宽式两种。严式拈连要求拈连的前提部分、后继部分和拈连词俱全。

④天寒热泪也冻成冰。
冻不住心头的爱和恨！

（阮章竞《送别》）

⑤一滴殷红的血浸透信笺，浸透送他的那张小照，浸透了那支夏夜的和弦……

（沁人《永远的琴声》）

⑥不寻思巧青还有这么大的野性，一个不顺心拔腿就跑了，寻死去？觅活去？那纺绳的后生真就比媒人说下的女婿强？野小子，偏会纺哩，才来过两三回，倒把个十七大八的姑娘“纺”走了——便宜死你！

（李锐《晨雾》）

以上三例，拈连结构完整，属严式。以下诸例是宽式，总是结构“残缺”、形式多样：

⑦我只是伫立凝望，觉得这一条紫藤萝瀑布不只在我眼前，也在我心上流过。

（宗璞《紫藤萝瀑布》）

⑧碧纹把十几封信铺了一片，泪眼模糊，她读着了他的一颗痛苦而诚朴的心。

（晓玫《苦思》）

例⑦省去了前提部分的“流”字；例⑧前提部分残缺，省去了“一封封地读着”。

⑨河边栽瓜搭瓜架，
连心隔水丢不下。
窗棂棂开花用纸糊，
相思的心儿关不住。

（阮章竞《漳河水》）

⑩赵梦桃的整个幼年，就是在一个筐箩里坐完了的。

（魏钢焰《红桃是怎么开的？》）

例⑨写一个女孩子躲闪情人而又思恋难奈的心态，省去了“将自己关在屋中”这个拈连的前提部分；例⑩是“赵梦桃坐在筐箩里，坐完了整个幼年”的变形。此二例也是宽式拈连。

拈连和比拟、换义、升华、巧缀常有交叉、混淆，应细心辨析。

⑪她嫁了过来，简直是嫁给了 愁苦，一切的辛劳，一切的焦心，都有她的份，独没有片刻的安适。

（叶圣陶《抗争》）

此例说“嫁给了愁苦”，这确是将“愁苦”比拟为人，但有“嫁……嫁……”的句式，拟人落在了完整的拈连结构之中，因此可以说这是借助于拟人的拈连，或说是拈连套用拟人。类似的套用拟物的例子也常见。

⑫今天他有很重要的事跟马婶商议——她要开始弹棉花。

小伟说，秋天一过，家家户户都要做新被，弹棉花准能赚一笔钱。弹花机简单，搞点旧部件他就能帮她组装起一台来。

她绝对相信她的小伟。

她要从别人的破套中“弹”出一个三十岁的有家而没有家庭的女人热情奔放的生活乐章——当别人获得新棉套的时候，她预见到了她获得的将更多些……

（梁晓声《雪城》）

⑬脑血栓，这病非同小可，他却笑着说：“栓别人行，栓不住我！”

（方成《借题话旧》）

此二例形似而质异。例⑫由弹棉花说到收获，即“弹出一个……生活乐章，”妙在前一个“弹”字是加工棉花，后一个“弹”字换义为“演奏”，这是拈连套用换义。例⑬“脑血栓”病名，“栓”字是“阻塞”或“阻塞物”之意，后两个“栓”字变成了“捆绑”之意。分析至此，逼似例⑫，然而例⑬有一个对话语境，有一个语义上的“故意差接头”，所以并非如例⑫的换义，而是曲解词义，而顺势说开去，因此，此例不宜视为拈连套换义，而应归人巧缀格。

⑭但她仍然转动着纺车，不断地纺着，把生命纺成一支黄昏恋歌。

（淡墨《乌蒙山，我的故乡》）

⑮今年比往年都热闹，我记得当人们把种子撒在泥土里时，同时撒下多少希望和多少幻想呵！

（刘白羽《秋窗偶记》）

例⑭、⑮二例拈连的后继部分涉及了意念、精神上的升华，可视为拈连套用升华，这在拈连格的使用中是极常见的。

30. 转　品

【转品】 zhuǎnpǐn （转类）凭借上下文的条件，临时转换词性。

①小巷深处又走出三个少女。一人在前，一人居中，一人在尾，等距抬着一根很长很长的竹杆，象糖葫芦一样，竹杆上一串儿穿着几十个小方凳。她们迈一步，筒裙一飘逸，腰肢一袅娜，竹杆一弹颤，小方凳一晃悠。她们舒舒缓缓向这边走来，我看呆了。

（路夫《泼水节拾零》）

②一位老太太，朱唇，大墨镜，进蒙妮坦门后又换了副全金丝眼镜。她被热情地让到椅子上。

"我这头发很稀，台北会把它一根一根立着竖起来，吹得很结实，台北……"她张口台北，闭口台北地说着。美发师一边和老太太搭腔，一边就做起发型来。等老太太"台北"完了，头发也按她说的式样做出来了。

老太太一看，乐了，"姑娘，你可真灵，没想到北京也能理出台北的样式来。"

（石梅《"篆妮"交响曲》）

例①中的"飘逸"、"袅娜"等形容词用作动词，意为："简裙一摆，更显得飘逸；腰肢一扭，更显得袅娜"；生动地描绘了少女步态轻盈、丰姿绰约的样子，格外动人。例②中的"台北"，名词用作动词，意为："大谈台北如何如何；"不仅切合人物特殊的身份，而且暗示出她说话颇为絮叨的特点，有几分揶揄的味道。可见，运用转品，可以使一个词临时获得两类词性的特点，兼有双重的表现力，明朗与含蓄、单纯与丰富、简洁与复杂，合而为一，耐人寻味。

再看几个例子：

③没有风的山谷就一日接一日地宁静着了。

（刘恒《连环套》）

④她的体态妩媚出铃兰般的风韵，清泉一样的眼睛淹没了她的理智……

（赵秀杰《爱的浮沉》）

⑤"大哥！你现在是什么级？科级吗？正的，副的？"

大哥恶了一眼大嫂，然后，转过脸，温温良良地问："爸，您老今年的身体感觉怎么样？很好吧？"

（阿成《年关六赋》）

⑥两兄弟心齐，打起架来一道上，不容易吃亏。兴趣爱好也相像，都瘾上了康乐球。

（陈小初《落叶——弄堂轶事》）

⑦想想，这次下乡前，我也开了次会，每人纪念了一支圆珠笔，便拿出来递给她。

"这是纪念给我的，你若要，就纪念给你。"

（吕新《圆寂的天》）

⑧“嘻，亲亲我……”女人软着腔子说。

三仙就亲，亲得好狠，象头兽。

女人疼的直揉嘴，说：“干嘛！干嘛！你要亲死我哪?!”

三仙狼着眼说：“对！”

（阿成《龟裂》）

⑨“什么曲子？”

“《春之祭》，斯特拉文斯基的。”

“他是谁？比贝多芬还贝多芬吗？”

“说不清反正都说要听他的东西。”

（王刚《冰凉的阳光》）

例③中的“宁静”，形容词用作动词，意为：“保持宁静”。例④中的“妩媚”，形容词用作动词，意为：“显露（出）妩媚的（风韵）”。例⑤中的“恶”形容词用作动词，意为：“凶恶地看了（一眼）”。例⑥中的“瘾”，名词用作动词，意为：“上了瘾”。例⑦中的“纪念”，名词用作动词，意：“当作纪念品送给……”。例⑧中的“软”，形容词用作动词，意为：““软软地说”；“狼”，名词用作动词，意为：“象狼一样瞪着（眼）”。例⑨中后一个“贝多芬”名词用作形容词，意为：“（更）富有贝多芬的特色或魅力”。设想一下，如果将例句中的“转品”一律改为一般用法，那么势必会失去原句言简意活、造语新奇的特点和独具情味的魅力。

在现代汉语中，许多类词都有这种生动的转品现象，从而大大地丰富了词语的表现力和灵活性，给予人们以更多的锤炼语言、创意修辞的自由空间。再看一些例子：

⑩月亮高了，离山远了，也明亮了许多。它的光银银地，玉玉地，花草就有了形状。虽然仍然看不见花的颜色，然而风却不断送来芳香。

（向宁《草原散记》）

⑪美兰子狠狠鞭了金蛋一眼，将身子往转一拧。

（张秉毅《簸箕弯》）

⑫他喜好常常地邀上些男朋女友钳拉一口酒，巴几一口菜地

大吃大喝。

（曾璞《假如你是凤凰》）

⑬两口子在一起过了几十年，没叫过名，没喊过姓，彼此称呼都是一声“哎”。他们“哎”了几十年，很顺口，也早习惯了。

（范军昌《热障》）

⑭江老先生是去年死的，就死在更房里。脸上永远着老人的慈祥。

（阿成《良娼》）

⑮朦胧中，我发现柜台后有个妞总瞅着我，好象在哪儿见过，我想不起来了。大路和她挺熟，一招手就过来了，风度翩翩地翩到我们身旁。

（刘毅然《摇滚青年》）

以上例⑩中“银银”、“玉玉”，名词用作形容词，意为：“象银一样（明亮）”，“象玉一样（光洁）”。例⑪中的“鞭”，名词用作动词，意为：“象鞭子抽一样瞪（他）”，例⑫中的“嗞拉”、“巴几”拟声词用作动词，意为：“嗞拉一声喝（酒）”，“巴几一声 吃（菜）”。例⑬中的“哎”，拟声词用作动词，意为：“哎”字代名字互相呼叫着。例⑭中的“永远”，副词用作动词，意为：““永远保持”。例⑮中的“翩”与其他各例稍有不同，即先从“风度翩翩”拈出，而后转品，形容词用作动词。还有点增动的色彩。

比较起来，转品与拈连容易相混。但转品仅仅是临时性的变换词性，而拈连则着眼于意义上的配合，也就是将某一个词从意义上有配合关系的环境里顺势拈出而移用到意义上不能配合的环境中来，并且不改变词性。例如：

她每次来婆婆家，工作人员就会对她说：“老赵，又来补衣服吧！”这时，她总是会意地笑笑。在一件又一件衣服上，她那细密匀实的针脚，不仅缝进了儿媳的一片孝心，也缝进了中国妇女对老一辈革命家的深深崇敬。

（赖仁琼《康克清同志生活剪影》
载《人民日报》1989年11月16日）

例中的“缝进”即为拈连，拈出移用后词性未变，仍为动词，与例⑮

中的“翩”字显然是不同的。

31. 示　姓

【示姓】 shìxìng （示性）临时给人或物取个姓氏，表示其特性或归属 。

①马老当年，曾因提出“新人口论”遭到围攻，有一英雄，曾汹汹发问：到底姓哪个马？意思之间，象马老这样的人只配姓马尔萨斯的马，不配姓马克思那个马的。

其实，马老一直姓他自己的马。事情弄清，大家才明白过来，但时间已一去二十年，我们的人丁兴旺到快十亿。热气固然腾腾，大家的日子可不怎么从容。

马老的可贵，在于以忧国之诚，求实之意，创立自己的见解，而不是去抄录哪个“马”的现成结论，而保持着自己的姓。如果说都抄现成的结论，马克思又去抄谁的呢，马克思正因为不跟费尔巴哈和黑格尔姓，才有姓“马”的马克思哲学体系的。

（陈泽群《这株蔷薇未着花》）

上例共有七处运用示姓法，形成了这篇短文的主要语言特色。其中“到底姓哪个马”，“只配姓马尔萨斯的马，不配姓马克思那个马”三句，是某“英雄”的观点，意在诬蔑马寅初的“新人口论”是反马克思主义的，是宣扬马尔萨斯的人口论。“马老一直姓他自己的马”一句，则是说马寅初坚持自己的理论观点，坚持真理，不屈服某种政治权势。“而保持着自己的姓”指马老坚持独立思考，不蹈袭前人，不搞教条主义。短文最后两句意即马克思正是在批判继承了费尔巴哈、黑格尔之后，才创建起自己的哲学体系的。文章以此为论据，肯定马寅初可贵的“求实”精神。

②好收成少不得“瓜菜代”，

歹年月全仗紧裤带。

二小子直把大哥问：

咱农民为啥总姓“贫”？

（张志民《“死不着”的后代们》）

③党支部书记屈信兴奋的告诉记者：去年全村人均收入972元，公共积累近200万元，“穷棒子”再也不姓“穷”了。

（《“穷棒子”新风采》载《瞭望》1989年第47期）

④这是不是科教片剧本呢？不是。科教片姓“科”，它要介绍的主体是客观的自然现象及其发展变化的规律。……

……这两段文字显然是姓“科”的。但它与科教片仅仅是同“姓”的“本家”，而不是科教片“本身”。

（蒋明《科教片剧本风格漫谈》）

⑤随着商品经济的发展，许多原来不“姓”商品的东西也投入“商品大家庭”的怀抱，其中影响比较大的是住房商品化。

（《北京日报》1989年10月27日）

⑥尤其是在贸易谈判之中，我们总不能忘记，资本家是要赚钱的，而为着赚钱有的人会施展某种手段，因此也就应当牢牢记住，对方姓甚么，自己姓甚么。

……

当心吧，在友好交际当中，在觥筹交错席上，在礼尚往来时候，在邀请访问期间，千万不要忘记了自己贵姓，免得以后一旦有人问起，吃吃艾艾 。

（老烈《您贵姓》）

上述五个例子用“姓×”或“不姓×”的形式表明了人或物的特征属性。例②“姓贫”是指受旧体制束缚，长期以来农民处于经济贫困的地位，“二小子”的问话表达了农民渴望勤劳致富的愿望。③“ 不姓‘穷’”，以简洁概括的三个字说明“穷棒子”们已经摘掉贫穷帽子，走上了富裕的道路。例④第一段“科教片姓‘科’”旨在强调科教片剧本除了运用一般电影表现手段外，还应具备科技教育的种种特殊属性。第二段所谓“同‘姓’”指科教片剧本与一般科学知识读物具有共同的本质属性。例

⑤“不‘姓’商品的东西”指原来国家统一调拨分配的产品。例⑥所谓“对方姓甚么，自己姓甚么”指要弄清楚对方代表谁的利益，自己代表谁的利益，不要丧失了原则立场；“千万不要忘记了自己贵姓”意即不能丢失国格、人格，丢掉了气节和尊严。

⑦《儿童歌声》姓公，属国家单位。她的工作人员为了向全国普及吉他艺术，在认真编辑刊物之余，义务加班，无私地贡献自己的精力和智力。红棉艺苑姓“私”，系私立学校。她的负责人决心争做“精神万元户”，用获得的个人办学权利多为社会尽些义务。

（江曾培《在免费培训班上》）

用“姓公”、“姓私”，说明两个单位的所有制性质，前者属全民所有制，后面属个体经济。

八十年代中期，有一部电影《爱情啊！你姓什么？》，片名采用了示姓方式，别致，醒目。影片中男女主人公有这样一段对白：

林容：说，爱情姓什么啊？

李振钢：对有的人她姓钱；对另外的人，她又姓权；对真正的人，爱情是忠贞不渝，是宽容、希望，是力量！

说爱情“姓钱”、“姓权”，形象化地批评了某些人的恋爱观，以追求金钱或权力做为目的，把爱情当做交易的筹码，这正是影片中男女主人公所不齿的。

有趣的是，这部电影上映后，引起了“爱情姓氏效应”，一些作品先后写到了相似的内容，戈悟觉在小说《她和她的女友》中写道：

肖颖抱住球，问：“打不打？输了请看电影，晚上有《爱情你姓什么？》，看看它姓什么。”

金家树说：“不看。不看也知道，姓金。”

说爱情“姓金”与前例“姓钱”意义相同，而且语义双关，有幽默感。电视剧《卖大饼的姑娘》，其中也有类似的谈话：

陈东华：晚上去看电影《爱情啊，你姓什么？》好吗？

徐　芳：好啊！那你说，爱情到底姓什么？

陈东华：姓“大饼”！

陈东华的回答很俏皮，看似不着边际，其实陈东华是在暗示徐芳：

他们在“卖大饼”这一平凡事业的基础上，建立起了共同的理想和感情，他们已经心心相印。

“示姓”在民歌中常见，请看选入《川陕苏区红色歌谣》中的两首民歌：

老子本姓犟，
住在巴山上。
要我不革命，
西方出太阳。

太阳落西又出东，
水打船移岸不动。
站起撂倒不改姓，
老子祖辈都姓红。

“本姓犟”，指有犟脾气，体现着一种不向恶势力妥协屈服的刚强性格。“站起撂倒不改姓”指决不放弃奋斗的理想和目标，“祖辈都姓红”则表白了世世代代干革命，跟红军走的决心。

总之，“示姓”以通俗的语言形式，揭示人或事物的本质属性，内容高度概括、凝炼，深入而浅出；文字表述简洁，避免使用抽象的概念，增强了语言的文学色彩。“示姓”已在日常生活中被广泛运用。

32. 敬　谦

【敬谦】 jìngqiān　根据不同身分的对象（如长辈、晚辈、上级、下级等）选用带尊敬或谦卑色彩的词语。

运用敬谦修辞手法，使用文明礼貌语言，以适应某种特殊的需要，便于交际活动和交流思想感情。

①汉卿先生阁下：

中国共产党建议全国各党各派各界各军的抗日民族统一战线已经一年多了。……

（毛泽东《致张学良》）

②那人到门首下马，向王冕施礼道："动问一声，那里是王冕的家？"王冕道："小人王冕，这里便是寒舍。"

（清·吴敬梓《儒林外史》）

③惠书早已收到，迟复为歉！遵嘱将记得起来的旧体诗词，连同你们寄来的八首，一共十八首，抄写如另纸，请加审处。

（毛泽东《关于诗的一封信》）

④明轩主席先生勋鉴：

刘子青先生来，知先生情殷，抗日，曷胜仰佩。

（毛泽东《致宋哲元》）

⑤矛尘兄：

十六日惠函早到。并蒙燕公不弃，赐以似爬似坐似蹲之玉照，不胜感激，尚希转达，以罄下忱为荷。

（鲁迅《致张廷谦》）

⑥汝珍兄：三月三日函已收到。书已寄回，……此上，即颂时绥。

弟豫　顿首　三月六夜

（鲁迅《致曹靖华》）

⑦臣所以去亲戚而事君者徒慕君之高义也。今君与廉颇同列，廉君宣恶言而君畏匿之，恐惧殊甚，且庸人尚羞之，况于将相乎！臣等不肖，请辞去。

（汉·司马迁《史记·廉颇蔺相如列传》）

⑧可以为富安天下，而直为此廉廉也！窃为陛下惜之！

（汉·贾谊《论积贮疏》）

⑨先君子尝言，乡先辈左忠毅公视学京畿。

（清·方苞《左忠毅公逸事》）

上面例①"先生阁下"是敬语。例②"小人"、寒舍"是谦语。例③"惠

书”是敬语，“迟复为歉”、“遵嘱”，“请加审处”都是谦语。例④“勋鉴”、“曷胜仰佩”都是敬语。例⑤“兄”、“惠函”、“赐”、“玉照”、“不胜感激”都是敬语；“蒙燕公不弃”是谦语。例⑥“兄”、“上”、“颂时绥”为敬语，“顿首”是谦语。例⑦“君”、“请”是敬语，“臣”、“臣等不肖”是谦语；例⑧“陛下”是敬语，“窃”是谦语。例⑨“先君子”、“先辈”和“公”都是敬语。也有认为这些词语在一定历史条件下是定型的、常用的，不宜立敬谦格。这个问题尚待深入研究。

33. 特　　称

【特称】 tèchēng （变称）有别于一般平称（即我你他单复数之人称及姓名、通称、俗称和亲属等称谓）的特殊称谓。

所谓特称是对平称而言的。因为随着社会的发展，平称已远远不能满足交际的需要，也表达不出各种特殊的感情和身份。

特称，按称谓对象来分，可分为对人、对己两大类；按语言的感情色彩来分，可分为六种：尊称、爱称、谦称、戏称、贱称和蔑称；除谦称是对己的，其余五种都是对人的。

〖**尊称**〗 zūnchēng （敬称）对于尊长和平辈及其所属之事物的表敬称谓。

①希望厥老勉励该社同仁发扬主动精神和创造性，放胆把工作推向前进。

（胡耀邦《给胡厥文的一封信》）

②下马饮君酒，问君何所之？

（唐·王维《送别》）

例①将“老”字置于“胡厥文”的“厥”之后成为尊称；而例②借用古人以君为有封地者之称为尊称。

因为尊称是敬词的主要部分，故这部分内容与敬谦格有交叉，文字

从简。

〔**爱称**〕 àichēng （美称）对于平辈和晚辈的表爱称谓。

③“一修沟啊，连我的疯爷们都有了事做，我感谢政府！”

（老舍《龙须沟》）

④“亮亮，你领会了吗？”

（陶斯亮《一封终于发出的信》）

⑤此天以卿二人赞孤也。

（宋·司马光《资治通鉴》）

⑥书非借不能读也。子不闻藏书者乎？

（清·袁枚《黄生借书说》）

⑦何日平胡虏，良人罢远征。

（唐·李白《子夜歌》）

例③的“疯爷们”则是善意的反话爱称。此类语例与“倒辞”交叉。例④的“亮亮”是叠音法爱称。

例⑤“卿”，君对臣的爱称。例⑥的“子”在古代是男子的美称。例⑦“良人”是古代妻对夫的爱称。

〔**谦称**〕 qiānchēng （卑称）对于自己及其所属的表谦称谓。

⑧当君怀归日，是妾断肠时！

（唐·李白《春思》）

⑨则不才益将何以报焉？

（明·宗臣《报刘一丈书》）

而例⑧的“妾”是古代妇女对自己的谦称。例⑨的“不才”是自己的谦称。

因谦称是谦词的主要部分，故宜将这部分内容并入敬谦格。

〔**戏称**〕 xìchēng （丑称）指不庄重、不严肃、含有嘲弄讽刺意味的称呼。

⑩我孩子时候，在斜对门的豆腐店里确乎终日坐着一个杨二嫂，人都叫伊“豆腐西施”。

（鲁迅《故乡》）

⑪“芦柴棒，去烧火！妈的，还躺着猪猡！”

（夏衍《包身工》）

例⑩用职业加典故戏称杨二嫂为“豆腐西施”。例⑪借用比喻的方法戏称瘦小枯干的某包身工。

〖**贱称**〗 jiànchēng （贬称）指表示贱视、鄙视、侮慢、贬斥等感情的称呼。

例⑫“唉！竖子不足与谋！夺项王天下者必沛公也。吾属今为之虏矣！”

（汉·司马迁《史记·项羽本纪》）

⑬后世之君，欲以如父如天之空名，禁人之窥伺者，皆不便于其言，至废孟子而不立，非导源于小儒乎？

（明·黄宗羲《明夷待访录》）

例⑫的“竖子”即“小子”。例⑬的“小儒”即“眼光短浅愚陋的读书人”。

〖**蔑称**〗 mièchēng （辱称）将对方物化（多为禽兽化）、丑化、卑化、弱化，以表达仇视、蔑视、怨恨、反对、打击等激烈感情的称呼。

⑭他也不想想，你连自己的名字都不会写，就赶考？这不是混蛋吗！

（《连升三级》选自《相声传统作品选》）

⑮吾数击杀响马贼，夺其物，故仇我。

（清·魏僖《魏叔子文钞》）

例⑭的“混蛋”，辱称。而例⑮的“响马贼”即拦路抢劫的强盗。

综上所述，对一个人或一类人，因为特称不同，感情色彩不同，称谓的作用和效果也就大不相同。“孔夫子”是尊称，“孔老二”是戏称，“盗跖”是蔑称。

从例子看，表示特称的词有两种。一是在特定历史条件下固定的称谓，如“卿、子、妾”等；一是利用比喻等修辞手法，如“豆腐西施”（临时性的，创造性的）、“心肝”（其意义较固定，已收入词典）等。所以也有不主张立特称格的。

34. 引　用

【引用】 yǐnyòng （引语 引话 援）创造性地引用现成语（警句、诗词、成语、熟语等）的原文或增减原文，化用其意，以印证、补充、对照或表述作者的本意。

引用的作用因题旨和语境的不同而不同，或警辟中肯，或凝炼简洁，或讽刺辛辣，或幽默风趣，总之，在文章中，议论借引用以增强逻辑的力量，叙事抒情借引用而平添几分文采，尤其是那些别具匠心的引用，更能见出作者笔下功夫，传达出一种奇妙的意趣。

①文贵创新。文学创作，绝不可因袭前人。“创”就是创造、创新。鲁迅先生说，“依傍和模仿，决不能产生真艺术。”

（鲁宁《文贵创新》）

②或者是冬烘气十足地怀古，或者是实用主义地趋时。怀古者只想以古代今，趋时者只想以今灭古。结果，两相杀伐，两败俱伤，既斫伤了历史，又砍折了现代。鲜血淋淋，伤痕累累，偌大一个民族，前不见古人，后不见来者，念天地之悠悠，独沧然而涕下。

（台湾·余秋雨《废墟》）

③凤阳的改革是深刻的。尽管大地上还留有一些过去苦难的痕迹，但重要的是：坚冰已经打破，航线已经开通，道路已经指明！

（赵绍龙《花鼓声中》）

④那天办团证，全宿舍都跑到外面照了新照片。取回来与刚进校时那张一比，全都笑弯了腰——原来我们竟都“老了”！时光真是“红了樱桃，绿了芭蕉”啊！

（陈霆《闲散的季节》）

以上例①引用鲁迅的话以强调“文贵创新”的重要性。引文切中肯綮，无可辩驳。例②引用唐代古文运动倡导者陈子昂的《登幽州台歌》借以抒发一种沉郁而苍凉的历史感和忧患意识，发人遐思。例③引用列宁

的名言，借以对凤阳的改革所产生的历史意义和深远影响给予高度评价，令人确信不疑。例④摘引宋代词人蒋捷《一剪梅·舟过吴江》中结尾两句，暗示光阴荏苒，今非昔我，含蓄而又风趣。

引用按其方式可以分为三类：明引，暗引和意引。

〖明引〗 míngyǐn （正引 明用）直接引用原文，注明出处或作者。

⑤落在诗人笔下的江南，从六朝的“江南可采莲，莲叶何田田之”，“汀洲采白蘋”、“日暖江南春”、“余霞散成绮，澄江静如练，喧鸟覆春洲，杂英满芳甸”，到唐宋的“正是江南好风景，落花时节又逢君”、“千里莺啼绿映红，水村山郭酒旗风”、“横塘日日风吹雨，隔帘遥望江南路”、“小楼一夜听春雨，深巷明朝卖杏花”，直到清人的“帘外轻阴人未起，卖花声里梦江南”林林总总、汗牛充栋的锦词丽句，不仅织成一幅绵延千里的青绿山水长卷，更散发着悠悠不尽的乡土情思。

（袁鹰《江南爱煞人》）

⑥“少年听雨歌楼上，红烛昏罗帐。壮年听雨客舟中，江阔云低断雁叫西风。而今听雨僧庐下，鬓已星星也。悲欢离合总无情，一任阶前点滴到天明。”想来蒋捷也是一位听雨的知音，可是任你多少豪情，国破之后，听雨却是万般凄凉的，“一任阶前点滴到天明”，倒像是诗人滴尽的亡国泪。歌楼上，客舟中，僧庐下，不同的景物，不同的心境，只凭那晶莹的雨滴串成了诗人感情的一生；“丝丝杨柳丝丝雨”、“春雨如丝”、“雨又萧萧”、“豆雨声来，中间夹带风声”，读蒋捷的每一阕词，总会嗅到格外清新的雨滴，或许只有那似泪的雨滴，才能道出诗人独特的心境！

（缪正西《听雨》）

以上两例为明引。例⑤仅简单地点明引文的朝代，虽未交代作者，但读者依然明了作者是在引用，故为明引；如果一一交代作者反而有蛇足之感。例中所引大量古诗名句，形象丰美、色彩鲜明，给人以丰富的联想和无穷的回味。例⑥点明作者，先引宋代诗人蒋捷的《虞美人》全词，然后点串发挥，既有赏析，又有抒怀，令人感从中来，不能自已。

明引之所以点明出处或作者，主要是令读者对引文者所述之事，所

议之理，所抒之情确信无疑；所以明引一般意图明确，能增强语言的说服力。

〔暗引〕 ànyǐn （暗用）引用原文，但不注明出处、作者。

⑦按惯例，解聘教师要提前一个月通知。三五天内就开学，突然撤了聘书，不是成心要人命吗？住在这报国寺中，穷乡僻壤，人地两生，肖涤非简直上天无路，入地无门了。

正如小说中的话：无巧不成书。恰在此时，余冠英给肖涤非寄来一信：闻一多任西南联大中文系主任，有意请你去担任副教授。

喜从天降。肖涤非漫卷诗书喜欲狂。

（马瑞芳《肖涤非教授和足球》）

⑧契机，对于坐享其成的人，同云烟一样虚无。只有对"上穷碧落下黄泉"的求索者才是幸运之光。

（石梅《"蒙妮"交响曲》）

⑨在人群里，在这广漠浩瀚的 世界上，众里寻他千百度，我却还是不知道自己在找什么，在找一张什么样的脸。我找寻的莫非属于未来？

（美国·李黎《寻人》）

以上三例为暗引。例⑦引自唐朝杜甫的七律《闻官军收河南河北》，表明肖得余信之后知允聘有望的狂喜心情；肖是研究杜诗的专家，引杜诗更别有异趣。例⑧引自唐朝白居易的著名长诗《长恨歌》，借以表现求索者锲而不舍的精神。例⑨引自南宋词人辛弃疾的《青玉案·元夕》，借以表现"我"寻"人"的艰难和茫然。

〔意引〕 yìyǐn 增减前人现成词语，完全为我所用；或注明出处，或不注出处。

⑩所以我安坐家中，一心不以鸿鹄将至，也不以捕房人物将至，究其原因，就是我把现代政治看得透透的……

（台湾·李敖《过早的答案》）

⑪把这一切，都交给虔诚的乡情去烹煮吧，这剪不断、理还乱，别有一番滋味在心头的乡愁啊。

（陈金山 苏效明《魂兮归来》）

⑫忽然一日，寡居多年的江引梅教授着人抬了她那架老式德国钢琴迤逦迁入宗（宗念白教授，独居——编者）家。孟光接了梁鸿案。有人打趣宗念白“何时银汉暗度”。宗念白耸肩说“而已而已”。

（匡文玄《点式楼点点·皈》）

⑬大陆上的秋天，无论是疏雨滴梧桐或是骤雨打荷叶，听去总有一点凄凉、凄清、凄楚。于今岛上回味，则在凄楚之外，更笼上一层凄迷了。饶你多少豪情侠气，怕也经不起三番五次的风吹雨打。一打少年听雨，红烛昏沉。二打中年听雨，客舟中，江阔云低。三打白头听雨在僧庐下。这便是亡宋之痛，一颗敏感心灵的一生，楼上，江上，庙里，用冷冷的雨珠子串成。

（台湾·余光中《听听那冷雨》）

⑭这堆钥匙也只有在那个年代才从各门各户，各箱各柜跑到一起，也只有在那个年代才从王谢堂前，象垃圾一样跌落到寻常人家。

（李国文《钥匙》）

以上五例均为意引，例⑩“一心以为鸿鹄将至”句，增字以反用。语见《孟子·告子》。⑪引南唐后主李煜词《乌夜啼·无言独上西楼》，原句为：“剪不断，理还乱，是离愁，别是一番滋味在心头”，减句以化用。例⑫引戏剧家王实甫名作《西厢记》中的句子：“更做道孟光接了梁鸿案”，而《西厢记》又是用典。本事见《后汉书》：梁鸿与妻隐居霸陵山中，妻与具食，不敢于鸿前仰视，举案齐眉。”例中减字化用，暗示江引梅、宗念白教授欲结百年之好。“何时银汉暗渡”句引自宋词人秦观词《鹊桥仙·七夕》，原句为“银汉迢迢暗度”，减字以化用，何时结婚之意。“而已而已”引自鲁迅杂文集《而已集》题辞，原句为“我只有而已而已；”减字以化用，宗借以自嘲：“也就这样吧！”因宗为中文系教授，所以引文很有职业特点，颇为风雅有趣。例⑬引自南宋词人蒋捷《虞美人·少年听雨》（原词参见例⑥），减字以化用，借他人酒杯浇自己的块垒。例⑭引自唐代诗人刘禹锡的七绝《乌衣巷》原句为：“旧时王谢堂前燕，飞入寻常百姓家”。减字以化用，表明这堆钥匙的境遇变化之大。

意引与暗引差异不大，因此一般修辞著作将意引归入暗引，而仅将

引用分为明引和暗引(或暗用)两类。但比较起来,意引与暗引还是有较明显的区别:意引更为灵活自由,增减词语调整词序,引述其意,化而用之,明显地带有更多的主观随意性和选语造意的成分,尤其是那些经过作者创意加工改造的引用更是如此,根本不必考虑有无点明出处或作者。再如:

⑮大家笑诗人的多情,便纷纷猜测起花名来:

"依着我,这花形如百合花,说不定是野百合!"

"不对,百合花不长斑点的!"

"有一种花叫倒卷帘,看这花瓣儿倒卷着,说不定就是!"

"哈哈,光卷帘不够吧?还有西风,人比黄花瘦呢!"

(航鹰《幽谷花》)

⑯当今的西昌之夜,虽仍被秦时的明月照着,但已无汉代的阳关三叠。

羯鼓之声消溶了,羌笛也带有阳刚之气……

(陈犀《西昌月》)

⑰天象告知:月有阴晴圆缺。

但是西昌,月亮却总是圆的。

圆圆的月亮,颇象历史的一个句点,撒着清辉。

(同上)

⑱庄生梦见自己变成了蝴蝶,轻盈地飞来飞去。醒了以后,倒弄不清自身为何物。庄生是醒,蝴蝶是梦吗?抑或蝴蝶是醒,庄生是梦?他是庄生,梦中化作一只蝴蝶吗?还是他干脆就是一只蝴蝶,只是由于作梦才把自己认作一个人,一个庄子呢?……

就是这样的铁一样的令人窒息的梦也醒了。张思远在七0年突然释放了,就象前三年突然"升级"关进单人监狱一样莫名其妙。

(王蒙《蝴蝶》)

以上例⑮引自南宋词人李清照的词《醉花阴》,原句为"莫道不消魂,帘卷西风,人比黄花瘦。"例中借以写作家们在一起辨认野花时借题发挥逗趣的话,彼此心照,颇高雅,有谐趣。例⑯引自唐代诗人王昌龄七绝《出塞》和王之涣的绝句《凉州词》,原句分别为"秦时明月汉时关,万

里长征人未还”，“羌笛何须怨杨柳，春风不度玉门关”。例⑰引自宋代词人苏轼的词《水调歌头》，原句为“人有悲欢离合，月有阴晴圆缺，此事古难全”。⑯、⑰两例都是借用来表现西昌古城历史性的变化，在对新时代的赞美中透出怀古的幽思。例⑱引自《庄子》。借“庄周梦蝶”的典故以描述主人公张思远几经劫难之后迷惘、幻灭的心境。以上四例，都是有意引用，语有所本，且苦心经营，化而出之，从而使语言的表现力大为增强，感情色彩更为浓烈。因此，将意引单立一类是可以成立的。

另外还有一种情况也应该归于意引之列。

⑲“十年，你不过才说了一部《聊斋》，可你胡爷失荆州，走麦城，火烧草料场，霸王别姬，外加火烧圆明园可全都唱过来啦！”胡爷把自己这十年来的遭遇和他肚子里的全部史学知识联在一起，带着几分悲伤几分感慨，一古脑说了出来。

（林希《爱恨仇》）

⑳到了绿肥红瘦的夏日，沙街下边的兰溪里又是一番清幽潇洒的景象。

（徐剑《遥远的边街》）

例⑲中“失荆州”、“走麦城”详见《三国演义》；“火烧草料场”详见《水浒传》第十回“林教头风雪山神庙，陆虞侯火烧草料场”；“霸王别姬”详见《史记·项羽本纪》；“火烧圆明园”为八国联军所为。作品中人物胡爷引用这些典故，借以说他自己解放后十年来历尽坎坷，命途多舛。例⑳引自李清照的词《如梦令》：“知否，知否，应是绿肥红瘦”。象这样的例子，在文章中极为普遍，许多成语典故最初都是由引用（特别是暗引和意引）而来，一开始修辞意味甚浓，但久之为人们所习见，逐渐变为一个个独立的词语而进入汉语的词汇系统，其修辞色彩也就慢慢减弱了。

除了上面这种分类，也有人从内容上将引用分为四类：引经、稽古、出新、反用。因这两种分法互相交叉重合，容易造成混乱，所以本词典没有采用这种分法。

引用在中国文学中还有一个奇怪的现象，那就是集前人成句以联对或作诗填词。清人赵吉士辑《寄园寄所寄》卷四《捻须寄诗原篇》引《稗史》，称“晋傅咸作集句诗之始”。自此以后，风气一开，“愈演愈盛，到了

清朝，竟出现了黄唐堂全集各体诗九百余首，尽是集句而成的《香屑集》”(《修辞学发凡》之八引用)。这类作品绝大多数为文字游戏，绝非创作的正路，但偶尔也有值得一观者。俞平伯先生在《随笔两篇》(载万叶散文丛刊《绿》)一文中，曾提到集句对联三则，并发表了精彩的意见，现摘抄于下：

“广州市北，昔有郑仙祠，香火颇盛……清光绪间张之洞督粤，……改此祠为三君祠，改祀吴虞翻，唐韩愈、宋苏轼。三公皆因遭贬谪南迁者。香涛自集一联云：

海气百重楼，只为浮云能蔽日；

文章千古事，萧条异代不同时。

以李杜句相对，铢两悉称，天衣无缝，若此又何减创造，具有自创所不能及者，琢句岂能如是老当深稳。读破万卷书，俯拾即是，借他人之酒杯，浇自己的块垒，岂因袭剽窃之谓乎。”

也有以词集词的例子，因限于格律，比较少见。晚清词人汪渊、程淑夫妇合作《麝尘莲寸集》，共收词 280 多首，均为集词成词之作，个中艰辛，可以想见，故人称“奇书”，读来别有异趣，这里聊举一例，以飨读者：

苏 幕 遮

花帘词有此格，内子绣桥集句效之，余亦继声。

柳供愁(许棐《落宫花》)，花解语(康与之《应天长》)，总是销魂(周文璞《一剪梅》)，总是销魂处(吴潜《青玉案》)。人自怜春春未去(刘铉《蝶恋花》)，芳草斜阳路(陈允平《点绛唇》)。卧红茵(孙光宪《更漏子》)，觞绿醑(徐一初《摸鱼儿》)。几度相思(王沂孙《三姝媚》)，几度相思苦(张埜《念奴娇》)。明日重来须记取(周孚先《蝶恋花》)，梅子黄时(潘元质《奴儿慢》)，梅子黄时雨(贺铸《青玉案》)。

今人也有集句成诗的例子：

㉑他更多的是反复记诵鲁迅的诗，他用迅翁的两首诗句集成一绝，觉得此时此地的心情，颇有贴切之处。

月光如水照缁衣，

岂有豪情似旧时。

吟罢低眉无写处，

花开花落两由之。

（袁鹰《桃李不言》）

总之，引用也要创新，唯此才能充分显示修辞达意的作用。

35. 异　语

【异语】 yìyǔ （借语）有选择地借用非汉语普通话语词（汉语方言词、兄弟民族语词和外语语词等），引用原词义或运用双关语义来显示语词的意义，简言之，异语就是非汉语普通话词的意思。

①康熙皇帝到南京时，西洋传教士敬礼多种方物，他全部回赏了洋人。只把"SNOFF"收了下来，有学问的人说这几个洋字码儿，就是"鼻烟"。

（邓友梅《烟壶》）

②那是1958年。北京舞蹈学院决定排练《天鹅湖》。这是中国舞蹈史上的创举！白淑湘和小伙伴们兴奋极了，一连排了三个月，却没找到一个能连做32个"弗依德"的女孩子。唉，这神奇的"弗依德"，原意指"挥鞭式的"。这是从阿尔卑斯山麓的牧童嬉戏的姿态中吸取来的，还是从波尔多城堡的骑士挥鞭纵马的气势中演化来的？……"让我试试吧。"白淑湘从"小天鹅"群里从容地站了出来，她，一口气连转了60多个"弗依德！"

（韩少华《东方，升起芭蕾之星》）

③割胶的马来话叫"罗扎吉打"。四小时后，工人再来收胶计，注入一只大桶。这叫作"收泥水"，马来话叫"马索拉览岭里利"。

（香港·李辉英《马拉亚的橡胶林》）

④爱辉城名源于江东旧瑷珲附近的瑷珲河。"瑷珲"二字是达斡尔语"可畏"的意思。爱辉是一座可畏的城！

（刘志清《一个无国籍的女人》）

⑤达赉湖，又叫呼伦湖。“达赉”是突厥语，“呼伦”是蒙语，都是大海的意思，它象海一样宽广，把蒙古、汉、回、满、朝鲜、鄂温克、鄂伦春、达斡尔等十余兄弟民族搂在自己怀里，把克鲁伦、乌尔逊、额尔古纳河等河流汇聚在自己胸中。

（王文中《呵，达赉湖》）

⑥在指导员张近科率领下，五十一位饱经战火考验的英雄举起拳头，向烈士们宣誓。五十一副身躯象者阴山上坚硬的岩石，五十一支手臂象者阴山挺拔的松柏。

哦，者阴山，将倮族语翻译成汉语，意思是——“我们居住的大山！”

（彭荆风 丁小平《壮士横戈》）

⑦在广东话里，把多病人叫作“病家”，和“买家”、“行家”等等并列。这个词儿对于值得同情的真正多病的人在意味上是不够尊重的；然而对于另外一种人却很合适，这就是那种没病或者微病而惶惶不可终日老是跑医院的人物。自从有了公费医疗制度，这样一批“病家”可就应运而生。

（秦牧《病家》）

例①、②、③借用外语语词。例④、⑤、⑥借用国内兄弟民族语语词。例⑦借用方言词。例①～⑥引用原词义，例⑦运用双关语义。从形式上看，借用外语语词，有的先直接写出原文，如例①，有的则写出“译音”，如例②，然后再加以解释；也有的恰好相反，先写出解释后引出译音，如例③。而正是这种解释，与所借语词形成对照，从而显示出语词的修辞意义，即：明确了词义，增强了表情达意的鲜明胜和生动性。尤其是那些在原词义的基础上，带有作者强烈感情色彩和思想倾向的发挥性的解释，更是如此。比如：

⑧鄂伦春人把那万顷沃土叫做“满盖荒原”。“满盖”是鄂伦春语魔王的意思。冬季他们偶尔也出现在那荒原上，但绝不猎杀那里任何一只动物，惧怕受到“满盖”的惩罚。

恐怖的“鬼沼”！神秘的“满盖荒原”！

（梁晓声《这是一片神奇的土地》）

⑨你请我喝“卡普琴诺”咖啡……

卡普琴诺咖啡是一种土耳其风味的咖啡，泡沫溢在杯外，泡沫比咖啡还多.那泡沫来自咖啡还是奶油？你说，卡变琴诺是“神甫的道袍”，因为那咖啡的土一样的黄色象神甫道袍的颜色。

（王蒙《卡普琴诺·系列小说〈新大陆人〉之三》）

经过作者的解释，不仅使读者清楚地懂得了原词义，而且还能感受到：例⑧中所透出的“满盖荒原”的恐怖气氛和例⑨中所流溢的“卡普琴诺”的异国风情.由此可见，这种解释是完全必要的。否则，仅仅在文章引用外文或音译，一般读者就会不知所云，这就不仅减弱以至失去其修辞的意味，而且给读者增加阅读的不便。请看：

我向翟护士请假回连队一趟。翟护士问要不要她陪着。我说了句从洪仁俊那儿学来的“三克尤”。

（陈道阔《南温河波涛》）

例中“三克尤”是英文 Thank You 的音译，意为“谢谢你”，对于那些根本不懂英语的读者来说，未必能轻而易举地揣度出它的意思，而既然不能很好的达意，也就无所谓修辞作用，也不能达到普遍交流的目的。然而有时候在某种特定的语境中，即使对所借的语词并未作任何解释，但读者仍然能根据上下文推想它的真实含义，感受它的修辞意趣。例如：

⑩现在，正是赶场人最多的时候。附近山上，不时下来一些穿着百褶裙、打着黄油布伞、背着背兜的阿咪子。她们身后，往往又跟了一群戴着绿军帽、足蹬白球鞋、狙犷地唱着歌的彝族小伙儿。……公路上，几个老莫苏扬着细竹枝，嘴里“嘛嘛”地吆喝，把不听话的猪赶上正路。

（简嘉《拉岱大桥》）

例⑩中的“阿咪子”是彝语“姑娘”的意思；“老莫苏”是“老年人”或“老大爷”的意思。虽然没有解释，但并不妨碍读者理解。由此看来，对所借语词是否需要作出解释，当根据具体情况而定，恐怕不能将行文中所有未加解释的非汉语普通话语词都毫无例外地排除在异语之列。实际

上有时候未加解释较之加以解释或许更显得含蓄而耐人寻味。所以，确定是否异语，当以达意修辞为标准。

由于题旨不同，语境有别，故而异语的修辞作用也不完全一样，一般说来，在技科文章中常常借用异语，将知识性与趣味性结合起来增强语言的鲜明和生动；而在文学作品中，异语则更能增强作品的生活气息，显示出独特的地方色彩和浓郁的异域情调，能更好地刻画人物鲜明的个性。这一点在上面所举的例子中已看得很清楚。下面再补充几个例子：

⑪荷兰是世界有名的低地国。荷兰的正式国名是尼德兰王国。尼德——低的，兰——地方、国家，合起来便是低地国的意思。荷兰一词是国家的俗称，“荷兰”是从日耳曼语霍德兰一词演变的，其中霍特——森林，兰——土地、地区、国家，合起来乃是森林国之意。古时这里林木参天，绿荫遍地，是地道的森林之国。

（《地理知识》1977年第12期）

⑫阿依古丽，是一个女孩的名字。

根据维吾尔族文字的意思，“阿依”是月亮，“古丽”是花，“阿依古丽”就是月亮花。

女孩阿依古丽，有着圆圆的脸蛋，明亮的眼睛，乌黑的头发，确实象明媚的月亮，又象美丽的鲜花。

（徐开垒《阿依古丽》）

⑬我问她：“这叫什么山？”

她脸儿一红，迟疑了半刻，小声说：“……妈妈山。”

我欢叫了：“阿，妈妈，母亲！有什么典故吗？”

她的脸儿更红了，忸怩着不再回答，只是痴痴地笑。赵大爷扯开了大嗓门儿：“俺们这里的土话，管母亲叫娘，管女人的奶子才叫妈妈。小孩吃奶，才叫吃奶，瞧，那是主峰。”

我顺着他的手势看去，见一座圆鼓鼓的山岗，峰顶正中却有高耸的突起，酷似母亲孕满奶汁的乳房。

（航鹰《幽谷花》）

设想一下，如果将例中的异语通通删去，不仅表达上大为减色，而

且还会让人对例⑬中的方言殊觉费解。

随着现代社会国家之间、民族之间、地区之间在政治、经济、科学、文化等各个领域日益频繁的交往，异语这种修辞方式的使用必然更加普遍。

36. 夹　杂*

【夹杂】 jiāzá　于白话中夹用一些文言词语或外文词语，以增强表达作用。

夹杂格可以分为两类：文白夹杂和中外夹杂。

①爸，九年前，你含冤死去；九年来，我饮恨活着。

（陶斯亮《一封终于发出的信》）

②我将深味这非人间的浓黑的悲凉；以我的最大的哀痛显示于非人间，使它们快意于我的苦痛，就将这作为后死者菲薄的祭品，奉献于逝者的灵前。

（鲁迅《记念刘和珍君》）

③德国人的传单标语里有很多狂妄绝顶的语句，有一例是：

"Der Russe muss sterben damit wir leben!"

"俄国人必须死绝，好让我们活！"

（郭沫若《洪波曲》）

④英特纳雄耐尔就一定要实现。

（欧仁·鲍狄埃《国际歌》）

文言与白话是同一种语言——汉语发展演变的两个历史阶段的产物。因此，在现代汉语中仍然保留、使用大量有生命力的文言词语和某些句式，这本是一种很自然很普遍的语言现象。特别是近代，由文言向白话逐渐过渡的一个较长的时期，文白夹杂尤为严重。语言是不断发展的，如果如例①、例②所证明的，那么可以说任何时候这种文白夹杂的

现象也是存在的，事实上很难设想，会产生一种纯的白话。因此，就这一方面而言，不作严格的界定，“夹杂”作为一个独立的辞格的理由是很不充分的。

另一方面，中外(文)夹杂的现象也相当普遍。其中部分有修辞意味的例子已在异语格中论及。在一般情况下，中外文夹杂使用则是一种正常的表达方式，并无特别的修辞意义。因此夹杂不宜立为一格。

37. 精　警

【精警】 jīngjǐng (警策 警句)用简炼而新奇的语言，表达确切而深刻的含义。

陈望道在《修辞学发凡》中说道：“语简言奇而含义精切动人的，名为警策词，也称警句，以能象蜜蜂，形体短小而有刺有蜜，为最美妙。文中有了，它往往气势就此一振。”

①比较是医治受骗的好方子。

(鲁迅《随便翻翻》)

②历史是在河边长大的。是水——养育了人类文明。

(蒋子龙《运河的厄运》)

③从此，她(指蚕——编者)便记住了这一切，她把这一切告诉了子孙们：你织的茧，得你自己去咬破！

蚕，就是这样一代代传下来。

(雷抒雁《蚕》)

④沉默的力量是伟大的，这正如最好的表演便是不表演，让看客永不知你的深浅，把自己的想象、猜测，都加到沉默者身上。

(苏叔阳《安娜小姐和老杨同志》)

⑤四十年来画竹枝，

日间挥写夜间思。

冗繁削尽留清瘦，
画到生时是熟时。

（清·郑燮《题墨竹》）

上述各例都有用语精奇简洁含义深刻的特点。例①以极明确的语言，告诫我们应如何防止受骗。例②揭示了人类文明的产生与水的密切关系。例③形象地阐明了人们要超越自我的哲理。例④说明了文艺表演的辩证法。例⑤揭示了艺术创作风格形成的一个基本规律。

应该指出的是，列精警为一格，主要是从语句的表义功能出发，而常常与其他辞格交叉，出现部分重合的现象。上面的五例，例①是"比喻"；例②、③运用了"比拟"的方法；例④是"对顶"；例⑤中的"生时"与"熟时"又是"同异"。可见，精警格还有待于深入研究。

此外，人们通常所说的格言（多指某些具有教育意义的成语），也具有语言精奇简炼含义深刻的特点，应列入精警格中，如："满招损，谦受益"、"前事不忘，后事之师"、"生于忧患，死于安乐"、"载舟之水也能覆舟"、"三人之行，必有我师"、"朝闻道，夕死可矣"、"曲则全，直则枉"、"祸兮福所倚，福兮祸所伏"、"居安思危"、"多难兴邦"、"哀莫大于心死"等等，格言能精辟简要地揭示某一生活哲理，具有言简意赅，令人警醒的表达效果。

38. 紧　　缩

【紧缩】 jǐnsuō （简缩 节缩）把多音节的词、短语或句子加以节短压缩。

紧缩的作用，一是能使语言化繁为简，便于使用，二是能协调音律，结构匀称。尤其在诗词中后者表现得更为明显。

①怜君未穷巧，更试出兰看，

（《章太炎晚年的一首诗》

载《书林》1981年第3期）

②人民中国，屹立亚东，
光芒万道，辐射寰空。

（《沫若诗词选·新华颂》）

③两家一个是烈属，一个是抗属，地都由村里组织人种。

（赵德发《通腿儿》）

④总之：读史，就愈可以觉悟中国改革之不可缓了。虽是国民性，要改革也得改革，否则，杂史杂说上所写的就是前车。

（鲁迅《这个与那个》）

例①“出兰”，是“青出于蓝而青于蓝”的紧缩。例②“亚东”，是亚洲东部的紧缩。例③“烈属”、“抗属”，是烈士家属和抗日人员家属的紧缩。例④“前车”，是“前车之鉴”的紧缩。例①、例②都是因受诗歌格律的限制，紧缩以协音律。例③为抗日时期的习惯用语，现在已可单独使用。例④紧缩以求简炼含蓄。

紧缩一般分为两种；缩词和缩语（也有人将紧缩称为节缩，又将节缩分为两类：节短和压缩，本辞典没有采用这种分法）。

〖**缩词**〗 suōcí 将词的音节减少。

⑤好语说尽如新莽，
坏事做绝如法西，
瞒人耳目暂时得，
蒙马虎皮露马蹄。

（董必武《观坠机中尸影》）

⑥往事越千年，魏武挥鞭，东临碣石有遗篇。萧瑟秋风今又是，换了人间。

（毛泽东《浪淘沙·北戴河》）

⑤例中“新莽”是“新朝王莽”的缩词；“法西”是“法西斯”的缩词。例⑥“魏武”是“魏武帝”的缩词。

〖**缩语**〗 suōyǔ 将短语或句子压缩。

⑦关于这点，文章俱在，还是不蛇足的好，请有心的读者自己体会罢！

（田仲济《“学海见闻录>序》）

⑧金玉檀公策，借以擒劫贼，鱼蛇海间笑，羊虎桃桑隔，树暗走痴故，釜空苦远客，屋梁有美尸，击魏连伐虢。

（摘自《读者文摘》）

例⑦中“蛇足”是“画蛇添足”的缩语。例⑧为三十六计的缩语。三十六计相传为檀公所辑，系我国古代兵家计谋的总结和军事谋略学的宝贵遗产，要熟记全部妙计，确非易事。有人潜心钻研，终于从三十六计中每计取出一字，依次压缩而成这样一首诗。全诗除“檀公策”三字外，每字包含了三十六计中的一计：金蝉脱壳，抛砖引玉，借刀杀人，以逸待劳，擒贼擒王，趁火打劫，关门捉贼，混水摸鱼，打草惊蛇，瞒天过海，反间计，笑里藏刀，顺手牵羊，调虎离山，李代桃僵，指桑骂槐，隔岸观火，树上开花，暗渡陈仓，走为上，假痴不癫，欲擒故纵，釜底抽薪，空城计，苦肉计，远交近攻，反客为主，上屋抽梯，偷梁换柱，无中生有，美人计，借尸还魂，声东击西，围魏救赵，连环计，假途伐虢。经过压缩成诗，基本上合辙押韵，琅琅上口，便于记诵与流布。

紧缩是语言中一个带有普遍性的 现象。许多成语实际上都是紧缩而成的，比如“集思广益”就是由“集众思，广众益”压缩而成。开始尚能显示其简洁新鲜的修辞意义，久之便成为习惯用语，其使用频率远远超过原来的词语，于是逐渐进入汉语的词汇系统，不再体现偏离常规的修辞意趣。今天，随着社会发展的急剧变化，生活节奏的日益加快，缩词缩语的使用必将更加广泛。因此，我们既要保护祖国语言的纯洁性，又要看到这样一种趋势，使用时必须简化合理，表意明确，合乎人们的共同习惯，切忌胡编乱造，以免引起混乱。

39. 简　　称*

【简称】 jiǎnchēng （略语 省称）把复杂的名称简化成简单的名称。

①公函上写道，兹有全国人大代表、我市政协副主席、侨联副主席、社（会科学工作者）联副主席、侨眷宋朝义同志需解决煤气罐一个……他的伟大头衔写了密密麻麻好几行小字。

（王蒙《高原的风》）

②志若黄河奔沧黄，
形似珠峰刺青天，
借问英灵今何在？
花潮诗海震人间。

（童怀周编《天安门诗抄》）

简称实际上也是一种紧缩。它是将复杂的名称节短压缩成简单的名称，如例①将“人民代表大会”压缩成“人大”，“政治协商会议”压缩成“政协”等。例②将“珠穆朗玛峰”压缩成“珠峰”。现实生活中，类似的例子比比皆是，而且大量的简称较之原称在使用上更为普遍和简便，完全可以作为单独的词语来使用，它的构成方式与紧缩也毫无区别，因此将它独立成格似无必要。

40. 数　　概

【数概】 shùgài （统括）从一段话的相关词语中提取某一个字或

词，再冠以与之项次相等的数字，构成一种临时性的节缩形式。

①真是怪人、怪事、怪现象，“三怪”何其多也，何其毒也！

（王蒙《海鸥·系列小说〈新大陆人〉之二》）

②抓三风：校风、班风、学风

变三貌：校貌、班貌、人貌

（刘忠干《坚定办学的社会主义方向》）

例①从相关词语“怪人、怪事、怪现象”中将“怪”字提取出来。再冠以项数“三”构成“三怪”；例②与例①同理。运用数概，能以简单的数字从数量上概括事理，突出其主要之点，简明扼要，饶有趣味，便于理解与使用。

数概的构成方式多种多样，不拘一格。或抽头取字，或截尾取字，或断腰取字。其位置或于表述性的相关词语之前，或于其后。置于前者，起挈领提示的作用；置于后者，起归纳总结的作用。

③大漠中媒人提亲却不一般，相亲必须去4—6人，对相亲的头头还有一个严格的要求，首先必须是“全人”，即家中有男人健在、儿女双全、家庭和睦的人。其次要懂得礼节和风俗；还要“四能”：能说，能唱，能喝酒，能跳舞。

（郑伯贤《神秘的沙漠·别具一格的婚礼》）

④新的规定把任务的多少、原材料采购数量、产品销售情况等等，都与经济利益直接挂钩，全乡供销人员立即自发地开展起一个“三千”运动：千言万语道，千山万水找，千辛万苦跑……

（《田野腾飞进行曲》

载《中国青年报》1989年10月27日）

⑤孔子曰：“君子有九思：视思明，听思聪，色思温，貌思恭，言思忠，事思敬，疑思问，忿思难，见得思义。

（《论语》）

⑥我们为江苏省镇江市饮食业的“五补”经营方式叫好。……

所谓“五补”，是高档饮食业经营方式的五个转变：即以小

补大，以零补整，以新补老，以外补内，以生补熟。究其实质，是面向广大群众，为普通消费者着想，多卖物美价廉的商品，把买卖做到顾客的家门口。

（动之《为“五补”叫好》载《人民日报》1989年11月28日）

⑦“四门”歌

大干部，求上门，
中干部，送上门，
小干部，走后门，
老百姓，骂三门。

（《常州市民间文学集成资料选》）

⑧苏小姐道：“我也是个普通留学生，就不知道近代的旧诗谁算顶好。董先生讲点给我们听听。”

“当然是陈散原第一。这五六百年来，算他最高。我常说唐以后的大诗人可以把地理名词来包括，叫‘陵谷山原’。三陵：杜少陵，王广陵——知道这个人么？——梅宛陵；二谷：李昌谷，黄山谷；四山：李义山，王半山，陈后山，元遗山；可是只有一原，陈散原。”说时，翘着左手大拇指。鸿渐懦怯地问道：“不能添个‘坡’么？”

“苏东坡，他差一点。”

（钱钟书《围城》）

例③、例④是抽头取字，组成“四能”、“三干”；例⑤、例⑥是断腰取字，组成“九思”、“五补”；例⑦、例⑧是截尾取字，组成“四门”、“三陵”、“二谷”、“四山”（例⑧中的“一原”，虽项数为一，但构成方式与其他各例无异，因此似可归于数概）。从位置上看，除例①为数概后置外，其他七例均为数概前置。

以上都是比较规范的例子。但也有一些例子的构成方式较为特殊。

⑨我就坐了，想起小时候在学校里唱的春月歌：“春夜有明月，都作欢喜相。每当灯火中，团团青辉上。人月交相庆，花月并生光。有酒不得饮，举杯献高堂。”觉得这歌词，温柔敦厚，可爱得很！又念现在的小学生，唱的歌粗浅俚鄙，没有福份唱这样的好歌，可惜得

很！回味那歌的最后两句，觉得我高堂俱亡，虽有美酒，无处可献，又感伤得很！三个“得很”，逼得我立起身来，缓步回家。不然，恐怕把老泪掉在湖堤上，要被月魂花灵所笑了。

（丰子恺《湖畔夜饮》）

⑩球落在离门前三十米左右的地方，对方的边后卫奋不顾身地扑上来堵截；容志行背对球门，把球向后一挑，飞过对方的头顶。对方的右中卫连忙补空，拦住容志行的去路；只见他又是一挑，突破了第二道防线。对方的中后卫相继争抢，来势汹汹；容志行妙脚生花，一挑一闪把第三员卫将也甩在身后。在球即将落地的一刹那，容志行举脚劲射，那球象闪电般破网而入。这三挑一闪一射的动作，如七巧连环，波浪迭起，令场内场外的观众眼花缭乱，目不暇接。

（理由《11号在微笑》）

⑪以官为中心，有一系列有形和无形的权围绕着，当上官，就意味着房子、车子、票子（工资）、肚子（参加名正言顺的宴会和不那么名正言顺的吃请）、妻子等“五子”登科。

（盛祖宏《“官本位”与“家”的贬值》）

⑫周科长：好话！生产是个没娘的孩子，好了大家哄，坏了大家踹！象您这样的公司经理尚且不愿担风险，象我这样的一无靠山二无资历三无权力的草民，只好来个盒子枪三保险，一保险是先看，二保险是不办，三保险是等头头们都点了头签了字再说。反正肉烂了在大锅里，大家一块熬吧！

（蒋子龙《关于鞋后跟的问题》）

⑬这就是文人学士究竟比不识字的奴才聪明，党国究竟比贾府高明，现代究竟比乾隆时候光明，三明主义。

（鲁迅《言论自由的界限》）

例⑨是截尾取“得很”两字，再冠以项次的数量词，组成“三个得很”，以强调感情的复杂与沉重。例⑩是截尾取字与断腰取字并用，组成“三挑”，再与截尾取字三合一组成一个临时性的完整的节缩性形式“三挑一闪一射”，以突出容志行高超的球技。例⑪是截尾取字组成“五子”，

再与“登科”连接而成“五子登科”，有力地嘲讽了“官本位”体制所带来的种种弊端。在这里，“五子”是数概无疑，有实义，因与原意不同，又可视为别解；而“登科”二字并无实义，因此“五子登科”亦可兼作断取。例⑫是抽头取词组成“三保险”，再与“盒子枪”连接而成“盒子枪三保险”，生动而幽默地表明一无靠山二无资历三无权力的草民生怕招灾惹祸的心理。其性质和用法与“五子登科”相同。例⑬是截尾取字组成“三明”，再运用谐音和另一数概词语“三民主义”缩合，新奇别致，具有强烈的讽刺效果。以上例⑨、⑩、⑪、⑫、⑬都是在数概的基础上变化而成，或借用成语（“五子登科”），或借用熟语（“盒子枪三保险”），将数概包含其中；或组成简明活泼的形式（“三挑一闪一射”），因此也就不应排除在数概的范畴之外，更何况其修辞意味较之一般的形式更为丰富多采。

总之，数概必须有一个它能够依数相概的语境，它的构成和修辞作用都是临时性的。在语言的发展过程中，不少原为“数概”的词语，由于经常使用而为人们所习见所熟知，于是便约定俗成，变成一种相当凝固的结构进入汉语的词汇系统，可以独立使用而不至于产生歧义。如三反五反，三纲五常，五讲四美之类。因此也就失去了本来的修辞作用，而变成了一个普通的词语。

数概与紧缩形式比较相近。因为两者都是语言的一种节缩形式。然而它们还是容易区别的。前者是在一定的语境中，临时提取相关词语中某个字或词，再冠以与其项次相等的数字，因而具有“概括性”，可以说，数字为其不可缺少的标志；而后者则是选取原来的词语中几个关键性的字缩成一个新的词语，因而具有“压缩性”，如“拥军爱民”之类。

41. 换　　算

【换算】 huànsuàn　借助于具体可感的事物，将所要强调的数字加以换算。

换算的作用在于将抽象的枯燥乏味的数字转换成具体的直观形

象，从而唤起读者的想象和联想，使他们易于识记繁难的数字和领悟其中隐含的思想感情。

①瞬间，他也想到一串数字：他当了三十多年的火车司机，开了二千多趟列车，运送了二百余万人次，总行程等于绕地球十二周半……

（陈继光《旋转的世界》）

②恐龙是名副其实的庞然大物。最大的鳃恐龙，身长30米以上，体重100多吨，有两辆大型装甲坦克那么重。

（曾田《追踪庞然大物》）

③高原的东部耸立着金星上最高的山峰——麦克斯韦尔山峰，高12000米，比地球上的珠穆朗玛峰还要高。

（李超碧《窥探金星真面目》）

④在上海，全市的工业垃圾和生活垃圾一年有730万吨，每10天的垃圾便可堆成国际饭店那么高大的体积。

（胡平 张胜友《苍茫中国》）

⑤香港与日本的一些公司对大马哈鱼子作过化验，得出的结论是它含蛋白质38%，含脂肪11%，并有多种氨基酸，七颗鱼子可顶一个鸡蛋的营养价值。

（刘志清《一个无国籍的女人》）

⑥目前，世界人口平均每分钟增加150人；每天净增22万人；每年净增800万人，这一数字相当于地球每年都在“生产”一个“英国”啊！

（画春《令人担忧的人类生态学之谜》）

⑦据科学方法测定，太阳表面每秒钟发出的能量达5200万亿亿马力。如果将这个能量比作氢弹爆炸，那么就相当于每秒钟爆炸了910亿颗一万吨级的大氢弹，幸好人类离太阳十分遥远，因而到达地球上的太阳能只有其中的22亿分之一。

（《太阳每秒钟发出多少能量》）

⑧清洗过遗体之后，数过了伤口，大大小小挂花四十四处，这个数字，正好是烈士的年龄乘以二。

（徐怀中《西线轶事》）

以上例①所要强调的是总行程的长度；例②所要强调的是鳃恐龙的重量；例③所要强调的是麦克斯韦尔山峰的高度；例④所要强调的是垃圾的“体积”；例⑤所要强调的是大马哈鱼鱼子的营养价值；例⑥所要强调的是每年世界人口增长的数量；例⑦所要强调的是太阳表面每秒钟发出的能量；例⑧所要强调的是烈士伤口的数量。在经过巧妙而生动的换算之后，读者也就不仅明白了那些简单或繁难的枯燥的数字，而且，最主要的，是从具体可感的事物中体味到更为丰富的含义：例①他作为火车司机，三十年工作是这样辛劳这样出色，真是令人肃然起敬；例②鳃恐龙原来这样庞大这样笨重，实在令人望而生畏；例③原来金星的山峰竟比地球第一高峰还高，催人遐想；例④原来上海垃圾量如此巨大，处理起来确非易事；例⑤原来大马哈鱼鱼子营养价值如此丰富，果然名不虚传；例⑥原来世界人口增长如此迅猛，控制人口增长的确迫在眉睫；例⑦原来太阳能量这样惊人；例⑧原来烈士伤口如此之多而年龄竟这样小，为国捐躯，实在令人崇敬，也令人惋惜。由此可见，大至宏观世界，小至微观世界，万事万物，只要在空间、时间、长度、高度、速度、重量、价值等等某一方面与数字有关，都可以进行换算。而换算的方法也是多种多样的，或比较，或累计，或等同，或折合，或推想，但不管采用哪一种方法，都必须把抽象枯燥的数字转换成具体可感的事物，也就是说，离开了具体可感的事物这一“中介”，就无法进行“换算”。这是换算的基本特征，必须强调，否则，忽视了这一点，就容易把一般的直算与换算混为一谈。例如：

掠夺性的地下水开发行为，导致京、津、唐地区地下水已十水九空。北京已形成近千平方公里的地下水降落漏斗，水位平均下降4—5米。煌煌京都，人均占有水量只有470立方米，仅占全国人均水量的六分之一，世界人均水量的二十五分之一。

（胡平 张胜友《苍茫中国》）

我们的党，带领着亿万人民，象那两条跪在地上前进的黄牛一样，付出了血汗的代价，终于度过了暂时的困难。只用了短短的三年，三十六次月缺月圆，一千零九十五回日出日落，便迎来了建国

之后的第二个黄金时代。

（顾笑言等《李宗仁归来》）

上面两例，显然前例只是一般性的直算；而后例则为换算：正是因为借助于“月缺月圆”和“日出日落”这两个生动可感的形象作为“中介”，读者才能据此产生想象和联想，从而更深刻地领悟了作者所要强调的“三年”这一数字所蕴含的丰富深长的含义：年复一年，月一月，日复一日，昼夜相继，辛苦劳作，永不止步，这是何等坚韧而伟大啊！

42. 折　　抵*

【折抵】 zhédǐ　对事物的特点不用或不满足于一般性的叙述，而是采用折合抵换的方法加以描述或补充。

①烟的销售与消费相当可观。曾有人做过这样有趣的计算，假如全国2.5亿人抽烟，每天人平均抽一包，那就是2.5亿包50亿支，如果一支一支连接起来（按每支84毫米算），共长达42万公里，差不多可绕地球赤道10圈。若每包烟一元钱，全国每一天就有2.5亿元化为袅袅烟雾，足可建设一座长江大桥呢！就个人而言，一般烟客每年用于买烟的开销得三四百元，差不多相当于个人全年收入的三分之一。

（王静平《透过袅袅烟雾》）

②它要是张开嘴，人站在它的嘴里伸手还摸不到它的上腭；四个人围着桌子坐在它嘴里看书，还显得很宽敞。

（《鲸》小学语文第7册）

③这是一个令人心悸的速度：在“六五”计划期间，平均每年约增加一个上海市的人口。也就是说，当你每抽完一支香烟时，中国的医院里便有二百来个孩子呱呱坠地！

（胡平 张胜友《苍茫中国》）

折抵所概括的修辞现象与换算基本相同，因此不必另立一格。

43. 精　细

【精细】 jīngxì　在描述过程中，故意打破常情，突然使用十分精确的数据。

①她的目光大约把我从头到脚扫过了三遍，最后，突然“咯咯咯”地放声大笑。

（冉丹《草原上的雾》）

②容伯母给我的第一个感觉，是她那占三分之二的黑发换成了三分之二的白发。

（姜滇《容方》）

③这是泰来县一家姓李的种菜专业户，兄弟两个，30多岁，都没成家。哥哥驼背，站着90°，坐着也90°。弟弟一只胳膊残废，在袖筒里荡来荡去。

（蒋巍《离弦之箭》）

④只有总务科长许大炮讲话时才引起他的注意。许大炮的声音永远比别人高出一百分贝。

（韶华《煤气》）

⑤听了这些消息，恩特整三天不言不语。三天之内白了十五根头发六根胡须。末了终于长叹一声，骂道：“匪徒！不知好歹！就是要严加管束！”

（王蒙《球星奇遇记》）

⑥煤气罐不可能，上次为解决全家共用一个煤气罐，跑人情14人次，请客7次，送画2张，送烟5条，送酒8瓶，历时13个月零13天，用尽了吃奶拉屎之功。

（王蒙《坚硬的稀粥》）

⑦他们为狗价争执了两小时又三十七分钟，争得两个人都口干舌燥、筋疲力尽，那狗主人喝完了五瓢凉水，江家福抽掉了十三

支烟。最后双方各让了一大步，以每条小狗十五元的“优惠”价卖了四条小狗给江家福。

（彭荆风《冠盖如云》）

⑧X. 涕泪交流法（亦名割肉出血法）：此法一点即通。可将原本10元1米的混纺华达呢铺排案上，用触目惊心之语书写广告，左：（竖排）“痛哭流涕大甩卖！廉！廉！廉！！！”右：（竖排）“剜心割肉大出血！贱！贱！贱！！！”中间：（横写）“沪（或澳）产全毛华达呢！！！原价1米40元！（用红笔打×）现价1米15元！！！”注意，惊叹号不可少于19个，字体越狂乱颠倒越好，以显示“痛不欲生”之内心煎熬；……

（徐国英《经营十诀》）

以上例①不说她的目光注视了我好一会儿，而说她“大约把我从头到脚扫过了三遍”；例②不说容伯母变化之大，头发白了不少，而说“她那占三分之二的黑发换成了三分之二的白发”；例③不说哥哥驼背很严重，而说他“站着90°，坐着90°；例④不说许大炮的嗓门很大，而说他“声音永远比别人高出一百分贝”；例⑤不说恩特急恼得白了头发，而说他“三天之内白了十五根头发六根胡须”；例⑥不说为煤气罐走后门，托人情，请客送礼，百费周折，而说“跑人情14次，请客7次……历时13个月零13天”；例⑦不说他们为狗讨价还价很长时间，狗主人没完没了喝凉水，汪家福没完没了抽烟，而说“他们为狗价争执了两小时又三十七分钟”，“狗主人喝完了五瓢凉水，汪家福抽掉了十三支烟”；例⑧不说惊叹号越多越好，而说“惊叹号不可少于19个”。由此可见，精细是貌似精确，实则是未必精确，并且从其情其境来说，原可以不必精确或难以精确的数据。它是作者故意在数量上张大其辞，把原本允许“模糊”一点的表述，故意采用十分精确的数据，作出确凿无误的说明，从而将字面的准确性与内涵的模糊性结合起来。所以，精细在表达上带有明显的夸张的意味，给人以醒目新奇而又幽默诙谐的感觉。

确定是否修辞上精细，必须充分注意具体的语境，有时某些精确的数据极容易让人误以为精细。例如：

北京的命令下来了，点火！10、9、8、7、6、5、4、3、2、1，直到0，怎

么还不见动？一瞬间，紧张得心蹦上来，卡在喉咙里：失败了？……正想着，刹时间一朵无比巨大的、鲜花一样的大蘑菇云升天而起。

（冯骥才《一百个人的十年·原子弹的科学家》）

这园子一共是二十八亩。七十棵葫芦冰，五十棵梨树，九棵苹果，三棵海棠，三十棵枣，一棵核桃。

（丁玲《太阳照在桑乾河上》）

试将这二个例子与上面的八个例子略加比较，不难看出，这二个例子中的数字不仅为特定的语境所必需，完全符合客观实际，而且其情其境恰恰要求必须精确，也能够做到精确，不存在字面的精确性与内涵的模糊性互相矛盾的问题，在表述上并无超乎正常的语感，因此也就没有特别的修辞意味。

44. 呼　告

【呼告】 hūgào　在说话或写文章中，突然撇开听众或读者，直接对所说所写的人或物呼名说话。

①黎萨纪念碑耸立在仑尼沓广场草坪上，广场如今已改名黎萨公园，以纪念这位争取独立的先驱者。夕阳影里，处处有欢笑声。倾心低诉的情侣们，纵情嬉戏的孩子们，你们可曾想到你们脚下的土地，正是当年黎萨饮弹喋血的刑场呢？你们可曾听到，湿润的空气中，凝聚着殖民者刽子手的罪恶枪声吗？

（袁鹰《马尼拉湾的落日》）

②我想回国以后，当我看着这有红色卡琳娜果的照片时，我会幸福地微笑。你血珠一样的卡琳娜果，让你把大自然的血珠永远在人们的生命中灌注青春和美丽吧！

（刘白羽《海外日记二则

·你，血珠一样的卡琳娜果》)

例①作者在叙述了马尼拉独立的先驱者、作家黎萨的事迹和描绘了黎萨公园夕阳影里的景色之后，转而情不自禁地对眼前的情侣们和孩子们呼告，以唤起他们对先驱者的崇敬和对刽子手的憎恨，进而意识到争取独立的艰辛和自由的可贵；例②作者在生动地描绘卡琳娜果的美色之后，转而对卡琳娜果呼告，以表达自己对她由衷的热爱与赞美，暗示大自然与人的密不可分的关系。由此可见，运用呼告，可以大大增强语言的抒情色彩，即可以直接抒发说写者对说写对象的感情，以引起听众或读者强烈的共鸣。

呼告一般分为两种形式：呼人与呼物(也有人将呼告分为比拟呼告和示现呼告两种，为避免与其他两种辞格"示现"与"比拟"在概念上发生混淆，故本辞典没有采用这一分法)。

〖**呼人**〗 hūrén 在说话或写文章中，突然撇开听众和读者，直接对所说所写的人呼名说话。

③乌拉嘎离我们越来越远了，欧阳老人与我们握手话别。望着他那古铜色的脸膛和绿海中的金山，我心底在默默地祝福着：

长寿吧，黄金老人！你将看到中国成为黄金大国，黑龙江将成为"黄金海岸"！

(刘志清《一个无国籍的女人》)

④当我们到了被别人估价的时候，母亲她已被我们吸收空了。没有财富和知识。母亲是位一无所有的母亲。她奉献的是满腔满怀恒温不冷的心血供我们吮咂！母亲呵，娘！我的老妈妈！我无法宽恕我当年竟那么不知心疼您、体恤你。

(梁晓声《母亲》)

例③作者在与欧阳老人话别之时，借"呼人"以表示对老人深情的祝福；例④作者在叙述母亲一生的艰辛之后，借"呼人"以表示对母亲的感激与负疚之情。

〖**呼物**〗 hūwù 在说话或写文章中，突然撇开听众或读者，直接对所说所写的物或事呼名说话。

⑤不久，母亲就过世了，我的愿望终未实现。我领着妻子儿女

回乡奔丧，婶婶们用土豆做饼代米粑端给我们吃，我吃着吃着，泪水就流出来了。

大别山啊，您那时的心情是多么沉重啊！

（赵秀杰《吃米粑》）

⑥啊，我那可爱的青竹啊！你就在那里长吧，繁衍吧！只要在你枝叶的汁中，铭记着我对你的爱意！我那美丽的桃树啊，你年年怒发结实吧，只要在你的乳浆里保存一点对我的记忆！葡萄啊，伸长你的藤，芭蕉啊，你扩展自己的叶！在月白风清之时，只要偶有一回对我的思念，我就会觉得欣慰心醉的！……

别了，老屋！让我在远处凝视你吧！让我对你的情爱渗进土里，溶进云空，嵌进你的石隙砖瓦中，熨贴在你未来的日月中！我要在更广大的意义上去追求你！

（苏叶《告别老屋》）

例⑤叙述母亲去世之后，作者重返故乡，睹物思人，借“呼物”以表达自己内心的沉重；例⑥作者乔迁新居之后，时时对那伴随自己度艰难岁月的老屋思念不已，于是借“呼物”，将手植的竹、桃、葡萄以及老屋一一拟人化，以表达自己依依惜别的深情。

“呼物”较之“呼人”，有一点明显的不同，就是必须将物拟人。即作者必须赋予物以人的思想感情，以便在呼名对话时移情于物，从而将自己内心深处的感情间接地抒发出来。人格化是思想感情外化（具体化、形象化）的一种手段，它可以大大增强语言的感情色彩和表现力。

在语言形式上，呼告有两个重要的特征：一是需用呼语，二是需改换第二人称。之所以如此，正是为了引起注意，缩短读者或听众与所说所写的对象之间的距离，使之产生心灵的共鸣。以上例句即可证实这一点。

在文学作品中，还有几种情况比较特殊：

⑦光明呀，我景仰你，我景仰你，我要向你拜手，我要向你稽首。我知道，你的本身就是火，你，你这宇宙中的最伟大者呀，火！你在天边，你在眼前，你在我的四面，我知道你就是宇宙的生命，你就是我的生命，你就是我呀！我这熊熊地燃烧着的生命，我这快要使

我全身炸裂的怒火，难道就不能迸射出光明了吗？

（郭沫若《屈原·雷电颂》）

例⑦这是剧中人屈原一段抒情的独白。面对观众，剧中人直接抒发自己内心如火山爆发的激情。从形式上看，此例完全具备呼告的辞格特征，既有呼语又用第二人称。因此一般修辞论著均将它列为呼告。不过编者认为在这里有必要强调一点：戏剧不同于一般文学作品，其对白完全是为了人物在舞台上表演的需要，因而运用呼语和第二人称是理所当然的，这是戏剧语言本身固有的特点。因此我们不应按通常的意义来确定戏剧语言中的呼告，而必须充分注意从剧中人的特殊角度和和对话的具体语境来作出判断。象上面的例子之所以可以看作呼告，是因为它不仅具备呼物的辞格特征，而且也是剧中人屈原有意撇开听众，直接与叙说的对象风雨雷电等呼名对话。

从《屈原》全剧看，《雷电颂》不过是一个很小的片断，因此可以看作是一个大的呼告。但是也有一类作品，尤其是诗歌和抒情散文居多，如李瑛的抒情诗《我骄傲，我是一棵树》，通篇采用第二人称，并运用人格化手法，那么是否也一概视为呼告呢？我们以为不妥。因为这一类作品中的第二人物和拟人手法已经属于创作方法的范畴，不再是所谓撇开读者与抒写的对象呼名对话。

在小说中，有时人物的心理活动也常用呼告的形式：

⑧他似乎看见了白花被碾压得粉碎。

他感到了那被碾压的痛楚。他听到了那被碾压的一刹那的白花的叹息。啊，海云，你不就是这样被压碎的吗？你因为爱，因为恨，因为幸福和因为失望常常颤抖的，始终象儿童一样纯真的纤小的身躯吗！而我仍然坐在车上呢。

（王蒙《蝴蝶》）

例⑧是作品中人物“他”——张思远官复原职，重访当年劳动过的山乡之后，坐在车上对往事的回忆，由于情不自禁转而对被十年浩劫迫害致死的早年的爱人海云直接呼名说话。作品的语言由作者（王蒙）对人物“他”作第三人称叙述的角度，转为人物“他”对“人物”（海云）作第二人称对话的角度。象这样的情况在小说中十分常见。因此，也可以视

为呼告。

综上所述，一般认为呼告大体有三种方式。第一种是作者突然改换人称，直接与叙说的对象呼名对话，这是大量的，如例①、例②、例③、例④、例⑤、例⑥。第二种是作品中人突然改换人称，直接与意念中的对象呼名对话，如例⑦、例⑧。第三种是通篇采用第二人称拟人手法，作者直接与抒写的对象呼名说话。将第一种列为呼告，修辞学界早有定论，而对第二、第三种能否作为呼告，尚需做进一步研究。本辞典编者倾向于将第三种排除在呼告之外。

45. 感　　叹

【感叹】 gǎntàn （咏叹）借用叹词或呼声语以加强所要表达的思想感情。

感叹能否作为辞格，人们意见不一。《修辞学发凡》同意将感叹定为一格，并作了如下界定："深沉的思想或猛烈的感情，用一种呼声或类似呼声的词句表出的，便是感叹辞。"同时指出："感叹辞约有三种形式：(一)添加'呵'、'呀'、'呜呼'、'噫嘻'、'哉'、'夫'等感叹词于直陈句的前后；(二)寓感叹的意思于设问的句式；(三)寓感叹的意思于倒装的句法。内中(二)(三)两类，各与设问倒装等格有关系，最纯粹的，只是(一)这一类。我们因此可说(一)这一类是感叹辞中最主要的形式。"但是也有人持否定意见，认为："感叹词是词类的一种，感叹句是句子的一式，它们的作用就在于表示感叹，也就是表示'深沉的思想或猛烈的感情'，它们是语法的研究对象。"因此，"不必建立'感叹'这种辞格"(郑远汉：《辞格辨异》)。作为工具书，本辞典仍基本上采用《修辞学发凡》的界说及其第一形式，而没有包容第二、第三种形式，并认为"借用叹词或呼声语"正是感叹这一辞格的主要特征或标志，如同"调动语序"是倒装辞格的主要特征或标志一样。不能因为感叹在句式上与语法关系密切而将它排斥在辞格之外，其他如倒装、反问等格也同样存在这个问题。至于

第二种、第三种形式，它们所缺的也正是这一辞格特征，如不加排除，则势必模糊感叹与其他辞格的界限，使问题更加复杂化。

感叹的修辞作用比较明显：在文学作品中，人物用“感叹”则能使读者闻其声而见其人，作者用“感叹”则能以己之情动人之情。两者都能强化抒情效果，在感情上引起读者强烈的共鸣。

①听到门声，她抬起了头，一双黑亮的大眼睛看起来却那样的空洞无物。哦，多么熟悉，又多么陌生的眼睛！

（尉丽敏《小花，在山野中凋零》）

②嘿！没料想，他忽然问：

“听说你跟老孟不说话？”

咦！别看他书呆子，观察还挺细的！

（谌容《啼笑皆非》）

③三个朋友，三种职业，三种阅历，三种身分地位，三种角度，三种见解。哈，真有趣！

（杨林林《第五个电话》）

④当我登上巍巍高出林梢的瞭望塔，极目远望时，啊，呈入眼帘的是红松的海洋！

（刘志清《一个无国籍的女人》）

⑤谁知她反而更加清脆地笑了起来：

“哎哟哟，政工干事，好吓人呀！你看看桌子上摆的啥？”

（莫伸《旅途中》）

⑥她叫起来：“肋叉子全断啦！哎呀哎呀，疼死我啦……我知道今儿要犯邪，昨晚烧出‘恶事香’来了。哎呀哎呀，小的不争气，老的要蔫捐，净心逼死我，好讨小老婆呀……哎呀哎呀，我知道你们是阎王爷派来的小鬼，拉死我呀……”

（冯骥才《阴阳八卦》）

以上例①用“哦”表惊异，例②用“嘿”表意外，用“咦”表鄙夷，例③用“哈”表窃笑，例④用“啊”表赞叹，例⑤用“哎哟哟”及语气词“呀”表揶揄，例⑥用“哎呀哎呀”与“啦”“呀”表撒泼。

以上例句均属感叹，比较明显。但在现实生活中有一种语言现象却

比较特殊，历来较少引起人们的注意：

⑦几点了？她忍不住想看一眼手表。天，才一点一刻。昨天也是这个时候醒的。

（杨争《黑月亮》）

⑧老鬼朝黑熊招招手，两人就一前一后朝那人拢过去。那人慢慢抬起头来，一边瞟了一眼。老鬼和熊都楞了一下，乖乖，原来才是个半大人！

（汤保华《一生中的24秒》）

⑨关于《易经》方面的书，他收藏的海了去啦！我有时翻一翻，看一看，我的妈呀！那《易经》整个是一本天书。

（鲍昌《绝笔》）

⑩窗外，月华如日，亮如白昼。

我的上帝呀！他不由倒抽一口冷气，两手死死地抓住窗纱的一角，仿佛这能挽救他的生命。

（冯德英《西小地》）

⑪到了界头的桥头寨，下车一看，好家伙！周围密密麻麻的全是森林。

（韩联宪《寻找大树杜鹃》）

⑫我渐渐就感到舞姿象洪水般流畅动情，我结实的身躯如夏日阳光般四处闪烁，我的血液里好象重新注入了二十岁的青春。万岁，黑色霹雳蓝色摇滚！万岁，血色生命血色黄昏！我真有点如醉如狂飘飘欲仙啦。

（刘毅然《摇滚青年》）

例中的“天”、“乖乖”、“我的妈呀”、“我的上帝呀”、“好家伙”、“万岁”等都已经不是本来意义的呼语了，而是借用来表示某种特定的思想感情，其修辞意味较之叹词更为鲜明强烈，因此归入“感叹”一格是合理的，其中的“非呼语”同样可以看作这一辞格的主要特征或标志。

不过，有人将感叹号也作感叹格的一种形式，我们却以为欠妥。例如：

莫非同我有什么关系吗？我刚一转念，心就猛地往下沉：“糟

糕!”我对自己说,这下完了,难道是那张照片——我夹在学生证里的,掉在地上了……

(张抗抗《夏》)

在文章中,以叹号来表达思想感情强烈的语句多得不可胜数,而且除了叹号,其他诸如“?!”“?”“……”等符号也一样有这种作用,如果仅据一个叹号就确认其为感叹格,那么也就将问题过于简单化了。标点符号只是书面语言的辅助工具,在特定的语言环境中,它也会有一定的修辞功能,但如果仅仅以此作为一个辞格的主要特征则是难以成立的。

比较起来,感叹与摹声有时容易混淆。因为某些叹词本身就有“拟声”的特点。但二者还是有区别的。前者是为了强化思想感情,而后者却为了逼真地摹拟声音;前者多用叹词,后者多用拟声词。比如:“哎哟!疼死我啦!”是感叹,“只听他‘哎哟’一声:真疼”则是摹声。

46. 对　　偶

【对偶】　duiǒu　(俪辞 对子)把字数相等或大致相等、结构相同或相似、意义相关的两个句子或词组对称地排列在一起。

运用对偶,整齐美观,音律和谐,便于记诵。

从结构上看,对偶分为严式和宽式两种。

严式对偶,要求上下句字数相等,结构相同,词性一致,平仄相对,不能用重复字。

①感时花溅泪,　平平平仄仄
恨别鸟惊心。　仄仄仄平平

(唐·杜甫《春望》)

②沉舟侧畔千帆过,平平仄仄平平仄
病树前头万木春。仄仄平平仄仄平

(唐·刘禹锡《酬乐天扬州初逢席上见赠》)

例①是五言律诗中的第三、四句,例②是七言律诗中的第五、六句。

律诗中的颈联(三、四句)和颔联(五、六句)都必须是对偶句。这两例完全符合严式对偶的要求,形式整齐,韵律和谐,抑扬顿挫,琅琅上口。我国古典诗歌中的格律诗讲究平仄相对和词语的对仗,所以多严式对偶。

宽式对偶,要求不那么严格。

③呵,盐都!一座丰碑崛起了,那是祖辈之魂哟!晨云为之增色,日月为之凝神,山川为之举红托绿,生命为之雀跃欢欣。

(曾新《盐井,祖辈的传说》)

④悠悠乎与颢气俱,而莫得其涯;洋洋乎与造物者游,而不知其所穷。

(唐·柳宗元《始得西山宴游记》)

例③中有两个对偶,它们都是字数相等,结构相同,意义相关的,但都有重复用字。例④上下两句结构相似,意义相关,也有重复用字,且下句比上句多两个字。以上两例,均属宽式对偶,且都是文中的对偶。

由此可见,文中的对偶同律诗中的对偶有所不同。律诗中的对偶要限字数。文中的对偶可长可短,不限字数。律诗中的对偶要避免重复的字(句内可重复,上下句的字要避复)。文中的对偶尤其是虚词可不避复。律诗中的对偶要讲平仄,一般的对偶要求不这样严格。随着汉语的发展,多音节词在现代汉语中已占主要地位,虚词数量增多,因此,宽式对偶在现代散文中将会更多地出现。但宽式对偶也必须结构匀称,不能乱凑合。

从上下句在意义上的联系看,对偶基本上有三种:正对、反对和串对。

〖**正对**〗 zhèngduì 上下句的意思相同相近或相补相衬。

⑤一蓬青萍,于漩涡浪尖漂泊、沉浮,沉浮、漂泊,脆弱的根系,竟是触到了母土的厚实了。

一驾孤马,于异地他乡闯荡、跋涉,跋涉、闯荡,疲惫的神经,竟是嗅到了故乡的温馨了。

(陈金山 苏效明《魂兮归来》)

⑥慕田峪长城随雄伟的群山起伏,分外壮观。外国游客蜂攒蚁聚,华夏游子摩肩接踵。

（马瑞芳《相逢在京华》）

⑦日出江花红胜火，
春来江水绿如蓝。

（唐·白居易《忆江南》）

⑧凫胫虽短，续之则忧；鹤颈虽长，断之则悲。

（《庄子·骈拇》）

例⑤上下两句意思相同，都用比喻的手法形象表达出背井离乡的游子返回故土时百感交集之情。例⑥上下句意思相补相衬，写出了慕田峪长城游客熙攘的景象。例⑦两句意思互相补充映衬，描绘出一幅充满生机的江南美景。例⑧前后两句意思相同，都是喻指作事要符合规律，不能生搬硬凑，否则就要失败。

〖**反对**〗 fǎnduì 上下句的意思相反或相对。

⑨看洞中依然旧景，
望窗外已是新春。

（罗广斌 杨益言《红岩》）

⑩这排排串串的珍珠，使天上银河失色，叫满湖碧水生辉。

（谢璞《珍珠赋》）

⑪一丛深色花，
十户中人赋。

（唐·白居易《买花》）

例⑨上句写渣滓洞集中营内黑暗依旧，下句写洞外已是解放了的新中国，对照鲜明。例⑩上下两句意思相对，互相映衬，赞美湖中珍珠的丰收。例⑪用鲜明对比的上下两句揭示了贵族官僚的穷奢极欲。

正对与反对都是用平行句式表示并列关系，所以又统称平对。

〖**串对**〗 chuànduì （流水对 走马对）上下句的意思相关相连（有承接、递进、因果、假设、条件等关系）。

⑫一秋常苦雨，
今日始出云。

（唐·杜甫《留别贾严》）

⑬豪门不下地狱，

穷户难进天堂。

（谚语）

⑭能探风雅无穷意，
始是乾坤绝妙辞。

（明·方孝孺《论诗》）

例⑫上下句是承接关系，例⑬上下句是假设关系，例⑭上下句是条件关系。这几例均是串对，其顺势如流水，故又名流水对。

另外，古诗文中还有一些特殊形式的对偶，如自对、互对、倒对、扇对、借对、蹉对、鼎对等。

〖**自对**〗 zìduì （当句对 就句对 句中对 四柱对）不仅上下两句相对，且各句中自成对仗。

⑮乱云低薄暮，
急雪舞回风。

（唐·杜甫《对雪》）

⑯银钏金钗来负水，
长刀短笠去烧畲。

（唐·刘禹锡《竹枝词》）

⑰蕙肴蒸兮兰借，
奠桂酒兮椒浆。

（战国楚·屈原《九歌·东皇太一》）

⑱风吼云啸，是战马嘶嘶，雷鸣电闪，是刀光剑影，这是何等的气势？

（李刚《彩虹》）

例⑮上句"乱云"对"薄暮"，下句"急雪"对"回风"。例⑯上句"银钏"对"金钗"，下句"长刀"对"短笠"。例⑰中上句是"蕙蒸"（"以蕙蒸肉"的意思）对"兰借"（"以兰作垫"的意思），下句是"桂酒"（"以桂酿酒"的意思）对"椒浆"（"以椒制浆"的意思）。例⑱是将自对形式用于现代散文中，上句中"风吼"对"云啸"，下句中"雷鸣"对"电闪"，而上下句又构成对偶。

〖**互对**〗 hùduì （互文对）上下两句是互文。实质是对偶与互文的

兼用。

⑲将军百战死，
壮士十年归。

（《木兰诗》）

⑳花径不曾缘客扫，
蓬门今始为君开。

（唐·杜甫《客至》）

例⑲形式是对偶，意思是：将军或百战死，或十年归；战士或十年归，或百战死。上下两句中的词语参互见义。例⑳“客”泛指客人，“君”特指来访的崔明府。此句意思是：花径不曾缘客扫，今始为君扫；蓬门不曾为客开，今始为君开。也是上下两句参互见义。这两例均属互对。

〖**倒对**〗 dàoduì （倒装对）由于受平仄或词性的限制而将对偶中的语序颠倒。实质是对偶与倒装的兼用。

㉑坟坛冷落将军岳，
梅鹤凄凉处士林。

（鲁迅《阻郁达夫移家杭州》）

㉒白发悲明镜，
青春换敝裘。

（唐·岑参《武威暮春闻宇文判官西使还已到晋昌》）

㉓笑我生尘甑，
惭君有敝袍。

（宋·范成大《春晚即事留游子明王仲明》）

例㉑“将军岳”是岳将军（岳飞）的倒装，“处士林”是林处士（林逋）的倒装。例㉒上句应是“明镜悲白发”，对着明镜悲叹白发已生。例㉓“生尘甑”应是“甑生尘”，“甑”是蒸食炊器，“甑生尘”是说穷得没有粮食吃。这三例中，前两例是为了平仄、押韵而倒装，第三例不仅因平仄限制，也为词性相对而倒装。

〖**扇对**〗 shànduì （隔句对）第一句与第三句相对，第二句与第四句相对。

㉔得罪台州去，

时危弃硕儒；
移宫蓬阁后，
谷贵殁潜夫。

（唐·杜甫《哭台州郑司户苏少监》）

㉕昔我往矣，
杨柳依依；
今我来思，
雨雪霏霏。

（《诗经·采薇》）

㉖似谢家子弟，
衣冠磊落；
相如庭户，
车骑雍容。

（宋·辛弃疾《沁园春·灵山齐庵赋，时筑偃湖未成》）

以上三例均为扇对，其中例㉖是《沁园春》词牌，这个词牌的第四、五、六、七句例应对仗，而且使用扇对的为多。例中“似”是领字，据词律可不在对仗之列。

〖**借对**〗 jièduì （假对 假借对）借用同音字构成对偶。

㉗厨人具鸡黍，
稚子摘杨梅。

（唐·孟浩然《裴司士员司产见寻》）

㉘谈笑有鸿儒，
往来无白丁。

（唐·刘禹锡《陋室铭》）

㉙水接仙源近，
山藏鬼谷幽。

（唐·孟浩然《梅道士水亭》）

㉚玉玺不缘归日角，
锦帆应是到天涯。

（唐·李商隐《隋宫》）

例㉗“杨”借作“羊”，与“鸡”相对；例㉘“鸿”借作“红”，与“白”相对。这两例是借音对偶。例㉙“鬼谷”本指鬼谷子，是古代学者，隐居鬼谷。此处借“鬼谷”代梅道士，与“仙源”相对。例㉚“日角”本来是说额骨隆起像日头，指帝王之相。《后汉书》描写汉光武帝刘秀的相貌是“隆准日角”。这里以“日角”代指李渊、李世民，为的是“日角”“天涯”对仗工整。这两句诗的意思是：如果李渊、李世民不掌握政权，隋炀帝的荒淫游乐应该远及天涯了吧。例㉙和例㉚是借义对偶。

〖**蹉对**〗 cuōduì （错对 错综对 交股对 犄角对）上下两句中的字不是依次相对，而是交错相对。实质是对偶与错综的兼用。

㉛于今腐草无萤火，
终古垂杨有暮鸦。

（唐·李商隐《隋宫》）

㉜裙拖六幅湘江水，
鬟耸巫山一段云。

（唐·李群玉《同郑相并歌姬小伎戏赠》）

例㉛“萤火”与“暮鸦”交错对仗。如果把“萤火”改为“火萤”，工整是工整了，但不成为词。这是服从语句通畅的需要。例㉜“六幅湘江”与“巫山一段”交错相对。这是从平仄考虑，不得不错综。

〖**鼎对**〗 dǐngduì （鼎足对 三鳍）三个句子相对，如三足鼎立。

㉝密匝匝蚁排兵，
乱纷纷蜂酿蜜，
闹穰穰蝇争血。

（元·马致远《夜行船·秋思》）

㉞肝肠百炼炉中铁，
富贵三更枕上蝶，
功名两字酒中蛇。

（元·乔吉《卖花声·悟世》）

例㉝用蚁、蜂、蝇来比喻当时人追名逐利的繁忙情况。例㉞作者写自己如炉中之铁，百炼成钢，说功名富贵，都是梦中幻事，不足迷恋。这两例都是三句构成鼎对。这是元人散曲中特有的一种对偶形式。

对偶要避免内容的重复。如果上下两句词意重复，是对偶的毛病，称为“合掌”。

㉟宣尼悲获麟，
西狩涕孔丘。

（西晋·刘琨《重赠卢谌》）

这两句诗写鲁国人在西边打猎，得一麒麟，孔子为此流泪，感叹他的道行不通了。“宣尼”即“孔丘”，“悲”就是“涕”，“获麟”和“西狩”是一件事。这样，上下两句虽是对偶，却犯了“合掌”之病。

如果两句内容不同而用意相同，虽不算合掌，却也美中不足。

㊱蝉噪林逾静，
鸟鸣山更幽。

（南朝梁·王籍《入若耶溪》）

此例上句写蝉噪，下句写鸟鸣，内容虽说不是重复，但都貌似写动，而竟在写静。若象王安石把谢贞《春日闲居》中“风定花犹落”与“鸟鸣山更幽”配合成对，一句写所见，静中有动，一句写所闻，动中有静，就是极工的对偶了。

对偶是古诗词中极常见的修辞手法，而在此基础上，又产生了对联这种独特的文字形式。对联又称楹联、对子，它始于五代，自宋以来不断推广，盛于明清，发展至今，经久不衰。

对联要求上下联字数相同，对仗工整，平仄协调，上联尾字为仄声，下联尾字为平声，句式可长可短，少则二、三言，四、五言，多则十几言，几十言，乃至体大酣畅的数百言。

对联的种类很多。就用途而言，有春联、喜联、寿联、挽联、楹联、赠答联等；就内容而言，有述志联、自勉联、感事联、戏谑联、讽喻联等；就艺术手法而言，有藏典联、藏头（藏尾）联、析字联、双关联、回文联、顶真联、镶嵌联、人名联、地名联、集句联等。

自古以来，名联佳对，浩如烟海，成为艺苑中一朵雅俗共赏的奇葩。

㊲韩愈送客，刘伶醉酒；
江淹作赋，王粲登楼。

（潮州韩江酒楼题联）

㊳小园新展西南角，
和气先熏草木心。

（梁章钜《楹联丛话》）

㊴溯禹迹莫岷阜以还：南接衡阳，北连秦陇，西通藏卫，东峙夔巫，葱葱郁郁，纵横八百里舆图。试蹑屐登上清绝顶，看雪岭光腾，红吞沧海；锦江春涨，绿到瀛洲。历井扪参，须臾踏蜗牛两角。争奈路隔蚕丛，何处寻神仙帑库；丈人峰直墙堵耳！回想峨眉伙月，玉垒浮云，剑门细雨，尚依稀绕襟袖间，况乃夜朝群岳，圣灯光列宿柴天；泉喷六时，灵液疑真君唾地。读书台犹存芳躅，飞赴寺安敢跳梁！且消遥眺詹蔔冈，渡芙蓉岛，都露出庐山面目，难遽追攀，楼观瓦玲珑。今幸青崖径达，问当初华渚姚墟，铜铸明皇应宛在。

自轩坛拜宁封而后：汉标李业，晋著范贤，唐隐薛昌，宋征张愈，烈烈轰轰，上下四千年文物。漫借瓶考前代遗徽，记官临内品，墨敕亲颁；曲和甘州，霓裳同咏。鸾章翠辇，不过留鸿爪一痕。可怜林深杜宇，几番唤望帝归魂，高士传岂欺予哉！莫道赵昱斩蛟，佐卿化鹤，平仲驰骤，悉缥缈若遐荒事。兼之花蕊宫词，巾帼共谯岩竞秀；貂蝉画像，侍中与太古齐名。携孤琴御史曾游，吹长笛放翁再住。休提说王柯丹鼎，谭峭敝鞋，那堪他沫水洪波，无端淘尽，英雄多寄寓。我亦碧落暂栖，待异日龙吟虎啸，铁船贾郁定重来。

（四川灌县青城山山门对联）

例㊲是藏典的嵌字联，首冠“韩江”二字，尾嵌“酒楼”二字，奇巧有趣。例㊳上联是陆游的诗句，下联是王安石的诗句，后人将其集聚一起，恰成对仗，别有趣味，叫做“集句联”。例㊴长达394字，可与孙髯翁所书昆明大观楼180字的长联相媲美，相传为清末李善济所作，写景寄情，咏史抒臆，对仗工巧，气魄宏大，堪称天下第一长联。

47. 对　　举

【对举】 duìjǔ　用两个相互对应而各自并不独立的短语，共同表达一个完整的意思。

①对1988年度电影“政府奖”评选活动可以用八个字加以概括，即：一则以喜，一则以忧。

（《一则以喜一则以忧》载《北京日报》1989年10月21日）

②他简直把我看做是不谙世事的小姑娘……真也是哭也不得，笑也不得了。

（梅洁《这一片女儿的情绪》）

③三年以后，领导上组织我们讨论什么是人道主义？我立刻想到了妻子常嘟哝的一句话：“唉，咱们家呀，老的不老，小的不小，挤在一屋里，唉！”

（赵大年《脱发·火柴·房租》）

④好玩鸟儿的人们，一夏天都用活蚂蚱什么的加意饲养，把鸟儿喂得羽毛丰满，红是红，黄是黄，全身闪动着明润的光泽，比绸缎更美一些。

（老舍《正红旗下》）

⑤顾丹卿伸过手来把他的背心扯了一下：“这，这成什么样子？男不男，女不女。”

（美国·聂华苓《爱国奖券》）

⑥当然，这位“八大王”是有可能参与真、仁两朝政事的。后世小说戏曲乃捏合赵德芳与元俨为一人，从而塑造出一位手执金锏，“上打昏君，下打谗臣”的正面人物“八千岁”。

（吴小如《八千岁并非赵德芳》）

⑦儿子好像一位陪同参观的介绍员，指东讲东，指西道西，上

三下四，左五右六，一明二白地交待着，不厌其烦有问必答，耐心可嘉。

（梁晓声《雪城》）

上述各例中，加着重号的句子，如果说成这样，就不能成立：①一则以喜；②哭也不得；③老的不老；④红是红；⑤男不男；⑥上打昏君；⑦指东讲东。这些意思不能独立的短语，必须和另一个短语对举着说，它们才能成立：①一则以喜，一则以忧，②哭也不得，笑也不得，③老的不老，小的不小。④红是红，黄是黄。⑤男不男，女不女。⑥上打昏君，下打谗臣。⑦指东讲东，指西道西。

可见，对举作为辞格，其主要特征是：对举应该包含两个短语，其中任何一个短语都不能独立地表意，只有当两个短语彼此对应，相互关联，互为补充时，才能完整地表达出一个意思。

恰当运用对举，可以收到积极的修辞效果。

⑧尤其是在自己的论敌、政敌已被剥夺了为自己作辩护的权利的情况下，一不看风使舵，二不推波助澜，三不落井下石。一定要一是一，二是二；直归直，曲归曲；功即功，过即过。

（虞丹《硬骨头性格》）

连用四组对举，极简洁而又全面地阐明了在学术、政治论争中应具有的气度与风格，文字精警，简截明快，文气一贯到底，若不用对举的形式，就不会收到这样好的表达效果。

⑨停了一会，她慢慢地抬起头来，紧紧盯着女儿，果断地说：

“好吧！是福盼不来，是祸也愁不去。该怎的就怎的吧。孩子，我不怕，不怕。你也别怕！”

（峻青《党员登记表》）

“是福盼不来，是祸也愁不去”，写出了“黄妈妈”处变不惊，镇定自若的态度，面对凶险，她坚定坦然，无所畏惧，并安慰鼓励自己的女儿。一句对举，揭示了人物内在的气质与个性，这是个性化了的文学语言。

⑩三仙姑去寻二诸葛，一来为的是逞逞闹气的本领，二来为的是遮遮外人的耳目，其实让小芹吃一回亏她很高兴，所以跟二诸葛老婆闹了一阵之后，回去就睡了。

（赵树理《小二黑结婚》）

作者用“一来……二来……”这种对举的形式表述三仙姑去二诸葛家闹事的动机目的，要言不烦，行文不拖泥带水，十分口语化，体现了赵树理的语言风格。

⑪自从进了武家门，她拾得起，放得下，说得出，做得到，人一份，嘴一份，人前人后都没给武耕新丢过脸。

（蒋子龙《燕赵悲歌》）

一组对举，构成排比，写她的能干，俐索、爽快，有主见，有魄力，言简意赅。

汉语中有不少相对固定了的对举句。

深一脚，浅一脚。行得正，坐得端。东家长，西家短。东一榔头，西一棒槌。坐没坐相，站没站相。前不着村，后不着店。比上不足，比下有余。头是头，脚是脚。说归说，干归干。丁是丁，卯是卯。鼻子不是鼻子，脸不是脸。这些对举句，已基本定型（使用时也可以有所变异，如“东家长，西家短”也可说“东家子长，西家子短”、“说东家，道西家”），大多是熟语，语法书中将其归为固定短语，称之为结构对称的非四字习惯语。

对举在结构形式上和对偶相同，但在内容表达上二者是有区别的。对偶的上下句可以相对独立而存在，如“山重水复疑无路，柳暗花明又一村”，人们在引用时，可以只引上句，或只引下句，并不妨碍其意思表达的完整性；而对举则需前后两个短语互相补充，才能表达出一个完整的意思，其中任何一个短语都没有相对独立的意义。

48. 对　　比

【对比】 duìbǐ （对照 对称 对映）把两种对立的事物或者同一事物的两个不同方面放在一起，相互比较。

运用对比，或使对立事物的矛盾鲜明突出，揭示本质，给人深刻启示；或使事物对立的两个方面互相映衬，相得益彰，给人深刻印象。

①但灯光究竟夺不了那边的月色；灯光是浑的，月色是清的。在浑沌的灯光里，渗入一派清辉，却真是奇迹！

（朱自清《桨声灯影里的秦淮河》）

②除夕歌，歌除夕，

　　几人嬉笑几人泣：

　富人乐洋洋，

　　吃肉穿绸不费力。

　穷人昼夜忙，

　　屋漏被破无衣食 。

（陈独秀《丁巳除夕歌》）

③居庙堂之高，则忧其民，处江湖之远，则忧其君。

（宋·范仲淹《岳阳楼记》）

例①抓住了灯光与月色的不同特点，放在一起进行对照描写，互相映衬，突出了秦淮河奇迹般的夜色。例②将旧社会除夕富人与穷人的不同景况放在一起进行对比，深刻地揭示了贫富悬殊的社会现象。例③意思是说在朝廷上做官，就要关心百姓；处在避远的江湖间，不在朝廷做官，就要关心为君治国的大事。两方面意思放在一起对比来写，表现了作者忧国忧民的思想感情。

从构成的方式看，对比有两种：一种是两物对比，一种是一物两面对比。

〖**两物对比**〗 liǎngwùduìbǐ 把两个截然相反，本质对立的事物放在一起来说。

④加上日本是小国，地小、物少、人少、兵少，中国是大国，地大、物博、人多、兵多这一个条件，于是在强弱对比之外，就还有小国退步寡助和大国进步多助的对比，这就是中国绝不会亡的根据。

（毛泽东《论持久战》）

⑤你是懂得很多而时刻以为不足，而在有些人本来只有“半桶水”，却偏要“淌得很”。你是心里想的，就是口里说的与手里做的，而有些人，他们心之某一角落，却不免藏着一些腌腌臜臜的东西。你是任何时候都是同群众在一块的，而在有些人却似乎以脱离群

众为快乐。你是处处表现自己就是服从党的与革命的纪律之模范，而在有些人却似乎认为纪律只是束缚人家的，自己并不包括在内。你是革命第一，工作第一，他人第一，而在有些人却是出风头第一，休息第一，与自己第一。你总是拣难事做，从来也不躲避责任，而在有些人则只愿意拣轻松事做，遇到担当责任的关头就躲避了。

（毛泽东《给徐特立同志的一封信》）

③俯首甘为孺子牛，说得到、做不到的人有的是，说得多、做得少的人有的是，前半生做得到、晚年做不到的人有的是。唯有我们的周总理毕生做到了。

（虞丹《周总理逝世十周年祭》）

例④将日本与中国各方面的情况作对比，说明了中国不会灭亡，必将取得抗日战争胜利的道理。例⑤从六个方面将徐特立与“有些人”做对比，突出了作者对徐特立崇高品质的高度赞扬。例⑥用三种人与周总理做对比，说明了周总理“毕生”都“俯首甘为孺子牛”的伟大。

〖**一物两面对比**〗 yīwùliǎngmiànduìbǐ 把同一个事物的两个不同方面放在一起描述。

⑦我不禁想道：多可爱的小生灵啊！对人无所求，给人的都是极好的东西。蜜蜂是在酿蜜，又是在酿造生活；不是为自己，而是为人类酿造最甜的生活。蜜蜂是渺小的，蜜蜂却又多么高尚阿！

（杨朔《荔枝蜜》）

⑧过去喜鹊不开腔，
因为拉祜族的日子太凄凉；
如今喜鹊满山叫呵，
因为拉祜族村寨生活大变样。

（《拉祜族民歌》）

⑨亲贤臣，远小人，此先汉所以兴隆也；亲小人，远贤臣，此后汉所以倾颓也。

（三国·诸葛亮《出师表》）

例⑦有两个对比，都是写蜜蜂的两个方面。第一个对比写蜜蜂不求人却给予人，第二个对比写蜜蜂形似渺小，品德却高尚。都是从两面对

比写一物，突出蜜蜂的崇高品德。例⑧从今昔两面对比写拉祜族人民的生活，从而歌颂了新社会。例⑨前后两句是前汉与后汉的对比，是“两物对比”，而两句中又分别套着一个“亲”与“远”的对比，则是一物两面对比了。此句对比中套对比，是非得失，十分显豁。

从例⑨可见，两种对比是可以结合运用的。可再看一例：

⑩很久很久，我默默地望着她那红衣的背影，衬着白色的斜塔，由大到小，渐去渐远……这时，我忽然发现，这岂不是一幅寓意深刻的风俗画吗？画面上的一人一塔，恰恰形成多么鲜明的对照。斜塔是古代建筑上的畸形，而这个老妇人的形象，却是今天西方社会上屡见不鲜的一种畸形。这两者在畸形上虽是相同的，但在人们心目中，对待这两种畸形的态度又是多么的不同啊！人们可以从世界各地兴致勃勃地来观赏斜塔，关心它，爱护它，甚至为了怕它倒塌，不惜千方百计地对它进行挽救。可是有谁能够用这种心情，同样来对待这个可怜的变态的老妇人呢？有谁能够关心她的“倒塌”，而设法予以挽救呢？

（穆青《在斜塔下》）

例⑩中，斜塔与老妇人形成了鲜明的两物对比，而人们对同是“畸形”的斜塔与老妇人的截然不同的态度，又是鲜明的一物两面对比。这些对比深刻地揭露了资本主义的“畸形”的社会面貌。

对比做为一种辞格，是在一定的语句结构内，用来表示事物之间的矛盾和对立关系的。如果涉及到文章中各部分的对比，则是文章的一种表现方法，已经超出了修辞学的范围。如鲁迅在散文诗《雪》中借描写江南和朔北的雪景，表现对生活中美好事物的憧憬，对冷酷现实的否定和反抗，对两种雪景的对比描写，是整个作品为表现中心思想的一种方法，而不是一种修辞方法，因此，不能混为一谈。

对比与对偶的联系在于：对偶中的“反对”，由于它表示的意思是相反或相对的，因此，它同时也是对比，如“生当作人杰，死亦为鬼雄”（宋·李清照《绝句》），可看作是对偶与对比的兼用。

对比与对偶的区别在于：对偶着重形式特征，成双成对，整齐美观是它的主要特点；对比着重意义上的关系，内容相反相对是它的主要特

征。因此，对偶中除“反对”可同时看作对比外，正对、串对等其他对偶就不是对比；而多数对比也并不是对偶。如“草枯鹰眼疾，雪尽马蹄轻”（唐·王维《观猎》）仅是对偶，而不是对比；“朱门酒肉臭，路有冻死骨”（唐·杜甫《自京赴奉先县咏怀五百字》）则是对比，而不是对偶。

49. 对　　顶

【对顶】 duìdǐng （反言）两个意思互相对立或者互相排斥的词或词组巧妙地联结在一起，组成句子描述一个事物或说明一个道理。

①我到现在终于没有见——大约孔乙己的确死了。

（鲁迅《孔乙己》）

②在这不是秋天的秋天里，我的精神特别昂奋。这不止是因为刚从万里之外的蒸笼中乍来到这风景幽美气候凉爽的所在，而更重要的还是因为此时此刻，我正置身于一位我久已仰慕的世界文学伟人列夫·托尔斯泰的庄园里。

（峻青《墓前的沉思》）

③女孩向前跑了几步，惊起一只蚂蚱……“飞那边去啦！”女孩叫起来，显然是希望老人能够帮助她捉到那只可爱而可恨的蚂蚱。

（吴若增《68与6》）

④最简朴者最富有。无色却如图画一般灿烂，无声却如交响乐一般和谐。他是最简朴无华的普通的公民，又是芳泽满人间的伟大的公民。

（虞丹《周总理逝世十周年祭》）

例①中“大约”表示“我”的推测，而“的确”又表明“我”认为自己的推测是肯定的、确实的。作者写的是小伙计看似矛盾的心理活动，却含蓄深刻地暗示了孔乙己之死的悲剧性和必然性。例②中“不是秋天”与下文的“江南蒸笼”呼应，指季节上是夏天而非秋季；“秋天”则与下文的“气候凉爽”呼应，说明当时托尔斯泰庄园气候如秋天。例③用“可爱”与

“可恨”这一组反义词语生动地表现了女孩喜爱蚂蚱却又着急捉不到蚂蚱的心理。例④三句话都运用了对顶格，其中第二句中是连续两个对顶。这一系列对顶形式的句子深刻地说明了周总理品格之崇高和奉献之伟大。

对顶的作用在于可以造或警句，发人深醒；能鲜明地表现人物的性格、气质、心理和情状；还可用于书名、文章题目，吸引读者，耐人寻味。

⑤只有真性情、真性灵的真诚自如的流淌，才能得到这么崇高的艺术——见不到艺术的艺术，与自然、人生浑然成为一体的艺术。

（刘白羽《谈艺日记二则》）

⑥尤其是他（胡四——编者）那一对永远做着“黯然销魂”之态的眼睛，看你又不看你，瞟人一眼又似乎怕人瞧见，那态度无论谁都要称为“妩媚的”。

（曹禺《日出》）

⑦我们出发以来要算今天住的地方最苦，同时也算最快乐！

（冰莹《从军日记三节》）

⑧秦老师是四马巷最后一个搬来的，从第一眼，他就发现这个瘦高近视的中年人与本巷的老少爷们儿有着质的不同。看人家，往那儿一站，里外透着一种出污泥而不染的居士味儿，再听谈吐，充满了修养。虽然清贫，但清贫得让人觉得富有，哪怕一颦一笑，一举手一抬足，也是风度十足的。

（马铭《陋巷》）

⑨城市里的乡村

（电影名）

⑩我喜欢这个不讨人喜欢的人

（文章标题）

例⑤用对顶形式的词语揭示了返朴归真的艺术的特点，精辟而深刻。例⑥生动绝妙地描绘了胡四以美男子自居，故作姿态，自我欣赏，却令人作呕的情状。例⑦写条件虽苦，但“我们”却感到苦中有乐，表现出一种乐观主义精神。例⑧刻画秦老师，突出了他作为知识分子，生活上

“清贫”，精神上却“富有”的特点。例⑨、⑩用对顶形式命题，含蓄深刻，发人深思。

从结构上看，对顶基本上可分为单句对顶和复句对顶两种。两个对立的词或词组合在一个单句中，叫单句对顶；组合在一个复句中，叫复句对顶。

⑪历史，多么深情又多么无情呀！

（刘白羽《第二个太阳》）

⑫姚守义暗暗觉得奇怪，他始终望着那张脸，竟没有观察到它变化的过程。它是根本不变地就变了。

（梁晓声《雪城》）

⑬你们想，这真俗得多么雅。“日出而作，日入而息”，岂不很好。管它月儿是圆的是缺的，管它有没有蟾蜍和玉兔，有没有娇滴滴梅兰芳式的嫦娥呢。

（俞平伯《眠月》）

⑭不论醒得多么早，不论周围的一切在表面上是多么平静，但孩子们细心地躺在帐篷底下，紧挨着心爱的土地，就总听得这一切又协调又混乱、又清楚又模糊、又复杂又单调的声音。

（王蒙《青春万岁》）

⑮苏秦，这个似乎忘记了很久，但又似乎一刻也未曾忘怀的名字，也在这两小时里，慢慢地从心上剥落下来。

（茹志鹃《丢了舵的小船》）

⑯几经波折，顶住了重重压力，她终于和这个“右派”画家结合了。这是痛苦的结合，也是甜密的结合，他们在特定的环境显示了超脱世俗的叛逆性格。

（丛维熙《创作与生活》）

⑰他越是这样，就越是掌握了别人的许多秘密。不抓别人的小辫子，不等于他没有力量，反而证明他的忠厚善良。因而使他在工厂成了特殊的人物，绵里藏针，软中有硬，以弱胜强。没有人比他更窝囊了，谁都可以欺侮他，可他又是强者，是个胜利者。

（蒋子龙《拜年》）

⑱陈景山现在只能在一周里看见儿子这么两天，而且儿子并不是每周都回来的。他如饥似渴地想见儿子，又胆战心惊地怕见儿子，像罪孽深重的妖物想见佛祖，又怕见佛祖似的。

（王兆军《盲流世家》）

例⑪是单句谓语内的对顶。例⑫是单句状语与动词间的对顶。例⑬是单句谓语与补语间的对顶。例⑭是单句中连续三个定语的对顶。例⑮是一个复句对顶，作句中的定语。例⑯是一个并列复句的对顶。例⑰是在一个二重复句中，转折前后两个分句的对顶。例⑱是一个复句对顶后又接一个对顶形式的比喻句。

对顶和对比不同。对比的目的是通过两种事物或一种事物的两个方面的比较，说明它们的差异，二者并不矛盾。对顶强调的是矛盾，两个词或词组意思上是互相排斥的，然而又统一在一个人或一件事上。

50. 反　饰*

【反饰】 fǎnshì　由两个意义相反或相对的词组成一个偏正词组，一般用作标题或影（剧）名。这和西方所谓矛盾语相同。

如：电影名《陌生的朋友》、《父母双全的孤女》、《城市里的村庄》，广播剧名《苦涩的甘酒》，文章的标题《醒着的梦》、《聪明的糊涂与糊涂的聪明》等。

从上述定义和示例看，反饰实际上包容于对顶格之中，故可不必单立一格。

51. 矛　盾*

【矛盾】 máodùn　在特定的语言环境中，故意用自相矛盾的话以加强表达效果。

①兵法不曰"陷之死地而后生，置之亡地而后存"？

（汉·司马迁《史记·淮阴侯列传》）

②近年时事颠倒，竟有全非以为是者，只撰数语以嘲之："京官穷的如此之阔，外官贪的如此之廉，鸦片断的如此之多，私铸禁的如此之广，武官败的如此之胜，大吏私的如此之公。"舌锋犀利，造语亦苛。

（程世爵《笑林广记》）

③我的宫女第一，标致无人能及。腮边花粉糊涂，嘴上脂胭狼藉。秋波俏似铜铃，弓眉弯得笔直，春纤十个擂槌，玉体浑身糙漆。柳腰松段一围，莲瓣滩船半只。杨娘娘爱我伶俐，选作霓裳部色。只因喉咙太响，歌时嘴边起个霹雳。身子又太狼亢，舞去冲翻了御筵桌席。皇帝见了发恼，打落子弟名籍。登时发到骊山，派到温泉殿中承值。

（清·洪升《长生殿》）

矛盾格所概括的修辞现象，与精警、对顶等格多有重合；或者说，矛盾格乃杂取了精警、对顶等格的部分内容，其独立成格的理由尚嫌不足。且"矛盾"之名与哲学概念相混，在表述中容易发生误解。故不宜单立一格，其相关内容在精警、对顶等格中论及。

52. 迭　映

【迭映】 diéyìng　在句子中前后相对应的位置上，迭用同一个词语，表示相对或相反的意义。

①孩子像兔子一样窜开，一下就不见了身影；贞观抬头又见着月亮。

千山同一月，
万户尽皆春；
千江有水千江月，
万里无云万里天。

她要快些回去，故乡的海水，故乡的夜色；她还是那个大家族里，见人之喜的阿贞观……

（台湾·萧丽红《千江有水千江月》）

例中"千江有水千江月，万里无云万里天"两句，每句前后相对应的位置上，分别有"千江"、"万里"各自对映，修饰着"水""月""云""天"，文字结构对称均衡，给人以和谐的美感；语义前后勾连复迭辉映，描绘出一个清新、寥廓、广远的境界，饶有诗意。

迭映多见于古诗、词、曲中。

②曾经沧海难为水，
除去巫山不是云。
取次花丛懒回顾，
半缘修道半缘君。

（唐·元稹《离思五首》其四）

③怪侬底事倍伤神，
半为怜春半恼春。

（清·曹雪芹《红楼梦·葬花词》）

例②两个"半缘"在句中前后相应，写尽诗人亡妻后的无限忧伤，以

至百念俱灰。例③两个“半”字分承上句“倍”字，表现了“怜”与“恼”的对立统一，写出了感情的层次及复杂性。古诗中用“半”字迭映的例子还很多，如：“锦城丝管日纷纷，半入江风半入云”（杜甫《赠花卿》）；“一道残阳铺水中，半江瑟瑟半江红”（白居易《暮江吟》）；“春风举国裁宫锦，半作障泥半作帆”（李商隐《隋宫》）等。

④山上离宫宫上楼，
楼前宫畔暮江流。
楚天长短黄昏雨，
宋玉无愁亦自愁。

（唐·李商隐《楚吟》）

诗的末句是说：若是当年的宋玉还在，面对今日楚宫的一片凄风苦雨，即使无愁，也会生出许多悲愁来。句中对用两个“愁”字，更见其愁苦之深。李商隐诗多用迭映，像脍炙人口的“昨夜星辰昨夜风，画楼西畔桂堂东”（《无题二首》之一），“春心莫共花争发，一寸相思一寸灰”（《无题四首》之一），“相见时难别亦难，东风无力百花残”（《无题》），“刻意伤春复伤别，人间唯有杜司勋”（《杜司勋》），这些佳句构成了李商隐诗歌的精华。

⑤花自飘零水自流，一种相思，两处闲愁。

（宋·李清照《一剪梅》）

花、水无意人多情，两个“自”字对应，透露出一种无可奈何的意绪，扣住后面的“闲愁”，将其渲染，充满了伤感。“花自飘零水自流”句，当是从唐人刘长卿《重送裴郎中贬吉州》中“猿啼客散暮江头，人自伤心水自流”一句中化出。

⑥怕黄昏不觉又黄昏，不销魂怎地不销魂。新啼痕压旧啼痕，断肠人忆断肠人。今春，香肌瘦几分？裙带宽三寸。

（元·王实甫《十二月过尧民歌·别情》）

主人公因孤独而害怕黄昏到来，黄昏降临倍增幽恨，更叫人失魂落魄，不禁悲啼，悲啼难已，寸断柔肠。曲的前四句“黄昏”、“销魂”、“断肠人”相迭，使感情不断发展，层层推进，语势回环勾连，绵延不尽，将一“悲”字，写到了极致。

⑦一声梧叶一声秋，一点芭蕉一点愁，三更归梦三更后。落灯花，棋未收，叹新丰孤馆人留。枕上十年事，江南二老忧，都到心头。

（元·徐再思《水仙子·夜雨》）

前三句巧用迭映："一声"对"一声"状写秋声之急，撩人乡愁；"一点"雨对"一点"愁，道出"愁思"不断，恰似雨丝绵绵；"三更"对迭"三更"言归思难收，入梦迟迟，诗人凄苦之情，可以想见。

让我们再看徐再思的一首《春情》：

九分恩爱九分忧，两处相思两处愁，十年迤逗十年受。几遍成几遍休，半点事半点惭羞。三秋恨三秋感旧，三春怨三春病酒，一世害一世风流。

全曲由八句组成，句句用数量词或名词（数字做语素合成的名词）前后对应相比。构想奇特，遣词大胆，形成峰回路转，连绵不断之势，读来令人回肠荡气，这些词分别从不同的时间、、地点、季节，从数量，从广度对照着写爱，写恨，写愁，写怨，写病，写事，把复杂缠绵的春情渲泄得淋漓尽致。

迭映与反复都有迭用同一个语词的特征，但是反复既可以是一句话中某个语词的反复，也可以是一句话、一段话的反复，而迭映只限于一句话中某个语词的迭用。其次，一句话中，同一个语词反复时，往往连续使用（连续反复），如："我想你们是和我一样的见解，都觉得这位母亲蛮可爱蛮可爱的"（方志敏《可爱的中国》）。即使是间隔反复，也不要求位置上的对应；而迭映则是同一个语词在一句话中前后相对应的位置上的对照使用，如："月儿弯弯照九州，几家欢乐几家愁？"（吴歌）。另外，反复与迭映的修辞目的不同。反复是为了起强调作用，加重语气和感情；而迭映则往往表示意义的相对或相反，讲究语言结构的对称美，语势回环往复。

53. 同　饰*

【同饰】 tóngshì　在同一句话中，用同一个词语分别修饰两个或两个以上的对象。

①薄命女偏逢薄命郎，
葫芦僧判断葫芦案。

（清·曹雪芹《红楼梦》第四回）

②“我也不打印子”，祥子出着神，“我慢慢的省，够了数，现钱买现货！”

（老舍《骆驼祥子》）

③幸福的时代爱唱幸福的歌。

（欧琳《天山的红花》）

④软软的夜风里浮着软软的话语：“请您跳舞，行吗？”

（王明义《夜归》）

⑤跟痛快人最好也讲痛快话。

（查建英《到美国去！到美国去！》）

⑥异国情调的咖啡馆里飘着异国情调的音乐。

（李晓《关于行规的闲话》）

⑦能怨谁呢？只能怨聪明绝顶的父亲没有遗传给我聪明绝顶的脑袋。我从小开始逃学，一看见课文就头疼。

（陈国凯《我当了财政部长》）

⑧他们做教师，相隔四十里。每天每天，她收到甜甜蜜蜜的句子甜甜蜜蜜的吻。她真爱他。

（肖素芳《女人》）

⑨他变卦了，他说他离不开他爸，他妈，他那个和他一样的三流剧团，和他需要的三流观众，和他觉得怪不错的三流前程……

（李国文《天问》）

⑩然而现在呢，他莫名其妙地坐了好长时间的车，要按一个莫名其妙的地址去找一个莫名其妙的人办一件莫名其妙的事。

（王蒙《冬雨·布礼》）

⑪在武夷山宾馆，我碰上了省城这个鼎鼎有名的编辑部的几个鼎鼎有名的编辑，他们约请了一批鼎鼎有名的省内外作家，在这个鼎鼎有名的武夷山开会。

（雨时 如月《潇洒的泪——
关于生之圆环的又一说》）

⑫一个非常偶然的机会，我认识了他与她——一对花甲之年的"破烂夫妻"。因之，我知道了这对"破烂夫妻"的"破烂身世"和30多个被遗弃的"破烂孩子"的秘密……

（张茂龙《黑户》）

⑬这是一个黑户。之所以称之为黑户，是因为这户人家从1963年起就不在中华人民共和国的公民之列，尽管他们一直生活在中华人民共和国的土地上。

（同上）

同饰是近年来修辞学者提出的一个新格。从例句中可以看出，它所揭示的修辞现象是客观存在的。其特点主要表现在它们以特殊的形式来揭示某种特殊的因果关系，使得毫不相关的事物之间产生了内在的联系；其同一个词语的复现，不仅起到强调和突出重点的作用，而且丰富了表意的内容；在结构上互相映衬，在音调上回环往复，更增添了语言的形式美和音乐感。

不过，同饰与迭映多有重合。如例①至例⑧完全符合迭映的定义。只是迭映不仅是指修饰语的对应，而同饰仅指修饰语而言；迭映虽多见于古诗词曲中，但现代诗文中出现的同类现象也不能排斥在外。从这两个意义上看，例①至⑧当包容于迭映格中。另外，如例②也可视为同异格。但是其他例句，如例⑨至例⑫，显然已超出了迭映的范围而具有了自身特有的修辞形式和修辞意义。因此，同饰格是有研究价值的，只是由于不少示例与迭映等辞格重合，故可暂不单立为一格。

54. 同　语

【同语】 tóngyǔ　在两个相同的词语中间加上“是”或类似的词，组成“A_1 是 A_2”的判断形式，以表示强调、让步或说明。

①那个吊绷带的伤员，瘦是瘦，精神可好。

（杨朔《三千里江山》）

②可是，巴黎是巴黎，故乡是故乡。在我，圆月，仍是故乡的明。

（香港·西西《法国梧桐》）

③……而小吃小喝，烧鸡烧鸭，削面甑糕，旋饸饹，形是形，色是色，味是味。

（贾平凹《商州》）

以上三例是同语中最为规范的一种形式，即“A_1 是 A_2”。例①为单式，后一个“瘦”是对前一个“瘦”的肯定和让步，意思是“的确瘦了一点”，再从另一方面说他“精神”好。例②为双式，相连两句分别从两个方面加以强调，界限分明，形成对照，不可替代，然后作出明确的选择，否定一面，肯定一面，给人以深刻印象。例③仍为单式，相连三句分别从三个方面加以说明，形、色、味俱佳，三位一体，缺一不可。

同语除了“A_1 是 A_2”这种基本形式之外，常见的是在“是”之前加上适当的副词或其它词语以加重语气，丰富语意。

④司马迁到底是司马迁。比起他身后两千年的许多文学家来，他比较思想解放，实事求是。

（拾风《从“恭喜发财”想到范蠡》）

⑤疯子原来还是疯子！嘻嘻。呵呵。哈哈。大家在一阵哄笑大笑微笑冷笑苦笑之后便很快将他忘却。

（凌纾《眼打》）

⑥先生已经不写小说近三十年。他被提名为诺贝尔文学奖的候选人。先生的著作和声誉，他的精神和思想，使他的人生如此辉

煌。但是，先生还是先生，他的书还是他的书。朴素而平易。

（蔡测海《太阳底下静悄悄》）

⑦低档的圈子里又有着太暴露的无耻、荒唐、堕落、疯狂。在这种圈子里他只要慷慨，倒是能颇受尊重。但他自己又无论如何也不习惯不适应这种圈子的乌烟瘴气。在这种圈子里，贪婪就是贪婪，丑恶就是丑恶，凶狠就是凶狠，不要脸就是不要脸。

（梁晓声《雪城》）

例④"司马迁 A_2"是对"司马迁 A_1"的强调，"是"之前加"到底"以加重语气，说明司马迁的确不愧为伟大的文学家，名不虚传！其他各例"是"之前所加的词与此同理。例⑤说明"疯子"尽管变化无常，真假难辨，但其本性是不变的（这是从反面来写的）。例⑥说明老舍先生和他的作品经得起时间的检验，历久而不磨，平凡而伟大。例⑦说明种种丑行，黑白分明，界限清楚，没有任何调和的余地，这是他伪装不了的。

同语中也有不用"是"而用相当于"是"的词或其他的词来连接 A_1 与 A_2 的。

⑧现今，那么大的姑娘，挎着老爷儿们胳膊，大街上逛，现眼不现眼！

（陈建功《辘轳把胡同 9 号》）

⑨"撒盐空中"或是"柳絮因风"么？那些比喻，名则名矣，却未免旧了些，"雪满天山路"或是"大雪满弓刀"么？那些描摹，壮则壮矣，又同眼前所见的不怎么对景儿……

（韩少华《雨的精魂》）

⑩酸麻子仰天长叹："唉！生就是死，死就是生！生生死死，世界才成为世界；死死生生，历史才成为历史……

（范军昌《热障》）

⑪老实归老实，精明归精明，好像书生气十足的陈景润进入数论领域就如鱼得水似的。

（理由《手眼神通》）

⑫我成了什么样的人了？爸爸不像爸爸，丈夫不像丈夫。

（祖慰《冬夏春的复调——爱的横断面之一》）

例⑧用否定副词“不”连接。例⑨用连词“则”连接。例⑩用动词性词组“才成为”连接。例⑪用动词“归”连接。例⑫用动词性词组“不像”连接。所有这些，全部暗含“A_1 是 A_2”(或“A_1 不是 A_2”)这一判断形式。例中 A_1 和 A_2 虽然词语相同，但各自表达的意思并不一样，比较起来，A_2 的意思更为复杂些。如例⑧“现眼 A_2”是对“现眼 A_1”的补充和肯定，用“不”表反诘，意思既含蓄又贴切。例⑨“名 A_2”和“壮 A_2”是对“名 A_1”和“壮 A_1”的让步性说明，即先退一步，承认“名”、“壮”，然后从另一方面加以否定，说明这些比喻不是“旧了些”就是“不怎么对景儿”。例⑩“世界 A_2”和“历史 A_2”是对“世界 A_1”和“历史 A_1”的强调和补充，前者是指概念的内涵，后者是指概念的形式，也就是说，只有“生生死死”，世界才成为真正意义的世界，而历史才成为真正意义的历史。例⑪“老实 A_2”和“精明 A_2”从两个方面分别对“老实 A_1”和“精明 A_1”作了强调，两相对照，足见陈景润性格的两个特点。例⑫“爸爸 A_2”和“丈夫 A_2”是就一般意义而言，“爸爸 A_1”和“丈夫 A_1”是指“我”的现实表现，说明“我”所处的地位有点名实不符。

同语是近年来才提出的一种修辞新格。它所揭示的修辞现象是客观存在的。但由于研究还不够深入，因此还未能全面而系统地把握其修辞特征，其界定不够严密，在分类上各家之说也不一致。比如有人将同语分为：同语接续、同语旋受、同语同位、同语自饰。也有人将同语分为：强调性同语、让步性同语、说明性同语。还有人以语法关系为标准将同语分为：主谓关系同语、定中关系同语、述补关系同语、状中关系同语、并列关系同语、紧缩关系同语；以简约繁复为标准将同语分为简约式同语、繁复式同语；以蕴藉显现为标准将同语分为：显现性同语、蕴藉性同语；以完整省略为标准将同语分为：完整式同语、省略式同语。总之，问题还有待于作进一步的研究。

55. 排　比

【排比】 páibǐ (排语 排迭 排句)用三个或三个以上结构相同或

相似、语气一致的词组或句子，来表达相关的内容。

构成排比的各项，可以有共同的提挈语，也可以没有。

排比的句式匀称，音韵铿锵，一气贯下，其作用在于使语意畅达，层次清楚，节奏和谐，感情奔放，从而加强语势，提高表达效果。

①此刻，赵庆龙完全忘记了全身的伤痛和饥饿、疲劳。他抄起罗盘，铺开纸，测流速，绘河貌，取水样……

（何建明《腾飞吧，苍龙》）

②有人纳闷：何苦这般热心，这样着急？业已卧床不起，还想揠苗助长，未免犯傻。这些教授真是"好为人师"！让他教，他教；不许他教，他想方设法、拐弯抹角地教；称他专家、教授，他教；贼他反动权威，他照旧教；给高工资教；发生活费还是教。

（马瑞芳《唯愿身化光明烛》）

③这时，人岛上又窜起一股又一股烟柱，冲起一声又一声巨响，掀起一堆又一堆岩石；浓烟在空中聚拢，巨响在空中汇合，岩石在空中撞击。目下的峡谷啊。硝烟弥漫，炮声隆隆，碎石横飞。纷飞的碎石就像一把把铁锤从高空里猛砸下来，砸在浪头上，浪头砸碎了；砸在急流上，急流砸断了；砸在漩涡里，漩涡砸破了。那气势，那力量，好像要把三门天险，要把万里黄河一齐翻腾起来。

（吴烟痕《黄河上的巨人》）

例①是五个动宾词组顺序一气写下，组成排比，生动有力地突出了赵庆龙不顾伤痛、饥饿、疲劳，坚持工作的形象。例②是以"教"字为提挈语的六个句子的排比，其中从内容上又两两对比，写出这些老知识分子无论是顺利时，还是遭磨难，都不忘教学工作的精神。看是叙述，赞扬、敬佩之情却溢于一气贯下的排比句式之中。例③连续四次运用排比。前三个排比都依次分别描写了"浓烟"、"巨响"和"岩石"，第四个排比进一步集中描写"碎石横飞"的气势和力量。其中第一、二、四个排比有提挈语。整段文字，气势磅礴，波澜壮阔，有力地展现了三门峡上那种排山倒海的爆破壮观，读来动人心魄。

排比的构成方式比较灵活，结构多种多样。有人将其主要分为句子的排比和句子成分的排比两种。这样分类未必清晰方便。因为句子和句

子成分并不是两个并列的概念。词组固然可以作句子成分，而句子，包括单句、复句以至多重复句也可以作句子成分，这样他们就容易与句子的排比相混淆。因此，根据定义，可将排比主要分为词组的排比和句子的排比两种。另外，还有包孕式排比和扩展为段落的排比等。

词组的排比可以作句子的各种成分，构成主语排比、谓语排比、宾语排比、定语排比、状语排比和补语排比等。

④虽然屋里的光线不能使他看清楚照片上的面容，但是瑞珏的面貌早已深深地印在他的心上，丰满的面庞，亲切的微笑，灵活的大眼睛，颊上的两个浅浅的酒窝，似乎都在照片上现出来了。

（巴金《家》）

⑤白莺每每说起上海，说起上海的父母姐妹，总是不胜伤感，不胜眼红，不胜慨叹。

（哲夫《长牙齿的土地》）

⑥后来，到了上海，我多游了几次黄浦江，知道了它的一些历史之后，那没有生命的冷硬的水泥砖、钢铁板、锚链，便具有了最活跃的生命，最炽热的情思，最美丽的形影。

（雁翼《黄浦江遐思》）

⑦乌大奶奶自幼练就的是串门子、扯闲篇、嚼槟榔、斗唆胡的本领。

（邓友梅《烟壶》）

⑧告别仪式的规模，治丧委员会的规格……这些都是给活人看的，他并不需要这样的“哀荣”，他只需要继续活下去，安安静静地、专心致志地、身体健康精力充沛地、无后顾之忧地从事他视如生命的数学研究，却永远也不可能了。

（霍达《国殇》）

⑨她（指莴萝——编者）不只有红的白的两种颜色，简直是五彩缤纷，有浅黄的，也有淡蓝的，各种不同色素，渗汇其间，使这类小花小得更精致，更娇憨，更惹人爱怜了。

（吴其敏《几度游踪》）

例④是主语的排比，例⑤是谓语的排比（也可看作是并列复句中分

句的排比),例⑥是宾语的排比,例⑦是定语的排比,例⑧是状语的排比,例⑨是补语的排比。它们都是各种词组的排比作句子的各种成分。

句子的排比也可以作句子的成分,还可以构成单句的排比、复句的排比、复句中的分句的排比、多重复句中分句整体并列的排比和局部并列的排比等形式。

⑩想象的羽翼可以把我们带到古代去,在一家家的门口清清楚楚看到他们在劳动,在饮食,在希望,在叹息,可惜隔着一道历史的门坎,我们却不能和他们作半句的交谈!

(秦牧《社稷坛抒情》)

⑪生产多么需要科学!革命多么需要科学!人民多么需要科学!

(秦牧《向科学技术现代化进军的战鼓》)

⑫别怕我责备!也别怕引起我心烦,爸爸不为儿子烦心,为谁烦心?爸爸不帮助孩子,谁帮助孩子?儿子苦闷不向爸爸求救,向谁求救?

(《傅雷家书》)

⑬于是眺黄山云海,步庐山夜月;沐南湖烟雨,踏西湖残雪;访井冈翠竹,赏栖霞红叶;探金陵名园,寻广陵旧迹;听苏州评弹,求徽州古籍;品阳羡新茶,剥洞庭早桔;尝吴兴鱼鲜,醉绍兴香雪……

(袁鹰《江南爱煞人》)

⑭他暗暗地使天地变异,却不敢毁灭这一个地球;暗暗地使生物衰亡,却不敢长存一切尸体;暗暗地使人类流血,却不敢使血色永远鲜秾;暗暗地使人类受苦,却不敢叫人类永远记得。

(鲁迅《淡淡的血痕中》)

⑮……而这个新时期所期待于我们的,似乎已无需一一加以列举,只要看看那些为了扶持一幢幢高层建筑而搭起来的脚手架,只要听听那些为了截流垒坝投下一块块填充体所激起来的涛声,只要想一想二〇〇〇年第一个黎明在东方地平线上托起的一轮朝日,那么,一切期待,一切嘱托,一切鞭策,就都会尽在不言之中,化为力量,化为理想,化为前进的足音!

（韩少华《在新的日历面前——寄立志自学的青年朋友》）

例⑩是四个并列的小句子构成排比，作“看到”的宾语，后三个小句的主语“他们”承前省略。例⑪连用三个结构相同的单句，排列成行，从各方面强调科学的重要性。例⑫是三个结构相似的反问假设复句排列在一起，表达了父亲对儿子的深切关怀。例⑬是七个对偶形式的分句并列起来，构成一个排比式的复句，写尽徜徉于江南青山碧水间的无限情趣。例⑭是一个二重复句中四个转折复句作分句，构成整体并列排比，深刻揭示了军阀统治下的社会的黑暗本质。例⑮是在一个条件复句中，由三个并列的句子作表条件的偏句，构成二重复句中局部并列的排比。

另外，还有包孕式排比和段落的排比。

⑯好个“友邦人士”！日本帝国主义的兵强占了辽吉，炮轰机关，他们不惊诧；阻断铁路，追炸客车，捕禁官吏，枪毙人民，他们不惊诧。中国国民党统治下的连年内战，空前水灾，卖儿救穷，砍头示众，秘密杀戮，电刑逼供，他们也不惊诧。在学生的请愿中有一点纷扰，他们就惊诧了！

（鲁迅《“友邦惊诧”论》）

⑰在黑暗中寻觅到的光明，是永远不会黯淡的。
在狭窄中追求到的辽阔，是永远不会缩小的。
在贫瘠中创造出的丰饶，是永远不会枯竭的。

（赵丽宏《小黑屋琐记》）

例⑯是包孕式排比，先是由第一句中以“他们不惊诧”为提挈语的三个分句及第二句一起组成的大排比，而在第一句的第二个分句中有四个四字词组，第三个句中有六个四字词组分别又构成两个小排比。例⑰是三个段落形成排比，是排比辞格的扩展。

排比与对偶不同：排比须由三项或三项以上构成，而对偶仅限上下两句（鼎对例外）；排比不限字数，对偶要求字数相等或相近；排比的各项多有共同的词语作为提挈语，而对偶的上下句往往忌用相同的词语；排比只表达相关或相近的意思，而对偶不仅可表达相近相连的意思，还可表达相反相对的意思。

56. 联　用

【联用】 liányòng　把三个或三个以上意思相关、结构相同或相近、字数相似、语气一致的词语成串排用。

①曲径，花圃，回廊，水榭，构成了一组组风景画。

（姜滇《黄桷兰》）

②石塘内，是大野、清流、稻海、新城，渚水萦回，沙洲历落。

（吕锦华《刻在海宁石塘的情思》）

③这儿是黄土高原的一角，贫瘠，荒凉，到处是盐碱地，旱窝子，沙蓬滩，苇草塘。

（哲夫《长牙齿的土地》）

④故乡，故乡的一切都在变化。撕裂着我童年的梦。瞬息万变着的，正是永恒。这一切都不属于我。我属于另一个世界。

那个世界，单调，无聊，枯燥，乏味。

（张石山《长长的坡》）

⑤这种偏僻小岛的岩岸，和那些辽阔的、游泳者云集的细沙滩的景象完全不可同日而语。它寂寞、荒凉、原始、粗犷。

（秦牧《潮汐和船》）

⑥他带着遗憾去了，而她分明看到那支优美的《凯旋曲》，正从遥远的南疆上空萦绕，飞舞、盘旋、升腾，飘呀——飘呀——向她飘来，永远萦绕在她的耳际……

（沁人《永远的琴声》）

⑦冯师傅也不辞艰险地随着科学工作者攀岩、下谷、上树、涉水……

（黄宗英《小木屋》）

⑧养猪、喂马、打井、积肥、脱坯、盖房、挑河泥，种种繁重的劳动，非人的待遇，白淑湘都默默地承受下来。

（谢大光《天鹅之歌》）

⑨“八八”席面，前茶后汤，汾酒照座，董酒看席！

“上菜上酒啦！”

高亢、嘹亮、顺畅、舒坦。

夹菜、斟酒、碰杯、猜拳。

欢声、笑语、赤鼻、红脸。

出现了小小的骚动！孕育着某种不安！交头接耳，左顾右盼，老者摆首，少者揖求……

（张石山《三件消遣品·酒》）

⑩这样，一九八四年初东泉市的宋朝义分到两套房子，不是一件小事。这是一九七八年冬以来他的各种顺心的事的一个集结，一个小小的高潮。一月十四日，经过了许多扯皮、摩擦、推脱、虚惊、奔走、摊牌、等待、失望；再希望……以后，他拿到了两个单元的各三把共六把钥匙。

（王蒙《高原的风》）

⑪这种草莓酱甜香飘逸，色泽鲜艳，赏心悦目，引人食欲，上口甜美，回味无穷。

（陈继光《向着生活微笑》）

以上例①、②、③为双（多）音节名词的联用。例④、⑤为双音节形容词的联用。例⑥为双音节动词的联用。例⑦、⑧为动宾词组的联用。例⑨为形容词一组，动宾词组一组、定名式名词一组的联用。例⑩基本上为动词的联用。例⑪为四字词组的联用。其中以例⑨最为精彩，三组联用刻意安排，布置巧妙，一目了然，将盛宴之上各色人等的心态、觥筹交错的场面、笑逐颜开的气氛描摹得淋漓尽致，笔墨之经济，表意之丰富，令人激赏不已！

由此可见，联用的特点是辞藻丰美、排列整齐，结构匀称，气势连贯，节奏平稳。因此，以联用来描绘事物则丰满完美，以联用来陈述事理则复杂充实，以联用来抒发感情则丰沛细致，读来给人以酣畅淋漓而又急徐有节的快感。

最后必须指出：运用联用，要从表达的需要出发，选词力求精当，节

奏力求和谐，多少力求适度，慎勿堆砌辞藻，繁冗拖沓，板滞不畅。

从联用的定义与示例看，联用与排比有交叉。词的联用不会与排比混淆，但词组的联用实际上与不带提挈语的词组的排比没有什么区别，如例⑦、⑧、⑪和例⑨的第二组。因此，如何将联用与排比界定清楚，有待进一步研究。

57. 繁　复*

【繁复】 fánfù　把可以限制、修饰或说明某一对象的话都合在一个修饰语里面，以构成较长的修饰语。

繁复能否作为一个辞格是值得商榷的。某些修辞专著中虽然列有此格，但由于界定不严，未加辨析，示例又多与排比、联用格混淆，甚至与定义自相矛盾，因此不仅模糊了其作为一个独立辞格所独具的修辞特征，而且混淆了与别一辞格的界限。因此本辞典未将其列为正式辞格。这里仅举数例权作参考和讨论：

①朋友，我相信，到那时，到处都是活泼的创造，到处都是日新月异的进步，欢歌将代替了悲叹，笑脸将代替了哭脸，富裕将代替了愚昧，友爱将代替了仇杀，生之快乐将代替了死之悲哀，明媚的花园将代替了凄凉的荒地！

（方志敏《可爱的中国》）

②他甜蜜地，妩媚地，文明地，礼貌地，麻利地，乖巧地，快活地，亲切地转动暗锁，拉开了门。

（王蒙《悠悠寸草心》）

③站在崖画面前，似见阳光辉耀下那辽阔的山野，似闻万千人如雷的呐喊咏歌，仿佛你参与了那地动山摇的舞蹈，仿佛你置身于那征战的、狩猎的、祭祀的，庆丰收的悲壮、雄壮、庄严、欢乐、热烈的情景，铜鼓的钝响那么肃穆，骏马的嘶鸣那么昂扬，群犬的吠叫那么急厉……

（滕云《从花山到边关》）

④直行、拐弯、调头、超越、抢道；蛮横的、莽撞的、粗心的、胆小的、性急的；从四面涌到这一点上，又从这一点散向四方；道德、文明、脾性、技术，都要在这一点上赤裸裸地显露表演；调节、疏通、指挥，让这一切都在交叉点上和谐起来，靠一盏灯行吗？

（陈旭明《马路指挥家》）

⑤美国白皮书和艾奇逊信件的发表是值得庆祝的，因为它给了中国怀有旧民主主义思想亦即民主个人主义思想，而对人民民主主义，或民主集体主义，或民主集中主义，或集体英雄主义，或国际主义的爱国主义，不赞成，或不甚赞成，不满，或有些不满，甚至抱有反感，但是还有爱国心，并非国民党反动派的人们，浇了一瓢冷水，丢了他们的脸。

（毛泽东《丢掉幻想，准备斗争》）

⑥眼前坐的，是个胸有成竹、算盘打得比你还精，看见过乌云，经历过狂风暴雨，对彩虹与晚霞都视而不见、见而无感的文革特产的女性。

（美国·於梨华《江巧玲》）

⑦紧跟着冰棍和汽水又出现了一个又一个卖香烟火柴，卖茶鸡蛋和咸鸭蛋、卖大饼和麻花、卖印章石和土法染的花布（不知为什么，这种布突然变得时髦起来）的还没有完全摆脱羞涩的农村姑娘。

（王蒙《妙仙庵剪影》）

比较以上各例，不难看出，繁复不过是杂有排比、联用等格的一个辞格，有的示例甚至与定义自相矛盾。其中，例①实为排比，例②实为联用兼同字，例③实为联用和排比连用，例④实为联用和同字混用。除此之外，如果繁复可以独立成格的话，只有例⑤、例⑥、例⑦或可称为繁复。其特点是将结构不规则的词语串连使用，组成一个复杂的成分，用作修饰语。至于这一点能否作为一个辞格特征，则是大可质疑的。

58. 层　　递

【层递】 céngdì （层进 递进 渐层）用三个或三个以上的词语或句子按事物的深浅、高低、大小、轻重等顺序连续排列，表达层层递进的意思。

运用层递，可以使思想逐步加深，感情逐步强化，从而增强语言的说服力和感染力。

①你是我二十年前的先生，你现在仍是我的先生，你将来必定还是我的先生。

（毛泽东《给徐特立同志的一封信》）

②老师又说，自然科学的皇后是数学。数学的皇冠是数论。哥德巴赫猜想，则是皇冠上的明珠。

（徐迟《哥德巴赫猜想》）

③几十年，上百年或是上千年以来，河道总是静静地流着，流着，一直流到如今。

（姜滇《水巷》）

例①将“二十年前”、“现在”与“将来”，按时间顺序排列，说明徐特立同志永远是自己的“先生”，尊敬之情层层加深。例②是从范围上层层缩小，说明了哥德巴赫猜想在自然科学领域中的不同寻常的地位。以上两例都是句子的层递。例③用“几十年”、“上百年”、“上千年”三个词语写时间的越来越长久，表现河水流逝的长期、无休止。是词组的层递。

层递大致可按照各项排列的方式分为递升（顺层递）和递降（倒层递）两种。

〔**递升**〕 dìshēng （顺层递 阶升）将三个或三个以上的词语或句子，按照内容由浅到深、由低到高、由小到大、由轻到重地排列。

④文学与其他艺术，虽然形式不同，但却有许多相通之处；它们之间往往是互相渗透，互相滋养，互相启发，互相促进的。

（潘旭澜《〈艺术断想〉自序》）

⑤也许，这一双眼睛里，正凝聚着建议文明生活，建议文明都市，乃至建议文明国度的无可估量的创造力。

（韩少华《渴望着的眼睛》）

⑥式含全家眼睁睁地看着他的最亲爱的姐姐生病，病重，病危，死去，硬是没有钱送她进医院。

（王蒙《相见时难》）

⑦就这样在京城里忙了足足一个月，到吴三桂已经降清，并诱引清兵入关之后，四月十九日才由自成亲自出征，仓惶而去，仓惶而败，仓惶而返。

（郭沫若《甲申三百年祭》）

⑧子曰："吾十有五而志于学，三十而立，四十而不惑，五十而知天命，六十而耳顺，七十而从心所欲不逾矩。"

（《论语·为政》）

例④写文学与艺术之间的关系，程度由浅到深，逐层递升。例⑤是范围由小到大的递升。例⑥写"姐姐"由病而死，程度由轻到重。例⑦是按时间的顺序层层递进的。例⑧则是按年令的由小到大逐层来写的。

〖**递降**〗 dìjiàng （倒层递 趋下）将递升的排列次序颠倒过来。

⑨再一个部分是我切肤地意识到我是一个黄种人，一个东方人，一个中国人，因此我是一个种族，一种文化，一种固有传统的产物……

（刘心武《十年琐忆》）

⑩故用兵之法，十则围之，五则攻之，倍则分之，敌则能战之，少则能逃之，不若则能避之。

（《孙子·谋攻》）

⑪八十年·四十年·十年 发轫·发展·发达

（《中国青年报》1989年9月10日文章标题）

例⑨是将范围步步缩小。例⑩是将敌对的兵力步步减少。例⑪是文章标题，前半部分是时间的逐步缩短，后半部分是写中国音像事业随时间的变化由无到有，越发展越快。前者是递降，后者是递升，两相对照，

鲜明醒目。

层递与排比不同:层递着重看语句间的意义关系,层递的各项在意义上是层层递进的,不可随意调换次序,而结构可以相同相似,也可以不相同不相似。排比主要看语句间的形式关系,排比的各项,强调结构上的相同或相似,而在意义上是并列的,不分层,往往可以调换次序。因此,语意上递进而结构上不相同也不相似的,是层递;结构上相同或相似而语意上没有递进关系的是排比;语意上递进而结构上又相同或相似的就是层递与排比的兼用了,这种排比形式的层递是常见的。

59. 反　复

【反复】 fǎnfù (重章 重言 复辞 复沓 重复)重复使用同一词语、句子或句群。

运用反复可以加强语势,抒发强烈的感情,表达深刻的思想,分清文章脉络、层次,增强语言节奏感。

①街道是崎岖不平,听说特种任务的机关林立,仿佛在空气里面四处都闪耀着狼犬那样的眼睛,眼睛,眼睛。

(郭沫若《梅园新村之行》)

②早晨被一个小蝇子在脸上爬来爬去爬醒,赶开,又来;赶开,又来;而且一定要在脸上一定的地方爬。

(鲁迅《马上支日记》)

③(袭人)一面说,一面将自己的坐褥拿出来,铺在一个杌子上,扶着宝玉坐下,又用自己的脚炉垫了脚,向荷花包内取出两个梅花香饼儿来,又将自己的手炉掀开焚上,仍盖好,放在宝玉怀里,然后将自己的茶杯斟了茶,送与宝玉。

(清·曹雪芹《红楼梦》第19回)

④老舍每天要写一、二千字到二、三千字,在家的时间,他都给了这一至三千字。他静静地吸烟,然后写;静静地喝茶,又写;静静

地摸骨牌，再写；静静地擦桌子，还写；静静地撒水浇花，继续写；静静地看画，写，写，写……思想直接变成了文字。

（胡挈青 舒乙《老舍和朋友们》）

⑤总理呵，我们的好总理！
你就在这里呵，就在这里！
——在这里，在这里，
在这里……
你永远和我们在一起，
——在一起，在一起，
在一起……

（柯岩《周总理，你在哪里？》）

例①反复三次"眼睛"，突出地表现了国民党特务敌视共产党，无处不在进行监视的丑恶行径。例②反复写苍蝇"赶开，又来"，生动准确地描写出苍蝇可恶讨厌，缠住不放的特点。突出了"我"对苍蝇极端憎恶，又无法摆脱的感情。例③有意四次重复"自己的"，深刻而含蓄地刻画出袭人一心想讨好主子的特点。例④多次反复用"静静地……写"的句式，不仅层次清楚地说明了老舍在家中每天的生活，而且突出地强调了他专心思考，勤奋写作的精神。例⑤先是三次反复"在这里"，然后三次反复"在一起"，两层意思分别连续反复，不但增强了诗歌的节奏感，而且在反复吟咏中抒发了亿万中国人对周总理的无限缅怀之情。

反复主要分为连续反复和间隔反复两种。

〖**连续反复**〗 liánxùfǎnfù 把相同的语句连续不断地使用，中间不插进别的语句。

⑥到家之夜，一见门上的白纸条儿，心里已经是跳得忙乱，从苍茫的暮色里赶到哥哥家中，见到衰病的她，因为在大家之前，勉强将感情压住，草草吃了夜饭，上床就寝，把灯一灭，两人只有紧抱的痛哭，痛哭，痛哭，只是痛哭，气也换不过来，更那里有说一句话的余裕？

（郁达夫《一个人在途上》）

⑦我听不清里面说的什么，笑的什么，脑子里轰轰然响着一个

名字：吉慧虹！吉慧虹！吉慧虹！

我做梦也料不到，吉慧虹竟然出现在这里！

（丁小莉《悠悠的十九岁》）

⑧在李公朴同志被害之后，警报迭起，形势紧张，明知凶多吉少，而闻先生大无畏地在群众大会上，大骂特务，慷慨淋漓，并指着这群败类说：你们站出来！你们站出来！

（臧克家《闻一多先生的说和做》）

例⑥连续三个"痛哭"的反复，表现了作者及其妻对爱子夭折的压抑不住的悲痛之情。例⑦"吉慧虹"的多次反复，表现了"我"的意外与惊讶之情。例⑧是句子的连续反复，表现了闻一多先生的愤慨义勇之情。

古代诗文中，也常见这种反复的修辞手法。

⑨晨上散关山，此道当何难！晨上散关山，此道当何难！牛顿不起，车堕谷间。

（三国·曹操《秋胡行》）

⑩伯牛有疾，子问之，自牖执其手，曰："亡之，命矣夫！斯人也有斯疾也！斯人也有斯疾也！"

（《论语·雍也》）

例⑨连续两次句子的反复，吟咏山路难行。例⑩也是句子的连续反复，表达对伯牛不幸而患不治之症的痛惜之情。

〖**间隔反复**〗 jiàngéfǎnfù （隔离反复）把相同的语句间隔开来重复使用，中间插进了别的语句。

⑪要是赶上狂风暴雨或天气突变哪，就得全家动员，抢救花草，十分紧张。几百盆花，都要很快地抢到屋里去，使人腰酸腿疼，热汗直流。第二天，天气好转，又得把花儿都搬出去，就又一次腰酸腿疼，热汗直流。可是，这多么有意思呀！

（老舍《养花》）

⑫阿呀呀，你放了道台了，还说不阔？你现在有三房姨太太；出门便是八抬的大轿，还说不阔？吓，什么都瞒不过我。

（鲁迅《故乡》）

⑬在晚餐桌上你的儿子和媳妇和孙子也都跟着你笑。眼打！嘻

嘻。呵呵。嘿嘿。哈哈。其实他们平时也老跟着你笑。每逢听见这种可疑的笑你便不由自主地把那笔卖的钱藏好。但你认为他们今天的笑货真价实。你由衷地高兴。由于高兴，你比平时多喝了一盅。眼打！嘻嘻。呵呵。嘿嘿。哈哈

（凌纾《眼打》）

例⑪“腰酸腿疼，热汗直流”这个短语出现于将花搬进屋时，又反复于后来将花搬出时，这样间隔反复，活现出一位爱花老人养花之辛劳，为下面一转说“这多么有意思呀”作铺垫，表现出作者不但爱花而且勤劳的品格。例⑫是作品中人物杨二嫂的话。间隔反复，两次反问，更能讽刺杨二嫂想占便宜，多找人家要点东西的急切情绪。例⑬写“你”听到关于“眼打”（用眼神打人以至使人送命的功夫）的谣传觉得很好笑，反复写笑声“嘻嘻。呵呵。嘿嘿。哈哈”，增强了作品的讽刺性。

有些作者有意利用间隔反复的手法，将相同的句群形成大幅度的多次复沓，结构成篇，别有一番内蕴和意趣。

⑭车站旁有一棵婆娑的老树。

老树下两个孩子做着游戏——

“我们都是木头人，不会说话不会动。一不许笑，二不许动，三不许交头接耳听。看谁的意志最坚定。”

我欣然——这是一个古老的游戏了。

“我们都是木头人，不会说话不会动。一不许笑，二不许动，三不许交头接耳听。看谁的意志最坚定。”

我哑然——这是一个古老的游戏了！

车不来。孩子依旧做着。

“我们都是木头人，不会说话不会动。一不许笑，二不许动，三不许交头接耳听。看谁的意志最坚定。”

我陶然——这是一个古老的游戏了！！

“我们都是木头人，不会说话不会动。一不许笑，二不许动，三不许交头接耳听。看谁的意志最坚定。”

我惘然——这是一个古老的游戏了！！！

车不来。孩子依旧做着——

“我们都是木头人，不会说话不会动。一不许笑，二不许动，三不许交头接耳听。看谁的意志最坚定。”

我慨然——这是一个古老的游戏了！！！！

“我们都是木头人，不会说话不会动。一不许笑，二不许动，三不许交头接耳听。看谁的意志最坚定。”

我愕然——这是一个古老的游戏了！！！！！

车依旧不来。孩子也依旧做着……

老树下——我已怆然！！！！！！

（路东之《！！！！！！》）

⑮上了几年大学回来，第一次去一位朋友家。刚坐下，朋友便从屋里叫出一个打扮得花枝招展的小女孩来。

“来，叫叔叔。”朋友指指我。

“叔叔！”小女孩奶声奶气地叫了一声，她的眼睛挺亮，模样挺神气。

“真乖！”我摸摸她的小脸蛋。

“告诉叔叔，你叫什么名字？”朋友笑眯眯地望着女儿。

“吴倩倩。”

“今年多大了？”

“两岁。”

“属什么的？”

“老鼠。”

“你爸爸叫什么名字？”

“吴志刚。”

“你妈妈呢？”

“姜萍萍。”

“你能背一首古诗给叔叔听吗？”

“能。”吴倩倩歪着头，背道：“鹅，鹅，鹅，曲项向天歌，白毛浮绿水，红掌拨清波。”

“跳迪斯科给叔叔看看，好不好？”

“好。”

于是，朋友哼着迪斯科音乐，吴倩倩便跳了起来，居然很像回事。我第一次发现，小孩子跳迪斯科，比大人跳更好看。

我由衷地夸奖："倩倩真聪明！"

朋友十分得意，倩倩也显得有几分骄傲和自豪。

几个月后，一次我到商场买东西，那天是星期日，朋友也带着他的女儿出来玩，正巧遇着了，朋友连忙叫住女儿："快，喊叔叔。"

"叔叔。"孩子大概是玩累了，显得不太精神。

"告诉叔叔，你叫什么名字？"

"吴倩倩。"答得很快。

"今年多大了？"

"两岁。"

"属什么的？"

"老鼠。"

"你爸爸叫什么名字？"

"吴志刚。"

"你妈妈呢？"

"姜萍萍。"

"背首古诗给叔叔听听。"

"鹅，鹅，鹅，曲项向天歌，白毛浮绿水，红掌拨清波。"

"来，再跳两下迪斯科给叔叔看看。"

倩倩又把腰胯扭了扭。

"倩倩真聪明！"我嘴上这么说，但心里却感到言不由衷。

又过了几个月，是春节。春节后，我去朋友家拜年。一见面，朋友又把女儿拉过来。

"叫叔叔。"

"叔叔。"倩倩的声音很低，一副不情愿的样。我发现，她的眸子不知什么时候突然变得黯淡下来。

"告诉叔叔，你叫什么名字？"

"吴倩倩。"

"今年多大了？"

……

对话又像往常一样进行下去。倩倩答得呆板而又机械。当她又开始跳迪斯科的时候，我的心突然一阵颤栗。

我还想夸她几句，可是，一看她那变得黯淡的眼睛，却再也没有勇气说出口。

（戴珩《眼睛的黯淡》）

例⑭和例⑮都是由反复结构成篇。例⑭中六次反复，而“我”由“欣然”而“哑然”，而“陶然”，而“惘然”，而“慨然”，而“愕然”，而“怆然”。例⑮反复三次写对话，而“女儿”由“骄傲自豪”而“不太精神”，而“眼睛黯淡”；“我”则由“由衷夸奖”，而“言不由衷”，而“没有勇气说出口”。两篇作品表面上看都似重复啰嗦，实乃作者刻意为之，以表达深刻的内蕴，引起读者各种联想深思，可谓异曲同工，饶有趣味。

连续反复与间隔反复常常综合运用。

⑯眼下，铜钟站在爹床前，抱愧地说：“爹，‘花狸虎’岁口嫌老些儿……”

“不说这，不说这，……”爹的胡子哆嗦着。

“爹，等来年丰收后，我还您牲口……”

“不说这，不说这，……”两行眼泪从爹的眼角涌出来。

“爹，您是说？……”

“我是说……”爹用胳膊撑起上半身，直愣愣地望着儿子，小声问：“你对爹说实话，……党还要咱不要啦？……”爹突然咬住被角，瘦削的肩膀猛烈地抽动起来。

“党要咱，党要咱。”铜钟抑止了内心的激动，凄然地说：“党不知道咱忍饥，……”

“那就好，那就好！”爹又挣扎着坐起来，哀怜地望着儿子，说：“那你这当支书的，万万不敢躺下，万万不敢。你没看看？乡亲们忍饥受饿，也没一人逃荒，没一声怨言，那为啥？就因为对党信得过。孩子，四五百口人的死活搁在你身上。爹知道，你肚子里也没装一粒粮食子儿，你要是饿得受不住，就想想民国三十一年是咋过来的，想想你那死在逃荒路上的娘，说啥也要把全村人领过这一春

天。孩子，爹求你……求你！”

铜钟“扑通”跪在爹脸前，眼噙着泪说：“爹，孩子我记住这话。”

（张一弓《犯人李铜钟的故事》）

例⑯中“不说这”、“党要咱”、“那就好”、“万万不敢”、“求你”等词语，有时连续反复，有时兼有间隔反复，逼真地表现出人物内心的激动感情，深深撞击着读者的心扉。

反复与排比有区别。反复着眼于语句字面的重复，以起到强调感情、突出思想、增强节奏感的作用；而排比着眼于结构相同或相似、语气一贯，多项并举，起到加强语势，提高表达效果的作用。

但反复与排比常常兼用，以同时达到两种修辞的效果。

⑰他饥肠辘辘，放下行李就钻进厨房，想找点食物填肚皮。揭开锅盖，空的；打开橱柜，空的；摸摸米缸，空的；打开煤气罐，也是空的。

（蒙国东《武当山下的企业家》）

例⑰“空的”间隔重复出现四次，是反复；而每一个“空的”又分别处于一个句子中，地位相同，构成了四个并行排列、结构相同、语气一贯的句子，形成排比，表达有力。这是反复与排比的兼用。

⑱生活方面，他的原则是简便。买起来简便，洗起来简便，切起来简便，烧起来简便，吃起来简便。

（姜滇《临街的窗》）

如果说例⑰是反复与排比的兼用，那么，例⑱就是反复与层递的兼用了。

60. 双　　齐*

【双齐】 shuāngqí 在一组句子的句首、句尾或句中，使用相同的词语。

双齐有五种形式。

第一种叫“齐头式”，如：

百期逢盛世，
百花迎客来
百尺竿头上，
百子榴竞开。

（石英《为〈散文〉百期题词》）

第二种叫“齐尾式”，如：

万里强调教育改革的根本目的是多出人才，快出人才，出好人才。

（《光明日报》1984年2月14日头版标题）

第三种叫“齐腰式”，如：

吏呼一何怒，妇啼一何苦？

（唐·杜甫《石壕吏》）

第四种叫“齐头齐尾式”，如：

因地制宜，因时制宜，因人制宜。

（格言）

第五种叫“首尾双齐式”，如：

仁者见仁，智者见智。

（格言）

从以上例句看出，双齐格基本上与反复、宽式对偶、排比相交叉，所以不宜独立成格。

61. 重　说

【重说】 chóngshuō （异语反复）意思重复而字面不同的词语或句子反复使用。

重说的作用在于能表达丰富复杂的内容和深沉强烈的思想感情。

①屋子里，院子里，全是湿的，全是脏水，教我往哪儿藏，哪儿

躲呢！

（老舍《龙须沟》）

②老乡们，咱们盼星星盼月亮，日盼夜盼的东西，今天盼来了。今天咱们得跟老日子打个招呼，您请吧，再也见不着您了。老乡亲，全新的生活，幸福的生活，今天，此刻，脚下，开始了。

（林斤澜《春雷》）

③佟宝庆一年、四季、十二个月、二十四节、三百六十天都跟这些粉头打交道，又常常到妓院送货，知多见广，心贼眼杂。

（刘绍棠《野婚》）

④这种种都说的一件事：我未学过诗，不懂诗，也不懂作诗。作诗不过瞎作，作了人家也说是诗，不过北京话说的："蒙上了！"故乡话说之："瞎猫碰到死老鼠！"

（聂绀弩《〈散宜生诗〉自序》）

例①用了两个意思重复的动词"藏"和"躲"，强调到处是脏水，无处躲避。例②连用三个同义词，一唱三迭，抒发了告别旧日子，迎接新的幸福生活的激情，虽反复而不以为重复。例③连用五个表时间的同义词语，以突出强调佟宝庆与粉头打交道的长期性、经常性，几无一日例外。例④用意思相同，说法不同的北京话和故乡话来反复强调"瞎作"的含义，以表自谦。

重说与反复的区别在于重说的词（句）面不同，反复则是相同词语、句子的重复。但它们的相同之处在于内容上的故意重复，以起到表达丰富的内容和强烈的感情的作用。

重说与变文中的避复不同，这一点要特别注意。重说是故意重复，以达到强调的目的；而避复是在意思不能不出现重复时，故意避免用相同的词语，以达到语言富于变化的效果。

必须指出，重说是有特定修辞作用的修辞方法，不能将它与语言的重复啰嗦混为一谈。语言的重复啰嗦不仅不是修辞方法，而且是一种语病。如："他躲在被窝里，翻来覆去，辗转反侧，心绪纷乱。平日，生活中的一些小事，又莫名其妙地浮现在眼前……"（傅溪鹏《安得广厦千万间》）句中"翻来覆去"和"辗转反侧"两个同义成语

的反复，未必起到突出强调的作用，只用其中一个，就已很生动鲜明了，却要用另一个同义词再说一遍，不免有重复累赘之感，或者说是修辞方法运用得未必高妙。

62. 复　　语*

【复语】 fùyǔ　同义词并列连用。

清代学者王念孙编写的《读书杂志》中多次谈到"古人自有复语"。他所说的复语就是指同义联合词组。如：

①曾子之妻之市，其子随之而泣，其母曰："女还，顾反为女杀彘。"

（《韩非子·外储说左上》）

②是时屈平既疏，不复在位，使于齐，顾反，谏怀王曰："何不杀张仪？"

（汉·司马迁《史记·屈原贾生列传》）

以上两例中，"顾"和"反"同义，都是回来的意思，并列连用。这种现象在文言文中常见。荀子《正名篇》里说："单足以喻则单，单不足以喻则兼。"所谓"足以喻"就是满足表达的需要。

有人指出，对这种语言现象的修辞因素，值得进一步深入研究，但就上面所举示例来看，极似重说，故应暂不单立为一种辞格。

63. 呼　　应

【呼应】 hūyìng　把词组或句子前后连续说两遍，后者较前者详，主要起补充说明作用。

呼应的前后两部分有相同词语，处于同一位置。前者叫呼句或略叙

句，后者叫应句或详叙句。

①还有苹果，那驰名中外的红香蕉苹果，也是那么鲜艳，那么逗人喜爱。

（峻青《秋色赋》）

②列宁不死，列宁永远地不死！

（蒋光慈《在伟大的墓之前》）

例①是词组的呼应。呼句是“还有苹果”，应句是“那驰名中外的红香蕉苹果”，应句比呼句多了一个定语，前句略，后句详，紧密相连，彼此呼应。例②是句子的呼应。应句比呼句增加了状语“永远地”，一略一详，形成呼应。

呼应有强烈的修辞作用，运用得好，可以加强语势，突显重点；使表意更加准确具体；使语句连贯，脉络清晰；使句式灵活而有变化。

③山，好大的山啊！起伏的群山一座挨一座，延伸到远方，消失在迷茫的暮色中。

（彭荆风《驿路梨花》）

④做人真难啊，怎么也不是，特别是一个姑娘，一个漂亮、爱美又能干的姑娘！

（郑万隆《当代青年三部曲之二》）

⑤他先唱了，唱了一段舒伯特的小夜曲。他不仅有一手好棋艺，也有一副好歌喉呢。妻子也唱了，唱了一曲歌剧《阿依古丽》的插曲。

（肖复兴《国际大师和他的妻子》）

⑥不，我可以说，先生的肉体虽死，但他的心，他的精神活着，活在我们每一个人的心里，活在千千万万的青年心里！

（黄源《活在青年心里》）

例③开头便是一个独词句“山”作呼句，接着一个应句“好大的山啊”，仍是一个独词句，更加突出了山之高大，使读者眼前如奇峰突起，比直接写“好大的山啊”效果更加强烈。例④先说“一个姑娘”，以承前比较说明姑娘比其它人做人更难，然后加上一个应句，在“姑娘”前增加了几个定语，就使语意表达得更准确具体了。例⑤是两个呼应。第一

个呼应中的呼句“他先唱了”是照应第二个呼应中的呼句“妻子也唱了”，以示唱的先后；而第一个应句又与第二个应句相照应，以示唱的内容。如果不用呼应的手法，变成“他先唱了一段舒伯特的小夜曲。……妻子也唱了一曲歌剧《阿依古丽》的插曲”，前后语句的语气照应就显得不够，脉胳层次也不那么清晰了。例⑥呼句“活着”与前面的“死”连贯照应，都没有修饰限制的成分，显得句式整齐，然后再增加补语，连写两个应句，读来和谐上口。如果不用呼应手法，写成“先生的肉体虽死，但他的心，他的精神活在我们每一个人特别是千千万万的青年心里”，句子反而显得拖沓冗长了。

从结构形式上看，呼应辞格多是添加定语和状语，也有添加主语、谓语、宾语或补语的，另外还有一些在此基础上变得较为复杂的形式，如有连续两个以上的应句，在应句中增加的不止是一个成分等等。

⑦啊，乡愁呀，如轻烟似的乡愁呀！

（郑振铎《海燕》）

⑧以后的三年里，她如同狮子滚绣球一般，无一时不活动，无一时不是使出浑身解数的在活动。

（冰心《关于女人》）

⑨院里摆着桌面，大家吃，吃，吃，嘴像小泔水桶。吸烟，人人吸烟，西屋里还有两份大烟家伙。

（老舍《牛天赐传》）

⑩呵，黄河，我又一次，又一次看到了你。

（高缨《又临黄河岸》）

⑪你们灭绝，你们消亡，永远不存一丝儿痕迹，永远不存一丝儿痕迹于这块土！

（叶圣陶《五月卅一日急雨中》）

⑫啊，巴黎，贝壳一样的巴黎，像一张鲜红的枫叶形的巴黎！

（徐迟《祁连山下》）

⑬他再一次风尘仆仆进京了。毅力，是熔化一切困难的熔炉。追求，不断追求；进取，不断进取。新影乐团终于把关贵敏调了进来。

（肖复兴《他心中的主旋律》）

⑭是的，就在这喷薄的曙光升起的时候，人们啊，在思索着，思索着这样一个问题：曙光，中华民族的曙光是怎样升起来的？

（徐刚《曙光升起的时候》）

⑮在这暗无天日的时候，一切都睡着了，都沉在梦里，都死了的时候，正是你咆哮的时候，应该你尽力咆哮的时候。

（郭沫若《屈原》）

例⑦增添了定语。例⑧增添了状语。例⑨增添了主语“人人”。例⑩应句中既增加了谓语，又增加了宾语。例⑪增添了表处所的补语。例⑫是一个呼句，连续两个应句。例⑬是连续两个呼应。例⑭有两次呼应，第一次增加宾语，第二次增加定语和谓语。例⑮在呼句与应句间多了词语“应该你”，可看作宽式的呼应。

呼应与反复不同。反复是为了强调而简单的重复；呼应是前呼后应，前略后详，而且详句是在略句的基础上增加成分，其修辞作用比反复复杂强烈。

呼应与排比也不同。排比是三个以上结构大体相同、内容相关的句子的连续排列，一句是一个意思；呼应一般是一呼一应两个句子，或是一呼多应的两个部分，讲的是同一件事或同一个问题，详句的意思是在略句的基础上有所增加。

64. 增　饰*

【增饰】 zēngshì　给原来的中心词或中心词组增添新的修饰限制成分，或附加上补充说明的成分。

例如：

最可爱的是它的花，那对于炎阳的直射毫不避易的深红的花。

（郭沫若《丁冬草·石榴》）

从增饰的定义和示例来看，它实际上就是呼应格中添加定语、状语

或补语这三种形式，因此，无须独立成格。

65. 合　叙

【合叙】 héxù （合说 综说 列举分承 并提分承）把几个分说的、结构相同的语言单位综合在一个结构里合并起来叙说。

合叙的前部并列提出两个或两个以上成分；后部按照所提成分的顺序，分别加以叙述说明，前后各项一一对应。

运用合叙，可以使文字简练，结构紧凑。

①慌慌忙忙打点行囊，竟忘了带棉大衣和电动剃须刀，以致在我到达目的地之后，立刻就成了支气管炎患者，以致在我从火场中穿行了几番之后，慢慢就变成了威武雄壮的毛人。

（乔迈《到大兴安岭火灾区去》）

②大小碑座的上下四周，雕刻着以牡丹花、荷花、菊花等组成的八个大花圈，这些花朵象征着“高贵”、“纯洁”、“坚忍”，表示全国人民对英雄们的永远怀念和敬仰。

（周定舫《人民英雄永垂不朽》）

③小划子远远地出现了，像一只小小的黑甲虫，急匆匆地、慌里慌张地贴着江面爬过来——说它急匆匆，是因为它速度极快；说它慌里慌张，是因为它走得毫无规律，一忽儿左，一忽儿右，常常莫名其妙地拐弯绕圈子。

（赵丽宏《三峡船夫曲》）

④如果说，第一层感情冲激波是美好的、神妙的；那么，第二层感情冲激波是深沉的、崇高的。不过，在人生的道路上，美好的往往容易淡忘，而崇高的是会愈刻愈深的。

（刘白羽《第二个太阳》）

例①前面先并提忘了带“棉大衣”和“电动剃刀”，后面再分别承前

说明忘带棉大衣的后果和忘带剃须刀的后果。这样写结构紧凑，节省文字，否则就得写两遍“慌慌忙忙打点行囊，竟忘了带”，语言就显得重复啰嗦了。例②前半部分并列提出“牡丹花”、“荷花”、“菊花”，后面依次加以说明，它们象征着“高贵”、“纯洁”和“坚忍”，这样合在一起说，用一个复句就行了，使结构紧凑，语气明快。如果不用合叙，写成“牡丹花象征着高贵，荷花象征着纯洁，菊花象征着坚忍”，句子就变得繁复起来。例③前面用“急匆匆地、慌里慌张地”合在一起描述小划子的状态，后面再分别说明其原因。这样写不仅使文字简练，而且给人以整体的，真实生动的感受。例④用合叙的手法，造成了“美好的、神妙的”与“深沉的、崇高的”二者间的对比，进一步再分承对比，将“容易淡忘”与“愈刻愈深”对照，这样层层对比，产生鲜明强烈的效果。另外，这个例子是一个句群中两个句子间的并提分承关系，是合叙的扩展形式。

合叙从前半部分列举的项次来看，有双项与多项之分；从后面分承的层次来看，有一层与多层之分。

⑤老师教给我，要学骆驼，沉得住气的动物。看它从不着急，慢慢的走，慢慢的嚼；总会走到的，总会吃饱的。

（台湾·林海音《〈城南旧事〉出版后记》）

⑥这里与别地不同，别地方的人都讨厌乌鸦，喜爱喜鹊；武当山的人却讨厌喜鹊，喜欢乌鸦。传说是当年净乐国太子真武到武当山修仙时，让乌鸦和喜鹊带路，喜鹊吱吱喳喳尽说好话，假话，使真武差点儿丧命；而乌鸦有忧报忧，反映真实情况，让真武脱难，被真武封为“灵鸦”。

（蒙国东《武当山下的企业家》）

⑦望着望着，我竟有了这么一个幻觉，仿佛这无边无际的苍茫大地上，出现了三条巨龙。一条是群山的巨龙，一条是长城的巨龙，一条是人流的巨龙，龙叠着龙，蜿蜒于荒野之上。群山，那是洪荒时代就存在了；长城，那是两千多年前就出现的了；人流，却是生活于当世的跃活的生命。他们之中的许多人，正在为建成新中国的长城般雄伟的事业而奋斗。

（秦牧《长城远眺》）

⑧这些人，马克思主义是有的，自由主义也是有的：说的是马克思主义，行的是自由主义；对人是马克思主义，对已是自由主义。

（毛泽东《反对自由主义》）

⑨对于敌人，解剖，咬嚼，现在是在所不免的，不过有一本解剖学，有一本烹饪法，依法办理，则构造味道，总还可以较为清楚有味。

（鲁迅《"硬译"与"文学的阶级性"》）

例⑤是一个句子中的双提分承，前面是两项。例⑥是扩展为句群的双提分承。例⑦是一个句群中的三项的并提分承。例⑧双项并举，而后面分承了两次。例⑨中，并举"解剖"和"咬嚼"，第一次接"解剖学"和"烹饪法"，第二次以"构造"和"味道"分承，第三次再以"清楚"和"有味"分承，这是双项三次分承。

这种合叙的修辞方法早见于古代。

⑩近古之世，桀纣暴乱，而汤武征伐。

（《韩非子·五蠹》）

⑪繁启蕃长于春夏，畜积收臧于秋冬。

（《荀子·天论》）

⑫如使人之所欲莫甚于生，则凡可以得生者何不用也？使人之所恶莫甚于死者，则凡可以避患者何不为也？由是则生而有不用也；由是则可以避患而有不为也。是故所欲有甚于生者，所恶有甚于死者。

（《孟子·告子上》）

⑬盖在殷忧必竭诚以待下，既得志则纵情以傲物；竭诚则胡越为一体，傲物则骨肉为行路。

（唐·魏征《谏太宗十思疏》）

例⑩是双项分承，即桀暴乱汤征伐，纣暴乱武征伐的意思。例⑪即繁启于春，蕃长于夏，畜积于秋，收臧于冬的意思，用合叙手法将四句话合为两句说。例⑫是双项两次分承，第一句下接"由是则生而有不用也"，再接"是故所欲有甚于生者"；第二句下接"由是则可以避患而有不

为也”，再接“所恶有甚于死者”。合叙造成了层层对照的表达效果。例⑬先以“竭诚”与“傲物”对比，再分承说明二者的不同结果，可见合叙便于对比及对比后语意上的进层。

合叙手法在运用时，可能出现灵活变通的情况。

⑭李毛驴又悲又喜。被杜善人牵去的毛驴又回来了，这使他欢喜；但因这毛驴，他想起了夭折的孩子，走道的媳妇，心里涌起了悲哀。

（周立波《暴风骤雨》）

这个示例中后面两项分承的部分与前面两项不是依次对应，而是交叉对应，这是合叙的变通形式。但是，这种交叉对应的形式用在多项分承时，可能产生歧义或误解，运用时要注意。

另外，比较简单的合叙，其修辞作用有时并不明显，有成为一般修辞现象的趋势。

⑮田野上林带纵横，雄赳赳，气昂昂，阻挡北京来的风沙。村庄半绿半紫，杨柳树绿得深沉，泡桐花紫得秀美。

（曹世钦《长长的行程》）

⑯又有一个中国战士，以军功擢升到少校，古巴革命军队给他起了一个绰号，叫做“半羊半狮”，形容他遵守革命军的命令和纪律，好像绵羊，对待敌人又英勇善战，好像雄狮。

（秦牧《哈瓦那华侨记功碑》）

例⑮先合说村庄的色彩，“绿”与“紫”互相映衬，再分承说明其原因，文字简练，色彩鲜明，体现了合叙的修辞作用。然而例⑯虽然从形式上看与例⑮类似，但“半羊半狮”是人的绰号，本来就不能分开，并非为达到修辞作用而有意先并举，再分承，故认为是合叙就比较牵强了。

66. 共　　用*

【共用】 gòngyòng　在一个句子中，有两个以上成分共同与另一

个成分发生结构上的关系。

①她不能、不肯、也不愿意看到别人的苦处。

（老舍《骆驼祥子》）

②伟大、光荣、正确的中国共产党万岁。

（口号）

③千万条腿来千万只眼，
也不够我走来也不够我看。

（贺敬之《回延安》）

④是时代，是祖国，是人民，是中华民族根本利益的所在。

（刘恒志《共和国正在裁军》）

从上述定义和示例看，共用格与排比、繁复、联用或合叙多有重合，所以不宜独立成格。

67. 分　　述

【分述】 fēnshù （分说）本来一句话可以把意思说清楚的，故意分成两句以上的话来说。

分述是一种曲折的表达方式，运用得好，非但不是重复啰嗦，反而别有一番深意或情趣。

①我们互相用帽子，用围巾掸着雪，雪花从我的身上掸落，雪花从他的身上掸落。

（肖复兴《达紫香》）

②我们中学离大学，不过五里地，他总是步行而去，又步行而来的。

（曾毓秋《〈易经〉专家》）

③为了评比炊事技艺，设计了许多程序，包括：每人要蒸馒头一屉，焖米饭一锅，炒鸡蛋两个。切咸菜丝一盘。煮稀饭一碗，做红烧肘子一盘等等。为了设计这一程序，我们全家进行了三十个白天

三十个夜晚的研讨。

（王蒙《坚硬的稀粥》）

④在我的后园，可以看见墙外有两株树，一株是枣树，还有一株也是枣树。

（鲁迅《秋夜》）

例①本可以用“雪花从我们的身上掸落”一句话说清楚，但作者故意分成两句说，就把两人之间“他”先给“我”掸落雪花，然后“我”又给“他”掸落雪花的情趣生动地表现出来了。例②本可以说“他总是步行着去回”。这里故意说成两句，就不仅是说明了“他”来去的方式，且使读者有了时空延续的感觉，人们的活动犹如电影镜头一般历历在目。例③是把一个短语“三十个昼夜”故意分成两个短语来说，以达到幽默夸张的喜剧效果。例④历来被作为“分述”的典型示例。这是《秋夜》的开头，作者巧妙地运用分述的形式，看来重复，实则突出了景物的单调，渲染了寂寞的环境气氛，曲折地表达了作者孤寂的心情。如果写成“在我的后园，可以看见墙外有两株枣树”，意思虽然叙述清楚了，但远不能表现出上述的表达效果。

以上四例都是属于把一句分成两句（短语）说的分述。也有些分述，是把一句分成三个以上的句子来说。

⑤地质学家是多么的兴奋！他们谈了一个下午，又谈了一个晚上，又谈了一个后半夜。

（徐迟《祁连山下》）

⑥从西刘庄返回大校厂，齐云祥没进家门，便挨家挨户打招呼：“去学校说个事，不去不行！”

太阳正午了，太阳偏西了，太阳就要落山了。院子里才只有三个人。

（赵新 继忠 业莲《神圣之光》）

⑦阿Q站着看到自己发烦，也似乎还是先前一样，在那里来来往往的搬，箱子抬出来了，器具抬出来了，秀才娘子的宁式床也抬出来了，……抬得他自己有些不信他的眼睛了。

（鲁迅《阿Q正传》）

⑧燕大的小伙子也不是泥捏的，他们把清华的队员盯得死死的，一个人刚得球，马上冲上两个来抢。九十分钟踢下来，0比0！那阵子还没有发点球的一招，决不出胜负，只好延长时间，五分钟、十分钟、十五分钟、二十分钟，仍然0比0！再延长二十分钟！

（马瑞芳《肖涤非教授和足球》）

例⑤写地质学家们从下午谈到后半夜，故意分三句说，表现他们一而再地欲止又言，有谈不尽的话，从而突出了他们的兴奋之情。例⑥是说山村农民对抓教育、改善学校条件有疑虑，迟迟不去开会。把从上午到傍晚的时间故意分成三句说，既表现了农民的疑虑，又表现了村支部书记齐云祥焦急等待的心情。例⑦把阿Q看到箱子、器具、宁式床都抬出来的情景分成三句说，目的在于表现阿Q是一件一件地看到东西被抬出，随着"来来往往的搬"，随着时间的延续，阿Q越来越不相信自己的眼睛，暗示出阿Q对自己不能参加"革命"的失望和愤慨。例⑧本可以说"只好延长二十分钟"，作者故意分成多句来叙述时间的延续，就把势均力敌的紧张比赛的气氛真切地表现出来。

分述和排比有区别又有联系。

有些分述是把一句分成两句说，如例①、②、③、④，而排比需要三个或三个以上相似结构连续排列。故这种分述与排比无关。

有些分述是把一句分成三个以上的语句来说，如果这些语句结构相同或相似，那么在形式上就很象排比了。但这样的分述目的主要在于表达另一番深意，而不止是加强语势。不妨把这视为分述与排比的兼用，如例⑤、⑥、⑦、⑧。

有些分述虽一句变成多句说，但形式并非排比，这种分述也与排比无关。

⑨……合伙吃我的人，便是我的哥哥！
吃人的是我的哥哥！
我是吃人的人的兄弟！
我自己被人吃了，可仍然是吃人的人的兄弟！

（鲁迅《狂人日记》）

例⑨一句话说来就是"哥哥"与"我"是"吃人"和"被人吃"的关系，

作者故意分成好几句话来说，一方面揭露旧社会人吃人的残酷，一方面描写出“狂人”形象的特点。这种分述在形式上并非排比。

当然，许多排比也并不是象分述那样故意将一句分成多句说，也不象分述那样简化成一句能说清楚，它的作用只在于加强语势，增强节奏美。如“各种事物都有它的极致。虎啸深山，鱼游潭底，驼走大漠，雁排长空，这就是它们的极致”（孙犁《黄鹂》）。这种排比就与分述无关了。

68. 同　字

【同字】 tóngzì　特意用相同的字给三个以上相邻、相近的词语或句子开头或收尾。

①多年来，我每年都出去走走，所到之处，长话、短话、真话、假话、官场话、民间话、牢骚话、气头话、言过其实的话、实事求是的话……什么话都听过。

（张志民《酒与真言》）

②那么，爱竹的扬州人和爱竹的旅扬的非扬州人有福了，他们可以在个园寻到一个对竹、赏竹、啸竹、倚竹、评竹、吟竹、写竹、忆竹的最佳去处。还有听竹——郑板桥题画诗云：“衙斋卧听萧萧竹，疑是民间疾苦声；些小吾曹非县吏，一枝一叶总关情。”萧萧然，飒飒然，冷冷然，森森然，而此时此际，横斜摇曳，在地，在阶，在石，在壁，在衣之一角，在窗之一隅，无处不见竹影，无处不见板桥画境，这也可能略有助于古城扬州的墨竹遗风，并激其清芬的吧！

（忆明珠《个园话竹》）

例①用“话”字给相邻的十个词语收尾（作中心词）。例②用“竹”字给相邻的八个词语收尾（作宾语）；用“然”字给四个词收尾（作词尾）；用“在”字给相邻的六个词语开头（构成介宾短语）。可见，同字在内容上围绕一个中心点，形式上贯连锁结，语调上顿挫分明，因而给人以重心显豁，遣字巧妙，节奏谐美的快感。

同字以其重复用字所出现的位置看，就句子说，有句首同字与句尾同字两种；就词(语)说，有词(语)首同字与词(语)尾同字两种。在实际的语言中，尾同字较之首同字为常见。

③春雷一声天地转，春风阵阵送温暖。
春芽破土向阳发，春花万朵驱严寒。
春雨沥沥润心田，春潮滚滚好开船。
春来冬去山乡乐，春到人间万民欢。

（转引自张国庆《同字格说略》）

④她的一举步，一伸腰，一掠鬓，一转眼，一低头，乃至衣袂的微扬，裙幅的轻舞，都如蜜的流，风的微漾……

（朱自清《女人》）

⑤黑夜。黑山。黑水。黑路。

黑蒙蒙的影子，像只被猎人追赶的野兔窜进黑乎乎的胡同，消失在漆黑的夜幕之中。

（陈光明《黎明前的苏醒》）

⑥大夫各攻一科，沙三爷却包治百病。人无不病，可您有病未必知道。不疼不痒不红不肿不胀不酸不破不烂不鼓不瘪不吐不泻不晕不乏不憋不闷照吃照喝照睡照醒不觉得，只当没病，病却藏你身上，一朝一发出来再治就迟。沙三爷最大的能耐是把病给您找出来。

（冯骥才《阴阳八卦》）

⑦但那主人模样的瘦老者却含笑一捋银须："交关日子没打仗了，今日喜逢老甲鱼这瓷器精从山阴而来，我约了玉器王何公子，加上老朽这字画迷，痛痛快快地搞它个通宵。不过古人云：赏花须结豪友，对月须结冷友，观雪须结艳友，我们玩器须结淡友。"

（陈军《玩器记道》）

⑧杜康成了解忧的神祇，成了诗画灵感的源泉。天子赐酒，美人劝酒，陶潜菊酒，十朋祭酒，佩刀质酒，烈士骂酒，汪伦送酒，李白抱酒……和酒有关的故事，也都将流传千古，成为艺术的泉源。

（端木蕻良《酒呵！酒！》）

⑨偌大一盘圆月落入溪中。山笼。树笼。烟笼。夜笼。

（郭爱玲《红绒花·空月》）

⑩水影，坝影，船影，人影……

葛洲坝，一只激情泼撒的金杯！

（向求纬《长江漂流》）

⑪忽然，我的眼前一亮，心里头一亮。好像一间锁了许多年的黑屋子，突然门窗大开，天光阳光霞光水光电光，全照进来了，东风西风南风北风春风秋风，全吹进来了。

（王蒙《深的湖》）

⑫既要从思想上真正认识"扫黄"的重要意义，同时，也要在具体政策措施方面往根儿上挖，从源上堵。从"进黄"、"运黄"、"制黄"、"贩黄"、"传黄"几个根本环节上动手术。（"黄"，指淫海读物及声像制品——编者）

（李庚辰《"割韭菜"与"拔萝卜"》）

例③为句首同字。例④、例⑤例⑥为词首同字。例⑦、例⑧、例⑨为句尾同字，例⑩、例⑪、例⑫为词尾同字。同字可以是实词，也可以是虚词、词缀、儿化韵。不过轻声字用作同字，仅限于收尾。如：

⑬不知不觉间，淑珍长高了，身材窈窕了，脸皮白嫩了，眼睛乌亮了，头发油湿了，重担子挑来轻飘飘，针线活做得呱呱叫。

（高晓声《水东流》）

⑭现在谁还再玩张宗昌之流硬梆梆的杀人把戏呢？要害人，也得转个弯儿，抹个角儿，借个刀儿，找个碴儿，不可霸王硬上弓儿。

（台湾·李敖《过早的答案》）

⑮1985年9月30日，由"一张桌子、两杆秤子，三把椅子，四部车子（自行车）、五条汉子"组成的"大富农副产品推销联合体"一夜间应运而生了。

（李春荣 陈伟民 谢亦礼《从特困乡走向特区》）

⑭齐桓公青春壮志，匡天下，合诸侯，固一世之雄；暮年黄昏，闭塞言路，暗疾似牛毛丛生。草泽医人扁鹊四次忠告，老人讳疾忌医，自信永远健康。待到围墙哀鸣"寡人有疾"，时日曷丧，妃子、世

子、臣子抢椅子、动刀子，一群败家子，一副滥摊子，祸及孙子，责在老子，“寡人有罪矣”！

（魏明伦《毛病吟》）

⑮试看当前下面官倒爷多为不倒翁；老子赋闲而不闲，妻子无权而有权，条子无胫走千里，公子无本捞大钱。此风何处来？……回忆十年浩劫——谁家妻子枕边批条子？哪家老子幕后装瞎子？八亿人瞧这一家子，教出了多少两口子？读者问我吟啥子？吟的是折戟沉沙林秃子……夫妻店上行下效，裙带风源远流长……

（魏明伦《毛病吟》）

例⑭、例⑮非常精彩，读来痛快淋漓，击掌称绝！但其构成方式也比较特殊，“从“子”字的位置上看，例⑭中“子”字可分为四组：“妃子、世子、臣子”一组，“抢椅子、动刀子”一组，“一群败家子，一副滥摊子”一组，“祸及孙子，责在老子”一组，因此可视为同字连用。例⑮中“子”字大体可分为四组：“老子……妻子……条子……公子……”一组，“妻子……批条子，……老子……装瞎子”一组，“一家子”、“两口子”，“吟啥子”、“林秃子”一组。而“子”字所处的位置颇多变化，或在句中，或在句尾，其表达效果与同字无异，因此可视为同字混用。

由于同字独特的修辞功能，读来容易上口，便于口头传诵，特别是讽刺那些丑恶现象，辛辣而见风趣，幽默而显机智，因此在民间谣曲中最为常见，深受人民群众喜爱：

⑯互相之间不服气，
斤斤计较太小气，
听了批评就生气，
话不如意发脾气，
有了成绩要骄气，
遇到困难就泄气，
高兴起来就神气，
碰到钉子就丧气。

（徐淑生收集《某公“八气”》
载《民间文学》1989年4月号）

⑰做起报告不停嘴，
赴上宴席大动嘴，
自我批评紧闭嘴，
汇报情况忙抢嘴，
见了问题哑了嘴，
讨好上司要甜嘴，
差点伸手自掌嘴，

（民谣《嘴巴干部》）

⑱上班喝茶水，
无病喝药水，
想法捞油水，
按时拿薪水。

（民谣《“四水”干部》）

同字格与排比格时有兼用，凡相邻的句子或词组的同字，皆属与排比的兼用，如例⑮与例⑱等即是。再如：

⑲天气是这样好，蜜蜂在萦萦地逗你，蝴蝶在翩翩地诱你，春风在絮絮地唤你，使人在书斋中坐不住。

（陈继光《向着生活微笑》）

69. 同　　异

【同异】 tóngyì　在同一个语意中，字数相等，字面同中有异、异中有同的两个或两个以上的词语（多为双音词），互相对照，相映成趣。

①不因酒困因诗困，
常被吟魂恼醉魂，
四时风月一闲身，
无用人诗酒乐天真。

（白朴《阳春曲·知几》）

②庞晶经过八次切痂植皮手术，度过一次又一次的险关，终于活过来了。爱神终于战胜了死神。护士们对她和小王说："等你们结婚时，别忘了给我们送喜糖来！"小王憨厚地笑了："哪能忘呢！"

（贾宏图《大爆炸》）

例①中"酒困"与"诗困"，"吟魂"与"醉魂"分别构成同异。是同异手法的连用，于对照中抒写作者耽于酒而困于诗，颇有自吟自醉之乐。例②中"爱神"与"死神"构成同异，于对照中写出庞晶危险的处境与小王爱情的专一。可见，同异的特点，在形式上既要"求同"，又要"存异"；反复而又错综，参差且兼整齐，其作用主要在于增强语言的鲜明性、趣味性，使"同"与"异"两个方面相得益彰，相映成趣，语意因此更加明朗、显豁，耐人品味。

根据构词特点，同异可分为前同后异和前异后同两种。

〖**前同后异**〗 qiántónghòuyì 前一个词或词素相同，后一个词或词素相异。

③但三位爷毕竟是少爷秧子出身，无论家境如何落魄，到了世面上，还得大大方方地作外场人。钱可以少花，但口气不能小，宁要穷命，不要穷相，进到泰来轩，就得气宇轩昂，劲头总是绷足了。

（林希《爱恨仇》）

④塔下通回廊，廊中向下看教室，觉得别人小得可怜，自己高得可怪，真是颠倒梦想。

（朱自清《欧游杂记》）

〖**前异后同**〗 qiányìhòutóng 前一个词或词素相异，后一个词或词素相同。

⑤风流（如果这也算得上的话），但不下流，我这样想也这样做的，至今也没有觉得什么不好。

（程士庆《二十岁的坦白》）

⑥我不知道上了多少石级，一级又一级，是乐趣也是苦趣，好像从我有生命以来就在登山似的，迈前脚，拖后脚，才不过走完慢

十八盘。

（李健吾《雨中登泰山》）

⑦她叫柳媚，妩媚柔媚的媚，很好听的名字，可就是名不副实，对我既不妩媚也不柔媚，倒是动不动就竖起她的“柳眉”。我玩牌误了上班，挨了领导批评，她“柳眉”一竖；我读电大思想走野，外语考试吃了零蛋，她又“柳眉”一竖。宿舍里的哥儿们取笑我，说我“红绳”未系却系了“牛绳”。还柳媚呢，干脆叫“柳眉”算了。

（蔡新《柳眉》）

⑧“为什么中国男人雌化现象这么普遍，嗯，为什么？”

我孟浪饮酒，脑浆都沸腾了，听到李白玲对张燕生的感慨，愤然插话：“因为中国女人先于男人普遍雄化。”

李白玲微笑地看着我。

（王朔《橡皮人》）

一般说来，同异以双式最为常见，即两两对照，但也有三式或多式等较为复杂的形式，因此在表意上就更丰富生动些。

⑨有的人手拿令旗却小算盘打得噼啪响，一事当前先念“护官符”，不弄清“风头”、“势头”加“来头”不下手，结果，虽有党纪国法和上级组织撑腰，也硬不起来，甚至会腰软似面条。所以，要提倡让脊梁增加点钙质，换言之，要增强些党性，原则性和法纪观念，增强些惩治腐败，为党为国为民除害的决心和斗志。

（李庚辰《“令行”之道》）

⑩十年之前，我国还是一个法治不兴，人治横行的国家，不仅有为数众多的文盲，而且有为数更多的法盲，尤其是有不少立法毁法，执法犯法，恃权压法，逞私凌法的法贼。

（荆平《法盲乎？法贼乎？》）

⑪王济的“马癖”、和峤的“钱癖”、杜预的“传癖”，历史有名，传为佳话。时代不同，人的爱好也就两样。说到我个人，既无“酒癖”，也无“烟癖”，电影看得极少，对音乐、美术兴致也不浓，但我有一爱：书。

（臧克家《书的故事》）

例⑨“风头”、“势头”、“来头”构成同异。例⑩“人盲”和“法盲”构成同异，“法盲”与“法贼”又构成同异。“法治”与“人治”为同异，“立法”与“毁法”，“执法”与“犯法”，“压法”与“凌法”又分别为同异。例⑪“马癖”、“钱癖”与“传癖”为同异，“酒癖”与“烟癖”为同异；同时，这两组同异又构成一个大的同异，即同异的套用。

同异这种修辞手法，也常见于文章标题，因此文字简洁而重心显豁，格外醒目。

⑫莫将“清廉”当“清闲”

（《中国乡镇企业报》1989年10月4日）

⑬“廉政”与“勤政”

（《中国青年报》1989年9月20日）

比较起来，同异格与同字格有其共同之点，即两格都有一个重复使用的字。不过必须是在同异取三个词以上的形式，且其相同的字也处于相邻、相近的词首或词尾时，两格交叉才有可能。

⑭有一个门被拉开了。柔和的光线，柔媚的歌声，柔热的酒气传了出来。

（王蒙《夜的眼》）

⑮这是一个特定的历史性的动作，概括了当那个伟大的历史转折时期到来的时候，领袖、同志、战友以及广大群众之间，无间的亲密，无比的决心，无上的光荣。

（方纪《挥手之间》）

例⑭、⑮是同字还是同异，就较难区分。但一般来说，同字与同异各自强调的侧重点有所不同：同字侧重在异中求同，同异侧重在同中显异；在表达效果上，前者因“同”而给人以和谐匀称的快感；后者则因“异”而给人以对照鲜明的意趣；在使用频率上，前者需同一个字重复三次以上，后者则只需重复两次即可；在使用位置上，前者需处于相邻、相近的词语或句子的开头或结尾，后者则没有这种限制，比较自由。请看下面的例子：

爱看古庙破苔痕，
惯写荒崖乱树根，

画到精神飘没处，
更无真相有真魂。

（清·郑板桥诗）

试将此例与前面同字格的例子比较，即可看出“真相”与“真魂”为同异格。

同异与仿词在形式上也有相似之处。如：“有人认为买书是雅事，而偷书是雅贼”（香港·杜渐《书痴的话》）。这里的“雅贼”是仿“雅事”而造的一个新词，虽然“雅事”与“雅贼”也有相映成趣的特点，但它的意义是临时性的，离开了特定的语境，“雅贼”一词便失去了独立存在的意义（某些仿词，使用日久，约定俗成，也会成为独立使用的词）。而“同异”使用的词语一般都是现成的，具有独立存在的意义。而且仿词不象同异那样仅限于双音词，如仿“大众化”而造的“小众化”之类。

70. 拈　比*

【拈比】 niānbǐ　一句中两个词音同或音近，拈接出现，或表比较，或表映衬，或表排斥。

①由此看来，贯彻三中全会精神后，主流不是资本主义“出头”，而是对新形势下怎样进行领导不熟悉，感到“怵头”。

（《河北日报》1979年12月6日）

②讲究不如将就。

（谚语）

③致癌还是治癌？

（俗语）

④浩劫十年存浩气，
长征万里趁长风。

（《语文现代化》1980年第4期）

以上各例，拈接出现的两个词至少有一个字音同（也有字同的）或

音近，意义上是对比或相衬的。

拈比与同异部分重合，如例①、③、④，但又有差异，即拈比并不限定前后两词必有一个字相同，如例②。拈比与拈连不同，拈比强调对比、相衬，拈连强调相承。

拈比能否立格，有待于进一步研究。

71. 顶 真

【顶真】 dǐngzhēn （顶针 联珠 蝉联 继踵 连环 联语 链式结构）用前一句的结尾，作后一句的开头，使相邻两句，首尾蝉联，上递下接，环环相扣。

顶真能使句子结构整齐，语气贯通，便于反映事物间环环相扣的有机联系，并且能增强节奏感，表达回环复沓的思想感情。

①他生性聪明，认几个字，见啥学啥，学啥会啥。

（王汶石《卖菜者》）

②敌人进村后走了一截，见没有什么危险，这才大起胆子，逢门便捣，捣开便进，进去便翻箱倒柜，搜寻财物。

（马烽 西戎《吕梁英雄传》）

③有翼的床头仿佛靠着谷仓，仓前边有口缸，缸上面有几口箱，箱上面有几只筐，其余的小东西便看不见了。

（赵树理《三里湾》）

④血雨腥风里，毛竹青了又黄，黄了又青，不向残暴低头，不向敌人弯腰。竹叶烧了，还有竹枝；竹枝断了，还有竹鞭；竹鞭砍了，还有深埋在地下的竹根。

（袁鹰《井冈翠竹》）

例①用一个顶真，把“见”、“学”、“会”三者的内在关系巧妙而简练地揭示出来。例②连续两次顶真，结构整齐，语气紧凑贯通，突出了敌人恣肆掠夺的强盗行径。例③运用一系列顶真，对有翼屋中的陈设由大到

小、一气贯通地进行介绍，清晰而有条理地说明这些东西的位置及其相互关系。例④写那些象征井冈山人民的翠竹，用顶真手法把翠竹几次遭蹂躏而顽强不屈的精神淋漓尽致地表现出来，感情强烈而有节奏感。

顶真格的修辞作用鲜明，故早见于古人诗文词曲之中。

⑤民事农则田垦，田垦则粟多，粟多则国富，国富者兵强，兵强者战胜，战胜者地广。

（《管子·治国》）

⑥是故有里胥而后有县大夫，有县大夫而后又有诸侯，有诸侯而后有方伯、连帅，有方伯、连帅而后有天子。

（唐·柳宗元《封建论》）

⑦[梅花酒]……他部从入穷荒，我奚奥返咸阳。返咸阳，过宫墙；过宫墙，绕迴廊；绕迴廊，近椒房；近椒房，月昏黄；月昏黄，夜生凉；夜生凉，泣寒螿；泣寒螿，绿纱窗；绿纱窗，不思量。

[收江南]呀！不思量除是铁心肠，铁心肠也愁泪千行。

（元·马致远《汉宫秋》）

⑧桃花冷落被风飘，飘落残花过小桥。桥下金鱼双戏水，水边小鸟理新毛。毛衣未湿黄梅雨，雨洒红梨分外娇。娇姿常伴垂杨柳，柳燕双飞紫燕高。高阁佳人吹玉笛，笛边鸾线挂丝绦。绦结玲珑香佛手，手中有扇望河潮。潮平两岸风帆稳，稳坐舟中且慢摇。摇入西河天将晚，晚窗寂寞叹无聊。聊推纱窗观冷落，落云渺渺被水敲。敲门借问天台路，路过西河有断桥，桥边种碧桃。

（清·华广生《白雪遗音》）

例⑤运用顶真，极有条理地说明了农业生产的重要性。例⑥也是句句顶真，从小到大，力图以此解释国家机器的形成过程。例⑦是元曲《汉宫秋》中汉元帝的一段曲词，连续十次运用下句顶上句的顶真，结构严谨，一气贯下，把元帝送昭君出塞，回宫后对昭君的无限思念之情抒发得淋漓尽致，读来使人荡气回肠。例⑧是一支曲子，从头到尾，句句相连，最后一句又回到开头，内容上虽显得空虚无聊，形式上却非常完整。

构成顶真的方式，有以词顶词、以词组顶词组、以句子顶句子三种。

⑨疤三给榆钱儿开介绍信，可就遇上了麻烦。

队部推支部，支部推妇联，妇联推贫协，贫协又推回队部。疤三跪前跪后快要将麻子磨平，终于明确了权限在队部。

队长推队副，队副推会计，会计推保管，保管推调解，调解又推回队长名下。疤三磕头磕得头肿，麻坑儿填平，到底明确了主事在队长一人。

队长今日推明日，初一推十五，十五上午推下午，下午去开"三干会"。疤三背了干粮蹲在队长房檐下不挪窝，总算明确了问题之所在。

（张石山《榆钱儿女》）

⑩大妈　我可不去开会！人家说什么，我老听不懂。

四嫂　也没什么难懂的。反正说都离不开修沟，修沟反正是好事，好事反正就得拍巴掌，拍巴掌反正不会有错儿，是不是？老太太！

（老舍《龙须沟》）

⑪咱们做的事越多，老百姓就来得越多；老百姓来得越多，咱们的力量就越大；咱们的力量越大，往后做的事就越多。

（欧阳山《高乾大》）

⑫他比先前并没有什么大改变，单是老了些，但也还未留胡子，一见面是寒暄，寒暄之后说我"胖了"，说我"胖了"之后即大骂其新党。

（鲁迅《祝福》）

例⑨是以词顶词。例⑩是以词组顶词组。例⑪是复句中的分句上递下接，形成顶真，可视作句子顶句子。例⑫先是以词顶词（"寒暄"），然后是以词组顶词组（"说我'胖了'"）。

顶真有严式与宽式之分。首尾递接的词语紧紧相连，完全相同，是严式顶真，如前面所举的例①至例⑩以及例⑫。在上下句相同词语的递接中，有时插入一些相关词语，但总体仍是顶真的句子，称宽式顶真，如前面所举的例⑪，两次顶真中，上句都比下句多了一个关联词语"就"。

⑬杜老师端端正正地站在讲台中央，抑扬顿挫地说："……你们年轻人毛病在于气盛。气盛则心必急，心急则行必乱。……"

（曾毓秋《〈易经〉专家》）

⑭她弟弟走过我家数次，小子非常聪明，一学即会，一会即通，一通即精，……

（亦舒《别人的女郎》）

⑮文章要有剪裁，剪裁就要割爱，而割爱对一般写作者来说仿佛是一件痛苦的事，……

（朱光潜《漫谈说理文》）

例⑬第二个顶真中下句的“心急”接上句的“心必急”。例⑭上下句相同词语间多了一个“一”。例⑮上句“割爱”与下句“割爱”间多了个连词“而”。它们都是宽式顶真。

上述顶真，无论是严式还是宽式，都可称为单蝉式顶真，这是大量的。另有一种双蝉式顶真，形式较单蝉式复杂，比较少见。

⑯门内有径，径欲曲；径转有屏，屏欲小；屏进有阶，阶欲平；阶畔有花，花欲鲜；花外有墙，墙欲低；墙内有松，松欲直；松底有石，石欲怪；石面有亭，亭欲朴；亭后有竹，竹欲疏；竹尽有室，室欲幽；室旁有路，路欲分；路合有桥，桥欲危；桥边有树，树欲高；树阴有草，草欲青；草上有渠，渠欲细；渠引有泉，泉欲瀑；泉去有山，山欲深；山下有屋，屋欲方；屋角有圃，圃欲宽；圃中有鹤，鹤欲舞；鹤舞有客，客不俗；客至有酒，酒欲不却；酒行有醉，醉欲不归。

（林语堂《生活的艺术》）

⑰千株老柏，万节修篁。千株老柏、带雨半空青冉冉；万节修篁，含烟一壑色苍苍。

（明·吴承恩《西游记》）

例⑯是对下句句尾的词分别两次承接顶真，构成双蝉式。例⑰是下句对上句的两个部分分别承接顶真，构成双蝉式。这种双蝉式实际上是顶真与合叙的兼用。

顶真与层递不同。顶真重在形式上的环环相扣，上下两句首尾蝉联是它的基本特征；而层递重在内容上的层层递进，形式上并没有严格要求。但是，有些层递采用了顶真的形式，两种辞格相结合，是层递与顶真的兼用。

⑱我们要造成民主风气，要改变文艺界的作风，首先要改变干部作风；改变干部作风，首先要改变领导干部的作风；改变领导干部的作风，首先要从我们几个人改起。

（周恩来《在文艺工作座谈会和故事片创作会议上的讲话》）

例⑱从内容上看，是从大到小层层递降的倒层递；从形式上看，分别用“改变干部作风”和“改变领导干部作风”作上句尾和下句首，形成顶真格。这是层递与顶真的兼用。

72. 顶　　释

【顶释】 dǐngshì　先概括地描述事物的性质、状态或表达人的总体感受，然后用顶真的形式作进一步的描述或补充说明。

①漓江的水真静啊，静得让你感觉不到它在流动；漓江的水真清啊，清得可以看见江底的沙石；漓江的水真绿啊，绿得仿佛那是一块无瑕的翡翠。

（《桂林山水》中师《语文》第一册）

先说漓江水“静”，并以“静”作蝉联词，通过顶真的方式添加补语，具体描述“静”给人造成的视觉错觉。再写漓江具有“清”、“绿”的特征，以“清”、“绿”作蝉联词，补述清澈的程度，绿的纯度和色度。

②站在附近的岳大壮听到了兵团副司令的夸奖，他脸上、身上都给烟土熏得乌黑，白眼球比平时还白，就是这两只眼睛，笑了。笑得那样陶醉，笑得那样动人。

（刘白羽《第二个太阳》）

由于岳大壮一脸“乌黑”，看不见他的表情，所以只能通过眼睛的动作，判断他“笑了”，再用顶真法，缀上两个补语，细写岳大壮“笑”的神情，揭示出他充满着胜利豪情的内心世界。

从上面的例子，可以看出，顶释必须有两部分，先顶真后释义，前部分概述，给人以总体印象或感受，后部分具体描述，给人以具体印象或

感受。两者缺一不可，互为补充，才能表现出完整的修辞意义。

顶释中常套用其他修辞手法。

③天上没有一颗星，很黑，黑得像乌贼经过的海水。

（台湾·萧白《散戏》）

④松涛滚滚，莽莽苍苍，绿浪拍天。那绿，绿得出奇，绿得浓烈，绿得幽深，绿得寂寞。

（郭宝林《寻寻觅觅蒙山魂》）

例③写黑夜，用“黑”做蝉联词，后面是比喻，“黑得像乌贼经过的海水”，比喻新奇，富于想象力，比“黑得不见五指”之类要脱俗、高明得多。例④释义部分，以“绿得”做提挈语，四句话构成一组排比，多方面突出了“绿”给予人的各种不同的主观感受。

⑤暖风把黄昏越吹越蓝，蓝得露出了星星。

（维维《击壤》）

⑥红绒花，这般媚。媚得让人想看又不敢多看。山哥哥们却说山姑比红绒花还媚，媚得让人不敢多看又想看。

郭爱玲《红绒花·山姑》

例⑤先把抽象的黄昏拟成具体可变的实物，经风一吹渐渐显出了蓝色。再以“蓝”为蝉联词，而后顶真释义。例⑥用顶释的方法写“红绒花”的“媚”和“山姑”的媚，其中写“山姑”又是以“红绒花”为喻体构成强喻后，再顶真、释义的。“媚得让人想看又不敢多看”与“媚得让人不敢多看又想看”两句话又巧妙地构成了序换。

⑦山中间是个盆地，有一条溪随便弯来拐去，比做裂缝也不错。盆地里也没有多少好田好土，贫穷，穷得破缸底一样。残缺不全叫人看着伤心。

（林斤澜《袁相舟》）

释义部分用“破缸底”打比方，把“盆地”的“穷”解说得具体而形象。顶释也可以刻画人物的心理活动，塑造人物形象。

⑧五网六网不见鱼，

心似油煎泪汪汪；

恨鱼儿，鱼儿无踪藏江底；

怨江水，江水东去浪打浪。

（梁如云《湘江夜》）

湘江之夜，渔姑要打一条鱼为罢了官的彭总作一碗鱼汤，但夜深风急，鱼儿潜踪。诗中用两个顶释句，写渔姑此时的“恨”、“怨”之情，从反面突出了人民群众对彭总的深沉、诚挚的热爱之情。

⑨电扇还在头上嗡嗡地狂吹着，吹得头脑发胀，吹得脑子里空洞洞的，什么东西都留不住。

（台湾·王默人《留不住的脚步》）

⑩沉默包含着叹息，叹息隐藏着无尽的悲凉。老康又蠕动着嘴，自我解嘲地苦笑着说，……

（同上）

小说《留不住的脚步》中的人物都是些小职员，他们掌握不住自己的命运，被人们摒弃，事事不如意。例⑨写主人公遭老板无端斥责后，被迫写辞职报告时，烦燥不安的心情。例⑩写另一名小职员老康既同情主人公，又为自己的前程担忧，他的“沉默”与“叹息”正透露出他万般凄苦无奈的心境。

顶释和顶真相联系而又有区别。

顶释中必须包含顶真，而且是先顶真后释义，即前一句末尾的语词要和后一句开头的语词相蝉联。这蝉联词一般是形容词或动词，要对事物性质、状态或感受作总的概括，然后再对蝉联词作进一步的描述、补充，前后两部分，是概括、总述与具体解释或补充说明的关系。而顶真格只表现事物之间的连锁关系，重在前后语句结构链条上的衔接，并能依次一而再，再而三地顶接下去。

73. 回　文

【回文】 huíwén （掛文）刻意追求字序的回绕，使同一语句可顺读，也可倒读。

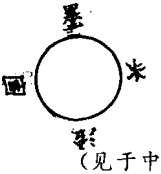
①响水泉中泉水响，
黄金谷里谷金黄。

（回文对）

②马歇尔歇马
华来士来华。

（《人民日报》1988年8月13日海外版）

③



（见于中央工艺美术馆石砚）

例①上联中“响水泉”与“泉水响”构成回文，下联中“黄金谷”倒过来读就是“谷金黄”，也构成回文。例②上下两句皆可顺读，可倒读。上句指美国国务卿马歇尔抗战胜利后到中国，下句指美国副总统华来士抗战时来华访问。例③是刻在石砚上的回文。墨，代指书法、绘画，也泛指文化。这四个字顺读，可读作“墨兴国治”、“兴国治墨”、“国治墨兴”、“治墨兴国”，也可倒读作“墨治国兴”、“治国兴墨”、“国兴墨治”、“兴墨治国”，意思都合情理。

回文形成很早，清代学者朱存孝说，窦滔妻所作《璇玑图》为最著名，全诗841字，回环往复读来，可得诗3752首。

古人常用回文来作文字游戏，玩弄文字技巧。

④客上天然居，居然天上客。
人过大佛寺，寺佛大过人。

⑤

（宋·秦观）

例④是乾隆皇帝以北京一酒楼“天然居”为题作上联，这上联是一句顺读一句倒读的回文。其臣纪晓岚很快以回文形式对出下联，传为佳话。有后人将下联对为“僧游云隐寺，寺隐云游僧”，也是回文，不亚于原下联。例⑤常见于圆形茶壶、茶碗。这五个字可读成“可以清心也”、“以清心也可”、“清心也可以”、“心也可以清”、“也可以清心”五种句子，也是一种回文形式。例⑥是苏东坡写信问出门在外的秦少游近况时，秦少游托人带给苏东坡的一首回文诗谜。苏东坡静思半日，悟出真味，这原是一首回文兼顶真格的七言诗：

⑥赏花归去马如飞，
去马如飞酒力微，
酒力微醒时已暮，
醒时已暮赏花归。

古人常运用回文写成回文对、回文诗、回文词、回文曲等，总称回文体。这些诗、词、曲虽形式各有不同，但多刻意造作，束缚人的思想，并无多大的价值，正如陈望道所言，是“难能而并不怎么可贵的东西”。下面再试举几例，古人玩弄文字技巧，从中可见一斑。

⑦池莲照晓月，
幔锦拂朝风。
风朝拂锦幔，
月晓照莲池。

（南朝齐·王融《春游》）

⑧今古垂芳遗庙立，
拜瞻空恨一奏奸。
森森柏树枝南向，
凛凛忠魂夜北看。
心赤负冤沉狱死，
草青埋骨痛碑残。
钦徽是日无家返，
深怨谗书封蜡丸。

（清·张奕光《岳武穆王墓》）

⑨小姑村映青溪晓，
晓溪青映村姑小。
家是就矶斜，
斜矶就是家。
返舟莲棹远，
远棹莲舟返。
依识旧娃宫，
宫娃旧识依。

（清·毛奇龄《颠倒韵伯兄大千侄阿莲同作》）

⑩难离别情万千，眠孤枕，愁人伴。闲庭小院深，关河传信远，鱼和雁天南，看明月，中肠断。

断肠中，月明看。南天雁，和鱼远。信传河关深，院小庭闲伴，人愁枕孤眠，千万情，别离难。

（《卷帘雁儿落》）

⑪莺啼爱柳弄春晴晓日明。
香莲碧水动风凉夏日长。
游云白雁过南楼一色秋。
红炉满炭积寒冬与雪风。

例⑦是一首五言绝句，将一、二句倒过来念便成三、四句。例⑧是一首七言律诗，将全诗倒过来读，就又是一首七律。例⑨是回文词，每相邻的两句是回文。例⑩是回文曲，将上阕倒过来读，便成下阕，但断句有所变化。例⑪四句诗分别含“春、夏、秋、冬”各一字，每句可拆成一首七绝，每首的三、四句是一、二句的倒读，分别写春、夏、秋、冬四季之景，称之为“四季回文诗”：

莺啼爱柳弄春晴，
柳弄春晴晓日明。
明日晓晴春弄柳，
晴春弄柳爱啼莺。

香莲碧水动风凉，
水动风凉夏日长。
长日夏凉风动水，
凉风动水碧莲香。

游云白雁过南楼，
雁过南楼一色秋。
秋色一楼南过雁，
楼南过雁白云游。

红炉满炭积寒冬，
炭积寒冬与雪风。
风雪与冬寒积炭，
冬雪积炭满炉红。

74. 回　　环

【回环】 huíhuán　词语相同或相似，而排列次序不同的词组或句子紧紧相连，前者的尾是后者的首，后者的尾又是前者的首，有循环往复之趣。

运用回环，不仅能揭示事物间相互依存、相互制约或相互对立的辩证关系，而且使语言有节奏感，增强感染力。

①啊，雷锋就是我们！我们就是雷锋！

（贺敬之《雷锋之歌》）

②几年中，他看过的书越来越多，看过之后能够化繁为简，消化吸收，装在肚子里的书又变薄了。薄了再厚，厚了再薄，消化机能一天比一天亢进。

（理由《高山与平原》）

例①前后两句所用词语完全一样，只是排列次序颠倒过来，前句结尾“我们”成了后句的首，后句的结尾“雷锋”又是前句的首，形成了首尾衔接、循环往复的结构，整齐匀称，有节奏感，而且鲜明深刻地揭示了雷锋与“我们”——一代新青年之间相互依存的辩证关系，雷锋是“我们”的代表，“我们”人人都是雷锋式的好青年。例②用词义相对的“薄”与“厚”巧妙地构成回环式的语句，揭示了吸收书中的营养，化为自己的能力，能力越强，读书越多，而读书越多，能力又越强的深刻道理。

回环分严式与宽式两种。上述两例都是严式回环，其特点是前后两句词语完全相同，但排列次序完全相反。宽式回环不那么严格，词语基本相同，排列相反，可以略有变化。

③“就不想家？”

“家这个东西，就像别在裤腰带上，走到哪里哪里就是家，看你怎么个琢磨法了。”

“你现下怎么琢磨？”

“咳，有家就有国，有国就有家；没家就没国，没国就没家。”

（刘白羽《第二个太阳》）

④多年以后，我才悟出：沈茂先的天真恰恰是一种世故，沈茂先的世故恰恰是一种天真。

（肖克凡《黑砂》）

⑤一边一根柱子，柱子上写着：舞台小世界，世界大舞台。

（王安忆《舞台小世界》）

⑥呵，这难道就是文学和音乐的魅力吗？而这种魅力则是同母亲对我的深沉的母爱不可分割地联结或溶合在一起了。呵，诗，母亲！诗是哺育我的母亲，而母亲是我心中的诗啊！

（屠岸《吟诵的回忆》）

⑦远远的街灯明了，
好像是闪着无数的明星。
天上的明星现了，
好像是点着无数的街灯。

（郭沫若《天上的街市》）

例③是两个严式回环，各自都是词语完全相同而次序完全相反。例④前后两句词语虽完全相同，但排列次序不是完全相反，两个定语“沈茂先的”和“一种”在前后两句中次序并没有颠倒。例⑤排列次序颠倒了，但前句用“小”后句用“大”，词语略有变化，更见准确深刻。例⑥两句间插入一个连词“而”，且两句中的定语不一样。例⑦前句的主干是“街灯好像是明星”，后句主干是“明星好像是街灯”，但中间穿插了一些别的成分。因此，例④⑤⑥⑦都是宽式回环。

回环又可按照词组或句子的项数分为单回环、双回环、三回环以至多回环。

⑧非人磨墨墨磨人

——田蕴章书法艺术之印象

（《北京晚报》1989年8月27日标题）

⑨他们忘却了纪念，纪念忘却了他们。

（鲁迅《头发的故事》）

⑩我在观察中思考，在思考中行进，在行进中观察……啊！太行山，我好像看见了山的灵魂，听到山的脉搏，感到山的一种信息，……

（焦述《踏破铁鞋去寻觅》）

⑪夜读，主要在冬季，冬季夜长，夜长而无梦，无梦而无眠，无眠而无聊，无聊这才促成了我的夜读。

（《南京日报》1987年3月12日》）

例⑧是单回环，即是在一个句子中自成回环。例⑨是两个句子首尾衔接，循环往复，这种回环最多，叫双回环。例⑩是三个句子，首尾蝉联，末句的尾又回复为第一句的首，形成三回环。例⑪是更多项的蝉联往复，形成多回环。三回环和多回环在句与句之间是顶真，所以实质上是回环与顶真的兼用。

由于回环这种语言形式极宜表现辩证的思想，所以古人早已多有运用。

⑫祸兮福倚，福兮祸所伏。

（《老子》）

⑬能行之者未必能言，能言之者未必能行。

（汉·司马迁《史记·孙子吴起列传》）

⑭弟子不必不如师，师不必贤于弟子。

（唐·韩愈《师说》）

⑮味摩诘之诗，诗中有画，画中有诗。

（宋·苏轼《题王维蓝关烟雨图》）

例⑫说明了祸与福相互依存、相互转化的关系。例⑬说明人各有其长，各有其短，难以齐全。例⑭说明了为师与为徒的辩证关系。例⑮揭示了艺术的哲理。这些运用回环构成的语句，都成为至理名言。

有趣的是，在词律中，《调关令》是规定要使用回环手法的一种特殊词牌。如下例：

⑯胡马，胡马，远放燕支山下。跑沙跑雪独嘶，东望西张路迷。迷路，迷路，边草无穷日暮。

（唐·韦应物《调关令》）

回环手法发展至今，越来越多地见于文章标题，这是回环的特点所决定的。

⑰越穷越生，越生越穷

（《中国青年报》）1989年9月15日）

⑱能人教众人，众人变能人

（《中国农民报》1982年6月17日）

⑲国忧民，民爱国

（《湖北日报》1981年7月6日）

⑳人养猪，猪养地，地养人

（《河南日报》1965年1月14日）

例⑰是个严式双回环，极简练醒目地表现了超生多育与贫穷落后之间的恶性循环的关系。例⑱是宽式双回环，表现“能人”与“众人”间的内在的联系，从人数和水平两方面反映出技术队伍的发展。例⑲也是宽式双回环。这是报导曾长期吃返销粮的某地农民踊跃交售粮食的新闻标题，反映了社会主义制度下国家与农民之间不可分割的血肉关系。例⑳是严式三回环，这个标题反映了农业生产内部那种相互关联、协调

发展的关系，既通俗又富哲理性。

回环与顶真比较：首尾用一词语，互相衔接，是它们的共同点。但是，回环的特点是“顶”而后“回”，其轨迹是圆周，可用“甲→乙，乙→甲”来表示；而顶真的特点是“顶”而不“回”，其轨迹是直线，可用“甲→乙，乙→丙”来表示。另外，回环多是整句，而顶真既可是整句，也常常用散句，比回环灵活。如：

重聚后，是狂欢，狂欢后，是细细的喜悦，喜悦后面则是黎明一般的宁静，宁静中，我观察，并感受，一切都与以往不同。

（美国·於梨华《亲情·旧情·友情》）

回环与回文比较：回环与回文在陈望道的《修辞学发凡》中同属回文辞格，本书分为两个辞格。二者虽然都是词语的循环往复的结构形式，但回文强调顺读、倒读皆可，通常是那些刻意追求文字技巧的对联或诗、词、曲中的语句。回环一般不能倒读，极少数如“我为人人，人人为我”这类回环，虽可倒读，但不属于那些刻意追求文字技巧的回文对、回文诗、回文词、回文曲之列。由此看来，古代汉语以单音节词为主，易形成回文，现代汉语中，回文将难以发展；而回环，特别是宽式回环，既保留了回文那种循环往复的形式美，又可以灵活变化，特别是便于表现事物间的辩证关系，很有发展前途。

75. 连　　锁*

【连锁】 liánsuǒ 运用连锁的语句形式，表述三种以上事物或情境之间的“链式反应”关系。

①药补不如食补，食补不如心补，心补远胜于药补。

（《健康之友》1985年12号）

②一人脏换来万人洁，万人洁带来万家欢，万家欢不忘一人脏。

（《青春》1985年4月号）

③看看新片《芙蓉镇》，狗变虎，虎变神，神变虎，虎变狗，狗又变神，神又变狗……

（《新民晚报》1987年4月3日）

④吃了干，干了睡，睡了吃，无聊透了。

（《文艺报》1985年10月5日）

连锁分严式和宽式两种，严式词句完全相同，宽式词句大致相同。连锁格的提出者认为例①是严式，例③、④是宽式。其实，例①的词句并不完全相同，应视为宽式，例④无须考虑最后一个分句"无聊透了"，倒可以视为严式。

连锁还可分字词连锁（如例③、④）、词组连锁（如例①）和句子连锁（如例②）三种。

从上述连锁的定义、示例和分类可以看出，连锁格就是回环格中的三回环或多回环，所以不必单立一格。

76. 序　换

【序换】 xùhuàn 在同一语境中，将已出现的合成词中的语素、或词组中的词、或大词组中包含的小词组调换次序后再使用一次。

序换有时能使字面避免重复，其实质不但没变，而且更加强调是半斤八两，完全一样；但有时却使词或词组的意思发生很大变化，甚至变得意思相反，带有讽刺意义，使人感到巧妙而深刻。

①圆圆的月亮，是汉族补了一串残缺，
　圆圆的月亮，是傣族补了一串缺残。

（陈犀《西昌月》）

②另外有些比较机灵的人，他们不搞"站队"，而一心搞平衡。见到朱老是笑容满面，见到小赵是满面笑容。见到小赵是寒暄一番，见到朱老是一番寒暄。见到朱老是亲切愉快，见到小赵是愉快亲切。半斤八两，不差分毫，小心翼翼，不偏不倚。

（王蒙《加拿大的月亮》）

③喜嫁三“千金”，谢辞金三千

（《湖北日报》1983年10月21日标题）

④冒假的伪劣商品充斥市场，广大消费者深恶痛绝，有关部门积极治理，并取得了一定成效。然而，假冒伪劣商品并未销声匿迹。究其原因，这大概与“治假”中的“假治”有关系。

（《文摘周报·“治假”与“假治”》1989年10月13日）

例①“残缺”和“缺残”是一个词里语素的调换，字面形式变了，但意思丝毫未变。例②三次运用序换手法，都是词组中词的次序调换，实质上强调完全一样，形象地描绘出一些人在处理人际关系时八面玲珑“搞平衡”的特点。例③是说某大队干部嫁出三个女儿（三“千金”），每个婆家原准备的彩礼都有千元之多（金三千），但都被一一谢绝了。这里巧妙地运用序换写成标题，就比“×××嫁女不收彩礼”鲜明醒目多了。例④“治假”指治理假冒伪劣商品充斥市场的问题，“假治”指并未认真治理，而是走形式。作者巧用序换，将“治假”与“假治”放在一起，恰成对比，深刻地揭露了“治假”工作中的弊病。

序换一般有语素的序换、词的序换和词组的序换等几种情况。

⑤平凹同妇人游昆明石林，歇坐于观峰亭上，时落日西坠，半天火云，妇人问：

“你说这石林像什么？”平凹说：“林石”。

（贾平凹《平凹同妇人游石林》）

⑥前方吃紧，后方紧吃

（解放前报纸标题）

⑦屡战屡败。这种排列多么令人丧气。

屡败屡战。同样是这四个字，而此时多么庄严、凝重，更富有一种悲壮的气势。

（尹卫星 应克东《汉城又不是洛杉矶》）

⑧酒因春至春归饮，

诗为花开花谢吟。

花谢花开诗屡作，

春归春至酒频斟。

（宋·邵尧夫《暮春吟》）

例⑤是语素的序换，例⑥中的“吃紧”是词，将其语素序换后，构成词组“紧吃”。例⑦中“屡战屡败”与“屡败屡战”，例⑧中“花开花谢”和“花谢花开”、“春至春归”和“春归春至”都是词组的序换。前面例②中“亲切愉快”和“愉快亲切”，则是典型的词的序换了。

上述序换都是前后两部分相互调换次序，而有些序换，形式更灵活。

⑨人有两种习性，一种是喜新厌旧，一种是喜旧厌新。

（陆文夫《〈重放的鲜花〉新版代序》）

⑩树死藤生缠到死，
藤死树生死都缠。

（广东梅县民歌）

⑪“读死书，死读书，读书死”，这三段论法，拿来奉送给现在提倡读经的先生们，我觉得是再好没有的了。

（柳亚子《关于读经问题及其它》）

例⑨和例⑩都是词组中四个词相互调换位置，形成意思相反的两个词组。例⑪是词组中的三个词互相调换次序，形成三个词组，“读死书”是指书本知识死，“死读书”是指读书方法死，“读书死”是指读书效果而言，巧妙深刻。

梁任公《饮冰室合集》里记载：一位学政大人到某县选拔人才，发现生员水平太低，于是在前三名试卷上分别批了一句话：“放狗屁”、“狗放屁”、“放屁狗”。县官诚惶诚恐，问：“卑职斗胆请教大人，不知此三各有何差异？”学政大人说：“怎么没有差异？这第一名还算个人，只是放了一通狗屁；第二名简直成了狗，在那里放屁；第三名最糟，是一条除了放屁之外什么也不会的狗！”这个有趣的故事里，学政大人就是巧用序换作批语，进行讽刺。此例与例⑪有异曲同工之妙。

有些序换，在调换次序的词与词之间加进了一些虚词，可看作宽式序换。

⑫天上有惨白的月亮，满坑绿水飘着月亮的惨白。

（余平夫《我的挣钱梦》）

⑬毫不夸张地说，已经播出的这些国产电视连续剧中的大部分作品，我以为其篇幅至少可压缩百分之二十，其质量反而会有提高。电视剧的遗憾，不在于它是遗憾的艺术，而在于它是艺术的遗憾。

（彭俐《拍片不是抻面》载《北京日报》1988年4月2日）

⑭迂缓绵远的金色沙岸，沉静而又温柔地向大海环抱过去，万顷碧波也温柔而又沉静地环绕过来。

（秦兆阳《海边销魂记》）

例⑫、⑬在调换次序的词与词之间加进助词"的"，例⑭在调换次序的词与词之间有连词"而"和副词"又"。它们都是宽式序换。

序换与回环不同。回环强调词语的紧密相连、首尾衔接和循环往复，而序换只要在一个语境中，并不要求紧密相连；回环的语句中间往往还有其他相同的词语或略有变化的词语，而序换则要求整个次序的调换（个别虚词除外）。

但是，序换和回环又常常结合起来运用，形成序换与回环的兼用。

⑮可此番进藏，为什么如此牵肠挂肚，挂肚牵肠？

（黄宗英《留级生的心愿》）

⑯但此时我有的依然只是岚山情思，书生意气；书生意气，岚山情思啊。

（柯岩《岚山情思》）

⑰因为这里是"植物王国"，张瑞琥给这些产品取了一个响亮的统一名称："王国饮料"，并在那精英的软包装袋上印了一项王冠标志。如今，北至大兴安岭，南临瑞丽江边，除台湾、西藏外的全国各地都能找到这顶"王冠"的踪迹；而且它还正在打向国外，以一年3000吨的订货规模发展着。……张瑞琥的事业正在从"王国饮料"迈向"饮料王国"。

（《光明日报》1989年6月7日）

⑱回头"浪子"又教"浪子"回头

（《冶金报》1984年3月9日文章标题）

例⑮和例⑯既是前后两部分整个调换而成的序换，又是紧密相连、首尾衔接、循环往复的回环，因此这是序换与回环的兼用。例⑰和例⑱固然是词的序换，但如果也可同时看作是宽式单回环，那么就也是序换与回环的兼用了。

77. 微　　殊*

【微殊】 wēishū　语词相同或相似，区别甚微；但含义相反或相关，差异极显。

微殊可以分为四种类型。

①她有男性朋友，但没有男朋友。

（王朔《一半是火焰，一半是海水》）

②人格——

无法用金钱买到，

但可被金钱收买。

（蒋金镛《生活中的哲理》）

③俗话说，百闻不如一见。我却遇到过相反的例子，一见不如百闻。

（理由《弹丸之地》）

④往日不见，一日就好像三年；今日相逢，三年却如同一日。

（郭沫若《棠棣之花》）

例①属于“字数略有增减”类型。“男朋友”只比“男性朋友”少一字，但前者特指女方的恋爱对象。例②属于“词面稍加抽换”的类型。“用金钱买到”和“被金钱收买”仅是主动说法与被动说法，词面稍有变换而已，但前者“无法”，指品质高尚、意志坚强的人不会出卖人格；后者“可(以)”，指情操低下，意志薄弱的人往往容易丧失人格。例③属于“词序小有变化”的类型。用词完全一样，只是“百闻”和“一见”的位置调换一下，意思就恰好相反了。例④属于“几种类型的综合”。“三年”、“一日”，

语序变化,“好像”、“如同”,词面抽换,是第二、三种类型的综合。

微殊格的提出是有其研究价值的,且不说例①与例②两种类型,就拿例③与例④来说,看似回环,却不紧紧相连,看似序换,但调换次序的词与词之间加进了其他词语,因此,它们既非回环又非序换。把它们作为一种新的辞格来研究是有意义的。

但是,微殊格的提出者在所举的例子中有与序换格、回环格交叉的现象。如:

⑤(康大叔)刚进门,便对老栓嚷道:“吃了么?好了么?老栓,就是运气了你!你运气,要不是我信息灵……”。

(鲁迅《药》)

⑥批判的武器当然不能代替武器的批判。

(马克思《〈黑格尔法哲学批判〉导言》)

⑦我的爱人
——爱我的人

(《天津日报》文章标题)

例⑤是序换(宽式),例⑥是序换兼宽式单回环,例⑦则属较为灵活的序换。

另外,微殊格的提出是从主考官给考生写批语“放狗屁”、“狗放屁”、“放屁狗”这则故事说起的,而这个例子正用的是序换格。

因此,微殊格可暂不单立一格,有待进一步研究。

78. 互　文

【互文】 hùwén (互辞 互言 互义 互见 互备 参互 互文相足 文互相备) 在连贯性的语句中,某些词语依据上下文的条件互相补充,合在一起共同表达一个完整的意思,或者说上文里省下了下文出现的词语,下文里省了上文出现的词语,参互成文,合而见义。

①水上有一队一队的鸳鸯穿花戏草,玩的十分安详自在。

（梁容若《我看大明湖》）

②战城南，
死郭北，
野死不葬乌可食。

（《汉乐府·战城南》）

③将军角弓不得控，
都护铁衣冷难著。

（唐·岑参《白雪歌送武判官归京》）

例①意思并非说鸳鸯只在花中穿行，而在草中嬉戏；应理解成鸳鸯既在花草中穿行，也在花草中嬉戏。意思互相补充，合起来理解。例②并非实指在城南作战而死在郭北，这里要参互见义，是说城的四周到处有战争，到处有士卒身亡。例③看似把“将军”、“都护”分开来写，但意思也要合起来理解，是说由于天冷，将军和都护连角弓都拉不开，铠甲也难以披挂。

运用互文既节省了文字，又保存了文意，能使语言明快，结构工整，声韵和谐，节奏优美。

④少妇今春意，
良人昨夜情。

（唐·沈佺期《杂诗》）

⑤予尝求古仁人之心，或异二者之为，何哉？不以物喜，不以己悲；居庙堂之高则忧其民，处江湖之远则忧其君。

（宋·范仲淹《岳阳楼记》）

⑥悍吏之来吾乡，叫嚣乎东西，隳突乎南北，哗然而骇者，虽鸡狗不得宁焉。

（唐·柳宗元《捕蛇者说》）

例④讲少妇只说今春，讲良人只说昨夜，表面上各写一方、一时的思念，实际上“少妇”与“良人”、“今春”与“昨夜”互文，合起来理解意思，说明双方都时时在盼望团聚。这样写语言精炼含蓄而符合节律。例⑤是不以物或喜或悲，不以己或喜或悲的意思，即不因为客观事物的好坏或喜或悲，不因为自己的得失或喜或悲。这样写不但使文字简练不重复，

结构工整，而且与前文的散句、后文的较长的整句配合在一起，显得错落有致，节奏富于变化。例⑥意思是悍吏到处吵闹、骚乱。分写为两句，字面上没有重复，意思上互相补充，渲染了悍吏凶蛮、到处骚扰的气氛，且使句子工整，与前后文的散句相映，显得错综有变。

互文可以处于一个短语或一句话中，也可以是句子之间甚至复句之间形成互文。

⑦奴温婢饱身晏起，
致兹快活良有因。

（唐·白居易《雪中晏起》）

⑧烟笼寒水月笼沙，
夜泊秦淮近酒家。

（唐·杜牧《泊秦淮》）

⑨千村薜荔人遗矢，
万户萧疏鬼唱歌。

（毛泽东《送瘟神》）

⑩公入而赋，大隧之中，其乐也融融；姜出而赋，大隧之外，其乐也融融。

（《左传·隐公元年》）

例⑦"奴温婢饱"是"奴婢温，奴婢饱"的意思，是一个短语中的互文。例⑧是一句之中自成互文，意思是青烟笼罩着寒水和沙滩，月光笼罩着沙滩和寒水。有人说这是变式互文，即只是一方补充说明另一方，而不是双方互相补充。变式互文固然可能存在，但认为此句中青烟只笼罩寒水而不笼罩沙滩，所以是变式互文，这种看法似可商榷。例⑨是两个句子并列构成互文，是说千村万户荒凉冷落，血吸虫病人病情危重，死亡很多。例⑩是两个复句构成的互文，把公和姜都进入大隧，在隧中相见，又都出了大隧，两人都乐滋滋的情态刻画得鲜明而生动。

互文和对偶有区别，也有联系。从内容上看，对偶表示相同相近、相反相对或相关相承的关系，而互文是表示相合的关系，这是二者的区别。从形式上看，互文一般易形成整齐的结构，往往与对偶结合，成为兼格，前面举的例子，除例⑧之外，都既是互文，又是对偶，从对偶的角度

看，就是“互对”，可参看对偶格。

互文与合叙不同。互文是参互成文，合而见义，字面上分开，意思上相加。如“开我东阁门，坐我西阁床”(《木兰辞》)，意思是“开我东阁西阁门，坐我东阁西阁床”，写木兰回家后的欢乐。合叙是先合而说之，再分别接下去陈述，字面不省，意思都在字面上，不必补充理解。如“古之贤君，温饱而能知民饥寒”(《书抄》)，是说古之贤君“温”而能知民“寒”，“饱”而能知民“饥”。

79. 错　综

【错综】 cuòzōng (拗语)故意使用参差交错的语句，使句型错综变化，整散相间。

使用错综的方法，是为了避免语句的单调呆板，收到同中见异的效果。

①酿泉为酒，泉香而酒洌。

(宋·欧阳修《醉翁亭记》)

②大漠以北北非好，
大漠以南好西非。

(陈毅《寄耿星》)

③我喜欢月夜的海，星夜的海，狂风怒涛的海，清晨晓雾的海，落照里几点遥远的白帆掩映着一望无尽的金碧的海。

(宗白华《我和诗》)

④瞅毛病，可以促使我们自强不息；
照阴暗面，可以鞭策我们加强薄弱环节；
而提问题，不恰好可以让我们多动脑筋吗？

(马瑞芳《“我们心中都有一个孙悟空”》)

例①文意应是“泉洌而酒香”，作者故意将“洌”与“香”位置互换，以收到新奇的效果。例②前句是“北非好”，后句改写为偏正结构“好西

非”，使语句交错有变，避免了句式上的重复雷同。例③前四个词组短而整齐，最后一个词组长而复杂，使整个句子中的结构长短不齐，伸缩变化。例④前两个句子是陈述句，为避免单调重复，第三个句子改用反问句式，造成句型上的变换。

错综可以分为互换（如例①）、错举（如例②）、参差（如例③）和换型（如例④）四类。

〖**互换**〗 hùhuàn （旋造）将上下文中相对应的词语互换位置。

⑤孔子曰：“求！君子疾夫舍曰‘欲之’而必为之辞。丘也闻有国有家者，不患寡而患不均，不患贫而患不安。”

（《论语·季氏将伐颛臾》）

⑥“娃儿，娃儿，过爹这儿来，替爹喝一杯……算你好运气，回来就赶上吃酒喝肉……”

人们发现了他。他爹也发现了他，舌头打着卷儿，又惊又喜，话语颠倒，醉态可掬。

（哲夫《长牙齿的土地》）

例⑤意思是“不患贫而患不均，不患寡而患不安”，“寡”与“贫”互换。例②是“喝酒吃肉”中“酒”和“肉”的互换，作者故意运用互换的手法生动地表现“爹”的醉态。这是特定语境中为刻画人物所用，一般情况下这样说法是错的。

〖**错举**〗 cuòjǔ 把下文的词句顺序同上文交错开来。

⑦猿猕猴错木据水，则不若鱼鳖；历险乘危，则骐骥不如狐狸。

（《战国策·齐策》）

⑧叹浩渺，嘉空阔，赞大观。

指风帆，数渔汀，白鸟穿。

（陈毅《昆明游西山》）

例⑦第二句词语的顺序若与第一句相同，应该是“骐骥历险乘危，则不如狐狸”，作者故意改变词语顺序，使上下文交错开来，显得活泼，富于变化。例⑧前五个小句都是动宾结构，最后一句“白鸟穿”变成主谓结构，交换词序而使文字有错落变化的美感，且读来押韵上口。

有人把这种错举叫做“交蹉语次”，或称为“组织的错综”。

〖**参差**〗 cēncī 句子或词组长短配用，以避呆板。

⑨话不多，暖人；酒不多，醉人；罐头不多，却留下永久甜甜的回忆。

（肖复兴《姜昆“走麦城”》）

⑩这便是我们故乡的小燕子，可爱的活泼的小燕子，曾使几多的孩子们欢呼着，注意着，沉醉着，曾使几多的农人们、市民们忧戚着，或舒怀的指点着，且曾平添了几多的春色、几多的生趣于我们的春天的小燕子！

（郑振铎《海燕》）

例⑨前两句简洁明快，第三句句式变得复杂，语气变得舒缓。例⑩三个以“小燕子”为中心词的偏正结构的宾语中，前两个简而短，第三个变得长而复杂，“小燕子”的定语是三个并列关系的复杂词组，大大增加了容量，丰富了内容。

有人把这种参差叫做“伸缩文身”。

〖**换型**〗 huànxíng 不同句型在表述中交错使用。

⑪看不到花，却嗅到花香；看不见鸟，耳畔却不断交响乐的奏鸣。

（叶蔚林《菇母山风情》）

⑫千年的铁树开了花，
　万年的盘石把身翻。

（贺敬之 丁毅《白毛女》）

⑬我替山坡起了个名字，叫幸福的阶梯，山路被我唤做空中走廊！

（李乐薇《我的空中楼阁》）

⑭云云在小城里做买卖，一副山货担子伴着她。伴着云云的，还有恐惧，还有眼泪。

（燕治国《小城》）

例⑪两个分句前半部分形式相同，后半部分却不同：第一句是直接陈述，第二句改用比喻句，显得生动不呆板。例⑫下句如果与上句句型相同，是“翻了身”，现在改为把字句的形式以避免句型的重复。例⑬前

句是主动语气的陈述句，后句换用被动句，灵活多变的句式与活泼欢快的内容相合。例⑭前句中伴着云云的“山货担”做主语，后句中伴着云云的“恐惧”和“眼泪”改作了宾语。

有人把这种换型称作“变化句式”。

错综与互文不同。错综中的互换一类，形式上像互文，实质上不同。互换的词语只是交换位置，语意并不扩大。如“泉香而酒洌”就是“泉洌而酒香”的意思，不能理解为“泉洌而香，酒也洌而香”。互文是参互见义，词义包含对方，都扩大了。如“奴温婢饱”就是“奴婢温，奴婢饱”的意思。

错综与变文也不同。两者虽然都是讲行文的变化，但错综强调语序、句子长短及句型的变化，而变文强调的是词语的义同（或义近）而词面不同。有人将变文中的避复一类，归入错综格，称为“抽换词面”，本书未采用此说。

80. 倒　　装

【倒装】 daòzhuāng　故意颠倒句子成分或分句的句序。

语序是汉语最重要的语法手段。不同的语序排列会引起结构、意义和表达效果的变化。倒装实际上正是作者有意改变语序，即将语句的一般次序改为特殊次序，借语法的手段达到修辞的目的，以便协调音律，错综句法，突出重点。所以，倒装既与语法有关，又与修辞有关。完全将倒装排除在修辞之外，是欠妥的。

倒装的现象在旧体诗词中就已常见：

① 半壁东南三楚雄，刘郎死去霸图空。
尚余遗业艰难甚，谁与斯人慷慨同。
塞上秋风悲战马，神州落日泣哀鸿。
几时痛饮黄龙酒，横揽江流一奠公。
（孙中山《挽刘道一》，引自雍文华《谁与斯人慷慨同》）

例①中“艰难甚”、“慷慨同”、“悲战马”、“泣哀鸿”均为倒装。显然如果不颠倒词序，就无法合辙押韵，也就失去了抑扬顿挫的音乐美，不成其为七律了。

在现代新诗中，倒装的现象也不难见到：

②强劲的东风啊，掀起我珍藏在心灵的记忆！
那一天啊那天，天安门广场降下了半旗。
停止了，震荡祖国大地的那颗跳动的心脏。
停止了，吹开祖国大地的那腔温暖的呼吸……

（任卫新《飘扬吧，庄严的五星红旗献给敬爱的周总理》）

例②如果三、四两句不主谓颠倒，不仅全篇韵脚不协，而且影响了整体的均衡与和谐，难以突出周总理逝世的巨大不幸，减弱了悲痛深沉的诗情。

倒装在其他文学样式和一般的文章中也经常出现。

③橹是停了摇，人则昂立船头，眼仍牵住江面，死死的，疼了。

（阿路《溪村印象》）

④我不能脱离自己的故土，不论它是多么贫瘠；我不能脱离自己的人民，不论他们有多么沉重的、需要抛弃的因袭的重负。离开了它和他们，我的生命和文学，就会枯萎。

（冯德英《小说家言》）

例③中作者故意把状语“死死的”移到中心词之后，例④中作者故意把偏句“不论它是多么贫瘠”、“不论他们有多么沉重的、需要抛弃的因袭的重负”放在正句之后，显然是为了着重强调后置部分所表达的意思，给读者以鲜明、深刻的印象。

倒装可以分为以下几种类型：

一、主谓倒装　将谓语故意提到主语之前以强调谓语所表达的内容。

⑤对照与此，却不能不对新站长的作为发出内心的感叹：难哉，勇哉，第一人！

（育葵《难哉，勇哉，第一人》）

⑥鼓动吧！风！咆哮吧，雷！闪耀吧，电！把一切沉睡在黑暗怀里的东西，毁灭，毁灭，毁灭呀！

（郭沫若《屈原·雷电颂》）

⑦阳光灿烂，天气燥热，我们正焦渴清凉时，忽然，穿着花花绿绿的“阔依乃兑”连衣裙和头戴“朵帕”小花帽的维吾尔族老大娘和姑娘来了，她们捧着盛满葡萄的托盆，抱着装满坎儿水的大葫芦，笑脸盈盈地送到我们的面前。好不热情，好不动人呢。甜呵，那马奶葡萄，无核白葡萄，红葡萄；甜呵，那天山化雪潜藏戈壁下渗滤得清莹莹的泉水；甜呵，那维吾尔族母亲们的感情！

（凌渡《今生今世，圆月朗照你我》）

二、定语后置　把定语故意放到中心词之后，以突出定语所表达的内容。

⑧小栾受伤的消息传来了，各国运动员也围拢过来。

无数的眼睛——黝黑的，碧蓝的，金黄的，同时辐集到那手臂上，各种语言发出同声惊叹。

（理由《扬眉剑出鞘》）

⑨在他们有了办法之后，我们忍辱求全的设法不教青年们受到最大的损失——肉体上的，精神上的。

（老舍《四世同堂》）

⑩各样的桃子，圆的，扁的，血红的，全绿的，浅绿而带一条红背椎的，硬的，软的，大而多水的和小而脆的，都来自北平，给人们的眼、鼻、口以享受。

（同上）

三、状语后置　把状语故意放到中心词之后，以突出状语所表达的内容。

⑪雾，拂面流过，静静地，凉凉地，大地蒸腾，烟岚迷漫。

（江陵《追寻》）

⑫你朝送行的亲友挥挥手，缓缓地。

你朝中国挥挥手，缓缓地。

（蒋巍《东方之谜》）

⑬想起来就记得，吴雅老的笔和舌，是尽过很大的任务的，清末的时候，五四的时候，北伐的时候，清党的时候，清党以后还是闹不清白的时候。

（鲁迅《伪自由书·新药》）

四、称呼移后　把本应在前面的称呼故意放到句子之后。

⑭你说，告别北方我们栽了一棵树。我说，冬天的相思树结不出红豆。四只眼睛无望地相望着，茫茫人海中，我们相识并相知，我们相知却不能相许。这就是我和你的故事，靓红。

（海南《北方也有相思树》）

⑮"想哈哩，少将？"我问。良久，他说："打靶。"又良久，说："我没练过。"闷闷不乐地。

（乔瑜《少将》）

⑯我知道，妈妈。许多日子里，你默默徘徊在静静的夜里，任孤独的路灯、孤独的月亮创造你的孤影，变幻你的孤影。我知道。

（张为《中秋遥寄》）

⑰散乱在地上的石料，身上还凸现着铁锤的印痕，东一块，西一块委屈地躺着，宛如一只只眼睛，宛如一串串省略号。你想说什么呢，圆明园？

（李一安《北京随感·圆明园》）

五、偏正互换　把偏句特意放到正句之后，以突出偏句所表达的内容。

⑱我的心灵活泼而轻快的，虽然我是那样吃力地蹒跚在风暴里。

（杨朔《征尘》）

⑲老王现在哪里？我不知道。二十多年过去，他该是很老迈了吧，假如他还活着的话。

（夏云《配合》）

⑳我亦愿意赞美这神奇的宇宙，
　我亦愿意忘却了人间有忧愁，
　像一只没挂累的梅花雀，

清朝上歌唱，黄昏时跳跃——
假如她清风似的常在我的左右！

（徐志摩《呻吟语》）

㉑这时候，人要分辨出何处是水，何处是天，很不容易，因为只能够看见光亮的一片。

（巴金《海上的日出》）

此外，还有一类句子，比较特殊，如：

艺术形式不是一个简单的形式问题，作家必须重视它。作为表现形式之一的文学语言是这样，其他与形式有关的如结构、场景、格调等等，也同样是这样，我以为。

（唐弢《关于艺术形式》）

那鹰，会没有高山反应吗？高山反应真不是滋味，恶心、胸闷、头疼。兴许女人怀上孩子的反应就是这样吧？我说。

（张际会《孤独的高原》）

她捋了捋我的差不多要盖住耳轮的长发，忽然傻怔怔地看了我好一阵："你不年轻了，不是小伙子了！"她说。

（晓宫《被切开的苹果与视觉》）

以上三例，从形式上看，"我以为"和"我说"、"她说"似有相同之处。但从语感和标点上看，第一例有一定的修辞意味，将"我以为"倒置于宾语的后面，起了强调的作用；而第二第三例，"我说"、"她说"均已单独成句，应排除在倒装之外。

81. 设　　问

【设问】 shèwèn （设疑 提问）故作无疑之问，然后自己回答；或者故作疑问，自己不答，让对方或读者去思索体会。

①话说到这里，大家自然要问：照你这样说，那么，什么是正确的治学态度呢？这个问题对于今天的我们是很容易回答的。答案就

是“实事求是”四个大字。

（马南邨《学问不可穿凿》）

②古人对于所谓“杂家”的划分本来是不合理的。班固在《汉书》《艺文志》中把春秋战国的诸子百家，很勉强地分为“九流”，……以儒家正统的孔子和孟子的传世之作为例，其内容难道不也是杂七杂八地包罗万象的吗？为什么班固不把孔孟之书列入杂家呢？

（马南邨《欢迎“杂家”》）

例①是故作疑问，自问自答。例②是故作疑问，问而不答，答案读者自己思考就能体会到。

设问的作用是提请注意，启思引想。如例①用设问提出什么是正确的治学态度这个问题，先引起读者的注意和思考，下面的回答就使读者印象鲜明而深刻。例②在开头提出论点后，以班固的《汉书》为例进行说明，结尾一句设问是故作疑问，读者自会思考，结论就是开头的论点，不必再作答案。

设问的修辞作用和设问的位置有着密切的关系。标题或开头用设问，可以统摄全篇，帮助读者领会文章的中心；结尾用设问，或引出自答，或引读者回答，都可以起到总结全文的作用；段与段间用设问，往往有承上启下的作用；而段落中用设问，可以使段内层次分明，结构紧凑。

③中国人失掉自信力了吗？

（鲁迅杂文标题）

④谁是我们的敌人？谁是我们的朋友？这个问题是革命的首要问题。

（毛泽东《中国社会各阶级的分析》）

⑤一夫作难而七庙隳；身死人手，为天下笑者，何也？仁义不施，而攻守之势异也。

（汉·贾谊《过秦论》）

⑥如何选择最恰当的、完全可靠的材料，对于一篇文章的成败，常常有很重要的关系。

对文章中使用的材料有什么要求呢？

……

（施东向《义理·考据·辞章》）

⑦说明可以很简，简到一两句话，也可以说得比较详细一些。总的来说，总是简要的。说明什么呢？首先说明调查的目的……

（张志公《学习写调查报告》）

例③用设问作标题，鲜明醒目，文章的主旨是什么，一目了然。例④开篇连用两个设问，统领全文，点明全文的中心议题，下文就着重从各阶级的经济地位和政治态度方面，分析敌我友，回答开头这两个问题。例⑤是《过秦论》的结尾，一个设问句引出了全文的结论，指出了秦王朝覆灭的根本原因。例⑥的设问处于两段之间，上段指出选材很重要，接着用这个设问引出下段，进一步讲选材的要求，设问起到了承上启下的纽带作用。这种段间起过渡作用的设问，有时可放在上段的段尾或下段的段首，不一定独立成段。例⑦是一段文字里面的设问。前一层讲调查报告的说明应简要，后一层讲调查报告的说明应包括的内容，中间用一个设问句，使前后两个层次极其清晰，结构非常严谨。

有时，设问还可以起到更好地表现人物思想感情的作用。

⑧啊，是谁，这么早就把那亲爱的令人心醉的乡音送到我的耳畔？是谁，这么早就用他那吱吱哇的悦耳动听的音乐唤来了玫瑰色的黎明？是一个青年人。

（峻青《乡音》）

⑨团泊洼，团泊洼，
你真是这样静静的吗？
全世界都在喧腾，
哪里没有雷霆怒吼，风云变化？

（郭小川《团泊洼的秋天》）

例⑧连用两个设问表达了对这个青年人的由衷的赞美。例⑨对设问没有作答，但设问句本身已包含着诗人内心心潮澎湃，并非真正平静的思想感情。这样的设问往往用于诗歌、散文等文学作品中。

设问分为自问自答和只问不答两种形式。而在自问自答中，又有一问一答、数问一答和连问连答等几种情况；在只问不答时，也可以连问

不答。

⑩为什么我的眼里常含泪水？
因为我对这土地爱得深沉……

（艾青《我爱这土地》）

⑪社会主义国家的少年儿童，为什么有时放下安适的家庭生活不过，要去露宿野营？放下现成的桥梁不走，要去搭索桥过河？在家庭里温习功课的时候，有时要放下香喷喷的苹果不吃，要到习题做完时才吃，藉以锻炼意志？我想，如果不培养这种坚强的性格和不怕困难的精神，那么，即使懂得很多好道理，也未必真有用处，因为正像温室的花卉似的，是经不起日晒雨淋的。

（秦牧《人和狼的搏斗》）

⑫理论从哪里来？从事例中来。事例从哪里来？从观察中来，从实验中来。

（吕叔湘《谈谈虚和实的关系》）

⑬人的正确思想是从哪里来的？是从天上掉下来的吗？不是。是自己头脑里固有的吗？不是。人的正确思想，只能从社会实践中来，只能从社会的生产斗争、阶级斗争和科学实验这三项实践中来。

（毛泽东《人的正确思想是从哪里来的？》）

⑭什么是不徇私情？什么是忘我献身？做了四年文物局长的杨宣林仿佛在今夜，才悟出了它的一点儿真谛……

（魏润身《私情》）

例⑩是一问一答。例⑪是数问一答。例⑫是连问连答。例⑬也是连问连答，但第一个设问后面，没有直接回答，而是在后面接着的两问两答之后，再作回答，这是一种灵活变通的形式。例⑭是连续两问，只问不答。这是小说的结尾。答案在前面的故事中，让读者掩卷之后去深思。

设问与一般疑问句不同。疑问句是语法范畴的概念，是有疑而问；设问是无疑而问，用故作疑问的形式达到某种修辞作用，所以是一种修辞手段。

82. 诱　　问*

【诱问】 yòuwèn 对话，特别是辩论中，诱导对方思路归同的提问。

诱问要用得好须统观对话全局，把握辩论进程，设计的问题，“隐蔽”巧妙，才能诱使对方入壳。

战国时代游说之士，常常运用诱问的手段。

①梁惠王曰：“寡人愿安承教。”

孟子对曰：“杀人以梃与刃，有以异乎？”

曰：“无以异也。”

“以刃与政，有以异乎？”

曰：“无以异也。”

曰：“庖有肥肉，厩有肥马，民有饥色，野有饿莩，此率兽而食人也。兽相食，且人恶之；为民父母，行政，不免于率兽而食人，恶在其为民父母也？仲尼曰：‘始作俑者，其无后乎！’为其象人而用之也。如之何其使斯民饥而死也？”

（《孟子·梁惠王上》）

②梁惠王曰：“寡人之于国也，尽心焉耳矣。河内凶，则移其民于河东，移其粟于河内。河东凶亦然。察邻国之政，无如寡人之用心者。邻国之民不加少，寡人之民不加多，何也？”

孟子对曰：“王好战，请以战喻。填然鼓之，兵刃既接，弃甲曳兵而走，或百步而后止，或五十步而后止。以五十步笑百步，则何如？”

曰：“不可，直不百步耳，是亦走也。”

曰：“王如知此，则无望民之多于邻国也。……王无罪岁，斯天下之民至焉。”

（《孟子·梁惠王上》）

例①“杀人以梃与刃，有以异乎？”是诱问，引导梁惠王认识致民于

饿莩，就是以政杀人的道理。例②“以五十步笑百步，则何如？”是诱问，引导梁惠王认识“使民养生丧死无憾”，只要施行王道仁政，“斯天下之民至焉”的道理。

诱问应以坚持真理，尊重事实为前提。

从上述定义和示例可见，诱问是在论辩中使对方认同自己意见的一种手段，从修辞角度看，它是一般的提问，常规的表达方式，能否算作一种积极的修辞格，尚可商榷，故可暂不单立为格。

83. 反　问

【反问】 fǎnwèn （反诘 激问 诘问）用疑问的形式表达确定的意思，不需要回答，答案寓于问语的反面。

反问的作用在于加强语气，表示强烈的感情，以引起深思。

①只要想想，天地是厂房，深谷是车间，幕天席地，群山环拱，世界上哪个地方哪个纺织厂有那样的规模呢？

（吴伯萧《记一辆纺车》）

②中国共产党干了五十八年的革命。五十八年里，新情况，新任务层出不穷。打阶级敌人，打民族敌人，搞土改，搞经济，搞文化，哪一件不是从不会到会的？

（《伟大的转变和重新学习》载《人民日报》1978年12月24日）

③安能摧眉折腰事权贵，使我不得开心颜？

（唐·李白《梦游天姥吟留别》）

④只许一人言，不许众人言，岂不成了“一言堂”么？

（周恩来《在文艺工作座谈会和故事片创作会议上的讲话》）

例①看似问“哪里有”，实际本意就是说世界上没有一个地方一个纺织厂有那样的规模，答案就在问话的反面，无需再回答。这样写能更有力地表现纺线规模之大，更好地表达作者的赞美之情。例②答案是肯

定的：哪一件都是从不会到会的。这个答案就寓于问话中。反问比直述强调的力量更强。例③“安”是“怎么”的意思，这里表反问语气，答案就是绝不向权贵低头弯腰，突出了诗人刚直不阿的高洁品质。例④“岂”是“难道”的意思，答案在问话的反面，是肯定的，即“成了‘一言堂’”，反问的形式加强了语气，表达了反对“一言堂”的鲜明态度。

反问有两种基本形式：一种是以肯定形式表示否定意思，如例①、③；一种是以否定形式表示肯定意思，如例②、④。在此基础上，还有单提式、对举式和连用的形式等。

⑤对上，割国家的肉，对下，刮农民的皮，而且还是明打明敲的，难道这是干社会主义吗？

（凤章《路的呼喊》）

⑥不看实际情形，死守着呆板的旧形式、旧习惯，这种现象，不是也应该加以改革吗？

（毛泽东《反对党八股》）

⑦老头子哪里知道还有划价一说。从集贸市场回来，儿子忍不住教训他：“我说爸爸，您难道是外星人，不是住在咱这地球上食人间烟火的！”

（王炎《凡人的一生》）

⑧世界上还有比这样在敌人的刑场上举行的婚礼更动人的吗？古今中外，有谁看见过像陈铁军烈士那样在临刑前用敌人的枪声来为自己的婚礼庆贺的女英雄吗？

（齐怀《刑场上的婚礼》）

⑨谁说孩子来到人间只是索取？孩子带给这个世界的幸福难道不比他们得到的要更多一些吗？

（黑瑛《我与新生者之间》）

⑩难道两位老科学家不懂得尖端的价值？难道两位老科学家不热爱、不向往科学界的金牌？难道他们不懂得“尖端”对“基础”的积极作用？我相信，如果我们现在有一、两个或几个金牌，他们也会高兴得老泪纵横的。他们否定的不是“金牌”，否定的是“30”个！

（林炎志《“阳春白雪”与“下里巴人”》）

⑪她像一只轻捷的小鸟一样飞走了。她刚一走，我就后悔了。晚上，校门口——这不明明是约会吗？万一让人看见还讲得清楚？她怎么敢？到底有什么事呢？对了，一定是想把那张照片要回去，可是照片还在吕宏手里哩！

（张抗抗《夏》）

例⑤是以肯定形式表否定意思的单提式反问。例⑥是以否定形式表肯定意思的单提式反问。例⑦是肯定形式与否定形式同时对举，出现在一个反问句中，叫对举式反问，答案是"您不是外星人，是住在咱这地球上食人间烟火的"。例⑧是两个肯定形式的反问连用。例⑨是一个肯定形式与一个否定形式的反问连用。例⑩是三个否定形式的反问连用。例⑪第一个反问句是否定形式，第二个反问句是肯定形式。特别要注意的是，第三、四个问句只是一般疑问句，而不是反问句。

反问与设问不同于一般疑问句，它们都是无疑而问。但反问与设问又有区别。一是反问明确地表示肯定或否定的意思，寓答于问，有问无须答；而设问须是有问有答，或自问自答，或问而让对方、读者思考答案。二是反问的作用在于加强语气，激发感情，常用于句段的结尾；而设问的作用在于先提出问题，引起注意，启发思考，常用于句群、段落或篇章文字的开头。三是反问句因为是问话语气，句末可用问号，但意思是明确的，且感情较强烈，所以句末也可以用叹号；而设问本身不包含答案，所以句末必须用问号。

84. 正　　问

【正问】 zhèngwèn　明知故问，无需回答，答案寓于问句的正面。正问能使语言变得委婉含蓄，起到言有尽而意无穷的作用。

①但是从那时起，每逢春节，我就想起那盏小桔灯。十三年过去了，那小姑娘的爸爸一定早回来了。她妈妈也一定好了吧？因为我们"大家"都"好"了。

（冰心《小桔灯》）

②“另一件是，孙楷第曾经对我讲过，他手中有一本《聊斋杂记》，是蒲松龄记载的生活素材，有一部分就是讲了《醒世姻缘传》的原型。”

“那材料现在哪里？”我急不可待地问。

“文化大革命丢失了。”吴先生叹息，“你不是要搞清作者吗？你就用我对你讲的这些佐证写文章，特别可以提上孙楷第这个证明。这总是最有说服力的例证吧？孙楷第不会说谎吧？吴组缃不会说谎吧？”

（马瑞芳《偶遇吴组缃教授》）

③有人以为乞丐是社会的寄生虫，话并不错，不过在寄生虫这一门里，白胖的多得是，一时怕数不到他罢？

（梁实秋《乞丐》）

例①从上下文情况看，这里似乎是问话，实际并非有疑，答案就在问句的正面，即“妈妈也一定好了”。用正问形式不仅与前一句形式上有区别，显得有变化，且更能表现作者对小姑娘的妈妈无限关怀惦念之情。例②连续三个正问，意思是肯定的，即“这是最有说服力的例证，孙楷第不会说谎，吴组缃不会说谎”。用正问的形式，语气显得委婉而不咄咄逼人，容对方有考虑的余地。例③问句本身并无疑问，就是一时数不到乞丐的意思，与上文连在一起，含蓄地讽刺了那些“白胖的”坐享其成、养尊处优者。

正问格常用“莫非”、“大概”、“也许”一类表推测、揣度语气的词语，以增强委婉、幽默、含蓄的语意。

④刚才，秦震走进屋来，发现紫丁香，不免目光为之一亮，唇边掠过一抹微笑：啊，紫丁香，西方人说紫丁香是象征幸福的花，莫非我有好运降临？

（刘白羽《第二个太阳》）

⑤有一天，我忽然接到一本书，是布面装订的素园翻译的《外套》。我一看明白，就打了一个寒噤：这明明是他送给我的一个纪念品，莫非他已经自觉了生命的期限了么？

（鲁迅《忆韦素园居》）

⑥把一向捏得紧紧的手稍微放宽一点，谁说不应该？缴租，还债，解会钱，大概能够对付过去吧？对付过去之外，大概还有得多余吧？在这样的心境之下，还有些人甚至想买一个热水瓶。

（叶圣陶《多收了三五斗》）

⑦吃鲜荔枝蜜，倒是时候。有人也许没听说这希罕物儿吧？

（杨朔《荔枝蜜》）

例④和例⑤中，“莫非”不是表反问，而是表示揣度，以使语气委婉舒缓些。答案均在问话的正面，例④是说“我将有好运降临”，例⑤是说“他已经自觉了生命的期限”。例⑥连续两个正问，都用了表示推测的词“大概”，以留有余地，而意思是肯定的。例⑦意思是说“有人没听说这希罕物儿”，加上“也许”，写成正问形式，就使语气婉转了。

由于正问是无疑而问，答案又寓于其中，所以句末可以用句号或感叹号。

⑧现在不知他唯一的女儿景况如何？倘在上学，中学已该毕业了罢。

（鲁迅《范爱农》）

⑨因为对西湖的印象究竟只是浮光掠影，这篇小文很可能是鞋匠的议论，然而心到神知，想西湖不会怪我唐突罢。

（宗璞《西湖漫笔》）

例⑧和例⑨都是形似问而实非有疑，答案即在问话的正面，前者是“中学已该毕业了”，后者是“西湖不会怪我唐突”，句末都用的句号。

正问与设问、反问比较，既有相同点，又有区别。它们都是以疑问语气为基础的，但又都是无疑而问，明知故问，答案都是明确的，这是它们的相同点。它们的区别在于：设问是问后再答或留待对方、读者去答，反问是问中有答，答案在问题的反面，正问虽然也是问中有答，但答案就在问题的正面，从这个意义上看，反问和正问恰是相反的一对修辞格。

张弓将设问分为“正问”和“反问”两种，其“正问”就是本书的设问格，与这里所说的正问格并非同一辞格。

85. 奇　问

【奇问】 qíwèn 无须也无法回答的奇特问题。

①倏忽间，万斛溪水，却冲云破雾而出。九曲溪，武夷山的画廊，是自天外飘来的么？

（沈世豪《武夷三章》）

②歌声在草尖上飘荡，歌声飘向远方。

悠悠勒勒车哟，你载着他俩多少歌声，多少欢笑，多少艰辛，多少酸楚？

（徐福铎《勒勒车上的大兵》）

③谁在这桔林里，
遗下万千火种？
真担心遍山坡，
烧个烈火熊熊。

（沙白《洞庭秋声赋·洞庭红》）

④泉自几时冷起？
峰从何处飞来？

（杭州飞来峰冷泉亭楹联）

例①、②、③、④提出的问题不是一般的疑问，并不要别人回答，甚至说写者自己也不想回答，也回答不出。例①问九曲溪是否是自天外飘来的，并非要作回答，而是形象地描绘了溪水从高山云端流下的奇景，表达了作者对自然奇观的惊叹。例②向勒勒车发问，固然得不到回答，也无须回答，只是运用奇问形式，感叹“他俩”在勒勒车上度过了数不清的欢乐与辛酸的时光。例③将遍山红橘比做“火种”，再以奇问形式表达作者对美景的惊叹之情。例④由泉名与峰名发问，并不知其所以然，无法回答，以此做楹联，意味隽永，情趣盎然。

从上面几例可以看出，奇问的作用在于使文字生动别致，富有情

趣。问虽奇绝，并不荒唐，反而能恰当地表达说写者的思想感情。古代诗词曲中常用这种修辞方法，造成诗的意境。

⑤谁家玉笛暗飞声？
散入春风满洛城。
此夜曲中闻折柳，
何人不起故园情！

（唐·李白《春夜洛城闻笛》）

⑥双飞燕子几时回？
夹岸桃花蘸水开。
春雨断桥人不度，
小舟撑出柳阴来。

（宋·徐俯《春游湖》）

⑦楼外垂杨千万缕，少住春还去。犹自风前飘柳絮，随春且看归何处？

（宋·朱淑真《蝶恋花·送春》）

⑧为问杜鹃，抵死催归，汝胡不归？似辽东白鹤，尚寻华表；海中玄鸟，犹记乌衣。吴蜀非遥，羽毛自好，合趁东风飞向西。何为者，却身羁荒树，血洒芳枝？

（宋·陈人杰《沁园春·问杜鹃》）

⑨梦回莺啭，乱煞年光遍。人立小庭深院。炷尽沉烟，抛残绣线，凭今春关情似去年？

（明·汤显祖《牡丹亭》）

例⑤全诗写的是在春夜洛城听到笛声飞来，吹的是表现离怨别绪的曲子《折杨柳》，不能不引起听者的思乡之情。用奇问起句，一个“谁”字表现了作者倾耳细听的情态，显然，引起思乡的共鸣的，首先就是诗人自己。例⑥奇问起句，起得突兀，仿佛诗人忽然发现了双飞的燕子，才意识到春天已悄悄地来了。“几时”是向燕子发问，也是对燕子如见老朋友一般的亲切问候，春天不知不觉地来临在诗人心里引起的惊喜之情也就溢于言表。例⑦起句写垂杨“系春”，次句写暮春时节柳絮欲“随春”探看春归何处，借柳絮的口吻发出奇问，表现了女词人丰富的想象力，

也使惜春之情表达得委婉多姿，细腻动人，颇有迂曲之趣。例⑧也是开篇用奇问的手法，质问杜鹃苦苦催促人归，自己为何不归蜀（用战国蜀王杜宇被迫禅位，化为杜鹃，悲鸣“不如归去”，直至啼血的典故），进而第二次质问杜鹃为什么身栖荒树，“啼血溅芳枝”。这里作者借向杜鹃发奇问的形式，暗示杜鹃不归是情不忍归，别有抱负，从而引出下阙，剖明作者要等建立功业之后再回乡归院的心迹。例⑨写女主人公杜丽娘所发的奇问：为什么我对春天的向往之情还象去年一般殷切呢？抒发了伤春怀春，闺愁难遣的情思。

有的古诗，以问语成篇，构思新奇，别有一番韵味。

⑩贺兰山上几株松？
南北东西共几峰？
买得住来今几日？
寻常谁与坐从容？

（宋·王安石《勘会贺兰山主》）

例⑩全诗四句四问，问贺兰山主山上有多少松，多少峰，来了多少日，交游些什么人。这些问题无法回答，也并非需要回答，而是通过问句说明贺兰山主深居遍布青松的群山之中，来了很长时间，很少与外人交往，一位超然脱俗、隐迹山林的隐者形象便活现出来。这些问句，都是奇问。

奇问与设问、反问、正问的关系，见疑离格。

86. 疑　离

【疑离】 yílí （貌离）把浑然一体不可分割的两项或多项故意用“选择问”的形式分而说之。

疑离是诗歌散文中常用的修辞方法。它能掀起感情的波澜，唤起人们深思联想，渲染异乎寻常的气氛，深化诗文的意境。

①我祖籍湖南，生在四川。童年，是个多灾多难的时代，是个颠沛流离的时代，童年的足迹，曾跋涉过大陆许多的省份。如今，再整理我这份千头万绪的乡愁时，竟不知那愁绪的顶端究竟在何处？是湖南？是四川？是长江？是黄河？是丝绸之路，还是故宫北海？沉吟中，这才明白，我的乡愁不在大陆的任何一点上，而在大陆那整片的土地上。

（台湾·琼瑶《剪不断的乡愁——大陆行》）

②尽管我不是一名骑兵，但当我看到“军马退役”的消息时，心中还是涌动着一种难言的感情。或许我的血管中还流着饮马长江边的祖先的血？或许每个人都难以割断往昔与现在的纽带？或许人对逝去了的生命与时代总会存有难舍难分的情绪？

（周惟波《再见了，军马》）

③偏他的手臭，老也不上牌，过了一圈他就有点草鸡。我却打不起精神来，是疲倦？是紧张？是屋子里过于暖和？抑或是一瓶啤酒的作用？我竟一头抢到牌桌上，搅乱了牌阵。

嗤！革委会主任不悦地站了起来。

（朱春雨《陪乐》）

④是云？是雾？是烟？
　裹着苍茫的港湾；
　是烟？是云？是雾？

压着港湾的高山。

（李瑛《哨所鸡啼》）

例①从最后一句可以看出，引起“我”的乡愁的是“大陆那整片的土地”，既是湖南四川，又是长江黄河，也是丝绸之路及故宫北海。作者故意用疑问的语气，选择的形式，令读者随着作者童年的足迹深思回味，感情随之波澜起伏，实际是六项选择，尽选无遗。例②用三个选择问的形式说出了“我”心中那“难言的感情的内涵，三项浑然一体不可分割，故意分而说之，才能表达感情的复杂难言。例③形式上是选择，实际上这四个因素合在一起，正是“我”打不起精神的原因，这样写既表现了“我”勉强陪乐时的心情，又渲染了屋里使人晕眩的气氛。例④两次运用疑离手法，描绘了港湾上空被烟雾云霭笼罩的景象，不平铺直叙，而用选择问的形式，令人感到一种迷离朦胧的诗情画意。

构成疑离的方法，有时是先神合后貌离，有时是先貌离后神合，有时是先神合，后貌离而又神合，也有时在貌离的前后均无神合，由读者自去领会其神合。

⑤它，是她使的第三副球拍，提起前两副球拍，她的心里是什么滋味呢？苦？甜？都有。

（肖复兴《贴深蓝色海绵的球拍》）

⑥沿湖二三十个大小城镇各具风姿，像一串晶莹的珍珠镶嵌在这块镜子的周围。哪颗珍珠更美？是康斯坦茨，还是林道？是路德维希港，还是梅尔斯堡？实在很难说。

（江建国《从亲王到园丁》
载《人民日报》1989年11月12日）

例⑤和例⑥是先貌离后神合。但例⑤说“都有”，“合”得直露。例⑥“合”得含蓄，“很难说”实际是都很美丽的意思。这种含蓄的表述方式更常见。

⑦随着那深重步声的消失，丽清倒在床上，只觉得心意紊乱，不知道是怨？是恨？是思慕？还是忏悔？

（台湾·林海音《蓝色画像》）

⑧我在那纸面上扫了一眼，入目一行铅印的粗体字——“死亡

通知书”，把我吓了一跳，再看底下名字，我心里嗡地一声，两腿发软，一屁股坐在椅子上，胸口堵得出不来气，说不清该可怜谁，是孤独死去的老人，还是孤独地活着的小祥？

（海岩《热血》）

例⑦和例⑧都是先神合后貌离。例⑦说“心意紊乱”，表明后面说的四种心情同时存在。例⑧用“说不清”含蓄地表达了既可怜死去的老人，又可怜活着的小祥的复杂感情。

⑨水几重啊？山几重？
水绕山环桂林城……

是山城啊？是水城？
都在青山绿水中……

（贺敬之《桂林山水歌》）

例⑨是先已神合，貌离后再一次神合的形式。在提出选择式疑问前，已说明桂林城是个“水绕山环”之城，接着用疑离手法，似乎提出疑问，让人选择，实际从下文的再一次强调可以看出，作者意在突出桂林既是山城，又是水城。

⑩“你要冷静，你负担着深重的战斗任务……”

是嘱咐？是安慰？秦震是在对陈文洪，其实也是对他自己说这些话，他是在努力振作自己。

（刘白羽《第二个太阳》）

⑪“真你个尹文元呀！”山里人不会拥抱，不会握手，只会海骂，“好个狼叼不住的贼兔子！”齐云祥骂了一句，是亲热？是佩服？还是尊敬？

（赵新 继忠 业蓬《神圣之光》）

例⑩和例⑪在选择问式的语句前后并没有表示神合的语句，但是从上下文的意思可以看出，虽然都是选择式的疑问，实际上却是尽选无遗，貌离神合，例⑩秦震的话既是嘱咐，又是安慰，例⑪齐云祥“骂”尹文元，既是亲热，又是佩服，也是尊敬。因此，这两例都是疑离。

疑离与设问、反问、正问、奇问，这五个修辞格可以视为一大类，因

为它们都是问句的形式，都是无疑而问。但是这些辞格的形式、使用的语境和修辞的作用有细微的差别，这在前面对各个辞格的阐释辨析中可以看到。陈望道的《修辞学发凡》中只有设问一格，在设问中还分了提问与激问两种方式，而且指出“修辞学上通常只承认这第二类激问为正式的设问”。本书的设问格就是陈望道说的“提问”，反问格就是“激问”。《修辞学发凡》中还没有涉及正问、奇问、疑离这三个辞格。

87. 撇　　语

【撇语】 piēyǔ （撇除 排除）用否定的形式，或撇除那些易跟主体相混的事物，或作为铺垫，以加强主体所要表达的正面意思。

运用撇语可以使整句或整段的意思表达得更明朗准确、深刻委婉。

①我这题目：《学问之趣味》，并不是要说学问是如何如何的有趣味，只是要说如何如何便会尝得着学问的趣味。

（梁启超《学问之趣味》）

②刚才已经提到，他在黑暗与暴力的进袭中，是一株独立支持的大树，不是向两旁偏倒的小草。

（毛泽东《论鲁迅》）

例①在阐释“题目”的含义时，先用否定形式撇除了一种容易产生的误解，然后提出正面的意思，使读者对“学问之趣味”这个题目有一个明确的理解。例②中，否定形式的撇除在后，从反面形象地补充衬托了前面主体的意思，委婉深刻地表现了鲁迅在斗争中不左右摇摆的革命坚定性。

从上述两例可以看出，撇语在结构形式上有两种基本形式：一种是“不是……是……”，先否定后肯定，意思的重点在后面，有人把它称作“开道式”，另一种是“是……不是……”先肯定后否定，意思的重点在前面，有人把它称作“补注式”。

撇语在上述两种基本形式的基础上可以扩展出多种形式，或将否定、肯定的项数增为多项，或将表否定、肯定的词加以变化。

③夹竹桃不是名贵的花，也不是最美丽的花；但是，对我说来，它却是最值得留恋最值得回忆的花。

（季羡林《夹竹桃》）

④是的，我看见了一个真正的日本，——她不是银座街头夜总会红绿灯光中的日本，不是浅草裸体舞广告上的日本，不是警察派出所门前白牌上写着"二十三日，死——七，伤——一五六"车祸的日本，不是池田统治的日本，不是美军基地镇压的日本，她是一个真正圣洁、庄严的日本。

（刘白羽《樱花》）

⑤走进花港公园，才真正看到了秋天的本色。哦，不是凄凉和萧瑟，不是萎顿和枯黄，而是火的色彩，是壮丽和辉煌——

枫叶正红。

⑥但是我所说的中国革命高潮快要到来，决不是如有些人所谓"有到来之可能"那样完全没有行动意义的、可望而不可即的一种空的东西。它是站在海岸遥望海中已经看得见桅杆尖头了的一只航船，它是立于高山之巅远看东方已见光芒四射喷薄欲出的一轮红日，它是躁动于母腹中的快要成熟了的一个婴儿。

（毛泽东《星星之火，可以燎原》）

例③、④、⑤、⑥都是先否定后肯定的形式，例③是两项否定，例④是四项否定，例⑤是两项否定而后两项肯定，例⑥是一项否定，三项肯定，而且不是构成一句话，而是形成一个句群。

⑦因此我们必须尊重自己的历史，决不能割断历史，但是这种尊重，是给历史以一定的科学的地位，是尊重历史的辩证法的发展，而不是颂古非今，不是赞扬任何封建的毒素。

（毛泽东《新民主主义论》）

例⑦是先肯定后否定的形式，肯定与否定的项数都扩展成两项。

⑧黄甲喜一无烟瘾，二无酒瘾，三无牌瘾，只有书瘾。

（金布光 吴又珠 陶小爱《向我看齐》）

⑨现代化的社会主义强国，靠装，装不出来；靠吹，吹不出来；只能靠实实在在的本领，才能干出来。

（《伟大的转变和重新学习》
载《人民日报》1978年12月24日）

例⑧表否定、肯定的词是“没有”和“有”，例⑨先两次否定，进行撇除，再一次肯定，正面阐述，其表达方式更灵活一些。

撇语常常和比喻结合起来运用。有时，撇语中的一部分运用了比喻，如例⑥的后半部分三项表肯定意的句子就是三个暗喻，把“革命高潮的快要到来”比作了“……的一只航船”，“……的一轮红日”、“……的一个婴儿”。有时，撇语又往往与择喻或回喻兼用，如例②就是撇语与择喻的兼用，它肯定（选择）的项与排除的项都是比喻。下面再举几例说明。

⑩一路从山脚往上爬，细看山景，我觉得挂在眼前的不是五岳独尊的泰山。却像一幅规模惊人的青绿山水画，从下面倒展开来。

（杨朔《泰山极顶》）

⑪竹子（人名）细高挑，脑门很大，不像竹，像向日葵。

（韩冬《杨柳巷的故事》）

⑫工厂的夜，静谧，安宁。那溶溶灯光，溶溶月光，柔和地照着，照着这一对老青年，他们手把手，心贴心，夜夜在辛勤地搓着布带，也辛勤地编织着纯真而高尚的爱。这种爱，不是鲜艳的娇花，不是缥缈的云雾，它是涌动的潜流，深沉博大，充满活力。

（欧阳祖照《布依女儿》）

⑬在那高高的山上，
闪亮着一盏红灯，
那不是闪亮的红灯哟，
那是姑娘火红的纱裙。

（维吾尔族情歌《在那高高的山上》）

⑭站在高山向西看，一条白带绕丛山，不是带，原是新开公路

上岭来。

站在高山往西瞧，朵朵白云山上飘，不是云，原是钻井工房搭山顶。

站在高山往下望，井场流水翻黑浪，不是水，原是原油出闸展翅飞。

（《红旗歌谣·站在高山上》）

例⑩“不是……却像……”是先否定后肯定的撇语，而肯定部分又是一个明喻。例⑪和例⑫都是撇语与择喻的兼用。例⑬和例⑭则是撇语与回喻的兼用。其中例⑬先说出喻体“红灯”，然后用撇语的形式否定喻体“红灯”，引出本体“姑娘火红的纱裙”。例⑭是连续三个撇语兼回喻，使描写生动形象，委婉而有韵味。

必须注意，撇语是用否定形式使正面表达的意思更深刻委婉的一种积极修辞现象，要与正常的“否定——肯定”并用的语言形式区分开来。如：“这是香油吗？”“这不是香油，是菜油。”这是一般表达方式，并无积极的修辞意义，就不是撇语。

88. 补　正

【补正】 bǔzhèng　先提出一种常规的、合乎上文语气的说法，然后加以否定，再从新的角度提出一种形式上与之不同、本质上相一致的说法。

运用补正，能使文章表达得更准确周密，使句意进一步深化，有所跃进，使文意曲折生动，跃宕多姿，富于幽默情趣。

①你想一想吧，大革命失败的白色恐怖，二万五千里长征，泸定桥，夹金山……成千上万，不，上十万，上百万亲密的战友，抛掷了头颅，洒干了热血……

（刘白羽《第二个太阳》）

②一本用马兰纸印刷的《新民主主义论》使他看到了一个新中国和中华民族新文化的远景。他似乎还不能相信这一切是可能实现的。他只觉得内心燃烧起了一股火焰，照亮了他的道路。他不再是没有目的地生活，没有理想地工作了。他虽然还没有能够很好地领会这些经典著作，但是他已经接触到，不，接受了它们了。

（徐迟《祁连山下》）

③假如战争不发生，交涉使公署不撤退，他的官还可以做下去——不，做上去。

（钱钟书《围城》）

例①“成千上万”本是一种常规的说法，作者却用“不”否定，而以“上十万，上百万”进一步说明革命先烈的人数之多，使语意表达得更准确周密。例②先说“接触”，然后否定，再说“接受”，“接受”就不止是接触涉及的意思，而是在此基础上的赞同了，显然，这里运用补正使文意进一步深化了。例③“做下去”是还可以继续做官的意思，与上文一气贯下，但接着又否定了它，从另一个新角度提出“做上去”，即官可以越做越高的意思，本质上与“做下去”一致，文意却显得曲折生动，跌宕多姿，颇具幽默感。

补正的类型一般有两种：一种是相关相承的补正，即否定词前后两句在字面上意义相关相承，如例①、②；一种是相反相对的补正，即否定词前后两句在字面上意义相反相对，如例③。再看两例：

④黄女士无心地应着张女士，就往自己的座位上一坐，心里感得异样的寂寞，——不，寂寞犹可，最难堪的是一种闻到了鱼腥似的恶心。

（茅盾《第一个半天的工作》）

⑤朦胧中，我恍恍惚惚走进了剧本，走进了学校。呵，不！是角色走出了剧本，来到我的身边。

（罗达成《春夜来客》）

例④否定词前写“寂寞”，否定词后写“恶心”，这两种心态是相关联的，只是后者比前者程度更深。这是相关相承的补正。例⑤否定词前是“我走进了剧本”，否定词后是“角色走出了剧本”，二者在字面上意思相

反，实质上意思一致，更生动地说明了剧本中的人物写得好，写得活。这是相反相对的补正。

补正往往可以出现两次或两次以上的否定，这是补正的扩展形式，它使文章更加准确深刻、曲折生动。

⑥不仅仅是我们这些筑路民工，不，十二万平陆人，不，六亿五千万中国人，人人心里都燃着一团烈火，这团烈火越烧越旺：对党和毛主席的深沉热爱，化做无穷无尽的力量，人们正在用它加速建设我们伟大的社会主义祖国！

（《为了六十一个阶级弟兄》载《中国青年报》）

⑦我摸出记事本，记下，不，写下，也不，是画下了棋盘和棋子上所有的汉字——它们实在是太难写了。汉字太不可思议。我敢说，汉字是世界上最难读写的文字，我们欧美人，都是这样认为的。

（古光亮《棋逢对手》）

⑧公鸭叫引来了三只母鸭。不，三个姑娘。不，三个摩登女郎，就是那种蓝眼圈猩红嘴唇的摩登女郎。不，该说三条"鱼"，或者三个"婆子"。

（范小天《夏天的流浪》）

例⑥和例⑦都是连续两次否定，两次提出新的说法，一次比一次准确、深刻。例⑧中"公鸭"是作品中的人物西培，因说话声象公鸭叫，故称"公鸭"。此例中先从"公鸭"将三个姑娘称为"母鸭"，然后否定，以说明是"三个姑娘"，再否定，进一步说明她们的待征，是"摩登女郎"，最后又一次否定，再揭示她们的本质，是"鱼"，是"婆子"。这里连续三次否定后，一次比一次说得深刻，使文意丰富而有讽刺性。

补正和撇语常常结合起来使用。

⑨正当人们在君子兰的迷梦里沉睡方酣之时，一夜之间那高贵的君子兰竟然一落千丈。不，不是千丈，而是万丈，几十万丈！

（邓加荣《君子兰之谜》）

⑩不过，说也奇怪，在这之前，我对它（北戴河——编者）却并不陌生，它那幽美的风貌，早就观赏过了。不是从图画和电影中，也不是借助于文学作品或者人们的口头描叙，而却是在一个梦中，

不，确切一点说，是在一个像梦一般的幻境中。

（竣青《沧海日出》）

例⑨中“……一落千丈。不，……是万丈，几十万丈！”这是补正，而在这句中又套了一个撇语“不是千丈，而是……”，因此，这是补正与撇语的套用。例⑩一个撇语“不是……也不是……而却是……”，接着，又连用一个补正“是在一个梦中，不，……是在一个像梦一般的幻境中”，这是撇语与补正的连用，更确切地说，是二者的一部分套用（“却是在一个梦中”既是撇语的部分又是补正的部分）。

补正与撇语虽然都是有肯定，有否定，但是二者是有区别的。补正由起句、否定词、正句三部分组成，缺一不可，而且次序不能颠倒。撇语多由“不是……而是……”的形式并列组合而成，次序可以颠倒，即也可以是“是……不是……”的形式。另外，补正的起句与正句的意思在本质上是一致的，形式上否定，实质上并不否定；而撇语是将否定的部分排除，以突出肯定的部分。

必须注意，补正是有积极意义的辞格，要将它与说错了再改正这种一般的语言表达方式区分开来。如：“这是书吗？”“这是书，不，这是笔记本。”这是常规的语言现象，不是补正。

89. 否　　定*

【否定】 fǒudìng　看起来是否定，其实并不否定，而是肯定和否定交错。把意思更向前推进一层；或者用双重否定表示肯定；或者用三个否定表示否定。

①北京城满城都是鲜花！

不！比春天的花加倍繁华！

（郭沫若《双倍的春天》）

②从前线回来的人说到白求恩，没有一个不佩服，没有一个不

为他的精神所感动。

（毛泽东《纪念白求恩》）

③……有些常犯的毛病……可以多用选择和填充的方式，不一定非采取改错的方式不可。

（吕叔湘《语法三问》）

例①看似否定，实际是肯定，把意思推进一步。例②是双重否定表肯定。例③是三次否定表否定。

从上述定义和示例可见，例①一类与补正辞格相同，而例②一类与例③一类实际是语法中的多重否定句，其修辞意义有待进一步研究。因此，不宜单立一格。

90. 顿　　跌*

【顿跌】 dùndiē　将一个完整的意思故意顿开表述。

顿跌有正顿、反顿之分。

正顿　即将前后一致的完整意思顿开来表述。

三只五只白鸥轻轻地掠过，翅膀扑着波浪——一点一点躁怒起来的波浪。

（茅盾《黄昏》）

反顿　即顿开的意思，前后相反相成，后文补正前意。

他口里的阎罗天子仿佛也不太高明，竟会误解他的人格——不，鬼格。

（鲁迅《无常》）

正顿所谓“顿开表述”意思不够明白，若仅限于例中所示“波浪——一点一点躁怒起来的波浪”，那么和呼应格难以界清，若包含句中两个成分间的“顿开表述”，就和提顿格相重叠了。至于反顿，与补正格略无二致。因此，顿跌不宜遽立一格。

91. 省　略*

【省略】 shěnglüè　凭借一定的语音环境，省掉某些句子或句子成分。

省略可使语言简洁明快，或使语言委婉含蓄。

省略可分为承前省、蒙后省、对话省、突显省、自述省和泛指省等。

承前省，前文已有所交待，后文将有关词语省去。

①插队生活给她留下终生不灭的烙印，强化了她的理想，磨练了她的意志。

（冯骥才《夏日辉煌》）

②楚人为食，吴人及之。奔，食而从之。

（《左传·定公四年》）

例①后两句承前都省了主语"插队生活"。例②第二句话分别承前省了主语"楚人"和"吴人"，应为"楚人奔，吴人食而从之"。

蒙后省，后文将有所交待，前文将有关词语省去。

③看着人家那样辛辛苦苦的劳动，老通宝觉得身上更加热了。

（茅盾《春蚕》）

④得到母亲去逝的消息，我很悲痛。

（朱德《母亲的回忆》）

例③前句蒙后省了主语"老通宝"。例④前句蒙后省了主语"我"。

对话省，对话中，只要双方能够领会，可以省去某些词语。

⑤她问："他们几个哩？"

水生说："还在区上。爹哩？"

女人说："睡了。"

"小华哩？"

"和他爷爷去收了半天虾篓，早就睡了。"

（孙犁《荷花淀》）

例⑤句句对话都有省略，如果把省略的谓语或主语加上，就变成："她问：'他们几个在哪儿哩？'水生说：'他们几个还在区上。爹在哪儿哩？'女人说：'爹睡了。''小华在哪儿哩？''小华和他爷爷收了半天虾篓，小华早就睡了。'"这样对话，就极啰嗦而不自然了。

突显省，对话时把对方话中的某些词语突显出来以表示怀疑、惊讶或强调等，这样的省略不易明确指出省的是什么。

⑥周朴园　谁是鲁大海？

周　冲　鲁贵的儿子。前年荐进去，这次当代表的。

周朴园　这个人！我想这个人有背景，厂方已经把他开除了。

周　冲　开除！爸爸，这个人脑筋很清楚，我方才跟他谈了一回。代表罢工的工人并不见得就该开除。

（曹禺《雷雨》）

⑦秦国友大叫道："你他妈的自己瞅瞅！你卖的这个好货！"

"哎，你把嘴里零碎去去，别骂人呀！"

"骂人？你们这帮待业青年卖货净他妈的骗人！"

（肖复兴《离开我，走吧……》）

例⑥中的"这个人"和"开除"，例⑦中的"骂人"都是突显省。

潜词省，省略的部分难以言传，但可意会。

⑧现在我的母亲提起了他，我这儿时的记忆，忽而全都闪电似的苏生过来，似乎看到了我的美丽的故乡了。我应声说：

"这好极！他，——怎样？……"

（鲁迅《故乡》）

⑨"……林师长一边抬着木头一边喊：'同志们，干哪！咱们快把工事修好了，叫敌人连一滴水也淌不进来。'看，说得多好……"讲话的停了一下，咯吱咯吱嚼了阵咸菜，又补了一句，"你们说，要用那劲修水库，嗯！？……"底下的话被一阵哄笑淹没了。

（王愿坚《普通劳动者》）

例⑧"我"对闰土，想知道的很多，一下不知从何问起，故只用一极省略的"他——怎样"来表示。例⑨一个"嗯"字传达出许多意思，也许是

“那该多好”，也许是“那会怎样”，或者是“水库早完工了”，还可能是其他。这是潜词省。

自述省，发言、作报告、写信、记日记等，常常要提到“我”怎样，这个“我”不一定都要说出或写出来。

⑩亲爱的孩子，你走后第二天，就想写信，怕你嫌烦，也就罢了。

（《傅雷家书》）

例⑩最后三个小句都省略了“我”。

泛指省，所指的对象是宽泛的，而且不言而喻，一般用于号召、命令、劝阻等句子。

⑪三大纪律如下：

（一）一切行动听指挥；

（二）不拿群众一针一线；

（三）一切缴获要归公。

（《中国人民解放军总部关于重行颁布三大纪律八项注意的训令》）

从上述分类和示例看，实际是语法中讲的省略句、独词句和无主句等，它们虽然可以使语言或简洁明快，或委婉含蓄，但把它们做为一般修辞现象看合适，还是做为一种积极修辞格看为宜，似可进一步研究，故暂可不将其立为一格。

92. 跳　脱

【跳脱】 tiàotuō　在某种特殊的语境中，或因事态突变，或因情势急转，或因心思含蓄，故意中断语路，造成“语意不全”或“句子成分残缺”。

跳脱是在特殊语境中出现的一种语言变态。清代魏僖在他的《日录

论文》中对此曾作过这样的说明："又尝论古乐府以跳脱断缺为古，是已。细求之，语虽不伦，意却相属，但章法妙，人不觉耳。然竟有各成一段，上下意绝不相属者，却增减他不得，倒置他不得。此是何故？盖意虽不属，而其节之长短起伏，合之自成片断，不可得而乱也。……知此者可与读文矣。"也就是说，跳脱这种修辞方式，虽然从形式上看，语句似乎残缺不全或间隔不畅，却是增减不得也倒置不得的。说者故意"不肯说尽而谐然辄止"，正是为了"使人得其意于语言之外"。所以，恰到好处地运用跳脱，纵然字面不完整却能创造"完整"的意蕴，语路不连接却能收到"连接"的效果。

①风从窗外吹进来，一片秋雨的气息。远处断断续续响起汽笛声，房檐下雨水在敲打地面。

"平平，回来吧，我爱你……"

"别说这话，别说……"她很快地摇摇头，"我们都要现实点。"

"你是说——"

"不，我不是那意思。我不知道该怎么讲，说不清。我想，我们分开会好点，只有这个办法。我是说……"她很慌乱。

"可是……"

"你别逼我说，噢，我不愿这么过下去了。"

邹鲁伸手想拉住林平的手，她躲开了。

（石涛《雨雪霏霏》）

②日子长了，山姑莫名其妙闷闷不乐起来。守着妈妈，守着小村，守着大峡谷，不是很好吗，可……

山姑就是山姑，自己记不清自己。

山姑坐在斜坡上发愣：他为什么不来娶我，难道反悔了？他见过我？嫌我？

（郭爱玲《山姑》）

例①邹与林相爱结婚，并且有了孩子，林终因性格不合而决定离异。这是他们在决绝 前的一番谈话，林决心离婚，又难于启齿，怕伤害对方，而邹则心存幻想，并以孩子为由竭力挽留，故而对话闪烁其辞，半吞半吐，如果不用跳脱，就难以传达出人物痛楚矛盾的心态和伤感悲切

的氛围。例②意思是说：可现在该远嫁他乡了。因山姑为山村少女，善良纯朴，对“出嫁”这样的事自然是羞于出口的。如果不用跳脱，文字直白浅露，不仅兴味索然，而且于人物的心理描写也是一抹败笔一种玷污！可见，跳脱在文学作品中，对于再现真实的情境和刻画人物的性格有着不可忽视的作用。

跳脱一般分为三种：急收，突接，岔断。

〖**急收**〗 jíshōu 说到半路突然中断，不肯说尽，使人得意于言外。

③柳筠拦住了她：“不用了，歇会儿就行。”

丽珠歪起头，又细细审视了一番：“听说你不想吃东西，是不是……”她指了一下她的肚子。

柳筠的脸立刻臊热了，推开她的手佯嗔：“没正形！”

（王恒信《假面鼓手》）

④九九重阳过了三天，出了一件事。这天快到中午的时候，老鬼巡过来，在桥东头就望见有个人坐在他们那块老青石上，是个生人。那人背对着路基，面对着峡谷，脑袋僵着，肩头耸着，一动也不动。

太稀罕了！这大山肚子里，只有逢五逢十的赶场天，才会在铁路上碰到几个背筐挑担的农民，可是那人不是农民，光看看他那浅黄色的衣服就不对劲。

老鬼看看天上的太阳，犯了疑。炸燧洞的？撬轨条的？要不就是……

（汤保华《一生中的24秒》）

例③柳筠为新婚少妇，女友丽珠出于关心，但又不便明言“是不是怀孕了”，只好话说半句便突然收住，使言外兼有猜测、试探和避讳等多重意思。例④深山峡谷，人迹罕至，突然出现一个生人，自然引起巡道工的怀疑，经过仔细观察，作出种种推断，“要不就是”之后咽下了“自杀的”三字。文字跳脱一是切合“老鬼”的心理活动，二是造成悬念以推动情节的发展。

〖**突接**〗 tūjiē 话路中断后再突然接上，显得语意不连贯。

⑤大使馆区。五月之夜。丁香花丛中的路灯。猎猎的异国旗帜。

女郎，飘然的长发亦如旗帜。蓝蓝的眼圈像海，红红的嘴唇如血。警车，铁窗。灰色的女囚制服里裹着一个艳丽而邪恶的躯体。

“呀！牛妞，你放……”

原话是：“你放出来啦！”话说了半截觉得不妥，连忙改口：“你放……假了？”

（乔雪竹《被鸟儿叫醒》）

⑥韩五大伯来赴宴，差不多每次都要问我：“哎，铁山侄儿，你长大做什么呀？”

我刚到三中念书头一年，父亲过寿喝的是那年代的特产“酵母酒”。那种酒，父亲把它当菜汤给我喝，我喝下去够饮一匹驴的都不醉。当时，我抱着容积一公斤的酒缸子答：

“韩五大伯，我长大拉车！”

即便是“政法大学”毕业，那份工资顶多才买二十斤高价粮。所以我长大要拉车。

韩五扭头冲父亲笑笑道：

“老六，你这儿子不赖！——我养的那王八羔子在马路上见了我绕道走，嫌他爹给他丢人哩！——你这儿子，行！”

父亲却放下脸来，看也不看我：

“不长进的兔崽子！老五你还夸他！——世上多少正经营生他不想，他想照他爹做牛变马拉大车！——你要拉大车，老子何苦做牛变马供你念书？拉大车还用念书？狗戴上个筐子也会拉！——老五，咱喝！甭朝理他！”

（张石山《长长的坡》）

例⑤牛妞刚从监狱释放出来，自然很忌讳别人问起此事，对方心思急转，连忙改口：“你放……假了？”佯装不知，遮掩过去。例⑥不断折断话路，改变叙说对象，用一种间断性和跳跃性很大的句式再现人物说话的口吻和心理活动，十分逼真。

〔**岔断**〕 chàduàn 由于别的说话或别的事项横闯过来，岔断了正在说的话，使原话被岔得残缺不全或上下不接。

⑦“嗨，”连长和缓地说，“一个人有他应该的位置，有的人位置

应该在北京，有的人位置应该在上海，有的人位置应该在昆仑山顶，也有的人位置应该在长江口上，嗨，我总觉得我的位置应该在这——”

“北极村！”我心底在喊着。

（刘志清《一个无国籍的女人》）

⑧“呃，”小青年又问，“你说你的大儿子，也有这样大了？”

“我家老大是个丫头，明年满十七岁。老二是儿子，十四。”

“他们也住在山上？”

“在县城里，只有县里有中学。”老鬼动了感情，看着天上的云，“我一个人在山上。”

“那你怎么不……”

“不调到县里？鬼才不想调！”老鬼撇撇嘴，“想调就调得成？算了，再怎么着，也得挺下去。这里总要有人干，你说是不是？”

（汤保华《一生中的24秒》）

例⑦、例⑧都是因别的说话而被岔断，隔为两截。

跳脱的三种形式一般单独使用，但有时在某些特定的语境中也有兼用现象：

⑨在茶馆门外，就听见小柳敬亭已经叙过闲书，言归正传：“昨天那回书，说到包老爷唤包兴儿沏茶。包兴儿捧茶壶来到灶上，挑起门帘一看，惊叫一声：‘唉呀，不好！’原来是……”他看见我走进门来，眼神一亮，停顿了片刻。

我的心跳到了嗓子眼儿，若不咬紧嘴唇，就会蹦出口来。

“原来是……”我直勾勾盯住小柳敬亭，脑瓜子里风车打转，“一个刺客……一颗人头……？”

忽然，小柳敬亭哗啦抖开了包袱，出人意外地解开了扣子：“……水还没有哩！”

哄堂大笑，有人拍案叫绝；我却感到被人戏弄，气恼而又伤心，含泪扭头而去。

（刘绍棠《青藤巷插曲》）

⑩小白不服气，面红耳赤地争辩道：“有个年青诗人写了一首

诗，只有一个字绝了！听着，题目是《生活》，诗是：网。绝不绝？你们谁不是在网中生活？”

顿时静了。大家互相淡淡地没有笑容地看了看。

印家厚手心一热，无故兴奋起来：“我倒可以和一首。题目嘛自然是一样，内容也是一个字——”

大家全盯着他。他稳稳地说：“——梦。”

好！好！都为印家厚的“梦”叫好。

（池莉《烦恼人生》）

例⑨先急收“原来是……”戛然而止，渲染气氛，造成悬念，后突接“水还没有哩”，顿释疑团，满座叫绝。两者缺一不可，舍此则无法产生出奇制胜，扣人心弦的艺术效果。在说书、相声中惯于使用的这种系扣子、抖包袱的表现手法，大多采用急收与突接相结合的形式。例⑩基本上与此同理。

在形式上，跳脱经常辅以破折号或省略号，但不可据此而误以为凡使用这种符号的地方即为跳脱。

93. 留　白*

【留白】 liúbái　一句话，由于感情复杂一时说不清楚，或是说清楚了反而不如不说清楚为好，而有意留下空白让接受者发挥想象去加以“填补”。

①我与她曾八年同窗，此期间接触很少，相遇时也只打个招呼，点点头。我们都很年轻，踌躇满志而又矜持骄傲。

后来，我们都踏上了工作岗位。时光悠悠逝去，我成了大小伙子，偶然的机会我得知她仍然是个老姑娘。于是我冒昧给她去一封信：

小莉：你好！听说……对吗，若真的话，我想……

你的同学　萌雅

过了十五天，我终于收到她的回信。

萌哥：你好！也听说……对吗？若是的话，我也想……

你的小妹　莉

这就是我的初恋。

（萌雅《初恋》载《月老报》1988年第6期）

留白与跳脱有别：跳脱的最大特点之一是"中断语路，变换话题"，"中断语路"是手段，"变换话题"是目的，而留白中没有说出来的部分，并不是真正的中断语路，更不是为了变换话题。两者的根本区别就在这里。

留白为最近提出来的修辞新格，值得作进一步的探讨（详见谭永祥《留白》一文，此文载《修辞学习》1989年第3期）。

94. 承　　转*

【承转】 chéngzhuǎn　话说一半，或因心思急转，或因情况有变，便承着那半句话而临时改说另外的话。

承转有两种：一是"谐音承转"，二是"顺意承转"。

①来到罗兴桥卡子，正是四点钟。毛福轩刚在桥面上站定，只见县党部的两个差役，用一张藤椅抬着一个人，走上桥来。待两人抬到跟前，骆百千喊了一声："停一停！"伸手将遮着的绒毯一把揭开……露出一只戴着墨晶银镜的面孔。在一旁的毛福轩看得连眼睛都定了："啊——"他发觉失口，连忙假打一个喷嚏："啊——啊涕！昨晚在船上伤风了。"

（姚自豪　毛一昌《特殊身份的警官》）

②王秉真喃喃地说："这檄文一发出，以后就，就就，再也没有回旋余地啦。"

（张献忠说：）"怎么，你以为我以后还打算再唱'屯谷城'

这出戏么？咱老子再也不唱这出窝囊戏了！既然是真正起义嘛，留什么回旋余地！难道我老张还不……”他本来要说“还不如李自成么？”但是他忽然觉到说失了口。不应该对部下说出李自成的高明，随即打个顿，改口说：“明白非打倒明朝的江山才能够救民于水火？……”

（姚雪垠《李自成》）

从上面两个例子来看，承转实为跳脱之一，因此，可不必另立一格。

95. 析　字

【析字】 xīzì （拆字 字喻 缪语）利用汉字结构的特点，离合、减损汉字的笔画或偏旁，使字形发生变化，产生新的意义。

①工会主席不跟他俩“掰”。掰——手分手？才不呢！工会主席紧紧地、友好之至地跟他俩握手！

（梁晓声《预碎》）

②再说秉中已回，张二官又到。本妇便害些木边之目田下之心。要好只除相见。

（明·冯梦龙《警世通言》第38卷）

③听见左右的人说，宁王在玉牒中是第八个王子，方才悟出关圣帝君所判“琴瑟琵琶”，头上是八个王字，到此无一句不验了。

（清·吴敬梓《儒林外史》）

例①“掰”字拆离成“手”、“分”、“手”，被赋予了“不团结”、“闹分裂”的含义。例②“木边之目”，“木”、“目”合起来是“相”；“田下之心”，“田”、“心”合起来是“思”，两字相加构成“相思”一词，宋人笔记《醉翁谈录》（金盈之撰）已集《相思赋》中，也有拆“相思”的例子：“木傍目而漫极瞻视，田下心而徒劳忖度”。再如《金瓶梅》第83回中写道：“金莲每日难挨，怎禁绣纬孤冷，画阁凄凉，未免害些木边之目，田下之心。”例③将

“琴瑟琵琶”四字减损下半部，取上部，拆开来是并列的八个王字，民间有一幅拆字联：“琴瑟琵琶，八大王一般头面；魑魅魍魉，四小鬼各样心肠”，方法与此例相同。

拆字是一种古老的修辞方式。《文心雕龙·明诗》：“离合之发，则萌于图讖。”钱钟书又论：“古之讖记谣谚每托于拆字。”如纬书《孝经右契》：“宝文出，刘季握。卯金刀，在轸北；字禾子，天下服。”这是利用讖纬迷信为刘邦称帝制造舆论。其中“卯金刀”合成“劉”(刘)字，“禾子”合成“季”字，加在一起是“刘季”，刘邦字季。再如东汉末年的一首民谣：“千里草，何青青，十日卜，不得生。”“千里草”合成“董”字，“十日卜”合成“卓”字，全诗含“董卓死”义。

拆词可分为两类：离合式，减损式。

〖**离合字形**〗 líhézìxíng 把字拆开，再组合起来。

④不敢参加工人运动的怕事的工人说：“‘工’字不出头，出头变成‘土’”。勇敢的革命工人却这样回答他们：“‘工’字一出头，顶天立地就成‘王’”。

（秦牧《语林采英》）

⑤因为我已经忘了她的名字，他便又自报了一遍家门。姓陈，耳东陈；名桃，木兆桃。明明一个须眉浊物，偏偏顶着这么个女里女气的名字。

（查建英《献给罗莎和乔的安魂曲》）

⑥向时，钱曾被人痴迷迷地呼为“金哥哥”(“錢”字的右偏旁为两个“戈”，谐音)。所谓“家无此兄，何异无足而欲行，无翼而欲翔？”于是便多方聚敛“金哥哥”。

（葛宏《钱的味道》）

例④拆合“工”字笔画，引出两种说法，表明了对工人运动截然相反的两种态度。例⑤用离合字形的方法解释自己的姓名。这在日常生活中常见，如“弓长张”、“立早章”、“口天吴”、“人可何”、“木子李”、“干勾于”等等。例⑥“钱”(錢)字拆开成“金”、“戈”、“戈”，谐音读作“金哥哥”，讽刺对金钱的崇拜。类似的例子还有民间流传的一首《戒赌诗》：“贝者是人不是人，只为今贝起祸根，有朝一日分贝了，到头成为贝戎人。”据说

这首诗是古代一位老者为他误入赌途的儿子写的，儿子看不懂，老者便给他一一点破："贝、者"合为"赌"；"今、贝"合为"贪"；"分、贝"合为"贫"；"贝、戎"合为"贼"。这赌、贪、贫、贼四个字，是每个赌徒必然的下场。

古诗词中也有不少拆字的例子：

⑦你共人女边着子，
争知我门里安心。

（宋·黄庭坚《虞美人》）

⑧何处合成愁？离人心上秋。纵芭蕉不雨也飕飕。都道晚凉天气好，有明月，怕登楼。

（宋·吴文英《唐多令》）

⑨西贝草斤年纪轻，
水月庵里管尼僧。
一个男人多少女，
窝娼聚赌是陶情。
不肖子弟来办事，
荣国府里好名声。

（清·高鹗续《红楼梦》第93回）

例⑦二句词暗藏"好闷"二字，寄一番情愁（"女"、"子"合作"好"，"门"、"心"合为"闷"），与此相似的有元人句："好教我目边点水言难尽，……好教我门里挑心写不成"。句中藏一"泪"字，一"闷"字。例⑧是该词的上阕，采用拆字法写情绘景，"秋"、"心"二字，贯通全篇，说尽无限离愁别恨。古诗词中拆"愁"字的例子不少，如："言无人达难成信，秋上心来尽是愁"，"愁便是，秋心也"。例⑨是贴在贾府门上的一首招贴诗，"西草贝斤"四个字加在一起是"贾芹"，作者采用拆字法隐其名，颇具怪诞意味，更显其尖刻辛辣。

〖**减损字形**〗 jiǎnsǔnzìxíng 减去字的偏旁、笔画，变成另一个字，或与别的字组成新字。

⑩有一句笑话说："民主少一点，就变成了民王"，人们听了哈哈大笑，殊不知这里边却有很严肃的道理。有一点封建思想残余，

就少了一点民主，而在社会主义的今天，民主是一点也少不得的呀。

（老烈《怎么领导》）

减去“主”字上的一“、”（点），“民主”一词的意思就变得截然相反了。作者用减少笔画的方法，既通俗又形象地说明了“民主一点也少不得”的深刻道理。

⑪老边的魔术有一种坦诚的品格，他公开宣言：“魔字上面有一个麻，当观众开始麻痹时，我就开始捣鬼了。”

（《袖里乾坤，指下大千》载《人民日报》1989年11月11日）

把“魔”字拆开成“麻”和“鬼”，再附会其义，解释魔术表演的特点，言简意明，充满了语趣。

⑫渔父屈节，水潜匿方。与岢进止，出行施张。吕公矶钓，阖口渭旁。九域有圣，无土不王。好是正直，女回子匡。海外有乸，隼逝鹰扬。六翩将奋，羽仪未彰。蛇龙之蛰，俾也可忘。玫璇隐耀，美玉韬光。无名无誉，放言深藏。按辔安时，谁谓路长。

（三国·孔融《郡姓名诗》）

“渔”去水旁（潜水），是“鱼”字。“岢（时）”去“屮（出）”（出行），剩“日”字。“吕”字损一“口”（阖口），余一“口”。“域”去“土”旁（无土），得“或”字。“好”字离“女”（女回）是“子”。“乸”字减“鸟”（隼逝鹰扬）是“乚”。“翩”字减“羽”旁（羽未彰）是“鬲”字。“蛇”字离“它”（也可忘）为“虫”。“玫”字藏“王”（玉韬光）是“文”。“譽”字隐“言”（放言深藏）得“舆”字。“按”字离“安”（安行）余一“手”。一、二句诗经减损后得“鱼”、“日”，再合为“鲁”字。三、四句的“口”、“或”组成“国”（國）。五、六句的“子”、“乚”合成“孔”字。七、八句的“鬲”、“虫”组合成“融”字。十、十一句的“舆”、“手”合成“舉”（举）。全诗减损、离合汉字结构得出的郡姓名字是：“鲁国孔融文举”。钱钟书在《谈艺录》中议及此诗时说：“孔文举以此法作《郡姓名字诗》虽有巧思，殊乏诗情，遂未传诵。”

⑬“放”棹遵遥途，

“方”与情人别。

“啸”歌亦何言，

'肃'尔凌霜节。

(南朝·谢惠连《离合诗二首》之一)

"放"减"方"为"文","啸"减"肃"剩"口","文"加"口"合成"各"字。

推衍字义,有人将其归入析字格,如《玉台新咏》卷十《古绝句》中有这样两句:"藁砧今何在,山上复有山。""藁"同稿,稻草;砧,砧板,古时斩人垫在下面的器具。周祈《名义考》卷五:"古有罪者,席稿伏于椹(砧)上,以铁(斧)斩之;言稿椹则兼言铁矣。'铁'与'夫'同音,故隐语'稿椹'为夫(丈夫)也。""山上复有山"是"出"也,两句诗隐含"夫出"二字。这种方法,现已少见,所以本书不再列其为析字格中一类。

96. 析 数

【析数】 xīshù 表达中,将某一数量析成若干可以相加或相乘的小数量。

①说凤阳,道凤阳,凤阳本是好地方。自从出了朱皇帝,十年倒有九年荒,三年水淹三年旱,三年蝗虫闹灾殃。

(《凤阳花鼓词》)

②周流二六侯,间置十二亭。

(三国·曹植《驱车篇》)

③可是更妙的是三五月明之夜,天是那样的蓝,几乎透明似的,月亮离山顶,似乎不过几尺,……

(茅盾《风景谈》)

④中州盛日,闺门多暇,记得偏重三五。

(宋·李清照《永遇乐》)

⑤阿舒已二八,懒惰故无匹;
阿宣行志学,而不爱文术。

(晋·陶渊明《责子》)

⑥二八佳人细马驮，
十年美酒渭城歌。

（宋·苏轼《李铃辖座上分题栽花》）

⑦太原王生，早行，遇一女郎，抱袱独奔，甚艰于步。急走趋之，乃二八姝丽。

（清·蒲松龄《聊斋志异·画皮》）

⑧龙刚冷笑一声："哼，商量是五八，不商量是四十。"

（辛令显《喜盈门》）

⑨结发念善事，倔俛六九年。

（晋·陶渊明《怨诗楚调示庞主簿邓治中》）

⑩暗问夫婿年几何，
五十年前二十三。

（南宋·魏庆之《诗人玉屑》）

例①"九年"分成三个"三年"。例②"二六"相乘是"十二"，避免与下句"十二亭"相重复。例③的"三五"指农历每月十五；例④的"三五"仅指农历正月十五，元宵日。例⑤、例⑥、例⑦中的"二八"相乘为十六，均指十六岁。例⑧中"五八"相乘是四十，为避免与下句中的四十重复而用析数。例⑨的"六九年"即"五十四岁"。例⑩"五十年前二十三"，"五十"加上"二十三"是"七十三"。

传统对联中常用析数法，使联语充满语趣，下面举《古今楹联拾趣》一书中的两例。

⑪七鸭浮塘，数数三双一只
尺鱼跃水，量量九寸十分

"三双"等于"六"，加"一"是"七"，暗合前句"七鸭"；"十分"为"一寸"加"九寸"正好"一尺"。

⑫乾隆五十年(1785年)，于乾清宫开千叟宴，赴宴者三千九百人。内有一叟一百四十一岁，乾隆皇以此为题，与纪晓岚对句。乾隆作上联云：

花甲重逢，增加三七岁月，

晓岚稍加思索，就对出了下联：

古稀双庆，更多一度春秋。

上联“花甲重逢”是两个六十岁，“三七岁月”是二十一岁，两数相加共一百四十一岁；下联：“古稀”成双，是一百四十岁，加上“一度春秋”，也是一百四十一岁。此例有加有乘，借助天干地支纪岁和杜甫诗句“人生七十古来稀”，把简单、枯燥的数字描述得婉曲、生动，充满了语趣。

“析数”可使语意含蓄，避免文中相同数字的重复，也可避免因直接使用单调、枯燥的数字而造成文字的浅白直露。

97. 镶　　嵌

【镶嵌】 xiāngqiàn　把词语拆开镶进别的字；或有规则地嵌入特定语句，暗含另一层意思；或把词语拆开交错搭配。

①我们是同乡，有交情。——交给我带去，有什么三差两错，我还能回家乡吗？

（夏衍《包身工》）

②解放战争中，邓小平同志率领大军挺进中原，一路与战士谈笑风生，战士们要小平同志吟联，邓小志同志即景生情吟了一联：

列为无产者；

宁不革命乎？

（黄奇年《老一辈革命家撰写的对联》）

③当下两人你商我量，定下一条计策。

（明·冯梦龙《古今小说·宋四公大闹敬魂张》）

例①在合成词“差错”中间镶入表示虚数的“三”、“两”，以加强语意，延长音节，读起来更上口中听，显示了“说客”们善于言词。例②上联肯定，下联反问强调无产者的出路，唯有投身革命；上下联又嵌入“列宁”二字，更能激励战士不忘列宁教导。嵌入词与联语浑然一体，契合精

妙。例③故意将“你我商量”交错成“你商我量”，文字打破常规结构，显得活泼、有生气，使人联想到二人“商量”时，你一言我一语的情景。

从上面三例可以看出，镶嵌分为镶字、嵌字、拼字三种。

〔**镶字**〕 xiāngzì 把词语拆开插进别的字，以加强语意或延长音节。

④捡了任老大家娃儿的东西，不但不说还，别人问他一句，他还一凶二恶的，来不来就开口骂！

（何士光《乡场上》）

⑤每每这时，我的心就满满地难堪，我总是装着什么也没看见，也不知道，遮三掩四地和客人热情着，生怕人家看出什么，生怕人家受了委屈。

（梅洁《这一片女儿的情绪》）

⑥再说，这工钱是俺弟兄们风里浪里死里活里挣下的。

（曲波《山呼海啸》）

⑦王冕得了钱，买些好东好西，孝敬母亲。

（清·吴敬梓《儒林外史》）

例④、例⑤拆开“凶恶”、“遮掩”两个词分别镶入数字“一、二”“三、四”，这些数字没有实际意义，只起加强语义的作用，使语词更加口语化。这类镶字有不少已定型化、固定化。如：“一干二净”、“吆三喝四”、“颠三倒四”、“乱七八糟”等。例⑥折开“风浪”、“死活”，中间镶上“里”字，强调挣“工钱”不易。例⑦“好东西”镶成“好东好西”，旨在突出一个“好”字，表现王冕一片孝心。

〔**嵌字**〕 qiànzì 把几个特定的字或词，分别嵌入诗句或文句中，暗含另一层意思。

⑧古今沧桑变，
玉石故乡还；
泉水向东流，
观陇思江南。

（美国·李政道《思江南——题甘肃天水古玉泉观》）

1984年5月李政道回国讲学，曾往甘肃天水观光，游览天水名胜

玉泉观，写下此诗。全诗即景生情，寄寓怀乡思国之情，四句诗头分别藏“古”、“玉”、“泉”、“观”四字，加上第四句嵌入的“思江南”三个字，正好巧妙地点了诗题：思江南——古玉泉观。这是一首无斧凿之迹的“藏头诗”。

⑨杰作惊天十字坡，
英名盖世三岔口。

（画家黄宾虹赠盖叫天联）

⑩倾怀民族，呕心沥血，惨淡意匠，炼石为金，染遍祖国山河更壮丽；
俯首孺子，辛勤耕耘，严肃授业，育人成材，可植满园桃李倍芬芳。

（张凭《陨而不落，东方既白——记李可染老师对我最后一次教诲》）

⑪解甲归来又从文，著作等身一老翁。彩笔生花枝枝秀，妙语连珠句句新。边城美，湘水清，有凤来仪落山中，心血凝成衣裙谱，画出春光满上林。

（杨栋《沈从文先生的一件小事》）

例⑨联首藏盖叫天的名字“英杰”，联中嵌入盖叫天的代表剧目《十字坡》、《三岔口》，联语气象宏大，对仗工整。例⑩上下联中嵌入“可染”二字，表达了对一代宗师的缅怀之情。例⑪诗中嵌有沈从文的名字“从文”，籍贯“凤仪”县名，及代表作《边城》，对沈从文的身世、创造成就作了生动的概括。

〖**拼字**〗 pīnzì 把联合词组中的两个词或合成语中的两个语素分开来间错使用。

⑫金华妹子来了不几天，他就摔家打伙，闹没好气。

（梁斌《播火记》）

⑬搬家前，父亲说这张桌子是正宗八仙桌，那个箱子是樟木的。一些破东烂西是过日子用得着绝不能缺少的。

（梁晓声《雪城》）

⑭直下兴坪，“峰林”连绵不绝，千壑万谷，直奔眼底。

（秦似《碧水青峰九十里》）

⑮我最初确实有些困惑，左思右思，只是无法解释。

（季羡林《马缨花》）

⑯我住在楼上，窗子又正对风口，每夜狂风大作，龙吟虎啸，屋瓦齐鸣。

（曹靖华《洱海一枝春》）

以上五例中，“摔家打伙”、“破东烂西”、“千壑万谷”、“左思右想”、“龙吟虎啸”分别是“摔打家伙”、“破烂东西”、“千万壑谷”、“左右思想”、“龙虎吟啸”的间错拚用。

拚字大量运用在四字语中，它可以将四字结构变成联合式的前后对称的形式。如“宏伟业绩”是个偏正式四字短语，经间错拚用可组合成“宏绩伟业”，成了联合式结构，“宏绩”与“伟业”两相对称，富于形式美，也更有音韵感。

拚字打破词、语素的固定组合形式，使之发生结构变异，产生新的动态平衡，丰富了语词（内容和形式两方面）的表现力。

间错拼合的形式，在一些已趋固定化、定型化的短语中常见，如：访贫问苦、谈今论古、真情实感、虚情假意、东游西逛、前思后想等。

98. 离　　合*

【离合】 líhé　在语言的句法层次结构中出现的同构异义现象。

①初寒朗咏裴回立，
欲谢玄关早夜开。
昨日登楼望江色，
鱼梁鸿雁几多来。

（唐·陆龟蒙《寒日古人名》）

诗的第二、四句按表层意思理解，其语法结构应该分别是：欲谢/玄

关/早夜/开；鱼梁/鸿雁/几多/来。但根据诗标题的暗示，读者又必须重新组合诗句结构，将拆开的“谢”、“玄”、“梁”、“鸿”合成两位古人名：“谢玄”、“梁鸿”，使语句翻出新意来。

②云容复枕无非白，
水色侵矶直是蓝。
田种紫芝餐可寿，
春来何事恋江南。

（唐·陆龟蒙《和龚美怀鹿门县名离合其二为一》）

诗中包含了三个县名：白水，蓝田《寿春》。但从四句诗的句法结构上看，“白”和“水”、“蓝”和“田”、“寿”和“春”，彼此并不形成直接联系，这是“离”。而在诗的深层内涵上，读者又应将它们有机地连缀起来，获得三个完整的概念，这是“合”。

“离合”说到底还是一种嵌字形式，即先将词拆开，嵌进诗歌、联语中，构成文字表层意象；再经读者联想，将拆离的词语“复原”，显示出文字的深层含义。因此，离合格可以归并到镶嵌格中，算嵌字一类。

99. 联　　边

【联边】 liánbiān　连用三个或三个以上偏旁、部首相同的字。

①鸿鹄鹚鹏鹕鹦鹘，
鳟鲂鲤鳍鲂。

（宋·邓林《皇荟曲·赋江郊渔弋》）

钱钟书在《谈艺录》中评价此联说：“以柏梁体作七律对仗”、“大胆出奇”。

现代文学作品中有不少“联边”的精彩例子。

②太初有字，于是汉族的心灵，祖先的回忆和希望便有了寄托。譬如凭空写一个“雨”字，点点滴滴，滂滂沱沱，淅沥淅沥淅沥，

一切云情雨意，就宛然其中了。

（台湾·余光中《听听那冷雨》）

③听呀！溅溅潺潺澎澎湃湃和和曷曷极复杂的浪声洋洋地装满了我底耳鼓了。

（汪静之《海滨》）

④船在上面航行，上端是山色云彩，下面也是山色云彩，船头冲破了画图，涟漪潋滟，倒影碎裂之后，波光摇曳，船腹下的图景又愈合起来。

（秦牧《镜泊湖丰采》）

例②迭用一连串象声词，诉诸人的听觉；而这些象声词又共用一个“氵”旁，“氵”是象形符号，连用十二次，诉诸人的视觉，使人通过字形字义联想到雨的大小、疏密、疾徐；或重落，或轻洒；有大雨如注，有细霏如丝。例③迭用五个象声词，描摹各种海浪音响的组合，连用八个“氵”旁，使人联想到海面的开阔与海水的汹涌。例④“涟漪潋滟”四字联边，设词精巧，使人联想到水波水纹之美。旧体诗中，以“氵”联边的句子也不少，如：唐朝元稹的《水上寄乐天》前四句是：“眼前明月水，先入汉江流。汉水流江海，西江过庾楼。”清人查初白《庐山五老峰海绵歌》：“滔滔滚滚浩浩然，混沌何处分坤乾”。当代柳亚子《感事呈毛主席》：“腾欢今日新天地，澎湃潮流沸海江。”

⑤柤梨橘栗桃李梅。

（《汉武帝君臣柏梁台联句》）

⑥车窗的另一面，不是长着碧绿庄稼的整齐田地，便是长着上千盈百的杏树、桃树、桔柑树、橄榄树的山坡上的果园。

（冰心《再寄小读者·通讯五》）

⑦树梢树枝树根根，
亲山亲水有亲人。

（贺敬之《回延安》）

三例都用“木”字联边，例⑤写果树林立，例⑥真好象让人看到了满山坡的果林，例⑦突出了根、梢、枝紧密相连不可分的特点。

⑧翻开一部《辞源》或《辞海》，金木水火土，各成世界，而一入

"雨"部，古神州的天颜千变万化，便悉在望中，美丽的霜雪雲霞，骇人的雷電霹雹……

（台湾·余光中《听听那冷雨》）

列"霜雪云霞"、"雷电霹雹"于一处，以形旁"雨"字联边，使读者能形象地感受到"天颜"的"千变万化"。

我国传统楹联中，有不少运用联边的佳作。这些佳作将汉字形、音、义结合的特点，发挥到了极致，构成一种独特的语言风采。

⑨浩海汪洋波涛涌溪河满注，
雷霆霹雳霭雲雾霖雨雰霏。

上联以"氵"联边，下联一律用"雨"字做形旁，上联写水文，下联写天文，联语选字巧妙，包罗万象，气势开阔。

江海河湖波浪涌，
远近遐迩逍遥遊。

（船户楹联）

联语琅琅上口，内容浅易通俗，上联七个"氵"，突出了船户水上作业的特点，下联七个"辶"（音 chuò），突出来船户运输作业的特点。此联构思精巧，令人玩味。

⑪宠宰宿寒家，穷窗寂寞；
客官寓宦宫，富室宽容。

相传明朝天启元年，宰相叶向高经过福州，看望新科状元翁正春，留宿翁家，翁出上联求对，叶即以下联相应。全联十八个字，都用宝盖头"宀"。"宀"音 miǎn，本是房屋的象形，本义就是房屋，后来"宀"只做偏旁用，凡由"宀"组成的字，多与房屋有关。这里，连用十八个"宀"，突出了对联"留宿"的主题，极富语趣。

联边是汉语特有的修辞方式，这是由记录汉语的符号体系——汉字的特点决定的。

汉字是形、音、义的统一体，属表意文字。从汉字的构成来看，可以分成没有标音成份的象形、指事、会意的纯表意字和有标音成份的形声字两大类；而形声字的形旁、声旁本来也是一个象形符号。联边字基本上都是形声字，相同偏旁连用，可以以形表义，加深人们对字义的理解，

并根据字形产生对语句整体意义的联想，进一步丰富语句的内涵。

联边字具有部分相同的形体结构，从字的排列来看，联边字富于一种统一、和谐，而又有变化的建筑结构美。

刘勰在《文心雕龙·炼字》篇中，对联边有过论述。刘勰精辟地指出："联边者半字同者也"，但刘勰主张"省联边"，认为联边字出现在文章里"则齟齬为瑕"，应该尽量避开，如果非用不可的话，也只"可至三接(连用三个)。三接之外，其字林乎(那些字不就成了字典了吗)?"

刘勰的话很有道理，使用联边字，不能一味追求形式，搞文字游戏，但也不要绝对化。事实上，在口语和书面语言中，三字联边俯拾即是，四字联边也很常见，如："言谈话语"、"呼喊叫嚷"、"枯木朽株"、"汹涌澎湃"、"崇山峻岭"、"崎岖峥嵘"、"芙蓉芍药"、"葳蕤葱笼"、"魑魅魍魉"等等。有些作品中的联边确实是刻意为之，以通过字形，突出相关语义。因此，把联边作为辞格研究，还是必要的。

100. 异　　形

【异形】 yìxíng　在同一著作的上下文中，有意将同一个字写成不同的形状。

在汉字发展史上，存在一个字多种写法的现象，除了篆、隶、行、草、楷等字体差异外，同一种字体，如楷书，也会有不同的写法。在历史上公认正规的写法，叫做正体，相对的是俗体。从笔画多少来看，可分为繁体与简体。从流行的时代来说，则有古体、今体之分。现代汉语文字改革的结果，异体字基本上消灭了。例如的情况也有，如：一、二、三……，壹、贰、叁……，这只是作为数字的大小写，各有用处。大写数字通常用于单据合同等经济性文据中，以防涂改。异形格却是有意兼用不同的字形。

①不如壹天下，建国家之权称，上功用，大俭约而慢差等，曾不足以容辨异、县君臣；然而其持之有故，其言之成理，足以欺惑愚

众。是墨翟、宋钘也。

（《荀子·非十二子》）

一天下，财万物，长养人民，兼利天下，通达之属莫不从服，六说者立息，十二子者迁化，则圣人之得势者，舜、禹是也。

（同上）

②吴起支解而商君车裂者，不逢世遇主之患也。

（《韩非子·问田》）

吴起收泣于岸门，痛西河之为秦，卒枝解于楚。

（《韩非子·难言》）

③臣事项王，官不过郎中，位不过执戟，言不听，画不用，故倍楚而归汉。

（《史记·淮阴侯列传》）

常山王背项王，举项婴头而窜，逃归于汉王。

（同上）

例①荀卿在文章中主张国家要统一，君臣上下应有差别，批判了墨翟和宋钘·慎到和田骈、惠施和邓析等十二人代表的六派学说。“壹天下”和“一天下”意思完全一样。例②韩非在自己著作中不止一次提到吴起在楚国被肢解的事情。两篇文章中，一用“支”字，一用“枝”字，都表示肢体的意思。例③前头引的一句是韩信对项羽派来的说客武涉说的话，解释了自己当初背弃项羽的原因。后头引的一句是辩士蒯通为韩信出谋划策，劝韩信独立自图天下时说的话，引用了常山王背叛项羽的事。

运用异形格的先决条件是存在异体字，而这个格的作用主要在于显示汉字形式的丰富。汉字的形与义有关。蒯通开始扮作看相的，对韩信说：“相君之面，不过封侯，又危不安。相君之背，贵乃不可言。”这里的“背”字双关，暗含背叛的意思。所以尽管《史记》中表示背叛、背离常用“倍”字，而记载蒯通谈常山王之事时也用了“背”字。古代作者有意识在上下文中使用异体字，既借以表现知识的渊博，又避免字形的单调重复，还可以发挥汉字形义相关的作用。

文字改革的结果，异形格在一般书刊中难以出现。根据现行规范排印的古代作品，一些异形格现象也会被改掉，因而看不出来。

但现代书法作品仍继承古代异形格传统。如果所写的诗文中有两个“春”字或两个“秋”字，很可能在书法作品中会将一个“春”字写成行书，另一个字写成草书，或者一个“秋”字左边是“禾”右边是“火”，另一个字则左边是“火”右边是“禾”。繁简体并用的异形格在现代社会生活中还常出现，以商标名称为例，可以看到“熊猫高级洗衣粉”——“熊猫牌”(北京日用化学二厂)。又如在报刊上常见：“北京晚报——本报地址：东单西裱背胡同34号”。用繁体是为了遍求艺术效果，常常写美术字或请名人、书法家题字；用简体则作为普通的书面表达形式。两者互相对照，构成了异形格。

正确运用异形格，还有利于海内外交流。不过该简而繁或该繁而简的字体错误却不能混同于异形格。例如下述两种写法都是错的：广州五羊牌挂钟(应为“挂钟”)；广州五羊牌挂鍾(应为“挂钟”)。这两个短语的写法都破坏了字体的统一。有一张报纸的报头题字不足为训：中國電視報。如为繁体，则“电”字应作“電”；如为简体，则“国”“视”“报”都要改了。在招牌、广告、名片上常出现这种繁简字体不统一的错误，应注意避免。一般人的文稿中，常见的字形错误是写不规范的简化字，如：付(应为“副”)食品、人民艮(应为“银”)行、不幸遭迁(应为“遇”)等。还有就是用繁体字，如：“一对夫妇只生一個(应是“个”)孩子好”。以上例子均与异形格无关。

101. 拆　　词

【拆词】 chāicí (析词)把一个结构固定的词或短语拆开来，中间插进一些词语，或者颠倒原来的语序，或把不能独立运用的语素当作词来独立运用。

①画幅上，一个牧人在月下拉马头琴，暗自思乡，人静静地，不见悲也不见哀，琴头上的马头却已是眼泪扑簌……

(庐野《闲话河西》)

②群众很能运用和创造语言，此外也流行一些似是而非，或是似非而是的新字眼，还有经过改变和“谑化”的新字眼。

（孙犁《主题和题材》）

③金童儿道：“何谓‘心血来潮’？小仙自来从未‘潮’过，也不知‘心血’是什么味。毕竟怎么‘潮’法？求大仙把这情节说明，日后好等他‘来潮’。”

（清·李汝珍《镜花缘》）

从语法角度来看，“悲哀”、“似是而非”、“心血来潮”这些词语内部的语素结合紧密，固定成型，是不能随便拆开的。但在上述三例中，出于表达的需要，作者有意将它们拆开使用了。例①的“悲哀”被拆开后，中间加入了动词短语“也不见”，“悲哀”被隔离开使用，成了“不见悲也不见哀”，强调“牧人”的情感已超越了一般的悲苦，更显深沉、含蓄。例②把“似是而非”颠倒为“似非而是”，语义大变，说明在群众中流行的“新字眼”，包含有许多合理的内容。例③金童儿为修炼之人，根绝了“七情六欲”，自然不懂“心血来潮”，故而将其随意拆开，拈出“心血”、“潮”、“来潮”使用，文字充满谑趣。

拆词分为隔离式、倒置式、拈用式三种。

〔**隔离**〕 gélí 在多音词或成语中加入其他词语。

④他现在五十一岁。刚刚提升为环境保护机构的主任……。他是为数不多的年富力强，又红又专，既被上级了解赏识，又被群众信赖拥戴，官而不僚、专而不僻、走红运而不被嫉妒的前途无量的人才之一。

（王蒙《惶惑》）

⑤你看看《易经》里提到了多少对矛盾！天地、阴阳、上下、大小、内外、进退、出入、往来、刚柔、生死、得丧、善恶、益损、泰否、吉凶、福祸、盈亏……多啦！数也数不完。各种矛盾交错在一起那就是无穷变化、变化无穷。你说句公道话，世界上有哪本哲学书能赛过《易经》？绝了！不但空前，而且绝后。

（鲍昌《绝笔》）

⑥李地倒了霉，那个乡下男生也跟着倒霉。若说“株连”，本来

不在一“株”上，却也“连”着了。

（林斤澜《李地》）

例④把官僚隔离成“官而不僚”，说明他虽担任领导职务，却没有官架子。例⑤把联合短语“空前绝后”拆开，加进“不但……而且”，变成递进关系，极赞《易经》独一无二的学术地位。例⑥把主谓结构的词“株连”，拆开隔离成为一个转折复句：“本来不在一‘株’上，却也‘连’着了”，强调“乡下男生”是无端蒙冤。这句话若写成一般说法：“本来和她没有关系，却受到了株连”，则文字就淡而无味了。

隔离式拆词常见于报刊标题。

⑦斯文扫地和斯文不如扫地。

（《文汇月刊》1985 第 6 期标题）

⑧羊毛未必出在羊身上。

（《人民日报》1989 年 9 月 18 日小标题）

⑨“玉堂”逢春。

（《工人日报》1980 年 3 月 14 日小标题）

例⑦文章列举了某单位科技人员收入低于清扫工人的事实，巧妙地拆用成语“斯文扫地”，揭露了社会分配不公的矛盾，标题醒目，语带讥讽。例⑧把人们熟知的成语“羊毛出在羊身上”拆开，加进“未必”二字，改变了人们的习惯性认识，引起新的思考：原来，文章批评的是巧立名目、将日常生活消费品列入“公费医疗”药单的种种不正之风。例⑨是一条经济新闻标题，反映的是山东济宁老字号“玉堂”酱园，前些年濒于绝迹，在搞活经济的政策帮助下，如枯木逢春、喜获新生。标题巧妙地借用了广大读者所熟悉的传统曲剧目《玉堂春》，把“玉堂”同“春”拆开，加进“逢”字，恰到好处地扣住了新闻内容，引起的人们的阅读兴趣。

隔离式拆词和镶嵌格中的“镶用”不同。虽然二者都有把词语拆开，添入词的特点，但“镶用”所添入的仅是虚词或不表示实际意义的数词，其修辞作用在于加强语意或延长音节，使之上口。而隔离式拆词则把词语拆开后，可以添入较多的内容，甚至隔离某词语而成为复句，使词义发生较大变化或根本变化。

〖**倒置**〗 dàozhì 颠倒合成词或成语的语素的顺序。

⑩春夏秋冬，风雨阴晴，它总是故我依然，本着那敦厚庄重，实而不华的面貌，巍然耸立。

（曹靖华《红岩归来》）

⑪江泰：我们只会叹气，做梦，苦恼，活着只是给有用的人糟塌粮食，我们是活死人，死活人，活人死。

（曹禺《北京人》）

⑫就在这次同游姑苏，我们这群游客步入沧浪亭的时候，映入眼帘的一副楹联曰："清风明月本无价，远水近山留有情。"发老（指程十发——编者）笑吟吟地说，这副对子只要上下联换个字，可以送给某些一味谋利的人，曰："清风明月本有价，远水近山皆无情。"这一字师，实在是使随行者赞为绝唱。

（韩天衡《发老的幽默》）

例⑩拆开"华而不实"，将"华"、"实"二字位置互换，词义完全相反，贬义色彩变成了褒义色彩，体现出作者的赞美之情。例⑪"活死人"置换成"死活人"、"活人死"，是江泰的愤激之言，包蕴着"我们"无力摆脱寄生生活的自怨、自恨、自责，却又无可奈何的情感。例⑫将"清风明月本无价，远水近山皆有情"上下联中有"、"无""二字颠倒，联语意思完全改变，批评了某些风景游览区只顾谋利而忽视社会效益的错误做法。

旧体诗词由于对仗、合仄押韵的需要，常常将词中语素倒置。如：

我失骄杨君失柳，
杨柳轻飏直上重霄九。

（毛泽东《蝶恋花·答李淑一》）

回顾西南满战云，
台高尔雅旧情殷。

（朱德《和郭沫若同工年登尔雅台怀人》）

毛泽东词中"重霄九"应为"九重霄"，颠倒是为了押韵的需要。朱德诗中"台高尔雅"应是"尔雅台高"，出于格律的要求，特将"尔雅台"拆开倒置。

古典诗歌中，也有不少这类例子。李白的"黄鹤楼中吹玉笛，江城五月落梅花"（《与史郎中钦听黄鹤楼上吹笛》），《梅花落》是古代人们熟悉

的一支笛子曲，诗人将其倒置为“落梅花”，把听觉转换成动人的视觉形象，仿佛随笛声化出漫天梅花飘落，惹动了迁客的愁肠。杜甫的“他乡唯表弟，还往莫辞遥”(《王十五司马弟出郭相访》)，应作“往还”，但“往还”是仄平声，这句的第二字必须仄声，因此，颠倒作“还往”。苏轼的“平沙细草荒芊绵，惊鸿脱兔争后先”(韩翰《牧马图》)，为了押韵，把“先后”倒置成“后先”。

〖**拈用**〗 niānyòng 从合成词或成语中拈出语素或词来独立运用。

⑬所以人们慨而叹之：“从言可畏。”不过我又想：倘苦人们，特别是领导者，根本不理那个“茬”，那末，这种喊喊喳喳的“人言”再多，也不过是一堆“语言垃圾”，何“畏”之有！可见，从某种意义上讲，“可畏”的倒不在“人言”，而是轻信“人言”，对人没有“基本看法”。

(陈贤德《“可畏”在没有“基本看法”》)

拈出“人言可畏”中的“人言”、“畏”、“可畏”独立使用，衍成一段文字，阐明人言之可畏，还在于对人失去了“基本看法”。

⑭鲁迅对懋庸说过这样一段话：“有不少‘左翼’作家，只‘左’很少‘作’，是空头文学家，而你每年至少译一本书，而且文章写得不少。”这显然是对懋庸的一种赞许。

(任白戈《〈徐懋庸杂文集〉序》)

“‘左’而很少‘作’”，五个字一针见血，击中了某些“左翼”作家的要害。鲁迅巧妙地拈用“左”、“作”两字，作的评论极其精彩。

⑮……就是在平时，也许会冒出这个函授班，那个辅导班的。他们大登广告，招来学员。这其中虽然不少确系认真进行了“函授”与“辅导”，赢得了社会的信誉，但同时也不乏“挂羊头，卖狗肉”的，主办者要“钓”的，不是学员，而是学费。一旦“费”到手，“学”就丢到脑后去了。

(江曾培《在免费培训班上》)

拆开“学费”，拈用一“费”字，一“学”字，揭露了某些“函授班”，“辅导班”主办者，取“费”而不兴“学”的欺骗行为。

⑯任劳任怨是美德，但是少“怨”更能多“劳”；少分心去“任怨”，更可养精蓄锐去“任劳”。这岂不更好！

（吴振标《任劳任怨的“怨”》）

拆开“任劳任怨”，拈用“怨”字、“劳”字，拈用“任劳”和“任怨”，辩证地阐明减少“内耗”，将有助于人们集中精力去劳动、创造。

拆词中也常套用其他辞格，使文字新奇，语趣无穷。

⑰他一直拿我当兄弟。确实他象他的小兄弟。一九六六年，他从家里“整编”出八角钱来，带我串联了十一个省，混火车混红卫兵接待站的“嗟来之食”，其实“窜”而不联。

（乔瑜《少将》）

利用“串”、“窜”谐音，仿造一个新词“窜联”，再将其拆开隔离成“‘窜’而不联”，语言诙谐活泼，说明“我”和“他”的串联，不过是到处乱“窜”、瞎逛罢了。

⑱1984年七月，我到杏花村酒厂参观时，厂党委书记迎了出来，经介绍后，他笑对我说：“久闻大名”，我也笑对他说：“大闻酒名”，引众人一笑，这四个字就是这么说出来的。

（方成《借题话旧》）

利用“久”、“酒”谐音，颠倒“久闻大名”为“大闻酒名”，语言十分幽默。“我”的回答机智又恰如其分。

拆词格突破了词汇学的常规，将语词的稳定性语法结构打乱，使短语中的词、词中的语素相对独立，巧用、活用这些词或语素的意义，从而扩展了语词的适用范围，大大丰富了语词的表现力，可以收到特殊的语言表达效果。

102. 颠　倒

【颠倒】 diān dào　把一个词或词组或成语的语素次序故意颠倒过来，起强调的作用或产生幽默的效果。

①画家方成有一幅题为《武大郎开店》的漫画，妙不可言，说的是身高不足三尺的武大郎荣任了领导，声言"比我高的都不要！"……此画号"漫"，其理不谬……

（霍达《国舫》）

②青年时出抗日革命，是两袖清风，一无所有的，及至晚年，无"甲"可"解"，无"田"可"归"。

（孙犁《转移》）

例①将"漫画"一词拆开，颠倒语素次序，意在强调这幅画构思富有浪漫性，联想奇妙而切中时弊；例②把成语"解甲归田"拆开，再颠倒运用，突出无"田"无"甲"，与前文"一无所有"相照应。

③甲　……上一次我一个朋友的母亲死了。

乙　啊。

甲　我想给送一块幛子吧！

……

乙　当然啦。您写的什么词？

甲　"德配孟母"。

乙　这怎么讲？

甲　古代有八位贤母，孟母（孟子的母亲——编者）是其中之一，我这个意思啊，说他母亲的美德跟孟母一样，这词儿怎么样？

乙　好哇。

甲　写完喽，得干喽才能往上绷哪！

乙　是啊。

……

甲　第二天我就给人送去了，进门送了份子（礼金），茶房把幛子接过去就给挂上啦！大伙都瞧我这个词。

乙　那当然啦，你这个词好哇！

甲　我在一边喝茶，一会儿本家也来瞧来啦，就听本家在那儿嚷嚷："这块幛子是谁给挂的？"

……

乙　怎么？

甲　我没言语他那儿还嚷："瞧他走了没有？"这我不能不言语啦！我说："在这儿哪。""好，揍他！"过来好几个人不容分说就揍我。

乙　哎，这怎么回事？

……

甲　是啊，我过去一瞧哇，是得挨揍。

乙　哎，"德配孟母"这词儿多好啊。

甲　是啊，让我媳妇给绷倒了。

乙　倒啦？

甲　她给弄成"母配孟德"啦。

……

乙　啊！嫁给曹操了？

（侯宝林《窝瓜镖》）

"德配孟母"是主谓词组，将其主宾关系颠倒，母字与德字互换位置，结果闹出了大笑话。相声中，作者惯用颠倒的手法，制造噱头，以获得幽默的效果。

本辞典列设颠倒格，但也可将其并入拆词格中。

103. 藏　词

【藏词】 cángcí 将人们熟知的、定型的短语或句子(熟语,包括成语),在使用中故意隐去本词,即藏去本来用以达意的词,而只用藏余的部分来代替。

藏词,含而不露,使语言韵味深蕴,意趣诙谐。

①年初,他过了而立,闹了离婚,然后周游各地。

(刘家琨《光环及享乐主义的平原》)

②世与我而相违,复驾言兮焉求!

(东晋·陶渊明《归去来兮辞》)

③朱鲔涉血于友于,张绣剌刃于爱子,汉主不以为疑,魏君待之若旧;况将军无昔人之罪,而勋重于当世?

(丘迟《与陈伯之书》)

例①"而立"语出"三十而成"(《论语·为政》),隐去的本词是"三十",例中意在揶揄,过了三十岁,业未立,却离了婚,只好到处"周游"。例②"驾言"语出"驾言出游"(《诗·邶风·泉水》)。言,助词,有"以"的意思,这里截取"驾言"来代替本词"出游",用在句中,是用自我反诘的语气来表达息交绝游的心愿。例③"友于"语出"惟孝友于兄弟"(《书·君陈》),以"友于"代兄弟,此例句意为朱鲔参与杀害光武帝刘秀的哥哥刘伯升,后朱鲔降光武,光武帝不疑,丘迟借以劝降陈伯之。

藏词分藏头、藏腰、藏尾三种。

〖藏头〗 cángtóu (抛前藏词)本词在所用熟语的前部,使用中藏去本词,仅截取后部来代替本词。

④弹指一挥间,白求恩同志离开我们50年了。他所参加助产的新中国这个婴儿也已过了不惑之年,可是白求恩并没有离开我们。

(周而复《他活在人们心中——纪念

白求恩同志逝世五十周年》)

⑤杜兄,余旧日同窗,其貌不扬,嗜酒如命。自谢杜康之后,一时薄寒,邀余至其所小酌。三杯下肚,怅然太息,曰:"几近'知天命'之年,犹区区一仓库之保管,能不作弹铗之叹耶!君坐厂办二把交椅,盍不助某一臂之力?没齿不忘也!"

(宋彦尊《杜兄》)

⑥郑志那么亲昵地抱着我的丑儿,他的"及乌"之情烧烤着我。

(司丝《他从"昨天"走来》)

⑦搴要其为誓,子升笑曰:"但知劣于卿便是,何劳旦旦!"

(《北史·孙搴传》)

⑧君匪从流,臣进逆耳。

(南朝梁·萧统《〈文选〉序》)

例④"不惑"语出"四十而不惑"(《论语·为政》),隐去本词,略去连词,仅以"不惑"入文,是藏头,说新中国建立已经四十年了。例⑤"知天命"语出"五十而知天命",与上例"不惑"同源,藏去语头"五十",是杜兄自叹五十岁无官职,钻营求官的用语。例⑥"及乌"藏去本词"爱屋",写"我"领会了郑志抚爱丑儿是对自己的痴恋之情。⑦"旦旦"语出《诗·卫风·氓》:"信誓旦旦"。"何劳旦旦",语意是:何用为誓。例⑧"逆耳"语出《孔子家语·六本》:"忠言逆耳利于行",本词是"忠言"。

〔藏腰〕 cángyāo (舍中藏词)藏去的本词在所用熟语的中段。

⑨溉每和御诗,上辄手诏戏溉曰:"得无贻厥之力乎?"

(《南史·到溉传》)

⑩岂不念旦夕,
为你惜居诸。

(唐·韩愈《符读书城南》)

⑪一二三五六——没四(事)。 (歇后语)

例⑨"贻厥"语出"贻厥孙谋"(《诗·文王有声》),本词"孙"藏于该语中腰。例⑩"居诸"语出"日居月诸,胡迭而微"(《诗·柏舟》)。"居诸"代"日月",一字为藏头,一字为藏腰。例⑪以藏腰兼谐音飞白形成歇后诸。藏词与歇后的关系,后文将有辨析。

〖**藏尾**〗 cángwěi （弃后藏词）藏去的本词在所用熟语的尾段。

⑫经过治疗，虽然大有好转，遵医嘱却要戒绝烈性酒和香烟。从此步入了“藕断”阶段。

（钟灵《举杯常无忌，下笔如有神》）

⑬“哈哈，你俩！咋？不请示，不汇报的，倒偷偷‘自由’上啦！”公社书记马志国压低声音，笑呵呵地开起年轻人的玩笑来。

（郑义《老井》）

⑭愿言之怀，良不可任。

（三国·曹丕《与朝歌令吴质书》）

例⑫“耦断丝连”是习熟成语，此处隐去的本词“丝连”在尾部。例⑬“自由恋爱”习熟于口头，此例中以“自由”代“恋爱”，幽默风趣。例⑭“愿言”语出“愿言思子，中心养之”（《诗·二子乘舟》），所隐本词“思子”原在“愿言思子”的尾部。

藏词的材料本来“都是采自《诗经》、《尚书》等几部知识分子比较熟悉的古书”（《修辞学发凡》），具有简约、典雅的特点，但随着世事的变迁，这些藏词材料，有些由于文字古奥，不为今人熟悉，使用者的圈子已很小了，另一些词意浅显如“而立之年”一类，又由于用之日久，渐已失去了修辞的新鲜敏感的特点。新的语言环境又造成了一批新的藏词材料，如例⑫、⑬的“藕断丝连”、“自由恋爱”之类，有较新鲜的语趣，而例⑥的“爱屋及乌”就有点费思忖，当然也多了一些品味的余地。

藏头、藏腰、藏尾是一般的分类，本来藏腰的例句就不多见，况且头、腰、尾也难于有一个明确分界，譬如“略回冗其若兹今，北臾颇识其倚伏”（班固《幽通赋》），句中“倚伏”语出“祸兮福所倚，福兮祸所伏”（《老子》第五十章》。这是藏头还是藏腰，就难以说得清。

在口语中，藏尾（陈望道先生称之为“歇后藏词语”）得到了极大发展，遂形成了“譬解语”格式的歇后语，即由譬语（打比方的部分）和解语（揭明本意的部分）两部分构成，例如：骑驴看唱本（譬语）——走着瞧（解语）。然而就藏词的截去本词、以余代本的基本特征而言，歇后语已派生而成为一种可以独立门户的修辞形态了，所以本书单将“歇后”列为一格。

104. 割　　裂*

【割裂】 gēliè　故意省去成语或熟语中直接达意的成分或省去专有名词的若干字，仅以余字当作标字来替用。

①臧使者枉用三尺，以仇一言之憾，……

（明·高启《书博鸡者事》）

②北钢早已并入了首钢，你一点也不知道？

（王芝《巧遇》）

例①省去"三尺法"中的达意成分，以"三尺"代"法"，此类例子应归入藏词。例②"北钢"是"北京钢厂"的"紧缩"（简称）；"首钢"是"首都钢铁公司"的"紧缩"（简称）。此类例子应归入简称。

割裂和两个辞格交叉，不宜另立一格。

105. 歇　　后

【歇后】 xiēhòu　用比喻再加上解说构成一种幽默风趣的语句。

歇后语通常由两个部分组成：第一部分是比喻，类似谜语的谜面；第二部分是对比喻的解释或揭示，类似谜语的谜底。人们说话时，往往只说前半截的比方，而略去后半截的释义，为的是让听话的人自己去体会，故名歇后语。

①刘春冷冷看了他一眼，蔑视地说："想从我身上捞到什么，你是十二月天找杨梅，难上难呀！"

（武剑青《云飞嶂》）

②康有富受了这么大害，不是今天不说，以后也会说的。雪地

里埋不住死人呀！

（马烽 西戎《吕梁英雄传》）

③王金堂脸上热辣辣的，胸脯上长草——荒（慌）了心啦。

（肖英俊《山村风雨》）

④战斗要是不了解敌情，那就等于瞎子扑蚂蚱，有你也抓不住。要是弄清了敌人的底细就是瓮中捉鳖。

（刘流《烈火金刚》）

⑤“他们都是一套配一套，歪锅配扁灶。”陈大春对张桂贞和符赖子都很看不起。

（周立波《山乡巨变》）

⑥自从成立互助组之后，他这“新老板”的日子就越来越不好过了，越往后越紧，就像耗子钻进了牛角。

（谢璞《无边的眷恋》）

⑦赵庆裕在大柳树下站起来，摸摸光溜溜的秃脑袋，亮开他钻耳朵蛐蜒的尖嗓门儿说：“打日本，这是个爱国的事情，就用不着多费口舌。让我说，咱满打满算起，朝廷爷吃煎饼，均（君）摊了。”

（刘江《太行风云》）

⑧行者笑道：“老官儿，你估不出人来，我自小结实，却是‘吃了磨刀水的，锈（秀）气在内’哩！”

（明·吴承恩《西游记》）

⑨人嘛，药材店里的抹布——甜酸苦辣样样都得沾点。

（张贤亮《河的子孙》）

上面例①、⑦、⑧以及例④中的第一个歇后语，都是用逗号把前半截的比喻部分与后半截解释部分隔开；例③、⑨都是用破折号隔开；例②和例④中的第二个歇后语，都是只有前半截比喻部分，而没有后半截解释部分。例⑤的正常顺序应是：歪锅配扁灶——一套配一套。例⑥的正常顺序应是：耗子钻进了牛角——越往后越紧。例⑤、⑥打破了歇后语的常规次序，释义与比方相互交换了位置，从而使人顿生新奇之感。

以上的种种变化都是结构上的，因此从结构上我们可以将歇后语分为三种类型，即：全式、略式和逆式。由比方和解说前后两部分构成的

完整形式，为全式歇后语。只有前半截的比方，而无后半截的解说的不完整形式，为略式歇后语或简歇后语。将前后两截倒置的方式，即将后一部分的释义放在了前一部分比方的前面，为逆式歇后语。

另外，上述例句还有如下特点：

例①、例⑨以及例④中的第一个歇后语都是直接运用后者对前者进行解释或引申；而例③和例⑦、⑧中的歇后语，则是通过谐音的方式，先转一个弯，然后再对前者进行解释或引申，如例③中的"荒"，谐音"慌"，例⑦中的"均"谐音"君"，例⑧中的"锈"，谐音"秀"。

歇后语具有诙谐幽默、生动活泼的修辞效果，使用得好，可以增添作品的生活气息。以上两种变化，不是结构上的、而是表达方式上的不同，即歇后方式的不同——这正是我们探讨的重点。据此将歇后分为喻意歇后和谐音歇后两种。

〖**喻意歇后**〗 yùyìxiēhòu 利用后半截的释义去强调或揭示前半截的比方。

⑩"噢！闹了半天你也跟着人家娜敏伊虹表态啦?!"白丽朵有意地火上加油，"你还说老米大哥斗不过人家呢，你也是牛鼻子穿环——让人家牵着走。"

（张长弓《娜敏伊虹》）

⑪按旧习惯，婆婆找媳妇的事，好象碾磨道上寻驴蹄印，步步不缺。

（赵树理《李有才板话》）

例⑩中"牛鼻子穿环"是个比方，"让人家牵着走"是结果，这一结果主要用来表明说话做事完全听从别人，自己不能主宰。寓意颇为深刻。例⑪中"步步不缺"恰到好处地点明了"磨道上找驴蹄印，到处皆是"的内涵——如果婆婆要找媳妇的茬，那是再容易不过了。

〖**谐音歇后**〗 xiéyīnxiéhòu 不是依据前后两截的内在关联，而是通过后半截的关键词语的谐音去显示寓意。

⑫我心头一直在想，红军为啥能走南闯北打胜仗?而蒋介石为啥硬是和尚的脑壳——没发(法)呢?

（高缨《云崖初暖》）

⑬细心想想，六九年来屯的那伙子征粮工作组，也实在是坏掉根的茄苗——不成个秧(样)子啦！

（刘亚舟《男婚女嫁》）

⑭窑洞外，早已响起了杨爷爷的声音，“司令员也在这里呵，那就菩萨背后一个窟窿——庙(妙)透了。”

（张思忠《龙岗战火》）

例⑫中，“和尚的脑壳“本来与“没法”毫无关系，然而通过“发”与“法”谐音，便产生奇妙的讽刺效果。例⑬中，“样”因为谐音取代了“秧”，例⑭中“妙”因为谐音，取代了“庙”，从而增强了语言的表现力。

106. 反　　切

【反切】 fǎnqiè 利用前一个字的声母和后一个字的韵母拼成一个需要表达的字。

反切在汉语里可以是注音手段，可以是构词手段，也可以成为修辞方式。

反切在东汉末年已经出现，流行至今近两千年。反切普遍用于注音，例如宋本《广韵·上平声·东》有“冻”字，注明“又都贡切”，是说又读去声，象现在读法一样。我们在《去声·送》里边也可以找到这个字，而且注明“又音东”。民间口语里面有人利用反切方法进行生活交际，如：“基因踢淹力奥地英力挨古阿”这句话意思便是‘今天老丁来过”。这种现象可以有意用作某些社会集团内部隐语的补充手段，集团以外的人如不知道是反切，便不懂所说的话。但也有模仿这种手段为了娱乐的。这种反切现象已经成为特殊的交际手段。

根据反切原理形成的单音节词与双音节词就构成了汉语中的特称同义现象。例如：诸——之于，之乎；叵——不可；孔——窟窿；角——矻落；茨——蒺藜。

这种现象还存在于双音节的象声词中。如：劈啦——劈里啪啦；乒

乒——乒拎乒啷;乒彭——乒零彭隆;丁当——丁零当郎;丁东——丁零东隆。上面的双音节词都有双声的特点。四音节词则是前后两个音节叠韵。这些四音节象声词,前两音节反切成双音节象声词中的第一个音节;后两音节反切成双音节象声词中的第二个音节。劈里——劈;啪啦——啦;丁零——丁;东隆——东。第二、四音节利用流音"l"。

单纯用两字切一个字的现象又称为切脚。比切脚更进一步的是双反。即根据反切道理,先顺反,再倒反,这样通过两个字反切出另外两个字。据史书记载,梁武帝建同泰寺,把对着寺的南门命名为"大通门"。这里"大"字是"同泰"切,而"通"字是"泰同"切。又如,陈后主名叔宝,传说人们根据他的名字反切:"叔宝"——"少","宝叔"——"福",这样一顺一倒,变成了"少福",说成是亡国的预兆。

比较起来,切脚是单程式的反切,而双反则是来回双程式的了,两者都是汉语独特的修辞方式。两种格式均见于诗文中。

〖**切脚**〗 qièjiǎo 指单程式的反切。

①伯棼射王汰辀,及鼓跗,着于丁宁。

(《左传·宣公四年》)

②正忧坐客寒无席,遗我新蒲入突栾。

(王廷珪《宁公端惠蒲团》)

③紫衣女子听了,望着红衣女子轻轻笑道:"若以本题而论,岂非吴郡大老倚闾满盈么?"红衣女子点点头笑了一笑。唐敖听了,甚觉不解。

(清·李汝珍《镜花缘》)

例①中的"丁宁"就是"钲"。鼓和钲都是古代行军的乐器。例②中的"突栾"就是"团"。蒲团是蒲草编成的团形坐具,诗中是说送来新蒲草打成的坐垫。例③按当时读音"吴郡"切"问"、"大老"切"道","依闾"切"于","满盈"切"盲"。"问道于盲"是嘲笑多九公等人不懂反切的道理。

〖**双反**〗 shuāngfǎn 指来回双程式的反切。

④诸葛恪,芦苇单衣篾席落,子何相求成子阁。

(晋·陈寿《三国志·吴志》)

⑤何僧智者,尝于任昉坐赋诗而言其诗不类。任云:"卿诗可谓

高厚。”何大怒曰:“遂以我为狗号。”任逐后解说,遂不相顾。任君复云:“经蓄一枕,不知是何木?”……谓任君曰:“此枕是标槠之木。”任诧不觉悟,此人乃以宣夸于众,有自得之色。

(南朝梁·萧绎《金楼子·杂记篇上》)

⑥文惠太子立楼馆于钟山下,号曰东田。

(唐·李延寿《南史·郁林王纪》)

⑦大白东西飞正狂,新刍石冻杂梅香。诗中反语常迴避,尤怯花前唤索朗。

(唐·段成式《怯酒赠周繇》)

例④是吴国一首民谣。当时诸葛恪残暴无道,民怨沸腾,百姓编了这样的民谣诅咒他。按照当时吴音,“成阁”切“石”,“阁成”切“冈”,中间夹着一个“子”不动,“成子阁”变成“石子冈”,这是双反的一种变化形式。这首民谣意思是说:诸葛恪不得好死,只能用苇席裹起来,用篾条束着,扔到石子冈上。

例⑤记载南朝时的一个故事。文学家任昉说何僧智的诗高厚,何僧智却从双反去理解这二字,“高厚”顺切“狗”,“厚高”倒切“号”,因此发怒。接着何又用“标槠”来讥讽任,因为“标槠”顺切“铺”,“槠标”倒切“糟”,反过来奚落任昉“铺(吃)糟”。

例⑥“东田”顺切“颠”,“田东”倒切“童”,是“颠童”的意思。

例⑦这首诗里的“反语”指的就是“双反”现象。“索朗”顺反为“桑”,“朗索”倒反为“落”,“索朗”指桑落酒。大白,大杯;石冻,酒名。在现代汉语里,已经看不到双反的现象。

107. 换　述

【换述】 huànshù　在上文已叙说的基础上,紧接着故意改换一种说法,将意思再复说一遍。

①正如彩虹的七种颜色一样,自然光可呈现不同的颜色,换言

之，自然光是各种不同波长的光的集合体。

（张承志《花色的秘密》）

②《三国志》王肃传上就有“学足三余”这一句话，也就是说，晚上是白天多余的时候，落雨落雪是晴天多余的时候，冬季是春夏秋之季多余的时候。平日都要工作，只有在工作之余的时候读书。读得久了，学问也就会丰富起来。

（徐特立《小学教师自学经验谈》）

从①②两例即可看出：换述一般由前后两部分构成，即已述部分（A_1）和换述部分（A_2），并常用“换言之”一类的换述语将两部分连接起来，构成“A_1 换言 A_2”的形式。表面看来，A_1 与 A_2 是等值的，但两者并非同一个意思的简单重复，而是 A_2 对 A_1 起概括、强调或解释的作用。因此运用换述，能收到重点突出，浅显易懂的修辞效果。

③何谓岩芯？即为进行地质勘探时用管状的机件从地层中取得的柱状岩石标本。一位女地质工程师告诉我们：“岩芯是地质学家的眼睛。”换言之，地质学家就是通过一段段岩芯来了解地质构造情况的，如油田的地质构造，沉积的地质环境及原油的特点等等。

（牟彦彦《出油出精神》）

④厨房里传来各种各样又忙乱又喜悦的声音，洗菜、切菜、淘米，妻子看样子对未来的儿媳很满意，也可以说，儿媳在他不在时，已和这位未来的婆婆有过接触了。

（聂鑫森《书巢》）

⑤他（颜一岑——编者）出身官宦人家，爷爷在前清放过知县，父亲在直隶当过道台。他有个舅父，是袁世凯小站练兵时的文案师爷。用今天的话来说，文案就是秘书，参与机要，被袁世凯视为心腹。

（鲍昌《绝笔》）

例③为了让读者对岩芯的科学价值有一个确切的认识，作者在借用一个比喻之后，有意将原意再复说一遍，显然，换述部分是对已述部分作进一步的说明，或者说，是用科学性的解释来补充文学性的描绘。

例④已述部分是从妻子方面谈的，而换述部分是从儿媳方面谈的，合起来说明婆媳之间已经关系融洽，十分和谐。例⑤中“文案师爷”为旧时官场中的专称，已不为今天的一般读者所熟悉，作者故意加以换述，读者顿时一目了然。由此可见，正是在已述部分和换述部分这种对照、解释、补充、修饰之中显示其修辞的意义。

一般说来，换述通常只复说一遍，但有时作者觉得一遍而不能尽其意，因此再复说一遍。再换述部分同样需用“换述语”连结起来：

⑥雄蟹首先“进攻”雌蟹，雄蟹强有力的大螯钳住雌蟹的步足，雌蟹任凭雄蟹摆布。雄蟹在找到一个安静的场所后，双方开始“拥抱”交配。可见，河蟹的长途跋涉，显然是为了繁衍它们的后代，也可以说是“旅行结婚”，用行话说，就是生殖洄游。

（杨思谅《持螯赏菊话螃蟹》）

例⑥第一次换述借用时新的俗语，显得幽默风趣，第二次换述借用专业的术语，显得严肃慎重。两次换述分别用了换述语“也可以说”、“用行话说”。“换述语”作为换述格的一个重要特征，为人们识别这一辞格提供了方便。

108. 双　　关

【双关】 shuāngguān （多义关连）借助词语同音或多义的条件，使一个词语或句子同时兼有字面和字外两层意思，并以字外意思为重点。

①哥相思
哥有真心妹也知，
十字街头卖莲藕，
节节空心都是丝。

（歌剧《刘三姐》）

②有客在外，而主人潜入吃饭者，客大声曰：“好一座厅堂，可

惜许多梁柱都蛀坏了。”

主人忙出曰:“在那里?”

客曰:“他在里面吃,外面如何知道?”

(清·陈皋谟辑《笑倒·背客吃饭》)

例①利用“丝”、“思”谐音的条件,借托“莲藕”诉说相思之情,语意婉转深长。例②这位“主人”背着来客吃饭,吝啬而违礼,被客人讥为“蛀虫”。“他在里面吃,外面如何知道”,字面意思是指“蛀虫”在梁柱内蛀吃,外面人看不见,实际是指桑骂槐,挖苦“主人”。一语双关,言辞辛辣。

上述两例,一为谐音双关;一为语义双关。

〔**谐音双关**〕 xiéyīnshuāngguān 利用同音、近音的条件构成双关。

③一棵树儿空又空,

两头都用皮儿绷。

老爷上堂打三下,

咚通(不通)咚通又咚通。

(《中国十大古典喜剧集·打面缸》)

这是剧中县官上场念的四句诗。表面上看,县太爷升堂,擂击堂鼓三下,以示官威,实际上是剧作者借鼓声与“不通”的谐音关系,嘲讽这位县令是个腹内空空,文墨不通的蠢货。

④我下意识地从袋里摸出一片“当归片”,丢在口里咀嚼着,蔚问我吃什么?我告诉他是甘草,并分给他一片。他丢在口里,过了会,用舌头舐着嘴唇说:“这不是甘草,倒象当归呢?”我笑着问他:“这是岛上第几度元宵了?难道还不当归吗?”

(丁颖《巷西桥的黄昏》)

⑤另两张床一个姓潘,一个姓高,都是三十来岁,又都是贾漪的朋友。这对宝贝在报社有个联合的绰号,叫“攀高”。两个比赛着想找个地位更高的爱人,都搞过不止一次了,都没成。

(《洗礼》)

例④借说药片“当归”,含蓄地表达了应当归乡的意思。例⑤“攀高”谐音“潘”、“高”,讽刺二人不正确的恋爱观。

⑥太仓一富人宴客，王元美与焉。馔有臭鳖及生梨子。元美曰："世人万般愁苦事，无过死鳖与生梨。"座客大噱。

（明·冯梦龙《古今谭概》）

"死鳖与生梨"本应是"死别与生离"，二者谐音，王元美将其暗换了，以此取笑"富人"宴客过份小气。

⑦石参政中立，性滑稽，天禧中为员外郎，时西域献狮子，畜于御苑，日给羊肉十五斤，尝率同列往观。或曰："彼兽也，给羊肉乃尔，吾辈忝预曹郎，日不过数斤，人反不及兽乎？"石曰："君何不知分也？彼乃苑中狮子，吾曹园外狼耳，安可并耶？"

（明·谢肇淛《五杂俎》）

"员外郎"是古代官名，为中央官吏中的要职。"园外狼"是相对"苑中狮"说的，正好与"员外郎"谐音，石中立借说"园外郎"，实则感叹"人不及兽"，颇有发牢骚的意味。

〖**语义双关**〗 yùyìshuāngguān （借义双关）利用词语的多义性，构成表里两层意思。

⑧1949年4月国共两党代表团在北平拟定国内和平协定之后，毛泽东同志接见了刘斐先生。吃饭时刘先生问毛泽东同志会不会打麻将，毛泽东同志说："晓得些。"于是刘又问："您爱清一色呢，还是喜欢打平和？"毛主席笑着说："平和，平和，只要和了就行了。"他们当时所谈的实际上是共产党夺取全国政权后，还要不要统一战线的问题，……

（谢云《搭配》）

"清一色"、"平和"都是麻将术语。"清一色"本指打麻将牌时某一家由一种花色组成的一副牌。这里，它的里层含义是"共产党一党执政"，而"平和"的含义则是"共产党领导下的多党合作"、"统一战线"。在饭桌上双方以一种轻松、随意的闲谈方式，讨论了一个重大的政治问题。

⑨呵！甜！……记得这葡萄树是她怀起小静静后一个月光溶溶的夜晚栽的，他打着窝子，她浇着水……

她问他："几年才能结葡萄？"

他立定锄头，将下巴托住，做个怪相说："已经结了……"

"结了?"

"嗯!"

她终于会意过来,用手不停地把水洒到他脸上。

(刘家林《她,在葡萄架下……》)

"她"问的是葡萄几年结子,"他"借题发挥说:"已经结了",暗指他们的结合已经有了后代,反映了他们之间融洽的感情。

⑩小菊听得,掩口笑道:"大瑾哥,真对不起,刚才是我放肆了。"大瑾忙笑道:"不要紧,军令如山倒,这也象打仗一样,讲不得客气的。"这时栏里又有一只猪在哼叫了。小菊儿便指着那只猪笑道:"大瑾哥,还愿意当回助手么?你看,又有只猪娘要临盆了!"大瑾就喜欢这种大刀阔斧的性格,这时他笑道:"怎么不愿意,一百个愿意,只要你不嫌弃,就是调我到这养猪场来,我也愿意的!"说着,两个又忙碌起来。

(周健明《湖边·小菊儿》)

大瑾的回答热情洋溢,字面上是说他愿意来猪场工作,弦外之音,则是借机表白他对小菊的爱慕之情,愿与她志同道合,工作、生活在一起。

⑪井台上有几个挑水的社员和颜组长打招呼:

"早啊,颜组长。"

"你们才早呢,水缸都挑满了没有呀?"

"满啦!"一个妇女高兴地说,"可是颜组长呀,你的一缸水也要挑满了才能走啊!"

(周克芹《许茂和他的女儿们》)

"你的一缸水也要挑满了才能走",这句话言外有意:社员们希望工作组要妥善解决好队里的问题后再撤走,不能走过场。话语里包含着期待与鼓励,也包含着社员的隐忧。

⑫这里宝玉又说:"不必烫了,我只爱吃冷的。"薛姨妈道:"这可使不得,吃了冷酒,写字打颤儿。"宝钗笑道:"宝兄弟,亏你每日家杂学旁搜的,难道就不知道酒性最热!若热吃下去,发散的就快;若冷吃下去,便凝结在内,——五脏去暖他,岂不受害?从此还

不改了？快不要吃那冷的了。”宝玉听这话有情理，便放下冷的，令人烫来方饮。黛玉嗑着瓜子儿，只管抿着嘴笑。可巧黛玉的丫环雪雁走来，与黛玉送小手炉。黛玉因含笑向他说：“谁个叫你送来的？难为他费心，哪里就冷死了我？”雪雁道：“紫娟姐姐怕姑娘冷，叫我送来的。”黛玉一面接了抱在怀中，笑道：“也亏你倒听他的话！我平日和你说的，全当耳旁风；怎么他说了，你就依的比圣旨还快！”

（清·曹雪芹《红楼梦》第8回）

黛玉抓住吃冷酒、送手炉两件事奚落宝玉，反映出她的多疑，爱使小性儿，话语尖刻，却深含着对宝玉的嗔怪与怜爱。

双关是汉语传统的修辞手法，它的语言形式具有表里意义的双重性和信息传递的暗示性，言此说彼，借题发挥，弦外有音。听者要根据预设背景，经过“破译”或筛选，才能领会其真义。因此，双关语含蓄委婉，韵味深长，有很强的信息传递能力。

109. 飞　白

【飞白】 fēibái （非别）故意使用白字或在语音、语义、句法上有意歪曲附合、实录援用。

①北方籍的士兵也不是没有笑料。我的同年兵中，便有两位脸膛黑红的大汉，说话口音很重，与我的四川话很不一样，我问：“你们是哪来的？”其中一个答：“刚果。”刚果不是非洲国家么？怎么到这儿当兵来了？我有些不信，又问另一位：“你呢？”

“意大利。”

老天，这一位还来自欧洲！可是他们长的多象中国人呀。我怀疑他们在开玩笑，可从两位的脸上看不出丝毫的玩笑痕迹。我只好悄声询问身旁的排长，排长一听笑弯了腰：这两位都来自甘肃甘谷，是我把“甘谷”听成了“刚果”，把“一搭的”（一块儿的）听成了“意大利”。

从那以后，“刚果”、“意大利”就成了他俩的绰号。

（张际会《在遥远的阿尔泰》）

②她一见秀敏就说：

“秀敏同志，你那发言稿哪？”

“啥？啥镐？”

“讲话的稿。”

“讲话还带镐？”

“不用稿也得有个提纲吧？”

“啥缸？”

“拿张纸把你要说的内容大概写下来，提防忘了，说溜了。”

秀敏一听说“写”，愣了。她抗着脖子：

“我不会写。”

（黄宗英《小丫扛大旗》）

③（马四喜）讲话爱用成语，又把成语的最后一个字甚至几个字“歇”掉。他在学员练功前总要讲几句话：“同志们，你们可都是含苞待，大家都有锦绣前，这练功，一定要硬砍实，可不能偷工减！千万不要少壮不，将来可就要老大徒啦！——踢腿！走！”

（汪曾祺《云致秋行状》）

④退出实职以后，大概也是由于“思想解放”的结果吧，不知怎么的，梁有德的牢骚越来越多了。由于，梁有德即使说闲话也象是在结结巴巴地背诵稿子，一张嘴就是：“现在的形形形势还是大大大好好好的……”他的眼睛一挤一挤，说得挺费劲，更显得认真和诚笃，绝对没有油嘴滑舌或者官样文章的虚伪，也没有套话的一般化、千篇一律味儿。

（王蒙《名医梁有志传奇》）

例①将“甘谷”误听为“刚果”，将“一搭的”误听为“意大利”，因方音而飞白，然后将错就错，故意将“刚果”、“意大利”当成“他俩的绰号”，先实录后仿效，新奇而又风趣。例②将“发言稿”的“稿”误解为“铁镐”的“镐”，将“提纲”的“纲”误解为“缸”，因岐义同音而飞白，实录以说明秀敏文化水平较低。例③故意将“含苞待放”、“锦绣前程”、“硬砍实打”、

“偷工减料”、“少壮不努力”、“老大徒伤悲”等词语“歇”掉一两个字，因肢解词语而飞白，实录以表现马四喜贫嘴逗趣的可笑性格。例④将“现在的形势还是大好的”误读为“现在的形形形势还是大大大好好好的”，因口吃误读而飞白，实录以说明曾身为局长的梁有德表面愚直实则平庸低能的性格。由此可见，飞白既可实录，亦可仿效，其作用在于：一是存真，二是增趣。前者是为了如实记录或描述说者或写者其时其地所说所写的真情实况，以增强语言表情达意的实感；后者是说者或写者故意把字、词、句念白、写白、解白，以增添语言的谐趣。

飞白可以分为四种：语音飞白，字形飞白，语义飞白，句子飞白。

〖**语音飞白**〗 yǔyīnfēibái 因方音、口吃等原因而读错，故意将错就错。

⑤有一天，承赉对我说：“我来北京好几次了，还没有见到北京的梧桐？”

“哦？”我困惑地问：“北京有很多的梧桐吗？”

“有，有，有，好多好多？”承赉一叠连声说。

“梧桐？”杨洁歪着脑袋，仔细思索：

“我在北京住了这么多年，还没有注意到北京有很多梧桐！”

“有啊有啊！”承赉急了。“是小梧桐！”

“小梧桐？”我更困惑了：“它们长不大吗？是特殊品种吗？会结梧桐籽吗？”

我的一连串问题，突然引起了初霞的一阵爆笑。到底，知夫莫若妻，她急忙代承赉翻译：

“他说的不是梧桐，是胡同。北京不是有很多著名的小胡同吗？”

这样一说，全车大笑。从此，“北京的小梧桐”就是我们这一路的笑料。

（台湾·琼瑶《剪不断的乡愁——大陆行》）

⑥一九八三年十一月二十三日晚八时，余秋萍匆匆走入朱慎独博士的会客室。她神色激动，脱大衣时竟拽掉了一枚美丽发光呈放射状的蓝扣子。她向朱博士的问安也不象平时那样甜柔荡漾，而

是显得急躁慌乱。朱慎独皱了皱眉又抬了抬眼皮，只见余秋萍不等坐上沙发便开了口："小赵公然跳出来反对您！"

"什么小赵，什么反对？"朱慎独不知这话从何谈起。

"就是那个赵小强！"

"什么赵小强？"朱慎独更不悦了，他从齿缝里挤出赵小强三个单音，好象谈论一种从大便里检验出来的名称古怪的微生物。

"就是那个秃小子，"余秋萍愈急愈说不利索了，"他妈离过婚，他上小学的时候偷过公园果树上的鸭梨……，他不是到加拿大留学去了吗？他留了三年学学什么养金鱼，他发表了一篇文章说洗澡的时间应该是在早晨！"

朱慎独只觉得耳边嗡了一声："什么？早晨？"他结巴起来，"如果早早早早早早晨可以洗澡澡澡，那么说话就可以用脚脚脚后跟，下蛋也可以找公公公公公鸡了！"

（王蒙《加拿大的月亮》）

例⑤先是承赉（上海人）因不熟悉普通话，将"胡同"误读为"梧桐"，后是琼雪等人用"北京的小梧桐"来打趣他，先实录后仿效，戏谑顽皮，饶有趣味。例⑥引自王蒙讽刺小说《加拿大的月亮》。朱慎独博士为研究沐浴学方面的权威，著作宏富，享誉中华。青年学者赵小强留学归来，在《晚报》上发表了《加国琐记》一文，提到："我国多数人的习惯是晚上入睡前洗浴，但这里人们更喜欢清晨起床后洗澡……。"观点与朱博士相悖。于是当拍马的小丑余秋萍添枝加叶将这一消息告知朱博士时，朱在震怒之下，气急败坏地说出这番话来。作者实录其话，赤裸裸地再现了伪科学假权威的学阀学霸作风，揭露了其荒谬绝伦的逻辑。真是淋漓尽致，入木三分！

【**字形飞白**】 zìxíngfēibái 因字形相近而认错，故意将错就错。

⑦但是，居然有一位领导古籍整理的中层干部，对了一批老知识分子作演讲曰："整理古书，牵涉到很多学问，例如版本目录学、校劲学、训话学等等。"误"勘"为"劲"，以"诂"当"话"，看来这位同志长于"扳腕"而又惯于"训话"。而古人所著的古书，当然不免有跟不上形势的地方，其被经常要作些"训话"，亦属当然的了。

（公今度《幸勿“训话”》）

⑧最近我特别爱看琼瑶。她的书出一本我读一本。我发誓要读完她所有的小说。你也喜欢吧？看她的书感动不？

我忽然不那么难为情了，“我读一两本，我对她那些故事无动于哀。”

这句话一送出口，我就后悔了。我们在学校时养成了个坏习惯，常常故意念错那些容易读错的字。同学们一块这么闹的确很开心。可想不到我在这儿让它滑出来。

“你说什么？”她立刻站住，笑吟吟地瞪圆了眼睛，“刚才最后两句，你说什么来着？”

“我说我对琼瑶无动于哀。”我觉得我要是改过来可能更糟。

“无动于……”她冲我笑着。

“哀！”我郑重其事地补充了。

（白小易《无动于哀》）

例⑦因字形相近，误“勘”为“劲”，以“诂”当“话”，先实录，然后借题发挥，加以仿效，借飞白以讥讽这位中层干部不学无术而又威风十足。例⑧初次约会，明知“无动于衷”，偏说“无动于哀”，这是积习难改；在对方追问之下，一错再错，死要面子，又多少含有恶作剧的成分，十分猾黠有趣。

〖**语义飞白**〗 yǔyìfēibái 分明误解语义，故意将错就错。

⑨我家过去有一个亲戚——“紫藤浜上的三婶娘”，她是一个一字不识的自耕农，却有一个本领，能够熟练地把各种听来的成语、新名词，镶嵌到日常谈话之中。比如说，难得一年一度她来作客，一进门就对我父亲说：“喔唷呵哥，一年不见，真是‘画饼充饥’了。你的身体倒是‘才高八斗’、‘青出于蓝’。我不来向你‘鞠躬尽寿(瘁)’实实是‘恶罐(贯)满了(盈)’。今朝就来‘盘里淘茨’，也算是‘礼义廉耻’哉！”说完就“面有德色”，等着我们恭维她的“满腹珠玑”。

（公今度《食洋不化与因噎废食》载人民日报 1986 年 7 月 30 日）

⑩菊咬金堂客：“她坐在脚底下，花言巧语，说一大套。左一声

'嫂嫂',右一声"嫂嫂",又说小龙什么的,怕风吹雨打?小龙不就是蛇吗?蛇怕什么风吹雨打?"菊咬金:"我说你糊涂,话都听不懂。她说的是小农经济,怕风吹雨打。"

(周立波《山乡巨变》)

⑪B 小姐收到礼品后,抬头看了看墙上的日历,漫不经心地自言自语道:"噢,圣诞节快要到了!"

"神蛋节?是不是过这个节一定要吃鸡蛋?"升凯厂六百名职工从未听说这个名字古怪的节日,他们好奇地向香港师傅打听节日的来历。

(南来苏《周原奇葩》)

例⑨三婶娘本来"一字不识",偏又喜欢卖弄,以至将一连串成语误用而不自知,笑话百出,令人捧腹。作者借飞白以表现人物粗俗可笑的性格,传神之极!例⑩菊咬金堂客为农村妇女,孤陋寡闻,文化又低,因此根本不理解"小农经济"之类的新名词。例⑪职工们因不了解外国的风俗习惯,因而将"圣诞节"误解为"神蛋节",滑稽可笑。

〖**句子飞白**〗 jùzǐfēibái 分明句法有错,故意将错就错。

⑫瘸子喝酒爱说。老是那一套,没人听他的。他一个人说。前言不搭后语,当中夹杂了很多"唔唔唔"。

"……宝三,宝善林,唔唔唔,知道吗?宝三摔跤,唔唔唔。宝三的跤场在哪儿?知道吗?唔唔唔。大金牙、小金牙,唔唔唔。侯宝林。侯宝林是云里飞的徒弟,唔唔唔。《逍遥津》,'欺寡人'——'七挂人',唔唔唔。干嘛老是'七挂人'?'七挂人',唔唔唔。天津人讲话:"嘛事你啦?"唔唔唔。二娃子,你可不咋着?唔唔唔……"

喝酒的对他这一套已经听惯了,他爱说让他说去吧!只有老聂有时给他两句:

"老是那一套,你贫不贫?有新鲜的没有?你对天桥熟,天桥四大名山,你知道吗?"

(汪曾祺《安乐居》)

⑬文教干事拉拉皮大衣领说:"你走去么?狗虽然是有的,但多不咬人,你要叫'阿罗阿罗,我老师的一个是',即有牧人来把狗唤

住。”

老师听了便笑，说：“为什么要叫‘我老师的一个是’，这不是挺别扭么？”

文教干事说：“不别扭，这是本地语法，你今后学会就自然了。”

于是老师就沿着黄河望那个看得见的寨子走去。寨子由星星点点的粪点状到架构可显的堡垒状再到牛羊气息漾然的人烟状，老师途中只叫了三次‘阿罗阿罗，我老师的一个是’，就走到了。但是“望得见，走断脚”，这句话不假，老师足足走掉半天，好在年轻，一路望风景，并不觉得累。

在寨子口老师又把“我老师的一个是”讲了一遍，即有紫脸赌身的小孩子飞跑进寨，不一会儿即有大群孩子簇拥着一个着毡靴穿油腻干部服的中年人走来，中年人罗圈脚，紫酱大脸，牵须笑着，用带别扭腔的普通话向老师朗读讲道：“你老师的，一个是？好好，好得很嘛，我委员的一个是，区上的信，我们的看了，正在修房子，马的还没有派，你们就来了，好，好，好得很嘛。”

（张放《草上飞民歌》）

⑭一年半载，九叔回来探亲。村口上晒太阳抓虱子扯闲篇的老汉们就打招呼：“老九哎，你回来啦？”

九叔侉里侉气地答：“这个龟儿子气候真他娘的温度！——郎个老子回来啦！”

又问：“你在省府干事业干得发财吧？”

又答：“咦？你们不懂政治水平，没一个穿苏联花布的！——托福拜寿大家，郎个老子月月到头开心（薪）开肺！”

他这么着三不着二的一来，有人就上了火药，再问：“听说你还能管得了汽车啦？”

再答：“楼上楼下，电灯电话。太原市是共产主义早日来到！——管汽车？那是自不然的！”

还问：“那汽车载人多吧？”

还答：“多拉快跑，和时间跑步！——汽车载人那是茂盛！少说也充满三四十口！”

老汉们都哈哈大笑起来。九叔也哈哈大笑起来。九叔甚至散一排子一千一百元一盒的金枪牌香烟。村口上好不热闹！

（张石山《血泪草台班》）

例⑫“唔唔唔”是瘸子的口头语。夹杂在说白之中，实录下来，不仅丝毫不妨碍句意的表达，而且活画出他贫嘴寡舌、可憎可笑的面目，十分传神。例⑬“我老师的一个是”等话是当地土语，分明不合汉语语法规范，实录下来以显示该地偏僻闭塞和群众落后愚昧的状况。例⑭九叔是个“糊油罐”，在太原当警察，本来胸无点墨，偏要装模作样、神气活现地在乡亲们面前卖弄新名词和革命口号。结果笑语百出而自己全然不觉。

以上四种飞白一般都单用，也有在同一语境中连用或套用。如例⑫就是在句子飞白中套用语义飞白（“欺寡人”——“七挂人”）。再如：

⑮开了戏，他也忙得顾不上看，眼珠子转得陀螺似的，监督全场的静。他还真有点儿警察捆爹公事公办的派头，一会儿指点老丈人：

“我说老丈人！你把脑袋往东偏点！你挡住后边三根筋家隔壁的四货啦！”

老丈人怕人笑话，不和他对台词。他爹嫌他冒傻气，回头喝止：“九小！人家都听戏哩，你少说一句吧！”

他将镰把劈空一指：“爹！我现在执行公务，不搞贪污盗窃！公共场所，禁止你发表！——你把左肩压低点！没有中朝人民团结紧！你是自由主！不懂得助人为！”——不知他怎么闹来这号“三字经”的。

他爹扭回头。不敢去瞅亲家翁，两眼直勾勾地来看戏。

（张石山《血泪草台班》）

⑯若干年后，从近人笔记中读到一首讽刺西太后宠臣刑部尚书刚毅的诗。诗云：

“帝降为王舜禹惊，皋桃屡唤不应声（刚毅常对属员说：‘兄弟好比尧王、舜王时的皋桃，诸君大可效法。’按：刚毅误读‘皋陶’为‘皋桃’），将才新得黄天霸（刚毅在西太后前力荐江苏一总兵为大将，说：‘此人可为奴才的黄天霸’），奸党能除翁叔平（戊戌变法失

败后。刚毅在西太后前诬诋翁同龢为奸党。);一字谁怜争瘦死,万民可惜不耶生(有一个犯人瘐死狱中,刚毅读'瘐死'为'瘦死',读'民不聊生'为'民不耶生'。),功名鼎盛黄巾起,师弟师兄保大清(刚毅揖接义和团大师兄,请他们不要像康有为办的保国会,只保中国,不保大清)。"

(虞丹《史无前例与史有前例》)

例⑮为句子飞白与词义飞白连用。例⑯为语音飞白,字形飞白连用。

110. 拟　　误*

【拟误】 nǐwù　遣词造句应符合语法规律,但作者为了达到某种特定的修辞目的,故意把说话人有语病的句子写进作品中。

①我的话一停,潘虎就马上接着说:"就就就照你你你说的办,你来来来当政委。"

"我当政委?"

"嗯。"

我连忙摇头:

"不行,不行,我没有这份能力。"

"你你你是党党员嘛。"出乎意外,他的声音突然变得很和婉。似乎已在向我低声下气了。

"你们要政委,"我说,"为什么不要求组织上派一个下来呢?"潘虎显得有些尴尬:

"我我我是自自自己竖竿子的。"

我才知道,原来他们不是我们党领导的游击队,而是自发地组织起来的。

"怪不得,你们还迷信,还卜卦。"

"卜卦怎怎怎么不可以呢?孔孔孔明,刘刘刘伯温,也卜卜卜卦

哩。”

我不觉好笑起来，我说：

“要我当政委的话，那就得服从我啦。”

“我服服服从你。”潘虎诚恳地表示。

（邓洪《潘虎》）

②“我看啦，唵，”停了一会，结果是蒋自己说出了，“这个很是严重的。这个是，哎，这个是，是太平洋上的‘九·一八’。我们应该，这个是，把英法鼓动起来，要他们出来，这个是，干涉。要是他们不行动的话，哎！这个是，这个是，他们的利益就要受侵害的……唵？唔？这个是太平洋上的‘九·一八’啦！这个是，哎，这个是，我们应该这个是这样宣传啦。唔！唵？”

（郭沫若《洪波曲》）

以上例①是仿拟“口吃”，例②是仿拟“口头禅”，两例对于刻划人物确实具有十分明显的修辞作用，因此，应该肯定，“拟误”所揭示的修辞现象是客观存在的。但我们认为，它同样是作者为了表达的需要而故意直录原话，将错就错，因此将它们归于飞白格即可，故不必单立一格。

111. 绕　口

【绕口】 ràokǒu　故意将声、韵、调极易混同的字交叉重叠编成句子，一口气急速念出时，读音容易发生错误。

绕口是利用汉语一个字就是一个音节的特点，把容易在字音上混淆读错的字巧妙地编在一起，构成在连读时奇特有趣的语音效果。稍不注意，就会读错，令人发笑；但口齿伶俐者，也能读得清楚流利，令人叫绝。所以运用绕口作语言游戏，不仅幽默有趣，而且可以训练发音能力，使说话准确清晰、敏捷流利。这种游戏叫绕口令，也叫拗口令，有些地区叫急口令。

①十四是十四，四十是四十。谁要把十四说成“sí”四，就打他

十四;谁要把四十说成“shì”十,就打他四十。

例①中的“十”和“四”在普通话中韵母相同,声母不同。“十”的声母是舌尖后音,也叫卷舌音或翘舌音,“四”的声母舌尖前音,发音时不能卷舌,这两 个字连在一起快速念出时,就极易错将“十”读成“sí”,错将“四”读 成“shì”,再加上中间的“是”字,就更拗口了。这是声母易混淆的绕口。

②桥底下掉刀,刀倒吊着。

例②中“掉”、“刀”、”“倒”、“吊”四个字在普通话中声母相同,都是“d”,但韵母不同,“刀”和“倒”的韵母是“āo”,“掉”和“吊”的韵母是“iāo”,读快了,四个字的韵母就可能读乱读错。这是韵母易混淆的绕口。

有些句子读快了,声、韵、调都易混淆,故绕口也不宜将声母的混淆和韵母的混淆截然分开。

③班干部应被班干部管,班干部应该管班干部。

④一平盆面烙一平盆饼,盆碰饼,饼平盆。

例③“班”、“干”、“部”、“管”、“被 ”、“该”六字,有的声母是“b”,有的声母是“g”,声调有平声、上声和去声,反复快速读几遍,就容易将声母、声调读得乱作一团,闹成笑话。例④“平“、“盆”“面”、“饼”、“碰”五个字交错连缀,有的声母相同韵母不同,如“平”(píng)、“盆”(pén)和“碰”(pèng),有的韵母相同声母不同,如“平”(píng)和“饼”(bǐng),声调也有变化,快速说出,也极易说错说乱,使人捧腹。

运用绕口这种辞格编成的各种绕口令,早已流传于民间,且常见于曲艺如相声之中。绕口令益于指导幼儿学说话,有利于推广普通话和训练快速流利的表达,故除了长期流传于民间的绕口令外,还可不断运用这种修辞方法创编新的绕口令。

112. 顺　口

【顺口】 shùnkǒu　通过几句比较整齐、简短的韵语，形象地描述某种现象，如为消极现象，往往带有批判、讽刺的意味。

①当时社会上曾流传着这样一句顺口溜："一税二商三银行，卖猪头肉的也比邮局强。"

（李强《绿魂》）

②你也吹来他也吹，
要吹大家都来吹；
本来不吹比吹好，
只因不吹白不吹，
既然不吹白不吹，
于是大吹而特吹。

（敬永祥《"海灯现象"——
八十年代的一场造神运动》）

以上二例，句式简短而整齐，合辙押韵，通俗晓畅，琅琅上口。例①简捷明快地叙述社会上收入不公平的现象，兼抒不平之情。例②叙述中兼有说理与抒情，讽刺并剖析了神吹造"神"的怪现象。

③一句话说完，划个小圆圈。
疑问与反问，耳环耳下见。
命令与停顿，滴水下屋檐。
句中要停顿，豆芽后边添。
并列词语间，点上瓜子点。
并列分句间，圆点豆芽垫。
总括提示时，两个黑圆点。

（康家珑《语文趣谈》）

上例为"顺口"格用于说明的例子。各类口诀多借助于"顺口"，因为

它上口好记。

顺口这种修辞方式在人民群众的口头文学中被广泛地采用，编成各种顺口溜，流传开来，就成为民谣。最古老的民谣可追溯到上古原始型的诗歌韵语：

④断竹，续竹，飞土，逐宍（古“肉”字，指禽兽）。

（《吴越春秋》·弹歌）

西周至春秋的《诗·国风》中保存了许多古民谣。秦时民间也有歌谣流传，所谓“长城之歌，至今未绝”（《汉书·贾捐之传》），反映了秦人利用民谣反抗暴政的情形。汉代的“直如弦，死道边；曲如钩，反封侯”和“发如韭，剪复生；头如鸡，割复鸣。吏不必可畏，小民从来不可轻”，以及晋代的“貂不足，狗尾续”，都是历史上有名的民谣。现代社会生活中，几乎随处都可以听到各种民谣。例如，揭露住房分配不公现象的：“二楼三楼，厂长书记；四楼五楼，照顾关系；工人阶级，顶天立地。”

运用“顺口”的修辞方式编成的顺口溜，不仅流传于群众口头，而且各种文学作品中也颇为常见：

⑤前不久，见一乡办磷肥厂厂长一家伙抱了好几条名烟，我不禁大为惊讶：“你小子舍得？”他一笑（那笑分明有三分得意七分苦涩）：没办法啰，工作需要嘛！常言道，生意好，有得巧，烟搭桥，酒开道，炸药包，轰碉堡。这搭桥云烟可马虎不得。有人编了个顺口溜，叫“大重九，拉拉手；阿诗玛，普遍撒；有中华，才说话”。听他所言，我想笑，却又笑不出来，想骂，却骂不出来，万般感慨齐上心头来。

（王静《透过袅袅烟雾》）

⑥谁能相信，这里在十年前还是个“春冬白茫茫，夏秋水汪汪，光听蛤蟆叫，就是不打粮”的穷地方呢。那时别说养鱼，长树、种庄稼，连根烧灶用的火棍也找不来。

（胡炜东《月夜鱼塘边》）

⑦“兰考大爷”变成“兰考大使”活跃全国。“别说兰考穷，兰考出泡桐，泡桐走国外，天下都闻名”。

（张惠芳《泡桐林》）

⑧固始县县委书记张守印说：“‘坐着汽车转，隔着玻璃看，中

午吃一餐，回去还领钱'，这是农民对一些干部下乡的批评……"

（《兵头将尾》载《人民日报》

1989年10月27日）

⑨为了这项事业，他在远离家乡的海南岛过了9个春节。海南三亚市崖城镇农村有几句顺口溜："海南有三害：三条蚂蟥当裤带，三个老鼠一麻袋，三只蚊子一盘菜。"钱怀璞10年下海南育种，到大田劳动，夜间在田头巡逻，经受了多少大蚂蟥、大蚊虫的侵害！

（王绍雄《访国家级有突出

贡献的中青年专家钱怀璞》）

例⑤至例⑨，几段新闻报导，都运用"顺口"修辞格，使文章带上了"通俗文学"的色彩和浓郁的乡土气息，增强了"来自民间"的真实感。

⑩（雨村）看时，上面皆是本地大族名宦之家的俗谚口碑，云：

贾不假，白玉为堂金作马。

阿房宫，三百里，住不下金陵一个史。

东海缺少白玉床，龙王来请金陵王。

丰年好大雪，珍珠如土金如铁。

（清·曹雪芹《红楼梦》第四回）

⑪老杨同志自语道："模范村！这算什么模范？"五岁的小女孩，听见"模范"二字，就想起小顺教她的几句歌来，便顺口念道：

模范不模范，从西往东看；

西头吃烙饼，东头喝稀饭。

（赵树理《李有才板话》）

例⑩"护官符"四句俗谚口碑是"顺口"修辞格在文学巨著中运用的最著名的例子，它简捷明快地介绍了贾、史、王、薛"四大家族"的豪富与权势，成为"读'红楼'的一把钥匙"。例⑪四句快板明白流畅，生动有力地撕开了所谓"模范村"的黑幕。作品中的快板是李有才向把持村政权的反动的封建势力作斗争的武器；从作品构成上讲，这些脍炙人口的快板既是情节的有机组成部分，又是塑造李有才这个闹翻身求解放的农民的代言人的形象的重要艺术手段。可以说，《李有才板话》运用"顺口"修辞格达到了淋漓酣畅、应付裕如的程度。

“顺口”是中国老百姓喜闻乐见的语言形式。运用它，各地区的农民总结生产、生活经验，编了许多农谚、俗谚。特别在曲艺百花园中，“顺口”占着重要的一席，不仅在相声、鼓书、琴书、评弹、快书、曲剧中得到广泛的运用，而且还有以它为主要艺术手段的快板书。

“顺口”和古诗词中的格律一样，在选词造句时，都力求句式整齐，节奏明快，合辙押韵，琅琅上口，但前者多用于俗文学中，后者则是诗词中关于句式、平仄声调、韵脚等一整套严格的规范。格律与“顺口”因雅俗、文野、严疏之别而分泾渭。

113. 图　　示

【图示】 túshì （借形）行文中有意插用图符，以其形象的直观性来代替语言文字拟形状物而示意。

所谓图符，是就广义而言。它包括图案、画相、字形、外文字母、符号（标点符号有时除外）等等。它是作者故意夹插在行文中以增强“语言”的表现力的，借以显示一般语言文字所难以显示的意义。运用图示，形象直观，一目了然，便于将复杂的意思通过简单的图符显现出来，易于为读者所意会和识记；特别是那些刻意创新、别开生面的图示，更能见出作者的巧思之功，其中所蕴含着的幽默新奇的意趣，实非语言文字所能尽，常给人以经久的回味。

①郑弄佬先是眼睛一亮，一偏头望了窗外一眼，口中喃喃，顷间咧嘴一笑，便轻轻合上双眼，脸上堆满慈善和满足。用枯槁苍劲的四指互相撑着，成一“U”形，俨是一淘金盆形状。

（彭见明《金塘这地方》）

②他想着这个女人家是一张“容”字脸，“容”字左看右看也都端正。眼睛小一点，有点倒挂，小八字，带着点苦相。

（林斤澜《袁相舟》）

③道旁迎面跳出一幢楼，是“凹”字形的三座楼来……

（小楂《水床》）

④一堵形状奇特的石墙黑呼呼地耸立在我们眼前，阳光勾勒出它那古堡般的“凸”形轮廓。

（赵丽宏《玛雅之谜》）

例①用“□”形表示郑弄佬四指撑成淘金盆的形状。例④用“容”字表示这个女人的脸相。例③用“凹”字表示三座楼的方位和外形。例④用“凸”形表示石墙的轮廓。显而易见，用这些图符来摹写客观事物的形状，较之语言文字更为便捷，不但可以节省不少笔墨，而且在表意上恰切、生动，十分醒目。

图示一般分为三种：字形示意，图象示意和符号示意。

字形示意，即借用文字的形状来示意。

⑤景福阁位置在半山上，这座重屋曲折“亚”字形的大建筑，四面窗子透亮，绕屋平台廊子都极朗敞。

（沈从文《春游颐和园》）

⑥每当饭餐之后，心情就显得特别好，这时候自己腆着圆鼓鼓的小肚子仰卧床上，上半身动弹不得，便把两只小腿成“V”字形举向空中，似乎在以一个胜利者姿态向人们显示一种自豪。

（黑瑛《我与新生者之间》）

⑦范正宇当时拢着手歪在沙发上，一面嘴巴张成“O”形，很同情地点着头，“啊啊”了半天却没有下文。

（陈世旭《马车》）

⑧站在塔的顶层，可以清清楚楚望见，它在大地上写下的银色的“之”字。呵，之江，多么准确的命名。

（张抗抗《塔》）

例⑤用“亞”字来摹写景福阁的整体轮廓，线条清晰，给人以鸟瞰全貌、布局井然之感。例⑥用“V”字来摹写主人公两只小腿举向空中的形状，隐含人物志得意满的心态，有自嘲意味。例⑦用“O”形来摹写嘴巴的形状，范正宇一时语塞，找不到适当的话来安慰对方，颇为尴尬。例⑧用“之”字来摹写之江蜿蜒东去的水流真是名实相符。以上四例中的字，

都是只取其形而去其义，也就是说，仅仅借用它们的“形”来摹写客观事物的形状而已(关于这一点，下文还要谈到)。

图形示意，即借用图象的形状来示意。

⑨说着，郭兰英就唱了起来，沈小莜仔细地听着，她发现老师在唱这句歌词时，唱到“高”字时在后面拐了两道小弯，变成了“∽”，这一下“味道”全出来了。

奇妙的“拐弯”！

(王宗仁《含笑的泪带泪的笑·她从海峡那边来》)

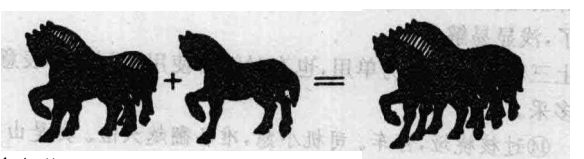
⑩您的一生经历了那么多人间的风险、忧患，我总以为，生命历程的艰难曲折，实则等于在有限的物理时间内延长了自己心理的时间，如图示：

A、

B、

如图A伸开，比图B要长上三倍，如此生于风险，生于忧患，倒也值得。

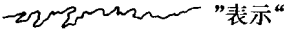
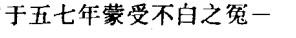
(《鲁枢元与曾卓的通信》)



⑪#＋#＝#

上图一道小学数学题，请您根据画面猜三个汉字。

（字谜·彭玉林《北京晚报》1990.2.3）

例⑨用"∿"的图形来表示郭兰英唱"高"字时拖腔声调高低的变化，巧妙而生动，很容易引起读者由视觉而听觉的联想。例⑩用图A"  "表示"您"（曾卓，诗人，曾于五七年蒙受不白之冤——编者）一生所经历的人间的"风险、忧患"，而图B"  "表示一般人一生所经历的生命历程，两相比较，从而暗示出"您"的生命的意义与价值，表意奇特，令人深思。例⑪用" "来表示"马"，不用文字而用图画，正是为了猜谜而刻意修辞。比较起来，图象示意较之字形示意在表达上要委婉复杂一些。

符号示意，即除标点符号外，借用各种现成符号的形状来示意，

⑫才三十几岁的男人，他看去相当老了，他那张一点儿也不漂亮的脸上，有几条深深的皱纹，额上竖着两条，斜着一条，仿佛被人用刀刻下了一个"≠"号。仿佛正是以这个"≠"号，他对一切女人宣布——任何一个女人都≠他的"小女孩儿"（"小女孩儿"指亡妻）。

（梁晓声《雪城》）

⑬现在我将《张资平全集》和"小说学"的精华，提炼在下面，遥献这些崇拜家，算是"望梅止渴"云。

那就是——△

（鲁迅《张资平氏的"小说学"》）

例⑫用"≠"号的形状来表示"他""额上两条，斜着一条"的皱纹（第三个"≠"号不是图示，因不再表示"皱纹"的样子，而是与后文构成算式辞格）。例⑬用数学符号的形状来表示"恋爱"的三角关系，借以讽刺资产阶级无聊文人张资平之流小说创作的实质，以"有形"表"无形"，简单明了，浅显易解。

以上三种图示一般为单用，也有时综合使用，因此，其表意也就更为丰富多采。

⑭过核桃垭，停车。司机小憩，准备翻越天险。真是山高一丈，冰厚一分，指路标，又纷至沓来：

Z——大转弯。

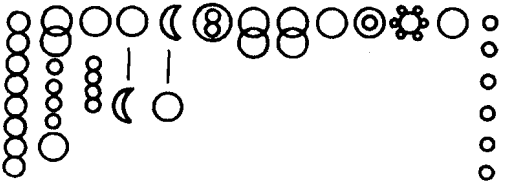
][——屏息擦过摩天岭。

▲——溜过羊子岩。

蜿蜒下得山来。见溪水、石桥，黎尚豪喊停车，直下乱石坡，涉溪涧。

（黄宗英《固氮蓝藻》）

⑮



（引自毛惜珍著《修辞杂谈》）

例⑭为符号示意连用、Z、][、▲分别为三种路标的符号，连用之后，既省节大量文字，又突出了地形山势的复杂。例⑮宋代女词人朱淑贞，新婚不久，丈夫经商外出，久久未归。思念心切，便给丈夫寄去了这样一封“信”。信中尽是些大大小小的圆圈和半月形的图符。她料想丈夫也未必能完全领悟其中的柔情蜜意，于是又在信笺背面写了一首小诗：“相思欲寄无处寄，画个圈儿替。话在圈儿外，心在圈儿里。单圈是我，双圈是你。你心中有我，我心中有你。月缺了会圆，月圆了会缺。我密密加圈，你密密知我意。还有那说不尽的相思情，一路圈儿圈到底……（转引自毛惜珍著《修辞杂谈》）。这样有图有诗，先隐后显，两相参照，相映成趣，虽然这不过是少年夫妻调笑之作，但也可以见出图示的独特的修辞功能。此例为图象示意中套用各种小一层次的图象示意和符号示意。

在多数情况下，三种图示的界限比较清楚。但有时候却比较模糊。如：“这一刻，他们都给了他异乎寻常的印象。对老汤和他都分外热情地伸过手来。手臂，在短短分把钟内构成几个X形交叉”（俞天白《大上海沉没》）。例中的“X”形，既可看作“图”形，亦可看作外文字母或数学符号。因此象这一类例子的归属问题就难以确定。但是尽管如此，却并不

影响它们的修辞作用。

综上所述，不难看出图示有一个十分奇妙而突出的特点：宜于“目视”而不宜于“口读”。这是由它的直观性所决定的，而它的修辞功能也主要是通过读者的视觉映象来实现的。当读者在阅读过程中，突然看到行文中夹插的图符，就会自然引起联想，从而领悟其中的含意。相信人们都有这样的阅读体验，有些图示几乎是无法诵读的，如例⑫、例⑮；而有些图示，虽然可以诵读，但一旦发而为声，其修辞意趣较之“目视”便相去甚远，而听众也就难以感知其独特的妙处。比如：“且云黄学英文植物名时，不记字母，但记英文之形状，如 a（哀）字，则记作美人头（ ），如 b（皮）字，则记作敲破眼镜之半面（ ）等之类。弟为之抱腹笑倒两日。不识果有其事否？”（郁风《郁达夫留日家书手稿》）。如果读者不是亲眼目睹“ ”和“ ”这两个“图象”，就一定无法想见黄任轩是如何滑稽可笑，也无法领会郁达夫何以“抱腹笑倒两日”，当然更领略不到由此而产生的审美的愉悦了。

必须指出：有人将图示格中凡借用图符描摹客观物体的形状者，统统归于摹绘格中的摹形一类。应该说，这是有一定道理的。但是本词典没有采用这一分法。原因是它和图示格中的其他部分一样，其所借用的“材料”都是图符，而不是摹绘格中的摹声、摹色、摹味、摹状那样的“语言材料”。因此归于图示格确乎更妥当一些。

另外，符号示意和号代格也容易混淆，但号代仅限于为数不多的标点符号，其作用主要是借标点符号以代替词语而释义；而符号示意则主要着眼于形似，是用符号的形状来写物示意。如：“他的鼻子象倒写的‘?’号”是符号示意；而“他脸上写满了‘?’号”则是号代。前者的“?”号是鼻子的形状；后者的“?”号是怀疑的意思。前者写形，后者代义。

114. 号　代

【号代】 hàodài　用标点符号代替相关词语来表达意思。

①唉呀，通篇文章堆砌“?”为什么不作回答呢？且慢！标题上不是标明是“沉思”么？“沉思”者，头脑里装几个“?”也！

（芮晶《对一则札记的沉思》）

②十个“?”结束了。也许这只是上海面对的许许多多“?”的若干分之一。

（孙颐等《面对一万个“?”——关于上海“大滑坡”的报告》）

③“!”王奎惊得嘴张开了，却没发出声来。

（贾平凹《山地笔记·成阴柳》）

④“?!”富民一惊：咋能这么比，直愣愣地看起秀云婶。

（贾平凹《山地笔记·闲钟》）

⑤以“浩瀚”一词形容史籍，对一般人来说不足为怪，如此书海，谁能尽阅？然而，治史者却常有缺铁不足之叹。僻远不说，仅《辞海》一册，就有多少个“? ——”，谁也说为清。

（范炯《书痴断想：为治史者叹》）

⑥几十年未见的老同学聚在一起，说些什么呢？

胖瘦：……

地方志：……

旧事：……

基本情况：……

（王蒙《爱情三章》）

⑦钱永在他那永无尽头的思索中，似乎只用得着“，”而绝无“。”插足的余地。

（文艺《思之“癖”》）

⑧三萍报货名有一绝，豆油香油酱油辣椒油米醋味精淀粉米粉酱豆腐大料桂皮花椒五香粉……，几十样儿一口气喊出来，向来不用“、”。

（章文义《村姑货郎》）

⑨洪和鸣打定主意，到了岳丈家，废话多说，笑话不断，有用的话一律“……”了之，三年五载基本政策不变。

（杨益《骨肉亲情》）

例①以“?”代设而不答的问题，幽默地批评了“沉思”作者以问代思的毛病。例②以“?”代上海“大滑坡”时面临的社会问题。例③以“!”代王奎大惊失态时欲言无词的情状，这是一个来不及喊出的“啊”、“呀”。例④秀云婶说富民的话很象他爸当年给地主王二麻子扛长活时说的话，富民很觉意外，以“?!”代替了他未出口的充满惊疑的反问。例⑤以“? ——”代《辞海》中关于史学问题的缺轶不足之处。例⑥以“……”代历尽沧桑相聚一堂的老同学谈不完的话语。例⑦只用“，”绝无“。”表达了钱永的思索是永在持续、永无尽头的。例⑧不用“、”，写出了三萍报货名，一口气不停顿的神态。例⑨以“……”代洪和鸣不说有用的话的态度。

号代在一定风格的语境中使用，可给读者以新奇、巧妙的感觉，但它的使用需受为数不多的标点符号的局限，它不可能有如比喻、比拟等修辞格那样丰富的表现力和广阔的“活动”天地，因此，号代只应有节制的妙用，切忌滥用。

号代是从某标点符号的标示意出发，引申开去，以此为基础代替某些表达意义，而以某标点的形状描绘事物者则不应归入号代。例如：

“突然是深灰色石岩从高空直垂而下，浸入江心，令人想到一个巨大的惊叹号……”

（刘白羽《长江三日》）

此例是比喻，而不是号代。

号代是以标点符号本身代义，而不包含用标点符号的名称代替某种表达意义，例如“……当真要胡万通当副厂长了，大家的心里又不约而同的升起一个问号：他行吗?”（蒋子龙《拜年》）。其中“问号”就不应归入号代。

号代与借代有明确的界限。借代的基础是本体和代体有明确的相关点，而号代的基础却是符号标示意义的引申。例如：“有人声称，‘《晚钟》给“第五代”电影划了“。”’。”这个“。”本身只能表陈述语气，依靠引申，它才能有“发展阶段到此为止”的意思。所以，此例只能是号代，而不属于借代。

115. 提　　顿

【提顿】 tídùn　在句中成分间插入标点，以造成偏离语流常态的停顿。

①龙，腾飞在大观园。

（鲁娃《龙，腾飞在大观园》）

②“你儿子？在哪儿？”

“和越南打仗呀，’老人丢下草鞋底，几步奔进茅屋，取出一包东西，却是一张照片，一张立功证书，一枚勋章。我呆了。

“他……该回来了。”老人显出无限眷念的神色。

（金克剑《过山》）

③车，在已显得狭窄的道路上驰过。路边的一幢幢建筑物向后闪去。

（商正 刘正非 陈戎《广厦之歌》）

④雨，仍在诗意般的淅淅沥沥。

（张景山《雨夜脚步声》）

⑤有一些白天有一些黑夜一种无可名状的恐怖老是扭着我扯着我。我梦见——我——在一点一点地——死。

（黄一鸾《相当漂亮》）

⑥我静静地从树林中走过，雾，湿透了我的鞋袜和裙梢，也沾湿了我的眉毛和头发。

（江陵《追寻》）

⑦她，是位出色的京剧青年演员，曾在多种大赛中名登榜首。

（周桓《关鹅鹅偷看李静文》）

⑧小何佳没有辜负卢老师一片心血。1988 年 11 月参加全国第一届新苗杯杂技比赛，小何佳的《小顶碗》一举荣获金奖；1989 年 1 月 25 日，小何佳赴巴黎参加国际杂技大奖赛，荣获第三届未

来杯赛最高奖——“法兰西共和国总统奖”。

当各种赞赏和荣誉向幸运的小何佳飞来的时候，为什么不能给卢鸣一个奖杯呢？她，是受之无愧的。

（习生《她创造了世界杂坛的奇迹》）

⑨由也为之，比及三年，可使有勇，且知方也。

（《论语·先进》）

⑩小娅呢，是绝不肯做这类事的。

（杜宁《姐弟之间》）

例①以逗号提顿，突出了“龙”。例②以省略号提顿，强调了“他”，生动恰切地表现了老人思念“儿子”（养子）的眷眷之情。例③以逗号提顿，突出了“车”。例④以逗号提顿，“雨”字得到了突现。例⑤以破折号提顿，隔开了主语、状语和谓语，使读者觉得“我……死”确是“一点一点地”，极缓慢的，历历在目。例⑥以逗号提顿，突出了“雾”。例⑦以逗号提顿，使“她”居于极突出的地位。例⑧以逗号隔开了主语“她”与谓语，强调了卢鸣的成绩与贡献。例⑨以“也”字插于句中，强调了子路（名由）自称的语气。例⑩以“呢”字提顿，突出了“小娅”，强调了“绝不肯做这类事”指的是小娅。例⑨、⑩说明无论文言还是白话，语气词都可插于句中表提顿。

提顿不同于以标点或语气词表停顿或表语气的“常规”用法，它停顿于似不当或不必停顿之处，是一种超出常规的用法，可以获得一种突出的表达效果。

116. 算　式

【算式】 suànshì　有意在文章中插用数学形式或演算方法以表示事物之间的关系。

陈望道早在《修辞学发凡》一书（详见《发凡》第九篇第四节“词的形貌”第二项“插用图符”上海教育出版社 1984 年 3 月第 4 次印刷）中，即已谈到了这种修辞现象，并以鲁迅在《二心集·上海文艺之一瞥》一文中批判“才子十流氓”的一段文字作为例证。但陈望道并未给这种修辞方式正式定名和展开专门的论述。及至五十年代，始有修辞学者将它定名为图示，再以后又有人将它定名为算式、为借用。经过比较，本书采用了算式的名称，并重新作了以上的界定。算式有着比较鲜明而独特的修辞特征，即借用数学形式或演算方法来代替文字以示意。它不是通常情况下的以数表数，而是以数表情，以数表理，以数表事物之间的关系；并且与图示的状物示意也有着明显的区别。

①在一些“伯乐”的眼中，性格外露、头脑活络、能说会道、作风泼辣，必然敢想敢干，勇于创新，视为“千里马”而入选；反之，性格内向、不吭不响、不善言辞、埋头苦干，必然四平八稳，唯唯诺诺，精神固然可嘉，却视为“老黄牛”而打入另册。“千里马＝开拓型”，“老黄牛＝守成型”。

（水寿《“开拓型人才”辩》）

②这种重情欲贬思想的极端认识引发出一个极端的创作模式，即高情感＋强刺激＋大跌岩＝高票房，一时间，我们的银幕在“情海”中沉浮，在“杀声”中蹒跚。

（赵葆华《理论倾斜与创作失重
——电影艺术功能认识回顾》）

③我找到一种适合我的生活方式：

在单位极积工作争取领导表扬＋尽可能普通平常的衣装＋谨言慎行＝安全系数。

再用这安全系数＋业余时间潜心诗文书画的享受＝我的全部生活。

（冯骥才《我变了一个人》）

④可周国华自有他的一番见地，刚玉砂布厂虽则有二百多人，但生产产品市场冷、用途窄、批量小，如果一味贪大，铺摊子，并不能获得最佳效益，况且要兼并的几家企业，与本厂在产、供、销上无联系。优不补劣，劣不转优，用他的话说，这样的兼并是1＋1＜2，要干他就得干1＋1＞2的事。他说："改革不是为了时髦，我得为全厂负责啊！"

（王万松 戴同云《"效益厂长"周国华》）

以上例①用两个"＝"号，说明在某些"伯乐"的眼中，"千里马"就是"开拓型"人才，而"老黄牛"则是"守成型"人才，这种简单化的思维模式实际上是一种形而上学的观点，应该否定。例②用一个文字等式，说明一个极端的创作模式，借以简单地概括那种"重情欲贬思想的极端认识"在电影创作上的种种不良倾向和不可实现的高票房价值，用"＝"号实有讥讽的意思。例③连用两个意思连贯的文字等式，借以表明"我"为"适应环境、保护自己"而不得不采取的"生活方式"，暗含着自我调侃的意味。例④第一个数学不等式表明部分之和不等于整体，第二个数学不等式表明两个厂合并要获得比原来更大的经济效益，这正是"效益厂长"的"见地"。由此可见，运用算式，可以化繁为简，化难为易，使抽象深奥的事理变得浅显易懂，使事物之间复杂的关系变得一目了然。

正因为算式有这样的修辞作用，故而越来越多地为人们所乐于采用，特别是用作文章的标题。比如：

⑤癌症≠死亡

（柯岩文章标题）

⑥化肥＋农药≠农业高产

（《科技日报》1989年10月15日文章标题）

⑦1＋1＋1＝？

（《中国青年报》1984年9月13日标题）

⑧1＋1＋1＝？

（张春熙小说标题）

所有这些标题都十分醒目，新奇别致，集中概括了文章的主旨，或表意简单明了，通俗易懂；或表意含蓄深藏，令人悬想，而当我们读完全文之后，才能恍然体悟作者命题的匠心和妙处。如其中例⑤，一个简单的文字不等式告诉我们，癌症并非不治之症，只要有顽强的意志，乐观的精神和科学的治疗，它是可以战胜的；必须改变癌症就是死亡的固有的恐惧心理。例⑥的文字不等式说明，农药和化肥诚然有用的，但如果不懂得科学种田，即使有再有效的农药和再多的化肥也不会带来农业高产。例⑦、例⑧数式完全一样，但所要表达的内容迥乎不同。例⑦中的三个“1”分别代表自1982以来中共中央颁发的三个关于农村政策的1号文件，“？”是暗示人们去思考党的富民政策将会在我国农村产生难以估量的影响。例⑧是微型小说的标题，作品中的小明失去母亲之后，父亲再娶，小明对继母不满，因此在一次老师家访而挨了父亲的打之后，便在墙上写了“1＋1＋1＝2”的算式，暗示全家三口人已变成对立的两个方面；后来在继母的体贴关怀之下，思想感情发生了根本的变化，于是又将原来的算式中的“2”字“加上一撇，恢复它应有的得数”，暗示父亲、母亲和小明又组成了一个和美的三口之家。作者以“1＋1＋1＝？”的算式为标题，正是为了引发读者去思考小说的题旨，的确颇具匠心。

除了用作标题，在某些小说中，有的作家更是将算式的修辞作用发挥得淋漓尽致，收到了远非一般语言文字所能收到的艺术效果。请看：

⑨……于是，那个神圣的位置又让给了老大娘。

全车便吃吃地笑起来。

现在的位置是：老大娘坐在0号上，经理坐在引擎壳上，首长坐在工具箱上，秘书拉住竿子站在车门口。老大娘从包袱里抓出几个红枣递给首长，首长很有礼貌地谢绝了。发车员懒懒地递过铁皮记录簿，下车关好车门。汽车发动起来。

汽车奔驰了好久，人们还在思索着这个奇妙的循环不等式

经理 > 首长 > 秘书

∧ ∧ ∧

经理岳母=老大娘<发车员

（滕纬明《奇妙的循环不等式》）

⑩有一天，化学系的田家宝在男宿舍楼收发室拿到这样一封信：没有地址，没有落款，洁白的信封上只写着：

x 先生收

这封信立刻就被广泛传阅。里面只有两个等式：

x+0.5=1

x =身高 1.75 米以上+文学硕士以上

数学系的硕士和博士们经过认真研究，一致认为这两个等式是卡布列克算式，但中文系的硕士况达明却立刻就破译了这个数学之谜：

“首先是第一个等式。‘x’当然指的是未知数，‘0.5’是一半，二者之和是‘1’，因此‘x’是另外的一半。所谓‘1’则应该从《圣经》以及希腊神话中得到注解。《创世纪》第二章第二十四节说，‘人要离开父母，与妻子连合，二人成为一体’；希腊神话说从前人是一种圆球状的特殊物体，宙斯为了使人软弱，便象在腌制花椒果之前把它剖开一样把人体分成两半。于是每一半都急切地扑向另一半，他们纠结在一起，拥抱在一起，强烈地希望融为一体。这就产生了尘世的爱情。也就是说，那个等式是一个求偶信号，一个‘一半’在寻找自己的另一半，‘1’即是‘一体’之‘1’。而第二个等式，即说明了那一半的基本要素……”

“那只能是阁下你了。”哲学系的戴执中插嘴说。

（陈世旭《研究生院的爱情故事》）

例⑨讲的是一个有趣的小故事。长途汽车留有一个神秘的 0 号座位，无人敢坐。这时一农村老大娘上车，刚想去坐被发车员制止。接着一个首长上车，经秘书跟发车员交涉，同意首长去坐。谁知刚刚坐定，又上来一位经理，盛气凌人，出口不逊，迫使首长不得不起身让坐。经理刚刚心满意足地坐下来，一眼瞥见旁边的老大娘原来是自己的岳母，于是又

恭恭敬敬地站起身来让老大娘坐定。小说最后以一个“奇妙的循环不等式”结束，不仅浓缩了整个故事的情节，而且揭示了人物之间错综复杂的微妙关系，启示读者去思考“权大势大人伦大”这样一些社会问题。例⑩与例⑨稍有不同：一是文中的两个算式均为作品中人物求偶的奇特方式，二是对算式暗含的意思作了明白无误的解释。但尽管如此，不仅丝毫无损于算式的修辞效果，相反更能突现人物机敏可爱的性格来。只是例⑨表意含蓄，耐人寻味，而例⑩则表意明朗，别有情趣。

确定是否算式不仅要注意它独具的表现形式，而且要注意它的语言环境，象下面的例子就不能看作算式：

劝人生，济世扶穷，休似俺那爱金钱忘骨肉的狼舅奸兄。正是：乘除加减，上有苍穹。

（清·曹雪芹《红楼梦》新校本第88页）

球迷驻足，相视而笑。

4∶1！清华胜了北大。

（马瑞芳《肖涤非教授和足球》）

以上两例，前例中用“乘除加减”，而不用“×÷＋－”，可见并非偏离常规的特殊形式，其所指代的是高利盘剥的手段，因此应属借代格；后例从语境来看，4∶1是双方进球的比数，不能看作算式辞格。

117. 借　用*

【借用】 jièyòng　借用数学符号组合成“公式”来表示复杂的内容。如：

爱迪生说：天才＝2%的灵感＋98%的汗水。

（引自《修辞学词典》）

也有人将“借用”定义为：“依靠语境暂时突破了社会习惯的使用限制，赋予语词一种新的含义”，并举出如下例证：

傅家杰躺在床边，一手撑着自已的头，望着她说："金属也会疲劳，先产生疲劳显微裂纹，然后逐步扩展，到一定程度就产生断裂"……

（谌容《人到中年》）

……空前规模的争吵开始了。

先是"女子单打"（当然都是君子，动口不动手），接着是"男子单打"。最后，孩子们也都参战，是"团体赛"。经邻居百般劝说，这才暂时收兵。收兵并不等于罢战。张家也积极准备材料，决心把空中优势夺回来。邻居们都担心。鹿死谁手，街坊还不是跟着受苦。

（屈兴岐《笑》）

（详见王均裕著《修辞拾贝》）

两种"借用"所揭示的修辞现象是客观存在的，因此可以独立成格。但两格同名，容易混淆，故前者定名为算式格；后者部分归于体变格，部分归于降用格。

118. 起　　兴

【起兴】 qǐxīng　先说其他事物，以引出所要说的事物。

朱熹在《诗经集传》中说："兴者，先言他物以引起所咏之词也。"历代学者还有"兴者，起也"（刘勰），"托事于物"（郑众）、"触物以起情"（李仲蒙）等说。

起兴是一种历史悠久的修辞方式。

起兴，源于民间，在民歌中最常见。

起兴在诗中具有起情、或确定韵脚的作用，也可以渲染气氛，描写景物。

①南山矸（同岸，高大），白玉烂。
生不逢尧与舜禅。……

短布单衣适至骭(gàn,小腿)。
从昏饭牛薄夜半,长夜漫漫何时旦?

(《古诗源·饭牛歌》)

②毛竹笋,两头黄。
农民领袖李忠王,
地主见了他象见阎王,
农民见了他象见亲娘。

(《太平天国民歌》)

③糖罐花,
白堂堂。
心想嫁,
又想娘,
想不嫁,
又想郎。

(民歌)

④小白菜,心里黄,
三岁两岁没了娘;
跟着爹爹还好过,
就怕爹爹娶后娘;
娶了后娘三年整,
生个弟弟比我强,
他吃面来我喝汤,
拿起筷子想亲娘……

(《河北民歌》)

⑤青皮皮西瓜碎刀刀裂
全村村相中了情哥哥。

豆芽芽生成一盆盆菜,
你是亲亲的心上爱。

旱地地香瓜蜜沙沙甜
我爱哥哥整一年。

黄瓜丝丝调凉粉，
咱和哥哥结个婚。

（《山西河曲民歌》）

各例中加着重号的句子均为起兴句，都是先言他物，引出下面的所咏之词，具有托物兴感，触景生情的作用。例①由兴句引出的是生不逢时，怀才不遇之叹，相传这是宁戚唱给齐桓公听的歌。例②兴起的是赞誉之情。例③引出的是姑娘临嫁前的矛盾心理。例④引出如泣如诉、哀怨凄婉之情，这首民歌历来脍炙人口。例⑤是信天游的形式，每两句一小节，每小节第一句起兴，共四节，叙述女主人与"情哥哥"的恋爱过程，表现他们真挚的爱情。另外，各例中起兴句的最后一个字，都具有规定全诗（歌）韵脚的作用，如例①兴句的最后一个字是"烂"，以下各句，依次押"an"韵；例④兴句最后一个字是"黄"，以下各句便依次押"ang"韵。

起兴和比喻的区别，所谓"兴"主要是借物起情，由彼物引出此物，彼物与此物之间可能有某种意义上的联系，但不存在相似点，不能用比喻词把彼此两物直接联系起来。试看下面的例子：

⑥一个篱笆三个桩，
一个好汉三个帮。

（《谚语》）

⑦羊肚子毛巾包沙糖，
一个个社员喜洋洋。

（《陕北民歌》）

例⑥是比喻，喻体在前，本体在后，构成并列复句形式，可以还原成"一个好汉要有三个帮手，就象一个篱笆需要三个桩一样"的明喻。例⑦由甜蜜的沙糖，引出喜洋洋的感情，由甜生喜，前后句虽有感觉上的沟通，但不能说成"一个个社员喜洋洋，就象羊肚子毛巾包沙糖"。可见，起兴不能和比喻混为一谈。

119. 比　兴

【比兴】 bǐxīng　起兴中兼含比喻，即起句除有触物起情，托物发端的意思之外，还和下句构成比喻关系。

①新枝儿发芽枯枝儿落，
庄稼人的日子要重新过。

包田、包山、包鸡场，
大街上贴出“招贤榜。”

（张志民《“死不着”的后代们》）

②十冬腊月天，
松柏枝叶鲜。
英雄杨靖宇。
长活在人间，

（《东北民歌》）

③青草长在风雨里，
乖乖的古卡生在穷人家里，
红花开在阳光里，
英俊的古卡生在好心人家里。

（《百鸟衣》）

④吃一口黄连吃一口糖，
王贵娶了李香香。

（李季《王贵与李香香》）

各例中加着重号的句子不仅有托物起兴的作用，而且兴中含比。例①“新枝儿发芽枯枝儿落”比喻农村实行经济体制改革后，广大农民摆脱旧的生产关系的束缚，焕发出了生产积极性。例②以松柏长青比喻杨靖宇精神不死。例③“青草长在风雨里”比喻古卡从小受苦而充满了青

春活力;“红花开在阳光里”比喻古卡英俊貌美。例④“吃一口黄连吃一口糖”比喻王贵与李香香经过一番痛苦的磨难,终于幸福地结合了。

兴中含比,源于我国第一部诗歌总集《诗经》,请看下面的例子。

⑤摽(biào)有梅,　　飘落的梅子,
其实七兮。　　它的果实还剩七成。
求我庶士,　　追求我的小伙子,
迨其吉兮。　　趁着吉日良辰呵。
……

(《召南·摽有梅》)

《摽有梅》共三章,这是第一章,写逾时未嫁的女子求婚的急切心情。诗以梅子飘落起兴,以梅子成熟下落,树上还留有七分,比喻女子逾婚龄,好景不常,时不我待。

⑥桃之夭夭,　　繁茂的桃枝上,
灼灼其华。　　开满娇艳的花,
之子于归,　　这个女子出嫁,
宜其室家,　　和顺她的家室。
……

(《周南·桃夭》)

这是一首祝贺新婚的礼俗诗,全诗三章,均以“桃之夭夭”起兴,渲染新婚典礼上的欢快气氛,也以桃花的娇艳,比喻新妇美丽的姿容。

⑦呦呦鹿鸣,
食野之苹。
我有嘉宾,
鼓瑟吹笙。
……

(《小雅·鹿鸣》)

《鹿鸣》被推为《诗经》四始之一,“四始”代表着《诗经》艺术的高峰。全诗三章,这里录的是第一章前四句。诗的每章开端都以呼朋引伴的鹿起兴,兴中含比,以鹿觅食时的彼此呼唤,比喻主人对嘉宾的盛情相邀。

120. 讽　喻

【讽喻】 fěngyù　借用寓言、故事来说明道理，委婉地规劝、启发别人或者进行讽刺谴责。

①偶读东坡的《艾子杂说》，有一则寓言：

艾子浮于海，夜闻水下有二人相对大放悲声。闻其一曰："昨日龙王有诏：一应水族有尾者俱斩。吾鼍也，故惧诛而哭，汝虾蟆无尾，何哭为？"复闻有言曰："吾今幸无尾，但恐追究蝌蚪时事也。"

青蛙在蝌蚪时期确实是有尾巴的，这在求全者看来，要算是它们历史上的一大污点。但这并不妨碍它们后来成为没有尾巴的有益于人类的动物。由此看来，一些知识分子在投奔革命之前，走过曲折的路，或者因从旧社会那个大泥潭中滚过来，身上沾染些脏东西，甚或生在红旗下，长在新社会，过去却有过这样那样的缺点，现在都应当从社会、历史的高度看待，着重他现实的表现，不要过于苛求，该表扬的就表扬，该提拔的就提拔，该重用的就重用，使这些人的聪明才智都能充分发挥，有利于四化的实现。

（肖琰《从蝌蚪尾巴想开去》）

例中引用的寓言，含意深远，龙王要追究虾蟆在蝌蚪时代有过尾巴的事，看来是荒唐可笑的，但联想到现实生活中，我们一些同志专爱揪住知识分子的"尾巴"不放，大搞形而上学，不是同样的荒唐、不合理吗？杂文借这则寓言作类比论证，论述警辟，具有不可辩驳的力量。设若将寓言从文中删去，那末该文将会立即失去鲜明、尖锐的特色，议论的形象性、生动性亦不复存在。可见，讽喻的修辞功能是用其他的议论方式所无法替代的。

②《龙文鞭影》中有一则《库狄杖吏》的故事："南北朝库狄迥，性愚鲁，居室常患蝇，乃呼门吏杖之，曰：汝所司何事，乃故放其入来。"本来门吏只负责看家护院，哪里管得了苍蝇，可是愚蠢的库狄

却以不忠于职守把苍蝇放进来为罪名，把门吏痛打一顿.这就是打错了屁股。

认真分析一下，工作中出现差错和事故的原因很多，有些确实是当事人玩忽职守，在批评教育的同时给有关人员“打几下屁股”，作为教育的辅助手段也未尝不可，挨板子的人也无话可说。然而在实际工作中，有许多问题却是领导干部造成的，事故发生后领导人往往只是轻描淡写自我批评几句，板子则还是打在下面干部和群众身上。也有连几句自我批评都不愿意说的，那就更不象话了。

（起祥《不要打错了屁股》）

故事中的库狄“愚鲁”可笑，读者一看 便知，而对现实生活中的“库狄”，人们的认识就不一定清楚了。作者用古代库狄作为一面镜子，照出现代种种“库狄遗风”，显出其荒谬性，可以促人警醒，使文章具有更强的干预社会生活的作用。设若把《库狄杖吏》的故事从文中删去，一篇文字会变得苍白无力，文章的劝世作用会大大削弱。

③《三国演义》最末一回是“荐杜预老将献新谋，降孙皓三分归一统”，说的是，咸宁四年，晋戍边大将羊祜年老退休时，建议伐吴。

司马炎赞同，并要羊祜统兵征战。羊祜对司马炎说：“臣年老多病，不堪当此任，陛下另选智勇之士，可也。”司马炎问：“今日谁可继卿之志？”羊祜答道：“右将军杜预可任；若伐吴，须当用之。”在羊祜的推荐下，“老成练达，好学不倦。”年富力强的杜预领兵伐吴，一举成功，为三国统一立下汗马功劳。在西晋君臣摆宴庆贺胜利时，司马炎执盏流涕说：“此羊太傅之功也。”

岁月不饶人。随着年龄的增高，人的智力、体力伴之衰退，这是不可抗拒的自然规律。年高之后，则当选贤承继，这是历史赋予老同志的光荣使命。羊祜精神之可贵，正在于他不仅年迈有志，而且能荐贤代己，完成未竟之业。

“胸怀壮志，力不从心。”这已是许多老同志的切身同感。我想，这就很需要效仿一下羊祜精神，把“壮志”放到培养和选拔接班人上来。

（言实《有感于羊祜荐杜预》）

引用羊祜举荐杜预统兵伐吴的故事，赞扬他“年迈有志”“荐贤代己”的精神，并联系现实生活，希望老同志以选拔接班人为历史使命。由于论述采用了“说故事”的办法，没有板起面孔训人，抵牴而谈，言词委婉亲切，使人易于接受。

④去西天取经，是桩很困难的事情。一路要披荆斩棘，所到之处绝大多数都渺无人烟炊火；有的是烈焰三千丈的火焰山，弱水不能扶叶片的流沙河，装扮成神佛美女的妖魔和数不清的艰难险阻。然而，唐僧一行抱着至诚之心，餐风饮露，化缘求食，降魔伏怪，历尽九九八十一次磨难，终于取回三藏真经，使佛教流传于东胜神州大地，其功果可谓空前绝后矣！但是，完成取经这一宏伟壮举的，并非浩浩荡荡的大队人马，而仅仅止有唐僧、悟空、八戒、沙和尚和白龙马师徒五人耳！

借古鉴今，我们不少单位外出参观学习，取经送宝，确是今非昔比。他们少则几人，多则几十人，乘车坐船，走马观花。转一趟回来，有利“四化”建设的“真经”究竟取到多少暂且不论，仅差旅费就要报销几十元、上百乃至千元之巨。倘若细细揣摩参观学习的路线图，几乎十有八九是到大诚市或沿途要经过大诚市；假使某单位确有“真经”可取，但地处偏远荒僻之地，既无山水风光可赏心悦目，又无土特产可采买捎带，便是路途再近，踊跃报名者恐怕也寥寥无几。

（鲁文《止师徒五人耳》）

用唐僧师徒五人西天取经的故事，对比今天以“取经送宝”之名，公费旅游的不正之风，揭露当代“取经”者的种种丑行，一真一伪，类比对照，洞若观火，其理自判矣。

讽喻常常借助“引用”寓言、故事来阐释道理，但讽喻不同于“引用”，讽喻之“喻”，要求所引之事与所讽之事构成类比关系，由此及彼，双方具有某种共同的本质属性。

讽喻和比喻在形式上有相同之处，讽喻要说明的事理类似比喻中的本体，讽喻中所引之事类似比喻的喻体。但是，讽喻和比喻还是有区别的：一、从内容上看，比喻只需找到本体喻体两方的某一相似点即可

构成，而讽喻则要求甲乙两方，逻辑上的类比联系，并采取说故事的方法，具有一定的情节（如例①、例②、例③）或完整的内容（如例④）。二、从修辞功能来看，比喻着重于形象化的描写或抒情，讽喻则着重于教育或讽刺。

121. 象　征

【象征】 xiàngzhēng 借助于特定的具体事物，寄寓某种精神品质或抽象事理。

象征，即"托义于物"，它主要是通过联想的作用，托主观意识于客观外物，使特定具体的事物（象征客体）显现出抽象的意蕴（象征义）。这里象征客体与象征意义之间不存在直接的相似、相关联系，比如：人们习惯用竹子象征高尚的气节与谦虚的美德，所谓"未出土时便有节，及凌云处尚虚心"。事实上竹节与人的气节，竹心与人的虚心并不存在相似、相关性，竹子所体现的象征义，是经过人的类比联想作用，将人的社会意识与情感转移物化的结果。这种转移与物化使竹子的特殊植物属性获得了社会属性，并相对稳定下来，成为一种历史文化的积淀，具有了某种心理暗示作用，因此，人们看见竹，自然就把它当作了某种精神的象征。为中国历代文人画师所吟咏、描绘的梅、兰、菊、竹、松柏，其象征义就是这样形成的。

随着历史的发展，人类精神文化生活的领域不断扩大，越来越多的事物，如：春风、杨柳、山峰、岩石、红旗、火炬、暴风雨、惊雷、闪电、苍鹰、骏马都被赋予了时代的象征意义。再如：红色象征喜庆，象征革命，绿色象征生命，蓝色象征自由，鸽子象征和平，红十字象征人道精神，等等。

象征从结构上看，可分为明征、暗征两种。

【明征】 míngzhēng 即象征客体、象征义、联系词同时出现。

①纪念碑是用一万七千块坚硬的花岗石和洁白的汉白玉砌成的。它象征着先烈们的丰功伟绩，标志着全国人民对先烈的怀念。

……

碑身东西两侧上部，刻着红星、松柏和旗帜组成的装饰花纹，象征着先烈们的革命精神万年长存。小碑座的四周，雕刻着牡丹花、荷花、菊花等组成的八个大花圈，这些花朵象征着英雄们品质高尚纯洁，表示全国人民对他们的永远怀念和敬仰。

（周定舫《人民英雄永垂不朽——瞻仰首都人民英雄纪念碑》）

这段文字连用三个明征，象征客体分别是“纪念碑”、“刻着红星、松柏和旗帜组成的装饰花纹”、“雕刻着牡丹花、荷花、菊花等组成的八个大花圈”；联系词都是“象征着”、象征义分别是“丰功伟绩”、“革命精神万年长存”、“品质高尚纯洁”。其格式为：象征客体＋“象征着”（联系词）＋象征义。

②临近端阳时节，妇女们谁都插着一朵栀子花，洁白的，有一股清香；在这小小的山庄，栀子花正是妇女们纯朴、清雅的象征。

（菡子《乡村小记》）

③这发了怒的大海，给人以无比威猛雄壮的感觉。它就是力的象征，强者的体现。

（骏青《沧海赋》）

④梵高不倦地画向日葵。当他说：“黄色何其美！”这不仅仅是画家感觉的美，其间包含着宗教信仰的感情。对于他，黄色是太阳之光，光和热的象征。

（吴冠中《梵高》）

这三个例子的共同格式是：象征客体＋“是”＋象征义＋“的象征”（联系词）。三例均为判断句式，以象征客体充当主语，判断动词“是”充当谓语，联系词“象征”充当宾语，象征义与联系词构成偏正关系。

⑤事实上，戚继光作为民族尊严、不畏强暴与人间正气的象征，其精神塑像早已在每一个有民族气节，每一个正直的中国人心目中矗立起来。

（《民族尊严的雕塑》载《光明日报》1989.10.15）

象征客体“戚继光”，象征义“民族尊严、不畏强暴与人间正气”，联系词“的象征”，加上谓语动词“作为”，构成主谓短语，充当全句的主语。

【**暗征**】 ànzhēng 象征义、联系词不出现，只通过对象征客体的细致描写，显现、暗示其象征意义。

⑥窗子，自从它出现的那天起，它就成为阳光的眼睛，空气的港口，成了自然和社会的纽带。

……

打开窗子吧！现在开窗子就不光是为了迎进阳光、空气、或者远眺青山的青、新柳的绿、燕子飞来的掠影，……而是迎接一个新的世纪！

（端木蕻良《黎明的眼睛》）

把“开窗”的意义抽象化，“打开窗子”在这里不是指房屋通光透气，而象征着解放思想，从禁锢与教条中走出来，意味着面向世界，对外开放。

⑦一夜之间，春风来了。忽然，从塞外的苍苍草原、莽莽沙漠，滚滚而来。……

轰的一声，是哪里的河冰开裂吧。嘎的一声，是碗口大的病枝刮折了。……

麦苗在霜冻里返青了，山桃在积雪里鼓苞了。清早，着大跋鞋，穿老羊皮背心，使荆条背篓，背带冰碴的羊粪，绕山嘴，上山梁，爬高高的梯田，春风呼哧呼哧地帮助呼哧呼哧的人们，把粪肥抛撒匀净，好不痛快人也。

北国的山民，喜欢力大无穷的好汉。到喜欢得不行时，连捎带来的粗暴也只觉得解气。要不，请想想，柳丝飘拂般的抚摸，细雨滋润般的体贴，又怎么过草原，走沙漠，扑山梁？又怎么踢打得开千里冰封和遍地赖着不走的霜雪？

（林斤澜《春风》）

北国的春风有摧枯拉朽之势，有“踢打”坚冰残雪的力量；既无“杏花春雨江南”的丝丝柔情，又和“吹面不寒”的“杨柳风”不可同日而语，作者仅仅是在写“力大无穷”的自然之风吗？它不也是社会改革的狂飙

大潮？不是我们民族奋进精神的象征吗？

⑧血雨腥风里，毛竹青了又黄，黄了又青，不向残暴低头，不向敌人弯腰。竹叶烧了，还有竹枝，竹枝断了，还有竹鞭；竹鞭砍了，还有深埋在地下的竹根。“野火烧不尽，春风吹又生”。一到春天，漫山遍野，向大地显露着无限生机的，依然是那一望无际的青青翠竹！

（袁鹰《井冈翠竹》）

写竹，实则写人。描述毛竹不怕刀砍火烧，“春风吹又生”的顽强生命力，正是赞扬井冈人不畏强暴、坚贞不屈的精神。毛竹是井冈精神的象征。

⑨花开不并百花丛，
独立疏篱趣未穷。
宁可枝头抱香死，
何曾吹落北风中。

（宋·郑思肖《画菊》）

郑思肖在南宋灭亡之后，不仕元朝，他隐居破庙，坐卧必向南方，以示不忘宋室，不降元蒙统治者，并自号“所南”，他擅画兰、菊，所写墨兰有根而无土，深寄国土沦丧之痛。这首《画菊》诗，咏物抒怀，塑造了菊花独立特持、抱香枝头、不坠北风的形象。以此象征诗人至死不渝的爱国节操。诗末句“北风”则象征着元蒙统治。

暗征和借代、借喻不同。从形式上看，借代、借喻只出现借体，暗征只出现象征客体，因此，容易混淆；但事实上，它们有着严格界限：借代的借体与本体之间存在着相关性，如“侦察兵抓了一个舌头”，舌头是人体发声器官之一，用它代替“会说话”俘虏，这是部分替代全体。借喻的借体与本体之间存在着相似性（借喻可以还原为明喻），如“一缕彩霞飘过山顶，落日洒下一河碎银”（宗鄂《黄昏即景》）。碎银是喻体，它直接代替本体“余辉”出现，喻体和本体有相似性：星星点点，闪闪烁烁。这句话还原为明喻是：“落日洒下一河碎银般的余辉”。而暗征就不同了，象征客体是无法直接代替象征义的，二者之间没有直接的必然的联系。如：“那南泥湾的镢头呵，开出今天沙漠上第一块绿州”（贺敬之《西去列车的窗口》）。“南泥湾的镢头”象征“自力更生、艰苦奋斗”的革命传统精

神，表示的是一抽象概念，我们只有知道了南泥湾大生产运动的历史背景，经过联想才能领悟“南泥湾的镢头”的含义。另外，暗征需要对象征客体的性质作具体描绘，才能充分显示出象征义，如例⑦、例⑨。而暗喻的喻体、借代的借体则不需要具体的描述，不必涉及它们的全部属性。

象征列为辞格，尚有争论，主要问题在于象征又常常是一种艺术构思，贯穿于全篇之中。如郭沫若的《银杏》、茅盾的《白杨礼赞》、巴金的《灯》都是用象征作为主要的艺术表现手法来加以使用的。所以如何把作为艺术表现手法的“象征”和作为辞格的“象征”统一起来，或是区分开来，还有待进一步探讨。

122. 映　　衬

【映衬】 yìngchèn （衬托 相形）为了突出主要事物，用相似的、相关的或相反的事物作背景加以烘托。

被烘托的事物叫主体，用来作背景的事物叫衬体。

映衬可以分正衬和反衬两种。

〖**正衬**〗 zhèngchèn （烘托 烘云托月）衬体作主体的陪衬，突出主体。

正衬的方法，就是人们常说的“红花还要绿叶扶”，所谓“马上看将军，花间看美人”。用相似、相关的事物布置一个背景，或渲染出一种氛围，一种情调，使主体特征鲜明地显现出来。

①火是红的，
血是红的，
山丹丹是红的，
杜鹃花是红的，
石榴花是红的，
初升的太阳是红的；
最美的是

在前进中迎风飘扬的红旗！

（艾青《红旗》）

诗人以“火”、“血”、“山丹丹”、“杜鹃花”、“石榴花”、“初升的太阳”系列美好的事物作衬体，构成一个鲜红明丽的背景，再从背景上闪耀出一面“迎风飘扬的红旗”！“红旗”之美虽未实写，但读者可通过对陪衬事物的联想，主体那跃动着生命力的红色便深深印在了脑海里。

②每当我向不知梵高其人其画的人们介绍梵高时，往往先就激动，却找不到确切的语言来表达我的感受。以李白比其狂放？不适合。以玄奘比其信念？不恰当。以李贺或王勃比其短命才华？不一样。我童年看到飞蛾扑火被焚时，留下深刻的永难磨灭的印象，梵高，他扑向太阳，被太阳熔化了！

（吴冠中《梵高》）

以中国历史上有着独特人格、富于艺术才华的诗人与梵高比较，以矢志不渝、舍身求法的高僧与梵高比较，从标格、才识诸方面烘托，评价了梵高的奇人奇材。

③梧桐虽有你的端直而没有你的坚牢；白杨虽有你的葱笼而没有你的庄重。

熏风会媚妩你，群鸟时来为你欢歌；上帝百神——假如是有上帝百神，我相信每当皓月流空，他们会在你脚下来聚会。

（郭沫若《银杏》）

先用端直的梧桐、葱笼的白杨与银杏相比，称赞其坚牢庄重，这是一“衬”。再展开浪漫的想象，调来“熏风”、“群鸟”、“皓月”、“上帝百神”向银杏传情、“欢歌”，在银杏下“聚会”，这是二“衬”，两次烘云托月，银杏高洁、端庄、典雅的风范，其拂拂神韵均毕现于毫端。

④那儿是云雀和苍鹰飞不到的高山；
那儿是月光与松枝吻别的地方；
长春藤在那里向着星空攀援；
霞光从那里滑下来……
但你是从哪里爬上去的，穿着白布衫的，高山上的采药女？

（耿林莽《你是一朵云——给采药人》）

用去近四分之三的篇幅，铺陈、描绘山之高，山之险，极言其可望而不可攀。而后笔锋一转，问采药女：你是从哪里爬上去的？问而不答，意在言中，采药女征服天险，敢“与天空试比高”的奋斗精神，被生动地展现出来。短文以实衬虚，虚实相生，令读者咀嚼回味。

⑤他又接着说下去：“我在大陆，家里有个大花园，娶我太太那年，我就种了满园的茉莉花，风一吹，清香的，一直香到人心窝里去了，但是呀，我告诉你，那一园子的茉莉花，还没我太太香！”

（美国·聂华苓《永不闭幕的舞台》）

不正面谈“他”的“太太”如何“香”，而一味夸奖“他”家满花园的茉莉花香入人心，最后才“点睛”：“那一园子的茉莉花，还没有我太太香。”其“太太”芳香到何等程度？读者已可想而知了。

〖**反衬**〗 fǎnchèn （反映）主体与衬体相反。衬体从反面作背景，烘托主体。

⑥说来惭愧，我这一辈子做过无数次的客，吃过多少山珍海味；在国内、在海外，什么蜗牛、肺鱼、蛇肉、马肉……我都尝过，但是主要的姓名和进餐的地点，我几乎忘得一干二净，只有周总理约我的那一顿朴素的晚餐，却永远遗留在我内心深处！

（冰心《一饭难忘》）

“一顿朴素的晚餐”怎能与“无数次”的“山珍海味”相比？然而“我”记得的唯有这“朴素的晚餐”，倒忘却了那数不尽的佳肴。这里种种“山珍海味”是衬体，从反面强调了朴素晚餐的不寻常意义，突出了作者一往情深的崇敬和怀念。

⑦世人以无限的钦辞艳说莎士比亚、莫里哀、席勒、易卜生、关汉卿、王实甫、高则诚、汤显祖、程长庚、梅兰芳……他们是如何的文采绚烂，光芒万丈，如果没有这许多天才的卓越贡献，我们的艺术天宇将显得多么寥落暗淡，星月无光。世人又以无限的歆羡竞夸巴黎、伦敦、柏林、莫斯科、纽约、布宜诺斯艾利斯等等世界名城的著名剧院，是如何的壮丽华美、新颖奇巧，如果没有这些高贵的艺术之宫，那些红尘滚滚、人海滔滔的城市将显得多么浮嚣浅薄，枯燥无味，这当然是不争的事实。但我却愿以深挚的谢意献给那难以

数计的草台班和无名艺人。他们走遍山坞水涯，穷乡僻壤，把自己的艺术无尝地送给胼手胝足的芸芸众生，滋润大家的心灵；而自己则粗衣粝食，碌碌终生，默默无闻。他们自甘雪中送炭，不屑锦上添花。如果没有他们，广袤无垠的世界将减损多少色彩，成千上万的大地之子将经受多少难耐的精神饥渴！

"天涯何处无芳草"，无名氏，草台班，多么浩茫壮阔的生活舞台，多么平凡芳醇的人生戏剧！

（柯灵《无名氏》）

文章以浓墨重彩描述那"艺术天宇"中的颗颗明星，遍赞分布在世界名城的"高贵的艺术之宫"，它们和奔走于"穷乡僻壤"之间的"无名氏，草台班"岂可同日而语？但作者却将他的偏爱与"深挚的谢意"献给了"碌碌终生"的"草台班"和"无名艺人"，只用高雅华贵的艺术殿堂，灿烂辉煌的艺术群星作背景，唱出了一支民间艺术、民间艺人的颂歌。

⑧一九七二年。湖北省中部农村。大自然的春天来到了这里，柳枝发青，田野泛绿，花草树木充满了生机。然而从一间农舍里，传出了两个年青人的凄厉的哭声，他们是一对恩爱夫妻，却要永别了。

（涂怀章《生命的春风》）

用"乐景"写"哀景"，"倍增其哀"，用花木竞发，绿满田畴，生意盎然的春景，反衬这一对年青人的不幸，有力地揭示了一代人在那荒唐岁月的悲惨命运。

"正衬"和"反衬"在作品中常常结合起来使用。

《老残游记》第二回，写老残去明湖居听书，有这样一段描写：

次日九点钟的光景，老残赶忙吃了饭，走到明湖居，才不过十点钟。那明湖居本是个大戏园子，戏台前有一百多张桌子。那知进了园门，园子里面已经坐的满满的了。只有中间七八张桌子还无人坐，桌子却都贴着"抚院定"、"学院定"等类红纸条儿。老残看了半天，无处落脚，只好袖子里送了看坐儿的二百个钱，才弄了一张短板凳，在人缝里坐下。看那戏台上，只摆了一张半桌，桌子上放了一面板鼓，鼓上放了两个铁片儿，心里知道这就是所谓梨花简了，旁

边放了一个三弦子，半桌后面放了两张椅子，并无一个人在台上，偌大个戏台，空空洞洞，别无他物，看了不觉有些好笑。

这段文字写戏台下观众踊跃，座无虚席，戏台上几件乐器，冷清无人。一热一冷，一动一静，两厢对照。前者烘托出白妞说书所具有的艺术魅力，说明白妞的说唱艺术具有极广泛的社会影响，深受观众欢迎；后者则从反面衬托了白妞说书技艺超群："空空洞洞，别无他物"，说明不借助任何舞台布置和道具，只凭扎实的艺术功底，就能做到"余音绕梁，三日不绝"，令听者"三月不知肉味"。正、反衬在这里有机结合，达到了完美的境地。

清人林嗣环的《口技》一文，也运用了正反衬结合的方法。如文章开头结尾都提到："口技人坐屏障中，一桌、一椅、一扇、一抚尺而已"；"撤屏视之，一人、一桌、一椅、一扇、一抚尺而已。"首尾呼应，反复强调五个"一"，作者旨在从反面突出口技人技艺精妙绝伦，不借助其他器具，只凭口舌摹声，便可令人叹为观止。在写口技人表演过程中，文章两次写到了听众的反应："满座宾客无不伸颈，侧目、微笑，默叹，以为妙绝"。"于是宾客无不变色离席，奋袖出臂，两股战战，几欲先走"。两段文字写尽"宾客"的失神，忘态以至沉迷其中不能自拔，为口技人的表演所折倒，这就从正面烘托出口技人的表演具有强大的艺术感染力，并为这种感染力(属心理活动的范畴)找到了外在的物化的艺术形象。

映衬法，往往实写衬体，虚写主体，衬体形象具体而清晰，主体形象则具有一定的模糊性，留给读者以较多的意义空白，因此，它需要读者对衬体形象展开联想，追求衬体的象外之义，象外之象，来丰富、补充、塑造主体形象，发掘意义空白的内涵。从这一意义来说，衬体形象越生动、具体，则主体形象特征愈鲜明突出。衬体写的越"实"，它的暗示作用越强，输出的信息量越大，读者的联想也就越丰富、越活跃，主体形象的美学价值也就展示得越充分。这就是虚实相生的艺术辩证法。

映衬，常见的有以景衬情，以景衬人，或以物衬情，以物衬物等。

123. 抑　扬

【抑扬】 yìyáng 把要贬抑否定的方面和要肯定的方面同时说出来，只突出强调其中的一个方面，以达到抑此扬彼或抑彼扬此的目的。

①大别山并非旅游胜地。论娇媚，它不及黄山；论俊秀，它不敌匡庐；论奇峻，它远输太华；论雄浑，它更逊泰岱；且缺秦岭之高峻，又少"小孤"之峭拔……难怪，古往今来，不见画家为它泼墨，不见诗人为它吟赞，郑板桥三过山门而不入，苏东坡在它隔壁一住四载终未识，写下浩浩四十卷《水经注》的郦道元与它缘悭一面，就连"天下名山皆留迹"的明代大旅行家徐霞客也与它失之交臂……然而，它象一架巨琴，总在弹拨着我的情思，撞击着我的心灵。

山不在高，有仙则名。大别山钟灵毓秀，卧虎藏龙。

（王静平《情系大别山》）

②巍巍，高大，挺拔，耸入云霄，如一座峻岭奇峰！

我抬头仰视，欣赏它那与白云摩肩擦臂的高峻；赞叹它那与蓝天欲比高下的雄姿；钦佩它那独傲苍穹、俯瞰大地的气势。

然而，当我细看时，便发现似乎缺少了一点什么。

光秃秃的一片：没有一丝草的葱笼、树的蓊郁、花的亮色、叶的柔曼……

旁人告诉我：那是一座用矸石多年堆积而成的山，一座不长花、叶、草、树的山。

哦……

越采越少的煤炭，在烈火中永生，完成了生命的涅槃。

越堆越高的矸石，在无为中苟活，变成了永恒的累赘。

……

矸石山，一座徒有形式没有生命的山。

（徐康《“矸石山”的联想》）

两段文字都写山。例①先将大别山与海内诸名山作比较，备述其貌不扬；再说大别山历来与名士、诗画无缘，极言其名不扬。而后笔锋一转，赞扬大别山是一架动人心弦的“巨琴”，“钟灵毓秀”、“卧虎藏龙”，具有其独特的文化价值。由“贬抑”转为“褒扬”，贬抑为虚，褒扬为实，反差强烈，形象鲜明。例②极尽赞美之词，写矸石山的“高峻”、“雄姿”、不凡的“气势”，继而陡然一跃，笔锋所向，揭示出矸石山徒具外形、毫无生命的本质，是人类生活中的“累赘”，由褒而贬，欲抑先扬，“抑”是实，“扬”为虚，托物言志，蕴涵深远。

依上述分析可知：抑扬包括两种形式：欲扬先抑，欲抑先扬。

〖**欲扬先抑**〗 yùyángxiānyì

③令我惊讶的是，他的墓竟是一个椭圆的长满青草的小土堆，在林中的一小片绿地上，没有纪念碑，没有雕像，也没有墓志铭。然而在惊讶之后，这平常的小土堆却仿佛让我感觉到了这位伟大作家更伟大的灵魂。

（孟伟哉《在林中绿地中的……》）

文字记叙列夫·托尔斯泰墓。极写墓地的“平常”不起眼，正是为了称颂这位伟人质朴而高尚的灵魂。褒扬在贬抑的托垫下，显得更加鲜明突出。

④谁不知道你呢？落花生！

你这大不盈寸、土头土脑的小不点呀，旁的果子，梨哟，枣哟，柿子哟……它们总是高高地站在枝头，站在青山白云间，站在金秋里，炫着嫩绿，炫着娇黄，炫着红艳……它们为自己的贡献，向世界，骄傲地唱着瑰丽的歌！

而你，落花生——

叶是不起眼的小绿点；花是不起眼的小黄点；果子呢，干脆埋进地里，羞怯得不敢抬起头来望人一眼。

可是，当勤劳、质朴的农民，从大地母亲的怀里找到你，轻轻掰开你土黄色的外衣，却发现，那里面藏着红珊瑚一般美丽的心！

把丰美的果实奉献给人类，却从不显示自己的存在。

落花生，谁不喜欢你呢？

（陈慧瑛《落花生》）

现代作家许地山的《落花生》是一篇传世名作。本例作者敢于再次以“落花生”为题，从新的认识角度，发掘“落花生精神”，其成功之处，与运用“欲扬先抑”手法有很大关系，在与众多果实的比较中，在对其叶、花、果的描述中，作者对落花生一贬再抑，突出它的“土头土脑”、“不起眼”，而后一曲主旋律响起：落花生“从不显示自己的存在”，以一颗“红珊瑚般”的心奉献着自己！全篇主旨点明，富有新意，未落前人窠臼。

⑤刮了一天的大风。

不像春风。没有吹绿小草，没有鼓胀花蕾，何况，又一丝儿也不温柔。

可我觉得，这是最使我快活的风呢！

一阵阵沙尘卷起，人睁不开眼。树枝哗哗地摇，电线呜呜地响。迎风前进，你会觉出那风是遒劲的、痛畅的，它一阵阵扑打着你，又粗犷又热烈，人的心也不由得感到兴奋了。

（李佩芝《踏青的风日》）

写北方早春卷沙扬土的大风，先贬上一笔说它不具备“春风”之美，继之以褒扬，从不美处发现美，赋予“大风”“粗犷”“热烈”的个性，反映出作者真切的生活感受。

⑥他识字不多，他的革命知识，他的农业、工业、商业的知识，可是渊博得很。他个儿很大，可是野心很小。他面貌丑陋，可是心地和善。他脾气暴躁，可是办事细心。他说话粗鲁，爱顶撞人，可是有时心软像婆姨家，听话像小娃娃。

（欧阳山《高乾大》）

这是一个并列句群，由五个转折复句组成，除了“他个儿很大，可是野心很小”一句，其余各句前面分句的内容，都是对“他”的贬抑，如“识字不多”、“面貌丑陋”、“脾气暴躁”、“说话粗鲁”等，后面的分句都对“他”褒扬，象知识“渊博”、“心地和善”、“办事细心”等，欲扬先抑，对立而统一，展示了人物性格组合的多重性、复杂性、唯其如此，“他”才会是一个活生生有血有肉的人物！

欲抑先扬 yùyìxiānyáng

⑦我当她是块玉，
哪知她是土？
我当她是花，
哪知她是粪？
我当她是个人，
哪知她是个鬼？

（田间《赶车传》）

这是由三个转折复句构成的一组排比。每句话都是先扬后抑，扬为虚，抑为本，抑扬对照，揭露了“她”如“玉”、如“花”的外表下，掩盖着的丑恶灵魂。

⑧去年暑假到上海，在一路电车的头等里，见一个大西洋人带着一个小西洋人，相并地坐着。……那小西洋人，那白种的孩子，不过十一二岁光景，看去是个可爱的小孩，引我久长的注意。他戴着平顶硬草帽，帽檐下端正地露着长圆的小脸。白中透红的面颊，眼睛上有着金黄的长睫毛，显出和平与秀美。……

初时他不注意或者不理会我，让我自由地看他。但看了不几回，那父亲站起来了，儿子也站起来了，他们将到站了。这时意外的事来了。那小西洋人本坐在我的对面；走近我时，突然将脸尽力地伸过来了，两只蓝眼睛大大地睁着，那好看的睫毛已看不见了；两颊的红也已褪了不少了。和平、秀美的脸一变而为粗俗、凶恶的脸了！他的眼睛里有话：“咄！黄种人，黄种的支那人，你——你看吧！你配看我！”他已失了天真的稚气，满脸布着横秋的老气了！我因此宁愿称他为“小西洋人”。

（朱自清《白种人——上帝的骄子》）

先写“小西洋人”的“秀美”、“可爱”、“引我久长的注意”，继之写“小西洋人”对我的无理之举，天真烂漫一变而为粗俗、蛮横之态。行文先扬后抑，舍褒取贬，作者意在这舍与取的对照中指出：即使这些稚气未脱的孩子，头脑里也浸透着殖民主义思想，有着根深蒂固的种族歧视观念和种族优越感。

⑨梅园新村的名字很好听，大有诗的意味，然而实地的情形却和名称完全两样。不仅没有梅花的园子，也不自成村落。这是和“百家姓”一样的散文中的散文。街道是崎岖不平的，听说特种任务的机关林立，仿佛在空气里面四处都闪耀着狼犬那样的眼睛，眼睛，眼睛。

（郭沫若《梅园新村之行》）

由“梅园新村”的名字展开充满诗意的想象，先“扬”一笔，这是虚写；而后叙述梅园无梅，新村无村，名实不符，再说自然环境固然差，政治环境尤为险恶，这是“抑”是实写。由虚到实，欲抑先扬，反映了周恩来等同志当时斗争的艰苦性与复杂性。

总之，抑扬辞格的基本特征是，在褒扬与贬抑的两极对照中，取其一端，虚抑实扬或者虚褒实贬，虚实相生，虚作垫衬，实为本体，实是本体特征的体现。

124. 移　　就

【移就】 yíjiù （移用）两项事物相关联，表达中将常用来描写一事物的修饰语移来描写相关的另一事物的性状。

①天目山之秋是什么滋味呢？幽、闲、奇、淡？一个淡淡的秋、恬静的秋、奇伟的秋、幽闲的秋么？

（吕锦华《天目山寻秋》）

②咸味的海风带来咸味的记忆。

（孔捷生《“绿色”的蜜月》）

天目山之秋和来天目山寻秋的人，是相关的，“恬静”、“幽闲”是寻秋人的情致，本不属于自然的秋，例①中移此二词来描写秋的滋味，收到了物我相融的效果，这是借人情用词描写自然。例②则反之，移海风特有的“咸味”一词形容“记忆”，可使读者明了那记忆和大海直切的关联。

移就可使物带上人的情感：

③黑色牛毛帐篷象一朵蘑菇，孤独地在茫茫雪野开放。

（魏志远《哦，羌塘草原》）

④……冰冷的石凳，默默的土岗，枯槁的小草……连同往日的柔情、蜜意、温馨，全被那无情的清霜所覆盖。

（郑方《余音在记忆中震颤》）

⑤……我把钥匙第五次插进锁眼，小心地上下拨弄着，可不管我多么虔诚，车锁却还是纹丝不动。……推开隔壁的门，高邻被我从午睡的梦乡中拉到这固执的车锁前。

（李威《"马虎"逸事》）

⑥当生命摆脱了大海，站立于那片质朴淳厚的荒原，他们好奇的眼睛、遒劲的臂膀，便伴随着他们美丽的憧憬延展开来。

（曾新《盐井，祖辈的传说》）

⑦这烟泡原是一截竹筒，里面装半筒水，一支小烟嘴从竹筒底部斜伸出来，放上烟丝，把嘴在竹筒上严严实实罩了，筒里的水咕噜咕噜响一阵。中队长鼻孔里就漫出来快活的烟。

（乔瑜《少将》）

以上诸例中，由于词语的移就，大如"雪野"、"土岗"、"荒原"小至"车锁"，幽微如"清霜"，缥缈如"烟"，种种物，都带上了的人的情感：或"孤独"，"默默"，或"固执"，"无情"。"质朴淳厚"写出了荒原，未经开发而又内蕴丰厚，"快活"一词虽加于"烟"，却使读者感触到了吸水烟人的惬意。

移就还可以使人、人的情感，诸如"欢乐"、"忧伤"，使人的行为，如"拒绝"、"推敲"，使人的精神"产品"，如"歌"，都带上某种物态，得到更多层面的表达。

⑧炊事班常有农民来送菜，都是些很泼辣很快活的姑娘。我们也都喜欢和她们打交道，因为她们总随身带着花花绿绿的欢乐和花花绿绿的歌。

（同前例）

⑨美丽的梦留下美丽的忧伤，

人间天上，代代相传
但是，心
真能变成石头吗

（舒婷《神女峰》）

⑩在众目睽睽之下，这两种思想在我心里最为旺盛。她们暂时压倒了我的听歌的盼望，这便成了我的灰色的拒绝。

（朱自清《桨声灯影里的秦淮河》）

移就常用描写人情感的词语去描写人情感的“产物”，如“泪水”；用描写人表情、人命运的词语，如“羞涩”、“悲惨”之类，去描写人身体的某一部分。例如：

⑪有的中午我们以抽疯似的速度吃完饭，想去打打球。谁知手刚碰到球，就听到一声雷吼：“中午不复习，打什么球！”我们赶忙跑回座位。星期天我们想去玩玩，“哪儿也不许去！”不情愿的泪水在眼眶里打转……

（晶子《育人与驯兔》）

⑫那年我才十五岁，长得苗条圆润，胸部羞涩地微隆起，脸上浮着红晕。

（施雁冰《桂》）

⑬然而悲惨的皱纹，却也从他的眉头和嘴角出现了。

（《鲁迅全集》二卷 369 页）

⑭他忙把阿黑从熊身下扒了出来，可是阿黑的一条腿已完全折断了，它的眼角流出了痛苦的泪水。

（贺鹏《老人与阿黑》）

例⑭是异于例⑪至⑬的例子，虽也是将感情的用语加在“泪水”上，然而，主体不是指人，而是狗“阿黑”。

移就和比拟的相似之处是，二体相关，移用写甲体的词语来写乙体。二格的区别是，移就移用的词语起描写作用，比拟是移用的词语起陈述作用。例如，“渔舟在水波热烈的亲吻中冷静地泊在中央”（梅南频《渔舟唱晚》）。句中“热烈的亲吻”一语陈述了“水波”的动态，是将“水波”拟作了人。而“冷静”一词只是修饰了“渔舟”“泊”的状态，主要的陈

述语“泊”并未拟“渔舟”作人，所以“冷静”只是移就而并非比拟。

125. 移　觉

【移觉】 yíjué （通感）用形象的词语，把一种感官的感觉挪移、转化到另一种感官上。

换言之，即用描写甲类感官感觉的词语去描写乙类感官的感觉。这种把听觉、视觉、嗅觉、味觉、触觉等沟通起来的语言表现形式，我们称为移觉或通感。

钱钟书对移觉作过十分精辟的论说：“在日常经验里，视觉、听觉、触觉、嗅觉、味觉往往可以彼此打动或交通，眼、耳、舌、鼻、身各个官能的领域可以不分界限。颜色似乎会有温度，声音似乎会有形象，冷暖似乎会有重量，气味似乎会有锋芒。诸如此类在普通语言里经常出现。譬如我们说‘光亮’，也说‘响亮’，把形容光辉的‘亮’字转移到声响上去，就仿佛视觉和听觉在这一点上无分彼此。又譬如‘热闹’和‘冷静’那两个成语也表示‘热’和‘闹’、‘冷’和‘静’，在感觉上有通同一气之处，牢牢结合在一起”（《旧文四篇》）。这段文字对通感的心理现象和语言现象作了全面的说明。

我国古代典籍中，很早就有对通感的表述，如《列子·黄帝篇》中写道：“眼如耳，耳如鼻，鼻如口，无不同也，心凝形释”。对各种感官感觉机能的挪移、同化、渗透现象，进行了概括。

下面，我们举实例来分析。

①喝过马奶的，
　谁不会唱歌？
　——马奶般醉人，
　玫瑰花般芬芳。

（严辰《歌和马》）

②这歌声来自民间，

有刚犁开的泥土的气息，
好象烈火一样炽热，
唱出了苦难和抗争。

（艾青《我爱她的歌声》）

③一曲樵歌，失落多年，蓦地跳上心头，却仿佛长满了苔藓，几许苍凉，也有几许陌生了。

（沈世豪《武夷三章》）

三个例子，都是写歌声的，声音诉诸听觉，具有抽象、转瞬即逝的特征。例①用味觉（醉人的马奶）和嗅觉（玫瑰的芬芳）勾通听觉，不仅使人能具体感受到歌声的美妙动听，还突出了歌声的地方特色——充满着浓郁的草原风情。例②诗人居然能“嗅”到有泥土气息的歌声，“看”到有烈火般颜色的歌声，“触”到有炽热温度的歌声，听觉向嗅觉、视觉、触觉（温度感觉）转移，互相渗透。这歌声给人的感受该是多么强烈而深刻！例③将樵歌声转化为凝固的视觉形象，——苍苍“苔藓”，自然会使人联想到歌声的苍劲古朴，唱歌人寂寞、悲凉的心境。

④不知怎的，给我留下这么个印象，觉得他叹出的气是黯淡无光的、冰凉的，正如他们父女的脸。

（高凤《久违了，小面人！》）

叹息声会有“黯淡无光”的视觉形象，会产生“冰凉”的温度觉，这叹息该有多凄苦！

⑤冰川呀，
象炸开了花，
空气哟，
冷得发辣。

（郭小川《大风雪歌》）

无色无嗅的冷空气有了辛辣的味觉，足见其对皮肤、口腔的刺激强烈，其寒冷的程度也可想而知了。

移觉要靠词语的移用才能实现，词语移用过程中，常常要借助比喻等方式，使感觉的转换具有更鲜明的形象特征。

⑥突然，一声昂扬的鸡啼响起了，透露的消息是那么坚强而肯

定。啼声闪烁着彩虹一样的光焰，掠过夜的苍穹，照彻了无边的阒静。而后，象一阵五色的雨，缤纷地撒落。

（台湾·郭枫《晓之感觉》）

鸡啼声会闪出“光焰”，着上“彩虹”般的颜色，化成“五色”、“缤纷”的雨，作者用一系列明丽鲜艳的视觉形象，通过拟物、比喻的方式，描写听觉感受，文字间洋溢着勃勃向上的青春气息，表达出作者对新一天到来的礼赞。

⑦院子中，一丛绿树被染得浓荫如墨。朦胧的墨绿中，清晰地闪着点点火红的花朵，宛如一阕厚重，平和的弦乐声中，跳出了一管清脆、欢跃的笛音，给这雨后晴朗的清晨，增添了不少生气。

（谢大光《落花枝头》）

墨绿丛中点点红，其色彩对比已够醒目的了，再继之以“厚重”的弦乐与“欢跃”的笛音对比，用听觉形象为视觉形象设喻，勾通视、听，于是，那“火红的花朵”又添了几分灵气和神韵。

⑧清香

落在人的心灵上

比秋雨还要阴冷

（牛汉《悼念一棵枫树》）

用较喻（本体胜过喻体）的形式，写“清香”给人的感受，嗅觉向温度感觉和心理感觉迁移，渲染出一种幽伤、黯淡的情调。

⑨但许是习惯的作用，许是功利的需要，许是什么别的原因，有些耳朵宁愿听甜的假话，不愿听苦的真话。

（谢云《真话昂贵》）

“甜”、“苦”是味觉，“话”诉诸听觉，二者勾通组成偏正关系的短语，形成缩喻的形式，生动地阐明了真言逆耳，假话惑人的道理。

在古典诗词中，有不少运用移觉的名句：王维的“泉声咽危石，日色冷青松”（《过香积寺》），视觉转移到触觉，一“冷”字道出了林泉的清幽空寂。贾岛的“促织声尖尖似针”（《客思》），声（听觉）尖似针（视觉），这感受是何等敏锐！高适的“溪冷泉声苦，山空木叶干”（《使青夷军入居庸》），泉声呜咽竟有了苦涩的味道，足见地域荒僻，军旅生活的艰辛。李

璟的名句“细雨梦回鸡塞远，小楼吹彻玉笙寒”(《浣溪沙》)，“玉笙”“吹彻”而给人无限的寒意，这曲中有多少幽怨不堪听。

移觉、通感作为概念，也用于美学范畴，指审美心理活动中的一种心理现象，即从感知、表象到意象形成的过程中，审美客体引起某一感官的感觉神经的兴奋，传导到大脑皮层，唤起一系列感觉系统的活动，对审美对象产生反应。而我们设移觉(通感)为修辞格，重点不在研究这种心理活动过程，我们研究的是反映这种心理过程的语言材料，语言形式和由此产生的语言效果；研究在情境中运用语言材料，组成新的结构形式，而产生的表达功能。

126. 移　　情

【移情】 yiqing　移主观情感于客观外物，使客观外物具有和人的思想感情相一致的，但实际上并不存在的特性。

杜甫名句“露从今夜白，月是故乡明”。历来为人传诵。其中“月是故乡明”一句运用了移情法。本来，皓月清辉，洒向人间，不会明此暗彼，光亮度分配不公，但是，由于诗人怀缱绻的乡恋之情，并把这种带有鲜明个性特征的情感外射、迁移到客观之物，于是，诗人的眼中之月，已不是自然之月，它成了“物我合一”，打上了诗人主观印记的艺术化、个性化的月亮，这样，诗人故乡的明月具有了比他乡之月更明亮的特性。

由此可见，移情格的基本特征是移情于物，通过物性的变化，折射出人的意绪，以间接的方式描写人的情感活动。

我们来看下面的例子：

①太阳啊，这不象我的山川，太阳！
这里的风云另带一般颜色，
这里鸟儿唱的调子格外凄凉。

(闻一多《太阳吟》)

②在外面大家都说，一回国先倒头睡它三天三夜再讲。不想，

现在谁也没有一点倦意。她们踏上了自己的国土，心里充满了对于祖国的亲切感，充满了一种往常不大容易体验得到的新鲜感，早把劳累困倦忘到一边去了。电线上落了一排麻雀，叽叽喳喳地在叫，是谁说：

"我们这边的小雀子叫的，比那一边的要好听多了。"

（徐怀中《西线轶事》）

两个例子，都写到了鸟禽变音。例①诗人萍踪异域，深受民族歧视，加之难遣的乡愁、寂寞，因而，在他眼里，山川易色，风云殊态，鸟鸣异声。例②写八十年代的南疆卫士凯旋，她们对于自己洒下鲜血保卫过的祖国，充溢着一种从未有过的"亲切感"，于是，她们觉得祖国的"小雀子"叫得也比异国的"好听"。其实，山川也罢，风云也罢，鸟鸣也罢，又何曾因为国度的不同，改变其自然属性？这完全是诗人、战士主观情感转移的结果。

③她已不再说什么。她伸出手，抚摸了一下那尊题为《女人》的石雕。此刻，冰冷粗糙的石头似乎真有了脉膊，奔流着血液，把体温传到了她的手上 她朦胧地意识到，通过她的丈夫，她和它们已结下了某种深厚的关系。

（杜清筠《已故雕刻家的妻子》）

石雕《女人》是已故雕刻家以他的妻子为模特创作的，它凝聚着雕刻家的智慧、汗水和对"她"的爱，而今，人亡物在，睹物思人，"她"不仅懂得了丈夫艺术创作的价值，而且，见故人之物如故人在，这冰冷的石头在"她"的感觉中也就有了跳动的脉膊，有了体温。

④打枣，这就是童年的节日，……许多相好的和不那么相好的小朋友都来了，一边吃，一边捡，一边装，一边找，一边喊。有的枣滚到了渠沟里，草丛里，瓦片底下，凡是企图隐藏自己的枣子也正是最甜、最饱满、又绝对没有虫子的枣儿。这样狡猾的枣子的每一颗的发现都会引起自己和同伴的欢呼。连土都是甜的，连风都是香的，……

（王蒙《蝴蝶》）

孩子们沉浸在打枣的欢乐之中，在他们眼里，世界上的一切都是那

样美好。愉悦的情绪促使他们“爱枣及土”、“爱枣及风”，于是，就产生了土甜风香的味觉与嗅觉。

⑤鲁迅先生曾经看见一个黄包车夫的身体大起来。我现在也如此：忽然看见桌子角上这两个蚂蚁大起来，大起来，大得同山一样，终于充塞于天地之间，高不可仰了。同时又觉得我自己的身体小起来，小起来，终于小得同蚂蚁一样了。我站起身来，向着这两个蚂蚁立正，举起右手，行一个敬礼。

（丰子恺《敬礼》）

作者紧张工作时，无意弄伤了一只蚂蚁。不久，他发现另一只健康的蚂蚁，正在艰难地救助这只受伤的蚂蚁。两个小生灵之间的“深挚的友爱之情”、“伟大的互助精神”令“我”始则“吃惊”，继则“惭愧”。作者由物推己，他体验到了一种超越于蚂蚁生命实体之上的无限博大的襟怀和一种伟大的人格力量，这种襟怀和力量使作者主观世界中人与蚂蚁的形体差异发生了逆转：小蚂蚁竟大如高山，充塞天地“高不可仰”，而“我”却小得同蚂蚁一般了。这里，物性的变化，正是作者泛爱万物的人道精神所致。

⑥今天，在所有的欢宴之上，我把酒之时，总是想到我的大兄，酒的甘美立刻带有了苦涩。

（范曾《干一杯，再干一杯》）

作者的大兄是位十八岁参加新四军的知识分子，被错划为右派，在孤寂与凄凉中，以劣质酒浇愁，写下数十万言的《匈奴史》后，郁郁而死。“我”曾为大兄的遭遇而不平，却又爱莫能助。从此，每当醇酒把盏之时，“我”都会联想到大兄的“劣质酒”，甘美的琼浆自然带上了苦涩的味道。

⑦我们是多么兴奋呵，只觉得这一天的光阴是特别地长，炎热的太阳总是迟迟地不肯落下去！好容易在我们吃过晚饭后，大约是傍晚7时光景，来了一辆小轿车和那时还是个小伙子的罗青长同志，把我们接进夜景如画的中南海，到了总理的办公室。

（冰心《一饭难忘》）

人们专注于某一事情，期待实现某种愿望时，总会产生一种嫌时间过得太快、太慢的心理，这就是心理时间差。上例中，作者急于会见周总

理，故而觉得白昼变长，太阳落山推迟了。这种事实上并不存在的时间延长，反映了作者急不可待的心情，折射出一种真挚、深沉的景仰之情。

应该指出的是，“移情”修辞格与美学中的“移情说”是有区别的。美学中的“移情”，研究人在审美过程中感觉、知觉、情感的客观化过程，即审美主体对于审美客体的作用及其规律。移情辞格，研究语言的表现功能，即如何运用语言形式表达人的丰富的情感活动，如何用语言描述人的思想情感的物化过程。

“移情”与“移就”容易混淆。

这两个辞格中的“移”，都包含着把人的主观情感外射到客观事物，使“物我合一”的过程，从这一点看，“移情”与“移就”有共同点。但是，“移就”是直接将人的感情移给外物，使外物具有与人相一致的感情。比如：“广场上又烧起了欢乐的篝火”（曲波《林海雪原》）。把人的欢乐情感，直接转移给篝火，在句子中形成定语与中心词的关系。又如李白《菩萨蛮》：“平林漠漠烟如织，寒山一带伤心碧”。白居易：“行宫见月伤心色，夜雨闻铃肠断声”。其中“伤心碧”、“伤心色”、“断肠声”也都构成了偏正（定名）关系。这些都属于“移就”。而“移情”必须通过外物的物性变化，来折射出人的情感意识。如：“及登舟解缆，正当桃李争妍之时，而余则恍同林鸟失群，天地异色”（清·沈复《浮生六记》）。沈复新婚别妻，无限离愁伤感，以致桃李争艳的美好春光，在他眼里也顿时改变了色彩。“天地异色”一句，正是通过物性的变化，反映出主人公意绪的，这就是“移情”。移情没有固定的语言模式，它的特点是自由地用话语把感觉写下来。

127. 升　华

【升华】 shēnghuá （事象升华）把描写的客观对象（人或事物）提到理性认识的高度，发掘其内含的意义，充分表达思想情感。

①不管大家怎样哭劝，大娘说死者的话是绝对不能违的！她和

玉秀把那六百二十元钱放下，上了车……

走了！从沂蒙山来的祖孙三代人，就这样走了！

啊，这就是我们的人民，我们的上帝！

（李存葆《高山下的花环》）

梁大娘、玉秀坚持用抚恤金偿还梁三喜生前欠下的债务，表现了老根据地人民自强不息的奋斗精神，这正是我们民族的性格，是中国人民最可贵的品质。作者由点及面展开议论抒情，发掘了艺术个性中包蕴着的深广的社会内容及时代意义。

②南团汀的群众自己吃糠咽菜，也熬出一锅锅的“沫子”端给人民子弟兵，那玉米的、高粱的、红薯的“沫子”，五颜六色，蒸腾着人民对党、对革命的一片热诚。

（李延国《在这片国土上》）

吃糠咽菜的农民捧出自己最珍贵的食物献给子弟兵，这一锅锅“沫子”里寄寓着的是他们对革命胜利的希望，对共产党的无限信任。文章从客观到主观，从现象上升到对事物本质的认识，赞颂了南团汀农民的一片赤诚之心。

③输送着歌声，传递着激昂的感情，丧仪的行列沿着西区宽阔的柏油路进行着。这些地方，本来是上海有名的“公馆区”，人行道旁边，就大抵是高高的围墙，冷落是比较冷落的。我猛的想到：从某个意义上说，这高墙头也正是压着鲁迅先生，压着我们这一群，使大家透不过气来的。现在，这六千多个人，已经追随着鲁迅先生，向这高墙头在示威了。他们也一定会学习鲁迅先生的思想，继承鲁迅先生的精神，向一切有形和无形的高墙头宣战的！

（唐弢《鲁迅先生丧仪散记》）

从现实生活中的“高墙头”，联想到在政治、思想、文化各方面压迫着人民的“有形无形”的“高墙头——反动统治；从六千人送殡联想到这是一次继承发扬鲁迅精神，向高“墙头”宣战的革命行动，文章由此及彼，由表及里，从横的纵的两方面，揭示出丧仪活动的巨大意义和它产生的广泛的社会影响。

物象升华实际是一个主题提炼的过程，是画龙点睛之笔。从个别到

一般，从现象到本质，从实到虚，从感性认识上升到理性认识，作家追求的是揭示描写对象中最本质的东西，是哲理，是思想的火花，是情感的结晶。

升华常见的形式有：由点升面，由表升里，由此升彼。

〖**由点升面**〗 yóudiǎnshēngmiàn 即由个别推及全体，由一点升为全面。

④这样壮志未酬的人，不只他一个啊！

我哭小弟，哭他在剧痛中还拿着那本航空资料"想再看看"，哭他的"胃下垂"、"肾游走"；我也哭蒋筑英抱病奔波客殇成都；我也哭罗健夫不肯一个人坐一辆汽车！我还要哭那些没有见诸报章的过早离去的我的同辈人，他们几经雪欺霜冻，好不容易奋斗着张开几片花瓣，尚未盛开，就骤然凋谢。

我哭我们这迟开而早谢的一代人！

（宗璞《哭小弟》）

作者从自己的小弟，一个中年知识分子的英年早逝，推及到蒋筑英、罗健夫，推及到一代"迟开而早谢"的中年知识分子的命运，从家庭而国家，由哭一人到哭一代人，思想感情不断升华，其忧国忧民之情见于毫端，震颤着读者的心弦。

⑤总理以他指挥员的果决的语气，再次问道——大家一定要继承李四光的工作，你们听见了吗？听见了吗？

——我们都听见了！礼堂内外齐声回答。这回答，盖过了隆隆的雷声。

回答总理这番话的，岂止是地质战线广大指战员的代表！在我们祖国的每顷土地上、每片树林中、每条河流边劳动的人们，在试验室和科研所，在车间、教室和电子计算机旁进行操作和教学，在图书阅览室里研究和思考的人们，都在回答祖国的要求，完成党的嘱托——那就是毛主席和周总理生前留下的实现社会主义现代化的遗愿！

——你们听见了吗？听见了吗？

——我们听见了，都听见了。

这就是亚州大陆新崛起的一声巨响！

（黄钢《亚洲大陆的新崛起》）

从“礼堂内外”到“地质战线”，到祖国的“每顷土地”、“每片树林”、“每条河流”，到“试验室、科研所”、“车间”、“教室”、“图书阅览室”，社会空间不断扩大，直到“亚洲大陆”，牢记总理嘱托，实现“四化”的主旋律不断升华。

⑥他们是峨眉铺路人呵！

峨眉山只游览路线就有二百多里，该有多少块石板？几万，几十万，还是几百万块？全是这样一块块背上山来的吗？……这是用不着问的，山路狭窄，不能动用机械，自然全靠人工。想到这里，我的心头突然被一股浓重的愧疚所笼罩：我们走在别人铺平的道路上，还嫌吃力，而这些铺路人，却把一块块石板背上山，铺成路，日复一日，年复一年，默默地流汗、辛劳，全然是为了他人的方便。

是的，世界上的每条道路，都有它的铺路人；每片田地，都有它的开拓者；每个伟大业绩，都有它的创建家。我们是后来者，应当永远铭记那些铺路人、开拓者、创建家们的历史功勋，永远向他们倾注诚挚的敬重心情。……啊，铺路人，你们都是无名英雄呵！

（玛拉沁夫《峨眉道上》）

面对默默的峨眉铺路人，作者联想到世上每条道路的铺路人，联想到所有的“开拓者”、“创建家”们的“历史功勋”，使读者的认识逐步深化，令人有“登上金顶，放开眼界”之叹。

〖由表升里〗 yóubiǎoshēnglǐ 由客观的事物或人的主观行为上升为内在的思想或深层含义。

⑦那时，顾文霞，这个纯朴的苏州姑娘娘是何等的为自己的祖国骄傲呵！她不止一次地流出了热泪。她懂得了：她的彩线牵引的不仅是绣绷与图案，而是中国和世界，友祖与和平。

（哥岩《东方的明珠》）

顾文霞在世界博览会上进行刺绣表演，引起轰动，这使她进一步认识到了自己工作的意义。作者以精辟、形象化的语言，由表及里，反映了顾文霞的认识飞跃过程，赞扬顾文霞以精湛的技艺为祖国赢得了荣誉。

⑧有一天早晨，鲁迅上学迟到了。素以品行方正，教书认真著称的寿镜吾老先生严厉地说这样一句话："以后要早到！"向来勤奋好学，成绩优异的鲁迅，听了没有说什么，默默地回到座位上，作为自励就在书桌上刻了那个小小的字："早！"把一字轻轻地刻在书桌上，实际是把一个坚定的信念深深地埋藏在内心里。

（吴伯萧《早》）

"早"字表达了鲁迅的志向，是自砺的标志，是奋斗的起点，作者从表象深入到事物的本质，揭示了"早"字蕴含的深意。

⑨井冈山的主峰海拔只有一千八百米，我却又觉得，这是中国历史上的高峰，不愧称作"天下第一山"。

（杨朔《西江月》）

行文并不注重于井冈山的自然属性，而是站在时代的高度，充分肯定井冈山在中国革命历史上的重要地位和作用，进而评价它是"天下第一山"。

〖**由此升彼**〗 yóucǐshēngbǐ 由这一事象引申为意义相仿、情理相类的另一事象。

⑩"同志，请你过去！"他又一个敬礼，很礼貌。我怯生生地跟他推车过去。

他到岗亭里拎出一个工具箱，取出一把钳子，严肃地说："我看到你的刹车坏了，所以帮你修理一下，大街上还有好多个十字路口呢！"

人生也有许多十字路口，我将更听从红绿灯的指挥。

（毛建一《十字路口》）

从街头十字路口，联想到人生道路上的"十字路口"，从日常生活中悟出人生哲理，这是由此及彼、类比设喻，主题升华的结果。

⑪在剧场中，对那些偶尔"嘘"一"嘘"并严重扰乱剧场秩序的观众，当然不能使用法纪手段来处理这一纯属道德范畴的问题；但是，对那些带头起哄，造成剧场不能正常演出的人，则要绳之以法，强制地加以制止。……

这样"转"的结果，脑海里出现了这样的形象：剧场这一艺术殿

堂的大门口，站着两尊保护神：左为道德；右为法纪。

再一“转”，这又何止是剧场、舞台呢？“舞台小天地，天地大舞台，人生的各种剧场、舞台，要保持和谐、平衡、文明、昌盛，都离不开这两尊神的携手保护。

（江曾培《噓出来的随想》）

论戏剧舞台，这是“此”，议人生、社会“舞台”，这是“彼”，“此”实“彼”虚，由“此”升“彼”，由实升虚，作者从剧场现象透视社会生活的本质，强调了“道德”、“法纪”的重要作用。

⑫危乎高哉！黄山的路不仅难，而且险。

上天都峰，过鲫鱼背，那是真正在危险中漫游！

这样的路，不也很象作家的创作道路吗？

轻车熟路虽然保险，但，路旁景物依旧；没有新鲜，没有想象，没有文章。

走生路，生而出新；走险路，险而出奇；走难路，难而不俗。

（徐刚《黄山拾美》）

登黄山，领略黄山之险且美，作者神与物游，思穷物理，以黄山之路类比创作之路，由具象到抽象，事象升为事理；若创作之路无险无难，创作又怎会出新、出奇，别有一番境界？艺术的辩证法尽在其中。

升华没有固定的语言格式，熔抒情、议论于一炉，议论则警辟透彻，给读者以启迪；抒情则直抒胸臆，激起读者共鸣。升华常常借助其他修辞方式表意说理。

128. 示　现

【示现】 shìxiàn （想见）用回忆、预想、悬想的方法，把已经过去的事、将要发生的事或者既未出现、也不会发生的事，生动地显现出来。

①就这样，我写了一本《城南旧事》。我默默的想，慢慢的写。看见冬阳下的骆驼队走过来，听见缓慢悦耳的铃声，童年重临于我的

心头。

（台湾·林海音《冬阳童年骆驼队》）

②风墙动，
龟蛇静，
起宏图。
一桥飞架南北，
天堑变通途。
更立西江石壁，
截断巫山云雨，
高峡出平湖。
……

（毛泽东《水调歌头·游泳》）

③在那枝柯掩映中，一道金黄色的柔光正荡漾着。使我想象到一个披着金绿柔发的仙女，正赤着足，踏着白云，从这里经过的情景。

（庐隐《异国秋思》）

例①是追述。重现童年时代的生活片断，展现烙印在记忆深处的场景：冬阳，驼队，驼铃。画面上漾起淡淡的怀旧、思乡之情。例②是预言。畅想改造长江的宏伟蓝图，展示了未来在长江三峡修建水利工程的壮丽场景，气象博大恢宏。例③是玄想。作者展开自由的想象，塑造了一个美丽动人的仙女形象，创造出一个充满诗情画意的境界。

运用示现可以充分发挥想象，把已经发生、将要发生或不会发生的事说得活灵活现，历历如在目前。

示现分追述、预言、悬想三种。

〖**追述**〗 zhūishù 把过去发生的事情再现眼前。

④他的晚酌，时间总在黄昏。八仙桌上一盏洋油灯，一把紫砂酒壶，一只盛热豆腐干的碎磁盖碗，一把水烟筒，一本书，桌子角上一只端坐的老猫，我脑中这印象非常深刻，到现在还可以清楚地浮现出来。

（丰子恺《忆儿时》）

⑤然而，他死了二十年后，《文集》竟出版了，且竟立即售罄。我读着文集，眼前浮现的是，铭璜伏案读写，竟夜疾书的情景，一杯酽茶茶叶满到杯口，一支接一支的香烟点到天亮，偶一开门，浓烟便会象失火似的窜出来……

（惠浴宇《记铭璜同志》）

例④回忆儿时父亲晚酌的情景，没有写人，只记录了酒桌上的种种器物和一只老猫，写得极平淡，极细致，象一幅白描，一幅弥漫着旧日生活气息的画图。例⑤怀念旧友，重现他竟夜伏案疾书的情景：那茶叶满到杯口的酽茶，那一支接一支燃到天亮的香烟，那满屋滚滚的浓烟，无不带有主人公鲜明的个性烙印，极富感情色彩。

〖**预言**〗 yùyán 把未来的事物写得好象出现在眼前一样。

⑥朋友，我相信，到那时到处都是活跃的创造，到处都是日新月异的进步，欢歌将代替了悲叹，笑脸将代替了哭脸，富裕将代替了贫穷，康健将代替了疾苦，智慧将代替了愚昧，友爱将代替了仇杀，生之快乐将代替了死之悲哀，明媚的花园将代替了凄凉的荒地！这时，我们的民族就可以无愧色地立在人类的面前，而生育我们的母亲，也会最美丽地装饰起来，与世界上各位母亲平等地携手了。

（方志敏《可爱的中国》）

⑦疯子 你听着呀！刚才，我说，二嘎子，你看，现在咱们这儿有新老沟两条沟，一前一后夹住了咱们的院子。新沟是暗沟，管子已经都安好，完了工啦；上面修成了一条平平正正的马路。二嘎子说："赶明儿个，旧沟又哼喳哼喳的一填，填平了，又修成一条马路，我就说，咱们房前房后，这么一来，就有两条马路。马路都修好，我问二嘎子，该怎么办了？四嫂，二嘎子真聪明；他说：该种树，他问我：疯大爷，种什么树？我说：柳树，垂杨柳，多么美呀！……

……

娘子 （在屋中）别说啦，快来编词儿吧！

疯子 赶趟，等我说完最要紧的一段。四嫂，我跟二嘎子又研

究出来：咱们这儿，还得来个公园。二嘎子提议：把金鱼池改作公园，周围种上树，还有游泳池，修上几座亭子，够多么好呵！

（老舍《龙须沟》）

例⑥方志敏怀着对共产主义的信念，预言未来社会。例⑦程疯子热情地为龙须沟的明天描画蓝图，表达出翻了身的人民对幸福生活的憧憬，对新社会的热爱。

〖**悬想**〗 xuánxiǎng （设想）把自己想象中的事物加以具体的描述。

⑧恍惚中我似乎看见云儿飘移，它飘啊，飘啊，离我那么近，那么近……那是我馈赠的手绢啊?！那上面分明写着“等你战斗胜利归来”。我似乎感到了那手绢的体温，嗅到了那手绢上的硝烟，看见了，看见了，你带着军功章，微笑着向我走来，挽着我的臂膀，领着我们的娇儿，漫步在五彩路上；林荫树下又激起你、我、儿子的欢乐……

（郑方《余音在记忆中震颤》）

⑨遥想洋楼高耸，前临阔街，门口是晶光闪灼的玻璃招牌，楼上是“我们今日文艺界上的名人”，或则高谈，或则沉思，面前是一大杯热气蒸腾的无产阶级咖啡，远处是许许多多“龌龊的农工大众”，他们喝着，谈着，指导着，获得着，那时倒也实在是“理想的乐园”。

（鲁迅《革命咖啡店》）

例⑧从空中飘移的白云生出种种想象，寄托了妻子对前方亲人的无限思念之情，表达了他们之间生死不渝的爱情。例⑨鲁迅想象出这样一座光怪陆离的“革命咖啡店”，讽刺了那些脱离工农大众、贵族化的“无产阶级作家”。

129. 旁　逸

【旁逸】 pángyì　说话时有意离开主旨，加以风趣的插说或注释。

①对奕者也还罢了，最不可理解的是观奕的，在城市，如北京、上海，何等的大世界或如偏远窄小的西宁、拉萨，夜一降临，街上行人稀少，那路灯杆下必有一摊一摊围观下棋的。他们是些有家不归之人，亲善妻子儿女不如亲善棋盘棋子，借公家的不掏电费的路灯，借夜晚不扣工资的时间，大摆擂台。围观的一律伸长脖子（所以中国长脖子的人多！），双目圆睁，嘶声叫嚷着自己的见解。

（贾平凹《奕人》）

集中笔墨写观奕人的痴迷神态，忽然旁枝横逸："所以中国长脖子的人多！"妙语一出，文字顿生谐趣。尽管这逸出的一句，其逻辑推理是荒谬的，但它使人联想起鲁迅笔下的那些"看客"。从而启示读者：观奕人沉迷而不能自拔的心理，或许正是某种惰性精神的折射？

②有一次，我从连部回湖里，经过大坝，而此人进城返校，也在大坝上迎面而来，这真个是"冤家路窄"了。而二人之间的大坝两侧又无小坡小路，只有正面迎上前去。但我是抱定"以眼还眼"之策，也如"目标——正前方"口令下的战士般，昂首直目，绝不左顾右盼。但和此人交叉而过的一刹那间，我还是忍不住侧目而视了一下，只见此人两颊绯红，居然还知耻哩！当其时，我真如酷暑而吃冰淇淋——不对，我们干校那儿是无此物的，只有香瓜解暑；那就说是如酷暑天连吃三只大香瓜吧，可解喝——解恨啦！自然，事后我也觉得这未免过分，有违忠恕之道深滋后悔。

（陈白尘《忆眸子》）

"此人"是文革中的投井下石者，"我"对"此人""昂首直目"以示不

屑。作者在描述“我”当时的心情“如酷暑而吃冰淇淋”时，忽而“节外生枝”，言及那时“干校”只有香瓜解渴，自己有如伏天“吃三只大香瓜”云云，文字变得活泼风趣，把“我”那“解恨”之情渲泄一尽。

③牢骚是百姓发的，发给谁听呢？当然是说给干部听。我是平头百姓，说“不必发牢骚”，这是责己以严（惭愧，行文总免不了替自己贴金，这种人！）；但如果就是干部呢？我看就要另当别论了。那时，我意还是洗耳恭听为好。一面听，一面还要思索，不可当耳边风过去了事。

（吴国光《听“牢骚”》）

括号中的文字，充满戏谑意味，与文章主旨无关。作者于严肃的论说过程中，旁逸出这一句，让读者思考之余轻松一下，行文庄中寓谐，更能体现出杂文特色。

④村中乡俗，大孩子取名最隆重。要请来教私塾的老先生吃酒之后赐名。比如“张双进喜”。据说那一年，他爹驮煤半道儿上“捡”回一个逃荒女人来，没用一钱礼银就有了老婆，是为一喜。到腊月里，这女人就开怀生下一个男娃，是为二喜，先生赐名，“张双进喜”。下面再生，可就舍不得再请先生，顺嘴就是“张二双进喜”。——这样的名字念惯了，我后来读外国小说，就少了念外国人那名字的困难。“乌里扬诺夫”“杜勃罗留洛夫”，挺顺口。至于“张伯伦”，我还以为是我们一家呢！

（张石山《血泪草台班》）

本来在谈给孩子取名的乡俗，谈孩子长达四、五个字的名字的由来，却突然宕开一笔，扯到“我”能流利地念外国人物的名字上来了，真是横生枝蔓！这逸出的“闲”笔，倒不显啰嗦，读来饶有趣味，令人开怀。

⑤姑母高了兴的时候，也格外赏脸地逗我一逗，叫我“小狗尾巴”，因为，正如前面所交待的，我是生戊戌年（狗年）的尾巴上。连她高了兴，幽默一下，都不得人心！我才不愿意当狗尾巴呢！伤了一个孩子的自尊心，即使没有罪名，也是个过错！看，直到今天，每逢路过狗尾巴胡同，我的脸还难免有点发红！

（老舍《正红旗下》）

“我”不喜欢“小狗尾巴”的绰号，抱怨姑母，满腹委曲。行文至此，意思已经完整，而作者却还要续“狗尾”，说“直到今天”每过“狗尾巴胡同”，也难免脸红。其实，绰号“小狗尾巴”与“狗尾巴胡同”有何相干？这又是旁逸出的一笔，把作者的那一颗童心，那种洒脱、那种风趣、俏皮劲儿，全表现出来了。

⑥哦，应该说还有一个人，名董笑，不到廿岁，是个扒手（行话谓之“佛爷”，大概是什么也逃不过他的五个手指之意）。别的事不说，读报，抑扬顿挫，悦耳娱心，非常得宜，从来没听过读得这么好的。

（聂绀弩《怀监狱》）

聂绀弩衔冤图圄二十余载，于痛定之后，思苦中之乐，写下《怀监狱》一文。“扒手”一词，人人明白，本无须解释，因而括号中谈及“佛爷”一句，纯系信笔而至，逸出一笔，在极平和冲淡之中，表现出一种睿智，一种俯视人生，阅尽人生的超逸之情，幽默之感。

⑦多谢“文化大革命！”我对酒的恶感，来了个一百八十度大转弯。并且，自己对酒也开始了实践。特别是当造神运动，比如颂扬会什么的，达到狂热程度时，鄙人居然有过亵渎神明的一闪念（真是罪该万死，死有余辜）：为什么不歌颂酒呢？

（舒展《酒颂》）

“罪该万死，死有余辜”是文革“术语”。作者行文中插进这两句话，是为反语，意在讽刺“四人帮”大兴“腹诽”之罪，搞思想专制。这两句也和文章主旨无关，属逸出之笔，却使文字更为辛辣、尖锐。

⑧苗兄又自题其诗集曰《牛油集》。他对“牛油”怎样理解，我不暇多问。据我所知，“牛油”并非牛身上的浮油，而是从牛乳中提炼的一种隽品，即西人所谓“白塔”（以上海人译音），其味醇厚而富营养，可喻苗兄诗品。但我如此品评，并非提醒他送我一罐进口牛油，读者明鉴。

（吴甲丰《黄苗子与打油诗》）

这篇文章开始，作者曾提及“苗兄”慨然“从柜中取出名酒一瓶”赠“我”之事。故写到这里——品评完《牛油集》之后，又趁势旁逸出几句，

语言直率亲切，富于调侃意味却无添足之嫌。

“旁逸”不是“耍贫嘴”，也不等同于插科打诨。“旁逸”应该是作家灵感的火花，智慧的闪光。是作家驾驭文字达到随心所欲的程度的反映：信笔拈来，妙语连珠；似不经心，自成天趣。

“旁逸”可使读者暂时中断阅读思路，从一种阅读心理定势中“跳”出来，“转移”一下，与阅读对象造成一段心理距离，从而获得一种别致的审美意趣。

130. 摹　绘

【摹绘】 móhuì　借助于各种感觉，运用语言手段描摹客观事物的声音、色彩、气味和情态。

①邻家猫狂闹不休，令人惶然、烦躁。嗷呜！喵呜！喵呜！嗷呜！……有时是一对，有时三五成群，用不着灯火也能在黑暗中畅通无阻。地上屋上家里家外，都有它们风动的踪迹。一串啸声一串瓦响。全屋场的屋顶都象遭了冰雹的袭击，小富生也象挨了冰雹似的，越叫越凶。人不能安睡，连个梦也做不圆。婴儿啼哭。呱——呱——呱——叭嗒、叭嗒、叭嗒、叭嗒……嗷呜嗷呜喵呜……人、猫、瓦的声音交织一起，重叠一起，充满黑夜的天地间。

（西凤《晚歌》）

②老人背后是一面缓坡，它生的好特别，几百里大巴山都没见过这番奇景——蓝色的蓝天星红色的杜鹃花黄色的野金盏紫色的山葡萄白色的岩水仙绿色的菖蒲叶白色的刺糖果。酱红的喇叭藤银白的蒲公英紫灰的马蹄莲桔黄的迎春花樱红的相思籽血紫的观冠草。白白的野百合黑黑的紫青藤黄黄的棋盘菊蓝蓝的毋忘我。星星点点团团簇簇把一面坡涂抹得五彩缤纷。

（雁宁《牛贩子山道》）

③澡堂里的腾腾蒸汽，沾在舌头上，竟有一种甜丝丝的味道。

（傅星《来自星辰的叹息》）

④溪水清澄见底，水里满是长满了滑腻腻绿苔的卵石。

（莫伸《山林雾茫茫》）

例①用拟声词“嗷呜、喵呜”和“呱——叭嗒”描摹野猫叫春和婴儿啼哭，吮奶的声音。例②用“蓝色、红色”、“酱红、银白”、“白白、黑黑”等大量形容色彩的词语描摹一面坡百草千花的奇景。例③用“甜丝丝”描摹蒸汽的味道。例④用“滑腻腻”描摹绿苔的性状。由此可见，运用摹绘能大大增强语言的直观性和可感性，能直接唤起读者感同身受的真实体验，如闻其声，如见其色，如品其味，如感其状，因此，特别是在文学作品中，摹绘对于写景状物、拟态传神有着十分突出的修辞作用。

关于摹绘的分类，各家之说不一。本辞典编者倾向于分为四类，即“摹声、摹色、摹味、摹状。而通常所说的摹形，因其修辞方式与所用材料较之其他各类为特殊，故将其归于图示格。

〖**摹声**〗 móshēng 利用拟声词摹拟人动物或事物的声音。

⑤曲二哈哈大笑，一抬右腿，跨在炕沿上。“刷”，绾起裤腿，“噌”，拔出明晃晃的攮子，“噗”，照肉厚处就是一刀！

（殷京生《曲二传奇》）

⑥他麻利地转过身子，左手扶在冰凉的水泥扶手上，抬起左腿，站稳身子，又抬起右腿，站稳身子，在黑咕隆咚的楼梯上走着。

“笃”，一步。

“笃”，一步。

“笃，笃，笃”，一步，一步，一步……

（金肇虹 迟晶《风筝》）

⑦破响破响的铃铛声把死寂的峡谷闹动了，岩坡岩缝岩头的灌木丛里，扑啦啦飞出斑鸠呀锦鸡呀青背褡呀铁嘴鸦雀呀，它们等候这热闹时刻早已迫不及待。哞——哞——牛们也兴奋异常，在越来越不平顺的石道上撒开了步子。

叮叮咣咣叮叮咣咣叮叮叮叮咣咣咣咣。

（雁宁《牛贩子山道》）

⑧天津人玩鸟各走各的极端，有人爱个大，大得足顶得上半只

鸽子；有人讲小，小得比蝈蝈大不了多少；有人爱听大嗓门，“嘟噜噜”一叫，亮爽得让人打冷战；还有人出“格色”，“驯”得一只画眉能“哨”一十八套鸣啭。先“哨”一套独轮木车过石头子路，吱吱吱，咯噔噔噔，吱；再“哨”一套老鹰抓小鸡，天上一只凶鹰，地上一群小鸡，喳喳喳喳，要“哨”出惊慌恐怖的形状，最后还有绝活，老鼠嗑木箱，百鸟归巢。最最令人听了说不出名儿来的，是一阵“咂啦，咂——啦啦啦嘟——”这叫什么调？这里面的功夫可有了讲究，那要把画眉笼子挂在厨房里，还不能被烟呛着，让它学香油呛葱花，听的是个脆蹦劲儿。

你说说，这热闹该不该去看？

（林希《爱恨仇》）

⑨因为芭蕉的叶片特别大，下雨时雨点滴在叶上，节奏鲜明，清越可听，加上南方的雨有时大，有时小，有时急，有时慢，高低强弱，时快时慢，节奏多变，音调委婉曲折，雨打芭蕉时，好象一位出色的钢琴家在弹奏美妙的曲调，幽扬悦耳，非常动人。你听：雨声小而慢时，仿佛蚕吃桑叶，发出轻微的“沙沙沙”的响声；有时“叮咚”作响，完如山涧清泉，优雅动听。雨声大而急时，好象气势磅礴、急骤直下的瀑布，有时如汹涌澎湃、仿佛滚滚的波涛，有时又如万马奔腾，发出“得得得”的马蹄声响。有时风雨雷电同时袭来，风呼雨啸，电闪雷鸣，其势汹汹，真象进行一场激战，芭蕉叶上发出铜锣似的“当当当当”和放鞭炮似的“噼噼啪啪”的声响。但等雨慢慢变小时，又发出“淅淅沥沥”富有节奏的碎玉般的动听曲调……

（李萌《芭蕉雨》）

例⑤、例⑥、例⑦与例⑧、例⑨稍有不同。前者是直接描摹各种客观事物的声音，而后者则是间接摹拟。但无论哪种方式，都在于造成鲜明的音响效果，给人以如闻其声的真实感。特别是例⑨，借助各种拟声词，将雨打芭蕉的音响变化摹拟得淋漓尽致，大大增强了作品的艺术魅力。舍此无疑会大为减色。

〖**摹色**〗 mósè 利用色彩词描摹客观事物的色彩。

⑩姥姥起初只看到美丽无比的色彩——红的、黄的、绿的、紫

的、蓝的、白的、黑的……各种色彩交杂构成了各种奇异的图案。

（路远《乐园》）

⑪山山岭岭，沟沟岔岔，都是一抹的颜色，它们绿得那样浓烈，那样沉静，那样光彩照人，深绿的是树木，油绿的是庄稼，浅绿的山草和荆梢给坡织成绸缎般的衣衫。绿色的树木，是这里最昌盛繁荣的集体，它绿得很有层次，松树是墨绿，果木是青绿，柳树是翠绿……树木中，因为年轮不同，色彩也不一样，老绿，嫩绿，还有羊角葱一样鲜亮的绿，绿的山野，又是这样五光十色，真是美不胜收。

（浩然《喜看新绿满山乡》）

⑫进入清幽的紫竹院，就置身在绿色之中。头顶上是墨绿的松，浅绿的柳，脚下是淡绿的草，身旁尽是翠绿的竹……

（关山《墨竹欣赏小记》）

⑬大闸蟹经水蒸煮，那圆圆的黛青色蟹壳，立即呈现出金灿灿、黄橙橙的色彩，宛如刚刚跃出地平线的太阳那种颜色。

（凤章《蟹忆》）

⑭又到了农历二月，垂柳的水绿，映着桃花的粉红，豌豆花是白色的，蚕豆花则淡紫，它们多么快乐，任暖风吹熏，自由自在的摇晃。油菜花哩，奉献全部的金黄，一大片接一大片，多么耀眼哟，简直成了田野上的主宰。

（姜滇《十七街的小楼》）

显然，如果删去例中全部描摹色彩的词语，就必然单调苍白，淡乎寡味，难以唤起读者赏心悦目的美感。

〔**摹味**〕 mówèi 利用形容气味的词及其附加音节描摹人对食物的味觉。

⑮中午开饭，黄干粮一点没淋湿，一点没揉碎。闻一闻，香喷喷；尝一尝，馋煞人。

（张石山《长长的坡》）

⑯地瓜煨熟了，散发着甜丝丝的香味。

（矫健《快马》）

⑰吸一口清芬干爽的空气，甜津津的，叫人鼻孔发痒。

（吴然《那只红嘴鸥》）

⑱她把一大捧杨梅的水汁都挤到茶罐里，甜丝丝酸津津的。

（韩少功《远方的树》）

⑲我平时最喜欢吃油茶。糯米粑、黄豆、花生，和麻辣筋等十几样茶崽崽，又香又脆，再拌以花椒末、葱丝等佐料，经金黄的滚烫的茶叶水一泡，吃到嘴里，香喷喷的，热辣辣的，麻酥酥的，顿时，从头到脚，浑身都觉得轻快、惬意，每每一碗下肚，还要迫不及待从竹凳上跳起，再来一碗！

（杨雄《葱翠三月》）

正因为上述例中的摹味，才使得读者似觉鼻中闻香，满口生津。

〔**摹状**〕 mózhuàng 利用词语描摹人对事物情态性状的感觉。

⑳只剩下黑色的光秃秃的铁轨微微振荡，像越来越弱的脉搏。

（张为《中秋遥寄》）

㉑我看到一件粉红色的衬衫在密匝匝的绿荫中一闪，那是妻子。

（肖亦农《庭院小札》）

㉒再看他的面容，一副标准武士型的方头大脸，既浓且粗的眉毛下，瞪着圆鼓鼓的眼睛，头上没戴军帽，蓄着短发。

（孙健忠《城角》）

㉓房檐的滴嗒好像是累啦，水珠顺着一排凝固了下垂的冰溜儿往下爬，爬到顶尖便贴住了。明晶晶，尖溜溜的。

（贾从礼《大森林里的他和她》）

㉔这座城是那么巍巍然峨峨然……

（孙健忠《城角》）

摹绘的四种形式一般单独使用，但有时也可以综合使用，因此，其表现力也就更丰富些。

㉕我还尤爱吃粘粘的糕团。如小巧珠子般滚滚溜溜的元宵，甜丝丝，软乎乎，粘在唇上，粘在胸口，仿佛把心也弄柔了。那绵绵软软的糯米粉儿，就此揉进了我的生命中。

（赵翼如《味，在酸咸苦辣间》）

㉖她是个无腰无臀的车轴体架儿，偏又穿了一身闪光冰绸镶满花边捏满皱褶的银白套裙，腰间围一条缀满珠花的金色饰带，足登红高跟鞋，黑网眼儿高统丝袜。通身亮晶晶胀鼓鼓胖墩墩，叫人想起电视里歌星唱歌时那个总在旋转的由几个块镜片贴成的圆球。

（航鹰《幽谷花》）

例㉕中的"甜丝丝"是摹味，而"滚滚溜溜"、"软乎乎"则是摹状；例㉖中的"银白"、"金色"、"红"、"黑"、"亮晶晶"是摹色，而"胀鼓鼓"、"胖墩墩"则是摹状。这种连用的方式更能多方面地描摹客观事物的自然特征，给人以较完整的总体印象。

从以上的例子中还可看出，摹绘经常与叠字兼用，如"黄橙橙"、"香喷喷"、"胖墩墩"之类。故而在表达上兼有形象性与音乐性两种效果。

另外，有一种情况比较特殊：

㉗山姑有红绒花，山姑还未出嫁。

山姑的半个心甜滋滋的，山姑把红绒花藏在怀里；山姑的半个心苦丝丝的，山姑把红绒花掏出来放在地上。

（郭爱玲《红绒花·山姑》）

㉘蓦地，喉咙好似被人塞进了一只青杨梅，五脏六腑都酸酥酥的。。

（翁新华《一个父亲的童话》）

例㉗中"甜滋滋"、"苦丝丝"描摹的是山姑心中喜悦参半的矛盾心情；例㉘中"酸酥酥"描摹的是五脏六腑酸涩的复杂感觉。它们都是把"一种感官的感觉移至另一种感官之上"，而不是单指"味道"。因此有人将这类例子归于移觉格。不过本词典编者仍然认为归于摹绘较妥，因为任何一种感觉都是与心相通的，只是外部感觉，即味道、听觉、视觉等之间的感觉转移才是通感的修辞特征。

最后还须补充说明：摹绘虽为传统辞格，已为人们所公认，但各类专著均界定不严，举例太过宽泛，其中尤以摹色一类为甚，不足以显示这一辞格所独具的语言形式和修辞特征，因此有待于作进一步研究。

131. 物　　候

【物候】 wùhòu　借用自然现象或生物活动表示季节、节气和时间的转换。

一、利用植物生长过程表示季节、节气、时间的转换。

①玉兰花开了十次，又谢了十次。我离开了报社，改行当了文学编辑。你把最好的青春年华献给了少数民族地区的文化事业，……

（廉正祥《清清岷江水》）

②1963年，小麦扬花、豌豆吊角的时候，家里积了一笔钱，要拆掉三间草屋，新建三间瓦房。全家人都高兴。

（周同宾《桧木》）

③去年荷花盛开的季节，母亲和妻小迁到了部队的家属院。母亲每天烧烧饭，逗逗小孙孙，晚上一家人围在一起看看电视，聊聊天，家庭的天伦之乐使我忘却了许多烦恼和不快。

（韩强毛《接母亲》）

④是梅子黄熟的时节。时断时续、时长时短的雨丝，弹拨着"道是无晴却有晴"的绝唱。

……

是艾蒿和菖蒲飘香的时节。被雄黄酒浸泡过的神话，活脱脱地游动着，愈发变得年轻、美貌了。

是栀子花打伞的时节啊，是江鲥上网的时节，

是酸杏和甜桃媲美的时节啊，是紫皮大蒜头与红苋菜联姻的时节。

（杨德祥《夏天的旋律》）

⑤阳澄湖出螃蟹。每当丹桂飘香、菊花怒放时节，苏州玄妙观前，便出现三三两两卖蟹的人。

（凤章《蟹忆》）

⑥又是梧桐飘黄叶的天气了，老师的仙逝，引起了我痛苦的回忆，……

（陈从周《师道可风——悼王蓬常师》）

⑦饮茶粤海未能忘，
索句渝州叶正黄。
三十一年还旧国，
落花时节读华章
……

（毛泽东《七律·和柳亚子先生》）

例①“玉兰花开”、“花谢十次”，表示十个年头，作者选用纯洁、高雅的玉兰花，也为了象征“最好的青春年华”。例②“小麦扬花，豌豆吊角”当值农历四月。例③“荷花盛开”值夏季。例④集中列举种种植物飘香、开化、结果及鲥鱼上市的盛景，写出了江南农历五月“芒种”时节，生机勃勃的景象。同样是写秋季，例⑤的“丹桂飘香、菊花怒放”是一派明丽的景致，例⑥“梧桐飘黄叶”则是一片肃杀、凄凉，烘托着作者悲痛的情感。例⑦“叶正黄”是暮秋，“落花时节”是暮春，交待了诗人与朋友两次重大交往活动的时间。

二、利用动物习性表示季节或特定的时间。

⑧想起将军，
又为将军担心。
月将落
夜将尽
将军该已睡稳？
鸡叫连声，
鸟儿出动，
将军可以好梦沉沉？
军中事，
何等艰辛！
根根白发，

已上将军鬓。

（郭小川《将军三部曲》）

⑨时间过得飞快，眨眼又到蟋蟀奏鸣的时节。

（杨煜泰《童趣》）

⑩去年离别雁初归，
今夜裁缝萤已飞。
往客近来音信断。
不知何处寄寒衣。

（唐·张纮《闺怨》）

例⑧鸡叫、鸟动是黎明将近的时刻。例⑨不说秋天，而说“蟋蟀奏鸣的时节”，更能体现童心、童趣（有几个男孩子童年时代没有捉过蟋蟀的呢？）。例⑩“雁初归”指春天，“萤已飞”指夏天，说明征夫离家一年有余，衬托出一片闺怨。

三、利用天文气象表示时间的变化。

⑪迎着早早起身梳妆的圆月，伴着迟迟不肯告别的夕阳，我笔直朝大海方向走去。路尽头、树丛里，有人家。

（黄宗英《这一个人，仅仅是这一个》）

⑫下弦月偏西了，船码头一片宁静。

黑压压的船只枕着江潮早已睡熟，只有锚链、缆绳在拽响，船帮在碰撞。

（陈明云《渖江号子》）

⑬晓月过残垒。
繁星宿故关。

（唐·司空曙《贼平后送人北归》）

⑭……

执手霜风吹鬓影，去意徊徨，别语愁难听。楼上阑干横斗柄，露寒人远鸡相应。

（宋·周邦彦《蝶恋花》）

⑮昴毕西横夜犹暗，
官船催夫牵锦缆。

（清·王又旦《牵缆词》）

例⑪圆月升起，夕阳未落，当指夏天傍晚时分。例⑫“下弦月偏西”该是后半夜。例⑬“晓月”“繁星”指从凌晨到黑夜，概括了一天的行旅生活。例⑭“横斗柄”即北斗星柄横斜，天将破晓。例⑮“昴毕”是二十八宿中西方七星中的两个星，昴毕西横，天还未亮 。

四、综合天文现象、动物习性、植物生长的过程，表示节令、时间的变化。

⑯燕子叫，枣花开的时候，家里准备扒掉两间草棚，盖三间宽敞的茅屋。……

黄叶飘、雁南飞的时候，姑姑出嫁。因没什么陪送，爹说，用桧木做两件嫁妆好了。……

花开花落，燕去燕来，岁月如流。桧木旁边的野草，竟又20度枯荣，我家才真的要盖楼房了。

（周同宾《桧木》）

⑰我郁郁地走出家门，一股寒风迎面袭来，心中泛起一阵酸楚。在这雁啼霜天、黄叶纷坠的深夜，我——一个不堪忍受痛苦折磨的灵魂，到哪里去寻求洗涤的净水呢。

（许俊文《情从今夜浓》）

⑱太阳升了又落，星星暗了又明。东生的学业就象家门口的香椿树一样一天一天往上长。当香椿树第五次抽出嫩芽的时候，姐姐已经十四岁，也找到婆家了，从此姐夫就代替岳母给东生伴读，星转斗移，早起晚休；俩人相处甚密，形式一对同胞亲兄弟。

（《牌楼巷的传说》载《民间文学》1989年第2期）

以上四类例句，无论花开花落，叶绿叶黄，日月盈虚，斗转星移；也无论雁来燕往，萤飞蝉鸣；或是桂香菊黄，月明星暗；它们不仅准确地表达了时间概念，而且形象化地表现出节令特征，使抽象时间概念有了颜色，有了明暗，有了声响，有了香味，有了空间的、立体的形象，具有了审美价值。

其次，这样的时间表达方式，常常也含有表情达意的作用，作者在客观的描写中溶进了强烈的主观感受。一句“三十一年还旧国，落花时

节读华章”蕴含了多少沧桑巨变的感慨！而“丹桂飘香，菊花怒放”又洋溢着对新生活的礼赞。“梧桐飘黄叶”寄托着缕缕伤感；“昴毕西横夜犹暗”写尽了纤夫的深沉怨情。而“花开花落，燕去燕来，岁月如流。桧木旁边的野草竟又20度枯荣，我家才真的要盖楼房了”则诉说着对幸福生活的翘首企盼。这些都是用单一的时间词如“春天”、“秋季”、“深夜”、“黎明”等所无法表现的。

132. 叠　音

【叠音】 diéyīn　将同一的字或词不加停顿地重叠使用。

①她为他而哭，泪珠和月亮一样，大大的，圆圆的，静静的，凉凉的。

（郭爱玲《红绒花·空月》）

②小三三，我带你上街街，去道道，穿上袜袜，戴上帽帽，我给你买糕糕，咱们去坐车车，回家来吃饺饺。

（侯宝林 吴晓玲《普通话与方言》）

③森林啊、森林……陈年的腐叶在他的脚下沙沙地响着，风儿在树叶间飒飒地吹着，蝴蝶飞着，甲虫和蜂子嘤嘤地哼着，啄木鸟笃笃地敲着。悠远而辽阔，森林里一片乐声。

（张洁《从森林里来的孩子》）

④从旧社会至今，妈妈把钉子年年，月月，拔拔，直直，擦擦，钉钉，极有耐性，充满挚趣。

（王维洲《母亲的癖好》）

以上例①是形容词的叠音，既写泪珠，又写月亮，拟情摹状，倍感凄清。例②是名词的叠音，十分亲昵，大人哄小孩的口吻和情态因叠音而维妙维肖。例③是拟声词的叠音，烘托气氛，给人以如闻其声，身临其境的真实感。例④“年年、月月”是名词的叠音，表明时间之长，“拔拔，直直，擦擦，钉钉”是动词的叠音，说明次数之多，母亲的耐性可以想见。由

此可见，叠音的作用在于“借声音的繁复增强语感的繁复；借声音的和谐张大语调的和谐”（陈望道《修辞学发凡》）。它所追求的首先是增强语言的音响效果，即充分利用汉语语音音节的特点，加以复叠而增强语调的节奏感和旋律美。同时它对于状物拟态，表情达意也有十分明显的修辞作用。正因为如此，我国古典诗文中运用叠音的佳例简直不胜枚举。有一幅奇特的对联就是通篇由叠音构成的：

⑤风风雨雨暖暖寒寒处处寻寻觅觅
莺莺燕燕花花叶叶卿卿朝朝暮暮

（苏州网狮园内的一幅对联）

今人也有仿拟李清照的《声声慢·寻寻觅觅》而以叠音为词的：

⑥时时刻刻，想想思思，年年月月日日，是是非非界线，最难分析，三番两次遇着，不识它转移规律。事过也，回过头，却是明明白白。……

（杨第甫《声声慢》）

叠音可分为两种形式：叠字、叠词。

〖**叠字**〗 diézì 将同一个字不加停顿地重叠使用。

上文六例均为字的叠音。下面再举几个例子：

⑦今夜，寂静的郊外，朦胧的月色掺着雨后的云雾，迷迷，茫茫，清清，凉凉。

（林湄《弃儿》）

⑧她惊人般美丽。人们在皎洁的月光下，看她的脸上有娥娥的红粉，浅浅的青黛，泓泓的秋水，鬈鬈的乌云。她的美夺人心魄，但不让人有非分之想。

（鲍昌《荒诞四题·美人鱼的期待》）

⑨我们的艄公是博湖上一个古奇的蒙古族老人。他常常瞌睡，懒洋洋，昏沉沉，迷糊糊，醉醺醺，腰间系着一个酒葫芦，沉甸甸的。

（杨羽仪《博斯腾湖的回忆》）

⑩在家乡的河边，蓝莹莹的天上，太阳暖洋洋地照着，岸柳梢头，细溜溜的小风痒丝丝地吹着，多惬意，多美气。……要在乡下，临吃时去割一把（韭菜），真是嫩生生，水灵灵，绿莹莹的叶尖上带

着露味儿，白生生的根梢上透着鲜气儿。

（叶文玲《篱下》）

例⑦、例⑧与例⑨、例⑩在构成上稍有不同。前者为二字格叠字；后者为三字格叠字，即在一个单音节主体词之后，带上两个音、形、义完全相同的叠字，构成一个三音节的词，它一般都用着修饰语。其中主体词用来描摹客观事物的性状或情态，而叠字则用来增强音响的和谐和表意的感情色彩，使语言平添一种优美的抒情的调子。

〖**叠词**〗 diécí 把同一的两个音节以上的词或词组不加停顿地重叠使用。

⑪看山老人呼哧呼哧的抱上一块长方石头条，也还呼噜呼噜的笑着。

（林斤澜《白凡——十年十癔之五》）

⑫鬼蜮挥舞棍棒，钟馗还以重锤。鬼蜮呲牙，钟馗怒目。鬼蜮耍小把戏，钟馗开大玩笑。你来拍马，我伪装受用；你来搔痒痒，我假作很舒服；并且在被搔时向鬼作出信息反馈："上边上边，下边下边，左边左边，右边右边，不对不对，正好正好，重了重了，轻了轻了，深点深点，浅点浅点，这面这面，那面那面……"妙趣之外，让鬼蜮们总感到拍马拍得不是地方，叫他们永不自满永不疲倦拍下去……一旦鬼蜮们迫不及待想跳，那就教他猛蹦，摔他个狗呛屎……

（舒展《杂说钟馗》）

⑬三年的等待好长好长，三年的思念好苦好苦，三年的选择好成熟好成熟，我们不再犹豫，我们捧出各自的心，他给我，我给他。

（因因《织》）

例⑪为拟声词的叠音（此例兼作摹声）。例⑫为方位名词和形容词的叠音，穷形极态，不胜其烦，精彩之至！例⑬为词组的叠音。

以上所举的叠字叠词的全部例子，都是双频式叠音，即每一个字或词（词组）不停顿地重复一次，构成 AA 式或 ABAB 式。这是叠音中最为常见的形式。语言中还有一种三频式叠音和超频式叠音，特别是后者，其修辞作用颇为奇特：

⑭不一会，雨声就沙沙沙而刷刷刷，雨丝由断而联，由细而粗，

雨大起来了。

（陈苏《云赋》）

⑮张三冲起别针来的时候冲床的冲头就一落一落的，冲床的冲头一落下来就会发出“匡汤匡汤”的声音，张三冲床上的声音就变成“匡汤匡汤匡汤匡汤匡汤匡汤匡汤匡汤匡汤匡汤”地一直响下去响个没有完的。

（陈村《一天》）

例⑭是三频式叠字。拟声词（字）“沙”叠用三次。例⑮是超频式叠词。拟声词“匡汤”不停顿地连续叠用10次。显然这是作者有意而为之。其目的在于：不仅给人以身临其境，如闻其声的感觉，而且想传达出一种单调、沉闷、难耐的环境气氛（此两例均兼作摹声）。

叠字叠词一般单独使用，也有综合使用的：

⑯我哭着。

“别哭了别哭了！”一个女人的声音传来很熟悉。

别哭了别哭了别哭了！整个天地在摇晃我。

（张立勤《一次痛哭的心态》）

⑰忽地便不知从哪里一下子冒出好些收毛的来，且男的女的老的少的都有，全都驮着一担有盖的箩筐，从一只筐里长长地伸一根秤杆来，有的喊：“哎——有毛没有啊！我这里好价钱啊——”有的喊：“喂喂喂——快快拿毛来啦！老小无欺哇——”有的喊：“收毛收毛收毛呐——拿来拿来拿来哟——”还有吹个哨子的：“嚯嚯嚯——鸭毛鸭毛！嚯嚯——鸭毛鸭毛！”那场合就跟打仗一样。

（小牛《悠悠南风》）

例⑯是双频式和三频式叠词连用。例⑰是双频式和三频式叠字、叠词连用。

叠音除叠字叠词两类之外，是否还可增设叠句一类，我们不妨先举几例：

⑱交通警察很认真地开始向古老爹以及围着的行人们讲解最基本的人人都应遵守的交通规则。

行人们瞪着圆圆的眼咧着大大的嘴，听着听着就一起抬头看

那忽儿红灯亮忽儿绿灯亮的新鲜玩意儿。看着看着就笑了，笑了以后就说算了算了。都是熟人熟事本乡本土的，原谅初犯原谅初犯，下不为例下不为例大家都下不为例吧。

（那家佐（白族）《闯灯记》）

例⑱中，“圆圆”、“大大”是叠字，“看着看着”、“算了算了”则是叠词，这些大概没有异议。而“原谅初犯原谅初犯”、“下不为例下不为例”就难以确认是词的叠用还是句的叠用，还有些例子就完全是句的叠用。

⑲“编辑同志你好你好你好你好！”

一口气挺长，是不是搞推销的走错门了？我狐疑地盯着他手里的米色经理包。

（尚绍华《临界》）

⑳船老板赶紧抓住女儿的手慌忽就如深水救人：“你，你也对他有意思了？”

莲妹子重重摔开了爹的手，脚一跺：“哪个有意思嘛哪个有意思嘛！”细腰一扭还想说什么，却只张着嘴巴木了好一阵，突然哇地一声哭，抖着肩膀跑出去了。

（小牛《悠悠南风》）

㉑榔头家的一听说这事，心里立即乱糟糟的，便去了西院想安慰安慰狗屎家的。

不料，狗屎家的一见她就直蹦。

“都怪你都怪你都怪你！喜月里一见面你就想俺不好！浪货，你怎不死你怎不死！”

（赵德发《通腿儿》）

㉒只要他爸爸去拿小杯子，他就跑去拿大杯子。“我要喝酒我要喝酒我要喝酒！”

（苏叶《清芬的酒味》）

看来，文学作品中象例⑲、⑳、㉑、㉒这样的例句并不少见，显然是作者有意而为之，它在表现特定的语境与传达某种情势急迫的心态方面分明有着不容忽视的修辞作用。既然我们承认字或词的叠音，那么也就应该承认句的叠音。所以在叠音格增设叠句一类，与叠字、叠词并列

是可以成立的。我们不能只承认“不停顿地重叠使用同一个字或词”为叠音，而将“不停顿地重叠使用同一个句子”排除在叠音格之外而不置可否，或简单归于反复一格。在这里，必须强调：标点符号作为书面语言表情达意的辅助工具，有其特殊的修辞功能，它是区分叠音与（连续）反复的辞格界限的重要标志，而许多修辞著作正是忽视了这一点，因而造成了界定含混不清，引例互相抵捂的混乱状态。比如，象下面这些例子的辞格归属问题，人们的看法就截然相反：

㉓忽然，目光被什么五彩斑斓吸引住了，那是什么？那是什么？在沙滩上到处闪闪烁烁、闪闪烁烁？

贝、贝、贝、贝、贝……

（姚克明《大东海咏贝》）

㉔榆钱的名字已经有趣，“带罐儿”的说法更有意思，她偏偏孤单单地又姓柳！教室里立即开了锅。老师厉声呵止，又用教鞭镇压一回。下了课，孩子们围拢了榆钱儿来吼：

“柳，柳；柳。柳？柳！柳……”

（张石山《榆钱儿女》）

㉕yes、yes、yes，是的，是的，是的。啊，啊，啊。

（乔雪竹《被鸟儿叫醒》）

㉖表弟笑了，那笑容给我的感觉是：亲切，亲切，亲切。

（台湾·琼瑶《剪不断的乡愁——大陆行》）

㉗我来不及答话，杨洁一连串地敲车顶“开车开车开车！”

（台湾·琼瑶《剪不断的乡愁——大陆行》）

㉘她来到图书馆以后就站到了期刊架前。她站着，站着。她站着，站着。青年愣着，愣着。愣着，愣着。你和我也都愣着。

（王蒙《初春回旋曲》）

显然所有这些例句，作者之所以在字与字、词与词、句与句之间增加标点符号以隔音，正是为了用停顿的方式来减弱叠音的修辞功能，而增强反复的修辞功能。例㉓中的“贝、贝、贝、贝、贝……”，所表达的是沙滩上贝壳之多：一个，一个，又一个，不可胜数，令主人公眼花缭乱，惊喜异常。如果我们将“贝、贝、贝、贝、贝……”归于叠音，那么也就难以否认

“柳，柳；柳。柳？柳！柳……”不是叠音；依次类推，我们也就难以否认其他各例不是叠音。反之，如果我们承认例㉓中的“那是什么，那是什么？”是连续反复，那么也就难以否认“开车，开车，开车！”不是连续反复；依次类推，我们也就难以否认“柳，柳；柳。柳？柳！柳……”和“贝、贝、贝、贝、贝……”等不是连续反复，应该看到例㉓中“贝、贝、贝、贝、贝……的停顿与例⑮中的“匡汤匡汤匡汤匡汤匡汤匡汤匡汤匡汤匡汤匡汤”的不加停顿都是作者有意为之，其修辞作用是完全不同的。因此，我们同意将上面这一组例子为反复而不是叠音，也不同意将“贝、贝、贝、贝、贝……”归为叠音而将其他归为反复。故此，叠句一说，有待于行家商榷指正。

133. 垫　音

【垫音】 diànyīn （衬字 衬词）在话语中加进一些字，不表示意义，只起补充、调整音节，增强节奏的作用。

①我打算正儿八经的，认认真真地在这里干一辈子。

（张洁《场》）

②三子跟在祥嫂后头，两条腿和抽了筋一般，软呼拉踏的。

（蒲峻《爱听的都来听吧》）

③满满一屋子人，个个都灰不溜秋的。

（吕新《圆寂的天》）

④阴历腊月末，满天星斗，没有月亮，酸枣沟里越发显得黑咕隆冬。

（张石山《十七岁的庄稼汉》）

⑤雨雪不停，街上的行人稀不楞登，一个个冻得缩头缩脑。

（杜宁林《倒嚼》）

⑥突然，他惊醒了，揉揉眼睛，想起戴着爸爸的夜光表，他担心看错了，光不出溜地跑到洗澡间，又看了一下，三点，蔫不唧又回

来，钻被窝睡下。

（许谋清《孩子·大海·太阳》）

⑦春二哥是个蔫琢磨。

他成天蔫儿格唧的，闷着个头不爱说也不好笑。

（刘凤海《车前子》）

上述各例中，加点的字只起垫补音节的作用，读起来顺口悦耳。这一类的垫音字在口语中已趋定型，象：（灰）不溜秋，（圆）不溜丢，（黄）不拉几，（贫）里巴叽，（瘦）不叽叽，（傻）不楞登，（黑）不出溜，（黑）咕隆冬等等，这些垫音字常常缀在一个单音节的形容词后面，组成四字语，在日常生活中广泛应用。

一些文言虚字也常被用作垫音字。

⑧我不敢惊扰这位女学士的雅兴，蹑手蹑脚向后转；打算不声不响溜之乎也。

（刘绍棠《野婚》）

"之乎也"是文言虚字，在这里不再有任何语法意义，缀在动词"溜"的后面补充音节。

元杂剧唱词中也常用一些垫音字，诸如"也波"、"也么哥"，象《窦娥冤》："莫不是前世里烧香不到头？今也波生招祸尤"。《城南乡》："笑三也波闾楚大夫。"《鱼樵记》"我可便踌也波躇"。《窦娥冤》："怕则怕前街里被我婆婆见。枉将他气杀也么哥，枉将他气杀也么哥"。

垫音字在民歌和歌词中被广泛使用。

⑨春儿刚在发愣，一曲朴实深情的山歌子从深山峡谷飘浮而起，沙嘎而又悠远——

春日那个里来依哟四山青，
一把那个田土舍一哟寸金，
老天那个赐福那个要知足，
人是依哟苗来舍土哟是根。
依呀呀子喂，土是命根根……

（雁宁《牛版子山道》）

⑩嗨，咳，呀喂呀喂呀喂，咳！

张家呀姐儿哩生得呀好哇，
李家呀妹儿哩杨柳呀腰哦，
生得呀好来哩杨柳呀腰哎，
站在呀门前哟把手儿招哩。

（《川江号子》）

⑪正月里来正月呀正，
正月十五看呀花灯。
看灯是假的呃，妹子儿，
爱你是真情啊哈！

（《河北民歌》）

⑫我们的家乡在希望的田野上，
炊烟在新建的住房上飘荡，
小河在美丽的村庄旁流淌，
一片冬麦，那个一片高粱，
十里哟荷塘，十里果香。
……

（《在希望的田野上》歌词）

以上各例中的垫音字，可以延长词句的节拍，使之婉曲，一唱三迭，韵味悠长；还可以渲染气氛，体现出浓郁的民族、地方色彩。反之，如果将这些垫音字统统删去，挤掉歌词中这些“水份”，文字简则简矣，文辞就会变得干涩而少灵秀之气，风味亦不复存在。因此，在民歌、歌曲中垫音字决不是可有可无的。

一些兄弟民族的歌曲中，常常插入本民族惯用的垫音字，如维吾尔族的“瀑瀑瀑瀑，”藏族的“索呀拉索”，蒙古族的“啊哈嗬依”，傣族的“洒罗”等等。

134. 释　语

【释语】 shìyǔ （释词）借用语词释义的形式，对语词在具体语境中的意义，作主观性的引申、发挥、或作形象化的说明。

①“垂帘无个事，抱膝看屏山”，古人在建筑中，帘与屏两者常放在一起，都是起不同的“隔”的妙用。帘呢？更是灵活了，廊子里、窗上、门上、室内，有了它，就不一样，因帘而产生了许多故事，“珠帘寨”、“水帘洞”，以及一些因帘而产生的许多韵事，真是洋洋大观。我说，帘与恋同，帘者恋也，因物生情，也可说是帘的妙解了。

（陈从周《说帘》）

“帘”在词典中的释义为：用布、竹子或苇子等做的遮蔽门窗的器物。这里，作者认为：帘（布帘除外）可以在建筑空间中造成“隔中有透，实中有虚，静中有动”的艺术效果，“教人遐思，引人入画”，激发人们的审美情感，所以，他释“帘”为“帘者恋也”。这一解释毫无科学根据，完全是主观性的，作者只不过借释义的形式，表达他对“帘”的偏爱之情罢了。

②面对作为一种信仰象征的十字架，我自有自己的理解：从解析几何学的角度看，如果无限的时间为横坐标，茫茫的空间为纵坐标，那么，由这两者纵横交叉而成的金十字架，便是我宇宙信仰的绝妙标记。

（赵鑫珊《蓝天白云底下的十字架》）

十字架是基督教的信仰标记，而作者以超宗教的态度，用科学、理性的眼光，把它释为时间和空间的坐标。神学的象征变成了科学的标志，两者的意义相去何啻天壤？这种随意化的释义，反映出的正是作者对无限时空、宇宙的严肃思考。

③一九八0年四月三日的《人民日报》五版上，有唐弢同志一

篇介绍新发现的鲁迅佚文的短文。

题曰:花团剑簇。

好一个"剑"字!

……

一个"剑"字活现了鲁迅

他是用投枪和匕首战斗的。

花团者,指其独有风韵的散文诗式的艺术美;剑簇者,是其寒光逼人的思想、指向黑暗的锋芒。

(徐刚《寻玉镂石篇》)

"花团剑簇"是"花团锦簇"的仿词,不可能有相对稳定的词义,作者用它形容鲁迅杂文的风格,并对"花团"、"剑簇"分别作了主观性的"诠释",富于哲理,蕴含诗意。

④到目前为止,辞典上找不到"家属房"这一条目,并且今后可能还找不到。部队的家属房,泛指所有干部战士的家属住处。由于临时,所以简陋。但是,它却总象一座座坚固的碑,牢牢地耸立在人们的记忆里。又象一道道不溃的堤,固执地横亘在家属们的爱河上,永不坍塌。

家属房是神奇的。它是发酵感情的车间,它是培育恩爱的摇篮。每当有家属住进,它就是盛满欢乐的俱乐部;每当军人的儿女在这里诞生,它就是升起太阳的圣地。它与军人同甘苦共命运。它制造了一个又一个悲欢离合的故事,它讲述着一段又一段酸甜苦辣的轶闻。它是战斗力的发源地。总之它决不仅仅是一座房子。

(《军营家属房》载《中国青年报》1989年10月7日)

这段文字融说明、描写、议论、抒情为一体,对"家属房"进行"解释",对"家属房"的特征、功用、意义做了较全面的表述,文字优美、形象,情感动人。其实,作者之意不在"房",而在赞颂军人和他们家属间那圣洁、高尚,至真至诚的爱情。

⑤在亏损和面临"破产"的风险面前,一个有为的企业领导者的正确态度,就是最大限度地调动一切积极因素。这时,他灵机一动:"好家伙,咱来个'大鱼吃小鱼'"。

何谓“大鱼吃小鱼”?

——“内部消化是”是也。即让白云无线电厂由经济实力雄厚、生产管理好的白云山制药总厂兼并。这样,既不把矛盾上交,又可以继续发展生产……

(《南天白云》载《中国青年报》1989年11月18日)

“大鱼吃小鱼”通常比喻强凌弱,大吞小。在这里,词被转义引申,化贬为褒,仅指企业集团内部实行兼并。这一新的“义项”当然只能在该文特定的“语义场”中存在。

⑥我的《说文解字》里写道:

诗,食也。它不是天女袖中的鲜花,而是泥土里长出的百谷。

(刘征《播谷篇》)

将“诗”主观地解释为“食”,“泥土里长出的百谷”,是强调“诗”与现实生活的密切联系,“诗”应该纯朴自然。这些认识,一经采用“释义”形式,便显得警辟而深邃了。

⑦所谓“争”官者,当然并非为争夺权利而争,此乃争当“公仆”不拘一格,公开招聘。什么祖宗三代,什么贵贱亲疏,什么资历名望,统统一边“稍息”。

(杜卫东《“争”官做》)

在新的历史背景下,从新的角度,对“争官”作出新的解释,作者是在为干部人事制度的改革呐喊助威。

“释语”也可以根据字形结构特点,发挥想象,对语词作主观性的解释。

⑧什么叫“仁”?我跟孩子说:你看这个字怎么写的,就懂得了。“仁”由一个“人”字,一个“二”字组合而成。“二”差别于“一”,倍于“一”。“一”是单,是“奇”;“二”则是“复”,是“偶”。所以“仁”是人人,人与人。总之,它不是一个人的事,它是指导人际关系的。而孔子处理人际关系的原则是“爱”。孔子说过‘仁’者爱人”。而这“爱”,依照孔子的说法则是“泛爱众”。

我的这番话,完全是望文生义,借题发挥。

(忆明珠《关于〈论语〉和“仁”的随想》)

⑨据中国新闻社称："这种魔水命名为101，是因为赵章光经过101次试验才获得成功。

另有传说："101"中间那个"0"代表着一个光光的头，而两边的"1"则象征着再生的毛发。

（《魔水101》载《北京青年报》1989年11月10日）

例⑧根据"仁"字字形结构的特点，对其含义作了较为准确的解释，但其中仍渗透着作者主观的想象，因此，不是科学性的释义。例⑨把"101"三个数字，想象成一个图形，以图释义，妙趣横生。

释语还可以对人名、物名、地名做"探源"、"考证"，不过这个"探"、"考"，带有强烈的主观随意色彩，衍义勾连，妙语解颐。

⑩年初，中央号召继续发扬愚公精神。山尚且要移，其他事何患平不成！愚公之"愚"，大智若愚耳。如果他率领全家整日价在太行王屋两山旅游，赏风月，开野宴，题"到此一游"之类，虽然享尽了实惠，那其实倒真是愚不可及了。

（公今度《冷水启示录》）

⑪百里乡的人们，大都不知道沈国大的真姓名和经历，只知道这还是他起初来到百里乡的时候，自我介绍说的，他是国大代表，因为他姓沈，人们就叫他沈国大。

……

他（指沈国大）看到了这样的情形，居然也以领导者的地位来启发乡民，如讲解三民主义，何谓主义、何谓民族、民权、民生，说得天花乱坠。

……

乡下人天一亮就起来，而他却天天睡到九点十点才起床，中午又要睡午觉。乡下人看他朝睡、午睡、夜睡，大家就送他一个绰号叫他三眠主义先生。

（台湾·吴浊流《铜臭》）

⑫我念得忘我，村人听得忘归，看着村人忘归，我一时忘乎所以，邀听者到月下树影，盘脚而坐，取清茶淡酒，饮而醉之。一醉半天不醒，村人已沉睡入梦，风止月暝，露珠闪闪，一片蛐蛐鸣叫。我

称我们村是静虚村。

（贾平凹《静虚村记》）

例⑩释愚公之“愚”为“大智若愚”，并展开主观想象，用生动、风趣的语言，做出种种假设，从反面肯定，愚公不享“实惠”，不是“愚不可及”之“愚”。例⑪考“沈国大”和“三眠主义先生”（“三眠主义”仿“三民主义”而来）这两个绰号的由来，揭露“他”自我吹嘘、伪善、懒惰的本性，表示了乡民对“他”的嘲弄和轻蔑。例⑫叙述命名“我们村”为“静虚村”的缘由，寄托了作者对淳朴、和谐、宁静、淡泊的乡村生活的一片真情。

“释语”通过对语词意义的引申、发挥、转移、甚至望文生义，附会牵连，可以抒怀，可以说理，可以讽刺，可以幽默。总之，“释语”所释之义是修辞语境中的临时之义，不具备词汇学中词义的概括性和客观性，也不可能完整地、科学地揭示语词所表示的概念的本质属性，这就是“释语”与一般语词解释的区别。

135. 衍　　名

【衍名】 yǎnmíng （顾名 衍词）针对表达对象（人或物）的特征、处境、发展趋向（或命运）展开想象，从而对其名称的字面，加以衍释，或称誉、或品评、或揶揄、或揭露，推出一番新意。此格由“衍体”（“物名”）和“衍文”（“衍义”）两部分构成，前者是衍释的对象或依据，后者是发挥的内容。

①六十年前的开封，真是名副其实，开封——开风，一开门就见风。

（李程远《挨巴掌》）

②回力鞋顿时名声大震，身价百倍。

……

杨少振还组织了回力篮球队，收罗了名球星田富海、王永芳等人，这支穿着回力鞋的球队在上海滩的球赛中所向披靡，无人不

晓。这一创举，在中国开了企业办体育之先河。

四十年代末期，杨少振率领正泰厂创造了中国橡胶制造业上的奇迹。

回力，回力，回天之力！

（徐永青等《80年代风华录·鞋王》）

③金山拉着孙维世的手，激动地表示："维世，我会像你所说的那样，这是我最后的一次犯错误"。

"摔倒了，要赶紧爬起来，掸干净身上的尘土，让金山重新放光！"

（赵金块 洗济华《奇特的明星》）

例①衍体是开封市的名称，针对其六十年前的自然环境特点，加以揶揄，衍释为："一开门就见风"。例②衍体是球鞋商标名号"回力"，针对这种商品四十年代末的发展状况，加以赞美，衍释为："回天之力"。例③衍体是艺术家金山的艺名，妻子孙维世鼓励他改正错误振作起来，所以顺其名衍释开去，要他"重新放光"。三例都说明衍名可以由名称推出新意，加强语言的表现力。

衍名分为扣字衍义、揣释衍义、相对衍义、比喻衍义、同体衍义、谐音衍义等。

扣字衍义，扣紧衍体字面，逐字衍释。

④他叫彭文正，白云农工商联合公司党委书记兼董事长。

他和他的名字一样，斯斯文文，堂堂正正。

（吕金文 河流《南天白云》）

揣释衍义，衍释时，借助揣测引申的方法。

⑤王秀敏名如其人，王者，一厂之长也；秀者，长得俊秀也；敏者，聪敏能干也。

（尤全考 李建成《农村女能人——王秀敏》）

例⑤姓氏"王"，衍释为"一厂之长"，是运用了离开常规的揣释引申的方法；这种衍释方法须在一定的语境中慎用。

相对衍义，从衍体字面的相对或相反方面进行衍释。

⑥……枉生女士，以你的结果而论，恕我不客气的说，你非但

是“枉生”而且是“枉死”。

（许杰《枉生女士》）

⑦他叫王起立，因为天生一幅比一般婴儿更健壮的四肢，奶奶就给他起了这么一个响亮的名字。

谁想到命运竟会这样残酷地捉弄人，一岁多上，他突然患了小儿麻痹症，成了四肢三残的“废人”。从此，这个叫“起立”的人就再也没能站立起来。

（徐永青 戴战军《名副其实的人》）

例⑥“枉生女士”是二十年代广东一位青年女子，为丈夫报仇，在南洋行刺一帝国主义分子，终于惨遭杀害。例中由其名字面相对生义，既赞扬她的刚烈勇武，又批评了她的斗争方式。例⑦反向衍释，写出了王起立的不奇命运。

比喻衍义，衍释中借助比喻。

⑧石大海闯关东，一去十几年没音讯，真像石沉大海一般。

（张文喜《魂归》）

同体衍义，衍体和衍文字面相同或相近。

⑨老犟叔不顾大伙儿的阻拦和劝说，到底把兰子母女俩撵走了。

“老犟，真犟！”

（世伟《苦藤》）

谐音衍义，借助谐音而释义。

⑩周副县长在市里算是个知名人物。人称“西周”（稀粥）县长。稀者，因为其家住县城西关；粥者，俗称粥为糊涂。全仗“糊涂”二字，他革命几十年，历次政治风雨都没有翻过车。

（张莉莉《匾》）

⑪明远，明远，在仅仅两年的时间里，不仅创出了平均月产值达2千元的效益，而且真的名声远扬了。

（张国庆《生命变奏曲的强音符》）

衍名格在近年的广告制作中得到了广泛的使用。的确，贴切而富于想象力和幽默感的衍名可以把商品的商标名号深深地印入人们的脑海

中，例如“万家乐，乐万家”宣传“万家乐热水器”效果就好。但须注意，切忌生硬牵强。

136. 曲　解

【曲解】 qūjiě　利用异字同音或一词多义，故意对上文或交谈者话语中的某词语作背离原义的解释。

①长驱到齐，晨而求见。孟尝君怪其疾也，衣冠而见之，曰：“责毕收乎？来何疾也！”曰：“收毕矣”。“以何市而反？”冯谖曰：“君云‘视吾家所寡有者’。臣窃计，君宫中积珍宝，狗马实外厩，美人充下陈；君家所寡有者，以义耳！窃以为君市义。”孟尝君曰：“市义奈何？”曰：“今君有区区之薛，不拊爱子其民，因而贾利之。臣窃矫君命，以责赐诸民，因烧其券，民称万岁，乃臣所以为君市义也。”

（汉·刘向辑《战国策》）

②陈金才却念念切切说是中午买猪头肉售货员少找了他四分钱……“别说这四分钱行不行，我给你四分！”杜艳愤怒地打断了他，“咱们商量商量怎么招待一下美国来的蓝佩玉女士好不好？”

“什么女事男事，有我的什么事？我又不认识她。”

（王蒙《相见时难》）

例①冯谖明知孟尝君让他购买家中缺少的物品，但他利用孟尝君原话的含混、不严密，故意解释为物丰义缺，理直气壮地为孟尝君焚烧债券，号为“市义”。冯谖利用曲解，并非插科打诨，而是抓住机会为孟尝君整备“基地”，以为巩固政治地位的依托。例②陈金才利用异字同音，故意装作听不懂“女士”称呼，以发泄怨烦之气。

曲解常于问答中巧妙地歪曲对方原意，造成于己有隙可乘的局面，所以这种修辞现象多出现于对话中，以下二例就是。

③栾平　（奸笑）嘿嘿嘿嘿，好一个胡彪！你……你不是……

杨子荣　（抢先一步）我不是？是我的不是，还是你的不是？我

胡彪够朋友，讲义气！不象你姓栾的，……

（京剧《智取威虎山》）

④有一天，大阿訇又来理发了。阿凡提先给他剃光了头，在给他刮脸的时候，问道："阿訇，您要眉毛吗？"

"当然要！这还用问？"阿訇说。

"好，您要找就给您！"阿凡提说着，嗖嗖几刀，就把阿訇的两道眉毛刮下来，递到他手里。

大阿訇气得说不出话——谁叫他自己说过要呢。

"阿訇，胡子要吗？"阿凡提又问。

"不要，不要！"大阿訇连忙说。

"好，您不要就不要。"阿凡提说着，又嗖嗖几刀，就把大阿訇的胡子刮下来，甩在地上。

（戈宝权《阿凡提的故事》）

正因为曲解可用来歪曲人意，所以也常用在刻画卑劣奸滑之徒的作品中：

⑤爱姐道："嫂子好么？"徐铭故意差接头道："丑，赶不上你个脚指头！明日还要娶两个妾。"

（明·梦觉道人西湖浪子辑《三刻拍案惊奇·匿头计占红颜发棺立苏采婧》）

例中爱姐说的"好"字，是问安好，徐铭故意曲解"好"字为"美"，所以接上一个"丑"字，借以调戏爱姐。行文中"故意差接头"五字，正道出曲解格的特征。

这种"差接头"，北京话又叫"打岔"，用巧了，可以增加语趣，有助于表现作品中人物诙谐、泼辣的性格，例如：

⑥凤姐儿笑道："有什么事，这么要紧？"探春笑道："我们起了个诗社，头一社就不齐全，众人脸软，所以就乱了。我想必得你去作个监社御史，铁面无私才好。……"

凤姐笑道："我又不会作什么湿的干的，叫我吃东西去不成？"

（清·曹雪芹《红楼梦》第45回）

曲解也用于表现辩解、自我解嘲：

⑦有人将欲远行，敕其奴言："尔好守门，并看驴索。"其主行后，时邻里家有作乐者，此奴欲听，不能自安。寻以索系门置于驴上，负至戏处，听其所乐。奴去之后，舍中财物贼尽持去。大家行还，问其奴言："财宝所在？"奴便答言："大家先付门驴及索。自是以外，非奴所知。"

（《百喻经》）

⑧周副县长文化水平不高，可力图给人一种满腹经纶当代才子的形象。故家中、办公室内常摆着笔墨纸砚，书橱里也塞满了古今中外各类学科的论著和历代书法名家的碑帖拓片。只是有次周副县长背诵主席诗词，将

"屈指行程二万

六盘山上高峰，……"

背成"屈指行程二万六

盘山上高峰，……"

当时即有人问他："怎么成了二万六？"周副县长一本正经地说："红军长征二万五，又是盘山上高峰。盘着上山自然多走了一千里路，岂不是二万六？"一时传为笑谈。

（张莉莉《匾》）

例⑦渎职奴自辩，故意将"守门"不让贼入家的指令曲解为守住门板，为自己开脱。例⑧周副县长曲解主席诗意，为自己解嘲。

民间文学中，相声中，喜剧小品中，常利用曲解，制造"误会"，形成笑料，渲染诙谐的喜剧气氛，塑造狡狯的、愚顽的、憨直的、……种种情态、性格各异的艺术形象。例如：

⑨乙：你象太后！

甲：我是什么太后呢？

乙：你是脸皮太厚！

（相声《白骨精现形记》）

⑩有一个姑娘因为缺了一块嘴唇，一直嫁不出去。有一个小伙子因为没鼻子，也娶不到媳妇。他们虽然相貌有点缺陷，但找对象时都有一个共同的条件：不要残疾的。巧嘴媒婆倒把他俩说合了。

巧嘴媒婆对小伙子说："这个姑娘，没有别的毛病，就是嘴不好。"小伙子说："嘴不好不算毛病，慢慢她就会改嘛！"巧嘴媒婆对那姑娘说："小伙子什么都好，就是眼下没有什么。"姑娘听了笑了笑说："眼下没有什么怕啥？我陪嫁多点就是了。"巧嘴媒婆见双方都表示同意，于是要他们把自己的话写下，省得以后口说无凭。

（康家珑《语文趣谈》）

曲解和别解都有离开原文本意的特点，形态相近，极易混淆。然而别解针对的是有特定意义的词或词组，在一定语境中赋予其一个临时"创造"的意义。例如："大理，这是'花花世界'。大理人也别有情趣，有福气，他们爱好养花，几乎成了风习"（曹靖华《洱海一枝春》）。这里的"花花世界"，就离开了"灯红酒绿，男游女乐"的常义，而被赋予了"繁花似锦"的临时新义。而曲解针对的词语或对此词语的解释，在同一语境中，必出现两次，第一次出现时，常呈现一种含混模糊的状态，易于（或可能）产生不同的理解或解释，而此词语（或其解释）第二次出现时，必背谬于第一次出现时的意义。例如："我二叔一听，差点儿没气晕了。这孟姜女多会儿变成外国人了？你猜'东皮'先生怎么说，'啊，怎么不是外国人呀！孟加拉国一个将军的女儿，缩写就叫孟——将——女。'象话嘛！"（曹业海、吴棣《草包总编》）。第一次出现"孟姜女"名字，第二次出现的就是歪解，刻画了一个望文生义、无知妄说的形象。别解常造成幽默风趣的韵味，能扩展语言表现力的深度与广度；曲解常造成诙谐喜谑的喜剧气氛，多用于讽刺、鞭笞邪恶势力，嘲笑落后腐朽的东西，也可以用于热烈的歌颂，但更便于制作轻松的小品。

137. 隐　　语*

【隐语】 yǐnyǔ （廋辞 廋语）利用双关、借代、析字、用典、藏词等手法将意思显示于言外，须经分析解释才能明白。

①有一天，高兴又去"过河"（掏兜），刚要"扣皮子"（掏腰包），

发现身旁有“软刺”(警察),吓的赶忙缩回手,差点儿“浅住”(被抓住),一闪身溜了。

(马亚川《有功之贼》)

②小程妈妈这句话提醒了高兴,酒也醒了,心里亮了,对呀!听人说“登大轮滚大个”(在火车上偷盗)碰时气“扣死倒”(旅客睡着了),“大平台”(掏准了)能弄个“一抗”(一万元),没想到今晚巧碰“老尖壳”(钱窝)……

(同上)

③与个体户,尤其是年轻的个体户们交谈,心理上要有点准备:“昨天晚上大刮山。想将部叉头去叉只条杆清爽点煤饼,刚走出门口就给两档模子叉去砌墙头,眼睛一眨坏三龙。回来路上跟只鸭污咚一枪二枪拗进一门汀。开心头上啥人晓得撞著阿条,赤膊一脚去。”

……

其实也没有什么费解的。上面那段话“翻译”过来大意是:“昨天晚上倒霉透了。想喊部出租汽车去找个身材苗条些的妓女,刚走出门口就给两个人拉去叉麻将,眼睛一眨输掉三百元。回来路上跟一个死不卖帐的家伙用猜单双的赌法博了一记,一记赢进一千元。开心头上谁知遇上了便衣警察,钱全部被没收,彻底完蛋。”

(《疯狂倒爷》华艺出版社)

如果作者不用夹注和“翻译”的方法,将例句中的隐语一一加以解释,一般读者就只能悬揣其中真实的含义而无法了然。可见隐语是一种十分特殊的语言现象。它是某些人或某些社会集团为了自身的安全和出于某种特殊的需要而自行规定的专门用语,借以严守机密,传递信息、防范外人。比如旧中国的各种会道门和行帮组织就几乎都有自己的黑话、行语,而党的地下工作者也曾使用过自己绝对秘密的暗语以进行工作。所以隐语在使用上带有很大的保密性和局限性,不能作为整个社会成员通用的交际工具。下面的例证足以说明这个问题。

④钱的称谓,在上海的个体户中很有些混乱。钱曰“分”或“血”。有钱曰“分挺”,掏出钱来曰“挺分”,请别人客曰“挺庄”,包下

全部费用就是“全挺庄”。赚到或赢到钱曰“进分”，赌输或蚀本曰“坏分”。借钱曰“输血”(形象何其生动!)，花钱曰“出血”。工资收入曰“肉里分”(用时如割肉，即非工资收入就怎么花都不心痛)，被没收全部非法收入就是“赤膊”。一千元称“一汀”、“一门汀”或“一块门汀”(由英文 cementing 的音译水门汀简化而来)；一百元称“一条”、“一龙”或“一条龙”；十元称“一张”或“一张分”，一元称“一分”或“一分子”；一角称“一毛厘”；分币(有时连角币也被概而括之)统称“癞头分”(癞头即黄癣，患者头皮屑特多；而头屑是无用的，甚至是令人讨厌的)。而目前的个体户中已经出现了将拾元钞以下的钞票悉数称为“癞头分”的趋向。……

(《疯狂倒爷》华艺出版社)

仅仅是“钱的称谓”，就有诸多隐语，至于其他方面，隐语之多，局外人就无从得知了，更不用说它艰涩隐晦的程度。而且隐语中有相当一部分“黑话”、“行话”十分庸俗，甚至低级下流，除了在极个别的特殊情况下偶而一用外(如在文学作品中用来刻画人物)，一般少有积极的意义。相反，传播开来，对语言的纯洁健康无疑是一种有害的污染和破坏。何况隐语主要借用双关、借代、析字、藏词等修辞手法，并无自己独具特征的语言形式。因此，从严格的意义来说，隐语只是一种特殊的语言现象，而不是一种辞格。

138. 异　　称

【异称】 yìchēng　从不同的角度，对同一个人给予不同的称谓或称说。

①“你！你……”共和国的老公民，退了休的老工人，八十年代的社会主义的自由市场领域内的“服装大王”或曰走运小贩的老父亲，瞪着儿子跺了下脚说不出话来。

(梁晓声《雪城》)

②村里街坊邻居，老一辈人提起她，都管她叫“喜旺家”，或者“喜旺媳妇”；年轻人只管见她叫“喜旺嫂子”。至于喜旺本人，前些年在人前提起她，就只说“俺那个屋里人”，近几年双双有了个小孩子，他改叫“俺小菊他妈”。另外，他还有个不大好听的叫法，那就是“俺做饭的。”

（李准《李双双》）

例①“老公民”、“老工人”、“服装大王”、“老父亲”，几个连续性称谓分别从法律、个人成分、职业、家庭关系的角度，复指同一对象，介绍了这位在社会主义商品经济流通领域内大显身手的老人。例②村里人对“她”的称呼，表明她不过是一个普普通通的农村劳动妇女，而喜旺对“她”的称呼，不仅说明他们是夫妻关系，而且反映出了喜旺的大男子主义思想。

根据异称在文中所处的不同位置，可以将其分为连续式和间隔式两种。

〖**连续异称**〗 lián xù yì chēng

③“医生，急诊病人！”

桌子后面，本镇最高贵的女人，镇长夫人、医院负责人、主治医生，无论从职业、地位和派头上都毫不逊色的本镇皇后，正在给一个远房的亲戚听诊。

（陈世旭《小镇上的将军》）

连续用五个称谓交待她的权势，她的政治背景，她在小镇上的特殊地位和作用，以及她的职业。这位“皇后”的骄横跋扈作风，由此可见一斑。

④这个人，这个庄稼汉，这个共产党人，这个生产大队的支部书记，这个“走资本主义道路的当权派”，真算得上是一条汉子！

（南丁《亮雨》）

一连串的称谓可以使人看到一个正直、刚强、不脱离劳动，虽经受磨难而不倒的农村基层党员干部的形象。

⑤我又问：“你当兵几年了？”

“第十五个年头了。”

我愕然了。十五年！先是祖母、母亲，后来又接上爱人、爱女，这些个老人、女人、孩子，那柴、那米、那病、那痛、那屋漏、那长夜、那如牛负重的经济……究竟是一股什么力量，使他们没有叫一声："孙子、儿子、丈夫、爸爸，你快点回来吧！"

（《张连长戒酒》载《中国青年报》1989.11.17）

"我"访问的是一位已进中年的解放军连长，十五年远离亲人，而能得到全家人的理解支持。作者以连续称谓的形式，赞扬了军人家属可贵的奉献精神。

⑥……四九年的腰鼓、七六年的游行，在小石头、张指导员、张书记、老张头和张副部长之间，分明有一种联系，有一座充满光荣和陷井的桥。这桥是存在的，这桥是生死攸关的。见证便是他的心，便是张思远自己。

（王蒙《蝴蝶》）

连续五个称谓，概括了张思远一生的坎坷经历。其中有他的孩提时代，他在青年、中年、老年各个时期的职务和所担任的工作，他的遭遇（被"打倒"后，下放山区，农民亲热地叫他"老张头"），他在历次政治运动中的沉浮。五个称谓有着极丰富的内涵。

〖**间隔称谓**〗 jiāngéchēngwèi

⑦那些年头，村里的人，都喊我"阿乔仔"。后来，野孩子们就叫我"阿乔哥"。最近几年来，人们称我"阿乔叔"或"阿乔伯"了

（台湾·李乔《桃花眼》）

人们对"我"称呼的改变，反映出、我"的年龄变化，几个称谓浓缩了"我"的几十年。

⑧这些年来，李月华走村串户为贫下中农防病治病，孩子们称她"李姨"，年轻人喊她"李姐"，大爷大娘亲切地叫她"闺女"。

（《人民的好医生李月华》）

用并列复句的形式，表述不同年龄段的人对李月华的尊敬、亲匿的称呼，反映出李月华和广大人民群众的血肉联系，从侧面突出了李月华全心全意为人民服务的精神。

⑨"是亲——三分向"。下了船，几条汉子一定要替漂漂女盖间

房，以备生产之用，并障了院子。不愿留下的，叫“嫂子”，叫“妹子”，叫“姐姐”，叫“可怜儿”，磕个头，说声“难为啦”，哭几声离别的不舍，然后再各自去闯山、挖宝、喂野牲口！

（阿成《年关六赋》）

“漂漂女”是旧时代闯关东的山东人，秋后驾“漂漂船”凑钱雇用的女人。文中不同的称呼交待了“漂漂女”和这些“汉子”的关系，写他们萍水相逢一场，依依不舍之情。

在文章、文学作品中，“连续异称”和“间隔异称”往往综合使用，方式灵活多变。

⑩但他属于世界：英雄，领袖，革命家，推心置腹的朋友……

他还是一位诗人

如果他不那么消瘦，如果他再活上十年二十年，如果中国有千千万万这样的公仆……

——如果我们都不忘记周恩来。

（《美丽的选择》）

“英雄、领袖、革命家、推心置腹的朋友”由联合短语构成的连续式异称，评价了“他”的历史地位，颂扬了“他”的功业，“他”的伟大与平凡；“诗人”、“公仆”是间隔异称，赞颂“他”多方面的才华，“他”为人民鞠躬尽瘁的精神，并点明：“他”就是“周恩来”。

⑪“王后”之夫段远来，自然是“烟草王国”之王了。他是怎样登上“王座”的呢？“五十年代的炊事员，六十年代的造反司令，七十年代的野心家，八十年代的吸血鬼”。

（陶白《从物以稀为贵说起》）

两种形式的异称合用，全面地揭露了“烟草王国”之王的罪恶发迹史。

异称作为辞格，它的功能在于：通过列举人的不同称谓，多角度、多侧面地揭示人的社会关系，展示其人生经历，性格特征，以较少的文字，涵括丰富的社会内容。

139. 诡　谐

【诡谐】 guǐxié （诡语）说话写文章时，有意违反逻辑或常理，以造成特殊的语言效果。

①“……这也有好处，让你知道什么叫做没饭吃。那年你烧破了衣服，你妈骂你说：‘再这么胡闹，没有你的饭吃。’你说：‘没饭吃我吃包子。’……”

（徐怀中《西线轶事》）

“没有你的饭吃”，这里的“饭”，泛指所有的饭食；“没饭吃我吃包子”中的“饭”，仅指“米饭”，是饭食中的一种。例中的“你”利用“饭”字一词多义的特性，偷换概念，所以话语很风趣。

②丙　那位父亲是反驳呢，还是哑口无言呢？

甲　这我就不知道了。

乙　如果你是那位父亲，你如何回答呢？

甲　（幽默地一笑）我不是她父亲，叫我如何回答呢？（众笑）

（储大泓《听了一席谈之后》）

“乙”说“如果你是那位父亲，你如何回答呢”，这是要求“甲”作出一个假言判断；“甲”的回答，“我不是她父亲”，是个性质判断，“叫我如何回答呢”这是以性质判断为前提作的推理（直接推理）。两个人的思维方式满“拧”，说不到一块儿，自然就出笑话了。

③酒逢知己，而且喝的是三星白兰地，两杯过后，我就醉得躺下了，竟在卓琪家里睡了一夜。在那时，喝酒致醉违反了部队纪律；卓琪家离敌人驻地很近，也十分危险。假如我是个酒虫，哪里会发生这样的蠢事？为了不重犯错误，我得努力学喝酒了。

（牧惠《酒的反调》）

因醉酒而犯纪律，改正的办法应该是忌酒（执行任务时不喝）或戒酒。而“我”却得出相反结论，将醉酒违纪归之于酒量小，因此，“为了不

重犯错误，我得努力学喝酒”。理由堂而皇之，无非是为自己贪恋杯中物找借口罢了。

④敲锣打鼓震醒了县城，
吴长龙给农药公司送匾来了
象是黄瓜花上的露珠
匾上缀着一朵朵乡间饱满的笑

公司主任很潇洒地接见了他
几双干枯的手
几双丰腴的手
把匾捧得高高
望着“救死扶伤，华佗再世”
主任摆着头遗憾地说
该送对门医院，送错了

老吴却流着热泪说
别误会，是俺真心感谢
俺老婆一气之下喝了农药
撇下四个孩子可让我咋过
好在上医院的路上醒来了
医生说多亏喝的是假农药……

主任第一次对着荣誉犹豫了
搓着手，搓着满街的笑声

（冯杰《乡村纪实·农药的幽默》）

服毒自杀者因服用的是假农药，得以生还；县农药公司因出售假农药，得到奖赏。真是阴错阳差，巧合与矛盾交织，这就构成了喜剧，构成了讽刺。

⑤甲　后来大学毕业啦。

乙　嗯。

甲　我就从事戏剧研究一直到现在。

乙　噢。

甲　研究戏剧有这么五十多年。所以……

乙　哎，你研究戏剧有多少年？

甲　五十多年。

乙　五十多年！您今年多大岁数？

甲　三十八啦。所以我对于戏剧……

乙　不要说啦！你今年三十八岁，怎么会研究戏剧五十多年？

甲　啊。

乙　这怎么个意思？

甲　啊……是啊……就这差点儿！

乙　差点儿？这差多啦！

……

甲　啊，那……我给你算。

乙　那你算好啦。

甲　我研究京剧七年。

乙　噢，七年。

甲　我研究话剧八年。

乙　八年。

甲　这多少年？

乙　七年加八年——十五年哪。

甲　嗯？

乙　七八一十五嘛。

甲　七八五十六哇！

乙　噢！乘法呀！

甲　你按加法那么算？

乙　可不加法嘛。

甲　所以你就搞乱喽！

（传统相声《戏剧杂谈》）

在现实生活中，如果一个人连加减乘除都搞不清，那他是智能低

下。但在艺术作品中，加法、乘法混淆，却造成了荒诞滑稽的艺术效果。例中，“甲”先摆出他的年龄（38岁）与他所说的从事研究工作的年限（50多年）之间的矛盾，继而，摆出他实际从事研究工作的年限（研究京剧7年，研究话剧8年）与他所说的年限之间的矛盾，这些矛盾，违背了事物发展的规律，是臆度、杜撰的产物。“甲”便采用诡辩术，从主观需要出发，把加法偷换为乘法，这样，就产生了笑料，使人大噱。

⑥赵襄子饮酒，五日五夜不废酒。谓侍者曰：“我诚邦士也！夫饮酒五日五夜矣，而殊不病。”优莫曰：“君勉之！不及纣二日耳：纣七日七夜，今君五日”。襄子惧，谓优莫曰：“然则吾亡乎？”优莫曰：“不亡”。襄子曰：“不及纣二日耳，不亡何待？”优莫曰“桀纣之亡也，遇汤、武。今天下尽桀也，而君纣也，桀纣并世，焉能相亡？然亦殆矣！”

（汉·刘向《新序·刺奢》）

优莫的推理，从形式逻辑的角度看，似乎成立，但违反了辩证逻辑。优莫的机智在于：他表面上似乎同情赵襄子，安抚他，说他不会灭亡，骨子里则把襄子比做桀纣昏君，对他进行了最严厉的谴责，促使他猛省。这正如刘勰所说的“谲辞饰说，抑止昏暴。”

《三国志·秦宓传》中有一则秦宓巧辩张温的故事，写东吴张温访问蜀汉，和秦宓论答：

（温）问曰：“天有头乎？”宓曰：“有”。温曰：“在何方也？”宓曰：“在西方。诗云：‘乃眷西顾。’以此推之，头在西方。”温曰：“天有耳乎？”宓曰：“天处高而听卑，诗云：‘鹤鸣九皋，声闻于天。’若其无耳，何以听之？”温曰：“天有足乎？”宓曰：“有。诗云：‘天步艰难，之子不忧。’若其无足，何以步之？”温曰：“天有姓乎？”宓曰：“有。”温曰：“何姓？”曰：“姓刘”。温曰：“何以知之？”答曰：“天子姓刘，故以此知之”。温曰：“日生于东乎？”答曰：“虽生于东而没有西”。答问如响，应声而出。于是温大敬服。

张温多方设难，秦宓对答如流。严格说来，秦宓所举论据，与其论点之间并无必然联系，论据不是论点的充足理由，秦宓的论证犯了“推不出”的逻辑错误。但是秦宓之说不失为一段精彩的文学语言，他答辩机

智，文思敏捷；富于联想，附会精妙；且引经据典，言之有凿，雅中寓谑，闪烁着智慧的光华，不能不令人叹服。再看一例：

我平生好说实话：我养个鸡儿，赛过人家马价；我家老鼠，大似人家细狗；避鼠猫儿，比猛虎还大；头戴一个珍珠，大如一个西瓜；贯头簪儿，长似一根象牙。我昨日在岳阳楼上饮酒，昭君娘娘与我弹了一曲琵琶。我家下还养了麒麟，十二个麒麟下了二十四匹战马。实话！手拿凤凰与孔雀厮打。实话！喜欢我慌了，蹦一蹦，蹦到天上，摸了摸轰雷，几乎把我吓杀。

（朱载堉《山坡羊·说大话》）

散曲从鸡赛过马，鼠大似狗，猫大如虎，珍珠如西瓜，簪子似象牙，“吹”到昭君娘娘为“我”弹琴，“我家”麒麟下战马，凤凰与孔雀厮打，越说越玄！最后“玄”到了天上，“我”竟敢用手去摸轰雷，真是悖谬到极点！全篇构思大胆离奇，形象怪异，具有荒诞之美，令读者感到谐趣无穷。

140. 归　谬

【归谬】 guīmiù　即以错攻错。先假定对方的命题是“真”的，然后推导出荒谬的结果，使命题不攻自破，从而产生幽默讽刺的语言效果。

归谬是一种驳论方法。它的特征是设假为“真”，以退为进；引向荒谬，不攻自破。就是权且把假的命题，当作是“真实”的，先让一步，不予正面的、直接的否定，然后，将命题合乎逻辑地引申到荒谬的结论上去，结论荒谬，命题也就站不住脚，失去了其存在的合理性。

①倘若说，作品愈高，知音愈少，那么，推论起来，谁也不懂的东西，就是世界上的绝作了。

（鲁迅《文艺的大众化》）

“作品愈高，知音愈少”这是文章要批驳的一个错误论点。鲁迅把它作为一个假设命题，先予以“承认”，然后，做合乎逻辑的推导，得出的结

论是“谁也不懂的东西，就是世界上的绝作。”这显然是荒唐可笑的！结论荒谬，命题也就不攻自破了。

②陕北人民不就衷心歌颂过“刘志丹，是清官”吗？只有祸国殃民的“四人帮”才会狂呼乱叫什么“清官比贪官更坏”！“四人帮”仇恨清官，颂扬贪官酷吏（据说贪官酷吏的暴行不可避免地会导致社会矛盾的激化，促使农民大规模起义，推翻封建皇朝。按照这个逻辑，给贪官酷吏戴上“革命动力”或“革命之源”的桂冠，也不是不可以），是一点也不奇怪的。

（刘金《马上随笔·闻修整禹陵有感》）

“贪官酷吏”是“革命动力”，这一结论的荒谬性、反动性是显而易见的，但这一反动的结论正来自于“四人帮”颂扬贪官的种种历史唯心主义观点，文章据此批判他们“形而上学猖獗”，可谓釜底抽薪。

③这就难怪华君武漫画里的蚊子提出这样的问题：“也进口蚊子吗？”

这问题怪吗？一点也不怪。既然天上的月亮，地下草坪，用的器具，吃的水果，乃至穿的破衣烂裳，一切的一切，都是外国的好，都可以争着进口，为什么就不能进口蚊子？外国的蚊子肯定比中国的好。况且中国的蚊子不比其他国货，确是坏东西，应该消灭的。好吧，那就赶快顺应历史新潮流，赶快进口外国的好蚊子吧！

（《为“进口蚊子”代拟广告》载
《新民晚报》1985年9月12日）

公然提出要“进口蚊子”，实在荒唐、离奇，不值一驳！但这正是对那些主张“一切进口”论者的有力讽刺，因为“进口蚊子”恰恰是“一切进口”论的合理引申，它将“一切进口”论的不合理性曝光于众，揭露无遗了。

④甲　你说那么点儿个的蛤蟆，它为什么叫出来的声音那么老大：“呱儿呱儿……”这家伙！啊？那么点儿东西叫那么大嗓门儿，这个原因何在呀？

乙　当然有道理啦。

甲　您谈谈。

乙　蛤蟆这种东西，它是嘴大脖子顶。

甲　嗯

乙　所以它叫唤出来的声音就大。

甲　是啊！

……

乙　唉，只要是嘴大脖子顶，叫唤出来的声音就大。

……

甲　我们家有个字纸篓子，那东西也是嘴大脖子顶，它怎么一回都没叫唤过呀？

……

乙　字纸篓子它是竹子编的呀。

……

甲　竹子的不响？

乙　那是啊。

甲　那和尚、老道吹的笙管笛箫不也是竹子的？怎么一吹直响啊？

……

乙　它上边不是有眼儿吗？

甲　有眼儿啊，对呀！

乙　非得有眼儿的东西才响呢。

……

甲　那我们那筛子上好几百眼儿，它怎么不响呢？

……

乙　圆的扁的它不响。

……

甲　戏台上打那大锣不也是圆的扁的，当当当！那不响？都震得慌。

乙　锣，当中间有脐儿。

甲　嗯。

乙　有脐儿的东西才能响哪！

甲　我们家里那铁锅上有脐儿，敲碎了它也不响。

乙　铁的它不响。

甲　庙里挂那钟那不是铁的？

……

乙　是铁的。你得把它挂起来才响呢。

甲　铁的挂起来响？

乙　对。

甲　我们家门后挂着一个秤砣，挂了好几年啦，一回都没响过。

……

乙　那是死固膛的，不响。

甲　那炸弹不是死固膛的？

乙　嘿！

甲　大铁疙瘩，哐哐哐！响的更厉害！

乙　炸弹里头有药，有药的才响哪！

甲　药铺里卖那个药丸子，它怎么不响啊？

……

乙　他往嘴里吃的不响。

甲　往嘴里吃的不响？

乙　哎。

甲　小朋友吃的那个泡泡糖，那不是往嘴里吃的，梆梆梆！不响？

（传统相声《蛤蟆鼓儿》）

这个精彩的相声段子，叫做“子母哏”，表演双方用一种互相争辩的方式来探讨问题，“甲”不断发问，“乙”不断解释。由于“乙”的每一次解答，都犯了“以偏概全”的推理错误（如：从蛤蟆“嘴大脖子顸”，叫的声音大，概括出“只要是嘴大脖子顸，叫唤出来的声音就大”），给“甲”提供了“可乘之机”，“甲”便根据“乙”的回答，抓住“乙”观点中的不严密处，将乙的观点推导、引申到荒谬的结论上去（如：“字纸篓子”“也是嘴大脖子顸”，为什么不叫唤？）。这种“荒谬”，又具有喜剧因素，能够产生笑料。这

样，“乙”越解释越漏洞百出，“甲”则紧追不舍，一次次将“乙”的军，两人“抬杠”，一环扣住一环，矛盾迭起，高潮不断，产生出强烈的喜剧效果。

由此看出，巧用归谬法，可以使语言幽默、诙谐、生动，使一般的语言，具有特殊的表达功能。

在明人冯梦龙编著的《古今谭概》中，有几则巧用归谬法的故事：

⑤徐孺子（穉）南昌人，十一岁，与太原郭林宗游，同穉还家。林宅庭中有一树，欲伐去之，云：“为宅之法，正如方口，口中有木，困字不祥。”徐曰：“为宅之法，正如方口，口中有人，囚字何殊”。郭无以难。

郭林宗迷信，见宅中有树，便认为：宅院如方口形，口中一木，形同“困”字，这不吉利，要砍掉这棵树。十一岁的徐穉用归谬法反驳郭林宗：按你的说法，宅院里住人，就是“口中有人”，这岂不成了“囚犯”的“囚”字？你是否也要把“人”去掉呢？徐穉的反驳，很有力量，证明了郭林宗的观点是荒唐可笑、站不住脚的。

⑥《樗斋雅谑》云：近有一友有母丧，偶食红米饭。一腐儒以为非居丧者所宜。诘其故，谓红米喜色也。友曰：“然则食白米饭者，皆有丧耶？”

（明·冯梦龙《古今谭概》）

“腐儒”以“红米喜色”为由，反对有丧事的人吃红米饭，反驳者根据这一观点推论：如果“吃红米表示有喜事，那末吃白米饭的人是否都有丧事？一句反问，推翻了腐儒的谬说。

⑦一人盛谈轮回报应，慎无轻杀，凡杀一牛一豕，即作牛豕以偿，至蝼蚁亦罔不然。时许文穆曰：“莫如杀人。”众问其故，曰：“那一世偿债犹得化人也。”

（明·冯梦龙《古今谭概》）

按照轮回报应说，杀牛者下世变牛，杀猪者下世变猪。许文穆顺着这一逻辑推下去，自然得出杀人者下世变人的结论。杀牛豕，就要“作牛豕以偿”，杀了人，却还可以变人，这岂不是鼓励杀人？许文穆巧用归谬，揭穿了轮回报应说的虚妄，不可信。

归谬本来是逻辑学中一种论证或反驳的方法，这种方法是在论证

或反驳中，设法使与自己论题有矛盾关系的论题归于谬误，从而论证自己论题的正确性。

我们设归谬为辞格，则着眼于归谬在其语言表述过程中，具有特定的语言结构形式和特定的语言修辞功能。特定的语言结构形式，指归谬一般由摆出对方论点和推导对方论点归于荒谬这两部分内容构成，它们互相存依，缺一不可，前者是后者存在的条件，后者是前者引申的结果。特定的语言修辞功能是指恰当地运用归谬，可以增强语言的表现力，特别是增强语言的讽刺力量，或使语言幽默、诙谐，具有生动性。

141. 设　　难*

【设难】 shènán　提出无法实现的条件，难倒对方，使被难者的愿望无法实现。

①我要你一两星星二两月，
三两清风四两云，
五两炭烟六两气，
七两火苗八两光阴，
火烧龙须要九两，
冰琉子烧灰要一斤，
井里的塌灰要斤半
长虫汗毛要七斤，
苍蝇心来蚊子胆，
兔子犄角蛤蟆鳞，
四楞鸡蛋要八个，
三搂粗牛毛要九根，
雪花晒干要二斗，
天鹅绒毛织手巾。

（《辽宁传统曲艺选》）

这是东北二人传《杨八姐游春》中的一段唱词，故事是说宋天子看上了在郊外游春的杨八姐，便降旨要接杨八姐进宫，八姐之母佘太君难违君命，又不肯送女，于是列出礼单要现实生活中不存在的种种东西，以难倒对方，达到巧妙拒婚的目的。

②楚人有鬻矛与盾者，誉之曰："吾盾之坚，物莫能陷也。"又誉其矛曰："吾矛之利，于物无不陷也。"或曰："以子之矛，陷子之盾，何如？"其人弗能应也。

（战国·韩非《韩非子·难势》）

鬻矛和盾的人违背了逻辑的基本规律——不矛盾律；而诘问他的巧妙利用了不矛盾律的法则，以子之矛攻子之盾，进行设难，使对方陷入困窘之中。

以上两例可以看出，设难的基本特征是有意违反客观事理或思维逻辑，以荒谬无理的条件或诡谲的语言，诘难对方。其修辞效果主要是讽刺、幽默。比较起来，设难格与诡谐格多有交叉或重合，难于界定。因此，可以考虑将设难格并入诡谐格内。

142. 偏　语

【偏语】 piānyǔ　有意偏离事理或实际，以合情不合理、理乖情至的方式来传达感情。

①我来了，我喊一声，迸着血泪，
"这不是我的中华，不对，不对！"
我来了，因为我听见你叫我；
鞭着时间的罡风，擎一把火，
我来了，不知道是一场空喜。
我会见的是噩梦，哪里是你？
那是恐怖，是噩梦挂着悬崖，
那不是你，不是我的心爱！

（闻一多《发现》）

闻一多在美国留学期间，深感自己是“不幸的失群的孤客”，他魂牵梦绕着“如花的祖国”。但当他一脚踏进国门时，他表现出的不是游子回乡的炽热之情，却呼天抢地喊出了：“这不是我的中华”，“不是我的心爱”。真若“高山坠石，不知其来”！明明已回到祖国怀抱，却一口否认这是他“拼着寸磔的愁肠”，夜夜思归的“中华”，岂不悖谬之至！臧克家解释得好：当诗人天涯归来“希望变成事实的时候，他却坠入了一个可怕的深渊。他在美国所想象的美丽祖国的形象，破灭了！……他所看到的和他所希望看到的恰恰相反。他得到的不是温暖，而是一片黑暗、残破和凄凉。”《发现》反映的正是诗人对军阀混战下，破碎不堪的“中华”的深深失望和悲哀之情。这是爱国主义的激情燃烧所致：不“认”自己的祖国，恰恰是因为爱之弥深，希望过切，理乖偏而情至真。谁能否认这一点呢？

②萍　（走向鲁侍萍）鲁奶奶，您无论如何不要再固执哪，都是我错了。我求您！我求您放了她吧。……

凤　（走到鲁侍萍面前跪下）妈，您可怜可怜我们，答应我们，让我们走吧。

侍　（不做声，坐着，发痴）我是在做梦。我的儿女，我自己生的儿女，三十年功夫——哦，天哪，（掩面哭，挥手）你们走吧，我不认得你们（转过头去）。

（曹禺《雷雨》）

侍萍最不愿意看到的事情终于发生了，女儿四凤重蹈她三十年前的复辙，爱上了第二代周家少爷，且有了身孕。而这一对情人竟又都是她的亲生骨肉！她于震惊、痛苦、无可奈何之际，只有赌气地说“我不认得你们”，视爱儿爱女为陌生路人。这话偏离了实际，有违事理（天下哪有母亲不认识自己亲生儿女的？）。却写尽了侍萍此时难以承受精神上的巨大打击，希冀解脱的种种复杂心情。语中包含了多少难言之隐！

③满月推起海的大潮，
满月照得大地透明；
巡逻组长说：

"今夜月圆,注意潜听!"
月亮,不要照出我的影子,
风,不要出声;
祖国睡去了
枕着大海的涛声。
……

(李瑛《月夜潜听》)

要求月光不照出人影,海风不发出声响,怎么可能?可是在特定的诗境里,这些荒谬的要求,却如此率真地倾吐出了我们的战士对祖国深沉的爱情,写出了他们高度的警觉和高度的责任感,刻画了他们纯洁无瑕的心灵。司空图在《诗品》中说:"取语甚直,计思匪深""情性所至,妙不自寻",指的正是这种境界。

逻辑学告诉人们:在思维和论辩过程中,思维必须前后一贯,不能自相矛盾,这是一条基本规律。但文学作品中,作者常常可以"跳出"这条规律之外,让人物以自相矛盾的思维形式,来倾诉内心的情感,试看下面两例:

④我是一个信仰唯物主义的人,现在我却希冀着天国。倘若真有所谓天国,我知道,你一定在那里等待着我。我就要到那里去和你相会,我们将永远在一起,再也不会分离。

(张洁《爱,是不能忘记的》)

"我"是无神论者,偏又相信天国,对同一事物作了既否定又肯定的矛盾判断,然而这正微妙地揭示出"我"理智与感情上的困惑,曲折有致地表达了"我"对死者铭心刻骨的爱。

⑤忽然,"唰——唰——",她扫过来了。

我们相视一笑,代替了问好。她那扫帚落地,"唰——,唰——,"真象美妙的乐曲。她的额上,沁出了汗珠,我真恨这些叶儿,落了这么多。乐曲响着,"唰——,唰——,"她扫过去了,我又恨这树叶儿落得太少,怎么不多落一些,让她在我身边多扫一会。"唰——,唰——,"乐曲声远去了。

(孙继忠《秋叶》)

既望叶儿落的少，又盼叶儿落的多，前后两种心愿，完全相悖，而流露出的情感如此丰富细腻：恼恨落叶多，是怕累坏了“她”；唯恐落叶少，是希望“她”能在“我”身边多停留。

由此看来，“偏语”中的乖理，不能简单视为认识上的偏颇，它是作者有意为之，以不合理的形式，合乎情理地、自由地表达情感的一种修辞手段；它往往是作家联想、奇想、幻想的结果，是作家对生活的独特感受，不能把它和谬误混为一谈。

在古典诗文中，还有一类怨情诗，以迁怒于物的不合理形式，渲泻诗人的怨情之情。如南朝乐府民歌《读曲歌》：

⑥打杀长鸣鸡，弹去乌臼鸟。愿得连暝不复曙，一年都一晓。

主人公“愿得”黑夜相连，一年只有一个白昼，这已纯属痴话；对于曙色降临，她又迁怒于“报晓鸡”、“乌臼鸟”，要将其“打杀”、“弹去”，这更是荒唐之极。昼夜交替，是自然规律，与鸡、鸟何干？纵使它们全哑，白天也还要到来的。可是，这对于绸缪燕尔中的恋人来说，惟有黑夜才能使他们长相依不分离，于是，他们冒出这些“傻”念头，自然不足为怪了；或者，一位独守深闺的女子，她只能在漫漫长夜，在春梦中与情人（或夫婿）团圆，因而，她产生上述“妄想”也是情理之中的。理解了这些，诗中女主人公偏离常情常理的想法和举动正是合乎常情常理的另一种表现形式。

⑦西风吹急景，
美人照金井。
不见面上花，
却恨井中影。

（唐·曹邺《金井怨》）

世上有哪位青春女子，不为自己的美丽容颜而自豪的呢？唯独诗中这位汲井宫女，望着倒映金井的倩影，偏恨自己长得太漂亮了，这似乎又违反了人之常情。但细细想来，这位女子因貌美遭祸，如花红颜导致她被选入宫，终年幽闭于高墙之内，她恨及“井中影”不正是对不合理的宫廷制度的反抗与控诉吗？

爱极生恨，恨极而舍爱，感情激烈、偏执，超越了行为的常轨，这一

类的例子请看：

⑧俏冤家我咬你个牙厮对，平空里撞撞见你，引得我魂飞。无颠无倒，如痴如醉。往常时心如铁，到而今着了迷，舍生忘死只是为你。

（赵南星《劈破玉》）

“咬牙切齿”地爱，爱到恨不能咬下意中人身上一块肉，这真是近乎疯傻了。但是，你看到这位女子为爱情痴迷到“舍生忘死”的地步，你就能理解这种感情了。这种率真、泼辣、大胆、热烈的追求，是对儒家“温柔敦厚”人格模式的反叛。这位痴情女的形象多么可爱！

⑨花亦无知，月亦无聊，酒亦无灵。把夭桃斫断，煞他风景；鹦哥煮熟，佐我杯羹。焚砚烧书，椎琴裂画，毁尽文章抹尽名。……

上面录的是郑板桥《沁园春·恨》上片的一部分。诗人当时落拓扬州，功名不遂，一腔幽愤：“难道天公还箝恨口，不许长吁一两声？”恼恨到极点，便迁怒于花、月、夭桃、鹦鹉、琴、棋、画、砚、文章，以至要大“煞风景”，破坏种种美的事物。这种“颠狂甚”，恨极而舍爱的反常心理，从更深一层的意义上表现了作者与世俗对立、渴求个性解放的思想。

还有一类诗，通过浪漫奇特的思想，以种种不可能出现或事实上并不存在的自然现象为条件，从反面表示感情的坚定不移。

⑩……帝子泣兮绿云间，随风波兮去无还，恸哭兮远望，见苍梧之深山。苍梧山崩湘水绝，竹上之泪乃可灭。

（唐·李白《远别离》）

⑪……

人心回互自无穷，
眼前好恶哪能定？
君恩已去若再返，
菖蒲花开月长满。

（唐·张籍《白头吟》）

上两例中，山崩水断，菖蒲开花，月长圆的现象，违反自然规律或事实上难以出现，作者这样大胆悬想，例⑩是从反面写娥皇女英对舜的思念之情永远不会终结；例⑪则从反面说明“君恩”一去，绝难回复。

总之，偏语不偏，理乖是虚，情达是实；偏理为衬，正情为本，“歪打”是为了“正着”。正确运用偏语，可使诗文曲折新奇，余韵深长。

143. 设　　誓*

【设誓】 shèshì　提出难于实现或者无法实现的条件来表达坚定信念和决心。

①哎呀，小姐呀！说出来有点难为情
——看轻我今世无功名，
若要我方卿高官做，
滚水里呀结成冰；
若要我方卿高官做，
冬菜坛里重透青；
若要我方卿高官做，
南洋翻转来种红菱。

（常锡戏《珍珠塔》）

②上邪，我欲与君相知，长命无绝衰：山无陵，江水为竭，夏雨雪，天地合，乃敢与君绝。

（宋·郭茂倩《乐府诗集·上邪》）

③枕前发尽千般愿；
要休且待青山烂。
水面上秤锤浮，
直待黄河彻底枯。
白日参辰现，
北斗回南面。
休即未能休，
且待三更见日头。

（任二北《敦煌曲校录·菩萨蛮》）

例①用根本不可能出现的物理现象设誓，表明主人公不慕高官的清白之志。例②、③则以极罕见或根本不会出现的自然现象设誓，强调青年男女对爱情的矢志不二、忠贞不渝。三例中的誓言或不合事理，或脱离实际，或违反逻辑，但在特定的语境中，理不通而情通，唯其如此，才能表述坚定的信念和强烈的情感。因此，设誓也是以偏离实际的形式来表情达意的，在基本方面它与偏语格相同。

144. 谲　辞

【谲辞】 juécí　为掩饰真情而说假话，以便在社会交际中收到积极的效果。

①送郎送到灶跟头，吃(被)郎踢动了火叉头。娘道："丫头要(啥)个响？"小阿奴奴回言道："灯台落地狗偷油。"

(明代山歌《送郎》)

②高高山上一树槐，
手攀花枝望郎来；
娘问女儿望什么？
"我望槐花几时开。"

(《四川山歌》)

③黄昏狗咬叫汪汪，
定是情郎把我张；
开仔扇门娘骂我，
"娘啊，我花鞋未收怕落霜。"

(《吴歌》)

④东方发白雄鸡啼，
一身露水两脚泥。
娘问为啥起身实梗(这样)早？
我说早起去摘大甜梨。

（《吴歌》）

四首民歌有异曲同工之妙，诗中女主人公大胆追求爱情，她们冲破传统观念，与情郎“私会”，又唯恐被自己的“娘”发觉，于是出现了喜剧性的情节，女儿们一致用“谎言”搪塞母亲。例①中，姑娘与情郎幽会，送郎走出灶房，紧张中，情郎踢响了灶前的火叉，惊动了屋里的“娘”，在他们的秘密行将暴露之际，聪明机灵的“小阿奴奴”只有诡称：是狗偷油吃，碰翻了灯台。“谎言”随口而出，巧妙地掩饰了真情，而展示给读者的，正是姑娘纯真、美好的心灵。同时“偷油”使人联想到“偷情”，姑娘聪明之余，还是留下了“疏忽”这便造成了诗的喜剧效果，充满戏谑意味。例②姑娘急等郎来，居然不顾一切地爬上槐树去张望，但她又无法解释自己这唐突的举止，只好哄骗母亲说：“我望槐花几时开。”生动的细节把个一往情深、活泼伶俐又带几分娇憨气的女孩子形象刻画出来了。例③人约黄昏后，犬吠情郎来，姑娘开门去赴约，佯称出屋收花鞋。在这“谎言”的背后，流露出的是她真挚热烈的爱情，表现出的是她的机智和勇敢。例④女主人公清晨幽会回来，不敢向“娘”吐露实情，便谎称“早起去摘大甜梨”，这“谎话”编得并不圆满，然而可贵的是她的行动，是她甘冒风险，不顾世俗指责，大胆追求爱情的精神。

《红楼梦》第三回写林黛玉进贾府，她“步步留心，时时在意”，“惟恐被人耻笑了他去”。当贾母问及她唸过什么书时，“黛玉道：‘只刚念了《四书》。’黛玉又问姊妹们读何书。贾母道：‘读的是什么书，不过是认得两个字，不是睁眼的瞎子罢了！’”听罢贾母这番话，黛玉马上意识到自己刚才答话失了口，因此，当见到宝玉，宝玉问她“妹妹可曾读书”时，她便改口答道：“不曾读，只上了一年学，些须认得几个字。”黛玉改口，显然是违心之举，是说谎，却极微妙地揭示出这位寄人篱下的孤女谨慎、多疑、敏感的心理，写出了她的聪颖与自尊。

⑤花狗不再做声，过了一会，便走开了。不久丈夫从他处拿了大把山里红果子回来，见萧萧一个人坐在草地上，眼睛红红的，丈夫心中纳罕。看了一会。问萧萧：

“姐姐，为甚么哭？”

“不为甚么，灰尘落到眼睛窝里，痛。”

"我吹吹吧。"

"不要吹。"

"你瞧我,得这些这些。"

他把手中拿的和从溪中检来放在口袋里的小蚌、小石头全部陈列到萧萧面前,萧萧泪眼婆娑看了一会,勉强笑首说:"弟弟,我们要好,我哭你莫告家中,告家中我可要生气!"

(沈从文《萧萧》)

萧萧是童养媳,比"丈夫"大近十岁,两人以姐弟相称。花狗是一位青年雇工,与萧萧偷情。萧萧有了身孕,来找花狗商量,希望他带她一起外逃,去寻找一种新的生活。花狗胆小,不敢承担责任,萧萧因此气得哭了,被"丈夫"发现后,只好谎称"灰尘落到眼睛窝里",以哄骗"丈夫",怕他回家后多嘴,引起家中人对自己的怀疑。

萧萧的一句"谎言",展示出了她无限凄怨、痛苦的内心世界。

谲辞作为辞格形式,它所揭示的语言现象应该具有典型意义和美学意义,其价值在于干预人的灵魂,运用虚假的语言形式,曲折地反映人物的内心世界,揭示其"真"的、"美"的本质。正是从这个意义上,我们说,谲辞应该具有积极的社会交际作用和表达效果,因此,不能把它和现实生活中的撒谎、骗人、说瞎话混为一谈。

另外,谲辞研究的是一种文学语言现象而不是生活语言,我们设立谲辞格,研究谲辞也绝不意味着提倡说假话,这一点应该是明白无误的。

145. 巧　　缀

【巧缀】 qiǎozhuì (曲说)曲解一个词语或一个事物,并按照曲解后的意义说开去。

①赵辛楣鉴赏着口里吐出来的烟圈道:"……方先生在外国学的是什么呀?"

鸿渐没好气道："没学什么。"

苏小姐道："鸿渐，你学过哲学，是不是？"

赵辛楣喉咙里干笑道："从我们干实际工作的人的眼光看来，学哲学跟什么都不学全没两样。"

"那么得赶快找个眼科医生，把眼光验一下；会这样看东西的眼睛，一定有毛病。"方鸿渐为掩饰斗口的痕迹，有意哈哈大笑。

（钱钟书《围城》）

赵辛楣对方鸿渐学哲学不以为然，一味加以贬低，方则反唇相讥，他抓住赵说话中的"眼光"一词，根据词的多义性特点，曲解"眼光"为"视力"，并照此意义说开去，趁势挖苦赵应该赶快看眼科医生。

②美丽的故乡太行山，

好听的山名儿一大串：

有的名叫金牛山，
金牛牛拉犁春泥翻；
有的名叫扁担山，
挑得那秋粮堆上天；
有的名叫磨子山，
冬雪纷纷扬白面；
有的名叫馍馍山，
馍馍太大呀没法端；
有的名叫轱辘山，
车轱辘一转哟到边关；
有的名叫望儿山，
儿在千里母心牵；
有的名叫锣鼓山，
锣鼓敲得月儿园；
有的名叫牧笛山，
牧笛声亮山歌儿甜……

（李学鳌《太行山的山》）

诗人从山名出发，展开丰富的联想，把金牛山、扁担山、磨子山、馍

馍山、钻辘山……牧笛山，曲解作真的金牛、扁担、磨子、馍馍、钻辘……牧笛等形象，然后再根据这些形象的特征或其所具备的功能，顺势说开去，巧妙地缀附，衍生出一系列新的形象；金牛拉犁，扁担挑粮，磨子磨面，馍馍个大，车轮滚滚……牧笛声扬。这些新的形象，朴实可爱，散发着浓烈的乡土气息，倾注了诗人对故土深厚真挚的爱。

③县官清如水，
令史白如面；
水面打一和(huò)，
糊涂成一片。

这是元杂剧中，贪官们上场合念的四句定场诗。前两句，县官、令史(掌管文案的吏)自夸"清白"有如"水"和"面"。三、四句曲解了这一一比喻，将做为喻体的"水"、"面"当作了真的"水"与"面"再就着曲解后的意思顺势说下去："水面打一和(huò)"便成了"糊涂"(浆糊)，"糊涂"又谐音双关，揶揄了县官、令史的昏聩无能。

从上述三例可以看出，巧缀包括：曲解词义的巧缀；曲解事物的巧缀，曲解词语修辞手法的巧缀。

一、曲解词义的巧缀；利用汉语语词多义性的特点，有意改变词语在文中的确定含义，故作他解，再顺势说开去。

④妈妈坐在床沿上，一针一线地补着空空如也的粮袋，爸爸刚在十平方米的房子里，一边来回沿着对角线踱步，一边拉着长声背诵屈原的《离骚》："余既滋兰之九畹兮，又树蕙之百亩……朝饮木兰之坠露兮，夕餐秋菊之落英……"其声断断续续，飘飘悠悠，"兮、兮"之声满屋回荡。妈妈半是打趣半没好气地说："是够'稀'的，咱家粥最稀，又没那么多碗。你背那管什么？怎么也是'稀'，糨不了！"几个饥肠辘辘的孩子，每听至此，总免不了一番大笑。

(徐永青等《80年代风华录·笑之塑造》)

"兮"是古代辞赋中的语助词，"妈妈"把"兮"曲解成举家食稀粥的"稀"，然后打趣地说：粥稀，怎么也"糨"不了。话语风趣，却透出几分辛酸，写出了贫寒人家苦中求乐的生活光景。

⑤在部队住村的村口，秦守本看到张华峰和自己班里的人，隔

得老远就高声地喊着：

“捉了一个师长！”

“是中将上将？”有人问道。

“不知道！不是辣椒酱，就是豆瓣酱！”

秦守本抹着汗水，笑着回答说。

（吴强《红日》）

“将”、“酱”谐音，秦守本把“将级军官”的“将”，曲解为豆麦发酵后加盐制成的调味品——“酱”，然后顺势说下去，把“中将”、“上将”与“辣椒酱”、“豆瓣酱”混为一谈，表示对敌人的嘲讽，充满了战斗胜利的豪情。

二、曲解事物的巧缀：曲解某一事物，把它当作另一真的事物，并就势说下去。

⑥又在《奔流》一位编辑同志的提醒下，改写了几年前的一篇旧作《丹梅》。

三月，在《人民文学》的枝头，首先绽开了《丹梅》。

（叶文玲《驽马十驾功不舍》）

《丹梅》是一篇文学作品，作者为了行文生动、富有情趣，真的把它当作了一枝红色的梅花，并将《人民文学》比做一株梅树，于是说《丹梅》“绽开”在《人民文学》的枝头”。文字间渗透出一种获得成功的喜悦感。

⑦近一两年来，流行音乐占领舞台，不但歌星们争赶时髦，开口《大篷车》，闭口《酒干淌卖无》，就是以演奏民族音乐为已任的专业民乐团体，也纷纷改弦易辙，引进迪斯科，……使原来渐趋多样、丰富的音乐舞台，又清一色起来。

“感冒喉咙”、迪斯科音乐，我也要听。在那天天唱语录歌、造反歌的年代，真希望能听到轻松一点的东西。现在有了，不是很好吗？不过一味的开大篷车，喝淌不干的酒，也叫人倒胃口。”

（萧丁《牛弹琴》）

《大篷车》、《酒干倘卖无》是两首风行一时的通俗歌曲。作者曲解歌名，把它们当成真的“大篷车”和酒，再顺势说开去：“不过一味的开大篷车，喝淌不干的酒，也叫人倒胃口。”这话说得俏皮！若平铺平叙地说：

“不过一味地唱《大篷车》,唱《酒干淌卖无》也叫人倒胃口”岂不就味同嚼腊了?

⑧看着父亲得意忘形,老三的母亲就要讲老三的父亲的那桩风流事。

据母亲介绍,老三的父亲年青时搞过一个日本姑娘,叫木婉。一到这时,老三的父亲就软了下来,挺狼狈:“嘿嘿,什么木碗,木盆的……”

(阿成《年关六赋·赋二》)

利用谐音,把日本姑娘的名字“木婉”解作木制的碗,再顺此意说开来“什么木碗、木盆的,”父亲这样讲是为了掩饰内心的不安。

⑨“你为什么叫沙龙呢?”

“是老师给起的呗。”

“这名字不好。”

……

“为什么不好?”

“龙都欢喜水的嘛,龙在沙里还不渴死了。”

“还是李沙龙好,你看那道沙梁象不象一条龙?”

这个任性的姑娘,最恨别人和她抬杠,……她用两个拳头在他背上捶着:“龙就是喜欢水嘛,龙在水里才能翻江倒海嘛!”

心有灵犀一点通。

……只听他轻轻地说:“我哪里能成为龙,只不过是一条小泥鳅……”

听到这里,萧溪溪上去用手捂着他的嘴,不让他再说下去。她在他的耳边悄悄地说:“你不是泥鳅,你是一条龙,是一条到小溪边来喝水的沙龙。”

(郑重《沙漠与海》)

火箭弹道女工程师萧溪溪爱上导弹设计师李沙龙,她以十分委婉的方式向李表示自己的爱情,先曲解两个人的名词,把“溪溪”当作一条真的小溪,“沙龙”当作真的“沙之中龙”,然后巧妙地顺势说开来:沙龙要到小溪边喝水。这不就暗示着他们的结合吗?这样的恋爱语意充满了

诗意。

三、曲解词语修辞手法的巧缀：有意曲解词语所运用的修辞手法，再说下开去。

⑩有一道学，高屐大履，长袖阔带，纲常之冠，人伦之衣，拾纸墨之一二，窃吻唇之三四，自谓真仲尼之徒焉。时遇刘谐。刘谐者，聪明士，见面而哂曰："是未知我仲尼兄也。"其人勃然作色而起曰"天不生仲尼，万古长如夜。子何人者，敢呼仲尼而兄人？"刘谐曰："怪得羲皇以上圣人尽是燃纸烛而行也！"其人默然自止。

（明·李贽《赞刘谐》）

"天不生仲尼，万古长如夜"本是一个比喻。刘谐为了嘲弄这位假道学先生，故意曲解这个比喻，把孔子出生前的时代当真看作是漫漫长夜没有光明，于是说：难怪羲皇以前的圣人都要燃纸点烛才能走路呢！

⑪平儿……一面回头笑道："奶奶，别这么摸得我怪痒痒的。"李纨道："嗳哟！这硬的是什么？"平儿道："是钥匙。"李氏道："有什么要紧的东西怕人丢了去；这么带在身上？我成日和人说：有个唐僧取经，就有个白马来驮着他；刘智远打天下，就有个瓜精来送盔甲；有个凤丫头，就有个你，你就是你奶奶的一把总钥匙，还要这钥匙做什么？"

（清·曹雪芹《红楼梦》第39回》）

平儿伶俐能干，是王熙凤的得力助手，所以李纨打趣地把她比做王熙凤的一把总钥匙，并曲解这一比喻，再缀上一句"你就是你奶奶的一把总钥匙，还要这钥匙做什么"。

以上三种巧缀形式，曲解事物的巧缀最为常见。

巧缀必须由两个部分组成：曲解部分和展开部分。曲解部分先对词语、事物及某种修辞手法作歪曲性解释，这是基础；展开部分则在歪曲性解释的基础上，做进一步的渲染、发挥、引申、触类旁通，使语言获得特殊的表达效果，既可以妙语解颐，或平中出奇，或讽刺抨击。

146. 拈　嵌*

【拈嵌】 niānqiàn　拈连结合镶嵌的特殊的修辞方法。

①大雨冼星海，
长虹万籁天。
冰莹成舍我，
碧野林枫眠。

（老舍）

这首风趣的五言诗共嵌入八个文艺家的名字，其中冼星海、万籁天、成舍我、林枫眠、碧野取全称；孙大雨、高长虹、谢冰莹只取名而略去了姓。

②乙　……你这自传从哪谈起？

甲　从我的《家》。

乙　《家》，也有这部电影，家住在什么地方？

甲　在《金沙江畔》《风云岛上》《巴黎圣母院》《六号门》。

乙　这地方哪去找？你家有几个人？

甲　《五朵金花》。

乙　都有谁呀？

甲　有我《父亲》《轧钢工人》《林则徐》。

乙　你说这谁敢信哪？林则徐是他爸爸？你往下说吧！

甲　我《母亲》是《乡村女教师》《祥林嫂》。

乙　祥林嫂？

甲　她是《江南村的妇女》。我哥哥是《青年鲁班》《夏伯阳》。

乙　你妹妹是谁呀？

甲　《刘三姐》

乙　嘿！这家子古今中外都凑齐了……

（相声《我的自传》）

《我的自传》共拈合嵌用了二百多部中外电影片名、洋洋大观。拈嵌格中的“拈连”，含义较为宽泛（详看本辞典拈连格）。属于例①型的例子和属于例②型的例子，因为嵌入的人名及电影片名的含意被曲解后，并就势说开来，再连缀到了一起，所以也可以将这类型的例子归入了巧缀格。

147. 歧　　疑

【歧疑】 qíyí （设歧）话说半截，有意保留其关键性的部分，造成对方的误解、悬疑，然后再补充，说出其保留的部分。

①当宣传正在大吹大擂地进行的时候，鲁迅先生为我们讲了个故事，他说：“我们乡下有个阔佬，许多人都想攀附他，甚至以和他谈过话为荣。一天，一个要饭的奔走告人，说是阔佬和他讲了话了，许多人围住他，追问究竟。他说：‘我站在门口，阔佬出来啦，他对我说：滚出去！’”

听讲故事的人莫不大笑起来。

（唐弢《琐忆》）

“要饭人”先隐去了和“阔佬”谈话的内容，声称“阔佬和他讲了话了”，造成众人的误解，以为“阔佬”对“要饭的”格外赏脸，待说出谈话的内容不过是“阔佬”骂了“要饭的”一句“滚出去”。事情才真相大白。对话中，先不涉及所谈事物的实质性内容，有意使词语含义宽泛、模糊，造成误解，引对方入“歧途”然后再“抖包袱”，说明实情，使人恍然大悟，造成喜剧性效果，这是歧疑的第一种形式。

②每个战士眼窝塌了，脸颊凹下去了，脸也黄了。马学文全身飞着布缕缕，露出精瘦的“排骨”，一见高山河笑着嚷：“你胖了。”

高山河摸着脸颊说：“一天水米没沾牙，往哪儿胖去？”

马学文说：“眼珠胖了。”

（杨朔《洗兵马》）

战士们个个都瘦了，马学文偏说高山河“胖了”，这使人疑惑不解。待马学文说出是：“眼珠胖了”之后，读者哑然。这里，马学文利用“胖”字设歧，“胖”被赋予了“突出”、“显大”的特殊含义，而高山河仍按照一般意义理解“胖”，于是双方认识有了“矛盾”，产生了喜剧效果，马学文风趣幽默的性格和乐观主义精神得到了生动的描写。

③赵云飞停顿了一会儿才说：“我一生最大的错误和最大的幸福，都是娶了你这位夫人。”

“胡说，怎么会是最大的错误？难道我不好？”

老太太挣开老爷子的手。

老爷子看着星空，虔诚地说：“我的错误是让这么个好人跟我五十年尝够了痛苦。我的幸福是她每次都把痛苦变成甜蜜。”

（苏叔阳《五十周年婚礼日》）

赵云飞和夫人孙宏霞在“金婚”纪念日这一天，重游他们年轻时谈恋爱常去的地方，俩人沉浸在幸福的回忆里。但偏在此时，赵云飞却说“我一生最大的错误……是娶了这位夫人。”这一说，使孙宏霞大为误解。原来，赵云飞所说的“错误”，是指这么多年让老伴跟着自己受尽了磨难，因而感到歉意。这就更突出了两位老人几十年相濡以沫的感情。

④有位老牧人问阿凡提：“阿凡提，我放过很多羊，可是被狼咬死和死了的，也真不少呀！我想问问你，世界上到底有没有不吃羊的狼？”

“有！有！”阿凡提说。

“那是什么样的狼呀？”

“死狼呗！”阿凡提回答。

（《阿凡提的故事》）

对老牧人的提问，阿凡提作了肯定的回答。这超出了人们习惯性的思考范围，按照常识，人们通常认为，没有不吃羊的狼。而阿凡提的回答有悖常识，这就设下了悬疑，当阿凡提对答案作了进一步说明之后，读者开怀了，原来，阿凡提是运用求异思维的方式，推出这一可笑而又合理的结论来的。

⑤乙　你妹妹怎么找了个五十二的对象？

甲　我妈也纳闷儿，打听了一下。

乙　是你妹妹的对象吗？

甲　是我妹妹的对象。

乙　肯定是？

甲　肯定是！

乙　怎么这么大岁数？

甲　不是一般对象。

乙　什么对象？

甲　竞赛对象。

（相声《喜事》）

“对象”可以是各种各样的：“研究对象”、“培养对象”、“团结对象”、“恋爱对象”。“甲”先有意不限制“对象”的外延，使词义模糊，具有伸缩性，“乙”则误入“歧途”，按照人们通常的解释，把“对象”当成“恋爱的对方”。这就闹出了笑话，两个人怎么也谈不拢，绕了一大圈之后，甲才交底，是“竞赛对象”。“包袱”抖开，收到了预期的表达效果。

⑥甲　“这第三个条件嘛……”向大爷摸了摸胡子说：“我年轻。”

乙　啊？向大爷年轻？多大？

甲　“二十六”。

乙　二……二十六哪？

甲　当时，我也纳闷呀！向大爷胡子都白了，怎么才二十六呢？后来一问，我才明白。

乙　怎么回事儿呀？

甲　虚年六十五，实足二十六。

乙　噢，他算的是实足，咳！这也不对呀？

甲　一九四九年，向大爷光荣地加入了中国共产党。他说：“俺那岁数，得从在党旗下宣誓的那天算起！正好二十六。”

乙　噢，他算的是党龄。

（郭全宝《老号兵》）

既称之为大爷，胡子又都白了，怎么才二十六岁？这是一“歧”；既已

虚年六十五，周岁怎么才二十六？这是二次设歧。“甲”话说一半，有意制造年龄矛盾，令读者（听者）疑窦丛生，直至最后，“甲”才“亮底”：二十六岁是向大爷的党龄。

歧义的第二种形式是利用省略句，先省去句子的某些重要成分，以设下疑误，造成悬念，而后再释疑解误，使文字峰回路转，跌宕生奇。

⑦甲　哎呀！这才是真正标准的千里马！

乙　还夸哪！挺好的千里马让你给毁了！

甲　等我把马训好了，正赶上这一届的赛马大会。那天是人山人海，参赛的马有一百多号，我一看：“冠军是我的啦！”

乙　什么就是你的啦！”

甲　那些马都是我淘汰的。

乙　可是让人家选上了！

甲　比赛开始。砰！枪声一响，我的马第一个蹿出去啦！遥遥领先。刚跑半截，坏啦！后面的马超过去了！我可真急啦！用驯马棍在马背上一捅，你再看我这匹马，立刻精神抖擞，一声长鸣，鬃毛乱乍，四蹄腾空（学）啊……

乙　（高兴地）冲上去啦？

甲　（扭秧歌转圈儿）“呛呛七呛七……”

乙　又拉上磨啦！

（王存立《训马专家》）

创作于八十年代的相声《驯马专家》，讽刺抨击了现实生活中种种贻误人才、扼杀人才的错误思想和行为。那位“驯马专家”千方百计压制千里马的个性，磨灭其特长，把千里马驯成了一头驯服、只会低头拉磨的“灰毛驴”。这里摘引的是相声的结尾部分。当“甲”说到千里马在赛场上，抖鬃、腾空，一声长鸣：“啊……”时，后面的内容被省略了，作者在此布下“疑阵”设下“误区”，引读者（听众）“思”入歧途——他们根据前面的铺叙渲染，自然会以为千里马“冲上去了”，然而，结论是：千里马积习已成，又在原地转圈“拉上磨”了。作者在最后抖开“包袱”，释疑解误，让人们在否定的笑声中，去思考回味。

⑧甲　谁稀松？他们稀松。

乙　那您哪？

甲　我是精通。

乙　精通。

甲　十八般兵刃摆在我的面前。

乙　啊。

甲　我一样一样都能把它——

乙　练了。

甲　卖啦

（传统相声《大保镖》）

“我一样一样都把它——”这句话，“甲”先说出半句，截去了谓语，故意造成句子成分残缺，引起“乙”的误解，这是设歧。然后，“甲”再衬上谓语动词“卖”了，使句义完整，这是释疑。设歧，释疑之间，语义峰回路转，笑料便由此产生。

⑨甲　她们都牺牲了……

乙　啊?!

甲　——一顿午饭。

乙　嗨，你一块说不行吗？

（相声《海燕》）

“她们都牺牲了……”这句话，只说了半截，“甲”有意先省去宾语，造成句子歧义，引起误解，然后再补上宾语“一顿午饭”，使人顿释悬念，感到趣味无穷。

运用歧疑法，可以使语义节外生枝，陡起波澜，使表达曲折跌宕，增加其生动性、诙谐感。

148. 略　　补*

【略补】 lüèbǔ　有意省略句子中表示关键性或具体内容的词语，造成歧义，然后将省略的内容补充出来。

①甲　说真的，你和你哥哥，你们俩谁大呀？

乙　这脑子是够坏的，我哥哥当然比我大呀。

甲　什么？当然比你大，这话我就不明白啦！

乙　这有什么不明白的？人人如此，家家如此。

甲　不，我哥哥就比我小。

乙　啊，你哥哥比你小？……

甲　你看我哥哥才到我这儿（指肩膀）。

乙　噢，个儿比你小啊。

甲　你说什么哪？

乙　我说是岁数。

甲　岁数还问你呀？

（侯宝林《全家福》）

甲不说"我哥哥个儿比我小"，却说"我哥哥就比我小"，故意省去关键性名词"个儿"，造成语义分歧，使听众觉得不可理解，因为在通常的情况下，说谁大谁小，都是指年龄而言的。甲补说出"你看我哥哥才到我这儿"，听众才恍然明白了"比我小"的具体内涵。

此格也可将其归入歧疑格中。

149. 歧　　义*

【歧义】 qíyì　在特定的语境中，有意识地利用汉字一词多义的特点，造成语义分歧。

①甲　我再考你一个：李字去了木。

乙　这个字念"子"啊！

甲　不对了，念"一"。

乙　怎么念"一"呀？这个李字不是一个木字底下一个子字吗？您把那个木字去了，不就念子吗？

甲　念"一"。我说李字去了木，是去了那"了"和上边的那个

“木”，可不就剩一道了吗？

（侯宝林《猜字》）

按照思维定势，乙习惯地把“去了木”中的“了”理解成时态助词，所以猜“子”。而甲则从另一个思维角度，利用“了”字的多义性，把谜底解作“一”。

②栾平　嘿嘿嘿，好一个胡彪，你不是……

杨子荣　是我的不是，还是你的不是？

（京剧《智取威虎山》）

栾平在威虎厅认出了化装打入匪巢的杨子荣，要告发他不是胡彪，是解放军，机智的杨子荣截住了栾平的后半句话，把表否定判断的“不是”，偷换成“不对”、“有错误”的意思，转移论题，争取了主动。

本辞典根据汉语词语多义性的特点，设了曲解、别解、诡谐、双关等格。上面所举的两种类型例子，属于例①型的可归入曲解格，属于例②型的可归入诡谐格。

150. 设　误*

【设误】 shèwù　说话行文时，故意在不该停顿的地方停顿，引起对方误解，然后再把后半部分讲出来，使对方恍然大悟。

①甲　你是不是跟猪有联系？

乙　是有联系。下班以后我去看电影，有联系吗？

甲　有啊，你一进电影院就坐在猪……

乙　啊?!

甲　不，就坐在那猪皮面的椅子上了。

（朱学颖《挖宝》）

②《语林趣话》中讲了这么一个故事：郑板桥冒雨往一位陶姓朋友家祝寿，主人捧出纸笔，恭请题字，郑略加思索，挥笔写下：“奈何”二字，众客人都不解，郑板桥接连又写出两个“奈何”，大家更是

惊愕，主人也有几分尴尬，谁知接下来，郑板桥写了第四个“奈何”，大厅里的气氛有些紧张了，贺客们觉得郑板桥玩笑开得过分了，郑却笑而不言，将下文一挥而就，展示于众，原来是一首诗：

奈何、奈何、奈何，
奈何今日雨滂沱。
滂沱雨祝陶公寿，
寿比滂沱雨更多。

全诗用顶针法，博得了众人的赞赏，郑板桥在写诗过程中，屡屡设误，传下了佳话。

以上设误与歧疑格相同，因此也可将设误并入歧疑格。

151. 返　　射

【返射】 fǎnshè　借用对方说过的话语，来反驳、反讥、戏谑对方。即以其人之“言”，还治其人之身。

①“那是假话吗？你们一个饭缸子，也盛饭，也盛菜，也洗脸，也洗脚，也喝水，也尿泡，那是讲卫生吗？”她笑着用两手在冷水里刨抓。

“这是物质条件不好，不是我们愿意不卫生，等我们打败了日本，占了北平，我们就可以吃饭有吃饭的家伙，喝水有喝水的家伙了，我们就可以一切齐备了。”

……

“光着脚打下去吗？”女孩子转脸望了我脚上一下，就又低下头去洗菜了。

我一时没弄清是怎么回事，就问：

“你说什么？”

“说什么？”女孩子也装没有听见，“我问你为什么不穿袜子，脚不冷吗？也是卫生吗？”

“咳！”我也笑了，“这是没有法子么，什么卫生，从九月里就反扫荡，可是我们八路军，是非到十月底不发袜子的，这时候，正在打仗，哪里去找袜子穿呀？”

……

“我给你做。”女孩子洗好菜站起来，“我家就住在那个坡子上”，她用手一指，“你要没有布，我家里有点，还够做双袜子。”

……

我洗过脸，回到队上吃了饭，就到女孩子家去，她已在烧火，见了我就说：“你这人倒实在，叫你来你就来了。”

我既然摸准了她的脾气，只是笑了笑，就走进屋里，屋里蒸气腾腾，等了一会，我才看见炕上有一个大娘和一个四十多岁的大伯，围着一盆火坐着。在大娘背后还有一位雪白头发的老大娘。一家人全笑着让我炕上坐。

……

大娘从炕角里扯出一块白粗布，说：

“这是我们妞儿纺了半年线赚的，给我做了一条棉裤，剩下的说给她爹做双袜子，现在先给你做了穿上吧。”

我连忙说：

“叫大伯穿吧！要不，我就给钱！”

“你又装假了，”女孩子烧着火抬起头来，“你有钱吗？”

大娘说：

“我们这家人，说了就不能改移。过后，再叫她纺，给她爹赚袜子穿。早先，我们这里也不会纺线，是今年春天，家里住了一个女同志，教会了她。还说再过来了，还教她织布哩！你家里的人，会纺线吗？”

“会纺！”我说，“我们那里是穿洋布哩，是机器纺织的。大娘，等我们打败日本……”

“占了北平，我们就有洋布穿，就一切齐备！”女孩子接下去，笑了。

（孙犁《山地的回忆》）

"女孩子"接过"我"的话碴，用"我"原先对她讲过的一番话"等我们打败了日本，占了北平，……我们就可以一切齐备了"来回敬我，表现出她的活泼、调皮。"返射"多见于人物对话，往往要在较长的语段中出现。

②二诸葛的脾气又上来了，瞪了小二黑一眼道："由你啦？"区长道："给他订婚不由他，难道由你啦？老汉！如今是婚姻自主，由不得你了，你家养的那个小姑娘，要真的是没有娘家，就算成你的闺女好了。"二诸葛道："那也可以，不过还得请区长恩典恩典，不能叫他跟于福这闺女订婚！"区长说："这你就管不着了！"二诸葛发急道："千万请区长恩典恩典，命相不对，这是一辈子的事！"又向小二黑道："二黑！你不要糊涂了！这是你一辈子的事！"区长道："老汉！你不要糊涂了；强逼着你十九岁的孩子娶上个十二岁的小姑娘，恐怕要生一辈子的气！……"

（赵树理《小二黑结婚》）

区长两次用"二诸葛"的话，反驳"二诸葛"。一是指出，新时代儿女婚事由不得父母包办了；二是告诫他以命相不对"强逼"二黑才是真正的"糊涂"。区长的反驳，一针见血，简捷有力量，二诸葛无言以对。

③"讲个笑话给你听"，她变得主动了，"我刚到奶牛厂时，见了奶牛对我瞪眼睛我就害怕，不敢靠前。后来她们教我一条经验，挤奶前对奶牛作揖，并且还要说，'低头不见抬头见，请多关照，请多关照'……真行！"

他没笑。她自个儿笑起没够儿。

他猛然一站，她吃一大惊。

他深深作揖："低头不见抬头见，请多关照，请多关照！"

她仰脸儿呆望着他。

他复作一揖："低头不见抬头见的，请多关照，请多关照！"

她以为他逗乐儿，研究他半天，结果满拧。

她将手中那把豆摔在盆里，迸溅得哪儿哪都是，绯红了脸，起身往外便走。

"二妹，饭菜眼瞅着做好了，你别走哇！"

"姐……哼！他拿我当奶牛！……"

（梁晓声《雪城》）

“他”是姚守义，“姐”是曲秀娟，“她”是曲秀娟的“二妹”，姚守义深深爱着曲秀娟，而曲秀娟没有勇气接受姚的的爱情，便想把“二妹”介绍给姚守义，并约他们两人来家里相见。双方会面后，“二妹”主动找话题向姚介绍自己的工作。姚无心和“她”交谈，就抓住她对奶牛说的一句话回复她，直接表明了自己的态度，把“二妹”气跑了。这反映出姚守义坦诚、幽默的性格及他对曲秀娟专一不变的感情。

④一九七六年春，我厂号称“小爬虫”的寇某，杀进办公室，清算车间主任的“翻案”罪行，一见面，主任问候道：“‘小爬虫’又爬来了？”寇某自豪地答：“只要‘走资派’还在走，我‘小爬虫’就要爬！”

话不投机，主任借故离去，临别打招呼：“我‘走’了，你请爬吧！”

（薛冰《走与爬》）

车间主任说“‘小爬虫’又爬来了”，这是在嘲讽寇某，寇某接过这句话，返射主任，“只要‘走资派’还在走，我小爬虫就要爬！”大言不惭！足见其顽固、无耻。妙的是，主任又接过寇某的话，以其言还治其身，“我‘走’了，你请爬吧”，无情地奚落了寇某。这段对话，两用“返射”法，非常精彩。

⑤我在美国东岸一所长春藤大学里干到手一张文凭，就开车到纽约来找工作，……应下了一份华语小报的记者差事。

二凤当时住在学生宿舍里读书，听学之后，谴责我万里迢迢跑到美国来还泡在中国人堆里穷混。我说什么中国人美国人，这是生计问题。

结果颠倒一混就是几个年头。

后来二凤毕业之后，居然也一家伙在一家中方投资的商号应了份差事。我拿她当初的话去质问，她耸耸肩道：“生计问题嘛。”

（查建英《献给罗莎和乔的安魂曲》）

二凤本来看不起“我”在“中国人堆”里找工作，但她最后也在一家“中方投资”的商号里应了差，她只得借“我”的话回敬“我”，为自己找台阶下，颇含自嘲的意味。

⑥琦仲　请问老伯，这才貌俱全四个字，还是老伯眼见的，耳闻的？

补臣　耳闻的。

琦仲　自古道，“耳闻是虚，眼见是实”。小侄闻得此女竟是奇丑难堪，一字不识的。

补臣　娶妻娶德，娶妾娶色……

琦仲　就依老伯讲，色可以不要，德可是要的么？

补臣　妇人以德为主，怎么好不要！

琦仲　这等，小侄又闻得此女不但恶状可憎，更有丑声难听。

补臣　我且问你，她家就有隐事，你怎么知道？还是眼见的，耳闻的呢？

琦仲　眼……（急停，思量介）是……耳闻的。

补臣　（大笑介）你方才说我“眼见是实，耳听是虚”，难道我耳闻的是虚，你耳闻的就是实？

（《中国十大古典喜剧集·风筝误》）

文中“此女”系詹爱娟，她爱上了韩琦仲，约她私会，琦仲却误把詹爱娟当作了詹淑娟，认为她“奇丑难堪”、“丑声难听”，而戚补臣却夸詹爱娟才貌俱全，二人争辩，补臣抓住琦仲“耳闻是虚，眼见是实”的话反驳琦仲，以子之矛攻子之盾，使琦仲哑然。这段对话机智幽默，充满着喜剧色彩。

⑦董叔（晋大夫）将娶于范氏（晋正卿范宣子的女儿，献子的妹妹范祁）。”叔向（晋大夫）曰：“范氏富（意思是富必骄人），盍（何不）已乎？”曰：“欲为系援（联系，攀附）焉。”

他日，董祁（范祁嫁董叔，故称董祁）诉于范献子，曰：“（董叔）不吾敬也。”献子执而纺（吊悬）于庭之槐。叔向过之，（董叔）曰：“子盍为我请（说情）乎？”叔向曰：“求系得系矣，求援得援矣，欲而得之，又何请焉？”

（《国语·晋语九》）

董叔一心攀附权贵，向范氏求婚，叔向警告他，董叔不听，还辩解道：“我正好借这门亲事来联系、攀援范氏家族呢。”婚后不久，范氏以董

叔“不敬”为由，让范献子治罪董叔，范献子把董叔吊在了庭院的槐树上。叔向从这里经过，董叔求他去说情，叔向反讥道：“你求联系，现在已经系上了，你想攀援，现在也攀援上了，你还有什么可请求的。”

叔向借董叔当初说的“欲为系援”一语来回敬董叔，语义双关，风趣而含蓄，董叔真是自作自受。

返射，从形式上看与引用相似，它们的区别在于：一，引用所引的是名言、诗词、警句、成语、故事等；返射则是在特定的语境中，用对方的一段话语回敬对方。离开了语境，这句话就失去了修辞意义。二，反射中，乙借用甲的话语在文中共出现两次，先由甲说出，再由乙说出，读者方可领悟其含义；引用则是将文外的名言等引入文内，一般只出现一次。三，返射与引用的目的不同，返射是借用对方的话反驳、反讥、戏谑对方；引用则是为了加强判断、推理或增加行文的生动性。

152. 稽　　新*

【稽新】 jīxīn　叙事作品中，人物对话中复述或暗指前文情节中“发生的故事”。

①湘云笑着，揎拳掳袖的，伸手掣了一根出来，大家看时，一面画着一枝海棠，题着“香梦沉酣”四字，那诗面道是：

只恐夜深花睡去。

黛玉笑道：“‘夜深’二字改‘石凉’两个字倒好。”众人知他打趣日间湘云醉眠的事，都笑了。湘云笑指自行船给黛玉看，又说：“快坐上那船家去罢，别多说了！”众人都笑了。

（清·曹雪芹《红楼梦》63回）

②宝玉尚未说话，黛玉便先笑道：“你看着人家赶蚊子的分上，也该去走走。”宝玉不解，忙问：“怎么赶蚊子？”袭人便将昨日睡觉无人作伴，宝姑娘坐了一坐的话告诉宝玉。

（清·曹雪芹《红楼梦》36回）

例①暗引二事："石凉"点湘云"醉眠芍药裀"；"快坐上那船家去罢"指宝玉被紫娟顽话吓病，疯说疯道，硬指着玩的自行船说是林家来接黛玉的。例②前文言及，宝玉午睡，宝钗来探，为宝玉驱蚊，恰为黛玉湘云所见。例中"看着人家赶蚊子的分上"就是黛玉借此事打趣的话。

"稽新"可使文章前后辉映，相顾成趣。"稽新"与用典，都是借旧证新，而二者大不相同。用典指诗文中引用古代故事及古书中引人注目的词 语；"稽新"限用于叙事文体，且在人物对话中，所用之"典"，必须出自 该文此前的情节中。"稽新"的"新"字，就是强调有别于用典的"借古"。"稽新"也不同于"返射"；"稽新"指对话中借用、点引前此不久的"往事"；而"返射"要求借用对方说过的话，意在"反唇相讥"或反唇相击。

153. 移　　时

【移时】 yíshí　故意把现代事物用于古代或者把古代事物用于现代，使现代事物古代化或者古代事物现代化。

移时的特征在于：突破历史时空的限制，有意让历史时空关系发生错位，混淆古今，移花接木，用荒诞的形式反映现实生活。

①汉高祖刘邦有些不同，走点弯路，当了沛公，便忘了他是保甲长出身，翘起了小尾巴，看不起知识分子，往人家帽子里撒尿，后来总算"提高了觉悟"，对郦食其"倒履相迎"，还作了一首"大风起兮云飞扬"，成了"诗人"，……

（老烈《乱弹》）

这是一段说史的文字，由于运用了移时法，语言饶有风趣。作者将刘邦其人其行现代化，自然不是要"拔高"历史人物，而是为了讽喻今人，是以刘邦为例，说明尊重人才，尊重知识分子的重要性。这段文字将议论包孕在对史料的生动描述之中，在充分注意史实的客观性的同时，

借题发挥，让史料带上强烈的主观感情色彩，荒诞而不失真。

②孔子的做定了“摩登圣人”是死了以后的事，活着的时候却是颇吃苦头的。跑来跑去，虽然曾经贵为鲁国的警视总监，而又立刻下野，失业了。

（鲁迅《在现代中国的孔夫子》）

“摩登”是音译的现代汉语形容词，“警视总监”是现代日本警察的官职，“下野”、“失业”都是反映现代政治、社会生活的词语，鲁迅用它们描述两千多年前的孔夫子，看似荒谬，但这正是对那些不断把孔丘“摩登化”，以之当敲门砖的统治者的有力讽刺！读者从中感受到的是一种睿智，一种诙谐，倘若将这些词语换成“至圣先师”、“司寇”、“去职”等，语言将折尽斗争锋芒。

③以《醉打蒋门神》《醉打山门》来看，酒又是壮胆之物。如无酒，武松未必敢打蒋门神，鲁智深亦未必敢打山门。如谓此言不确，请诸公去《水浒传》里亲自问武、鲁二人去。如无酒，恐武、鲁二人将曰：“考虑考虑，研究研究”耳。

（韩羽《就戏谈酒》）

“考虑考虑，研究研究”是现代官僚主义者办事拖拉、推诿的“标准化”语言，也是以权谋私者暗示对方行贿的“隐语”（“研究研究”谐音“烟酒烟酒”），此话竟由北宋朝的两位英雄好汉说出，风趣之余，不也有针砭时弊之意吗？

④他（海瑞）甚至还在“嘉靖”这两个字上做文章：“今愚民之言曰：‘嘉’者家也，‘靖’者尽也。谓民穷财尽，靡有蠲遗也。”简直是“恶毒攻击”，“反动透顶”，……

（牧惠《海瑞墓前的沉思》）

“恶毒攻击”、“反动透顶”是二十世纪六十年代“文革”时期的“样板”语言，文章用来评价四百多年前的古人，使读者设身处地领会到：当年海瑞“批逆鳞”而直谏，需要有多么大的勇气和决心。

⑤后来唐庄宗身死国灭，刘后带着珠宝金条，与小叔子双宿双飞。小叔子被杀，她投资盖了一座尼姑庵，下海当起尼姑来。

（台湾·李敖《“逸豫适足亡身”吗》）

刘后是一千多年前的人物，说她“投资”建庵“下海”为尼，自然语趣风生，活泼幽默。若照实说成：“捐钱建庵，削发为尼”，也未尝不可，但是文字的味道全无了。

综述以上，运用移时手法多在借古讽今，着眼于表达作者对现实生活的看法；有时仅是为了增强语言的艺术性，造成幽默、风趣的效果，更多的情况是二者兼而有之。

下面再举两个将现代事物古代化的例子。

⑥喜鹊崖的山民们，至今笃信鬼神。信鬼的同时，口里说着时兴话：五讲四美啦，文明礼貌啦什么的。可是张家二小子上完中专，留在省城工作后，村民们恭维人家老子却这么说：“你家风水好，娃娃总算吃上‘皇粮’，挣上‘俸禄’了……”

（权文学《在九曲十八弯的山凹里》）

山民们一方面讲着时兴话，一方面又郑重其事地沿用着封建时代的词汇，新旧语汇并存，说明“喜鹊崖”山村正处在新旧观念交替变更的时代。

⑦她生有数不清的耳朵和眼睛，注视着一切反常的迹象，为的是及时地采取措施或禀报老古，让他及时地颁布“诏书”，以儆天下。

（马铭《陋巷》）

“诏书”是封建帝王颁发的命令，用在这里，是古词今用，大辞小用，讽刺“她”、“老古”颇有些封建家长制味道的领导作风。

在相声艺术中，常常运用移时手法。相声可以充分利用移时的荒诞形式，造成更大跨度的时空交叉，古今杂糅，构成噱头。

⑧甲　玉兰这一番哭诉，震动了包公那正直善良的心，心想，黎民百姓被屈含冤，我应替他们申冤报仇，皇亲国戚我就不敢惹了吗？王子犯法与庶民同罪，法律面前人人平等，陈小美非铡不可。

甲　王朝、马汉含糊了，由打皇上一来，俩人就嘀咕。

乙　他俩害怕什么？

甲　心说：包大人，我们跟您二十多年，什么便宜也没占着，到

现在捅这马蜂窝，明儿个您离休了，皇上怪罪下来我们活得了吗？陈小美我们不能铡。

乙　那怎么办？

甲　王朝请病假。

乙　干吗还请假呀？

甲　不请假年终奖扣了怎么办？

乙　这还算计呢？

甲　演马汉的是蒙族演员，冲着包公唱了段数来宝：

尊一声我的包相爷，
今天向您来告别，
申请去搞第三产业
批发公司去卖皮鞋

乙　好嘛，马汉卖鞋去啦。

（相声《包公传奇》）

这一段相声，在传统的包公故事中掺进大量现实生活的材料和现代用语，借古人之口，演说今人之事，古今颠倒，抖出一串“包袱儿”，读者开怀之余，从中还能悟出某种生活哲理。

154. 易　色

【易色】 yìsè　临时变换词语的感情色彩，或褒词（语）贬用，或贬词（语）褒用，或将中性词（语）带上褒贬色彩。

易色的功用是增强语言的表现力和感染力，或施于敌，针砭假、恶、丑，尖锐、辛辣，入木刻骨；或用于友，及于己，赞誉真、善、美，幽默、风趣，动情抒怀。

①我们全党全民要把这个雄心壮志牢固地树立起来，扭着不放，“顽固”一点，毫不动摇。

（邓小平《目前的形式和任务》）

②偷偷地学拉小提琴的胡坤，果然把神奇的技艺“偷”来了，在赫尔辛基的芬兰大厦里，亮出了它的光泽。

（郭宝臣《小提琴和祖国》）

③犹记得堂成的前几天，全家齐集在老屋里等候乔迁。两代姑母带了孩童仆从，也挤在老屋里祝喜。低小破旧的老屋里挤了二三十个人，肩摩踵接，踢脚绊手，闹得象戏场一般。大家知道未来的幸福紧跟在后头，所以故意倾轧。老人家几被小孩推倒了，笑着喝骂。小脚被大脚踏痛了，笑着叫苦……。

（丰子恺《辞缘缘堂》）

④我要非常感谢这次公盖尔林场的“劳改”生活。谁都没想到，这恰好给我提供了地质普查的好机会……我已采了若干矿样，藏在我的铺板下。……请你们“窥测方向”等待时机，尽快派人来预探，以便确定 Btel 级的矿量。

（鲍昌《芨芨草》）

⑤当地驻军的领导同志们，心肠菩萨般的慈祥。几番劝阻，几番“恫吓”，“软”话“硬”话象连发的炮弹；徐凤翔全然不听，固执地非走川藏路不可……

（黄宗英《小木屋》）

例①“顽固”本是贬义词，用在这里是“坚定”之意，转贬为褒，强调了全党全民应有的树立雄心壮志的坚定意志，明确而风趣。例②“偷”是贬义词，这里是“暗中学习”的意思，转为褒义极显的词。例③“倾轧”本是互相排挤之义，这里的意思是“人们高兴地互相推挤”，生动地表现了一种欣喜的情绪。例④“窥测方向”本来指别有用心的人们策划阴谋时估量形势寻找机会，贬义极明，这里基本词义不变，感情色彩异变。例⑤“恫吓”一般是恶意的，而这里是出于善意的劝阻，只不过劝阻的方式是充分摆出可能出现的危险。此五例都是贬词褒用，都用于表现正义、美好的感情。

⑥因为被折磨得厉害，我的老伴，前不久去世了。有一位在“文化大革命”中处境艰难，正在惶惶然不可终日的老同志，竟来向我献策：“到王婉那里去试试如何？她不是还在寡居吗？”

他是想，如果我一旦能攀龙附凤，他也就可以跳出火坑，并有希望弄到一官半职。这真是奇异的非分之想，我没有当皇亲国戚的资格，一笑置之。我知道，这位同志，足智多谋，是最善于出坏主意的。

（孙芸夫《云斋小说两篇之一·王婉》）

⑦他（冯雪峰——编者）也曾针对《且介亭杂文末编》）征求意见本的题解和注文指出：鲁迅的敌人是国民党反动派和帝国主义，把什么都挂到周扬他们头上是不对的！如今，对初识的鲁迅研究者包子衍，他也没有忘记提醒他：研究鲁迅就要有鲁迅精神，一定要老老实实，实事求是，决不能搞实用主义——那些对鲁迅搞为我所用的实用主义的人，哪里是在研究鲁迅，他们不过是在随心所欲地"创造"鲁迅罢了！

（何启治 刘茵《播鲁迅精神之火》）

⑧老冲叔和柱子妈的隔墙骂架史可算得上悠久了，可谈不上啥子光荣。

（李莉莉《文明村的变迁》）

⑨章老板头脸，十分丰满；胸背，十分丰盛；腹臀，十分丰富，总之，偎在身边的太太兼秘书密司黄，同坐在黄包车里，几乎没占什么地方。

（石文光《黄土路》）

⑩赫要斗的吵架是出了名的，量多质优，小吵天天有，大吵三六九，一天不吵，就难受，他吵起架来，态度认真，充满感情，手舞足蹈，声情并茂。吵到决一雄雌的关键时刻，他捶胸顿足，吼声震天，唾沫四溅，五官挪位，那副凶神恶煞的样子，谁见了谁怕。

（沙叶新《前面是十字路口！》）

例⑥因"这位同志……是最善于出坏主意的"而说他"足智多谋"，以赞语方式行挖苦之实，褒词贬用，有强烈的讽刺作用。例⑦"创造"，这里是"歪曲"的意思，转褒为贬，尖锐地揭示了搞为我所用的实用主义者歪曲鲁迅的活动的实质。例⑧"悠久"一词临时转为贬义。例⑨"丰满"、"丰盛"、"丰富"这里是肥胖之意，极富贬抑色彩。例⑩"态度认真"、"充

满感情”、“声情并茂”以褒词语描摹赫要斗吵架时的丑态，讽刺色彩鲜明。此五例都是转褒为贬，借褒词写丑相，或打击敌人，或批评人民身上落后东西，讽刺力强。

⑪小牡丹的后娘，眉梢、眼角、鼻翅、齿板、耳扇、下巴颏、脖梗子，说真格的，哪一样儿也不难看，就是组合得差一点。

（卫佳《婚变》）

⑫刘疤瘌快退休了，人老心不老，前天在街上研究一个过路的新潮女子的娇眉秀目，被那女子的保镖汉迎面给了一拳，来了个满脸开花。

（文滔《摊主》）

⑬丁兰觉得腹中的物件儿一阵躁动，不由心中一阵狂喜，忘记了刚才那一阵怨怒，她默念着“阿物儿，我的阿物儿！”

（遵尧《紫色的星星》）

例⑪“组合”本是中性词，这里用为贬义词，挖苦的语味极浓。例⑫“研究”是中性词是易褒为贬。例⑬“物件儿”，是中性词，丁兰心中暗自叫未落地的小宝贝为“物件儿”带上了显而易见的褒义。以上三例是中性词临时“染”上或褒或贬的感情色彩，或扬善或抑恶，或赞美或斥丑，增强了语言的表现力。

易色与降用在某些实例中相当贴近，似易混淆，然而其界限仍是清晰的。例如：

“他恍然大悟：他和她被介绍牵拉到一起，绝非巧合，而是姑娘长期“蓄谋”的结果。”

（孙颙《新月》）

“蓄谋”一词虽有大词小用的意味，然而其最突出的特点是它变易了原来的贬义色彩，所以它不是降用而是易色。

易色常与反语、倒辞混淆，其实区别是明显的。易色是临时变易词语的感情色彩，褒贬互易；反语是临时变易词语的意义，反其意而用之。例如：

“当然，能够只是送出去，也不算坏事情，一者见得丰富，二者见得大度。”

（鲁迅《拿来主义》）

其中“丰富”、“大度”二词不是反用其意，而是褒词贬用，以讽刺“送去主义者”，所以是“易色”。而“也不算坏事情”恰用字面反意则是说反话，是反语。

155. 体　　变

【体变】 tǐbiàn （语体变异）即语体色彩变异。把具有科技语体色彩的术语词应用到文学作品中，使其在语境中产生新的修辞意义。

①“可以取了，给。”雷鸣边说边把电视机放到柜台上。

“多少钱？”

“十五块。”

“要这么多！”女青年好象很吃惊，眼睛和嘴巴都变成圆的了。

……

“给你换了不少元件。”雷鸣心中不快，……

“嗯，也值得。”女青年自言自语似地说。

“当然值得！”雷鸣又得意了。

“不，我说的是，花十五元钱，得到了你的‘脑电图’。”

什么图？莫明其妙！……

“快交钱，我还要……”说了一半，他的嘴突然“关闸”了。……

“还要赶去赴约，是吧？”女青年说。

雷鸣听了一愣，难道……

“可是，那女的不会去赴约了。因为她已经知道你是个贪财病患者。电视机高频头本偏低，只需用螺丝刀调整几下，你竟收十五元修理费。她绝不会嫁给你这种大脑光在金钱上‘谐振’的人。”女青年说完把十五元钱往柜台上一仍，抱着电视机走了。

原来就是她！故意在电视机上捅个故障来试探。

（《微型小说选3·谐振点》）

电视机修理个体户雷鸣通过人介绍将与一位陌生的“女青年”约会，这位“女青年”在约会前用螺丝刀拧松了电视的“本振微调电容”送雷鸣处修理，对他进行“试探”。文中“脑电图”、“谐振”两个词是医学、物理学术语词，用在这里已不表示原有的概念，而获得了临时性的引申义：“脑电图”指思想状况，“谐振”是“打主意”，这种临时意义是通过机械类比而获得的，读者必须根据上下语境，了解话语的心理预设背景，经过联想才能理解、把握。

②雷雨顺这次病倒以后，不少同志惋惜地说：“大胡子（人们称呼他的绰号）呀，大胡子你搞能量那样精，可就不知道自己要能量平衡，长期地输出大于输入，才落下这不治之症呵！”。

（徐永青等《80年代风华录·生命之歌》）

雷雨顺是我国中年气象学家。例中“能量平衡”的意义是：要注意劳逸结合，注意自己的身体健康和营养状况。“输出大于输入”则指雷雨顺拼命工作，劳累过度而又营养不足，缺少休息，损害了身体健康。作者使用这些科学术语词，既符合说话人的职业身份和职业习惯，又能收到言简意丰的效果。

③语言经济学的最基本原则就是用最少的话表达最多的意思。“禁止”变成了“禁而不止”，非得加上“严格”；“刹住”变成了“刹而不住”，非得加上“坚决”，这是语言的贬值，也是语言的“通货膨胀”。问题在于见多不怪，大家都习以为常了。如此以往，“不准涨价”只好成为“真正的坚决刹住随意乱涨价风”，象从前我们喊“最最最”一样再加些前置词。语言的通货膨胀率太高也是导致文山会海屡禁不止而且愈来愈泛滥的原因之一。

（《治一治语言的通货膨胀》

载《人民政协报》1990.1.19）

借用经济学术语词，解释语言现象，所谓“语言的贬值”、“语言的通货膨胀”、“语言的通货膨胀率”都指的是汉语言使用过程中，出现的滥加修饰语、限制词，造成的叠床架屋、言多义寡的不正文风。

由于现代经济生活的发展，越来越多的科技术语词，诸如“通货膨胀”等，已成为人们的日常生活用语，因此，将这一类词从专业技术领

域，迁移到文学作品中来，读者通过类比判断，就可以理解其在语境中的特殊含义。

④我挺着胸走进学校的大门，没有飞檐走壁，没有屈膝爬行，不靠邮票，不靠电话，不靠“一般等价物”(货币)。这是天经地义的变革。

（陈村《大学：风俗画》）

不说“钱”，而说是“一般等价物(货币)”，用政治经济学术语，替代口语，有意造成语体色彩的不谐调，体现出一种幽默感，一种在平等竞争条件下获胜的喜悦感。

⑤我的迷恋于常州之春，自然与崔护异趣。仿崔诗，诌了四句：

去年今日访毗陵，
改革花开别样红。
打破n年一贯制，
迎来四化笑春风。

（刘征《破“n年一贯制”》）

把数学符号，“引进”旧体诗中，可谓别开生面！作者自注道：“……在我们生活里，该破的一贯制有多种：有三十年一贯制，有五十年一贯制，百年的、千年的也有。该写几年一贯制呢？仔细推敲，只好搬出这个在数学上代表不定数的‘n’来。”这番话耐人寻味，“n”在这里代表的是种种停滞、落后，阻碍社会生活进步的传统生产方式、传统思维观念，具有丰富的蕴涵。以“n”入诗，形似不伦不类，却并非文字游戏，哗众取宠，风趣中包含了作者 对现实的严肃思考。

⑥李白对杯直发愁，
默默无声珠泪流；
此酒为何不凑兴？
多半埃赤贰与欧(H_2O)。

（李滨声《李白愁》）

此诗与上例有异曲同工之妙！作者居然将化学分子式写进“七绝”诗，合仄押韵，批评了商业经营中的“掺假”之风。诗句浅白而不直露，新奇却无怪异，令读者粲然。

⑦一九三八年他告别剑桥，取道伦敦回国，走过伦敦繁华的大道。他那“园和切线”的步履，吸引了异族人好奇的目光。

（理由《高山与平原——记数学家华罗庚》）

“园和切线”是常用数学术语，用来形容华罗庚跛行，形象而委婉，作者意在启发人们：华罗庚以病残之躯，虽艰难于步，却登上了数学科学的高峰，其间付出了多少辛劳和汗水！

⑧“005”号曾经穿着拖拉板，呱嗒呱嗒走进一家咖啡店，用手枪对三个美国军官进行了“热处理”。然后骑着轻便摩托车，不慌不忙地撤出了战斗。

（徐怀中《西线轶事》）

“热处理”是工业生产技术名词，用在这里是“击毙”的意思。

⑨呵，这是怎么回事？表层细胞组织的毛细血管怎么充血了？苏甜甜白皙纤巧的手掩住了发烫的双颊，不好意思对把头贴在桌子上。

（魏世仪《这儿应该是洁白的》）

苏甜甜是位女护士，心中萌发了爱情。“表层细胞组织的毛细血管充血”是说她脸红、发烧，感到害羞了。作者故意用医学教科书的表述形式，解释她“脸颊”“发烫”的生理原因，使语体色彩变异，文字显得很有特色，也符合人物的职业特点，心理习惯。

我们把语体变异列为辞格，有两点需要说明：

一、具有科技语体色彩的术语词在文学作品中的应用，不包括那些已转化为一般通用词语的科学术语，如：“结晶、阻力、向心力、循环、代谢、脉搏、高压、腐蚀”等，这些术语词在语言实际中，被比喻、引申，已获得了通用词语的固定词汇意义。而在语体变异中，科技术语词的新义是临时性的，是在特定语境中产生的修辞义，离开特定语境，术语词的新义也随之而消失。

二、体变是指在文学语体的语词中，直接加入科技术语词，形成一种带有特殊色彩的“新语体”，它不同于用科技术语词做材料构成其他辞格，如用科技术语词作喻体、借体，用科技术语词夸张、比拟等等。

⑩原子裂变会产生巨大的能量。秦山核电站的原子还没有开

始裂变。但另一种“裂变”却早已开始：全国人民乃至全国各行各业正是一个个原子，在建设中国核电工业的这一“中子”轰击下，正在释放出威力无比的能量。

（《裂变前的“裂变”》载《光明日报》1990.3.16）

这段文字中“裂变”、“原子”、“中子”都充当了喻体，构成了一个借喻、两个暗喻，这种情况属于用科技术语词构成比喻，应和体变辞格区别开来。

156. 舛 互

【舛互】 chuǎnhù （特选）对事物既全部肯定，又部分否定；或既全部否定，又部分肯定，看似悖于事理，实则符合常情。

①现在人人都在说：一切东西都在天天长价，只有两样东西落价，一样是‘破烂’，一样是知识……”。

（冰心《落价》）

②天底下什么都可以用钱买，只有两样东西钱买不到：时间、感情。

（美国·於梨华《江巧玲》）

表面看来，例①既然“一切东西都在天天长价”，那么按理“破烂”和“知识”就也得“长价”而不会“落价”；同样，例②既然“什么都可以用钱买”，那么按理“时间、感情”也可以“用钱买”而不会“买不到”。否则，在逻辑上就自相矛盾。然而，在实际的语言交际中，象这样的例子却极为常见，完全符合人们的语言习惯，不论是读者还是听众，都不会引起误解或产生歧义。而且正是因为舛互用之，从例①看，反倒突出了“只有两样东西落价，一样是‘破烂’，一样是知识”，从而暗示读者：今天知识贬价已到了何等可悲的地步！怎不令人愤慨？从例②看，反倒突出了“只有两样东西钱买不到：时间、感情”，从而暗示读者：“时间、感情”是何等珍贵！能不发人深思？由此可见，舛互的作用正在于强调近乎矛盾对立之

中的一个方面，使之更为醒目、突出，于字面悖于逻辑中给读者造成强烈而深刻的印象。

舛互既可以是先肯定全部后否定部分，例①例②即是如此，也可以先否定全部后肯定部分的。下面再分别举一些例子：

③颂莲说，我从小就喜欢菊花，可不是今天才喜欢的。飞浦说，最喜欢哪种？颂莲说，都喜欢，就讨厌蟹爪。

（苏童《妻妾成群》）

④唐君什么都能忍受，唯独因为掌声而使家庭破裂老婆跑了，他受不了。

（陈松叶《掌声磁带》）

⑤醉八仙酒家生意兴隆，天还没黑就坐满了客人。唯独有一张靠窗小桌空着，特设的软椅上还垫着花毯……

（航鹰《过街雨掸钢镚儿》）

⑥安乐居喝酒的都很有节制，很少有人喝过量的。也喝得很斯文，没有喝了酒胡咧咧的。只有一个人例外，这人是个瘸子，左腿短一截，走路时左脚跟着不了地，一晃一晃的……有一回喝醉了，摔在黄土坑胡同口，脑袋碰在一块石头上，流了好些血。

（汪曾祺《安乐居》）

⑦人走在荒漠里，忽然看见树，看见水，心里多激动啊！赶快到吧。赶到眼前一看，什么也没有，有的只是沙，只是碎石。

（杨朔《石油城》）

⑧我和靓虹只有两句简短的交谈，彼此都理解。虽然离得近了，却极少串门，也许同居一层楼都小心翼翼恪守着"男女授受不亲"的古训。其实我们什么都不怕，只怕自己同胞的目光。

（海南《北方也有相思树》）

以上例③～例⑤属于第一种情形。例⑥～例⑧属于第二种情形。从心理学角度看，先肯定，是为了更有力的强调被否定的部分；先否定，是为了更有力地强调被肯定的部分。

但是，也有些句子貌似舛互实则并非舛互，需仔细辨认才能确定。例如：

别以为你风流潇洒就有了可以蔑视世界上最漂亮女人的资本！你可以蔑视其他一切女人，却单单不能蔑视我！

（尤异《蓝色的诱惑》）

胡立德的父亲循规蹈矩，除了不会挣钱之外，基本上没什么品德缺欠。待到胡立德长大了，可就不如他爹老子了。他除了不会挣钱之外，没有他不会的。

第一例因为有“其他”二字，说明先并未否定全部，而“我”早已排除在“其他”之外，不是你可以蔑视的。第二例先就排除“不会挣钱”这一“部分”，然后再用双重否定形式肯定其余的部分。因此都不是舛互。

综上所述，可见舛互作为一种辞格，万不可简单而机械地用逻辑推理的方法来加以否定，不然，就将无法解释这样一种带有普遍性的语言现象。但是我们又不能据此而否定语言中确实存在逻辑混乱的病句。正确的做法是具体情况具体分析。

157. 衬　　跌

【衬跌】 chèndiē　先不说出正意，用其他话语作衬托，然后语意急速转折跌宕，说出正意，造成强烈的反差对照。

①周舍　店小二，我着你开着这个客店，我哪里希罕你那房钱养家；不问官妓、私科子（私娼），只等有好的来你客店里，你便来叫我。

小二　我知道，只是你脚头乱，一时间哪里寻你去？

周舍　你来粉房（妓院）里寻我。

小二　粉房里没有呵？

周舍　赌房里来寻。

小二　赌房里没有呵？

周舍　牢房里来寻。

（《中国十大古典喜剧集·救风尘》）

由“客店”而来“粉房”，再到“赌房”，先层层铺垫，造成读者的某种心理定势：以为周舍不过混迹于“客店”、“粉房”、“赌房”几处，是个嫖赌无赖之徒。然后语意陡然跌宕，出读者意外，说出正意：“牢房里来寻”；点出周舍之流的必然下场。收到强烈讽刺幽默的表达效果。

②甲　那些厂子你甭说都绕过来，就一个厂子绕一天两天未准绕得过来。

乙　那是啊，工厂大嘛！

甲　第一天，我们去那个轧钢厂，去一个车间，由这头走到那头走了两个多钟头。

乙　对了，工厂太大。

甲　那天我们去那焦化厂，由焦炉到办公室，我们骑自行车去的。

乙　工厂大嘛！

甲　那天我们去那机械厂，由南门坐汽车三天愣没到北门。

乙　这玄啦！由南门坐汽车三天愣没到北门啊！

甲　啊，中间挖沟过不去呀。

（相声《找舅舅》）

先铺叙“那些厂子”如何之大，无论“轧钢厂”、“焦化厂”，无论“步行”、“骑自行车”，从甲处到乙处，都要花费很多时间，这样，读者就形成了“工厂大”的印象。继之再说“机械厂”、“由南门坐汽车三天愣没到北门”，这一说法虽然夸张，但由于心理惯性的作用，读者仍会按照原思路去想。于是，作者在此来个巧妙突变，揭出事物真象：“中间挖沟过不去”，语意突然跌宕、转折，读者始料未及，却又在情理之中，自然会报之以大笑。

③甲　我要唱花旦还行。

乙　嗽，你够条件儿？

甲　唉，不过现在看着还差点儿。

乙　怎么？

甲　我没化装，也没穿戏装，看着还不是那么特别美，可是也不错啦。

乙　谁说的？

甲　你看我摆一姿势，你看，象不象张君秋？

乙　谁？

甲　君秋

乙　我看你不象君秋

甲　有点儿象素秋？

乙　象泥鳅

（　侯宝林《戏剧杂谈》）

张君秋、陈素秋都是著名的京剧花旦演员。甲大肆渲染自己具备唱花旦的条件，自比于“君秋”、“素秋”，这些都是为后面的一“跌”作烘托的，先“铺平垫稳”（相声术语），蓄势已足，然后一“跌”，由乙一句话点破：“象泥鳅。”乙之答与甲之问相去甚远，如此不谐调，便产生了喜剧因素，笑料即从中来。

④王二留张三在家吃饭，只有豆腐一味菜。王二说：“山珍海味我不希罕，只有豆腐是我性命。”不久，张三邀王二到家作客，张知道王爱吃豆腐，每道佳肴中皆拌以豆腐。但是王二却根本不吃豆腐，眼睛筷子只瞄准鱼肉，往返动作迅速，一点不怕重复。张三问道：“仁兄不是说豆腐就是您的命吗？”

王二爽然对曰：“见了鱼肉，我就不要命了！”

（舒展《钱与命》）

从“只有豆腐是我性命”一“跌”而为“见了鱼肉，我就不要命。”前一句作陪衬，后一句是本意。有了前句的垫托，后一句才“跌”得精彩，活画出了一个吝啬而贪婪的饕餮之徒的形象。

⑤“想发财没错，就看咋发法。这里我可大言不惭地说，在咱公司能捞钱的，第一要数我延金芬。和我一起毕业的同学，大都在油田分管建筑，有这个关系网，再加上重金行贿，去给私人建筑队揽活干，索要重额报酬，我一定捞个三万五万是小菜一碟……但那个钱，我不敢拿，也不敢花，因为我延金芬是党员干部！”

（李存葆等《大王魂》）

先铺叙自己如何“发财”有道，然后，语意突然转折：“我”是“党员干

部”，不能发这样的财。这“跌”下的一句，由于铺叙部分的衬托，语意更为鲜明、突出，充满力量，人物的气度被生动地刻画出来了。

⑥越王勾践破吴归，
义士还家尽锦衣。
宫女如花满春殿，
只今惟有鹧鸪飞。

（唐·李白《越中览古》）

这是一首咏古诗。前三句诗人通过想象，极力铺陈渲染当年越王凯旋的盛况：将士衣锦荣归，春风得意；宫女如花似玉，列满殿庭。这是何等的气象！然后，第四句笔锋突转，语意猛然“跌下”，诗人从玄想回归现实：昔日繁华宫阙，已化作尘土，如今只有成群的鹧鸪在翻飞。一盛一衰，盛极而衰，对照鲜明，其间寄寓了诗人多少兴亡之叹！诗的主题就在衬句的步步衬托，跌句的迅急转折之中被揭示出来了。

⑦乙　那我要是戴一支钢笔哪？
甲　那不用说，高小程度。
乙　噢！我戴两支钢笔。
甲　初中啊
乙　我戴三支？
甲　高中啊
乙　我戴四支？
甲　那你就上大学了
乙　我要戴五支呢？
甲　你要戴五支啊？
乙　我就是大学教授。
甲　不，修理钢笔的。

（相声《五支笔》）

从“戴一支钢笔”标志“高小文化程度”，逐层递进到：“戴四支”——大学程度，其语言逻辑暗示出，“戴五支”则是“大学教授”。可当读者已经在心理上接受这一逻辑，并由此产生出相应的心理期待之后，结尾却猛然一“跌”——“修理钢笔的”。使读者的期待化为乌有，噱头即随之而

生。

所以我们说“衬跌”的心理效果是，当一系列相关联的事物由列举而累积起来的印象在读者心理上逐渐加强并形成了某种期待，读者怀着这种心理期待将逐渐接近终点的时候，结尾句却突然反逻辑地“跌”下，迫使读者的心理期待落空，而接受一个新的出乎意料之外，又终在情理之中的结果，笑即由此而生。这正如康德所说的：幽默来自于“期待性心理的突然消失。”

衬跌是反衬的特殊形式，但它不等于反衬，其主要特征是，衬跌的衬托部分与正意部分必须形成意思上转折，出人意外，跌落宕开，以达到幽默、讽刺的修辞效果。

“衬跌”与“排比”、“层递”辞也有某种程度的联系，但它们从结构到效果都有明显区别。一般地说，“排比”以并列的语言结构为其特征；层递以语义递增递减的级差为主要特征；“衬跌”却以语义转折为其特征。

158. 列　　锦

【列锦】 lièjǐn （列景）几个名词或定名结构或独词句组合在一起，构成一种特殊的句式或者句群，经过读者对语义的联想和补充构成一个画面，能起到写景、叙事、抒情的作用。

组成列锦的只能是名词、定名短语，没有动词或形容词谓语。词、短语之间的意思可以跳跃，但又是相关、相近的，列锦必须描绘一幅画面或一个场景。

①青澄澄的天，绿茫茫的地，阴沉沉的树荫，静悄悄的流水，好壮美的宇宙呵，好似一只琉璃盒子。

（瞿秋白《心的声音·劳动？》）

四个定名短语并列，每一个短语都具有可以感知的色彩和形象，组合在一起，引起读者的审美联想，便构成了一幅静穆、和谐、绚丽的大自然图画。

②夕阳。白浪。绿色的村庄。

在这诗一般的角落，我遇到了一位无国籍的人。

（刘志清《一位无国籍的女人》）

由一个名词、两个定名短语各自独立成句，再组成句群。各独词句形象单一，拼接到一处，形成画面，彼此辉映、衬托，成了有机整体，便给读者留下了充分想象的余地。类似的结构，如贺敬之《放声歌唱》中的诗行：

……春风。

秋雨。

晨雾。

夕阳。……

也是用独词句的形式，列出四种富有季节性和时间特征的自然现象。联系上下文，读者可以真切地感受到时代的气息，历史的进程。

③一声蝉鸣使我仰起头来：蓝天、白云、微风、绿树、叶声、椰影、……可爱的校园……即将离去的伴侣……

“你不久就要走了。”我说。

“嗯”你深深地吸了一口气……

（台湾·嘉禧《送别的礼物》）

八个短语有声音，有色彩；有光、有影；有动、有静；有人、有物；展示出富有热带风光的校园景色，宛如一组移动的空镜头，烘托出主人公对大学生活的依恋难舍的感情。

列锦超越了常规的语言表述模式，句子成分的大量省略，扩充了语言载体的信息容量，作家可以打破自然的、物理的时空关系，通过心理时空位移，把一系列经过主观情感净化、同化的物象交迭、组合在一起，使句子或一个句群呈现出丰富多样的形象美。同时，这些物象做为信息元素又构成了整体的信息单元，表现为一种集成功能效应，体现出整体的意境美。列锦作为一种文字洗炼，节奏轻快，内涵丰富，形象鲜明的修辞方式，已为越来越多的作家所认识。

华裔作家聂华苓，写作中运用列锦法，已具有相对稳定性，成为她独特的语言表现风格之一，下面举她作品中的几个精采例子。

⑤窄巷。石桥。窄巷。石桥。窄巷。石桥……

蓦然一惊。我又回到圣马可广场了。

教堂。石柱。铜马。铜人。飞狮。巨龙背上的罗马帝王。全在那儿。全是老样子。

但我已走了好长好长的一段弯曲的路啊。

(《威尼斯八景》)

第一自然段仅用"窄巷"、"石桥"两个独词句各间隔反复三次,便神奇地勾勒出了威尼斯水城桥多、巷窄,桥、巷交织的轮廓。文字简到极点,文字间留下大量意义空白,任读者想象补充。

第二自然段列举了圣马可广场上的六种有代表性的建筑物,这些作家的眼中之物已不是纯客观自在之物,它们成了作家的旧时相识,是作家历经沧桑的见证,是主客观同一的物化形式,因而能拨动读者的心弦,发出丝丝伤感的颤音。

⑥朵奇萝小岛。野草。幽花。疏竹。清风。鸟鸣。微云。蓝天。白杨深处一角红屋。一弯绿水在小小拱桥下流来。

江南啊!江南!

白杨外一叶扁舟荡来了。

是采菱女吗?是钓鱼郎吗?是闲饮的白头翁吗?

(同上)

两组,共八个名词或名词短语,加上"鸟鸣"和"一弯绿水在小小拱桥下流来"两个主谓句,行文参差错落节奏感强,具有韵律美,描绘了小岛宜人的风光,一派恬静,闲适的气象,多么清远、幽雅的情怀。

⑦詹非的嘴一凑上潘神笙(乐器——引者),青草,斜阳,流水,孤村,微雟,鸟啼,飘花,牧童,村女,浪人,秋风,净月……罗马尼亚田园风光在那一排笙管上魔幻而出。

(《死亡的幽会》)

十个名词或名词短语,中间夹"鸟啼"一个主谓短语,组成了一幅具有浓郁民族风格的"田园风光",作家以画绘声,把音乐形象转换成视觉形象,抽象变为具象,画面描述得越生动越直观,则演奏者的技艺越显高超,其演奏的风格、内容,读者全能直觉地感爱到。

列锦源于中国古典诗歌、词曲。

元人马致远的《天净沙·秋思》:“枯藤老树昏鸦,小桥流水人家,古道西风瘦马。”历来被推崇为列锦的典范。与此曲有同工之妙的还有白朴一首《天净沙·秋》:

⑧孤村落日残霞,轻烟老树寒鸦,一点飞鸿影下。青山绿水,白草红叶黄花。

作者面对秋日万般景致,经情感的过滤、筛选,取十一种有特征的意象,多角度、多方位描写秋之美:曲的开始两句组合了六种意象,写秋日黄昏的凄清萧瑟之景,令人油然而生悲秋之叹;曲的最后两句以“青”、“绿”、“白”、“红”、“黄”五种色块,涂抹出秋日的绚烂之美,使人顿起“霜叶红于二月花”的豪情。“萧瑟”与“绚烂”对立而统一,是“秋”的全部意蕴。

最后,让我们来欣赏唐诗中的几组列锦佳句:

秋声万户竹,寒色五陵松。

(李颀《望秦川》)

乱山残雪夜,孤烛异乡人。

(崔涂《除夜有感》)

灯影秋江寺,蓬声夜雨船。

(温庭筠《关僧》)

巫峡啼猿数行泪,衡阳归雁几封书。

(高适《送李少府贬峡中王少府贬长沙》)

159. 穷　举

【穷举】 qióngjǔ　通过自由联想的作用,将现实的材料,不规则地、超量地拼接在一起,在杂乱、不和谐中求其内在的统一性。

①——真的。侧身回顾过去的岁月,我分明见出:比之童年的乡间生活,少年时代的城市求学的经历,几乎没有什么来值得特别

去回忆。或者说，引不起我回忆的兴趣。

早自习，晚自习。家门，校门。黑板擦、粉笔灰。哨声，铃声。秃头戴眼镜的中年男教师，不秃头而也戴眼镜的青年女教师。连着板凳的课桌，扯着线的喇叭。眼睛保健操，广播体操。上课五十分钟，课间十分钟。出教室如鸟兽散，进教室似一窝蜂。上厕所排队，外出野营也排队。座次表，课程表，轮流值日名单，考分名次公布。方块字，五线谱。元素周期表，数学公式……

（张石山《长长的坡》）

截取中学生活的某些场景片断，将形式上毫不相干、毫无联系的大量名词、名词性短语、短句不规则地拼接起来，节奏快，思维跨度大。读者需要经过联想，将这些支离破碎的材料重新组合，而后才能理解：文章意在反映中学生刻板、枯燥乏味的生活，学习负担沉重，个性发展受到压抑，暴露出现行教育体制的弊端。

②太阳不知疲倦地转，升了、又落，白昼、黑夜。风风雨雨。听课、备课、试讲、采分。小楷终于批完了，作文又堆成了山。她瘦了。

……

惜别、留恋、愧。红红绿绿、笔记本、赠言留念。黑黑的、圆圆的、亮亮的眸子闪着无数颗水晶样的泪。“绿满天下！”黑色的字迹端庄秀美。“祝您进步！”歪歪斜斜。笑脸，童心，百合花。爱！宙斯，仙境，伊甸园……

（《微型小说选3·醉DE心》）

主人公（师院毕业生）回忆她的教学实习生活，思维呈现出跳忽不定的、断续的流动过程。第一自然段写“她”紧张、繁忙、快节奏的教学实习工作。第二自然段写“她”教学实习结束时与孩子们赠言相别的感人场景，一个个一闪而过的镜头，幻想与现实的交迭出现，展示出“她”美的富于憧憬的心灵，“她”对教育事业的热爱之情。

③“洋糖百合稀饭，

三个铜板一碗，

那个吃的？”

“竹耳扒，破费你老人家一个板：

只当空手要的!”

“吃面吧,哪个吃饺面吧?”

“潮糕要吧? 开船早哩!”

“行好的大先生,你可怜可怜我们娘儿俩啵——肚子饿了好几天罗!”

“梨子,一角钱五个,不甜不要钱!”

“到扬州住哪一家?

照顾我们吧,

有小房间,二角八分一天!”

“看份报道消消遣?”

“花生,高粱酒吧?”

“铜锁要吧? 带一把家去送送人!”

“郭郭郭郭”,一迭春画儿闪过我的眼前;卖者眼里的声音,“要吧!”

“快开船了,贱卖啦,

梨子,一角钱八个,那个要哩?”

(朱自清《小舱中的现代》)

十几种叫卖声、吆喝声、乞讨声,作者照实录下,仿佛一片喧嚣、嘈杂的声浪向你扑面而来。这些文字看似杂乱无章、彼此毫无联系,却在整体上表现出统一性,编织出了一幅为了生存而挣扎的血泪斑斑的人生图景。

④我们曾在一日之内,从考究的二等船舱,一下子转到牛粪干草铺地的五等底舱。上午。淡蓝的镶着细黄流苏的窗帘。洁白的台布。软软的沙发。绵绵的音乐。海北天南与吟诗作画。晚上。草卷。席头。横七竖八蜷伏着的乡下人。叽叽喳喳的鸡笼。彻骨的寒风夹着鱼腥的汗臭。残旧的网篮里露出一挂鞭炮和三柱香……

(赵翼如《味,在酸咸苦辣间》)

这段文字描写二等舱、五等舱的生活,用名词非主谓句(独词句),动词谓语句参差排列。句与句之间意思有大跨度跳跃,从而极富于细节性地描绘了不同层次的社会生活,其反差强烈,给读者深刻的印象。

⑤阿Q成了当地的文学泰斗，成了许多热血沸腾昏头昏脑的文学青年顶礼膜拜的偶像。阿Q现在头上挂的桂冠比他过去身上的虱子还多，某文学研究会会长，某人才开发协会名誉会长，某诗词学会顾问，某民间曲艺研究会名誉会长，某文学函授中心名誉教授，某老年文学会副会长名誉会长，中年文学会顾问，青年文学会名誉顾问，某刊物的顾问……等等。当今社会尊重贤达，重视英才，贤如阿Q早已扬名四海，声振八方，谁不想以阿Q的大名为本会增光！所以连某肛门外科研究会，画眉饲养研究协会，牛皮综合利用协会，避孕套生产研究中心甚至世界鸡眼诊疗研究中心也聘请阿Q先生为该会该中心的顾问。

（陈国凯《摩登阿Q》）

作者有意啰嗦，不厌其烦地开列了一张“阿Q”职务头衔的长长清单，满纸的“中心”、“协会”、“研究会”、“会长”、“顾问”五花八门，荒诞可笑。读者正是从这繁冗枯燥的罗列中认清了那些不学无术，四处招摇，沽名钓誉之徒的嘴脸。

⑥浊酒，酒一杯，酒醒，酒旗，酒酣，酒困，残酒，醉中舞，酹酒，醉中，醉倒，连呼杯，共酒杯，这一切对于爱酒之人都平凡之极，可是在著名词人的笔下，竟能创造如此令人目为之眩而且叹为观止的意境，如见其酒，如见其人。

（潘际炯《谈酒》）

三十个字写酒、酒标志、饮酒方式、酒态、醉态，穷形尽相。一句两个字，至多三字，句式短促，节奏快，联想自由，给人眼花缭乱之感。

古文中也可以找到“穷举”的例子，韩愈的《画记》，一口气列举下马的近三十种形态，如万花筒翻新，又如一轴长卷展开，令人目不暇接：

“于马之中又有上者、下者、行者、牵者、涉者、陆者、翘者、顾者、鸣者、寝者、讹者、立者、人立者、齕者、饮者、溲者、陟者、降者、痒磨树者、嘘者、嗅者、喜相戏者、怒向踶啮者、秣者、骑者、骤者、走者、载服物者，载狐兔者……”

我国相声表演艺术中有一种“贯口”表演形式，由演员一口气叙述下许多名词或许多事情，听起来，口齿伶俐，倒背如流，这种形式过去侧

重于表现演员的唇齿技巧，新相声注意了加强其思想内容，如相声《牵牛记》就运用了这种新“贯口”形式，揭露讽刺国民党李铁军部队的腐败作风。

乙　什么叫部队臃肿，辎重累赘，呲牙咧嘴呀？

甲　就是说李铁军的部队人多，带的东西多，车辆马匹多，行动起来特别笨！

乙　噢，笨牛哇！

甲　可不是，当兵的戴着钢盔，扛着大枪，围着子弹袋、带着水壶、背包，挎着刺刀，掖着手榴弹，背着军毯，带着小铁锹、小镐头。还带着毛绒毯、鹅绒被、鸭绒枕头好几对，暖水瓶、电石灯、蒸汽炉子、大座钟，香槟酒和豆蔻，咖啡、奶粉、火腿肉，行军床，手提包，香菜、萝卜、辣青椒。

乙　嚯，他这儿搬家哪！

甲　不搬不行呵，他是伺候李铁军的。

乙　噢，勤务兵呵！

这种“贯口”形式，从修辞角度看，可归入“穷举”格。

综述以上各例，穷举格应有如下特点：1，信息量丰富，作者有意在文中提供超量的信息，令读者产生万花筒翻新、眼花缭乱的感觉。2 联想自由，可以不受时空的限制，大跨度、快节奏地组织材料。3. 穷举在形式上往往表现为杂乱无章，甚至荒诞不经，它追求的是内在的，以心理逻辑为基础的统一、和谐。4. 构成穷举的可以是名词，短语（名词短语、动词短语、复指短语）也可以是句子。

穷举往往借助排比的形式，但又有不同，排比要求一组意义相关、相近的短语、句子排在一起，增强语势，抒发感情；而穷举则相反，词、短语、句子可以毫无联系，彼此无关地拼连起来，造成扑朔迷离的语境。

穷举也不同于列锦。组成列锦的只能是名词、名词短语或者独词句。列锦又称列景，它描绘的是一幅画面或场景，词、短语之间的意思可以跳跃，但还是相关、相近的，这与穷举形式上的杂乱无章是根本不同的。

160. 迭　现*

【迭现】 diéxiàn　以简缩的、跳跃式的句式连续出现或交替出现一系列画面，一连串形象。

迭现是借鉴电影艺术中镜头“迭印”、“迭化”的手段，将其推广到文学艺术创作中，通过单词迭现（以名、动、形等实词构成的描写句或句群），词组迭现（几个名词性短语排比构成的描写句或句群），句子迭现（几个句子的排比）的方式，或是词、词组、句子的综合迭现方式描写客观事物、主观心理活理，激起读者的遐想，使人仿佛看到一个个电影镜头，一组组活动的画面，产生历历在目的视觉效果。

迭现大量运用于电影文学剧本创作中。

①欢呼的人们。毛泽东时而仰望，时而俯瞰。在部队和群众队伍上迭印如下画面：林则徐虎门销烟；洪秀全金田起义；五四运动游行；孙中山就任临时大总统；李大钊走上刑架；瞿秋白长汀就义；日军炮轰宛平城；张学良被囚台湾；杨虎城被刺；解放战争东北战场，解放军战斗英雄和战士一排排倒下；渣滓洞狱中绣红旗；刘伯承、陈毅、邓小平长江谈兵；彭德怀、贺龙进军西北；林彪、陈赓在西南群山中行进；任弼时卧病在床；叶剑英进入广州；徐向前太原攻坚……

突然升起彩色火炮。天色已晚。

（电影文学剧本《开国大典》）

②八大山人的作品纷呈迭现，琳瑯满目——绘画、诗词、书法、篆刻……

（电影文学剧本《八大山人》）

③衔接上集炮火硝烟的画面，迭印：白军大队士兵的脚，汽车轮子，马蹄。

（电影剧本《从奴隶到将军》）

例①运用句子迭现的方式，选取一系列重大历史事件的片断组合起来，浓缩了一百多年来中国革命的曲折历程，形象化地概括了中国革命史。例②四个名词连续排列，展示了八大山人一生丰富的艺术成果。例③罗列三个定名结构的词组，渲染了战争的气氛。

迭现手法在散文、报告文学、小说中也颇为常见。

④说着，她就唱了起来。唱的是《看见你们格外亲》……

一个又一个意境深邃的镜头，随着歌声在战士眼前展开：行军路、山村、小河、土炕、毛驴、秧歌队、小米饭……

这些镜头重重迭迭，闪闪烁烁，来了又去，去了又来，既遥远又亲近。

（王采仁《含笑的泪带泪的笑》）

⑤沿途闪过：茶花、玉兰、柳、蜂箱、鸡笼、油菜花、荷灯草……

集上纷呈：鲜竹笋、雪里蕻、榨菜芯、黄韭芽、活鲤鱼、大白鹅……

（黄宗英《行行复行行》）

两例都用词、词组迭现，构成一组镜头，拼接出一幅幅流动的画面。文字简洁而富于形象，明显地带有“电影化”的倾向。

近年来，随着意识流小说的产生，运用迭现手法表现人的回忆、玄想、梦境，幻觉等心理意识活动越来越多广泛。

⑥他记起了在遥远的省城，他在多次重复地几乎是不走样地做一个梦。童年。海滨。沙滩。嬉闹的孩子们。

（汤吉夫《母亲》）

这是用“迭现”法写“梦”的例子。四个独词句并列，突出了梦幻的飘忽不定、跳跃和不规则性。

毋庸讳言，迭现做为辞格，其语言结构、修辞功能，和“列锦”、“穷举”有不少交叉、相同之处，因此，如何将“迭现”与“列锦”、“穷举”与“辨析”、区分清楚，尚有待深入研究。

161. 频　词

【频词】 pínci　在一般话语中，高频率地使用同一个词语或字，形成一条鲜明的词语线，以突出作者的某种意念。

①我跟着群众的队伍，也穿游进去。好象世界上一切光亮，一下子全聚在这里了。灯是亮的，眼睛是亮的，笑脸是亮的，身影是亮的，连刮的风也是亮的。一片片飘飞的雪花携着光圈，就象一盏盏飘飞的小灯。我看见，我们这亮亮的行列中，有亮亮的老头，有亮亮的老婆，还有被亮亮的妈妈牵着手的亮亮的孩子。全村所有的人——上自八十九，下至刚会走，大概全来了，一个个亮亮地，喜眉笑眼，脚步儿轻轻，踩着鼓点，踩着雪花，踩着光亮，欢乐地游转。

我的心头，也亮起来了，升起一道联想的彩虹。

（刘成章《转九曲》）

“转九曲”是当地群众春节闹灯会的一种形式。这段文字中“亮”字使用频率高达十四次，其中选用六次，分别在句子里做定语、宾语、谓语。十几个“亮”、“亮亮”串联成了一条“亮”闪闪的语言链，游动于文字间，真实、生动地再现出九曲灯会流光溢彩、热烈奔放的场面。灯亮，人亮，心也亮，散发出浓郁的时代气息，强烈地感染着读者。

②“是件好事啊，就是太特别。”大娘感叹地说。

“好就好在特别！”年轻人又“炸窝”啦。

“特别的有志气！”

“特别的有意义！”

“特别的有教育作用。人家跟咱这儿不沾一丝边儿，还非在这儿苦干实干，咱们还有啥话说！”

本来嘛，知识青年和劳动人民相结合，参加农业劳动，本身就是件特别的事，是前代知识分子从来没有也不可能做到的事，我们今天迈出了这伟大的一步。我们年轻人就是要立这样特别的志愿，

干这样特别的事情。

（黄宗英《特别的姑娘》）

作者敏锐地捕捉住“特别”二字，大作“特别”文章。这除了具有反复点题的作用，还通过对“特别”多角度的议论，渲染烘托，使“特别姑娘”的“特别”精神——移风易俗、扎根农村的精神，更加鲜明突出，作品的主题得到了深层次的开掘。

③还记得么？

在碧绿的阳光里，我们撑着小小的碧绿的竹伐，淌在碧绿碧绿的溪的微波上。映在溪里的，是两岸碧绿碧绿的竹，两岸碧绿碧绿的山，两岸碧绿碧绿的山村……

我们的歌，蕴藏着最多的碧绿，

我们的笑，含纳着最多的碧绿，

我们的稚气的瞳仁，映照着最多的碧绿，……

你问我：沿着这碧绿的路，能找到碧绿的太阳吗？

我说：太阳在海里，溪水是向着海流的呵！

于是我们向前淌着，让碧绿的浪花溅满衣襟，让碧绿的希望充满心间。

晚上，我们作了一个同样颜色的梦：沿着这碧绿的溪水，真的寻到了太阳一样的碧绿碧绿的生活。

（李耕《溪，碧绿的路》）

短文用二十个“碧绿”写山，写水，写翠竹，写乡村；写歌声，写笑语，写太阳，写希望，写生活，使读者能强烈的感受到绿色生命力的冲击波，激发起对自然、对生活美的热爱。作者以“碧绿”这个色彩词反复刺激读者的视觉、心理感觉，真令人恍如走进了一个用碧玉翡翠砌成的世界，“碧绿”得沁人心脾了。文中还运用了“添色”的修辞方式。

④正月唱梅花。二月唱兰花，三月唱菜花。四月唱茶花……十月呢？唱桂花？唱菊花？唱一品红？唱山丹丹？唱……

十月的花！十月里，花太多了，江南塞北，东海西疆，有多少花在盛开。山也俊俏，山花插满头；水也风雅，花瓣儿逐水流。花乡、花城，花街，花市。花儿飞到天上，幻作朵朵彩云；花儿飞到女孩子们

身上，她们也成了花；花儿飞到人们心里，化作了诗，化作了歌，唱着，充满对生活的爱恋，对祖国的爱情。

十月的花，化作十月的歌；十月的歌唱着十月的花。

……

又一个十月到了。祖国无处不生花，中华无处不飞花。花的十月，十月的花。

（朱述新《十月的花，十月的歌》载《光明日报》1989.10.8）

"花"或作为词，或作为语素，"开放"在字里行间，或定语，或主语，或宾语，可谓"无句不'飞''花'"！它们描绘出了祖国绚丽多彩，欣欣向荣，繁花似锦的风貌，它们蕴藉着作者对祖国的祈福与礼赞。行文流利宛转，构思巧丽新奇。

⑤鲁迅先生死了，被放进棺材里了。我忽然记起他说过的话来："我总觉得周围有长城围绕。这长城的构成材料，是旧有的古砖和补添的新砖。两种东西联为一气造成了城壁，将人们包围"（《华盖集·长城》）。又说："中国各处是壁，然而无形，象'鬼打墙'一般，……能打这墙的，能碰而不感到痛苦的，是胜利者"（《华盖集·碰壁之后》）。鲁迅先生一生就在进攻着这墙，进攻着这城壁，他不但不感到痛苦，而且勇敢地进攻着，有好几堵墙，好几座城壁，就在他的手里塌下去了。这塌下去的，有新砖的，有旧砖的，有国货的，有舶来品。凡所打塌的，也一定是应该打塌的东西。

城墙还没有塌完，鲁迅先生却离我们而去了。

我挥一挥泪，我要问：我们几时能够摆脱这许多城墙，看一看自由的天空，照一照光明的太阳，生活在丰足的社会里，毫无阻碍的犹如鲁迅先生所期望的呢？我的可敬的先驱者啊！

（唐弢《鲁迅先生丧仪散记》）

"长城"、"城壁"、"壁"、"墙"、"城墙"、"砖"，在文中是一组近义词，喻指一切旧的、没落的、反动的、阻碍社会进步的思想、文化、习俗、传统及专制制度，高频率地使用这组近义词，意在强调"墙"、"城壁"等无所不在，旧事物顽固而貌似强大，指出人们的思想被束缚的严重性，从而突出了鲁迅决心"进攻"、"这墙"这城壁"的坚韧不拔的大无畏斗争精

神，表达出作者对这位“先驱者”的深深警意和渴望思想自由，追求美好生活的强烈愿望。

高频率使用一组同义词，而不是一个字或词，可以看作是“频词”的变式。

民歌和古典文学作品中有大量使用频词的例子。

⑥麻绳铁链把我捆，
问我断情毋断情？
我说路断桥断河水断，
断手断脚勿断情！

（《吴歌》）

诗中主人公大胆地向世俗挑战，追求恋爱自由，受到了恶势力的迫害，她（他）面对麻绳铁链，宁可身残肢断，而不改对爱情的忠贞。短短四句诗，连用八个断”字（与名词分别构成主谓短语、动宾短语）顿挫有力，掷地有声，具有极大的震撼力，表现了主人公坚如磐石的意志。

让我们再看看收在《花草粹编》卷七，南宋醴陵人士写的《一剪梅·咸淳甲子又复经量湖南》一词：

⑦宰相巍巍坐庙堂，说着经量，便要经量。那个臣僚上一章？头说经量，尾说经量。

轻狂太守在吾邦，闻说经量，星夜经量。山东河北久抛荒，好去经量，胡不经量？

南宋贾似道擅权，不思收复北方失地，而在江南一隅以丈量土地为名，加征赋税，兼并民田。全词十二句，有八句以“经量”收束，经量，即丈量土地。词中先写宰相、臣僚、太守上下呼应，串通一气，日夜忙于“经量”的种种丑行。然后，笔锋突转，质问道：你们大肆搜刮”地皮，“经量”官满天飞，却把半壁河山拱手让人，为什么不去收复、“经量”河北山东的失地呢？文字嬉笑怒骂，锋芒逼人。八个“经量”时作名词，时做动词，或充当宾语，或充当谓语，流转于文中，突出醒目，读者一看，就能领悟其含义所在。

选入现行高级中学语文课本第四册的《指南录后序》一文中，作者文天祥在叙述其逃离元营，回归永嘉，九死一生的种种危险遭遇时，共

用了二十二个“死”字，一气泻下，身世之叹，家国之痛，全部蕴含其中，这段文字以“呜呼！予之及于死者不知其几矣！”一句领起，接下来十八句排比，句句谈“死”，如“诋大酋当死，骂逆贼当死；与贵酋处二十日，争曲直，屡当死……。”段末再以“呜乎！死生，昼夜事也，死而也矣；而境界危恶，层见(xiàn)错出，非人世所堪。痛定思痛，痛何如哉！”作结。二十二个“死”字可谓字字血泪，诉说了文天祥为“中兴”国家，“隐忍”以行，置生死于度外而不敢死的一番苦心，体现了他“臣心一片磁针石，不指南方誓不休”的爱国主义精神。

频词作为辞格，有如下特点：

频词应该是作者在一个句群段落或篇章中有意识地、高频率使用某一语词，以引起读者的注意。用作“频词”的词，在文中具有不同的语法功能，其词性可以变化，语法成分可以变化，在句中的位置不固定，既可以错落地在每句话里出现，也可以间隔一两句话再出现。总之，这个词应该在文中突出、醒目。

频词和“反复”的区别：

频词与“反复”都着眼于字面的重复，有相似之处，但是，1. 频词仅指一个词在一段话中高频率地重复使用；而“反复”既可以是一个词也可以是词组甚至句子反复使用；2. “频词”所使用的词在语境中可以改变词性和语法功能，其在句中的位置不同，语法成分也可不同，而“反复”所使用的词语，它的词性是固定的，在句子中的位置是固定的，语法成分也不会发生改变。下面作一下比较：

⑧“你有良心没有？”终于，他口中硬梆梆地挤出了一句话，手指仍戳着她心窝。

她万没料到他会异常严肃地谈到一个异常严肃的问题。本不够严肃的内心活动顿时严肃地收敛了。

“你以为我没有良心吗？”答话便也相应地严肃。

（梁晓声《雪城》）

这段文字，三句话中用了五个“严肃”，两个充当定语，两个作状语，一个作谓语，突出了他们谈话的认真严肃性，这是频词。

⑨随着笑声，一段彩虹光芒四射，向前移动。朱红的帽结发着

光，青缎小帽发着光，帽沿上的一颗大珍珠发着光，二蓝团龙缎面的灰鼠袍子发着光，米色缎子坎肩发着光，雪青的褡包在身后放着光，粉底官靴发着光。众人把彩虹挡住，请安的请安，问侯的问侯，这才看清一张眉清目秀的圆胖洁白的脸，与漆黑含笑的一双眼珠，也都发着光。听不清他说了什么，虽然他的嗓音很清亮。他的话每每被他的哈哈哈与啊啊啊扰乱；雪白的牙齿一闪一闪地发着光。

（老舍《正红旗下》）

"发着光"在文中使用了八次，作为动宾短语，一律固定在句子后面，一律充当谓语，这就是"反复"（与排比联用）。3."频词"与"反复"的修辞功能不尽相同，"频词"是作者有意高频率使用一个词，形成一条词语线，突出某种意念。而反复更多的偏重于抒发强烈的感情，增加语言的节奏感。

162. 呵　成

【呵成】 hēchéng　行文有意不用标点，一气呵用，形成急速的语流，以表现快节奏的思想、行为，或造成某种特定的氛围。

①城市在改革中体验着思考着忧患着亢奋着焦躁着踌躇着蹀躞着喜悦着烦恼着忍耐着失败着鼓舞着夭折着诞生着……

（梁晓声《雪城》）

这是一个超长句，包蕴着丰富的信息内容：多角度地反映城市在改革中的急剧变化，展示人们在改革浪潮的冲击下，面临着旧生活方式的转变而产生的种种心理冲突。全句一气呵成，中间不设标点，渲染了一种快节奏的现代生活氛围，超常量的谓语连用，象一支多角棱镜，折射出现实生活的丰富性、多变性、不稳定性。

②E很热爱甚至酷爱开会。他在一个政府机关任职，一向忠于职守，几十年来，开过的会无以计数。令人佩服的是，他无论被派去

参加什么会议，诸如五讲四美计划生育植树造林加强治安宣传民法技术开发交通安全看样定货区人民代表大会通俗歌曲大奖赛颁奖仪式经济管理理论讨论会等等，都能应付自如，游刃有余，恰到好处地作出及时而适当的发言。

（张抗抗《无题十序》）

十余种会议各称纷至沓来，连续不断，给读者造成一种冗繁、单调的感觉，使人不禁产生“会海”之叹！“E”酷爱开这些会，不愧是位“开会迷”。

③一家音像出版社别出心裁地出版了一盒掌声磁带。AB 两面分别录制了各种各样的掌声。什么雷鸣般的掌声暴风骤雨般的掌声海啸般的掌声长时间的掌声经久不息的掌声稀稀拉拉的掌声大会掌声小会掌声欢迎首长掌声欢迎客人掌声庆功会掌声发奖会掌声节日掌声生日掌声等等应有尽有。只有死亡没有掌声。

（陈松叶《掌声磁带》）

“汇集”各种掌声，形成了“奔腾”的语流，语势绵延往复，节奏强弱缓疾，沟通读者的听觉想象，产生一种象在“听磁带”的心理效果。

④……五六个轮番在广播里亮相的嗓门儿都中气充沛宽厚洪亮，甚而至于冲破了扩音线路的先天性故障，在断续含糊的杂音中不时冒出一二个三五个诸如力争上游巧安排高山发抖勒紧裤腰带战场厮杀旗更红必胜必败一抓就灵千秋万代不松套大肥猪新高潮改造老愚公经风雨见世面七斗八斗永不丢半边天比学赶帮力千钧同盟军过长江黄河流大汗多快好省先进再先进力挽狂澜万马奔腾火车头光芒万丈夺粮棉前进前进前进进之类吐字清晰的词汇或半截句子。随着喇叭里宽亮雄壮竞争剧烈渐次又演变为即光式发挥的呼叫，广袤的手臂森林上空便持续滚动着一派庞杂宏大响彻天宇的声浪。

（朱亚宁《万人大会》）

一句话长达 150 余字，作者不厌其烦地罗列当年流行的种种口号，只取其中片言只语，杂糅在一起，一口气排下来，仿佛那些高调、口号、声嘶力竭的叫喊声，正汇成阵阵汹涌的声浪，向你劈头盖脑倾泻下来。

写出了“万人大会”参加者那种“剪不断，理还乱”的心理感受，描摹出“大会”喧腾、嘈杂、忙乱、闹剧式的场景。

⑤F城的街道永远熙攘拥挤，迫不及待争分夺秒地流动着流行的时尚，无论是流行时装流行发式流行家具流行首饰流行劈雳舞太空舞流行妻子加情人在此都是应有尽有，无一遗漏。

（张抗抗《流行病》）

六个“流行……”串下来，反映了F城人拼命追赶时尚、燥动不安的世俗心态，不无讽刺意味地揭示了F城在“流行风”的旋转中快节奏多变化的生活风貌。

⑥两个人就争起来。麻文举说，你比赵木匠高一辈比双喜高三辈娃长大见他她叫啥呀？背篓爷说，我不抱儿不抱孙子不抱重孙我抱末孙他见他妈还叫妈。麻文举说，我家有男人有女人有娃娃这娃要爸有爸要妈有妈要姐姐妹妹有姐姐妹妹他要是朝你要爸要妈你给咋说呀？背篓爸说，我搬家呀我单杆一根说搬就搬离开杏儿湾远远的叫娃谁都不得见，你不成你抱去抬头不见低头见早早晚晚得见有淘不完的气娃娃跟大人淘两家人淘……

（柏原《洪水河畔的七庙》）

写两个人争吵，每个人的话语中间都没有停顿或仅有一次停顿，突出了两个人的争执不下，各不相让，因而语言频率极快，语气急促、言词有些缠夹不清的特点，渲染了气氛。

⑦“嘿，瞧一瞧，看一看……”稍稍宽敞一点的人行道上，“倒爷儿”们开始拿着竹杆挥舞起来。“瞧一瞧，看一看，坦桑尼亚式鲁梅尼格式大岛茂式菲利普娜塔莎玛莉亚式花式繁多款式新颖您没到过坦桑尼亚您穿上这坦桑尼亚式您就到了坦桑尼亚啦您当不了大岛茂菲利普玛莉亚您穿上这大岛茂菲利普玛莉亚式您就盖了大岛茂菲利普玛莉亚娜塔什卡安东尼斯啦——”

（陈建功《鬈毛》）

“倒爷儿”的吆喝，颇有点“绕口令”的味道，一气说下来，构成一条长长的语言链。一个伶牙俐齿，油嘴滑舌，善于招揽顾客，透着几分机灵、几分狡猾的小商贩形象，活脱脱地出现在读者面前。

⑧“你不知道耽误了我的时间就是耽误了国家领导人的时间耽误了国家领导人的时间就是耽误了党和国家的大事耽误了党和国家的大事是什么性质的问题这个后果你考虑了没有你负得了责任吗你负不了责任你就得给我看不给我看我就去找你的领导到时候你还是得给我先看你别指望着拿知识分子的鸡毛当令箭现在就让你瞧瞧还是谁说了算”

（张洁《他有什么病》）

说话的是一位大人物的司机，他依仗人势吓唬医生，要求优先给他看病。作者写他说的话不加标点，给人以滔滔不绝，不容别人置疑的感觉，一个盛气凌人、蛮横、自我吹嘘的市侩形象就跃然于纸上了。

⑨可是我根本记不清你的模样啦我使劲想也想不出来你的脸庞模样我真认识你吗真的和你在一块儿在秋天开满黄色的金针花的草地上听你讲过那些话吗我想不起来了我只有一个印象一个强烈的眩目的光彩的印象。

（张承志《三岔口》）

这是一段心理活动描写，着重突出人物思考问题时，意识的流动性、连续性。主人公在竭力回忆往事，内心又多少有些惶惑、不安。从以上各例看，“呵成”格的修辞功能在于：快节奏地表现现代生活，更细微地反映人物心理、意识的动态过程，刻画人物形象，造成某种特定情境的氛围。

当然，无标点语言往往会给人们阅读、正常理解语义带来困难，因而使用时必须慎重，不可一味翻新而滥用，这样就失去了“呵成”格本身具有的积极作用。

辞格的综合运用

【综合运用】 zōnghéyùnyòng 在一句话或一个句群里有两个以上修辞格搭配使用。

修辞格的综合运用方式有三种类型：连用、套用、兼用，而更为常用的是几种类型交插、联结的混合型。

〖**连用**〗 liányòng 在一句话或一个句群里，几个修辞格连续使用。

①他俩哈哈大笑了，笑得前仰后合，抑制不住。笑声飞上雨空，化作滚雷在云头回荡。

（航鹰《明姑娘》）

"笑声飞上雨空"是将无形物拟作能飞动物；笑声化雷又是夸张。此例拟物与夸张连用。

②胡大少一十八岁上改称胡大爷。这位胡大爷很是胡得可以，胡花、胡闹、胡作，外加胡吃闷睡。

（林希《爱恨仇》）

"这位胡大爷很是胡得可以……"衍名；其下连用同字。

③如果一切都要符合政治情绪，那我就要提议改名"罗斯'祸'路"，以为口诛，以为笔伐，以为知过必改，以为上当学乖，以为复兴固有的"改名学"文化 。

（台湾·李敖《罗斯福路该改名罗斯祸路》）

"罗斯'祸'路"是"罗斯福路"的仿词；以下连用排比。

④你这个拖拉机手真拖拉，
拖得我心里乱如麻。
那天约你去照相，
到时候你又变了卦。

（《全国优秀短篇曲艺获奖作品集·骂男人》）

前一"拖拉"是牵引之意,后一"拖拉"换义为作风拖沓;最后一"拖"字为拈连;"乱如麻"是明喻,三格连用。

⑤人言可畏么?答:可畏,又不可畏。

可畏者,舆论以形成压力;不可畏者,人们常说:"让人说话,天坍不下来。"

我感到兴趣的,却是一种不大听到的见解,即"人不言更可畏。"

(拾风《人不言之可畏》)

首句设问,以下连用合叙;"人不言更可畏"是仿句,三句连用三个格。

⑥沈兰听后忙说:"走,下楼请教这位真正的专家。"

"不用请了。"一位须眉斑白的老师傅掌着楼梯扶手,上了三楼。"什么'砖家''瓦家'的,大家一起干吧!"

(况浩文《在茫茫的夜色后面》)

将"专家"说成"砖家",是谐音飞白;接下来又造出一个"瓦家"是仿词。此例为飞白、仿拟连用。

以上六例,修辞格的连贯运用,使文意得到了充分的表达,作者的情感得到了淋漓尽致的发挥。

【**套用**】 tàoyòng 有些修辞格"占有"较长的字面,其中又包含另一个或几个修辞格。

⑦天边的山正抒着黛色的情。

(柯云路《黎明与黄昏》)

"抒着……的情"将"山"拟人;"黛色"属变文(添色);拟人中套用变文。

⑧天下之佳人,莫若楚国;楚国之丽者,莫若臣里;臣里之美者,莫若臣东家之子。

(战国楚·宋玉《登徒子好色赋》)

全例是层递,其中套用顶真;"佳人"、"丽者"、"美者"是套用避复。

⑨但历来班、马并称,《史》、《汉》连举,它们叙事写人的技术,毕竟是大同的。

（朱自清《经典常谈》）

“班”，是班固的紧缩（缩词）、“马”是司马迁的紧缩，“《史》、《汉》”是《史记》、《汉书》的紧缩；“并称”“连举”为避复；“班马并称，《史》《汉》连举”是对偶。此例是对偶中套用紧缩与避复。

⑩山东人在厚重里有潇洒，在纯朴里有灵秀，在平凡里有器用，接触的越久越能发现心灵的美。

（梁容若《我看大明湖》）

此例为排比中套用对顶

⑪这种恶劣的文风，我们万万学不得。我们最好记住这样四句歌谣：“深入浅出是正路，浅入浅出少用处，深入深出犹可恕，浅入深出最可恶”。

（于根元等《语言漫话》）

所录歌谣属顺口；“浅入浅出”、“浅入深出”、“深入深出”是仿词。此例为顺口中套用仿词。

⑫南国之秋，当然也有它的特异的地方，比如廿四桥的明月，钱塘江的秋潮，普陀山的凉雾，荔枝湾的残荷等等，可是色彩不浓，回味不永。比起北国的秋来，正象是黄酒之与白干，稀饭之与馍馍，鲈鱼之与大蟹，黄犬之与骆驼。

（郁达夫《故都的秋》）

全段作南北对比；下句用博喻。此例是对比中套用博喻。

以上数例，格中套格，语言形式生动活泼，富于层次感，内容上也增加了厚度。

兼用 jiānyòng 几个修辞格交叉、融合在一起，构成浑然一体的结构，既是此格又是彼格，换一个角度看，又是另一个修辞格。

⑬把个定海修得铜帮铁底。

（评书《百年风云》）

“修得铜帮铁底”，是将定海拟为“鞋”；“铜”、“铁”二字是夸张。此例是拟物、夸张兼用。

⑭院中那棵老槐，轻轻地把影子写在地上，写在人的脸上，身上。

（阿路《院村印象》）

将老槐拟人，将树影的投映喻为“写”，拟人和比拟兼用。

⑮你不但感受到她的娇喘吁吁，还看出她厚厚的防皱霜下面掩藏的丘陵和山谷。

（凌纾《眼打》）

“丘陵和山谷”是借喻和夸张兼用。

⑯脱坝石像一块碑、一块无字碑。它记述着人们艰苦奋斗后的失败，也记述着人们失败后的艰苦奋斗。

（盖祝国《脱坝石》）

明喻兼呼应。

⑰科学的种子已撒进千万青少年的心田。我们期待着春雨润过的嫩绿，更期待着秋风吹来的金黄。

（徐维洪等《春种一粒粟，秋收万颗籽——庆祝建国四十周年科技报告会侧记》）

“嫩绿”、“金黄”转品兼特征代。

⑱末班车没啦，让咱搭一段行吗？多给您钱。我说。满脸都跑出可笑的笑来。女司机不为我的笑所感动，非常神速地摇上玻璃。

（刘毅然《摇滚青年》）

将笑比拟为能跑的生灵，是拟物兼用夸张。

从以上各例可以看出，兼用是比连用和套用更圆熟的一种综合用法，不同修辞格配合得简直不露痕迹，它可以使语趣浓烈，很自然地强化着语言的表现力。

〖**合用**〗 héyòng 在同一语段中，集中使用多种修辞方法，或连用、或套用、或兼用，几种方式交插、混合使用。

⑲君当作磐石，妾当作蒲苇。蒲苇纫如丝，磐石无转移。

（《孔雀东南飞》）

前二句对偶中套用两个比喻；后二句对前二句属颠倒，又属错综。

⑳那一年，我的祖辈走来了，从山那边，扛着太阳，扛着风雨走来了；……

（曾新《盐井，祖辈的传说》）

“走来了，从山那边，扛着太阳，扛着风雨走来了”为呼应格。其中套用拟物，“扛着”将“太阳”、“风雨”拟物，兼有夸张。

㉑海也会发芽的——看，海平线那里正陆续升起了生机勃勃的片片帆叶。

（徐慎贵《流光集》）

先将“海”拟作植物，又将远处的几帆远远小船拟作植物，“帆叶”是缩喻，拟物套用缩喻。

㉒我们在矿山里开出了春天，在炉火里炼出了春天，在盐场上晒出了春天，在纺织机上织出了春天，在沙漠的铁路上筑起了春天，在汹涌的海洋里捞出了春天，在鲜红的唇上唱出了春天，在挥舞的笔下写出了春天……

（冰心《我们把春天吵醒了》）

此例整体排比。排比中套用了拟物，将春天先后比拟为“矿产、冶金产品、盐、织物、铁路、海鲜、歌曲和文学作品等。排比中还套用了表异：“开”、“炼”、“晒”、“织”、“筑”、“捞”、“唱”、“写”。

㉓面对滔滔东流去的黄河水，古人只能发出“黄河之水天上来，奔流到海不复回”的喟叹，然而在英雄的山东人民面前，今天这“天上之水”却变得像一条驯服的苍龙，被牵引到青岛这座美丽的海滨城市。

（《牵来“天水”下青岛》）

“黄河之水天上来，奔流到海不复回”引用下连比喻，再下“牵引到……”又连用拈连。

㉔船，行着。

红的土，绿的山，青的水，白的浪，寺庙却是黑的、黄的。

船，行着。

（韩霭丽《白油豆腐》）

首尾反复；中段列锦；中段兼用错综。全例为反复中套用列锦、错综。

㉕上海关。钟楼，时针和分针。

象一把巨剪，
一圈，又一圈，
铰碎了白天。

（公刘《上海夜歌》）

第一行为列锦；下连用明喻；以下又套用拟物，将“白天”拟作了布片或纸片一类有形之物。

㉖管城子无食肉相，
孔方兄有绝交书。
文章功用不经世，
何异丝窠缀露珠？

（宋·黄庭坚《戏呈孔毅父》）

“管城子”指毛笔，代称读书人，拟人兼借代；“食肉相”语出《后汉书·班超传》，看相人说班超“燕颔虎颈，飞而食肉”是万里侯相，属暗引；“孔方兄”指钱，拟人。后两行，反问兼用比喻。

㉗祖辈的双脚
搓出这根粗绳
缠住一座座大山
把山捆成一担担柴禾
要挑回去么
彩虹的扁担压得弯弯、弯弯……

（胡刚毅《山路》）

“搓”是炼字；“粗绳”指山路，是借喻；“缠”字将山路拟物为绳；下片是诡谐；“彩虹的扁担”是缩喻。数格连用，其中诡谐中套用缩喻。

㉘我笑，我笑！
我哈哈笑！
我笑得那石头裂开了嘴，
我笑得那大树折断了腰，
我笑得那刘三爷门前的旗杆
喀喳一声栽倒了！

（贺敬《笑》）

前三笑为呼应格；后三个“笑得……”为排比，又兼夸张。

㉙我多么依恋啊！回头望着，我真想返回去，撕几片光亮，象带着一首诗，象初恋时带着情人赠送的手绢，常常带在身旁。

（刘成章《转九曲》）

“撕”字将光亮拟为有形之物；下接“象……象”构成博喻，喻中套用拈连。

㉚风啊，变幻莫测的风呵，从深山古寺中来，驮着忧郁的钟声如褪色的历史；那疏朗地飘向一边去的芦草，是你摇荡着的一缕白发么？

（耿林莽《风呵》）

起句是呼应；“忧郁”形容“钟声”为移就；“钟声”能被“驮着”，是将它比拟为有形之物；“历史”无所谓颜色，当然也无所谓“褪色”，这是把历史比拟为有色之物；这是移就、拟物都套用于比喻之中。尾句是暗喻、比拟和奇问的兼用。整体是呼应、比喻和尾句三格兼用的连用。

㉛老友江南伏尸去矣，他因我而死、他先我而死、他代我而死，追念这位在海外一再为我仗义执言的老友，我有不少隐恸。……古人发愿于先。有道是“此度见花枝，白头誓不归”，可惜江南最后所见，不是“花枝”而是“枪枝”。

（台湾·李敖《哀江南》）

“他因我而死，他先我而死，他代我而死”是排比；“因”、“先”、“代”是用其中的表异；下面的“花枝”与“枪枝”又是同异。

㉜迷人的庄子！迷人的知鱼桥！迷人的对联！“月波潋滟金为色，风籁琤琮石有声！”迷人的殿堂！迷人的池水渐渐枯去的荷塘！迷人的园中之园，画中之画！迷人的古老、颓败、诗意和意趣盎然！

（王蒙《相见时难》）

排比中套用频词和对偶。

㉝这个普通的小顺，顺着父亲传下的遗愿，顺着自然青葱的孕育，顺着比别人先看到的日出度过四季寒暖，中秋除夕到哥嫂家去团聚，回到山顶就顺着月轮的旋转进入小屋梦境。

"小顺,顺着……"是衍名,其下排比兼频词,套用于衍名中。

㉞淫雨在户外哭泣,瘦叶在窗前瑟缩。这一个孤独的日子,我想念我的母亲。

(梁晓声《母亲》)

"淫雨"、"瘦叶"句是拟人并套用于对偶中。"孤独"为移就,与对偶连用。

㉟鼾声、挫牙声、梦呓声、咳嗽声、翻身声、唠嗑声、给小孩把尿的嘘哨声与呛人的劣等的烟草味混在一起,罩住了顶棚上那盏黄悠悠的灯。

(李江树《沿着古老的驿道》)

数个"声"连用为同字格,各种声响又拟作可看见的雾状物,是拟物兼通感。

㊱顾八奶奶:你们男人什么都好,又能赚钱,又能花钱的。可是就是一样,不懂得爱情,爱情的伟大,伟大的爱情。

潘月亭:顾八奶奶是天下最多情的女人!

顾八奶奶:(很自负地)所以我顶悲剧,顶痛苦,顶热烈,顶没法子办。

(曹禺《日出》)

"爱情的伟大"与"伟大的爱情"是序换;"悲剧"名词作形容词用,是转品;"顶……顶……顶……"是同字。后二格套用,与前一格连用。

㊲"像一班的那个'两条人命'就有讲头。""人命案?能劳教?"

"她人丑身条美,又爱招蜂惹蝶上打扮,后面看爱死人,前头瞅吓死人,这不是'两条人命'吗?"

小雅按着肚子,脸憋得通红,不愿笑出声来。

(桂雨清《女劳教队长和"绿鹦鹉"》)

"爱死人"和"吓死人"是夸张;"人丑身条美",由此说到"两条人命"是曲解;"这不是……吗"是反问,"前……,后……"是对比;以"两条人命"为绰号是借代。此例为多格综合运用。

㊳呵,亲爱的、可敬的朝鲜人民!在纷飞的战火中,你是那样刚强!敌人把你的城镇变成了废墟,你没有哭;敌人把你的家园烧成

了灰，你没有哭；敌人烧死了你的亲人，你没有哭；敌人把你绑在大树上，烧你烤你，你没有哭；你真是一把拉不断的硬弓，一座烧不毁的金刚！可是今天，当你的战友——中国战士们要离开你的时候，你却倾洒了这样多的眼泪！仿佛要把你们每个人一生一世的眼泪，都倾洒在今天！你是多么刚强而又多情多义的人民！

（魏巍《依依惜别的深情》）

起句呼告。其下连用对比：敌前不哭，惜别洒泪。以“你没有哭”为提挈语的一组排比中“你真是一把拉不断的硬弓，一座烧不毁的金刚”是博喻兼对偶一起套用于对比之中。

在许多优秀的文章中，特别是文学作品中，连用，套用、兼用常常极巧妙地交织在一起，从而创造出许许多多色彩丰富，仪态万千，内涵深蕴，兴味隽永的精彩语段。

附:辞格一览表

序号	辞格名称		定义	例句	说明
1	比喻(比打比方譬譬喻)		利用乙事物来说明与其本质不同而又有相似之处的甲事物	同胞兄弟,一个是虎,一个是猫。(胡太玉《红马》)	比喻为汉语修辞格的一大系统。对于比喻的分类,由于缺乏一个统一的标准,因而各家之说不一。除明喻、暗喻、借喻之外,其它各类比喻至今并未为修辞学界所完全接受。本书为方便读者起见,仅将各类比喻作一简单介绍 定义援引成说,潜喻实为比拟,不宜单立一类
	①	明喻(直喻)	用"像"等喻词联结本体和喻体,以表明相类关系的比喻	科学和文学。/就像他和她。(华罗庚诗)	
	②	暗喻(隐喻简喻)	用"是"等喻词联结本体和喻体,以表明相合关系的比喻	她那个人就是个成熟的水蜜桃,丰满柔润。(美国·聂华苓《怎一个情字了得》)	
	③	借喻	本体和喻词都不出现,直接由喻体取代本体的比喻	总是有月亮,世界有一半浸在银子里,另一半浸在墨汁里。(苏叶《告别老屋》)	
	④	潜喻*	只出现本体而不出现喻体和喻词的比喻	风啊,撕开这暑气,切开这暑气,把它撕成碎片。(杜立达《暑气》)	
	⑤	逆喻(倒喻)	本体和喻体次序颠倒的比喻	像吃药一般喝了一大碗早晨吃厌的牛奶,又吞了一把围棋子似的,洋钮扣似的肺病特效药。(丰子恺《敬礼》)	
	⑥	缩喻(反客为主式比喻)	省略喻词,本体和喻体直接组成"定中结构"偏正词组的比喻	用知识的犁铧去耕耘思想的荒野,用创造的利斧来开拓生活的道路吧!(杜卫东《创造着是幸福的》)	

序号	辞格名称		定义	例句	说明
1	⑦	较喻(权衡式比喻较物)	本体和喻体互相比较的比喻	看文学书而不懂鉴赏,恰等于皇帝时代,看守后宫,成日价在女人堆里厮混的偏偏是个太监,虽有机会,却无能力! (钱钟书《释文盲》)	
		a 强喻	两个事物构成相比关系时,本体超过喻体的比喻	童心——是善,是爱,是真的凝聚,它比冰雪白,比花红,比天高,比水深,是一片神圣之地。 (刘白羽《爱是动人心弦的》)	
		b 弱喻	两个事物构成相比关系时,本体不及喻体的比喻	人们看惯了什么阔人的通电,什么会的宣言,什么名人的谈话,发表之后立刻无影无踪,还不如一个屁臭得长久。 (鲁迅《林克多 ＜苏联见闻录＞》)	
		c 等喻	两个事物构成相比关系时,本体和喻体在程度上相等的比喻	苏丽珠终于来了,来了就等于来了阵快乐旋风。 (王恒信《假面鼓手》)	
	⑧	属喻(性喻)	喻体为属相或借它物作属相的比喻	这些老百性都是属蚂蚱的,不按着不拉屎! (林井然《巍巍的春峦山》)	

序号	辞格名称		定义	例句	说明
1	⑨	疑喻	将喻体说得似是而非的一种介于疑拟之间的比喻	飞流直下三千尺， 疑是银河落九天。 （唐·李白《望庐山瀑布》）	
	⑩	曲喻	从喻体的某一方面转移、联想到另一方面，再通过这种转移、联想使喻体和本体产生相似关系的比喻	大伯一直一个人过，脾气孤独，老爱喝酒，脸上总是布满着“阶级斗争风云”。 （黄传会《绿色悲喜录》）	
	⑪	反喻（非喻）	本体从相反或相对的方向否定喻体的比喻	甭犯那憨啦，好巧巧，亲巧巧……咱二人不是一根蔓儿上的瓜！ （郑义《老井》）	
	⑫	择喻	在若干喻体中，选择最能说明本体的喻体而排除其他喻体的比喻	你不是三月的繁花，你是花枝上的一点水珠；你不是金秋的硕果，你是果树下的一方泥土。 （乔羽《雨露与泥土——无名者之歌》）	
	⑬	回喻（迂喻）	先提出喻体，然后又否定喻体，最后引出本体的比喻	一根细线从悬崖绝壁挂下去，风一急，好像会吹断的。其实不是线，是一条羊肠小道。 （杨朔《西江月》）	
	⑭	顶喻	将喻体转而又兼作本体的一种连锁式的比喻	独上江楼思渺然， 月光如水水如天。 （唐·赵嘏《江楼感旧》）	

序号	辞格名称		定义	例句	说明
1	⑮	互喻	本体和喻体互相设喻,即先用喻体比本体,再用本体比喻体的比喻	三月雨是梦,梦是三月雨,是悠悠扬扬汇成的小溪,在我心坎里绵绵延延滴滴哒哒荡漾而去。 (马欣《依依墟里烟》)	
	⑯	对喻	本体和喻体两相对称的比喻	抽刀断水水更流, 举杯消愁愁更愁。 (唐·李白《宣城谢朓楼饯别校书叔云》)	
	⑰	引喻	由喻体或本体中的一方引出另一方以构成平行句式的比喻	响鼓不用重槌敲。聪明的马英马上明白了父亲的意思。 (顾笑言《你在想什么》)	
	⑱	扩喻(类比)	将本体或喻体一方加以扩展延伸的比喻	绀弩长得又高又瘦,两条腿特别长,真像一只鹤。他如鹤一样的清丽,鹤一样的高昂,鹤一样屈着一腿独立凝思,鹤一样展开双翅,高翔云天。即使在生命的长途上,遭逢了多少煮鹤焚琴的迫害,他还是飘然云端,俯瞰大地的一切,发出震动长空的鹤唳。而今天,终于"黄鹤一去不复返,白云千载空悠悠",我们又上哪儿去找绀弩呢! (楼适夷《说绀弩》)	

序号	辞格名称		定义	例句	说明
1	⑲	物喻*	以叙述或描写一个具体而完整的事物为喻体,与作者所要说明的对象构成相似关系的比喻	雌蝉谢世前,痛苦地将纤细的尾针插入鲜活的树枝内,产播下生命的种子。带卵的技条伴着秋风枯萎了,堕地了。抑或大雪压埋,抑或暴雨冲淋,便有部分蝉卵投进泥土,开始了艰难的生的里程。卵变幼虫,幼虫吸地气啜根液,历三冬经五暑,始发育为成熟的蝉猴儿。当惊雷炸响夏雨呼唤时,蝉猴儿夜出"地牢",躲过毒蛇阴险的舔舐,避开蛤蟆贪婪的口腔,蠕动着爬上了树干。抽搐、挣扎、昏死;裂背、探爪、脱壳、舒翼……终于,一个沾满污秽的泥猴儿蜕变为乐声聒耳的蝉。儿时,我们夜窥蝉蜕,乃稚趣使然,倒不是探寻什么哲理;年龄及长,教科书告诉我们,蝉猴儿夤夜间的变异,仅是一次生的翔舞,而在此之前,它在泥土的炼狱里已经有过五次蜕变…… 世上万千生灵的诞生都是那般痛不堪言,而异体蜕变恐为甚之。世上蝴蝶凡14000种。凤蝶、弄蝶、绢蝶、粉蝶、环蝶、灰蝶、蛱蝶、斑堞……不胜枚举,它们穷形尽相,各臻其致,雄飞雌从,竞相媲美,然	物喻能否作为辞格,至今尚无定论。因为它已经超出一般的修辞范畴,而属于篇章结构与写作方法的问题

序号	辞格名称		定义	例句	说明
1	⑲	物喻*		而,它们的前身则都是丑不可睹的蛹。蛹中成虫抖颤着咬破蛹皮,噬啃出一条生路,才变为穿花度丛的彩蝶。世上还有一个庞杂的鸟的家族,它们呢呢喃喃,千鸣百转,组成了一支支大自然的合唱队,然而,它们的前身则都为毫无缝隙的蛋,温度适宜时,受过精的蛋会孵化出鸟雏儿,鸟雏儿在混沌中用其稚嫩的喙啼血啄开蛋壳,才获得了拥抱蓝天的自由…… 封闭的蛋飞出流动的诗,丑陋的蛹现出五彩的画,猥琐的泥猴儿唱出美妙的歌,异体蜕变是生的奇观,美的礼赞! 蛇年初度,我们来到青岛,采访刚刚在全国电冰箱评比中折桂的青岛电冰箱总厂。往昔,提及青岛,人们总是首先谈起蜚声中外的青岛啤酒,今日,琴岛——利勃海尔在角逐中独占鳌头,更使青岛芳名远播。然而,谁人知道,"琴岛"这朵令人艳羡的"国花",原是在小生产的荆棘丛中绽开花蕾的。当我们沿着开拓者记忆的小径,去俯拾改革的花瓣时,才惊诧地发现,仅在四	

序号	辞格名称		定义	例句	说明
1	⑲	物喻*		年前,这座现代化的工厂还是那般混沌未开,它与那封闭的蛋,丑陋的蛹,周身沾满泥垢的蝉猴儿又何其相似! (李存葆 王光明《蜕变》)	事喻能否立格,尚无定论。理由与物喻基本相同
	⑳	事喻*	以叙述一个故事为喻体,来说明一个道理的比喻	我梦见自己正在小学校的讲堂上预备作文,向老师请教立论的方法。 "难!"老师从眼镜圈外斜射出眼光来,看着我说。"我告诉你一件事—— "一家人家生了一个小男孩,全家高兴透顶了。满月的时候,抱出来给客人看——大概自然想得一点好兆头。 "一个说:'这孩子将来要发财的。'他于是得到一番感谢。 "一个说:'这孩子将来要做官的。'他于是收回几句恭维。 "一个说:"这孩子将来要死的。'他于是得到了一顿大家合力的痛打。 "说要死的必然,说富贵的说谎。但说谎的得好报,说必然的遭打。你……" "我愿意既不谎人,也不遭打。那么,老师,我得怎么说呢?"	

序号	辞格名称		定义	例句	说明
1	⑳	事喻*		“那么你得说：‘啊呀！这孩子呵！你瞧！多么……。呵唷！哈哈！Hehe！he，he he he he！’” （鲁迅《立论》）	
	㉑	博喻（复喻连比莎士比亚式比喻）	由两个以上的喻体来说明或描绘一个本体的比喻	银河低垂，伸手就能抓把星星，弯月高悬，是女子的一道秀眉，是一柄金色的禾镰，是一只无帆的小船。 （叶蔚林《五个女子和一根绳子》）	
	㉒	约喻	与博喻相反，由一个喻体来说明或描绘两个以上本体的比喻	我没有判断明白，便妄下断语，冤苦了一只不能说话辩诉的动物。想到它的无抵抗的逃避，益使我感到我的暴怒，我的虐待，都是针，刺我良心的针！ （郑振铎《猫》）	
	㉓	联喻（贯喻类喻）	一句中的喻体包容了另一句中的喻体的比喻	涟漪总如一张抒情的唱片，有舟如唱针般划动它。 （梅南频《海舟唱晚》）	
	㉔	合喻*（混喻）	若干种比喻手法在同一语境中综合运用的比喻	当我伫立碑前，岁月的野马便以翻飞的乱蹄疾驰而过。我，就是马背上的勇士，厮杀，奔突，作一支永恒的响箭。 （晓桦《断碑》）	合喻不宜单立一类

序号	辞格名称		定义	例句	说明
2	比拟（拟态）		把物当作人或把人当作物、把此物当作彼物来描写	宾馆酣醉在春夜的怀抱里。 （冯德英《西小地》）	凭借客观事物，充分展开想象，使表达的人与物、此物与彼物、生物与非生物、抽象概念与具体事物，在品格与特征上，相互沟通，具有思想上的跳跃性 将物比作人，不是拟人，而是以人为喻体的比喻
	①	拟人	故意把物当作人来写，临时赋予物以人的某种品格	我目前正兴致勃勃地对已经出版的作品进行减肥，将可有可无的字、句、段竭力删去，绝不可惜。 （刘绍棠《难得清静——“留命察看”之六》）	
	②	拟物	故意把人当作物来写，或把此物当作彼物来写，包括把非生物当作生物，把生物当作非生物、把抽象事物当作具体事物来写	陈有三突然发觉坐得无聊，而且感到爱珠的视线不断流入自己的体内，似乎受到喘不过气来的压迫。 （台湾·龙瑛宗《植有木瓜树的小镇》）	
3	反拟*		否定形式的比拟	抬看天际下中流，岩上无心云相逐。 （唐·柳宗元《渔翁》）	反拟当独立成格还是视为比拟附类为妥，尚待研讨
4	借代（代替、代称、换喻、提喻、伴名、换名、类名）		不直接说出人或事物的本名，而借用该人或该事物的相关的人、事物的名称去代替	“我们这些人也可怜。”老魏断断续续地说，“说来归其，我们太爱惜乌纱帽了。……” （王蒙《布礼》）	①人或事物本来的名称叫“本称”或“本体”；借用来代替本称的人或事物的名称叫

序号	辞格名称		定义	例句	说明
4	①	旁借（代用、旁代、随代）	用表达对象的伴随或附属的人或事物的名称来代本称	一匹白马驮着一顶黑草帽，往东边去了。（吕新《圆寂的天》）	“代称”或“代体” ②借代强调本体与代体有相关点；借喻要求本体与喻体有相似点 ③旁借分八个小类：工具代、材料代、处所代、作者代、特征代、别称代、所属代、标志代 ④对代分六个小类：实代虚、虚代实、局部代、整体代、特例代、定代约（即：定数代约数）
	②	对代	借用表达对象的相对方面的人或事物的名称代替本称	沙鸥翔集，锦鳞游泳；岸芷汀兰，郁郁青青。（宋·范仲淹《岳阳楼记》）	
5	喻代*		先设喻，继以喻体代本体	他走了，象只风筝，在山坡上摇呀摇，弯弯曲曲的白线越放越长，到底放到头了，那儿是山顶，是和天连着的地方，“风筝”停了，他知道这条白线还拴着一颗心呢……。（李锐《晨雾》）	喻代必先设喻，以喻为前提。它有别于比喻的是，在一定语境中，设喻之后，喻体就取得了“代称”资格，常以“绰号”形式出现，与本体建立了一种临时的关联，似以归入借代为妥

序号	辞格名称	定义	例句	说明
6	字代	用若干字代替所要表达的较丰富的内容	乘车在黑龙江省公路上奔驰,一个"大"字,总是不断叩击你的心扉。 (秦牧《莽原语丝——访问黑龙江漫记》)	字代要求较为严格的形式,常见的有: ①一个×字 ②××……几个字或:几个字××……× ③××两个字(指一个双音节词)
7	夸张(夸饰、铺张)	故意夸大或缩小表达对象的某种特征或品格,使之得到突出的表现	三十八年过去,弹指一挥间。 (毛泽东《水调歌头·重上井冈山》)	夸张可以强烈地表现作者对所要表现的人或事物的感情态度,或褒或贬,或肯定或否定,从而激起读者强烈的共鸣
	① 夸大	对事物的形态、性质、作用、程度、数量、速度等加以超常夸大的描述	瞧那双眼睛,那纯黑的眼睛,定住时能自己发亮,若是一霎,唔,简直是在打闪。 (芦焚《行脚人》)	
	② 缩小	对事物的形态、性质、作用、程度、数量、速度等加以超常缩小的描述	母叹曰:"不图拳母,竟生锥儿。" (清·蒲松龄《聊斋志异·真定女》)	

序号	辞格名称		定义	例句	说明
7	③	超前(窜前)	从时序上夸张,把本来后出现的事物说成出现在本来先出现事物的前面,或说成同时出现	这几位也都像阮籍似地嗜醇酒,好老庄,而不像第一类作家爱引歌德、巴尔扎克。听到酒字先醉了一半。 (查建英《献给罗莎和乔的安魂曲》)	
8	仿拟(模拟、套语)		故意模仿现成的词、语、句、篇而临时创造新的词、语、句、篇	《留命察看》 (刘绍棠 文题)	
	①	仿词(反连、抽换)	根据现成的词或成语临时仿造一个词语,即把现成的合成词或成语中的某语素加以更换,从而临时仿造出一个"新"的词语	春何集的女人们,对于杨五奶奶,更是以英雌目之。 (王实味《杨五奶奶》)	仿拟所仿的词、语、句、篇应广为人知;仿制的词、语、句、篇应确有新意

序号	辞格名称		定　义	例　句	说　明
8	②	仿句	摹拟现成的句子或句法格式而仿造新句	人生识字胡涂始 （鲁迅 文题） 以上字句是据苏轼《石苍舒醉墨堂》诗句“人生识字忧患始”仿制。	
	③	仿调	故意摹拟前人的成篇或词调	煮豆燃豆萁， 萁在釜下泣—— 我烬你熟了， 正好办教席！ （鲁迅《华盖集·咬文嚼字三》）	
9	易　字*		将前人姓名或固定词组换去一字，构成笔名或新的短语	赵令仪（鲁迅发表《女人未必多说谎》和《论人言可畏》二文的笔名，据汉代婕妤赵昭仪姓名易一字而成。）	“易字”定义尚不确定，见例很少，类近仿词，不宜另立格
10	反　用*		故意反原意而仿制词、语、句	他办事向来是“胸无成竹”。	类仿拟，但仿拟中难辟“反意仿”一小类，尚待研讨

序号	辞格名称		定　义	例　句	说　明
11	倒　反（反说）		使用和本意相反的词句来表达本意	孙占元……肥头大耳的，是猪肉铺的标准美男子。（老舍《也是三角》）	
	①	倒辞（舛辞）	情骂或嫌忌，难于直言，用相反的词句来表现本意和真情	日休道："冤家，我一吃早饭就巴不得晚。等到如今你还要要我。"（明·梦觉道人 西湖浪子《三刻拍案惊奇》）	倒辞多用于情骂、昵语，一般无讽刺意
	②	反语（反话、反辞、冷语）	使用与本意相反的词句来表达本意，意在讽刺、嘲弄	"真是荒唐之至！"刘思扬忍不住笑了起来，"打了败仗，国民党国防部还要厚起脸皮宣布和平，真是别开生面的大杰作！"（杨益言 罗广斌《红岩》）	反语具有强烈的讽刺作用，运用反语打击敌人是鲁迅文章特色之一
12	换　义		利用某些词语的多义性，在一定的语境中，重复使用此词语，先用其某一意义，继而再用其另一意义，并使前后二义互相关联起来	眼睛多没有学问，所以看不起学问。他也没有骨头，所以也看不起骨头——他重视，极其重视酱肉。（老舍《正红旗下》）	

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
13	扩　义* (变义)	将本来仅适用于某范围、某表现对象的特殊词语,临时移用到另一范围、另一表现对象,而赋予新义	建筑也是新式,简截不罗嗦,痛快之至。 (朱自清《威尼斯》)	"扩义"定义较宽泛,不宜立格
14	降　用	把一些分量"重"的、"大"的词语降级作一般词语使用,即故意大词小用	三仙姑见二诸葛老婆已经不顾命了,自己先胆怯了几分,不敢恋战,少闹了一会儿挣脱出来就走了。 (赵树理《小二黑结婚》)	
15	断　取	表达中为取得某种语趣而使用某词语,只取义于其中一、二语素,余下的部分,只衬形不表义	老庄气得牙都咬紧了。 儿媳妇桂珍狠狠瞪了海波一眼,忙向爹爹递上笑脸,说道:"爹,你别生他的气,他是个'牛黄丸',说不清的!"说完,又忙向海波飘去温柔的一瞥。 (周克勤《晚霞》)	

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
16	别　解（改用）	利用某些词或短语的构成语素的多义性,在表达中使这些词或短语离开其本来具有的特定意义,而赋予其以临时的“新”义	她的话不但条理分明,而且连数字也象一串串珍珠,从口中滚滚而出。这是一位“胸中有数”的好“当家”。 （曹靖华《点苍山下金花桥》）	别解的功用:引发读者联想,使词语临时获得的“新义”与“本意”相沟通,以“本义”补充“新义”,使语言形象更丰富,且可获得新颖、幽默的语趣
17	返　源*	偏离了一个词语的通行的一般语义,而返回到它的语源意义上来使用它,以便达到某种反常的表达效果	二楼三楼——厂长书记, 四楼五楼——亲属、“关系”, 工人阶级——顶天立地, 知足常乐——咱不生气。 （《中国青年报》1981年1月4日第8版）	与别解格基本重合
18	挪　用*	把本不用于某场合的词、语、句临时挪来使用	“韦凡……”从背后传来一声非常耳熟的呼唤。哦——那是阮丹!她呆呆地站在那里,发痴地望着已经成为过去完成式的丈夫。 （中英杰《在地震的废墟上》）	“挪用”定义过于宽泛,不宜立格

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
19	套　词*	故意套用现成的词语,表达与该词语大相径庭的内容	她希望自家毫不出众,不要被许含远看见,认出了……为甚还要踮起脚,“出人头地”张望呢? (叶明山《天鹅》)	套词同于别解
20	增　动	选择富有动感的词语,使语句比常规说法增强力度,或者表现出动者益动的情貌,或者给人以立体感	在那山径上,碧水边,姑娘们飘着彩色长裙,顶着竹篮、水罐,走回开满波斯菊的家园。 (魏巍《依依惜别的深情》)	
21	炼　字*	选择最能达意传情的关键性词语	东城渐觉风光好。 縠皱波纹迎客棹。 绿杨烟外晓寒轻, 红杏枝头春意闹! (宋·宋祁《玉楼春》)	“炼字”是用词上一种精益求精的要求,其中常包孕多种辞格,不宜独立成格
22	婉　曲 (婉转、委婉、曲达、隐曲)	故意不直接说出,而用曲折含蓄的话暗示本意	新来瘦,非关病酒,不是悲秋。 (南宋·李清照《凤凰台上忆吹箫》)	婉曲的特点是:“意在言外,使人思而得之。”(司马光《迂叟诗话》)

序号	辞格名称		定　义	例　句	说　明
22	①	婉言（婉辞）	不直接说出本意,故意换一种含蓄的说法	他写最后通谍式的信问她:“你还爱我吗?” 她回信道:“我已想不起你的模样来了……” （徐慎贵《流光集》）	
	②	曲语（折绕）	不直接说出本意,而是通过描述与本意相关的事物来烘托本意	那五一听,后脊梁都潮了。带着哭声说:“他见我一来劲,不得把我劈了吗?” （邓友梅《那五》）	
23	易　代*		故意换去达意直切的人称代词,曲折含蓄地示意	姚志兰一甩脑袋,怪不耐烦地说:“谁不自在?人家不想吃,不能强咽!” （杨朔《三千里江山》）	“易代”作用近于“婉曲”,有“临时变更人称代词”的特别模式,应用范围较窄
24	避　讳（讳饰、避嫌）		对忌讳的事物或不便直接说出的事情,改用他语来回避掩盖或粉饰美化	自己的伙伴一个个的都入蛰了,把世界交给了年青人。 （梁实秋《中年》）	

序号	辞格名称	定义	例句	说明
25	伸缩	有意把话说得富有弹性,留有伸缩的余地,以适应情况的发展变化	美国方面声明:美国认识到,在台湾海峡两边的所有中国人都认为只有一个中国,台湾是中国的一部分。 (《中美联合公报》)	"伸缩"是考虑到情况可能发生的变化,留有回旋余地的一种谈话或行文的技巧,它是以尽量合于实际为基础的,它和表达不明是完全不同的
26	闪避	有意避开提问者提问的实质,用含义宽泛、精确度不高的语言回答问题	正好王老汉从山上下来侦察敌情,被匪军捉回村子,吊打了一顿,逼问毛主席哪里去了。老汉斩钉截铁地说:"你们问毛主席吗?他在陕北!"说完话闭上眼睛,任凭敌人鞭打脚踢,再也不发一语。 (阎长林《胸中自有雄兵百万》)	"闪避"只适用于人物对话,它要求答者故意避开对方问话的锋芒,把话说得笼统、不具体,闪烁其词,似答非答,答非所问
27	变文(变化、变用)	为避免文字重复单调,有意变换字面,表达相同或相近的意思	熊庆来慧眼认罗庚, 华罗庚睿目识景润。 (徐迟《哥德巴赫猜想》)	
	① 避复(择语、换词)	为避免重复使用雷用词语,有意换用同义、近义的词或短语	东南山水,余杭郡为最;就郡言,火隐寺为尤;由寺观之,冷泉亭为甲。 (唐·白居易《冷泉亭记》)	

序号	辞格名称		定　义	例　句	说　明
27	②	表异	调配排用的或位置相对应的词语,显示词语达意上的细微差别	山里的特产是剽悍的汉子和标致的女人,溪村多山,自然也就不免平添出些如火如炽的憨男痴女,…… (阿路《溪村印象》)	
	③	添色	描述事物,巧用表色的词语,或赋予无具体形态之物以某种颜色,或易甲色为乙色	又有的是黑的死和白的骨,又有的是砭人的肌骨的冰雹风雪。 (殷夫《别了,哥哥》)	
28	避　实*		避写实象	①相见时,红雨纷纷点绿苔。 (元·王实甫《西厢记》) ②绿云扰扰,梳晓鬟也。 (唐·杜牧《阿房宫赋》)	"避实"界说模糊。并存二说:一说(见例①)近乎借代、比喻等;一说(见例②)同添色。不宜单立一格
29	拈　连(顺连、关连、连物、语义巧移)		两事物连在一起叙述时,把本来仅适用于前一事物的某词语拿来用到紧承叙述的另一事物上	……原来冯牧给阿城弄了个僻静住处,"关"了段时间,又"关"出篇《树王》来。 (仲呈祥《钟氏父子素描》)	对前一事物的叙述称"拈连的前提部分",对紧承的另一事物的叙述称"拈连的后连部分",拈连而用的词语称"拈连词"

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
30	转　品 (转类)	凭借上下文的条件,临时转换词性	江老先生是去年死的,就死在更房里,脸上永远着老人的慈祥。 (阿成《良娼》)	
31	示　姓 (示性)	临时给人或物取个姓氏,表示其特性或归属	二小子直把大哥问:"咱农民为啥总姓贫"? (张志民《"死不着"的后代们》)	"示姓"的基本形式是:姓X。这一形式也可以变形,即不用"姓"字,而直接以"X氏"、"老X"等表示人或物的属性
32	敬　谦	根据不同的对象(如长辈、晚辈、上级、下级等)选用带尊敬或谦卑色彩的词语,以适应某种特殊的需要,便于交际活动和交流思想感情	先君子尝言,乡先辈左忠毅公视学京畿。 (清·方苞《左忠毅公逸事》)	
33	特　称 (变称)	有别于一般平称(即你、我、他单复数之人称及姓名、通称、俗称和亲属关系等称谓)的特殊称谓	季茀君足下:日前蒙书,谨悉。…… (《鲁迅书信集·致许寿裳》)	

序号	辞格名称		定义	例句	说明
33	①	尊称(敬称)	对尊长或平辈及其所属事物的表敬称谓	下马饮君酒,问君何所之? (唐·王维《送别》)	"特称"以称谓对象来分,可分为对人、对己两大类;以语言的感情色彩来分,可分为六种:尊称、爱称、谦称、戏称、贱称和蔑称
	②	爱称(美称)	对平辈或晚辈的表爱称谓	"亮亮,你领会到了吗?" (陶斯亮《一封终于发出的信》)	
	③	谦称(卑称)	对自己或所属的表谦称谓	则不才益将何以报焉? (明·宗臣《报刘一丈书》)	
	④	戏称(丑称)	不庄重、不严肃、含有嘲讽意味的称谓	我孩子时候,在斜对门的豆腐店里确乎终日坐着一个杨二嫂,人都叫伊"豆腐西施"。 (鲁迅《故乡》)	
	⑤	贱称(贬称)	表贱视、鄙视、侮慢、贬斥等意思的称谓	亚父……曰:"唉!竖子不足与谋!……" (汉·司马迁《项羽本纪》)	
	⑥	蔑称(辱称)	将对方物化(多为禽兽化)、丑化、卑化、弱化,以表现仇视、怨恨、轻蔑、反对、打击等激烈感情的称谓	吾数击杀响马贼,夺其物,故仇我。 (清·魏僖《魏叔子文钞》)	

序号	辞格名称		定义	例句	说明
34	引用(引语、引话、援)		创造性地引用现成语(警句、诗词、成语、熟语等)的原文或增减原文,化用其意,以印证、补充、对照或表述作者的本意	凤阳的改革是深刻的。尽管大地上还留有一些过去苦难的痕迹,但重要的是:坚冰已经打破,航线已经开通,道路已经指明! (赵绍龙《花鼓声中》)	《修辞学发凡》将"引用"定义为"文中夹插先前的成语或故事",并指出有明引、暗用两种方式。当今修辞著作对此格看法不一。有的主张,凡引用别人的话都算引用格,失之过宽;有的主张,明引、暗引都不算辞格,划界过严。本辞典将此格分明引、暗引、意引三种,但倾向于将明引排除。尚有待深入研讨
	①	明引(正引、明用)	直接引用原文,注明出处或作者	俗话说:"到什么山唱什么歌。"又说:"看菜吃饭,量体裁衣。"我们无论做什么事情都要看情形办理,文章和演说也是这样。 (毛泽东《反对党八股》)	
	②	暗引(暗用)	引用原文,但不注明出处或作者	契机,对于坐享其成的人,同云烟一样虚无。只有对"上穷碧落下黄泉"的求索者才是幸运之光。 (石梅《"蒙妮"交响曲》)	
	③	意引	增减前人现成词语,完全为我所用;或注明出处,或不注明出处	把这一切,都交给虔诚的乡情去烹煮吧,这剪不断,理还乱,别有一番滋味在心头的乡愁啊。 (陈金山 苏效明《魂兮归来》)	

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
35	异　语（借语）	有选择地借用非汉语普通话语词(汉语方言词、兄弟民族语词和外语音译语词等)，引用原词义或运用双关语义来显示语词的意义	爱辉城名源于江东旧瑷珲附近的瑷珲河。“瑷珲”二字是达斡尔语“可畏”的意思。爱辉是一座可畏的城！ （刘志清《一个无国籍的女人》）	
36	夹　杂*	于白话中夹用一些文言词语或外文词语，以增强表达作用	英特纳雄耐尔就一定要实现。 （欧仁·鲍狄埃《国际歌》）	文白相融，本是语文发展过渡的一种自然现象，并非修辞现象；文白夹杂，易成文病，不宜提倡；用到好处，也可增辉，但难以定为一格。中外夹杂，大致类同上述，用得适当，可归入异语
37	精　警（警策、警句）	用简炼而新奇的语言，表达确切而深刻的含义	比较是医治受骗的好方子。 （鲁迅《随便翻翻》）	列精警为一格，主要是从词语的表义的功能出发的。但精警界说宽泛，常与它格交叉，尚待深入研究

序号	辞格名称		定义	例句	说明
38	紧缩（简缩、节缩）		把多音节的词、短语或句子加以节短压缩	怜君未穷巧，， 更试出兰看。 （《章太炎晚年的一首诗》）	“紧缩”是现代汉语中一个常见现象。许多缩词、缩语历久而成习惯性用语，而凡是纳入汉语词汇体系的，当不应再视为修辞现象
	①	缩词	把词的音节减少	往事越千年，魏武挥鞭，东临碣石有遗篇。 （毛泽东《浪淘沙·北戴河》）	
	②	缩语	把短语或句子加以节短压缩	关于这点，文章俱在，还是不蛇足的好，请有心的读者自己体会罢！ （田仲济《〈学海见闻录〉序》）	
39	简称*（略语、省称）		把复杂的名称化为简单的名称	公函上写道，兹有全国人大代表、我市政协副主席、侨联副主席、社（会科学工作者）联副主席、侨眷宋朝义同志需解决煤气罐一个……他的伟大头衔写了密密麻麻好几行小字。 （王蒙《高原的风》）	“简称”实际上也是一种“紧缩”。构成方式与紧缩无别，难以独立成格

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
40	数　概 (统括)	特意从一段话的相关词语中提取某一个字或词,再冠以与之项[xiàng]次相等的数字,构成一种临时性的节缩形式	抓三风:校风、班风、学风 变三貌:校貌、班貌、人貌 (刘忠干《坚定办学的社会主义方向》)	数概必须有一个它能"依数相概"的语境,否则,就无法形成数概 数概与紧缩中的缩语比较容易混淆,形相近而有别。"数概"具有概括性;"缩语"具有压缩性
41	换　算	借助于具体可感的事物,将所要强调的数字加以换算	哪里知道,这条天河淹没一千万万颗以上的星星啊!一千万万,你一口气数下去,得数一千多年! (郑文光《宇宙里有些什么》)	换算的作用在于能将枯燥无味的数字具体化、形象化,从而唤起读者的想象或联想,以易于识记繁杂的数字和领悟其中隐含的思想感情
42	折　抵*	对事物的特点不用或不满足于一般性的叙述,而是采用折合抵换的方法加以描述或补充	它要是张开嘴,人站在它的嘴里伸手还能摸不到它的上腭;四个人围着桌子坐在它嘴里看书,还显得很宽敞。 (《鲸》小学语文第七册)	折抵和换算极相近,难以另立一格

序号	辞格名称	定义	例句	说明
43	精细	描述中，故意打破常情，突然使用十分精确的数据	听了这些消息，恩特整三天不言不语，三天之内白了十五根头发六根胡须。末了终于长叹一声，骂道："匪徒！不知好歹！就是要严加管束！" （王蒙《球星奇遇记》）	"精细"格不同于科学上的"精确"，它追求超常的表达意趣
44	呼告	在说话或写文章中，突然撇开听众或读者，直接对所说所写的人或物呼名说话	哦，黄泥街，黄泥街，或许你只在我的梦里存在，或许你只是一个影，晃动着淡淡的悲哀？哦！黄泥街，黄泥街…… （残雪《黄泥街》）	"呼告"具有两个明显的特征：一是需有呼语，二是需改用第二人称
	① 呼人	在说话或写文章中，撇开听众或读者，直接对所说所写的人呼名说话	乌拉戛离我们越来越远了，欧阳老人和我们握手话别。望着他那古铜色的脸膛和绿海中的金山，我心底在默默祝福着： 长寿吧，黄金老人！你将看到中国成为黄金大国，黑龙江将成为"黄色海岸"！ （刘志清《一个无国籍的女人》）	

序号	辞格名称		定　义	例　句	说　明
44	②	呼物	在说话或写文章中，撇开听众或读者，直接对所说所写的物或事呼名说话	啊雪，纯洁的雪，……你曾经含了人间正气，乘着天际雄气，凝做喜人的豪雨，润物的甘霖…… （韩少华《雨的精魂》）	
45	感　叹（咏叹）		借用叹词或呼声语以加强所要表达的思想感情	到了界头的桥头寨，下车一看，好家伙！周围密密麻麻的全是森林。 （韩联宪《寻唤大树杜鹃》）	借用叹词或呼声语是感叹格的主要特征。“感叹”与摹绘格中的“摹声”不同，前者为强化感情，后者在逼真地摹拟音响
46	对　偶（俪辞、对子）		把字数相等或大致相等、结构相同或相似、意义相关的两个句子或词组对称地排列在一起	感时花溅泪， 恨别鸟惊心。 （唐·杜甫《春望》）	

序号	辞格名称		定　义	例　句	说　明
46	①	正对	上下句的意思相同相近或相补相衬	日出江花红胜火， 春来江水绿如蓝。 （唐·白居易《忆江南》）	从结构上看，对偶分为严式和宽式两种 严式对偶，要求上下句字数相等，结构相同，词性一致，平仄相对，不能用重复字 宽式对偶，要求不那么严格 从上下句在意义上的联系看，对偶分为正对、反对和串对，其中正对和反对又统称平对
	②	反对	上下句的意思相反或相对	看洞中依然旧景， 望窗外已是新春。 （罗广斌 杨益言《红岩》）	
	③	串对（流水对走马对）	上下句的意思相关连（有承接、递进、因果、假设、条件等关系）	能探风雅无穷意， 始是乾坤绝妙辞。 （明·方孝孺《论诗》）	
	④	自对（当句对就句对句中对四柱对）	不仅上下两句相对，且各句自成对仗	银钏金钗来负水， 长刀短笠去烧畲。 （唐·刘禹锡《竹枝词》）	
	⑤	互对（互文对）	上下两句是互文。实质是对偶与互文的兼用	将军百战死， 壮士十年归。 （《木兰诗》）	

序号	辞格名称		定　义	例　句	说　明
46	⑥	倒对（倒装对）	由于受平仄或词性的限制而将对偶中的语序颠倒。实质是对偶与倒装的兼用	坟坛冷落将军岳， 梅鹤凄凉处士林。 （鲁迅《阻郁达夫移家杭州》）	自第④小类（自对）以下是古诗文中常见的一些特殊形式的对偶 鼎对是元人散曲中特有的一种对偶形式 对偶要避免内容的重复。如果上下两句词意重复，是对偶的毛病，称为“合掌” 在对偶的基础上，产生了对联（楹联、对子）这种独特的文字形式。对联要求上下联字数相同，对仗工整，平仄协调，上联尾字为仄声，下联尾字为平声，句式可长可短
	⑦	扇对（隔句对）	第一句与第三句相对，第二句与第四句相对	昔我往矣，杨柳依依； 今我来思，雨雪霏霏。 （《诗经·采薇》）	
	⑧	借对（假对假借对）	借用同音字构成对偶	谈笑有鸿儒， 往来无白丁。 （唐·刘禹锡《陋室铭》）	
	⑨	蹉对（错对错综对交股对犄角对）	上下两句中的字不是依次相对，而是交错相对。实质是对偶与错综的兼用	于今腐草无萤火， 终古垂杨有暮鸦。 （唐·李商隐《隋宫》）	
	⑩	鼎对（鼎足对三鳍）	三个句子相对，如三足鼎立	密匝匝蚁排兵，乱纷纷蜂酿蜜，闹穰穰蝇争血。 （元·马致远《夜行船·秋思》）	

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
47	对　举	用两个相互对应而各自并不独立的短语，共同表达一个完整的意思	停了一会儿，她慢慢地抬起头来，紧紧盯着女儿，果断地说： “好吧！是福盼不来，是祸也愁不去。该怎的就怎的吧。孩子，我不怕，不怕。你也别怕！” （峻青《党员登记表》）	对举在结构形式上和对偶相同，但在内容表达上二者是有区别的。对偶的上下句可以相对独立而存在，人们在引用时，可以只引上句，或只引下句，并不妨碍其意思表达的完整性；而对举则需前后两个短语互相补充，才能表达出一个完整的意思，其中任何一个短语都没有相对独立的意义
48	对　比（对照、对称、对映）	把两种对立的事物或者同一事物的两个不同方面放在一起，相互比较	居庙堂之高，则忧其民；处江湖之远，则忧其君。 （宋·范仲淹《岳阳楼记》）	对比与对偶的区别在于：对偶着重形式特征，成双成对，整齐美观是它的主要特点；对比着重意义上的关系，内容相反相对是它的主要特征。因此，对偶中除“反对”可同时看作对比外，正对、串对等其它对偶就不是对比；而多数对比也并不是对偶
	① 两物对比	把两个截然相反，本质对立的事物放在一起来说	你是懂得很多而时刻以为不足，而在有些人本来只有“半桶水”，却偏要“满得很”。 （毛泽东《给徐特立同志的一封信》）	

序号	辞格名称		定　义	例　句	说　明
48	②	一物两面对比	把同一个事物的两个不同方面放在一起描述	蜜蜂是渺小的，蜜蜂却又多么高尚啊！ （杨朔《荔枝蜜》）	
49	对　顶（反言）		两个意思互相对立或者互相排斥的词或词组巧妙地联结在一起，组成句子，描述一个事物或说明一个道理	最简朴者最富有。无色却如图画一般灿烂，无声却如交响乐一般和谐。他是最简朴无华的普通的公民，又是芳泽满人间的伟大的公民。 （虞丹《周总理逝世十周年祭》）	从结构上看，对顶基本上可分为单句对顶和复句对顶两种。两个对立的词或词组组合在一个单句中，叫单句对顶；组合在一个复句中，叫复句对顶。对顶和对比不同。对比的目的是通过两种事物或一种事物的两个方面的比较，说明它们的差异，二者并不矛盾。对顶强调的是矛盾，两个词或词组意思上是互相排斥的，然而又统一在一个人或一件事上
50	反　饰*		由两个意义相反或相对的词组成一个偏正词组，一般用作标题或影（剧）名	父母双全的孤女 （电影名）	反饰实际上包容于对顶格之中，可不必单立一格

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
51	矛　盾*	在特定的语言环境中，故意用自相矛盾的话以加强表达效果	兵法不曰“陷之死地而后生，置之亡地而后存”？ （汉·司马迁《史记·淮阴侯列传》）	矛盾格所概括的修辞现象，与精警、对顶等格多有重合，不宜单立一格
52	迭　映	在句子中前后相对应的位置上，迭用同一个词语，表示相对或相反的意义	千江有水千江月， 万里无云万里天。 （台湾·萧丽红《千江有水千江月》）	迭映与反复都有迭用同一个词语的特征。但是反复既可以是一句话中某个词语的反复，也可以是一句话、一段话的反复；而迭映只限于一句话中某个词语的迭用，且必须处于句子前后相对应的位置上。反复起强调作用，加重语气和感情；迭映表示意义的相对或相反，造成语言结构的对称和语势的回环往复

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
53	同　饰*	在同一句话中，用同一个词语分别修饰两个或两个以上的对象	幸福的时代爱唱幸福的歌。 （欧琳《天山的红花》） 然而现在呢，他莫名其妙地坐了好长时间的车，要按一个莫名其妙的地址去找一个莫名其妙的人办一件莫名其妙的事。 （王蒙《冬雨·布礼》）	同饰与迭映多有重合，有的还与同异交叉，但也有不少具有自身特有的修辞形式与修辞意义的例句，因此，同饰格是有研究价值的，但可暂不单立为一格
54	同　语	在两个相同的词语中加上“是”或类似的词，组成“A_1是A_2”的判断形式，以表示强调、让步或说明	可是，巴黎是巴黎，故乡是故乡，在我，圆月，仍是故乡的明。 （香港·西西《法国梧桐》）	同语是近年提出的修辞新格，研究还不够深入，还未能全面而系统地把握其修辞特征，其界定不够严密，在分类上各家之说也颇不一致，有待于进一步研究

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
55	排　比（排语、排迭、排句）	用三个或三个以上结构相同或相似、语气一致的词组或句子，来表达相关的内容	超群，关键是时间。时间就是生命，时间就是速度，时间就是力量。 （郭沫若《科学的春天》）	构成排比的各项，可以有共同的提挈语，也可以没有。排比与对偶不同：排比须由三项或三项以上构成，而对偶仅限上下两句（鼎对例外）；排比不限字数，对偶要求上下句字数相等或相近；排比的各项多有共同的词语作提挈语，而对偶的上下句往往忌用相同的词语；排比只表达相关或相近的意思，而对偶不仅可表达相近相连的意思，还可表达相反相对的意思

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
56	联　用	把三个或三个以上意思相关、结构相同或相似、字数相近、语气一致的词语成串排用	“八八”席面，前茶后汤，汾酒照座，董酒看席！ “上菜上酒啦！” 高亢、嘹亮、顺畅、舒坦。 夹菜、斟酒、碰杯、猜拳。 欢声、笑语、赤鼻、红脸。 出现了小小的骚动！孕育着某种不安！交头接耳，左顾右盼，老者摆首，少者揖求…… （张石山《三件消遣品·酒》）	从联用的定义与例句看，联用与排比有交叉。词的联用不会与排比混淆，但词组的联用实际上与不带提挈语的词组的排比没有什么区别。如何将联用与排比界定清楚，有待进一步研究
57	繁　复*	为了对事物加以多方面的修饰和限制，故意将词语串连使用，组成一个复杂的修饰语	站在崖画面前，似见阳光辉耀下那辽阔的山野，似闻万千人如雷的呐喊咏歌，仿佛你参与了那地动山摇的舞蹈，仿佛你置身于那征战的、狩猎的、祭祀的、庆丰收的悲壮、雄壮、庄严、欢乐、热烈的情景，铜鼓的钝响那么肃穆，骏马的嘶鸣那么昂扬，群犬的吠叫那么急厉…… （滕云《从花山到边关》）	繁复能否作为一个辞格还值得商榷。某些修辞专著中虽列有此格，但由于界定不严，未加辨析，示例又多与排比、联用混淆，甚至与定义自相矛盾，因此本书暂未将其列为正式辞格

序号	辞格名称		定　义	例　句	说　明
58	层　递（层进、递进、渐层）		用三个或三个以上的词语或句子按事物的深浅、高低、大小、轻重等顺序连续排列，表达层层递进的意思	老师又说，自然科学的皇后是数学。数学的皇冠是数论。哥德巴赫猜想，则是皇冠上的明珠。 （徐迟《哥德巴赫猜想》）	层递与排比不同。层递着重语句间的意义关系，层递的各项在意义上是层层递进的，不可随意调换次序，而结构可以相同相似，也可以不相同相似。排比主要看语句间的形式关系，排比的各项，强调结构上的相同或相似，而在意义上是并列的，不分层，往往可以调换次序。因此，语意上递进而结构上不相同也不相似的，是层递；结构上相同或相似而语意上没有递进关系的是排比；语意上递进而结构上又相同或相似的则是层递与排比的兼用，这种排比形式的层递是常见的
	①	递升（顺层递阶升）	将三个或三个以上的词语或句子，按照内容由浅到深、由低到高、由小到大、由轻到重地排列	就这样在京城里忙了足足一个月，到吴三桂已经降清，并诱引清兵入关之后，四月十九日才由自成亲自出征，仓惶而去，仓惶而败，仓惶而返。 （郭沫若《甲申三百年祭》）	
	②	递降（倒层递趋下）	将递升的排列次序颠倒过来	再一个部分是我切肤地意识到我是一个黄种人，一个东方人，一个中国人，因此我是一个种族，一种文化，一种固有传统的产物…… （刘心武《十年琐忆》）	

序号	辞格名称		定义	例句	说明
59	反复（重章、重言、复辞、复沓、重复）		重复使用同一词语、句子或句群	早晨被一个小蝇子在脸上爬来爬去爬醒，赶开，又来；赶开，又来；而且一定要在脸上一定的地方爬。 （鲁迅《马上支日记》）	反复与排比不同。反复着眼于语句字面的重复，以起到强调感情、突出思想、增强节奏感的作用；而排比着眼于结构相同或相似，语气一贯，多项并举，起到加强语势，提高表达效果的作用。如果既有词语的重复，又有排比的形式，就是反复与排比的兼用
	①	连续反复	把相同的语句连续不断地使用，中间不插进别的语句	在李公朴同志被害之后，警报迭起，形势紧张，明知凶多吉少，而闻先生大无畏地在群众大会上，大骂特务，慷慨淋漓，并指着这群败类说：你们站出来！你们站出来！ （臧克家《闻一多先生的说和做》）	
	②	间隔反复（隔离反复）	把相同的语句间隔开来使用，中间插进了别的语句	阿呀呀，你放了道台了，还说不阔？你现在有三房姨太太，出门便是八抬的大轿，还说不阔？吓，什么都瞒不过我。 （鲁迅《故乡》）	

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
60	双　齐*	在一组句子的句首、句尾或句中，使用相同的词语	百期逢盛世，百花迎客来，百尺竿头上，百子榴竞开。 （石英《为〈散文〉百期题词》）	双齐有五种形式：齐头式、齐尾式、齐腰式、齐头齐尾式和首尾双齐式 双齐格与反复、宽式对偶或排比多有交叉，不宜独立成格
61	重　说（异语反复）	意思重复而字面不同的词语或句子反复使用	老乡们，咱们盼星星盼月亮，日盼夜盼的东西，今天盼来了。今天咱们得跟老日子打个招呼，您请吧，再也见不着您了。老乡亲，全新的生活，幸福的生活，今天，此刻，脚下，开始了。 （林斤澜《春雷》）	重说与反复同是意思上故意重复，但重说的字面不同，反复则是相同词语、句子的重复 重说与变文中的避复不同。重说是故意重复，以达到强调的目的；而避复是在意思不能不出现重复时，故意避免用相同的词语，以达到语言富于变化的效果 重说是有特定修辞效果的修辞方法，不能将它与语言的重复啰嗦混为一谈

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
62	复　语*	同义词并列连用	是时屈平既疏，不复在位，使于齐，顾反，谏怀王曰："何不杀张仪？" （汉·司马迁《史记·屈原贾生列传》）	复语与重说具有同类修辞现象，故应暂不单立为一格
63	呼　应	把词组或句子前后连续说两遍，后者较前者详，主要起补充说明作用	啊，乡愁呀，如轻烟似的乡愁呀！ （郑振铎《海燕》）	从结构上看，呼应格中的后句多是添加定语和状语，也有添加主语、谓语、宾语或补语的，还有连续两个以上应句（后句）及在应句中不止增加一个成分的复杂形式 呼应与反复不同。反复是为了强调而简单的重复；呼应是前呼后应，前略后详，其修辞作用更为复杂强烈 呼应与排比也不同。排比是三个以上的词组或句子，一句是一个意思；呼应中的呼句与应句讲的是同一件事或同一个问题，应句的意思在呼句的基础上有所增加。

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
64	增　饰*	给原来的中心词或中心词组增添新的修饰限制成分，或附加上补充说明的成分	最可爱的是它的花，那对于炎阳的直射毫不避易的深红的花。 （郭沫若《丁冬草·石榴》）	从定义和示例看，增饰实际上就是呼应格中添加定语、状语或补语这三种形式，因此，不宜单立为一格
65	合　叙（合说综说列举分承并提分承）	把几个分说的、结构相同的语言单位综合在一个结构里合并起来叙说	讨论了多久，花狗全无主意。虽以前自己当天赌得有咒，也仍然无主意。原来这家伙个子大，胆量小。个子大容易做错事，胆量小做了错事就想不出办法。 （沈从文《萧萧》）	合叙不仅可以出现在一个句子内，也可以出现在句群中，还可以扩展运用于段落之间 合叙从前半部分列举的项次来看，可有双项与多项之分；从后面分承的层次来看，可有一层与多层之分
66	共　用*	在一个句子中，有两个以上成分共同与另一个成分发生结构上的关系	千万条腿来千万只眼， 也不够我走来也不够我看。 （贺敬之《回延安》）	共用与排比、联用、繁复、合叙多有重合，不宜独立成格

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
67	分　述（分说）	本来一句话可以把意思说清楚的，故意分成两句以上的话来说	我们互相用帽子，用围巾掸着雪，雪花从我的身上掸落，雪花从他的身上掸落。 （肖复兴《达紫香》）	有些分述是把一句分成三个以上的语句来说，如果这些语句结构相同或相似，那么形式上就极似排比，但这种分述的目的在于表达另一番深意，而不止是加强语势。所以可视为分述与排比的兼用
68	同　字	特意用相同的字给三个以上相邻、相近的词语或句子开头或收尾	杜康成了解忧的神祇，成了诗画灵感的源泉。天子赐酒，美人劝酒，陶潜菊酒，十朋祭酒，佩刀质酒，烈士骂酒，汪伦送酒，李白抱酒……和酒有关的故事，也都将流传千古，成为艺术的泉源。 （端木蕻良《酒呵！酒》）	同字以其重复用字所出现的位置看，就句子说，有句首同字与句尾同字两种，就词（语）说，有词（语）首同字与词（语）尾同字两种 同字与排比时有兼用，但仅限于句子和词组的同字 同字与同异也有兼用现象。但一般来说，同字侧重在“同”而同异侧重在“异”

序号	辞格名称		定　义	例　句	说　明
69	同　异		在同一个语境中，字数相等，字面同中有异、异中有同的两个或两个以上的词（多为双音词），互相对照，相映成趣	在电影界，许多明星变成了流星。 （《“出国热”仍不断升温》载《北京晚报》1988年7月24日）	同异与同字有相同之处：字面异中有同。但同字须同一个字重复使用三次以上，而同异只重复两次即可；同字须是相邻、相近的词语或句子的开头或收尾，而同异的词语却不一定相邻、相近 同异与仿词在形式上也有相似之处：字面同中有异。但仿词是仿造一个新词，它的意义是临时性的，离开了特定的语境，便失去独立存在的意义；而同异使用的词语都是现成的，具有独立存在的意义
	①	前同后异	前一个词或词素相同，后一个词或词素相异	塔下通回廊，廊中向下看教堂，觉得别人小得可怜，自己高得可怪，真是颠倒梦想。 （朱自清《欧游杂记》）	
	②	前异后同	前一个词或词素相异，后一个词或词素相同	风流（如果这也算得上的话），但不下流，我这样想也这样做，至今也没有觉得什么不好。 （程十庆《二十岁的坦白》）	

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
70	拈　比*	一个句子中前后两词音近而拈接出现，或表比较，或表映衬	讲究不如将就。 （谚语） 致癌还是治癌？ （俗语）	拈比强调两字对映成趣，并不限定前后两词必有一字相同，但也可以有一字相同，这就与同异格重合。如何将两格界定清楚，有待进一步研究
71	顶　真（顶真、联珠、蝉联、继踵、连环、联语、链式结构）	用前一句的结尾，作后一句的开头，使相邻两句，首尾蝉联，上递下接，环环相扣	大妈　我可不去开会！人家说什么，我老听不懂。 四嫂　也没什么难懂的。反正说都离不开修沟，修沟反正是好事，好事反正就得拍巴掌，拍巴掌反正不会有错儿，是不是？老太太！ （老舍《龙须沟》）	构成顶真的方式，有以词顶词、以词组顶词组、以句子顶句子三种 顶真有严式与宽式之分 顶真还有单蝉式与双蝉式之分 顶真与层递不同。顶真重在形式上的环环相扣，上下两句首尾蝉联是它的基本特征；而层递重在内容上的层层递进，形式上并没有严格要求。但有些层递采用了顶真的形式，两种辞格相结合，是层递与顶真的兼用

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
72	顶　释	先概括地描述事物的性质、状态或表达人的总体感受，然后用顶真的形式作进一步的描述或补充说明	天上没有一颗星，很黑，黑得像乌贼经过的海水。 （台湾·萧白《散戏》）	顶释中常套用其他修辞手法。 顶释和顶真既有联系又有区别。顶释必须包含顶真，是先顶真后释义；而顶真只表现事物间的连锁关系，并能依次一而再、再而三地顶接下去。顶释的前后两部分，是概括、总述与解释或补充说明的关系；顶真重在前后语句结构上的衔接
73	回　文（掛文）	刻意追求字序的回绕，使同一语句可顺读，也可倒读	响水泉中泉水响， 黄金谷里谷金黄。 （回文对）	回文强调顺读倒读皆可，通常是指那些刻意追求文字技巧的对联、诗、词、曲中的语句，是“难能而并不怎么可贵的东西”

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
74	回　环	词语相同或相似,而排列次序不同的词组或句子紧紧相连,前者的尾是后者的首,后者的尾又是前者的首。有循环往复之趣	啊,雷锋就是我们!我们就是雷锋! (贺敬之《雷锋之歌》)	回环有严式宽式之分。按照词组或句子的项数又可分为单回环、双回环、三回环以至多回环 回环与回文虽然都是词语的循环往复的结构形式,但回环一般不能倒读,极少数如"我为人人,人人为我"这类回环,虽可倒读,但不属于那些刻意追求文字技巧的回文对、回文诗、回文词、回文曲之列。它不但不是刻意追求文字技巧,而且便于表现事物间的辩证关系,很有发展前途
75	连　锁*	运用连锁的语句形式,表达三种以上事物或情境之间的"链式反应"关系	一人脏换来万人洁,万人洁带来万家欢,万家欢不忘一人脏。 (《青春》1985年4月号)	连锁格实际上就是回环格中的三回环或多回环,所以不宜单立一格

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
76	序　换	在同一语境中，将已出现的合成词中的语素、或词组中的词、或大词组中包含的小词组调换次序后再使用一次	圆圆的月亮，是汉族补了一串残缺， 圆圆的月亮，是彝族补了一串缺残。 （陈犀《西昌月》） 冒假的伪劣商品充斥市场，广大消费者深恶痛绝，有关部门积极治理，并取得了一定成效。然而，假冒伪劣商品并未销声匿迹。究其原因，这大概与“治假”中的“假治”有关系。 （《文摘周报》1989年10月13日）	序换有时能使字面避免重复，其实质不但没变，而且更加强调是半斤八两，完全一样；但有时却使词或词组的意思发生很大变化，甚至变得意思相反，带有讽刺意，使人感到巧妙而深刻。序换一般有合成词中语素的序换、词组中词的序换和大词组中的小词组序换等几种情况，又有严式和宽式之分 序换与回环不同。回环强调词语的紧密相连、首尾衔接和循环往复，而序换只要在一个语境中，并不要求紧密相连；回环的语句中间往往还有其他相同的词语

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
76	序　换			或略有变化的词语,而序换则要求整个次序的调换(个别虚词除外)。序换与回环常常结合运用,形成兼格
77	微　殊*	语词相同或相似,区别甚微;但含义相反或相关,差异极显	她有男性朋友,但没有男朋友。 (王朔《一半是火焰,一半是海水》) 俗话说,百闻不如一见。我却遇到过相反的例子,一见不如百闻。 (理由《弹丸之地》) (康大叔)刚进门,便对老栓嚷道:"吃了么?好了么?老栓,就是运气了你!你运气,要不是我信息灵……"。 (鲁迅《药》)	微殊有"字数略有增减"、"词面稍加抽换"、"词序小有变化"等类型,有的看似回环,却不紧紧相连,看似序换,但调换的词之间加有其它词语,故既非回环又非序换。但有的示例却与回环、序换交叉,所以暂不立为一格,有待进一步研究

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
78	互　文（互辞、互言、互义、互见、互备、参互、互文相足、文互相备）	在连贯性的语句中，某些词语依据上下文的条件互相补充，合在一起共同表达一个完整的意思，或者说上文里省了下文出现的词语，下文里省了上文出现的词语，参互成文，合而见义	将军角弓不得控， 都护铁衣冷难著。 （唐·岑参《白雪歌送武判官归京》）	互文可以处于一个短语或一句话中，也可以是句子之间甚至复句之间形成互文 互文与对偶有区别，又有联系。从内容上看，对偶表示相同相近、相反相对或相关相承的关系，而互文是表示相合的关系，这是区别。从形式上看，互文一般易形成整齐的结构，往往与对偶结合，成为兼格，从对偶的角度看，就是“互对” 互文与合叙不同。互文是参互成文，合而见义，字面上分开，意思上相加。合叙是先合而说之，再分别接下去陈述，字面不省，意思都在字面上，不必补充理解

序号	辞格名称		定　义	例　句	说　明
79	错　综（拗语）		故意使用参差交错的语句,使句型错综变化,整散相间	大漠以北北非好, 大漠以南好西非。 （陈毅《寄耿星》）	错综中的互换一类,形式上象互文,实质上不同。互换的词语只是交换位置,语意并不扩大;互文是参互见义,词义包含对方,都扩大了 错综与变文都讲行文的变化,但错综强调语序、句子长短及句型的变化,而变文强调的是词语的义同(或义近)而词面不同。有人将变文中的避复一类,归入错综格,本书未采用此说
	①	互换（巍造）	将上下文中相对应的词语互换位置	酿泉为酒,泉香而酒洌。 （宋·欧阳修《醉翁亭记》）	
	②	错举	把下文的词句顺序同上文交错开来	狼狈猴错木据水,则不若鱼鳖;历险乘危,则骐骥不如狐狸。 （《战国策·齐策》）	
	③	参差	句子或词组长短配用,以避呆板	话不多,暖人;酒不多,醉人;罐头不多,却留下永久甜甜的回忆。 （肖复兴《姜昆"走麦城"》）	
	④	换型	不同句型在表述中交错使用	我替山坡起了个名字,叫幸福的阶梯,山路被我唤做空中走廊! （李乐薇《我的空中楼阁》）	

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
80	倒　装	故意颠倒句子成分或分句的句序	你朝送行的亲友挥挥手,缓缓地。你朝中国挥挥手,缓缓地。 (蒋巍《东方之谜》)	倒装是借语法的手段达到修辞的目的,既与语法有关,又与修辞有关 一般来说,句子的每种成分都可以倒装,偏正复句中偏句与正句的句序也可以倒装
81	设　问(设疑、提问)	故作无疑之问,然后自己回答;或者故作疑问,自己不答,让对方或读者去思索体会	为什么我的眼里常含泪水?因为我对这土地爱得深沉…… (艾青《我爱这土地》) 什么是不徇私情?什么是忘我献身?做了四年文物局长的杨宣林仿佛在今夜,才悟出了它的一点儿真谛。 (魏润身《私情》)	设问分为自问自答和只问不答两种形式。而在自问自答中,又有一问一答、数问一答和连问连答等几种情况;在只问不答时,也可以连问不答

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
82	诱　问*	对话,特别是辩论中,诱导对方思路归同的提问	梁惠王曰:“寡人愿安承教。” 孟子对曰:“杀人以梃与刃,有以异乎?” 曰:“无以异也。” “以刃与政,有以异乎?” 曰:“无以异也。” 曰:“庖有肥肉,厩有肥马,民有饥色,野有饿莩,此率兽而食人也。兽相食,且人恶之;为民父母,行政,不免于率兽而食人,恶在其为民父母也?仲尼曰:‘始作俑者,其无后乎!’为其象人而用之也。如之何其使斯民饥而死也?” (《孟子·梁惠王上》)	从定义和示例可见,诱问是在论辩中使对方认同自己意见的一种手段,从修辞角度看,它是一般的提问,常规的表达方式,能否算作一种积极的修辞格,尚可商榷,故可暂不单立为格
83	反　问(反诘、激问、诘问)	用疑问的形式表达确定的意思,不需要回答,答案寓于问语的反面	只要想想,天地是厂房,深谷是车间,幕天席地,群山环拱,世界上哪个地方哪个纺织厂有那样的规模呢? (吴伯箫《记一辆纺车》)	反问与设问不同于一般疑问句,它们都是无疑而问。但二者又有不同:反问明确地表示肯定或否定的意思,寓答于问,有问无须答;而设问须是有问有答,或自问自答,或问而让对方或读者思考答案。反问

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
83	反　问（反诘、激问、诘问）			的作用在加强语气，激发感情，常用于句段的结尾；而设问的作用在于先提出问题，引起注意，启发思考，常用于句群、段落或篇章的开头。反问因为是问话语气，句末可用问号，但意思是明确的，所以句末也可以用叹号；而设问本身不包含答案，所以句末必须用问号
84	正　问	明知故问，无需回答，答案寓于问句的正面。	有人以为乞丐是社会的寄生虫，话并不错，不过在寄生虫这一门里，白胖的多得是，一时怕数不到他罢？ （梁实秋《乞丐》） 现在不知他唯一的女儿景况如何？倘在上学，中学已该毕业了罢。 （鲁迅《范爱农》）	正问与设问、反问都以疑问语气为基础，但又都是无疑而问，明知故问，答案都是明确的。它们的区别在于：设问是问后再答或留待对方、读者去答，反问是问中有答，答案在问题的反面，正问虽然也是问中有答，但答案就在问题的正面，从这个意义上看，反问和正问恰是相反的一对修辞格

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
85	奇　问	无须也无法回答的奇特问题	倏忽间,万斛溪水,却冲云破雾而出。九曲溪,武夷山的画廊,是自天外飘来的么? (沈世豪《武夷三章》) 楼外垂杨千万缕,少住春还去。犹自风前飘柳絮,随春且看归何处? (宋·朱淑真《蝶恋花·送春》)	奇问无须也无法作答,目的在于以奇绝之问制造生动别致、富于情趣的意境。古代诗词曲中常见
86	疑　离 (貌离)	把浑然一体不可分割的两项或多项故意用"选择问"的形式分而说之	是云?是雾?是烟? 裹着苍茫的港湾; 是烟?是云?是雾? 压着港湾的高山。 (李瑛《哨所鸡啼》)	疑离虽然也是无疑而问,答案就在问句中,但它是貌用选择句式,答案都是尽选无遗,为的是引起感情的波澜,唤起人们深思联想,渲染异乎寻常的气氛。构成疑离的方法,有先神合后貌离、先貌离后神合、先神合后貌离而又神合、貌离前后均无字面上的神合等几种情况

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
87	撇　语（撇除、排除）	用否定的形式，或撇除那些易跟主体相混的事物，或作为铺垫，以加强主体所要表达的正面意思	我这题目：《学问之趣味》，并不是要说学问是如何如何的有趣味，只是要说如何如何便会尝得着学问的趣味。 （梁启超《学问之趣味》） 这种爱，不是鲜艳的娇花，不是缥缈的云雾，它是涌动的潜流，深沉博大，充满活力。 （欧阳祖照《布依女儿》）	撇语在结构形式上有先否定后肯定的“开道式”（“不是……是……”）和先肯定后否定的“补注式”（“是……不是……”）两种，在此基础上可扩展出多种形式，或将否定、肯定的次数增多，或将表否定、肯定的词加以变化，还常与比喻结合运用。撇语是用否定形式使正面表达的意思更深刻更委婉的一种积极修辞现象，要与正常的“否定——肯定”并用的语言形式区分开来。如“‘这是香油吗？’‘这不是香油，是菜油’”就不是撇语

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
88	补　正	先提出一种常规的、合乎上文语气的说法,然后加以否定,再从新的角度提出一种形式上与之不同、本质上相一致的说法	假如战争不发生,交涉使公署不撤退,他的官还可以做下去——不,做上去。 (《钱钟书《围城》》) 你想一想吧,大革命失败的白色恐怖,二万五千里长征,泸定桥,夹金山……成千上万,不,上十万,上百万亲密的战友,抛掷了头颅,洒干了热血…… (刘白羽《第二个太阳》)	补正由起句、否定词、正句三部分组成,缺一不可,次序不能颠倒 补正分相反相对的补正和相关相承的补正两类。补正还有出现两次或两次以上否定的扩展形式 补正和撤语常常结合使用。这两种辞格虽然都有肯定,有否定,但补正的起句与正句的意思在本质上是一致的,形式上否定,实质上并不否定,而撤语是将否定部分撤除,以突出肯定部分 补正是有积极意义的修辞格,要将它与说错了再改正这种一般的语言表达方式区分开来。如"'这是书吗?' '这是书,不,这是笔记本。'"就不是补正

序号	辞格名称		定　义	例　句	说　明
89	否　定*		看起来是否定,其实并不是否定,而是肯定和否定交错,把意思更向前推进一层;或者用双重否定表示肯定;或者用三个否定表示否定	北京城满城都是鲜花!?不,比春天的花加倍繁华! (郭沫若《双倍的春天》) ……有些常犯的毛病……可以多用选择和填充的方式,不一定非采取改错的方式不可。 (吕叔湘《语法三问》)	否定格中有一类与补正格相同,有的则是语法中的双重或多重否定句,其修辞意义有待进一步研究,故不宜单立为一格
90	顿　跌*		将一个完整的意思故意顿开表述	(见下)	正顿所谓"顿开表述",意思不够明白,若仅限于例中所示,则与呼应格难以界清,若包含句中两个成分间的"顿开表述",就和提顿格重叠了;至于反顿,与补正格略无二致。因此,顿跌不宜遽立一格
	①	正顿	将前后一致的完整意思顿开来表述	三只五只白鸥轻轻地掠过,翅膀扑着波浪——一点一点躁怒起来的波浪。 (茅盾《黄昏》)	
	②	反顿	顿开的意思,前后相反相成,后文补正前意	他口里的阎罗天子仿佛也不太高明,竟会误解他的人格——不,鬼格。 (鲁迅《无常》)	

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
91	省　略*	凭借一定的语言环境,省掉某些句子或句子成分	插队生活给她留下终生不灭的烙印,强化了她的理想,磨炼了她的意志。 (冯敬兰《夏日辉煌》)	省略可分为承前省、蒙后省、对话省、突显省、自述省和泛指省等 从省略的分类和示例看,省略实际上是语法中讲的省略句、独词句、无主句等,它们虽可使语言或简洁明快,或委婉含蓄,但把它们做为一般的修辞现象看合适,还是做为一种积极的修辞方式看为宜,似可进一步研究,故暂可不将其立为一格

序号	辞格名称		定义	例句	说明
92	跳脱		在某种特殊语境中,或因事态突变,或因情势急转,或因心思含蓄,故意中断语路,造成"语意不全"或"句子成份残缺"	风从窗外吹进来,一片秋雨的气息。远处断断续续响起汽笛声,房檐下雨水在敲打地面。 "平平,回来吧,我爱你……" "别说这话,别说……"她很快地摇摇头,"我们都要现实点。" "你是说——" "不、不是那意思。我不知道该怎么讲,说不清。我想,我们分开会好点,只有这个办法,我是说……"她很慌乱。 "可是……" "你别逼我说,噢,我不愿这么过下去了。" 邹鲁伸手想拉住林平的手,她躲开了。 (石涛《雨雪霏霏》)	跳脱是在特殊的语境中形成的一种语言变态。其作用是能真实地表现说话时的情态和隐含的意蕴,使听者得意于言外。它在形式上总是支离破碎的,书写时要用破折号或删节号,但并非凡使用这两种符号的地方均为跳脱
	①	急收	说到半路突然中断,不肯说尽,使人得意于言外	柳筠拦住了她:"不用了,歇会儿就行。" 丽珠歪起头,又细细审视了一番:"听说你不想吃东西,是不是……"她指了一下她的肚子。 柳筠的脸立刻臊热了,推开她的手佯嗔:"没正形!" (王恒信《假面鼓手》)	

序号	辞格名称		定义	例句	说明
92	②	突接	话路中断后再突然接上,显得语意不连贯	大使馆区。五月之夜。丁香花丛中的路灯。猎猎的异国旗帜。女郎,飘然的长发亦如旗帜。蓝蓝的眼圈像海,红红的嘴唇如血。警车,铁窗。灰色的女囚制服里裹着一个艳丽而邪恶的躯体。 "呀!牛妞,你放……" 原话是:"你放出来啦!"话说了半截觉得不妥,连忙改口:"你放……假了?" (乔雪竹《被鸟儿叫醒》)	
	③	岔断	由于别的说话或别的事项横闯过来,岔断了正在说的话,使原话被岔得残缺不全或上下不接	"嗨,"连长和缓地说,"一个人有他应该的位置,有的人位置应该在北京,有的人位置应该在上海,有的人位置应该在昆仑山顶,也有的人位置应该在长江口上,嗨,我总觉得我的位置应该在这——" "北极村!"我心底在喊着。 (刘志清《一个无国籍的女人》)	

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
93	留　白*	一句话,由于感情复杂一时说不清楚,或是说清楚了反而不如不说清楚为好,而有意留下空白让接受者发挥想象去加以“填补”	我与她曾八年同窗,此期间接触很少,相遇时也只打个招呼,点点头。我们都很年轻,踌躇满志而又矜持骄傲。 后来,我们都踏上了工作岗位。时光悠悠逝去,我成了大小伙子。偶然的机会我得知她仍然是个老姑娘。于是我冒昧给她去一封信。 小莉:你好!听说……对吗,若真的话,我想…… 你的同学　萌雅 过了十五天,我终于收到她的回信。 萌哥:你好!也听说……对吗?若是的话,我也想…… 你的小妹　莉 这就是我的初恋。 (萌雅《初恋》载《月老报》1988年第6期)	留白与跳脱有交叉现象。其区别之点在于:跳脱的特点之一是“中断语路,变换话题”,“中断语路”是手段,“变换话题”是目的。而留白中没有说出来的部分,并不是真正的中断语路,更不是为了变换话题。 留白能否立为辞格,值得作进一步探讨

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
94	承　转*	话说一半，或因心思急转，或因情况有变，便承着那半句话而临时改说另外的话	来到罗兴桥卡子，正是四点钟。毛福轩刚在桥面上站定，只见县党部的两个差役，用一张藤椅抬着一个人，走上桥来。待两个抬到跟前，骆百千喊了一声："停一停！"伸手将遮着的绒毯一把揭开……露出一副戴着墨晶银镜的面孔。在一旁的毛福轩看得连眼睛都定了："啊——"他发觉失口，连忙假打一个喷嚏："啊——啊涕！昨晚在船上伤风了。" （姚自豪 毛一昌《特殊身份的警官》）	有人将承转分为"谐音承转"和"顺意承转"两种，其实都是跳脱之一。因此，似不宜单立一格
95	析　字（拆字、字喻、缪语）	利用汉字结构的特点，离合、减损汉字的笔画或偏旁，使字形发生变化，产生新的意义	听见左右的人说，宁王在玉牒中是第八个王子，方才悟出关圣帝君所判"琴瑟琵琶"头上是八个王字，到此无一句不验了。 （清·吴敬梓《儒林外史》）	推衍字义，也是析字方法之一。这种方法现已少用，故本书不再单立一类。析字还常把字形的离合、减损与字义的推衍结合起来使用

序号	辞格名称		定义	例句	说明
95	①	离合字形	把字拆开，再组合起来	不敢参加工人运动的怕事的工人说："'工'字不出头，出头变成'土'"；勇敢的革命工人却这样回答他们："'工'字一出头，顶天立地就成'王'"。 （秦牧《语林采英》）	
	②	减损字形	减去字的偏旁、笔画，变成另一个字，或与别的字组成新字	老边的魔术有一种坦诚的品格，他公开宣言："魔字上面有一个麻，当观众开始麻痹时，我就开始捣鬼了。" （《袖里乾坤，指下大千》载《人民日报》1989.11.11）	
96	析数		表达中，将某一数量析成若干可以相加或相乘的小数量	说凤阳，道凤阳，凤阳本是好地方。自从出了朱皇帝，十年倒有九年荒，三年水淹三年旱，三年蝗虫闹灾殃。 （《凤阳花鼓词》）	

序号	辞格名称		定义	例句	说明
97	镶嵌		把词语拆开镶进别的字；或有规则地嵌入特定语句，暗含另一层意思；或把词语拆开交错搭配	解放战争中，邓小平同志率领大军挺进中原，一路与战士谈笑风生，战士们要小平同志吟联，邓小平同志即景生情，吟了一联： 列为无产者； 宁不革命乎？ （黄奇年《老一辈革命家撰写的对联》）	
	①	镶字	把词语拆开插进别的字，以加强语意或延长音节	捡了任老大家娃儿的东西，不但不说还，别人问他一句，他还一凶二恶的，来不来就开口骂。 （何士光《乡场上》）	
	②	嵌字	把几个特定的字或词，分别嵌入诗句或文句中，暗含另一层意思	古今沧桑变，玉石故乡还； 泉水向东流，观陇思江南。 （美国·李政道《思江南——题甘肃天水古玉泉观》）	

序号	辞格名称		定义	例句	说明
97	③	拼字	把联合词组中的两个词或合成词中的两个语素分开来间错使用	金华妹子来了不几天，他就摔家打伙，闹没好气。 （梁斌《播火记》）	拼字这一形式，在一些已趋固定化、定型化的词组中常见，如“谈古论今”、“真情实感”
98	离合*		在语言的句法层次结构中出现的同构异义现象	初寒朗咏裴回立， 欲谢玄关早夜开。 昨日登楼望江色， 鱼梁鸿雁几多来。 （唐·陆龟蒙《寒日古人名》）	“离合”，说到底还是一种嵌字形式，即先将词语拆开，嵌进诗歌、联语中，构成文字的表层意象，再经读者联想，将拆离的词语“复原”，显示出文字的深层含义。因此，离合格可归并到镶嵌格中，算嵌字一类
99	联边		连用三个或三个以上偏旁、部首相同的字	太初有字，于是汉族的心灵，祖先的回忆和希望便有了寄托。譬如凭空写一个“雨”字，点点滴滴，滂滂沱沱，淅沥淅沥淅沥，一切云情雨意，就宛然其中了。 （台湾·余光中《听听那冷雨》）	运用联边，不可一味追求形式，搞文字游戏，但也不能绝对化。在日常用语中，三字联边俯拾即是，四字联边也很常见，如“汹涌澎湃”之类。而某些作品中的联边则是作者刻意为之，以求通过字形突出相关语义

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
100	异　形	在同一著作的上下文中有意将同一个字写成不同的形状	臣事项王,官不过郎中,位不过执戟,言不听,画不用,故倍楚而归汉。 (史记·淮阴侯列传》) 常山王背项王,举项婴头而窜,逃归于汉王。 (同上)	运用异形格的先决条件是存在异体字,而这个格的作用主要在于显示汉字形式的丰富 文字改革的结果,异形格在一般书刊中再难以出现。根据现行规范排印的古代作品,一些异形格现象也会被改掉,因而看不出来。但现代书法作品仍继承古代异形格传统 该简而繁或该繁而简的字体错误不能混同于异形格
101	拆　词 (析词)	把一个结构固定的词或短语拆开来,中间插进一些词语,或者颠倒原来的语序,或把不能独立运用的语素当作词来独立运用	画幅上,一个牧人在月下拉马头琴,暗自思乡,人静静地,不见悲也不见哀,琴头上的马头却已是眼泪扑簌…… (庐野《闲话河西》)	

序号	辞格名称		定义	例句	说明
101	①	隔离	在多音词或成语中加入其他词语	李地倒了霉，那个乡下男生也跟着倒霉。若说“株连”，本来不在一“株”上，却也“连”着了。 （林斤澜《李地》）	
	②	倒置	颠倒合成词或成语的语素的顺序	江泰：我们只会叹气，做梦，苦恼，活着只是给有用的人糟塌粮食，我们是活死人，死活人，活人死。 （曹禺《北京人》）	
	③	拈用	从合成词或成语中拈出语素或词来独立使用	任劳任怨是美德，但是少“怨”更能多“劳”；少分心去“任怨”，更可养精蓄锐去“任劳”。这岂不更好？ （吴振标《任劳任怨的“怨”》）	
102	颠倒*		把一个词或词组或成语的语素次序故意颠倒过来，起强调的作用或产生幽默的效果	画家方成有一幅题为《武大郎开店》的漫画，妙不可言，说的是身高不足三尺的武大郎荣任了领导，声言“比我高的都不要！”……此画虽“漫”，其理不谬…… （雷达《国殇》）	可将此格并入拆词格中

序号	辞格名称		定义	例句	说明
103	藏词		将人们熟知的、定型的短语或句子(熟语、包括成语),在使用时故意隐去本词,即藏去本来用以达意的词,而只用藏余的部分来代替本词	年初,他过了而立,闹了离婚,然后周游各地。 (刘家琨《光环及享乐主义的平原》)	
	①	藏头(抛前藏词)	本词在所用熟语的前部,使用中藏去本词,仅截取后部来代替本词	郑志那么亲昵地抱着我的丑儿,他的"及乌"之情烧烤着我。 (司丝《他从"昨天"走来》)	
	②	藏腰(舍中藏词)	藏去的本词在所用熟语的中段	溉每和御诗,上辄手诏戏溉曰:"得无贻厥之力乎?" (《南史·到溉传》)	
	③	藏尾(弃后藏词)	藏去的本词在所用熟语的尾段	经过治疗,虽然大有好转,遵医嘱却要戒绝烈性酒和香烟。从此步入了"蒸断"阶段。 (钟灵《举杯常无忌,下笔如有神》)	

序号	辞格名称		定义	例句	说明
104	割裂*		故意省去成语或熟语中直接达意的成分,或省去专有名词的若干字,仅以余字当作标字来替用	戚使者枉用三尺,以仇一言之憾…… (明·高启《书博鸡者事》) 北钢早已并入了首钢。 (王芝《巧遇》)	割裂与"藏词"、"紧缩"两个辞格交叉,不宜单立一格
105	歇后		用比喻再加上解说构成一种幽默风趣的语句	王金堂脸上热辣辣的,胸脯上长草——荒(慌)了心啦。 (肖英俊《山村风雨》)	从结构上看,由比方和解说前后两部分构成的完整形式,为全式歇后语;只有前半截比方,无后半截解说的,为略式歇后语;将前后两截倒置的,为逆式歇后语。从表达方式上,则分为喻意歇后和谐音歇后两种
	①	喻意歇后	利用后半截的释义去强调或揭示前半截的比方	按旧习惯,婆婆找媳妇的事,好象碾磨道上寻驴蹄印,步步不缺。 (赵树理《李有才板话》)	
	②	谐音歇后	不是依据前后两截的内在关联,而是通过后半截的关键词语的谐音去显示寓意	窑洞外,早已响起了杨爷爷的声音,"司令员也在这里呵,那就菩萨背后一个窟窿——庙(妙)透了。" (张思忠《龙岗战火》)	

序号	辞格名称		定　义	例　句	说　明
106	反　切		利用前一个字的声母和后一个字的韵母拼成一个需要表达的字	正忧坐客寒无席，遗我新蒲入突栾。 （王廷珪《宁公端惠蒲团》）	反切在汉语里可以是注音手段，可以是构词手段，也可以成为修辞方式
	①	切脚	指单程式的反切	紫衣女子听了，望着红衣女子轻轻笑道："若以本题而论，岂非吴郡大老倚闾满盈么？"红衣女子点头笑了一笑。唐敖听了，甚觉不解。 （李汝珍《镜花缘》）	
	②	双反	指来回双程式的反切	诸葛格，芦苇单衣篾席落，子何相求成子阁。 （晋·陈寿《三国志·吴志》）	
107	换　述		在上文已叙说的基础上，紧接着故意改换一种说法，将意思再复说一遍	正如彩虹的七种颜色一样，自然光可呈现不同的颜色，换言之，自然光是各种不同波长的光的集合体。 （张承志《花色的秘密》）	换述并非同一个意思的简单重复，而是对上文起概括、强调或解释的作用 虽然"换言之"一类的换述语作为换述格的一个重要特征，为人们识别这一辞格提供了方便，但并非凡有这一类词语的表达方式都是换述格

序号	辞格名称		定　义	例　句	说　明
108	双　关（多义关连）		借助词语同音或多义的条件,使一个词语或句子同时兼有字面和字外两层意思,并以字外意思为重点	有客在外,而主人潜入吃饭者,客大声曰:“好一座厅堂,可惜许多梁柱都蛀坏了。”主人忙出曰:“在那里?”客曰:“他在里面吃,外面如何知道?” （清·陈皋谟辑《笑倒·背客吃饭》）	
	①	谐音双关	利用同音、近音的条件构成双关	太仓一富人宴客,王元美与焉。馔有臭鳖及生梨子。元美曰:“世人万般愁苦事,无过死鳖与生梨。”座客大噱。 （明·冯梦龙《古今谭概》）	
	②	语义双关（借义相关）	利用词语的多义性,构成表里两层意思	呵,甜!……记得这葡萄树是她怀起小静静后一个月光溶溶的夜晚栽的,他打着窝子,她浇着水…… 她问他:“几年才能结葡萄?” 他立定锄头,将下巴托住,做个怪相说:“已经结了……” “结了?” “嗯!” 她终于会意过来,用手不停地把水洒到他脸上。 （刘家林《她,在葡萄架下……》）	

序号	辞格名称		定义	例句	说明
109	飞白（非别）		故意使用白字或在语音、语义、句法上有意歪曲附合，实录援用	（马四喜）讲话爱用成语，又把成语的最后一个字甚至几个字“歇”掉。他在学员练功前总要讲几句话：“同志们，你们可都是含苞待，大家都有锦绣前，这练功，一定要有硬砍实，可不能偷工减！千万不要少壮不，将来可就要老大徒啦！——踢腿！走！” （汪曾祺《云致秋行状》）	飞白的特点是将错就错，其目的是存真与增趣，因此，必须把写错字、读错音、解错词、造病句等错误与故意利用其错误的飞白辞格区别开来
	①	语音飞白	因方音、口吃等原因而读错，故意将错就错	幸喜这位异国人按照中国普通的礼仪向我致意…… “令豪（您好！）” 他居然能说汉语，虽然有点生硬。我点点头，忙回了一句： “您好您好！请——” “希希（谢谢）。” 他进了屋，在藤椅上坐下。 （佳云《背影》）	
	②	字形飞白	因字形相近而认错，故意将错就错	至于“钊”，则化为“钉”还不过一个小笑话；听说竟有人因此受害。曹锟做总统的时代（那时这样写法就要犯罪），要办李大钊先生，国务会议席上一个阁员说：“只要看他的名字，就知道不是一个安份的人，什么名字不好取，他偏要叫李大剑？”于是乎办定了，因为这位“大剑”先生已经用名字自己证实，是“大刀王五”一流人。 （鲁迅《忽然想到》）	

序号	辞格名称		定义	例句	说明
109	③	语义飞白	分明误解语义，故意将错就错	我家过去有一个亲戚——“紫藤浜上的三婶娘”，她是一个一字不识的自耕农，却有一个本领，能够熟练地把各种听来的成语、新名词，镶嵌到日常谈话之中。比如说，难得一年一度她来作客，一进门就对我父亲说：“喔唷呵哥，一年不见，真是‘画饼充饥’了。你的身体倒是‘才高八斗’、‘青出于蓝’。我不来向你‘鞠躬尽寿（瘁）’实实是‘恶贯（贯）满了（盈）’。今朝就来‘盘里淘芡’也算是‘礼义廉耻’哉！”说完就“面有德色”，等着我们恭维她的“满腹珠玑”。（公今度《食洋不化与因噎废食》）	例中“欺寡人”——“七挂人”为语义飞白
	④	句子飞白	分明句法有错，故意将错就错	癞子喝酒爱说。老是那一套，没人听他的。他一个人说。前言不搭后语，当中夹杂了很多“唔唔唔”。“……宝三，宝善林，唔唔唔，知道吗？宝三摔跤，唔唔唔。宝三的跤场在哪儿？知道吗？唔唔唔，大金牙、小金牙，唔唔唔。侯宝林。侯宝林是云里飞的徒弟，唔唔唔。《逍遥津》，‘欺寡人’——‘七挂人’，唔唔唔，干嘛老是‘七挂人’？‘七挂人’，唔唔唔。天津人讲话：‘嘛事你啦？’唔唔唔。二娃子，你可不咋着？唔唔唔……”	

序号	辞格名称		定　义	例　句	说　明
109	④	句子飞白	分明句法有错，故意将错就错	喝酒的对他这一套已经听惯了，他爱说让他说去吧！只有老聂有时给他两句： “老是那一套，你贫不贫？有新鲜的没？你对天桥熟，天桥四大名山，你知道吗？” （汪曾祺《安乐居》）	
110	拟　误*		遣词造句应符合语法规律，但作者为了达到某种特定的修辞目的，故意把说话人有语病的句子写进作品中	“我看啦，唵，”停了一会，结果是蒋自己说出了，”这个很是严重的。这个是，哎，这个是，是太平洋的‘九·一八’。我们应该，这个是，把英法鼓动起来，要他们出来，这个是，干涉。要是他们不行动的话，哎！这个是，这个是，他们的利益就要受侵害的……唵？唔？这个是太平洋上的‘九·一八’啦！这个是，哎，这个是，我们应该这个是这样宣传啦。唔！唵？” （郭沫若《洪波曲》）	拟误是作者为了表达的需要而故意将错就错，可以归入飞白格
111	绕　口		故意将声、韵、调极易混同的字交叉重叠编成句子，一口气急速念出时，读音容易发生错误	南边来个哑巴，腰里别着喇叭，北边来个喇嘛，手里提着鳎目，哑巴要用别着的喇叭去换喇嘛提着的鳎目，喇嘛不让哑巴的喇叭来换喇嘛的鳎目，也不知哑巴给了喇嘛一喇叭，还是喇嘛给了哑巴一鳎目。	绕口大致有声母易混淆读错和韵母易混淆读错两种情形。但有时声、韵、调都易混淆，不能截然分开。运用绕口这种辞格可编成各种绕口令

序号	辞格名称	定义	例句	说明
112	顺口	通过几句比较整齐、简短的韵语，形象地描述某种现象，如为消极现象，往往带有批判、讽刺的意味	当时社会上曾流传着这样一句顺口溜："一税二商三银行，卖猪头肉的也比邮局强。" （李强《绿魂》）	"顺口"与诗词格律有俗雅、文野、疏严之分
113	图示（借形、摹形）	行文中有意插用图符，以其形象的直观性来代替语言文字拟形状物而示意	湖边的小树林里，正在拍电影。一群群的围观者，密密麻麻地站成一圈儿，眼睛和嘴巴一齐张开，变成O形，以表达他们的惊异和专注。无数的O，组成一个大O，以使在圆心的女演员孙秀更加光彩夺目。 （苏叔阳《流星》）	所谓图符，包括图象、字形，外文字母、符号（标点符号除外）等。有人将图示格的部分内容归于摹绘格中的"摹形"一类，本书没有采取这种分法
	① 字形示意	借用文字的形状来示意	他在田硬上漫步，眉目锁着个川字。 （哲夫《长牙齿的土地》）	
	② 图象示意	借用图象的形状来示意	高大的威虎山前怀抱着 形的五个大山包，名五福岭。这五个山包的大小一样，外貌相同，间隔距离排列得非常均匀。 （曲波《林海雪原》）	

序号	辞格名称		定　义	例　句	说　明
113	③	符号示意	除标点符号外,借用各种现成符号的形状来示意	现在我将《张资平全集》和"小说学"的精华,提炼在下面,遥献这些崇拜家,算是"望梅止渴"云。 那就是——△。 (鲁迅《张资平氏的"小说学"》)	符号示意和号代格十分相近。但号代仅限于标点符号,其作用主要是借标点符号以代替词语来示意,而图示则更多的着眼于形似,是借符号的形状来示意
114	号　代		用标点符号代替相关词语来表达意思	1949年4月1日,南京大专院校学生游行,反饥饿,反内战,反对假和平,要求真和平。当局出动警察镇压,打死学生二人,制造了震惊全国的"四·一"事件。几天后,在原中央大学礼堂举行了追悼会,会场四周挂满挽联,其中有副无字对联是: ? ? ? ? ? ? ! ! ! ! ! ! (《古今楹联拾趣》)	号代是从该标点符号的标示意义出发,引申开去,以此为基础来代意。号代需在一定风格的语境中适当使用,切忌滥用
115	提　顿		在句中成分间插入标点,以造成偏离语流常态的停顿	有一些白天有一些黑夜一种无可名状的恐怖老是扭着我扯着我。我梦见——我——在一点一点地——死。 (黄一鸾《相当漂亮》)	

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
116	算　式	有意在文章中插用数学形式或演算方法来表示事物之间的关系	老人把一双真挚的手交给两个青年人握了一下。在这一瞬间，春的暖流将1＋2变成了3！ 老人走了。渐渐地，他的影子融进了春光里。 椅上，是两个人了。在爱的数学中1＋1等于1。…… （吴若增《春天的感觉》）	
117	借　用*	定义之一：借用数学符号组合成公式来表示复杂的内容 定义之二：依靠语境暂时突破了社会习惯的使用限制，赋予语词一种新的含义	爱迪生说：天才＝2%的灵感＋98%的汗水。 （引自《修辞学词典》） 傅家杰躺在床边，一手撑着自己的头望着她说："金属也会疲劳。先产生疲劳显微裂纹，然后逐步扩展，到一定程度就产生断裂。" （谌容《人到中年》 引自王均裕著《修辞拾贝》）	借用所揭示的修辞现象是客观存在的。但两格同名，容易混淆，且分别与算式格、体变格、降用格交叉重合。故借用不宜单立一格

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
118	起　兴	先说出其他事物,以引出所要说的事物	栀子花开六瓣头, 情哥约我黄昏头; 日长遥遥难得过, 双手扳窗看日头。 (明·冯梦龙《山歌》)	朱熹在《诗经集传》中说:"兴者,先言他物以引起所咏之词也。"
119	比　兴	起兴中兼含比喻,即起句除有触物起情、托物发端的意思之外,还和下句构成比喻关系	十月的沙蓬无根草, 哪里挂哟哪里好。 十月的沙蓬刮在沟, 光棍的哥哥谁收留。 (山西民歌)	比,用甲物比喻乙物,意思比较明显;兴,触物起情或托物发端,意思比较隐晦
120	讽　喻	借用寓言、故事来说明道理,委婉地规劝、启发别人或者进行讽刺谴责	这里用得着古代希腊的一段寓言:"一个农夫在冬天看见一条蛇冻僵着。他很可怜它,便拿来放在自己的胸口上。那蛇受了暖气就苏醒了,等到回复了它的天性,便把它的恩人咬了一口,使他受了致命的伤。农夫临死的时候说:我怜惜恶人应该受这个恶报!"外国和中国的毒蛇们希望中国人民还象这个农夫一样地死去,希望中国共产党,中国的一切革命民主派,都象这个农夫一样地怀有对于毒蛇的好心肠。 (毛泽东《将革命进行到底》)	讽喻也可以看做是一种特殊形式的比喻,但讽喻和一般比喻有着明显的不同: 1、一般的比喻只需找到本体、喻体两方的某一相似点即可构成,而讽喻则通过类比推理的方式进行规劝、说理或讽刺 2. 一般比喻着重于形象化的描写或抒情,讽喻则着重于教育或讽刺

序号	辞格名称		定　义	例　句	说　明
121	象　征		借助于特定的具体事物，寄寓某种精神品质或抽象事理。	（见下）	象征即“托义于物”。象征可以分成两类，明征、暗征。
	①	明征	象征客体、象征义、联系词同时出现。	在老羊圈东面那片底滩上，有一片依稀可见的绿色，虽然绿得不显眼，毕竟是生命和青春的象征。 （刘学江《遥远的沙漠》）	
	②	暗征	象征义、联系词不出现，只通过对象征客体细致全面的描写，显现、暗示其象征意义。	花开不并百花丛， 独立疏篱趣未穷。 宁可枝头抱香死， 何曾吹落北风中。 （宋·郑思肖《画菊》）	
122	映　衬（衬托、相形）		为了突出主要事物，用相似的、相关的或相反的事物作背景加以烘托。	（见下）	映衬是以衬体为背景，使主体的特征或意义更加鲜明突出，可以虚实相衬，以景衬人，以景衬情、以物衬物等。 映衬分正衬和反衬两种。
	①	正衬（烘托、烘云托月）	衬体作主体的陪衬，突出主体	好一个娇女，走在公路上，小伙看呆了，听不见背后汽车叫；走在街面上，两旁买卖都停掉；坐到戏院里，观众不朝台上瞧；哎呀呀，皇帝当年选妃子，幸亏她还小。 （高晓声《水东流》）	正衬的方法，即“烘云托月”的方法，用相似、相关的事物布置一个背景，使主体的特征鲜明地显现出来。

序号	辞格名称		定　义	例　句	说　明
122	②	反衬（反映）	主体与衬体相反。衬体从反面作背景，烘托主体	一九七二年。湖北省中部农村。大自然的春天来到了这里，柳树发青，田野泛绿，花草树木充满了生机。然而从一间农舍里，传出了两个年青人的凄厉的哭声，他们是一对恩爱夫妻，却要永别了。（涂怀章《生命的春风》）	
123	抑扬		把要贬抑否定的方面和要肯定的方面同时说出来，只突出强调其中的一个方面，以达到抑此扬彼或抑彼扬此的目的	（见下）	抑扬按形式又可分为欲扬先抑、欲抑先扬两种
	①	欲扬先抑		他识字不多，他的革命知识，他的农业、工业、商业的知识，可是渊博得很。他个儿很大，可是野心很小。他面貌丑陋，可是心地和善。他脾气暴躁，可是办事细心。他说话粗鲁，爱顶撞人，可是有时心软像婆婆，听话像小娃娃。（欧阳山《高乾大》）	先抑后扬，“抑”是虚，是陪衬，“扬”是实，是主体
	②	欲抑先扬		我当她是块玉，哪知她是土？ 我当她是花，哪知她是粪？ 我当她是个人，哪知她是个鬼？（田间《赶车传》）	先扬后抑，“扬”是虚，是陪衬，“抑”是实，是主体

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
124	移　就（移用）	两项事物相关联，表达中将常用来描写一事物的修饰语移来描写相关的另一事物的性状	美丽的梦留下美丽的忧伤，人间天上，代代相传，但是，心真能变成石头吗？（舒婷《神女峰》）	移就可使物带上人的情感。使人的情感、人的行为带上相关事物的性状特征
125	移　觉（通感）	用形象的词语，把一种感官的感觉转移到另一种感官上	这歌声来自民间，有刚犁开的泥土的气息，好象烈火一样炽热唱出了苦难和抗争。（艾青《我爱她的歌声》）	用描写甲类感官感觉的词语去描写乙类感官的感觉。把听觉、视觉、嗅觉、味觉、触觉沟通起来
126	移　情	移主观情感于客观外物，使客观外物具有和人的思想感情相一致的，但实际上并不存在的特性	太阳啊，这不象我的山川，太阳！这里的风云另带一般颜色，这里鸟儿唱的调子格外凄凉。（闻一多《太阳吟》）	移情格的基本特征是移情于物，把人的主观情感外射到客观外物，使“物我同一”，通过物性的变化，折射出人物的意绪，以间接、曲折的方式描写人物的情感活动

序号	辞格名称		定　义	例　句	说　明
127	升　华（事象升华）		把描写的客观对象(人或事物)提到理性认识的高度,发掘其内含的意义,充分表达思想情感	(见下)	升华常见的形式有:由点升面。由表升里。由此升彼
	①	由点升面	由个别推及全体,由一点升为全面	这样壮志未酬的人,不只他一个啊!我哭小弟,哭他在剧痛中还拿着那本航空资料"想再看看",哭他的"胃下垂"、"肾游走",我也哭蒋筑英抱病奔波客殇成都;我也哭罗健夫不肯一个人坐一辆汽车!我还要哭那些没有见诸报章的过早离去的我的同辈人,他们几经雪欺霜冻,好不容易奋斗着张开几片花瓣,尚未盛开,就骤然凋谢。 我哭我们这迟开而早谢的一代人! (宗璞《哭小弟》)	由特殊到一般、局部到全体,揭示事物的内蕴
	②	由表升里	由客观的事物或人的主观行为上升为内在的思想或深层含义	那时,顾文霞,这个纯朴的苏州姑娘是何等的为自己的祖国骄傲呵!她不止一次地流出了热泪。她懂得了:她的彩线牵引的不仅是绣绷与图案,而是中国和世界、友谊与和平。 (柯岩《东方的明珠》)	由现象深入到本质,揭示事物的内蕴

序号	辞格名称		定　义	例　句	说　明
127	③	由此升彼	由这一事象引申为意义相仿、相类似的另一事象	危乎高哉!黄山的路不仅难,而且险。 上天都峰,过鲫鱼背,那是真正在危险中漫游! 这样的路,不也很象作家的创作道路吗? 轻车熟路虽然保险,但,路旁景物依旧;没有新鲜,没有想象,没有文章。 走生路,生而出新;走险路,险而出奇;走难路,难而不俗。 (徐刚《黄山拾美》)	通过类比联想、接近联想的方式,揭示事物的内蕴
128	示　现(想见)		用回忆、预想、悬想的方法,把已经过去的事、将要发生的事或者既未出现也不会发生的事,生动地显现出来	(见下)	示现的基本特征在于:充分发挥想象力,把过去的、未来的或不会发生的事描述得活灵活现,如在眼前 示现分追述、预言、悬想三种
	①	追述	把过去发生的事情再现眼前	就这样,我写了一本《城南旧事》。我默默的想慢慢的写。看见冬阳下的路驼队走过来,听见缓慢悦耳的铃声,童年重临于我的心头。 (台湾·林海音《冬阳童年骆驼队》)	

序号	辞格名称		定义	例句	说明
128	②	预言	把未来的事物写得好象出现在眼前一样	风樯动， 龟蛇静， 起宏图。 一桥飞架南北， 天堑变通途。 更立西江石壁， 截断巫山云雨， 高峡出平湖。 神女应无恙， 当惊世界殊。 （毛泽东《水调歌头·游泳》）	
	③	悬想（设想）	把自己想象中的事物给以具体形象的描述	你在这个坛上走着走着，仿佛走进古代去，走到一望无际的原野上，在那里，莽莽苍苍，风声如吼。一个戴着高冠，穿着芒鞋的古代诗人正在用他的悲悯深沉的眼睛眺望大地，吟咏着这样的诗句：朝东眺望没有边际，…… （秦牧《社稷坛抒情》）	

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
129	旁　逸	说话时有意离开主旨，加以风趣的插说或注释	“俺看，”古海老人戴上老花镜，把那页稿纸拿到距离鼻子二尺远的地方，一字一句读起来，他的长长的眉毛在眼睛上面收蹙聚拢着光线，样子极认真。 …… “您看，这么写行吗？”我问了一句多余的话。 “行……行！” 古海老人点了点头，泪水从镜片后面溢出来，洒在了稿纸上，在稿纸上留下了几个湿点，渐渐洇大。我的责任编辑如果注意的话是能看到的，泪湿的地方干了都抽皱起来，好象稿纸上钉了几个补丁。可惜的是读者看不到了。 （邓九刚《驼道》）	旁逸可使读者暂时中断阅读思路而从一种阅读心理定势中“跳”出来，“转移”一下，与阅读对象造成一段心理距离，从而获得别致的审美意趣
130	摹　绘	借助于各种感觉，运用语言手段描摹客观事物的声音、色彩、气味和情态	（见下）	运用摹绘能加强语言的直观性、可感性和感情色彩，唤起读者感同身受的真实体验 摹绘可以分为摹声、摹色、摹味、摹状四种

序号	辞格名称		定　义	例　句	说　明
130	①	摹声	利用拟声词摹拟人、动物或事物的声音	破响破响的铃铛声把死寂的峡谷闹动了,岩坡岩缝岩头的灌木丛里,扑啦啦飞出斑鸠呀锦鸡呀青背褡呀铁嘴鸦雀呀,它们等候这热闹时刻早已迫不及待,哞——哞——牛们也兴奋异常,在越来越不平顺的石道上撒开了步子。 叮叮咣咣叮叮咣咣叮叮叮叮咣咣咣咣。 (雁宁《牛贩子山道》)	摹声可以造成鲜明的音响效果,给人以如闻其声的实感
	②	摹色	利用色彩词描摹客观事物的色彩	进入清幽的紫竹院,就置身在绿色之中。头顶上是墨绿的松,浅绿的柳,脚下是淡绿的草,身旁尽是翠绿的竹…… (关山《墨竹欣赏小记》)	丰富的色彩描绘,可以唤起读者赏心悦目的美感
	③	摹味	利用形容气味的词及其附加音节描摹人对食物的味觉	她把一大捧杨梅的水汁都挤到茶罐里,甜丝丝酸津津的。 (韩少功《远方的树》)	对口味的描摹,可以使读者产生味觉联想
	④	摹状	利用词语描摹人对事物情态性状的感觉	只剩下黑色的光秃秃的铁轨微微振荡,象越来越弱的脉搏。 (张为《中秋遥寄》)	摹状可以突出事物的情态、性状特征,强调人对物的主观感受

序号	辞格名称	定义	例句	说明
131	物候	借用自然现象或生物活动表示季节、节气和时间的转换	(见下)	物候格突出了节令时间的特征,使抽象的时间概念有了颜色,有了明暗,有了声响,有了气味,有了空间的、立体的形象,具有了审美价值。物候还具有表情达意的作用
	①		1963年,小麦扬花、豌豆吊角的时候,家里积了一笔钱,要拆掉三间草屋,新建三间瓦房。全家人都高兴。 (周同宾《桧木》)	利用植物生长过程表示季节、节气、时间的转换
	②		去年离别雁初归, 今夜裁缝萤已飞。 征客近来音信断, 不知何处寄寒衣。 (唐·张纮《闺怨》)	利用动物习性表示季节或特定的时间
	③		几次降霜落雪,几次清明谷雨,一家中人都说萧萧是大人了。天保佑,喝冷水,吃粗粝饭,四季无疾病,倒发育得这样快。 (沈从文《萧萧》)	利用天文气象表示时间的变化

序号	辞格名称		定义	例句	说明
132	叠音		将同一的字或词不加停顿地重叠使用	(见下)	叠音能增强语言的音响效果、节奏感和旋律美,同时也有利于状物拟态,表情达意
	①	叠字	将同一个字不加停顿地重叠使用	今夜,寂静的郊外,朦胧的月色掺着雨后的云雾,迷迷,茫茫,清清,凉凉。 (林湄《弃儿》)	
	②	叠词	把同一的两个音节以上的词或词组不加停顿地重叠使用	看山老人呼哧呼哧的抱上一块长方石头条,也还呼噜呼噜的笑着。 (林斤澜《白儿——十年十瘾之五》)	
133	垫音(衬字、衬词)		在话语中加进一些字,不表示意义,只起补充、调整音节、增强节奏的作用	突然,他惊醒了,揉揉眼睛,想起戴着爸爸的夜光表,他担心看错了,光不出溜地跑到洗澡间,又看了一下,三点,鸡不唧又回来,钻被窝睡下。 (许谋清《孩子·大海·太阳》)	
				嗨,咳,呀喂呀喂呀喂,咳! 张家呀姐儿哩生得呀好哇, 李家呀妹儿哩杨柳呀腰哦, 生得呀好来哩杨柳呀腰哎, 站在呀门前哟把手儿招哩。 (《川江号子》)	

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
134	释　语 (释词)	借用语词释义的形式,对语词在具体语境中的意义,作主观性的引申、发挥、或作形象化的说明	我的《说文解字》里写道:诗,食也。它不是天女袖中的鲜花,而是泥土里长出的百谷。 (刘征《播谷篇》)	释语所释之义是修辞语境中的临时之义,不具备词汇学中词义的概括性和客观性,也不可能完整地、科学地揭示语词所表示的概念的本质属性,这是释语与一般语词解释的区别
135	衍　名 (顾名、衍词)	针对表达对象(人或物)的特征、处境、发展趋向(或命运)展开想象,从而对其名称的字面,加以衍释,或称誉,或品评,或揶揄,或揭露,推出一番新意	他叫王起立,因为天生一幅比一般婴儿更健壮的四肢,奶奶就给他起了这么一个响亮的名字。 谁想到命运竟会这样残酷地捉弄人,一岁多上,他突然患了小儿麻痹症,成了四肢三残的"废人"。从此,这个叫"起立"的人就再也没能站立起来。 (徐永青　戴战军《名副其实的人》)	
136	曲　解	利用异字同音或一词多义,故意对上文或交谈者话语中的某词语作背离原义的解释	有人将欲远行,敕其奴言:"尔好守门,并看驴索。"其主行后,时邻里家有作乐者,此奴欲听,不能自安。寻以索系门置于驴上,负至戏处,听其所乐。奴去之后,舍中财物贼尽持去。大家行还,问其奴言:"财宝所在?"奴便答言:"大家先付门驴及索,自是以外,非奴所知。" (《百喻经》)	

序号	辞格名称		定义	例句	说明
137	隐语*(廋辞、廋语)		利用双关、借代、析字、用典、藏词等手法将意思显示于言外,须经分析解释才能明白	有一天,高兴又去"过河"(掏兜),刚要"扣皮子"(掏腰包),发现身旁有"软刺"(警察),吓的赶忙缩回手,差点儿"浅住"(被抓住),一闪身溜了。 (马亚川《有功之贼》)	隐语是一种特殊的语言现象,不能当作一种辞格
138	异称		从不同角度,对同一个人给予不同的称谓或称说	(见下)	运用异称可以多角度、多侧面地揭示人物的社会关系,展示其人生经历、性格特征,以较少的文字涵括丰富的社会内容
	①	连续异称	用复指短语的结构形式,从不同角度称谓同一个人	……四九年的腰鼓、七六年的游行,在小石头、张指导员、张书记、老张头和张副部长之间,分明有一种联系,有一座充满光荣和陷井的桥。这桥是存在的,这桥是生死攸关的。见证便是他的心,便是张思远自己。 (王蒙《蝴蝶》)	
	②	间隔称谓	用单句或并列复句的形式,从不同角度称谓同一个人	那些年头,村里的人,都喊我"阿乔仔"。后来,野孩子们就叫我"阿乔哥"。最近几年来,人们称我"阿乔叔"或"阿乔伯"了。 (台湾·李乔《桃花眼》)	

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
139	诡　谐（诡语）	说话写文章时，有意违反逻辑或常理，以造成特殊的语言效果	“……这也有好处，让你知道什么叫做没饭吃。那年你烧破了衣服，你妈骂你说：‘再这么胡闹，没有你的饭吃。’你说：‘没饭吃我吃包子。’……”（徐怀中《西线轶事》）	诡谐多用于幽默、讽刺
140	归　谬	即以错攻错。先假定对方的命题是“真”的，然后推导出荒谬的结果，使命题不攻自破，从而产生幽默讽刺的效果	《樗斋雅谑》云：近一友有母丧，偶食红米饭。一腐儒以为非居丧者所宜。诘其故，谓红米喜色也。友曰：“然则食白米饭者，皆有丧耶？”（明·冯梦龙《古今谭概》）	归谬是逻辑学中一种论证或反驳的方法。本书设归谬为一格，着眼于其在语言表述过程中，具有固定的语言结构形式和特殊的语言修辞功能
141	设　难*	提出无法实现的条件，难倒对方，使被难者的愿望无法实现	我要你一两星星二两月，三两清风四两云，五两炭烟六两气，七两火苗八两光阴，火烧龙须要九两，冰琉子烧灰要一斤。井里的塌灰要斤半，长虫汗毛要七斤。苍蝇心来蚊子胆，兔子犄角蛤蟆鳞。四楞鸡蛋要八个，三搂粗牛毛要九根。雪花晒干要二斗，天鹅绒毛织手巾。……（《辽宁传统曲艺选·杨八姐游春》）	设难的基本特征是故意违反事理或思维逻辑，用荒谬无理的条件来诘难对方 设难与诡谐格外延交叉重合，可否考虑将其并入诡谐格内

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
142	偏　语	有意偏离事理或实际,以合情不合理、理乖情至的方式来传达感情	这暖哄哄的味道,搀了脂粉香和花香,熏得方鸿渐要泛胃,又不好意思抽烟解秽。心里想这真是从法国新回来的女人,把巴黎大菜场的"臭味交响曲"都带到中国来了。自己在巴黎从没碰见过她,今天偏偏免不了,可见巴黎大而天下小。 (钱钟书《围城》)	偏语所追求的是心理的真实。它是作家联想、奇想、幻想的结果,是作家对生活的独特感受 所谓"反常合道以为趣",偏语以反常的语言形式,传递正常的思想情感
143	设　誓*	提出难于实现或者无法实现的条件来表达坚定的信念和决心	枕前发尽千般愿, 要休且待青山烂。 水面上秤锤浮, 直待黄河彻底枯。 白日参辰现, 北斗出南面。 休即未能休, 且待三更见日头。 (《敦煌曲校录·菩萨蛮》)	设誓也是以偏离实际的形式来表情达意的
144	谲　辞	为掩饰真情而说假话,以便在社会交际中收到积极的效果	送郎送到灶跟头,吃(被)郎踢动了火叉头。娘道:"丫头耍(啥)个响?"小阿奴奴回言道:"灯台落地狗偷油。" (明代山歌《送郎》)	谲辞所揭示的语言现象应该具有文学典型意义和美学意义,不能把它和现实生活中的撒谎、说瞎话混为一谈

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
145	巧　缀 (曲说)	曲解一个词语或一个事物,并按照曲解后的意义说开去	1.苏小姐道:“鸿渐,你学过哲学,是不是?” 赵辛楣喉咙里干笑道:“从我们干实际工作的人的眼光看来,学哲学跟什么都不学没两样。” “那么得赶快找个眼科医生,把眼光验一下;会这样看东西的眼睛,一定有毛病。”方鸿渐为掩饰斗口的痕迹,有意哈哈大笑。 (钱钟书《围城》)	曲解词义的巧缀:利用汉语词语多义性的特点,有意改变词语在文中的确定含义,故做他解,再顺势说开去
			2.美丽的故乡太行山, 好听的名字一大串; 有的名叫金牛山, 金牛牛拉犁春泥翻; 有的名叫扁担山, 挑得那秋粮堆上天; 有的名叫磨子山, 冬雪纷纷扬白面; 有的名叫馍馍山, 馍馍太大呀没法端; 有的名叫轱辘山, 车轱辘一转哟到边关; (李学鳌《太行山的山》)	曲解事物的巧缀:曲解某一事物,把它当作另一真的事物,并就势说开去

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
145	巧缀 (曲说)	曲解	3. 县官清如水, 令史白如面; 水面打一和(huò), 糊涂成一片。 (元杂剧定场诗)	曲解词语修辞手法的巧缀:有意曲解词语所运用的修辞手法,再说开去
146	拈　嵌*	拈连结合镶嵌的特殊的修辞手法	大雨洗星海, 长虹万籁天, 冰莹成舍我, 碧野林枫眠。 (老舍)	拈嵌格中的"拈嵌"不具备严格的修辞意义,此类例子可视情况分别归入镶嵌、巧缀格中
147	歧　疑 (设歧)	话说半截,有意保留其关键性的部分,造成对方的误解、悬疑	唐铁嘴　王掌柜,您这儿还有房没有? 王利发　唐先生,您那点嗜好,在我这儿,恐怕…… 唐铁嘴　我已经不吃大烟了! 王利发　真的?你可真要发财了! 唐铁嘴　我改抽白面啦。 (老舍《茶馆》)	对话中,先不涉及或故意省略所谈事物的实质性内容,有意使词语含义宽泛、模糊,造成误解,引对方入"歧途",然后再抖包袱,说出实情,使人恍然大悟,造成喜剧性效果

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
148	略　补*	有意省略句子中表示关键性或具体内容的词语,造成歧义,然后将省略的内容补充出来	甲　……你和你哥哥,你们俩谁大呀? 乙　这脑子是够坏的,我哥哥当然比我大呀。…… 甲　不,我哥哥就比我小。 乙　啊,你哥哥比你小?…… 甲　你看我哥哥才到我这儿(指肩膀)。 乙　噢,个儿比你小啊。 (侯宝林《全家福》)	此格也可将其并入歧疑格中
149	歧　义*	在特定语境中,有意识地利用汉字一词多义的特点,造成语义分歧	甲　我再考你一个:李字去了木。 乙　这个字念"子"啊! 甲　不对了,念"一"。 乙　怎么念"一"呀?这个李字不是一个木字底下一个子字吗?您把那个木字去了,不就念"子"吗? 甲　念"一"。我说李字去了木,是去了那"了"和上边的那个"木",可不就剩一道了吗? (侯宝林《猜字》)	歧义格与曲解、别解、诡谐、双关等格外延交叉,本辞典未正式设此格
150	设　误*	说话行文时,故意在不该停顿的地方停顿,引起对方误解,然后再把后半部分说出来,使对方恍然大悟	甲　(伪军)小队长一看,这志愿军打进来了,跑吧进不去,在这千钧一发的关头,咳,把脚一跺,把心一横,电话机子一扔,一咬牙,一皱眉,一瞪眼,一转身,顺手操起…… 乙　手枪! 甲　小白旗。 乙　投降了! (田平 徐乾学《反击战》)	可将设误并入歧疑格

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
151	返　射	借用对方说过的话语，来反驳、反讥、戏谑对方。即以其人之“言”，还治其人之身	吴祥子　逃兵，是吧？有些块现大洋，想在北京藏起来，是吧？有钱就藏起来，没钱就当土匪，是吧？ 老　陈　你管得着吗？我一个人揍你这样的八个。（要打） 宋恩子　你？可惜你把枪卖了，是吧？没有枪的干不过有枪的，是吧？（拍了拍身上的枪）我一个人揍你这样的八个！ （老舍《茶馆》）	
152	稽　新*	叙事作品中，复述或暗引前文中“发生的故事”	宝玉尚未说话，黛玉便先笑道：“你看着人家赶蚊子的分上，也该去走走。”宝玉不解，忙问：“怎么赶蚊子？”袭人便将昨日睡觉无人作伴，宝姑娘坐了一坐的话，告诉宝玉。 （清·曹雪芹《红楼梦》）	返射要求用对方说过的话“反唇相讥”；稽新要求借用不久前发生过的事揭人“老底” 稽新格有待在大量语言实践的基础上作进一步研究

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
153	移　时	故意把现代事物用于古代或把古代事物用于现代,使古代事物现代化。或将现代事物古代化	由此传说,我想到,当年在战乱中,我们那位不善于从政的李白老人,从庐山上下来,稀里糊涂"站错了队",被唐肃宗流放夜郎,…… (玛拉沁夫《神女峰遐想》)	有意让历史时空关系错位,混淆古今,移花接木,用荒诞的语言形式反映现实
154	易　色	临时变换词语的感情色彩,或褒词语贬用,或贬词语褒用,或将中性词语带上褒贬色彩	偷偷地学拉小提琴的胡坤,果然把神奇的技艺"偷"来了,在赫尔辛基的芬兰大厦里,亮出了它的光泽。 (郭宝臣《小提琴和祖国》)	
155	体　变	即语体色彩变异。把具有科技语体色彩的术语词应用到文学作品中,使其在语境中产生修辞意义	我挺着胸走进学校的大门,没有飞檐走壁,没有屈膝爬行,不靠邮票,不靠电话,不靠"一般等价物"(货币)。这是天经地义的变革。 (陈村《大学:风俗画》)	

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
156	舛　互 (特选)	对事物既全部肯定,又部分否定;或既全部否定,又部分肯定,看似悖于事理,实则符合常情	已经是夜了,没有月亮,只有星星。队伍里静寂无声,咳嗽的人都没有,只有骡马的蹄子,踏在石上,杂乱地响。 (周立波《娘子关前》)	舛互的作用在于强调近乎矛盾对立之中的某一方面,使之更为醒目、突出
157	衬　跌	先不说出正意,用其他话语作衬托,然后语意急速转折、跌宕,说出正意,造成强烈的反差对照	乙　那我要是戴一支钢笔哪? 甲　那不用说,高小程度。 乙　噢!我戴两支钢笔。 甲　初中啊。 乙　我戴三支? 甲　高中啊。 乙　我戴四支? 甲　那你就上大学了。 乙　我要戴五支呢? 甲　你要戴五支啊? 乙　我就是大学教授。 甲　不,修理钢笔的 (相声《五支笔》)	当由一系列相关联的事物列举而累积起来的印象在读者心理上逐渐加强并形成了某种期待,读者将按照这种心理期待逐渐接近终点的时候,语意突然"跌"下,使读者的期待性心理扑空,而接受一个出乎意料而终在情理之中的结果,这便产生了"笑"的效果

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
158	列　锦 (列景)	几个名词或定名结构或独词句组合在一起,构成一种特殊句式或句群,经过读者对语义的联想和补充,构成一个画面,能起到写景叙事、抒情的作用	孤村落日残霞,轻烟老树寒鸦,一点飞鸿影下。青山绿水,白草红叶黄花。 (元·白朴《天净沙》)	列锦超越了常规的语言表述模式,句子成分大量省略,扩充了语言载体的信息容量,通过心理时空位移,把一系列经过主观情感净化、同化的物象交迭、组合在一起,展示出一幅幅画面、场景
159	穷　举 (涌列)	通过自由联想的作用,将现实的材料、不规则地、超量地拼接在一起,在杂乱、不和谐中求其内在的统一性	早自习,晚自习。家门,校门。黑板擦,粉笔灰。哨声,铃声。秃头戴眼镜的中年男教师,不秃头而也戴眼镜的青年女教师。连着板凳的课桌,扯着线的喇叭。眼睛保健操,广播体操。上课五十分钟,课间十分钟。出教室如鸟兽散,进教室似一窝蜂。上厕所排队,外出野营也排队。座次表,课程表,轮流值日名单,考分名次公布。方块字,五线谱。元素周期表,数学公式…… 张石山《长长的坡》	穷举有如下特点:1.信息量丰富,作者有意在文中提供超量信息,令读者有万花筒翻新、眼花缭乱的感觉。2.自由联想,跨时空、跳跃式、快节奏地组织材料。3.形式上杂乱无章,甚至荒诞不经,它追求的是内在的,以心理逻辑为基础的统一、和谐。4.构成穷举的可以是词、短语、句子

序号	辞格名称	定　义	例　句	说　明
160	迭　现*	以简缩的、跳跃式的句式连续出现或交替出现一系列画面,一连串形象	沿途闪过:茶花、玉兰、柳芽、蜂箱、鸡笼、油菜花、荷灯草…… 集上纷呈:鲜竹笋、雪里蕻、榨菜芯、黄韭芽、活鲤鱼、大白鹅…… (黄宗英《行行复行行》)	迭现是借鉴电影艺术中镜头"迭印"、"迭化"的手段,推广到文学创作中,通过单词、短语、句子的排列引起读者联想,闪现一组电影镜头似的画面,产生历历在目的视觉效果 迭现与"列锦"、"穷举"互有交叉,尚待进一步研究
161	频　词	在一段话中,高频率地使用同一个语词或字,形成一条鲜明的词语线,以突出作者的某种意念	麻绳铁链把我捆, 问我断情勿断情? 我说路断桥断河水断, 断手断脚勿断情! (《吴歌》)	用作"频词"的词,在文中具有不同的语法功能,其词性可以改变,语法成分可以变化;既可错落地在每句话里出现,也可以间隔一两句话出现。总之,这个词在文中应该突出、醒目

序号	辞格名称	定　义	例　句		说　明
162	呵　成	行文有意不用标点，一气呵成，形成急速的语流，以表现快节奏的思想、行为、或造成某种特定的氛围	城市在改革中体验着思考着忧患着亢奋着焦噪着踌躇着蹂躏着喜悦着烦恼着忍耐着失败着鼓舞着夭折着诞生着…… （梁晓声《雪城》）		呵成格出现在应使用标点的上下文中
辞格综合运用		在一句话或一个句群里有两个或两个以上修辞格相互搭配使用	①	胡大少一十八岁上改称胡大爷。这位胡大爷很是胡得可以，胡花、胡闹、胡作，外加胡吃闷睡。 （林希《爱恨仇》）	辞格连用
			②	天边的山正抒着黛色的情。 （柯云路《黎明与黄昏》）	辞格套用
			③	把个定海修得铜帮铁底。 （评书《百年风云》）	辞格兼用

责任编辑　朱珉
装帧设计　王焱

ISBN 7-81050-013-9
9 787810 500135 >

ISBN　7—81050—013—9

Z·1　　定价:20元